

平成30年度

酒田市歳入歳出決算
主要な施策の成果報告書

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、
平成30年度における主要な施策の成果について
次のとおり提出する。

令和元年9月

酒田市長 丸 山 至

目 次

第 1 部 主要な施策の実施状況

《総務費》

（市長公室）

- ・ 広報広聴活動推進事業 1
- ・ 酒田未来会議事業 1
- ・ 元気みらいワークショップ提案内容支援事業 2

（人事課）

- ・ 派遣研修事業 2
- ・ 基本研修事業 3
- ・ 業務改革推進事業 3

（税務課）

- ・ 地方税電子化推進事業 4

（納税課）

- ・ 徴収管理業務事業 4
- ・ 特別滞納整理事業 5
- ・ 債権管理研修事業 5

（企画調整課）

- ・ 庄内地区中高一貫教育校設置に係る懇談会開催事業 6
- ・ 大学まちづくり地域政策形成事業 6
- ・ 地域連携人材育成事業 7
- ・ 東北公益文科大学学生定住促進事業 7
- ・ 庄内空港振興事業 8
- ・ 鉄道高速化促進事業 8
- ・ 庄内北部定住自立圏形成事業 9

（都市デザイン課）

- ・ 酒田コミュニケーションポート（仮称）整備事業 9
- ・ 駅周辺整備事業 10
- ・ （繰越明許費）駅周辺整備事業 10

- ・ 新産業会館整備支援事業 11
- ・ （繰越明許費）新産業会館整備支援事業 11
- ・ まちづくりコンソーシアム事業 12

（情報管理課）

- ・ イントラネット設備等整備事業 12
- ・ 個人番号制度に係るシステム連携事業（統合宛名システム等） 13
- ・ 委託統計調査事業 13

（交流観光課）

- ・ ふるさと納税推進事業 14
- ・ 酒田の魅力発信事業 14
- ・ 酒田交流おもてなし市民会議運営事業 15
- ・ 国際交流推進事業 15
- ・ 北区・武蔵野市交流事業 16
- ・ ふるさと会交流促進事業 16
- ・ サントペテルブルク市との交流事業 17

（地域共生課）

- ・ 生涯活躍のまち構想推進事業 17
- ・ 結婚推進支援事業 18
- ・ 酒田移住交流推進事業 18
- ・ 男女共同参画推進事業 19
- ・ 女性活躍推進事業 19
- ・ U I J ターン促進対策事業 20
- ・ U I J ターンマッチング支援事業 20
- ・ 山形県若者定着支援連携事業 21

（まちづくり推進課）

- ・ 消費者行政推進事業 21
- ・ 安全・安心のまち酒田推進事業 22
- ・ 空き家等総合対策事業 22
- ・ 防犯灯管理事業 23
- ・ コミュニティ（防災）センター改修事業 23
- ・ コミュニティ振興事業 24

・ 亀ヶ崎コミュニティ防災センター（仮称）整備事業	24
・ 市民活動支援事業	25
・ 飛島活力再生推進事業	25
・ 飛島振興プロジェクト検討事業	26
（定期航路事業所）	
・ 定期船とびしま利用促進事業	26
（八幡総合支所地域振興課）	
・ 八幡地域振興事業	27
・ 八幡生涯スポーツ振興事業	27
・ 八幡地域おこし協力隊活動推進事業	28
・ 大沢地区地域づくり推進モデル事業	28
・ 白旗史朗作品によるジオパーク発信事業	29
・ 八幡青少年国内交流事業	29
（八幡総合支所建設産業課）	
・ 鳥海山・やわた地域ジオパーク推進事業	30
・ やわた産業まつり支援事業	30
・ 八幡地域観光物産支援事業	31
（松山総合支所地域振興課）	
・ 松山地域振興事業	31
・ 松山生涯スポーツ振興事業	32
・ 松山にぎわい創出事業	32
・ 松山の宝推進事業	33
・ 松山地域おこし協力隊活動推進事業	33
・ 南部地区地域づくり推進モデル事業	34
・ 松山青少年国内外交流事業	34
（松山総合支所建設産業課）	
・ 松山地域観光物産支援事業	35
（平田総合支所地域振興課）	
・ 平田地域振興事業	35
・ 平田生涯スポーツ振興事業	36
・ 平田地域おこし協力隊活動推進事業	36

・ 里山さかた交流人口拡大事業	37
・ 田沢地区地域づくり推進モデル事業	37
・ 平田青少年国内交流事業	38

（平田総合支所建設産業課）

・ ひらた花いっぱい推進事業	38
・ ひらた賑わい創出事業	39

《民生費》

（福祉課）

・ 民生委員・児童委員活動事業	39
・ 社会福祉総務費各種補助事業	40
・ 災害時要援護者避難支援事業	40
・ 地域福祉推進事業	41
・ 生活困窮者自立相談支援事業	41
・ 生活困窮者住居確保給付金事業	42
・ 障がい者ほっとふくしサービス事業	42
・ 障がい者地域福祉対策促進事業	43
・ やさしい住まいづくり事業	43
・ 心身障がい児扶助事業	44
・ 発達支援事業	44
・ 障がい児通所支援事業	45
・ 障がい福祉サービス給付事業	45
・ 自立支援医療給付事業	46
・ 意思疎通支援事業	46
・ 地域活動支援センター事業	47
・ 地域生活支援事業	47
・ 特別障がい者手当等給付事業	48
・ 老人クラブ助成事業	48
・ シルバー人材センター補助事業	49
・ 老人施設入所援護事業	49
・ 緊急通報システム運営事業	50
・ やさしいまちづくり除雪援助事業	50
・ やさしい生活支援事業	51

・ほっとふくし券事業	51
・軽度生活援助事業	52
・飛鳥高齢者生活支援事業	52
・重度心身障がい（児）者医療給付事業	53
・生活保護扶助事業	53

（子育て支援課）

・子育て支援・ひとり親家庭等医療給付事業	54
・未熟児養育医療給付事業	54
・私立幼稚園就園奨励事業	55
・私立幼稚園にこにこ子育て支援事業	55
・特別保育事業	56
・法人立保育所等補助事業	56
・保育士等人材確保事業	57
・児童手当扶助事業	57
・ファミリーサポートセンター運営事業	58
・放課後児童健全育成事業	58
・八幡学童保育所整備事業	59
・児童虐待防止対策事業	59
・発達障がい児及び家族等支援事業	60
・少子化対策地域推進事業	60
・つどいの広場事業	61
・浜田・若竹統合保育園整備事業	61
・平田保育園トイレ増設事業	62
・ブックスタート支援事業	62
・法人立保育所等施設整備事業	63
・児童扶養手当扶助事業	63
・母子生活支援施設入所扶助事業	64
・ひとり親家庭自立支援給付金事業	64
・保育所等入所扶助事業	65
・子育て支援センター運営事業	65
・病児・病後児保育事業	66
・児童発達支援センター管理事業	66

・児童センター運営事業	67
-------------	----

《衛生費》

（環境衛生課）

・猛禽類保護センター利活用事業	67
・酒田市斎場改築事業	68
・酒田地区広域行政組合分賦金	68
・ごみ減量化推進事業	69
・不法投棄防止対策推進事業	69
・家庭系ごみ有料化事業	70
・水道事業運営費補助事業	70

（健康課）

・健康さかた21推進事業	71
・乳幼児健診事業	71
・妊婦健康管理事業	72
・妊娠・出産・子育て包括支援（ネウボラ）事業	72
・心の健康づくり推進事業	73
・特定不妊治療助成事業	73
・歯と口腔の健康づくり推進事業	74
・中町にぎわい健康プラザ管理運営事業	74
・健やかさかたヘルスケア推進事業	75
・調剤情報ネットワークシステム運営費負担事業	75
・各種予防接種事業	76
・献血推進事業	76
・健康増進事業	77
・若年者健診事業	77
・後期高齢者健診事業	78
・女性特有のがん検診推進事業	78
・働きざかりのがん検診推進事業	79
・ピロリ菌検査（胃がんリスク評価検査）事業	79
・がん患者用ウィッグ購入費助成事業	80
・診療所管理運営事業	80
・山形県・酒田市病院機構評価委員会運営事業	81

・ 地方独立行政法人病院事業運営費負担事業	81	・ さかた農産物ブランド化チャレンジ支援事業	94
・ 夜間診療事業	82	・ 経営所得安定対策等運営事業	95
(酒田看護専門学校)		・ 飼料用米生産拡大支援事業	95
・ 看護専門学校管理運営事業	82	(農林水産課)	
《 労働費 》		・ 農村環境改善センター改修事業	96
(商工港湾課)		・ 国県営造成施設管理体制整備促進事業	96
・ 高校生就職支援事業	83	・ 農業基盤整備事業	97
・ 酒田市雇用創造協議会活動負担事業	83	・ 土地改良負担事業	97
・ 若者地元就職促進事業	84	・ 農道整備事業	98
・ 酒田市シニア雇用創造協議会活動負担事業	84	・ 地籍調査事業	98
《 農林水産業費 》		・ 多面的機能支払事業	99
(農政課)		・ 農村広場改修事業	99
・ 都市農村交流事業	85	・ 森林病虫害等対策事業	100
・ さかたでアグリ支援事業	85	・ (繰越明許費) 森林病虫害等対策事業	100
・ 農業次世代人材投資事業	86	・ 森林ボランティア育成事業	101
・ 経営体育成支援事業	86	・ 森林整備地域活動支援事業	101
・ 生産組合支援事業	87	・ さかた型地域材利活用促進事業	102
・ さかた農産物消費拡大事業	87	・ 市有林間伐事業	102
・ さかた農産物販路拡大事業	88	・ 林道整備事業	103
・ 経営開始支援資金利子助成事業	88	・ 林地台帳整備事業	103
・ 機構集積協力金交付事業	89	・ 再造林推進事業	104
・ 酒田地区農産物輸出推進協議会負担事業	89	・ 離島漁業再生支援事業	104
・ 畜産生産振興総合支援事業	90	・ 漁業資源増殖種苗購入事業	105
・ 畜産経営競争力強化支援事業	90	・ 栽培漁業地域展開促進事業	105
・ 中山間地域等直接支払事業	91	・ 水産多面的機能発揮対策推進事業	106
・ 環境保全型農業直接支払事業	91	・ いか釣り漁業支援事業	106
・ 庄内バイオ研修センター運営事業	92	・ 庄内浜トップブランド水産物創出事業	107
・ 鳥海南麓畑地振興対策推進事業	92	・ 庄内浜産水産物安定供給推進事業	107
・ 野生鳥獣農作物被害対策事業	93	・ 日本さかな検定開催支援事業	108
・ 園芸大国やまがた産地育成支援事業	93	(農業委員会事務局)	
・ 産地パワーアップ事業	94	・ 農業者年金業務受託事業	108
		・ 農業委員会報「さらり」発行事業	109

・ 機構集積支援事業	109
・ 農地集積センター活動支援事業	110

《商工費》

（商工港湾課）

・ 中小企業融資資金貸付事業	110
・ 産学官連携コワーキングスペース運営事業	111
・ 産業振興まちづくり推進事業	111
・ 工場等設置助成事業	112
・ さかた産業フェア開催事業	112
・ 企業立地促進事業	113
・ 工場等拡張支援助成事業	113
・ 賃借型立地企業定着促進事業	114
・ 情報通信関連企業立地促進事業	114
・ 生活交通バス路線維持費補助事業	115
・ 乗合バス運行事業	115
・ デマンドタクシー運行事業	116

（交流観光課）

・ 観光物産協会負担事業	116
・ 旧割烹小幡整備事業	117
・ 観光戦略推進事業	117
・ 酒の酒田の酒まつり事業	118
・ 客船受入事業	118
・ 鳥海山・飛島ジオパーク推進事業	119
・ 地域の資源協働整備事業	119
・ 秋田・酒田交流事業	120
・ まちなかサイン整備事業	120
・ IWC2018開催負担事業	121

《土木費》

（都市デザイン課）

・ 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定事業	121
・ さかたらしい景観づくり事業	122

・ 花と緑のまちづくり事業	122
・ 県施行街路整備事業	123

（商工港湾課）

・ 港湾整備事業	123
・ 重要港湾酒田港活性化推進事業	124
・ 客船誘致事業	124

（土木課）

・ 側溝整備事業	125
・ 舗装改修事業	125
・ 橋りょう延命化事業	126
・ （繰越明許費）橋りょう延命化事業	126
・ 市道矢流川大平線道路改良事業	127
・ （繰越明許費）市道矢流川大平線道路改良事業	127
・ 市道錦町坂野辺新田線外道路改良事業	128
・ （繰越明許費）中町モール改修事業	128
・ 市道荒町山根線改良舗装事業	129
・ 交通安全施設（二種）整備事業	129
・ 除雪事業	130
・ 除雪機械整備事業	130
・ 克雪支援事業	131
・ 公園都市構想事業	131
・ 公園施設再整備事業	132
・ 手づくり公園整備事業	132
・ 日和山公園環境整備事業	133
・ （繰越明許費）日和山公園環境整備事業	133
・ 公園施設長寿命化等整備事業	134
・ （繰越明許費）公園施設長寿命化等整備事業	134

（建築課）

・ 市営住宅ストック改善事業	135
・ 危険ブロック塀等撤去支援事業	135
・ 木造住宅耐震診断士派遣事業	136
・ 土砂災害等危険住宅移転事業	136

・ 大規模建築物耐震改修支援事業	137
・ 住宅改善支援事業	137
・ 木造住宅耐震改修支援事業	138
・ 住宅リフォーム総合支援事業	138

《消防費》

（危機管理課）

・ 酒田地区広域行政組合分賦金	139
・ 消防施設等整備事業	139
・ 消防庁舎及び総合防災センター整備事業	140
・ 防災対策強化事業	140
・ 自主防災組織等活動支援事業	141
・ 防災行政無線デジタル化事業	141

《教育費》

（企画管理課）

・ 学区改編推進事業	142
・ 手づくり学校環境整備事業	142
・ 東北公益文科大学連携推進事業	143
・ 私立高等学校生徒授業料軽減事業	143
・ 私学振興補助事業	144
・ 京野基金大学修学奨励事業	144
・ 大学等修学支援事業	145
・ 施設整備事業（小学校）	145
・ 小学校給食事業	146
・ 学校給食施設環境整備事業	146
・ 学校トイレ改修事業（小学校）	147
・ （繰越明許費）学校トイレ改修事業（小学校）	147
・ 松陵小学校屋内運動場改修事業	148
・ 松山小学校改修事業	148
・ （継続費・通次繰越）松山小学校改修事業	149
・ 田沢小学校改修事業	149
・ 学校空調設備整備事業（小学校）	150

・ 施設整備事業（中学校）	150
・ 中学校給食事業	151
・ 学校トイレ改修事業（中学校）	151
・ （繰越明許費）学校トイレ改修事業（中学校）	152
・ 学校空調設備整備事業（中学校）	152

（学校教育課）

・ 教育支援員充実事業	153
・ 教育委員会科学賞事業	153
・ 小中学校スポーツ振興事業	154
・ 教育相談充実事業	154
・ 学力向上対策事業	155
・ 外国語指導助手招致事業	155
・ スクールカウンセラー等活用事業	156
・ キャリア教育推進事業	156
・ 飛島いきいき体験スクール支援事業	157
・ デジタルキャンパスネットワーク事業	157
・ 小中高連携ものづくり教室事業	158
・ 中村ものづくり事業	158
・ ADHD等支援体制推進事業	159
・ 子どもの安全安心通学対策事業	159
・ 子どもの命を守る安全教育推進事業	160
・ 小中一貫教育推進事業	160
・ 自然体験学習推進事業	161
・ 学校ICT環境整備事業	161
・ 部活動指導員配置事業	162
・ 中学生海外派遣事業「はばたき」	162
・ 「少年の翼」交流事業	163
・ 教育研究所運営事業	163
・ 学習バス・スクールバス管理事業	164
・ 学習バス・スクールバス整備事業	164
・ 遠距離通学対策事業	165
・ 避難児童生徒就学援助事業	165

・ 小学校保健管理事業	166
・ 中学校保健管理事業	166
(社会教育文化課)	
・ 生涯学習推進講座開催事業	167
・ 生涯学習振興支援事業	167
・ 学校・家庭・地域の連携協働推進事業	168
・ 鳥海山・飛島ジオパーク講座開催事業	168
・ 文化施設長寿命化対策事業	169
・ 庄内文化賞・阿部次郎文化賞顕彰事業	169
・ 土門拳文化賞顕彰事業	170
・ 土門拳作品保存事業	170
・ 市民会館自主事業等運営事業	171
・ 市民芸術祭開催事業	171
・ 写真のまち・さかた推進事業	172
・ 文化芸術推進事業	172
・ 酒田市・本間美術館交流事業	173
・ 文化財保存活動支援事業	173
・ 未来へ受け継ぐ伝統文化はぐくみ事業	174
・ 史跡旧燈屋修復事業	174
・ 山居倉庫文化財調査事業	175
(スポーツ振興課)	
・ 白崎資金スポーツ振興事業	175
・ スポーツ行事開催事業	176
・ 体育施設整備事業	176
・ 光ヶ丘プール改修事業	177
・ 体育施設耐震改修事業	177
(図書館)	
・ 光丘文庫資料保全活用事業	178
・ 子ども読書活動推進事業	178
・ ライブラリーセンター移転準備事業	179

《特別会計》

(企画調整課)

・ 風力発電事業特別会計	180
--------------	-----

(まちづくり推進課)

・ 交通災害共済事業特別会計	181
----------------	-----

(定期航路事業所)

・ 定期航路事業特別会計	182
--------------	-----

(国保年金課)

・ 国民健康保険特別会計	183
--------------	-----

(介護保険課)

・ 後期高齢者医療事業特別会計	184
-----------------	-----

・ 介護保険特別会計	185
------------	-----

(商工港湾課)

・ 駐車場事業特別会計	186
-------------	-----

第2部 決算の概要

1	平成30年度会計別決算の状況	187
2	財政指標	
(1)	財政統計指標（普通会計）	188
(2)	健全化判断比率	188
3	平成30年度普通会計決算の概要	
(1)	決算規模	189
(2)	決算収支	189
(3)	当初予算と決算の比較（性質別）	190
4	財政資料（普通会計）	
(1)	歳入の状況	192
(2)	歳出の状況	194
(3)	公債費の状況	198
(4)	入湯税充当事業一覧	204
(5)	都市計画税充当事業一覧	205
(6)	社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費	205
(7)	目的別性質別歳出内訳	204
(8)	人件費の推移	206
(9)	健全化判断比率及び資金不足比率	208
5	市税等資料	
(1)	税目別収納状況	210
(2)	年度別収納状況	214
6	土地開発基金の状況	
(1)	平成30年度土地取得の状況	216
(2)	土地の保有・売渡状況	216
7	職員配置の状況	218

第 1 部

主要な施策の実施状況

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	2目 広報広聴費	= 予算所属 = 総務部市長公室
事業名	広報広聴活動推進事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
85,778,000円	81,829,334円	0円	3,948,666円	95.4%
目的・趣旨	<p>広報紙、市ホームページ、コミュニティFM、SNS、メールマガジン、記者会見等を活用し、行政情報を的確にきめ細かく市民などに提供する。また提言メールや市庁舎等に設置しているふれあいBOXによる広聴を実施する。</p>			
事業概要等	<p>○事業内容及び実績・説明 (1) 広報事業 ① 広報紙の発行・・・月2回、42,400部を発行 ・「手にとってもらえる広報紙」を目標に読者の視点に立った紙面づくりを行った。 ・広報に興味を持つきっかけづくりと、紙面へ読者の意見等を反映させるため、「読者の声」の連載を開始。投稿者にマスコットキャラクターの限定ステッカーをプレゼントするなど投稿を増やす取り組みを行った結果、86件の投稿があった。 ・平成30年11月1日号は、県広報コンクール特選および全国コンクール入選を獲得。 ② 市ホームページによる情報発信 ・ホームページのアクセス数は531万回。 ・有料バナー広告（企業広告2社9か月分）実施。 ③ コミュニティFM放送による情報発信 ・インフォメーションさかた（月曜日～金曜日）、職員参加型放送（毎週金曜日）で行政情報を発信した。 ④ その他 ・メールマガジン ふるさとだよりの配信。平成30年度末登録者1,460人 ・SNSによる情報発信 ・視覚障がい者用テーブ広報の実施（対象者29人） ・私の街さかた 写真コンテストの実施</p> <p>(2) 広聴事業 ① 出前講座の実施 ・自主的に申し込みを受けた各種団体等に市職員を派遣し、市政の状況や制度等を説明した（メニュー数72）。 ・実績件数及び参加人数（前年度） 185（143）件、4,093（3,913）人</p> <p>○評価・方向性 広報紙に関しては、読者の視点に立った紙面づくりが受け入れられており、県コンクール、全国コンクールでも評価された。今後も読者の意見を紙面に反映させていく。 また、ホームページ、SNSについては、正確な情報を遅滞なく発信することに努める。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	① SNS フォロワー数（件）② 広報紙への意見数（件）③ 市HPの「わかりやすい」等の割合（%）		① 5,000② 36③ 60	① 7,277② 86③ 57
備考	<p>○主な特定財源 県広報配布委託金（県） 2,429,481円 市ホームページバナー広告料 90,000円</p>			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	2目 広報広聴費	= 予算所属 = 総務部市長公室
事業名	酒田未来会議事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
1,046,000円	916,459円	0円	129,541円	87.6%
目的・趣旨	<p>若者、女性、子育て世代、産業界、大学等広く市民の意見を聞き、各分野で活躍する経験豊かな世代の知恵とエネルギーな若者のパワーを結び付けながら、対話による市民参画のまちづくりを推進する。</p>			
事業概要等	<p>○事業内容 (1) 元気みらいワークショップ さまざまな立場の市民、まちづくりの担い手が一緒に話し合い、その思いを市の事業へ反映させるため、ワークショップを開催し、市長へ提案を行う。 また、お互いの立場を尊重しながら、話し合うプロセスを大切に、市民参画の手法を広めていく。 (2) 産業・交流都市創造会議 産業界、大学等各分野で活躍する方々と市長との意見交換を通して、産業界、交流都市としての酒田市を創造していくための助言や提言をもらい、戦略的行政の展開につなげていく。 (3) グループミーティング 希望するグループが気軽に市長や副市長と意見交換することにより、市民に開かれた市政をPRしながら対話による市民参画のまちづくりを進めていく。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 元気みらいワークショップ ・参加者 公募15名 ・開催回数 7回 ・4事業提案 （一部実施1事業、一部実施予定2事業、未実施1事業） (2) 産業・交流都市創造会議 ・委員 12名 ・開催回数 4回（5名と会議を開催） ・農業、教育について意見交換を行った。 (3) グループミーティング ・参加グループ 4団体（子育て団体等） ・開催回数 4回 ・市総合計画、子育て、離島振興等についてグループミーティングを行った。 ※グループミーティングのほか、自治会・コミ振等と意見交換を行った。（12回）</p> <p>○評価・方向性 市民の提案を一部事業化することができ、検討プロセスを通して市民の市政参画意識の醸成が図られた。また、意見交換を通じて市の政策等に反映させることで、対話による市民参画のまちづくりが進められた。今後も引き続き市民が市政に参画する機会の増加に努める。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	① 様々な市民との意見交換回数（回） ② 提案を受けて事業化する件数（件）		① 15 ② 2	① 16 ② 1
備考				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	2目 広報広聴費	= 予算所属 = 総務部市長公室
事 業 名	元気みらいワークショップ提案内容支援事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
1,034,000円	335,351円	0円	698,649円	32.4%
目 的・趣 旨	平成28年度から実施した元気みらいワークショップにおいて提案された内容を実現化するための支援を行い、市民と行政の協働のまちづくりを進める。また、事業実施によりインバウンドへのおもてなし体制や新井田川活用体制の構築を図る。			
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容及び事業実績・説明</p> <p>(1) みんなが観光大使プロジェクト</p> <p>①インバウンドおもてなし活動支援 インバウンド等の観光・交流人口の増加に資するおもてなし活動を行う学校に対し支援した。 ・クルーズ船寄港時に中学生が配布したオリジナル観光パンフレットの作成等</p> <p>(2) 新井田川活性化プロジェクト</p> <p>①新井田川古写真のパネル展示 新井田川の古い写真をパネルにして、新井田川沿いの各コミュニティセンターに展示した。</p> <p>②古い新井田川の写真を鑑定する会の開催（4回） 新井田川の古い写真について語り合う会を開催した。 ・開催日 平成30年6月16日、8月25日、11月3日、11月13日 ・場所 総合文化センター及び若浜、浜田学区コミュニティ防災センター ・参加者 延べ35人</p> <p>③新井田川フォーラムの開催 鑑定会の成果を市民に伝え、さらに新井田川を理解するため、新井田川フォーラムを開催し、記念講演やパネルディスカッションを行った。 ・開催日 平成31年3月3日 ・場所 総合文化センター ・参加者 22人</p> <p>○評価・方向性</p> <p>みんなが観光大使プロジェクトは、活動に取り組んだ中学生の郷土愛醸成につながった。今後は、教育委員会が実施しているキャリア教育推進事業を通じて、より効果的な事業執行を目指す。</p> <p>新井田川活性化プロジェクトは、新井田川の古い写真を活用して一定の事業展開をすることができたが、実施主体の体制が整わず活動は休止している。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	提案を受けて事業化する件数（件）		2	1
備 考				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	1目 一般管理費	= 予算所属 = 総務部人事課																																																								
事 業 名	派遣研修事業																																																											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																								
5,052,000円	4,658,787円	0円	393,213円	92.2%																																																								
目 的・趣 旨	職員を専門の研修機関等に派遣することにより、専門的な知識の習得とともに、研修参加者の相互交流や情報交換を通じての自己啓発を図る。																																																											
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 職員を各専門の研修機関等に派遣した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 専門研修機関への派遣 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">研 修 機 関 名</th> <th rowspan="2">研 修 内 容</th> <th colspan="3">年 度</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治大学校</td> <td>第2部課程、政策専門課程</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>早稲田大学マニフェスト研究所 人材マネジメント部会</td> <td>地域課題、組織課題の研究</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>市町村職員中央研究所 (市町村アカデミー)</td> <td>専門実務研修課程 政策課題研修課程</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>東北自治研修所</td> <td>行政課題研修 指導者養成研修</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>山形県市町村職員研修所</td> <td>階層別研修、専門研修、 指導者養成研修 など</td> <td>45</td> <td>46</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>全国建設研修センター、フェ ニックス塾 など</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>74</td> <td>76</td> <td>74</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 庄内広域行政組合主催研修 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">研 修 機 関 名</th> <th rowspan="2">研 修 内 容</th> <th colspan="3">年 度</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>庄内広域行政組合主催研修</td> <td>接遇研修、政策法務研修、メン タルヘルス・ハラスメント研 修、政策課題研修</td> <td>61</td> <td>79</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 東北公益文科大学修学制度 ・修学制度利用者 2人</p> <p>(4) 東北公益文科大学大学院への派遣 ・修学研修 1人</p> <p>(5) 酒田青年会議所への派遣 ・研修派遣 1人</p> <p>○評価・方向性 評価指標実績については目標値を上回った。今後も、研修受講前の情報提供や目標設定による意識付け、受講後のふり返しなどを引き続き行いながら、研修受講の効果や成果がより高まるような運用に努める。また、研修で学んできたことを庁内に周知、紹介することにより、研修内容の共有化や全庁展開を図る。</p>				研 修 機 関 名	研 修 内 容	年 度			H28	H29	H30	自治大学校	第2部課程、政策専門課程	2	2	-	早稲田大学マニフェスト研究所 人材マネジメント部会	地域課題、組織課題の研究	-	-	3	市町村職員中央研究所 (市町村アカデミー)	専門実務研修課程 政策課題研修課程	18	17	22	東北自治研修所	行政課題研修 指導者養成研修	5	5	5	山形県市町村職員研修所	階層別研修、専門研修、 指導者養成研修 など	45	46	42	その他	全国建設研修センター、フェ ニックス塾 など	4	6	2	計		74	76	74	研 修 機 関 名	研 修 内 容	年 度			H28	H29	H30	庄内広域行政組合主催研修	接遇研修、政策法務研修、メン タルヘルス・ハラスメント研 修、政策課題研修	61	79	83
研 修 機 関 名	研 修 内 容	年 度																																																										
		H28	H29	H30																																																								
自治大学校	第2部課程、政策専門課程	2	2	-																																																								
早稲田大学マニフェスト研究所 人材マネジメント部会	地域課題、組織課題の研究	-	-	3																																																								
市町村職員中央研究所 (市町村アカデミー)	専門実務研修課程 政策課題研修課程	18	17	22																																																								
東北自治研修所	行政課題研修 指導者養成研修	5	5	5																																																								
山形県市町村職員研修所	階層別研修、専門研修、 指導者養成研修 など	45	46	42																																																								
その他	全国建設研修センター、フェ ニックス塾 など	4	6	2																																																								
計		74	76	74																																																								
研 修 機 関 名	研 修 内 容	年 度																																																										
		H28	H29	H30																																																								
庄内広域行政組合主催研修	接遇研修、政策法務研修、メン タルヘルス・ハラスメント研 修、政策課題研修	61	79	83																																																								
	評価指標（単位）		目標	実績																																																								
	研修に参加した職員の目標達成度（5段階評価） （点）		4.0	4.1																																																								
備 考	○主な特定財源 公益財団法人山形県市町村振興協会研修受講助成金 1,189,323円																																																											

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	1目 一般管理費	= 予算所属 = 総務部人事課
事 業 名	基本研修事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
4,068,000円	3,545,016円	0円	522,984円	87.1%
目 的・趣 旨	勤務年数や職責に応じて実施する一般研修（階層別研修）と、階層に関わらず職員として備えておきたい知識や技能を習得させるための特別研修を実施し、職員の資質向上を図る。			
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 一般研修と特別研修をそれぞれの目的に応じて実施した。			
	○事業実績・説明			
	(1) 一般研修（階層別研修）内容及び修了者数 (単位：人)			
	研 修 内 容		年 度	
		H28	H29	H30
	新規採用職員研修（第1期）	57	41	39
	新規採用職員研修（交通安全研修）	34	31	31
	新規採用職員研修（第2期）	29	25	23
	初級スタッフ研修	23	21	30
	中級スタッフ研修	10	13	27
主事～主任級職員研修（コミュニケーション、段取り力、資料作成）	-	64	56	
主任級職員研修	9	-	53	
係長級職員研修（JST研修）	63	44	29	
係長職員研修（マネジメントの基本研修）	20	28	21	
主査級職員研修（コーチング研修）	39	36	41	
課長補佐級職員研修（補佐級職員に求められる役割）	11	21	25	
課長級職員研修（管理職マネジメント研修）	9	14	14	
	計	304	338	389
(2) 特別研修内容及び修了者数（主な研修） (単位：人)				
研 修 内 容		年 度		
	H28	H29	H30	
○JT研修（プリセプター研修）	32	30	27	
人事評価（評価者）研修	51	19	13	
ダイバーシティ研修	57	45	-	
応急手当講習会	209	196	-	
交通安全研修	-	-	323	
メンタルヘルス研修（セルフケア・ラインケア）	150	174	90	
	計	499	464	453
※その他（非常勤職員研修、政策法務研修、派遣職員報告会など）				
○評価・方向性 昨年度に引き続き研修内容を精査したこともあり、評価指標実績は目標値を上回った。今後も研修後のフォローアップ調査を活用しながら研修内容の評価や課題を把握した上で、職員に求められる能力向上や行政課題への対応につながるように研修内容の充実を図る。				
評価指標（単位）		目標	実績	
研修全体の総合評価平均（5段階評価）（点）		4.0	4.4	
備 考				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	1目 一般管理費	= 予算所属 = 総務部人事課
事 業 名	業務改革推進事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
1,599,000円	1,598,400円	0円	600円	99.9%
目 的・趣 旨	業務量調査の手法を活用して業務執行における課題の把握や分析を行うとともに、改善に向けての検討や取組を進め、適正な組織運営に資する体制及び効率的・効果的な業務遂行の実現を図る。			
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容			
	(1) 業務量調査の手法を活用した課題把握とその改善に向けた意識や行動の定着			
	・業務量調査の根拠となる業務記録（業務日報）の実施。			
	・業務日報記録、集計データの分析方法や活用策に係る研修会の実施。			
	・平成29年度に業務量調査を実施した特定部署に対し、業務日報データの分析や活用方法等の説明、提案を実施。			
	(2) その他、業務の改善や見直しに向けた取り組み			
	・定型的な業務（作業）の効率化に資する業務マニュアルの整備や整理を推進するための研修会を実施。			
	○評価・方向性			
	評価指標実績については目標値を達成できなかったものの、準備や事前説明等の対応が不足だった面もあった中での初めての取り組みだったことを踏まえると、職員の理解と協力を得ることができ、目的は達成できたものと捉えている。			
	業務日報の記録付けについては一層の浸透を図るべく、その必要性の説明や活用方法の提案、具体的な入力方法の提示などを継続する。また、業務や作業プロセスの課題把握、そしてその改善に資するような分析や活用を、各部署、各職員が自律的に行うことを目指し、取り組みを進めていく。			
評価指標（単位）		目標	実績	
常勤職員の業務日報実施割合（%）		100	99.4	
備 考				

款 項 目	2款 総務費	2項 徴税費	2目 賦課費	= 予算所属 = 総務部税務課																																																																																		
事業名	地方税電子化推進事業																																																																																					
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																																		
4,135,000円	4,107,592円	0円	27,408円	99.3%																																																																																		
目的・趣旨	<p>e L T A Xを活用し、申告手続きの簡素化を図るとともに、個人住民税の公的年金からの特別徴収など納税者の利便性向上を目的とする。また、所得税確定申告書のデータを国税庁と連携し業務の効率化を図る。</p>																																																																																					
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 e L T A Xによる申告データ等の電子化により、適正・公平かつ効率的な課税事務の執行に努めた。また、電子化推進のため、給与支払報告件数の多い事業所を対象として、導入案内のための訪問説明活動等を実施した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 電子申告システムの運用件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申告件数(申請、届出含む)</td> <td>6,310件</td> <td>6,776件</td> <td>7,242件</td> </tr> <tr> <td> 法人市民税</td> <td>3,066件</td> <td>3,201件</td> <td>3,442件</td> </tr> <tr> <td> 個人住民税</td> <td>2,602件</td> <td>2,859件</td> <td>3,002件</td> </tr> <tr> <td> 償却資産</td> <td>642件</td> <td>716件</td> <td>798件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 公的年金等に係る特別徴収データシステムの運用件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年金特徴に係る納税義務者</td> <td>9,640件</td> <td>10,263件</td> <td>10,310件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 所得税に係る国税データ受信システムの運用件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所得税確定申告書等受信件数</td> <td>37,340件</td> <td>33,970件</td> <td>36,911件</td> </tr> <tr> <td> 平成21年分</td> <td>5件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td> 平成22年分</td> <td>5件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td> 平成23年分</td> <td>61件</td> <td>2件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td> 平成24年分</td> <td>94件</td> <td>49件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td> 平成25年分</td> <td>213件</td> <td>77件</td> <td>72件</td> </tr> <tr> <td> 平成26年分</td> <td>396件</td> <td>209件</td> <td>131件</td> </tr> <tr> <td> 平成27年分</td> <td>7,672件</td> <td>407件</td> <td>276件</td> </tr> <tr> <td> 平成28年分</td> <td>28,894件</td> <td>5,318件</td> <td>472件</td> </tr> <tr> <td> 平成29年分</td> <td>—件</td> <td>27,907件</td> <td>6,046件</td> </tr> <tr> <td> 平成30年分</td> <td>—件</td> <td>—件</td> <td>29,905件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 税務関連団体の協力により毎年利用数が向上しており、納税者の利便性向上、賦課事務の効率化に寄与している。今後も企業へ導入案内訪問を実施しながら、各種説明会等での広報とあわせて利用推進活動を継続する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電子申告システム運用件数(件)</td> <td>6,700</td> <td>7,242</td> </tr> </tbody> </table>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	申告件数(申請、届出含む)	6,310件	6,776件	7,242件	法人市民税	3,066件	3,201件	3,442件	個人住民税	2,602件	2,859件	3,002件	償却資産	642件	716件	798件		平成28年度	平成29年度	平成30年度	年金特徴に係る納税義務者	9,640件	10,263件	10,310件		平成28年度	平成29年度	平成30年度	所得税確定申告書等受信件数	37,340件	33,970件	36,911件	平成21年分	5件	0件	0件	平成22年分	5件	1件	0件	平成23年分	61件	2件	5件	平成24年分	94件	49件	4件	平成25年分	213件	77件	72件	平成26年分	396件	209件	131件	平成27年分	7,672件	407件	276件	平成28年分	28,894件	5,318件	472件	平成29年分	—件	27,907件	6,046件	平成30年分	—件	—件	29,905件	評価指標(単位)	目標	実績	電子申告システム運用件数(件)	6,700	7,242
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																																																			
申告件数(申請、届出含む)	6,310件	6,776件	7,242件																																																																																			
法人市民税	3,066件	3,201件	3,442件																																																																																			
個人住民税	2,602件	2,859件	3,002件																																																																																			
償却資産	642件	716件	798件																																																																																			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																																																			
年金特徴に係る納税義務者	9,640件	10,263件	10,310件																																																																																			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																																																			
所得税確定申告書等受信件数	37,340件	33,970件	36,911件																																																																																			
平成21年分	5件	0件	0件																																																																																			
平成22年分	5件	1件	0件																																																																																			
平成23年分	61件	2件	5件																																																																																			
平成24年分	94件	49件	4件																																																																																			
平成25年分	213件	77件	72件																																																																																			
平成26年分	396件	209件	131件																																																																																			
平成27年分	7,672件	407件	276件																																																																																			
平成28年分	28,894件	5,318件	472件																																																																																			
平成29年分	—件	27,907件	6,046件																																																																																			
平成30年分	—件	—件	29,905件																																																																																			
評価指標(単位)	目標	実績																																																																																				
電子申告システム運用件数(件)	6,700	7,242																																																																																				
備考																																																																																						

款 項 目	2款 総務費	2項 徴税費	3目 徴収費	= 予算所属 = 総務部納税課																																																																																																																																																										
事業名	徴収管理業務事業																																																																																																																																																													
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																																																																																																										
82,602,000円	80,943,005円	0円	1,658,995円	98.0%																																																																																																																																																										
目的・趣旨	<p>市税及び国民健康保険税の徴収を円滑かつ効率的に推進し、収納率の向上と収入未済額の圧縮を図る。</p>																																																																																																																																																													
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 (1) 夜間納税相談窓口・コンビニ収納及び口座振替等納税環境の整備 (2) 電算業務委託料、収納業務委託料及び各収納手数料等経費の支出 (3) 租税教育事業の実施</p> <p>○事業実績 (1) 納税環境の整備、運用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">税 目</th> <th rowspan="2">納付方法</th> <th rowspan="2">人数 (件)</th> <th rowspan="2">納付額(円)</th> <th colspan="2">利用率(%)</th> <th rowspan="2">対前年度比</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">市県民税</td> <td>口座振替</td> <td>15,231</td> <td>577,355,248</td> <td>8.40</td> <td>7.94</td> <td>△ 0.46</td> </tr> <tr> <td>コンビニ納付</td> <td>12,997</td> <td>231,992,296</td> <td>3.03</td> <td>3.19</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>窓口・特徴・他</td> <td></td> <td>6,461,915,159</td> <td>88.57</td> <td>88.87</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">固定資産税 都市計画税</td> <td>口座振替</td> <td>154,642</td> <td>2,818,238,100</td> <td>43.36</td> <td>43.23</td> <td>△ 0.13</td> </tr> <tr> <td>コンビニ納付</td> <td>41,513</td> <td>398,635,312</td> <td>5.79</td> <td>6.11</td> <td>0.32</td> </tr> <tr> <td>窓口・他</td> <td></td> <td>3,302,653,143</td> <td>50.85</td> <td>50.66</td> <td>△ 0.19</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">軽自動車税</td> <td>口座振替</td> <td>15,105</td> <td>84,599,400</td> <td>26.06</td> <td>25.65</td> <td>△ 0.41</td> </tr> <tr> <td>コンビニ納付</td> <td>14,420</td> <td>104,745,203</td> <td>29.38</td> <td>31.68</td> <td>2.30</td> </tr> <tr> <td>窓口・他</td> <td></td> <td>139,796,055</td> <td>44.56</td> <td>42.47</td> <td>△ 2.09</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">国民健康保険税</td> <td>口座振替</td> <td>43,915</td> <td>1,077,435,200</td> <td>49.28</td> <td>48.27</td> <td>△ 1.01</td> </tr> <tr> <td>コンビニ納付</td> <td>20,628</td> <td>333,441,587</td> <td>13.48</td> <td>14.94</td> <td>1.46</td> </tr> <tr> <td>窓口・他</td> <td></td> <td>821,119,446</td> <td>37.24</td> <td>36.79</td> <td>△ 0.45</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">合 計</td> <td>口座振替</td> <td>228,893</td> <td>4,557,627,948</td> <td>28.70</td> <td>27.87</td> <td>△ 0.83</td> </tr> <tr> <td>コンビニ納付</td> <td>89,558</td> <td>1,068,814,398</td> <td>6.18</td> <td>6.54</td> <td>0.36</td> </tr> <tr> <td>窓口・特徴・他</td> <td></td> <td>10,725,483,803</td> <td>65.12</td> <td>65.59</td> <td>0.47</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 税収納の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>調定額(円)</th> <th>収入済額(円)</th> <th>H29収納率(%)</th> <th>H30収納率(%)</th> <th>対前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">市税</td> <td>現年度分</td> <td>13,208,496,406</td> <td>13,124,373,461</td> <td>99.16</td> <td>99.36</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <td>過年度分</td> <td>566,108,027</td> <td>119,675,044</td> <td>23.28</td> <td>21.14</td> <td>△ 2.14</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>13,774,604,433</td> <td>13,244,048,505</td> <td>95.27</td> <td>96.15</td> <td>0.88</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">国保税</td> <td>現年度分</td> <td>2,206,716,600</td> <td>2,097,239,608</td> <td>94.76</td> <td>95.04</td> <td>0.28</td> </tr> <tr> <td>過年度分</td> <td>591,158,029</td> <td>134,756,625</td> <td>21.42</td> <td>22.80</td> <td>1.38</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,797,874,629</td> <td>2,231,996,233</td> <td>78.29</td> <td>79.77</td> <td>1.48</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 市税・国民健康保険税ともに収納率は年々向上しており、収入未済額の圧縮も図られた。今後も納税環境の整備、現年度の初期滞納や少額滞納の予防を図るとともに、滞納整理の早期着手により、引き続き収入未済額の圧縮に努める。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市税現年度収納率(%)</td> <td>99.02</td> <td>99.36</td> </tr> </tbody> </table>				税 目	納付方法	人数 (件)	納付額(円)	利用率(%)		対前年度比	H29	H30	市県民税	口座振替	15,231	577,355,248	8.40	7.94	△ 0.46	コンビニ納付	12,997	231,992,296	3.03	3.19	0.16	窓口・特徴・他		6,461,915,159	88.57	88.87	0.30	固定資産税 都市計画税	口座振替	154,642	2,818,238,100	43.36	43.23	△ 0.13	コンビニ納付	41,513	398,635,312	5.79	6.11	0.32	窓口・他		3,302,653,143	50.85	50.66	△ 0.19	軽自動車税	口座振替	15,105	84,599,400	26.06	25.65	△ 0.41	コンビニ納付	14,420	104,745,203	29.38	31.68	2.30	窓口・他		139,796,055	44.56	42.47	△ 2.09	国民健康保険税	口座振替	43,915	1,077,435,200	49.28	48.27	△ 1.01	コンビニ納付	20,628	333,441,587	13.48	14.94	1.46	窓口・他		821,119,446	37.24	36.79	△ 0.45	合 計	口座振替	228,893	4,557,627,948	28.70	27.87	△ 0.83	コンビニ納付	89,558	1,068,814,398	6.18	6.54	0.36	窓口・特徴・他		10,725,483,803	65.12	65.59	0.47		調定額(円)	収入済額(円)	H29収納率(%)	H30収納率(%)	対前年度比	市税	現年度分	13,208,496,406	13,124,373,461	99.16	99.36	0.20	過年度分	566,108,027	119,675,044	23.28	21.14	△ 2.14	合 計	13,774,604,433	13,244,048,505	95.27	96.15	0.88	国保税	現年度分	2,206,716,600	2,097,239,608	94.76	95.04	0.28	過年度分	591,158,029	134,756,625	21.42	22.80	1.38	合 計	2,797,874,629	2,231,996,233	78.29	79.77	1.48	評価指標(単位)	目標	実績	市税現年度収納率(%)	99.02	99.36
税 目	納付方法	人数 (件)	納付額(円)	利用率(%)					対前年度比																																																																																																																																																					
				H29	H30																																																																																																																																																									
市県民税	口座振替	15,231	577,355,248	8.40	7.94	△ 0.46																																																																																																																																																								
	コンビニ納付	12,997	231,992,296	3.03	3.19	0.16																																																																																																																																																								
	窓口・特徴・他		6,461,915,159	88.57	88.87	0.30																																																																																																																																																								
固定資産税 都市計画税	口座振替	154,642	2,818,238,100	43.36	43.23	△ 0.13																																																																																																																																																								
	コンビニ納付	41,513	398,635,312	5.79	6.11	0.32																																																																																																																																																								
	窓口・他		3,302,653,143	50.85	50.66	△ 0.19																																																																																																																																																								
軽自動車税	口座振替	15,105	84,599,400	26.06	25.65	△ 0.41																																																																																																																																																								
	コンビニ納付	14,420	104,745,203	29.38	31.68	2.30																																																																																																																																																								
	窓口・他		139,796,055	44.56	42.47	△ 2.09																																																																																																																																																								
国民健康保険税	口座振替	43,915	1,077,435,200	49.28	48.27	△ 1.01																																																																																																																																																								
	コンビニ納付	20,628	333,441,587	13.48	14.94	1.46																																																																																																																																																								
	窓口・他		821,119,446	37.24	36.79	△ 0.45																																																																																																																																																								
合 計	口座振替	228,893	4,557,627,948	28.70	27.87	△ 0.83																																																																																																																																																								
	コンビニ納付	89,558	1,068,814,398	6.18	6.54	0.36																																																																																																																																																								
	窓口・特徴・他		10,725,483,803	65.12	65.59	0.47																																																																																																																																																								
	調定額(円)	収入済額(円)	H29収納率(%)	H30収納率(%)	対前年度比																																																																																																																																																									
市税	現年度分	13,208,496,406	13,124,373,461	99.16	99.36	0.20																																																																																																																																																								
	過年度分	566,108,027	119,675,044	23.28	21.14	△ 2.14																																																																																																																																																								
	合 計	13,774,604,433	13,244,048,505	95.27	96.15	0.88																																																																																																																																																								
国保税	現年度分	2,206,716,600	2,097,239,608	94.76	95.04	0.28																																																																																																																																																								
	過年度分	591,158,029	134,756,625	21.42	22.80	1.38																																																																																																																																																								
	合 計	2,797,874,629	2,231,996,233	78.29	79.77	1.48																																																																																																																																																								
評価指標(単位)	目標	実績																																																																																																																																																												
市税現年度収納率(%)	99.02	99.36																																																																																																																																																												
備考	<p>○主な特定財源 督促手数料 2,039,420円 県民税徴収交付金(県) 166,880,587円 延滞金 20,064,035円</p>																																																																																																																																																													

款 項 目	2款 総務費	2項 徴税費	3目 徴収費	= 予 算 所 属 = 総務部納税課																																																																					
事 業 名	特別滞納整理事業																																																																								
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																					
969,000円	538,743円	0円	430,257円	55.6%																																																																					
目 的・趣 旨	市民間の公平な税等の負担と安定した財政基盤の確保を図るため、大口滞納や徴収困難事案の滞納整理を強力に進める。																																																																								
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 預貯金等財産調査並びに債権・動産の差押えを積極的に進めた。</p> <p>(2) インターネット公売及び庄内管内市町と合同公売会を実施した。</p> <p>(3) 徴収事務に関わる職員への実務研修を行ないスキル向上を図った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 税負担の公平性を確保するため、債権等の差押えを実施した。 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>債権</th> <th>不動産</th> <th>動産</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>439</td> <td>2</td> <td>12</td> <td>453</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>684</td> <td>1</td> <td>41</td> <td>726</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>879</td> <td>0</td> <td>29</td> <td>908</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,010</td> <td>0</td> <td>49</td> <td>1,059</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 差押えた物件を公売し、市税等に充当した。 (単位：件、円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">回数</th> <th colspan="2">出品延べ件数</th> <th colspan="2">落札件数</th> <th rowspan="2">落札額</th> <th rowspan="2">税等充当額</th> </tr> <tr> <th>動産</th> <th>不動産</th> <th>動産</th> <th>不動産</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>7</td> <td>47</td> <td>0</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>181,061</td> <td>176,461</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>7</td> <td>69</td> <td>4</td> <td>44</td> <td>0</td> <td>439,872</td> <td>427,872</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>9</td> <td>47</td> <td>6</td> <td>25</td> <td>0</td> <td>405,822</td> <td>395,722</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>11</td> <td>87</td> <td>6</td> <td>43</td> <td>0</td> <td>526,612</td> <td>511,712</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 研修実績等 ・ 8月1日～3日 東京税務協会主催「東京税務セミナー（基礎）」 東京都 1名参加</p> <p>○評価・方向性 大口滞納や徴収困難事案への積極的な取り組みにより、市税全体の収入未済額は5年前の平成25年度に比べて42%まで圧縮した。今後も、研修成果を踏まえた債権の回収を図るとともに、収納率の向上と収入未済額の圧縮に取り組んでいく。</p>				年度	債権	不動産	動産	計	H27	439	2	12	453	H28	684	1	41	726	H29	879	0	29	908	H30	1,010	0	49	1,059	年度	回数	出品延べ件数		落札件数		落札額	税等充当額	動産	不動産	動産	不動産	H27	7	47	0	23	0	181,061	176,461	H28	7	69	4	44	0	439,872	427,872	H29	9	47	6	25	0	405,822	395,722	H30	11	87	6	43	0	526,612	511,712
年度	債権	不動産	動産	計																																																																					
H27	439	2	12	453																																																																					
H28	684	1	41	726																																																																					
H29	879	0	29	908																																																																					
H30	1,010	0	49	1,059																																																																					
年度	回数	出品延べ件数		落札件数		落札額	税等充当額																																																																		
		動産	不動産	動産	不動産																																																																				
H27	7	47	0	23	0	181,061	176,461																																																																		
H28	7	69	4	44	0	439,872	427,872																																																																		
H29	9	47	6	25	0	405,822	395,722																																																																		
H30	11	87	6	43	0	526,612	511,712																																																																		
	評価指標（単位）		目標	実績																																																																					
	市税過年度収納率（%）		22.03	21.14																																																																					
備 考	○主な特定財源 滞納処分費 14,900円																																																																								

款 項 目	2款 総務費	2項 徴税費	3目 徴収費	= 予 算 所 属 = 総務部納税課
事 業 名	債権管理研修事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
181,000円	179,240円	0円	1,760円	99.0%
目 的・趣 旨	滞納解消による歳入確保など市全体の適正な債権管理を図ることを目的とする。			
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>市債権の収入未済額の圧縮に向けて、条例や規則、滞納整理マニュアルに即したテキストによる解説など、実際の業務に役立つ研修会を開催し、税及び税外債権担当職員のスキルアップを図った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 開催日時 平成30年9月27日（木）9：00～17：00</p> <p>(2) 開催場所 酒田市役所 3階 第1・2委員会室</p> <p>(3) 内 容 債権管理・回収に関する基礎的実務研修</p> <p>(4) 講 師 公益財団法人 東京税務協会 新部 義博</p> <p>(5) 参 加 者 43名（債権管理担当課14名、納税課16名、庄内管内市町13名）</p> <p>○評価・方向性 債権管理に関する研修を受講する機会が少ない職員にとって、当市の条例や財務規則に即したわかりやすい研修内容であった。個別相談や質疑応答により、実際の業務に直接役立つものとなった。今後とも研修を通して職員の育成を図っていく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	研修会参加人数（人）		50	43
備 考				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	5目 企画費	= 予算所属 = 企画部企画調整課
事業名	庄内地区中高一貫教育校設置に係る懇談会開催事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
151,000円	147,618円	0円	3,382円	97.8%
目的・趣旨	山形県教育委員会教育長より本市に対し庄内地区への中高一貫教育校の設置に係る意向調査があったことから、当該調査への回答にあたり、庄内地区中高一貫教育校設置に係る懇談会を設置し、有識者等の意見を聴取する。			
事業内容	<p>○事業内容 庄内地区中高一貫教育校設置に係る懇談会（委員9名）を設置し、有識者等の意見を取りまとめ、酒田市長に対し懇談会の意見のまとめを提出した。</p> <p>○事業実績・説明 （1）第1回懇談会 日 時：平成30年10月25日 19:00～21:00 場 所：酒田市公益研修センター2階 中研修室2 出席者：委員8名（欠席委員1名）、山形県出席者2名、酒田市出席者6名 傍聴者：2名 会議の概要：山形県による中高一貫教育の説明、質疑応答、意見交換 （2）第2回懇談会 日 時：平成30年11月20日 19:00～20:20 場 所：酒田市公益研修センター2階 中研修室2 出席者：委員8名（欠席委員1名）、酒田市出席者5名 傍聴者：2名 会議の概要：庄内地区への中高一貫教育校設置について協議 （3）第3回懇談会 日 時：平成30年12月11日 19:00～19:55 場 所：酒田市公益研修センター2階 中研修室2 出席者：委員8名（欠席委員1名）、酒田市出席者5名 傍聴者：5名 会議の概要：意見のまとめについて （4）意見のまとめ 平成30年12月19日付けで酒田市長に対し、「庄内地区中高一貫教育校設置に係る懇談会 意見のまとめ」を提出した。</p> <p>○評価・方向性 山形県教育委員会教育長からの当該意向調査の回答にあたり、本懇談会の意見のまとめに加え、酒田市教育委員会の考え方、酒田市議会の意見を踏まえた上で回答できたことは、将来の酒田の教育を考える上で有益であったと評価している。 中高一貫教育校については、山形県教育委員会が鶴岡市への設置を決定したが、引き続き酒田市教育委員会と連携し、本市の学校教育の充実に努める。</p>			
事業成果の概要等	評価指標（単位）		目標	実績
			年度内事業の完了	完了
備考				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	5目 企画費	= 予算所属 = 企画部企画調整課
事業名	大学まちづくり地域政策形成事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
7,750,000円	7,750,000円	0円	0円	100.0%
目的・趣旨	東北公益文科大学図書館の図書・資料の整備、学生の街なか活動を促進し、大学と連携した大学まちづくりを推進する。また、酒田市産業振興寄附講座を軸に、IT技術を活用した研究開発や地元企業のIT人材育成等を促進する。			
事業内容	<p>○事業内容 （1）学生、教員、市民が利用する大学図書館の図書・資料の整備を行った。 （2）学生の調査研究活動（フィールドワーク）や、日常生活における街なか活動・交流を促進するため、るんるんバス利用に対する支援を行った。 （3）酒田市産業振興寄附講座を開設し、高度な情報教育によるIT人材育成、IT技術を活用した研究開発に注力するとともに、履修証明プログラムの開設による地元企業のIT人材育成に取り組んだ。</p> <p>○事業実績・説明 （1）大学図書館図書購入業務委託料 1,000,000円 ・357冊の図書・資料を大学図書館に整備（選書・購入業務を大学に委託） （2）大学まちづくり地域政策形成補助金 750,000円 ・交付期間 平成30年4月11日～平成30年12月20日 ・るんるんバス乗車券交付枚数 11,000枚（回数乗車券1,000セット） ・補助金額 750,000円（1,000円×1,000セット×補助割合3/4） （3）産業振興講座開設寄附金 6,000,000円 ・社会人向けに東北公益文科大学履修証明プログラムを実施 ・「情報セキュリティマネジメント」「生活空間情報処理」の2講座を開講 ・受講者数11名</p> <p>○評価・方向性 大学開学時より実施してきた大学図書・資料整備は、これまで約16,000冊を整備したことから、終了とする。 るんるんバス利用に対する支援は、学生の調査研究活動（フィールドワーク）の促進にも資することから、今後も継続する。 産業振興寄附講座は、IT人材育成等、地域の産業振興に資することから、今後も継続していく。</p>			
事業成果の概要等	評価指標（単位）		目標	実績
	産業振興寄附講座履修証明プログラム受講人数（人）		5	11
備考				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	5目 企画費	= 予算所属 = 企画部企画調整課	
事業名	地域連携人材育成事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
375,000円	353,122円	0円	21,878円	94.2%	
目的・趣旨	東北公益文科大学・酒田光陵高等学校・市の三者で締結した連携協定を軸に、酒田光陵高等学校の先駆的な取り組み等に対して支援することにより、地域を先導する人材育成を強化する。				
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 東北公益文科大学と連携したグローバル人材の育成</p> <p>(2) 高校生の起業実践型事業支援による人材の育成</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) グローバル・セミナー開催補助金 125,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校生等を対象とするグローバル・セミナー（ネイティブスピーカーによる英語のセミナー）の開催を支援した。9月29日に公益大を会場に開催し、高校生22名が参加した。 グローバル・レクチャー（高校生以外でも参加できる英語の講座）の開催を2回開催し、延べ20名（うち公益大生13名）が参加した。 <p>(2) 高校生のビジネス実践型事業への支援 228,122円</p> <ul style="list-style-type: none"> 酒田光陵高等学校ビジネス流通科における先駆的なビジネス実践型事業を支援した。 <p>○評価・方向性</p> <p>グローバル・セミナーは、グローバル人材の育成に資するとともに、東北公益文科大学の国際性を高めることに繋がることから、継続する。</p> <p>東北公益文科大学・酒田光陵高等学校・市の三者連携協定を軸とした、先駆的なビジネス実践型事業への支援については、人材育成に成果があったものと評価する。今後は民間事業者との連携も含め、三者であり方を検討する。</p> <p>なお、成果指標として「地域理解プログラム参加人数」を位置づけたが、県が類似事業を実施したため、本事業の実績は無い。</p>				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	地域理解プログラム参加人数（大学生・高校生）（人）		60	0	
備考	○主な特定財源 人づくり基金繰入金 353,122円				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	5目 企画費	= 予算所属 = 企画部企画調整課	
事業名	東北公益文科大学学生定住促進事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
6,959,000円	6,854,641円	0円	104,359円	98.5%	
目的・趣旨	本市から東北公益文科大学に進学した学生及び入学をきっかけに本市に在住することになった学生に対し、本市定住を促進するため、大学卒業後の奨学金返還を支援する。				
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>卒業生が返済する奨学金相当額を卒業生本人に対し、補助金として交付する。また、その資金を基金に積み立てる。</p> <p>(1) 支援対象者の主な要件</p> <p>東北公益文科大学を卒業又は同大学院を修了後、本市に住民登録し就業している者</p> <p>(2) 支援額</p> <p>1人当たり54万円（大学院修了者は72万円）を上限とする奨学金返還に要した額（ただし、年度の上限額18万円（大学院修了者は24万円））</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 支援対象者本人への補助金交付 1,454,641円</p> <p>平成28～29年度卒業生の対象候補者15人中、上記要件を満たした10人分について奨学金の返還に要する額を補助金として交付した。</p> <p>(2) 基金積立</p> <p>平成30年度の卒業生の対象候補者認定に向け10人分の返還支援に要する額を積み立てた。</p> <p>540,000円 / 1人 × 10人 = 5,400,000円</p> <p>※平成30年度卒業生の対象候補者数（平成31年3月認定）：7人</p> <p>○評価・方向性</p> <p>補助金の交付を受けた10人中、7人が本市以外の出身学生であり、卒業生の本市定住について、成果が得られたと評価する。今後も本事業の一層の周知に努め、学生の本市定住を促進する。</p>				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	東北公益文科大学学生奨学金返還支援制度申込者数（人）		10	7	
備考	○主な特定財源 企業版ふるさと納税寄附金 2,700,000円 東北公益文科大学学生定住促進基金利子 11,050円 東北公益文科大学学生定住促進基金繰入金 1,443,591円、人づくり基金繰入金 2,700,000円				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	5目 企画費	= 予算所属 = 企画部企画調整課																																																											
事業名	庄内空港振興事業																																																														
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																										
6,181,000円	6,179,319円		0円	1,681円	99.9%																																																										
目的・趣旨	庄内空港は地域経済発展の基盤であり、ビジネス及び観光の拠点として大きな役割を担っている。庄内空港の利便性を向上させ、空港利用者の拡大に寄与する事業を庄内空港利用振興協議会を通じて展開する。																																																														
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>庄内空港の利用拡大及び運航拡充を図るため、庄内空港利用振興協議会等に負担金を支出し、庄内空港の利用促進につながる要望活動や広報宣伝事業を実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 庄内空港利用振興協議会の活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日本空輸株式会社、国土交通省への要望 ・旅行商品造成に対する助成 ・チャーター便（国際・国内）を利用した旅行商品造成に対する助成 ・定期便・チャーター便を利用した教育旅行に対する助成 ・個人旅行の利用拡大を図る個人旅行者向け助成 ・ビジネスにおける利用拡大を図る中小企業者向け助成 ・レンタカー観光目的利用者に対する助成 <p>(2) 東京線の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年</th> <th>平成27年</th> <th>平成28年</th> <th>平成29年</th> <th>平成30年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>367,347人</td> <td>363,282人</td> <td>379,310人</td> <td>390,297人</td> <td>385,477人</td> </tr> <tr> <td>搭乗率</td> <td>65.5%</td> <td>68.4%</td> <td>67.1%</td> <td>66.5%</td> <td>72.7%</td> </tr> <tr> <td>欠航便数</td> <td>44便</td> <td>22便</td> <td>22便</td> <td>48便</td> <td>85便</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) チャーター便の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">国際チャーター便</th> <th colspan="3">国内チャーター便</th> </tr> <tr> <th>平成28年</th> <th>平成29年</th> <th>平成30年</th> <th>平成28年</th> <th>平成29年</th> <th>平成30年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>910人</td> <td>780人</td> <td>2,120人</td> <td>848人</td> <td>755人</td> <td>1,644人</td> </tr> <tr> <td>便数</td> <td>6便</td> <td>6便</td> <td>16便</td> <td>17便</td> <td>11便</td> <td>33便</td> </tr> <tr> <td>主な内訳</td> <td>台北 4便 仁川 2便</td> <td>仁川 6便</td> <td>台北 16便</td> <td>鹿児島2便 静岡 2便</td> <td>広島 4便 出雲 2便</td> <td>鹿児島15便 広島 10便</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>前年と比較し、中型機の運航便数が減少したことから、高い搭乗率となった。また、欠航便数が増加したことから、利用者数は減少した。</p> <p>東京線の年間利用者数40万人に向けて、機材の大型化や利便性の高いダイヤ設定を要望していくとともに、LCCの誘致を要望するなど、利用者の更なる増加を促す取り組みを実施していく。</p>						平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	利用者数	367,347人	363,282人	379,310人	390,297人	385,477人	搭乗率	65.5%	68.4%	67.1%	66.5%	72.7%	欠航便数	44便	22便	22便	48便	85便		国際チャーター便			国内チャーター便			平成28年	平成29年	平成30年	平成28年	平成29年	平成30年	利用者数	910人	780人	2,120人	848人	755人	1,644人	便数	6便	6便	16便	17便	11便	33便	主な内訳	台北 4便 仁川 2便	仁川 6便	台北 16便	鹿児島2便 静岡 2便	広島 4便 出雲 2便	鹿児島15便 広島 10便
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年																																																										
利用者数	367,347人	363,282人	379,310人	390,297人	385,477人																																																										
搭乗率	65.5%	68.4%	67.1%	66.5%	72.7%																																																										
欠航便数	44便	22便	22便	48便	85便																																																										
	国際チャーター便			国内チャーター便																																																											
	平成28年	平成29年	平成30年	平成28年	平成29年	平成30年																																																									
利用者数	910人	780人	2,120人	848人	755人	1,644人																																																									
便数	6便	6便	16便	17便	11便	33便																																																									
主な内訳	台北 4便 仁川 2便	仁川 6便	台北 16便	鹿児島2便 静岡 2便	広島 4便 出雲 2便	鹿児島15便 広島 10便																																																									
成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>庄内空港の利用振興にかかる要望活動回数（回）</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>					評価指標（単位）	目標	実績	庄内空港の利用振興にかかる要望活動回数（回）	3	3																																																				
評価指標（単位）	目標	実績																																																													
庄内空港の利用振興にかかる要望活動回数（回）	3	3																																																													
備考																																																															

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	5目 企画費	= 予算所属 = 企画部企画調整課							
事業名	鉄道高速化促進事業										
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
1,291,000円	1,182,467円		0円	108,533円	91.6%						
目的・趣旨	羽越本線、陸羽西線の高速化の実現に向けて、関係機関への要望活動、市民・県民の鉄道利用の促進を図る。										
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会及び隣県の関係団体が連携し、要望活動を実施するとともに、シンポジウムを開催した。また、山形新幹線庄内延伸活動や鉄道利用促進を促進していくため、陸羽西線高速化促進市町村連絡協議会による活動を実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 羽越本線高速化の関係機関への要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内開発協議会要望 庄内総合支庁 5月9日 県庁 5月18日 国土交通省 5月30日 ・酒田市要望 庄内総合支庁 5月15日 県庁 5月21日 <p>(2) 山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会の活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽越本線高速化シンポジウム 主催 山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会ほか 日時・場所 平成30年11月6日 秋田県由利本荘市 文化交流館カダーレ 基調講演 「海と陸の街道から鉄道へ」 講師 NPO法人あぎた地域資源ネットワーク専務理事 鏡 啓記 氏 参加人数 312名 ・羽越本線高速化促進大会 主催 山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会ほか 日時・場所 平成30年11月15日 東京 ルポール麹町 参加人数 316名 <p>(3) 陸羽西線高速化促進市町村連絡協議会の活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会 平成30年10月2日 ・基調講演 日時・場所 平成30年10月2日 庄内町役場 西庁舎3階 大ホール 内容 鉄道利用の観点からみた観光と利用促進 講師 酒田南高等学校 校長 中原 浩子 氏 <p>○評価・方向性</p> <p>羽越本線については、隣県と連携した関係機関への要望活動、シンポジウムの開催等継続した取り組みができています。陸羽西線については、平成31年3月16日のダイヤ改正で列車本数上下線各10本から9本に1本減となったが、今後も沿線自治体が利用促進に向けて連携して取り組んでいく。</p>										
成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県及びJR東日本との意見交換会（回）</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>					評価指標（単位）	目標	実績	県及びJR東日本との意見交換会（回）	3	3
評価指標（単位）	目標	実績									
県及びJR東日本との意見交換会（回）	3	3									
備考											

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	5目 企画費	= 予算所属 = 企画部企画調整課	
事業名	庄内北部定住自立圏形成事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
54,000円	51,686円	0円	2,314円	95.7%	
目的・趣旨	酒田市、三川町、庄内町及び遊佐町が、互いに連携・協力することにより、庄内北部への定住促進、住みやすい地域社会の形成を目的とする庄内北部定住自立圏共生ビジョンを推進する。				
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 庄内北部定住自立圏共生ビジョン（平成27年3月策定）の連携項目に基づき事業を実施するとともに、民間や地域の関係者を構成員とした圏域共生ビジョン懇談会を実施し、連携事業の追加などの改定を行った。</p> <p>○事業実績・説明 （1）庄内北部定住自立圏共生ビジョン ・平成31年1月28日 懇談会 ・平成31年3月29日 改定 （2）平成30年度から新たに連携する事業 ・調剤情報の共有、ネットワーク化（ちょうかいネット）</p> <p>○評価・方向性 取組項目に基づいた40の事業について、成果指標を設け、各町と連携し取り組んでいる。そのうち20の事業については、順調または概ね順調に進捗していると評価しているが、13の事業については、目標値に達していないことから、事業等の見直しが必要と考えている。 令和元年度は、庄内北部定住自立圏共生ビジョンの最終年度となることから、次期ビジョン策定に向けて3町と連携して進めていく。</p>				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	新たに連携を開始する事業数（事業）		2	1	
備考					

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	6目 都市デザイン費	= 予算所属 = 企画部都市デザイン課	
事業名	酒田コミュニケーションポ-ト（仮称）整備事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
698,000円	466,134円	0円	231,866円	66.8%	
目的・趣旨	酒田駅前再開発に伴い導入する公共施設（酒田コミュニケーションポ-ト（仮称））の整備・開館に向けた事業調整、準備業務等を実施する。				
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 平成30年度からの酒田駅前再開発の本格的工事着工に伴い、整備基本計画（H29策定）、実施計画（H30策定）等を踏まえながら、酒田コミュニケーションポ-ト（仮称）の円滑な整備・開館に向けた事業調整、準備業務等を実施する。</p> <p>○事業実績・説明 （1）施設整備・充実に必要な資料制作、設計協議等を実施した。 （2）酒田コミュニケーションポ-ト（仮称）に導入予定であるカフェ運営事業の諸条件の整理を行うため、関心ある民間事業者から広く意見、提案を求めるサウンディング調査を実施した。 （3）酒田駅前再開発に伴い設置する（仮称）酒田市コミュニケーションポ-トの管理に関する条例を制定した。</p> <p>○評価・方向性 設計内容の見直し等により着工が遅れたため、事業進捗率は目標を下回ったが、今後も開館に向けた事業調整・準備業務等を進めると共に、市民の機運醸成に資する事業を実施していく。</p>				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	事業進捗率（%）		28	15	
備考					

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	6目 都市デザイン費	= 予算所属 = 企画部都市デザイン課
事業名	駅周辺整備事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
593,546,000円	160,718,304円	431,414,000円	1,413,696円	27.1%
目的・趣旨	酒田駅周辺地区の賑わいを創出し、活性化を図り、本市の玄関口として相応しい持続可能なまちづくりを行う。			
事業内容	<p>○事業内容 酒田駅前地区第一種市街地再開発事業の施行者が行う業務に対し、補助金交付や事業推進の協力をを行った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 補助金の交付 ・ 施行者名 光の湊株式会社 ・ 補助金名 酒田市市街地再開発事業費補助金 ・ 事業内容 90条登記業務、工事監理業務、新築工事（共同施設整備） ・ 事業費 203,036,760円 ・ 補助金 159,990,000円 ※翌年度繰越明許費 431,414,000円 ・ 内訳（国） 79,995,000円 ※翌年度繰越明許費 215,707,000円 （県） 16,828,000円 ※翌年度繰越明許費 43,141,000円 （市） 63,167,000円 ※翌年度繰越明許費 172,566,000円</p> <p>(2) 事業の推進 ・ 実施設計の概要パネル展示（平成30年5月14日～6月15日） ・ 仕様や構造等の修正による着工時期の変更</p> <p>(3) 工事発注等 ・ 入札公告 平成30年12月12日（条件付き一般競争入札） ・ 参加資格 3社以上で構成する特定建設工事共同企業体（一定要件の大手企業を代表とし、2社は酒田市の建築一式の格付けAである企業） ・ 落札者 西松・大場・菅原特定建設工事共同企業体 ・ 契約工期 平成31年1月25日から令和4年3月31日まで ・ 予定価格 8,692,009,560円（税込み） ・ 契約金額 8,654,040,000円（税込み） ・ 工事状況 杭地業工事</p> <p>(4) 債務負担行為の設定 ・ 酒田コミュニケーションポート（仮称）等購入費に係る債務負担行為 29.7億円</p> <p>○評価・方向性 設計内容の見直し等により着工が遅れたため、事業進捗率は目標を下回ったが、駅前周辺地区の賑わい創出を目指し、施行者と協力しながら市街地再開発事業の確実な進捗を図っていく。</p>			
事業成果の概要等	評価指標（単位）		目標	実績
	事業進捗率（%）		28	15
備考	<p>○主な特定財源 社会資本整備総合交付金（国） 79,995,000円 市街地再開発事業等補助金（県） 16,828,000円 合併特例事業債（市債） 60,000,000円</p>			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	6目 都市デザイン費	= 予算所属 = 企画部都市デザイン課
事業名	（繰越明許費）駅周辺整備事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
169,972,000円	169,972,000円	0円	0円	100.0%
目的・趣旨	酒田駅周辺地区の賑わいを創出し、活性化を図り、本市の玄関口として相応しい持続可能なまちづくりを行う。			
事業内容	<p>○事業内容 酒田駅前地区第一種市街地再開発事業の施行者が行う業務に対し支援を行った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 補助金の交付 ・ 施行者名 光の湊株式会社 ・ 補助金名 酒田市市街地再開発事業費補助金 ・ 事業内容 権利者補償、民家解体工事 ・ 事業費 195,322,241円 ・ 補助金 169,972,000円 ・ 内訳（国） 84,986,000円 （県） 16,997,000円 （市） 67,989,000円</p> <p>○評価・方向性 設計内容の見直し等により着工が遅れたため、事業進捗率は目標を下回ったが、駅前周辺地区の賑わい創出を目指し、施行者と協力しながら市街地再開発事業の確実な進捗を図っていく。</p>			
事業成果の概要等	評価指標（単位）		目標	実績
	事業進捗率（%）		28	15
備考	<p>○主な特定財源 社会資本整備総合交付金（国） 84,986,000円 市街地再開発事業等補助金（県） 16,997,000円 合併特例事業債（市債） 64,500,000円</p>			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	6目 都市デザイン費	= 予算所属 = 企画部都市デザイン課
事業名	新産業会館整備支援事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
58,482,000円	58,482,000円	0円	0円	100.0%
目的・趣旨	酒田商工会議所が実施する酒田中町二丁目地区第一種市街地再開発事業（産業会館の改築）に対し支援を行う。			
事業成果の概要等	<p>○事業内容 酒田中町二丁目地区第一種市街地再開発事業の施行者が行う業務に対し、支援を行った。</p> <p>○事業実績・説明 （1）補助金の交付 ・ 施行者名 酒田商工会議所 ・ 補助金名 酒田市市街地再開発事業費補助金 ・ 事業内容 権利変換計画作成業務、審査員報酬、権利者補償 ・ 事業費 93,594,912円 ・ 補助金 58,482,000円 ・ 内訳（国） 29,241,000円 （県） 9,295,000円 （市） 19,946,000円 （2）事業の推進 ・ 施行認可日（平成30年5月31日） ・ 権利変換計画認可日（平成31年3月27日）</p> <p>○評価・方向性 計画どおり事業を進めることができている。今後も都市機能の郊外や市外への流出等によるまちの空洞化の防止を図るため、老朽化した産業会館を改築し、金融・事業者向けサービスの拠点づくりや、まちを繋ぐ回遊地点として中心市街地の都市機能の向上に資する本事業に対し、引き続き支援を行っていく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	事業進捗率（%）		12	12
備考	<p>○主な特定財源 社会資本整備総合交付金（国） 29,241,000円 市街地再開発事業等補助金（県） 9,295,000円 公共事業等債（市債） 17,900,000円</p>			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	6目 都市デザイン費	= 予算所属 = 企画部都市デザイン課
事業名	（繰越明許費）新産業会館整備支援事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
43,752,000円	39,960,000円	0円	3,792,000円	91.3%
目的・趣旨	酒田商工会議所が実施する酒田中町二丁目地区第一種市街地再開発事業（産業会館の改築）に係る支援を行う。			
事業成果の概要等	<p>○事業内容 酒田中町二丁目地区第一種市街地再開発事業の施行者が行う業務に対し、支援を行った。</p> <p>○事業実績・説明 （1）補助金の交付 ・ 施行者名 酒田商工会議所 ・ 補助金名 酒田市市街地再開発事業費補助金 ・ 事業内容 実施設計業務、地盤調査業務、土地鑑定評価時点修正業務、建物補償再積算業務 ・ 事業費 64,833,426円 ・ 補助金 39,960,000円 ・ 内訳（国） 19,980,000円 （県） 9,990,000円 （市） 9,990,000円 ・ 不用額発生理由 請負差額が生じたため</p> <p>○評価・方向性 計画どおり事業を進めることができている。今後も都市機能の郊外や市外への流出等によるまちの空洞化の防止を図るため、老朽化した産業会館を改築し、金融・事業者向けサービスの拠点づくりや、まちを繋ぐ回遊地点として中心市街地の都市機能の向上に資する本事業に対し、引き続き支援を行っていく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	事業進捗率（%）		12	12
備考	<p>○主な特定財源 社会資本整備総合交付金（国） 19,980,000円 市街地再開発事業等補助金（県） 9,990,000円 公共事業等債（市債） 8,900,000円</p>			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	6目 都市デザイン費	= 予算所属 = 企画部都市デザイン課	
事 業 名	まちづくりリコンソーシアム事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
435,000円	256,664円	0円	178,336円	59.0%	
目的・趣旨	産業都市・交流都市としてのまちづくりを進めていくため、各分野の有識者と意見交換を行う場を設置する。 また、山居倉庫の文化財調査と連携しながら、山居倉庫周辺整備の事業構想を検討する。				
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 本市のまちづくりを進めていくため、各分野の有識者と意見交換を行う。</p> <p>(2) 山居倉庫周辺（山居倉庫・酒田商業高校跡地・消防本署跡地）の一体的な整備に向け、山居倉庫の文化財調査と連携を図るとともに、有識者（まちづくりコーディネーター）と意見交換を行いながら、事業の組み立てを検討していく。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>酒田商業高校跡地の活用について、有識者、商工会議所、JA全農山形等の関係団体との意見交換及び先進事例・取組の調査を行った。</p> <p>○評価・方向性</p> <p>各分野の有識者や、関係団体との意見交換を繰り返してきた。山居倉庫の国史跡指定に向けた調査と連動して、酒田商業高校跡地を含めた未利用地の一体的な整備に向け、民間と連携した公共空間の活用方策を検討し、方針をとりまとめる。</p>				
	評価指標（単位）		目標	実績	
			事業構想の策定	策定中	
備考					

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	8目 情報化推進費	= 予算所属 = 企画部情報管理課	
事 業 名	イントラネット設備等整備事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
43,388,000円	42,959,624円	0円	428,376円	99.0%	
目的・趣旨	本市の情報ネットワークの安定運用を維持するため、定期的なシステム更新や機器の更新を図る。				
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>老朽化したパソコンの更新や、サポートが終了するOfficeソフトの更新を行った。 また、個々のサーバを一つの機器に仮想的に集約・統合できる環境を構築し、老朽化したサーバ機器の効率的な更新を図った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 各種システム管理サーバ更新設定等作業 委託料 33,080,940円 ・元号改正に伴うシステム改修やグループウェアシステムのソフトウェア更新等を行った。</p> <p>(2) 各種サーバ機器・パソコンの更新 借上料 5,952,884円 ・仮想基盤へのサーバ統合や業務用パソコンの更新を行った。</p> <p>(3) オフィスソフト等のライセンス更新 備品購入費 3,925,800円 ・マイクロソフトサーバアクセスライセンスの更新や、サポートが終了するOfficeソフト等の更新を行った。</p> <p>○評価・方向性</p> <p>仮想基盤へサーバを集約・統合したことにより老朽化した機器の効率的な更新が可能となった。 今後も情報セキュリティ対策を講じるとともに酒田市情報ネットワークの安定運用に努める。</p>				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	事業進捗率（%）		100	100	
備考					

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	8目 情報化推進費	= 予算所属 = 企画部情報管理課
事業名	個人番号制度に係るシステム連携事業（統合宛名システム等）			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
4,789,000円	4,788,272円	0円	728円	99.9%
目的・趣旨	個人番号の情報連携開始後の制度改正やシステム改修に迅速に対応し、システムの安定稼働を図る。			
事業成果の概要等	<p>○事業内容 個人番号制度における他組織との情報連携について、安定稼働維持のため保守業務を行った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 番号制度対応システム等保守業務委託 委託料 2,212,272円 ・個人番号の連携に係るシステム保守業務を行った。</p> <p>(2) 中間サーバプラットフォーム利用に係る負担金 負担金 2,576,000円 ・地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が運営する中間サーバプラットフォームを共同利用するための負担金を支払った。</p> <p>○評価・方向性 個人番号情報連携開始後の運用について、安定的な稼働を維持することができた。今後も個人番号情報連携の安定稼働を図る。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	事業進捗率（%）		100	100
備考				

款 項 目	2款 総務費	5項 統計調査費	2目 委託統計調査費	= 予算所属 = 企画部情報管理課																								
事業名	委託統計調査事業																											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																								
6,190,000円	5,736,489円	0円	453,511円	92.7%																								
目的・趣旨	国から委託される統計調査を円滑に実施するための経費である。																											
事業成果の概要等	<p>○事業内容 基幹統計調査のほか、統計調査員確保対策事業、2019年度経済センサスや令和2年国勢調査等の基礎調査、準備作業を実施した。 平成30年度に実施した基幹統計調査は次のとおり。</p> <p>(1) 工業統計調査 製造業を営む事業所を対象に毎年実施され、工業の実態を明らかにするため、資本金、経営組織、従業者数、製造品出荷額、給与総額等について調査した。</p> <p>(2) 住宅・土地統計調査 5年ごとに実施され、住宅とそこに居住している世帯、住宅以外の建物に居住する世帯の実態を把握するため、土地及び建物に関する所有関係、面積、構造、世帯構成、年間収入、入居時期等について調査した。</p> <p>(3) 漁業センサス 5年ごとに実施され、漁業の基本的生産構造、就業構造及び漁業生産を明らかにするため、経営状態、漁船の状況、生産構成、漁業従事者世帯状況、漁業就業者数、組合員数等を調査した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基幹統計調査名</th> <th>工業統計調査</th> <th>住宅・土地統計調査</th> <th>漁業センサス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査の期日</td> <td>平成30年6月1日現在</td> <td>平成30年10月1日現在</td> <td>平成30年11月1日現在</td> </tr> <tr> <td>委託金</td> <td>529,636円</td> <td>4,245,537円</td> <td>428,899円</td> </tr> <tr> <td>指導員数</td> <td>1名</td> <td>10名</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>調査員数</td> <td>18名</td> <td>60名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>調査客体等</td> <td>307事業所</td> <td>2,391件</td> <td>86件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 統計調査員の高齢化等の課題がある中、委託統計調査を円滑かつ適切に実施することができた。 今後も市統計調査員協議会等と連携し、調査員の質と量の確保を図りながら、円滑かつ適切な統計調査の実施に努める。</p>				基幹統計調査名	工業統計調査	住宅・土地統計調査	漁業センサス	調査の期日	平成30年6月1日現在	平成30年10月1日現在	平成30年11月1日現在	委託金	529,636円	4,245,537円	428,899円	指導員数	1名	10名	-	調査員数	18名	60名	8名	調査客体等	307事業所	2,391件	86件
	基幹統計調査名	工業統計調査	住宅・土地統計調査	漁業センサス																								
	調査の期日	平成30年6月1日現在	平成30年10月1日現在	平成30年11月1日現在																								
委託金	529,636円	4,245,537円	428,899円																									
指導員数	1名	10名	-																									
調査員数	18名	60名	8名																									
調査客体等	307事業所	2,391件	86件																									
評価指標（単位）		目標	実績																									
当該委託統計調査の実施		指定日までの調査完了	調査完了																									
備考	<p>○主な特定財源 統計調査業務委託金（県） 5,268,489円 市町村総合交付金（調査員確保対策事業）（県） 468,000円</p>																											

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	12目 交流推進費	= 予算所屬 = 地域創生部交流観光課																																	
事業名	ふるさと納税推進事業																																				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																	
1, 270, 343, 000 円	1, 239, 820, 675 円	0 円	30, 522, 325 円	97. 6 %																																	
目的・趣旨	ふるさと納税を推進することにより市の財源確保を図り、あわせて市の特産物のPRを行う。																																				
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>ふるさと納税により10,000円以上の寄附をしていただいた方（市外の方に限る）に対し、市の特産品をお礼として送付する。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 寄附件数 84,792件</p> <p>(2) 寄附金額 1,280,414,629円 (内ガバメントクラウドファンディング 3,050,000円)</p> <p>(3) 報償費 613,019,305円</p> <p>(4) 返礼品の件数 91,645件</p> <p>(5) 希望の多かった主な返礼品</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>返礼品名</th> <th>寄附件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>平成30年産米 つや姫15kg</td> <td>16,580件</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>平成30年産米 はえぬき15kg</td> <td>4,084件</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>平成30年産米 つや姫・コシヒカリ・はえぬき各5kg</td> <td>2,995件</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>平成30年産米 無洗米はえぬき15kg(5kg×3)</td> <td>2,785件</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>平成30年産米 つや姫・はえぬき・ひとめぼれ各5kg</td> <td>2,382件</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>平成30年産米 はえぬき・コシヒカリ・ひとめぼれ各5kg</td> <td>1,484件</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>冷凍 山形牛肩ロース580gすき焼き用</td> <td>1,437件</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>平成30年産米 升田の米 ササニシキ5kg ひとめぼれ10kg</td> <td>1,048件</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>いつものご飯に使えるセット 庄内豚5kg</td> <td>1,012件</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>定期便 酒田の季節のフルーツ頒布会</td> <td>998件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>総務省通知に基づき返礼品の内容を見直したことで、年度当初は寄附件数が減少したが、ポータルサイトを増やしたり、多種多様な返礼品を用意するなどの対応により、当初の目標を大きく上回る寄附を募ることができた。今後も引き続き酒田市を応援していただけるよう、寄附金の使い道の公表やガバメントクラウドファンディングなどの取り組みを積極的に行っていく。</p> <p>また、多くの方から酒田市を訪れていただけるような内容の返礼品など、より魅力的な返礼品の開発に返礼品提供事業者と協力して取り組んでいく。</p>					返礼品名	寄附件数	1	平成30年産米 つや姫15kg	16,580件	2	平成30年産米 はえぬき15kg	4,084件	3	平成30年産米 つや姫・コシヒカリ・はえぬき各5kg	2,995件	4	平成30年産米 無洗米はえぬき15kg(5kg×3)	2,785件	5	平成30年産米 つや姫・はえぬき・ひとめぼれ各5kg	2,382件	6	平成30年産米 はえぬき・コシヒカリ・ひとめぼれ各5kg	1,484件	7	冷凍 山形牛肩ロース580gすき焼き用	1,437件	8	平成30年産米 升田の米 ササニシキ5kg ひとめぼれ10kg	1,048件	9	いつものご飯に使えるセット 庄内豚5kg	1,012件	10	定期便 酒田の季節のフルーツ頒布会	998件
		返礼品名	寄附件数																																		
	1	平成30年産米 つや姫15kg	16,580件																																		
	2	平成30年産米 はえぬき15kg	4,084件																																		
	3	平成30年産米 つや姫・コシヒカリ・はえぬき各5kg	2,995件																																		
	4	平成30年産米 無洗米はえぬき15kg(5kg×3)	2,785件																																		
	5	平成30年産米 つや姫・はえぬき・ひとめぼれ各5kg	2,382件																																		
	6	平成30年産米 はえぬき・コシヒカリ・ひとめぼれ各5kg	1,484件																																		
	7	冷凍 山形牛肩ロース580gすき焼き用	1,437件																																		
	8	平成30年産米 升田の米 ササニシキ5kg ひとめぼれ10kg	1,048件																																		
9	いつものご飯に使えるセット 庄内豚5kg	1,012件																																			
10	定期便 酒田の季節のフルーツ頒布会	998件																																			
	評価指標（単位）	目標	実績																																		
	寄附金額（千円）	600,000	1,280,414																																		
備考																																					

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	12目 交流推進費	= 予算所屬 = 地域創生部交流観光課	
事業名	酒田の魅力発信事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
9, 283, 000 円	9, 209, 975 円	0 円	73, 025 円	99. 2 %	
目的・趣旨	観光や交流の事業に係る政策の推進に関して、本市の魅力発信につながる様々な事業を展開し、本市の魅力を発信することにより、交流人口・関係人口の増加を図る。				
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 東京オリンピック・パラリンピック酒田市ホストタウン推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前キャンプを招致する活動として、おしんレースへのニュージーランド若手選手の招へい等 ニュージーランドの理解を深める活動として、市民向けの情報発信や各種講座等 共生社会を推進するため、障がい者スポーツの周知や心のバリアフリー講演会等 <p>(2) 日本遺産「北前船寄港地」を活用した事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 北前船寄港地・船主集落のストーリーの発信 関係市町で構成する北前船日本遺産推進協議会の連携活動 期間限定プロモーション（NHK大河ドラマ「西郷どん」、河村瑞賢等） 北前船ミュージカル公演開催（わらび座） <p>(3) 酒田市の情報を英語でWeb発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語版酒田市オフィシャルウェブサイトSAKATACITY.COMの活用 酒田光陵高校と連携協力し取材・記事制作を高校生が担い充実を図り内外に発信する。 <p>○事業実績・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック・パラリンピック酒田市ホストタウン推進協議会を中心に、トライアスロンニュージーランド若手選手と市民の交流、ニュージーランドオリンピック委員会の視察受入、NZ&心のバリアフリー講演会等を実施。 北前船日本遺産推進協議会の追加申請部長として、7自治体の追加申請を行うとともに、酒田市日本遺産推進協議会を中心にPR等に努めた。 わらび座ミュージカル「北前ザンブリコ」公演を通して、市内外へ日本遺産「北前船寄港地」の周知を図った。 NHKプラタモリや大河ドラマ西郷どん等において本市を取り上げてもらい、酒田市の知名度向上に繋げることができた。 英語版酒田市オフィシャルウェブサイトSAKATACITY.COMによる情報発信 負担金 <ul style="list-style-type: none"> 北前船日本遺産推進協議会負担金 500,000 円 東京オリパラ酒田市ホストタウン推進協議会負担金 5,350,000 円 酒田市日本遺産推進協議会負担金 2,859,000 円 <p>○評価・方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> オリンピック事前キャンプへつながる動き、積極的な情報提供によるテレビ番組や新聞報道の増加、英語版観光サイトなど、酒田の魅力発信ができています。今後も、パブリシティを意識した事業展開を進めていく。 				
		評価指標（単位）	目標	実績	
		ウェブサイトSAKATACITY.COMのアクセスビュー数（回）	10,000	43,732	
	備考				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	12目 交流推進費	= 予算所属 = 地域創生部交流観光課						
事業名	酒田交流おもてなし市民会議運営事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
1,882,000円	1,882,000円	0円	0円	100.0%						
目的・趣旨	クルーズ船等で酒田市を訪れる観光客を歓迎し、また国内外の都市との交流を通して、酒田市の魅力を発信する。									
事業内容	<p>○事業内容 市外からの観光客等を、市民全員のおもてなしにより歓迎するため、その活動のプラットフォームである「酒田交流おもてなし市民会議」を運営する。</p> <p>○事業実績・説明 平成29年2月に設立 設立当初会員数 延べ152団体・個人 平成31年3月末現在 延べ459団体・個人 設立時から307団体・個人増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折り紙プロジェクト(寄港記念カード作成ボランティア) 約500人参加 ・クルーズ船おもてなし勉強会 2回開催 延べ70人参加 ・高校生インパウンドおもてなし研修会 70人参加 ・お店の外国語対応を一緒に考えます 2店舗 ・高校生のためのクルーズ船対応ワークショップ 43人参加 ・会員向けメールマガジン配信 19回配信 ・クルーズ船寄港時 ふ頭及び中町でマーケット、外国語ボランティアなど 延べ約300人 うち高校生延べ200人 ・さかた観光交流マイスターを認定し、おもてなしのシンボルとして活用 第1号 株式会社平田牧場 酒田舞娘 <p>酒田交流おもてなし市民会議負担金 1,882,000円</p> <p>○評価・方向性 中町にぎわい健康プラザ付近で実施しているクルーズマーケットやふ頭での出店数、体験活動数ともに増加しており、市民各々が酒田市の魅力発信の場や、自らのビジネスチャンスと捉えて活動に参加してきている。 今後も会員の活動を支援し、おもてなしの輪を広げていく。</p>									
概要	酒田交流おもてなし市民会議負担金 1,882,000円									
要件等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田交流おもてなし市民会議会員数(人)</td> <td>500</td> <td>459</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標(単位)	目標	実績	酒田交流おもてなし市民会議会員数(人)	500	459
評価指標(単位)	目標	実績								
酒田交流おもてなし市民会議会員数(人)	500	459								
備考										

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	12目 交流推進費	= 予算所属 = 地域創生部交流観光課						
事業名	国際交流推進事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
3,946,000円	1,442,913円	0円	2,503,087円	36.6%						
目的・趣旨	姉妹都市・友好都市等との国際交流活動を通じ、市民同士の相互理解と友好親善を深めるとともに、国際感覚豊かな人材の育成を図る。									
事業内容	<p>○事業内容 (1) 日口沿岸市長会議、日中友好協会への参加 (2) 姉妹都市・友好都市との交流 (3) 国際親善運営</p> <p>○事業実績・説明 (1) 日口沿岸市長会議、日中友好協会への参加 ・日口沿岸市長会担当課長会議(5月11日燕市、10月17日高岡市) (2) 姉妹都市・友好都市との交流 ・姉妹都市ジェレズノゴルスク・イリムスキー市 ①「国際交流まつりin中町2018」に出展(ジェレズノ会との共同) 日時/9月16日 場所/交流ひろば ロシア語の紹介・クイズ、ジェレズノ市との交流を紹介 ②ロシア交流都市展の開催 (ア) 期間/10月15日~22日 場所/交流ひろば 1階ロビー (イ) 期間/11月22日~28日 場所/総合文化センター 1階モール (ウ) 期間/12月17日~26日 期間/市役所本庁舎 1階フリースペース ③「ロシア語でコミュニケーション」を開催 日時/10月21日 場所/交流ひろば 上記②(ア)の展示期間に合わせて、光陵高等学校でロシア語を学んでいる生徒から協力してもらい、ロシア語の紹介・クイズ、ミニゲームを実施した。 ・姉妹都市デラウェア市 デラウェア市の小学校の児童と宮野浦地区の放課後子ども教室の児童とがグループレターの交換により交流を図った。 ・各姉妹都市、友好都市との今後の交流内容の検討、事前調整</p> <p>○評価・方向性 市民が海外の姉妹都市・友好都市との交流を契機に相手国の文化や言語を学び交流することにより相互理解が深まった。2019年度は、ジェレズノ市と締結40周年を迎える節目の年となることから、若い世代が主体的に交流する機会を設け次世代の交流を担う人材を育成していく。また、海外の姉妹・友好都市との交流に加え、外国クルーズ船の寄港やオリンピックホストタウン登録による交流など国際交流が一層広がりをを見せていることから、グローバルな人材を育成し国際交流活動全般をサポートする組織として酒田市国際交流協会(仮称)の設立を目指す。</p>									
概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>姉妹・友好都市周知回数(回)</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標(単位)	目標	実績	姉妹・友好都市周知回数(回)	3	4
評価指標(単位)	目標	実績								
姉妹・友好都市周知回数(回)	3	4								
要件等										
備考										

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	12目 交流推進費	= 予算所属 = 地域創生部交流観光課						
事業名	北区・武蔵野市交流事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
1,295,000円	958,913円	0円	336,087円	74.0%						
目的・趣旨	<p>友好都市の盟約を結ぶ東京都北区及び友好消防団の盟約を結ぶ武蔵野市との人的・物的交流を促進することにより、本市の産業・文化・防災等の面で活力あるまちづくりに活かす。</p>									
事業内容	<p>○事業内容 (1) 北区との交流（平成9年友好都市交流協定締結） ・友好都市体験教室イベント、ふるさと北区区民まつりへの参加ほか (2) 武蔵野市との交流（平成6年武蔵野市交流市町村協議会加盟、友好消防団） ・武蔵野桜まつり、むさしの青空市への参加、市民交流ツアー受入ほか</p> <p>○事業実績・説明 (1) 北区との主な交流 ①7月14日 友好都市体験教室イベント 内容／ろうそく絵付け体験、パネル展示、PR動画放映など ②10月6日～7日 ふるさと北区区民まつり 内容／農産物・加工品の販売、観光PR ③2月15日 自治体交流研究会 内容／次年度以降の事業連携について意見交換 (2) 武蔵野市との主な交流 ①4月1日 武蔵野桜まつり 内容／パレード参加、農産物・加工品の販売、観光PR ②7月18日～20日 武蔵野市交流市町村協議会（職員研修会） 内容／鳥取県岩美町の移住政策、山陰海岸ジオパーク視察ほか ③11月11日 むさしの青空市 内容／式典、農産物・加工品の販売、観光PR ④3月15日～17日 武蔵野市民交流ツアー受入 内容／市内観光施設の見学、市内農業団体との交流等 参加者／22人</p> <p>○評価・方向性 北区、武蔵野市ともに人的交流や物販活動を積み重ねてきたことにより、食文化や観光をはじめとする本市の認知度向上に寄与している。今後も様々な分野での交流の活性化を図っていく。</p>									
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流イベントにおける物販売上額（千円）</td> <td>2,100</td> <td>2,331</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	交流イベントにおける物販売上額（千円）	2,100	2,331
評価指標（単位）	目標	実績								
交流イベントにおける物販売上額（千円）	2,100	2,331								
備考										

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	12目 交流推進費	= 予算所属 = 地域創生部交流観光課						
事業名	ふるさと会交流促進事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
2,000,000円	1,935,199円	0円	64,801円	96.8%						
目的・趣旨	<p>各ふるさと会を通じて、本市の最新情報を首都圏等に発信するとともに、本市と首都圏在住者との交流促進を図る。</p>									
事業内容	<p>○事業内容 (1) ふるさと会の活動支援 (2) ふれあい酒田DAY交流事業の開催（委託）</p> <p>○事業実績・説明 (1) ふるさと会の活動支援 ・各ふるさと会の活動を支援するため、補助金を交付 交付団体： ふれあい酒田・・・585,000円 （H10年11月設立、会員数約1,000人） 庄内やわた会・・・270,000円 （H2年11月設立、会員数約310人） 東京松山会・・・220,000円 （S32年7月設立、会員数約330人） 首都圏ふるさと平田会・・・150,000円 （S60年6月設立、会員数約400人） ・各ふるさと会の会員ツアー等の実施協力 8月4日 ふるさと再探訪ツアー（ふれあい酒田会員27名） 3月16日 酒田のひな街道めぐりと東北銘醸蔵探訪館（みやぎ酒田会36名） (2) ふれあい酒田DAY交流事業の開催 ・首都圏で酒田市をPRするイベントをふれあい酒田に委託 12月2日 北とびあを会場に、物販・交流イベント・観光PRを実施 （同日開催のふれあい酒田総会でも、ふるさと納税・観光のPR）</p> <p>○評価・方向性 ふるさと会の活動を通じて、首都圏在住者との交流および本市の情報発信が図られた。引き続き、各ふるさと会の総会やイベント等を通じて本市のPRや情報発信に努め、特産品の販売や本市への来訪、移住を促す。</p>									
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流イベントにおける物販売上額（千円）</td> <td>1,400</td> <td>1,364</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	交流イベントにおける物販売上額（千円）	1,400	1,364
評価指標（単位）	目標	実績								
交流イベントにおける物販売上額（千円）	1,400	1,364								
備考										

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	12目 交流推進費	= 予算所属 = 地域創生部交流観光課
事業名	サンクトペテルブルク市との交流事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
2,336,000円	2,083,892円	0円	252,108円	89.2%
目的・趣旨	啓翁桜の輸出やエルミタージュ美術館での雛人形等の展示により生まれた人的つながりを活用し、ロシアを代表する歴史的な文化芸術の街サンクトペテルブルク市との交流を通して、創造性豊かな子どもたちの育成を図るとともに、友好のきずなを築く。			
事業内容	<p>○事業内容 サンクトペテルブルク市の学校等との文化交流</p> <p>○事業実績・説明 (1) 酒田市使節団がサンクトペテルブルク市を訪問し、サンクトペテルブルク市内の中高一貫教育校と学校交流を実施した。 ・使節団／酒田南高等学校教員1名、同行生徒3名、事務局1名 ・期間／3月2日～3月9日 ・3月4日～5日 国立第583番学校を訪問 ①授業を体験 (民族舞踊、英語、フラワーデザイン、ロシア料理等) ②日本文化の紹介(日本舞踊、書道、おりがみ等) 国立第83番学校を訪問 ①授業を体験(日本語、ロシア料理等) ②日本文化の紹介(日本舞踊、書道、おりがみ等) ③ホームビジット(生徒宅の訪問)にて、普段の生活を見学 3月7日 サンクトペテルブルク市役所、エルミタージュ美術館及び露日友好協会表敬訪問 (2) 酒田市使節団によるサンクトペテルブルク市訪問報告会の開催 ・日時／3月18日 午後7時～ ・場所／酒田市産業振興まちづくりセンター(酒田産業会館1階) ・内容／現地での活動内容の紹介、感想の発表により異文化体験を報告 当日は、市内の国際交流の関係者約30名が参加した。</p>			
事業成果の概要等	<p>○評価・方向性 これまでの交流で培った人的な繋がり活用の活用により、教育面での交流を展開し、両市にとって、異文化体験を通じた創造性豊かな青少年の育成に繋がる効果的な交流をすることができた。サンクトペテルブルク市は、学校同士の交流を続けることを希望しており、青少年における交流を継続しながら、他分野における交流等の展開を図っていく。</p>			
	評価指標(単位)		目標	実績
	事業参加生徒の満足度(%)		100	100
備考	○主な特定財源 サンクトペテルブルク市との交流事業参加者負担金 520,680円			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	13目 地域共生費	= 予算所属 = 地域創生部地域共生課
事業名	生涯活躍のまち構想推進事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
19,019,000円	18,868,956円	0円	150,044円	99.2%
目的・趣旨	生涯活躍のまち構想の実現に向けて関係者も交えた検討を進めるとともに、首都圏での情報発信を強化する。			
事業内容	<p>○事業内容 (1) 生活クラブ生協のネットワークを活かした首都圏での情報発信 (2) 東京吉祥寺テラスの運営、本市の魅力発信と移住相談窓口 (3) 首都圏のニーズ把握と本市への移住勉強会の開催 (4) 生涯活躍のまち基本計画の策定</p> <p>○事業実績・説明 (1) 生活クラブ生協のネットワークを活かした首都圏での情報発信 ・生活クラブ生協組合員への情報発信 記事掲載4回 ・生活クラブ生協首都圏組合員への情報発信 単独チラシ配布3回 ・首都圏での報告集会開催 参加申込者110人 ・専用WEBサイトでの発信 組合員による酒田取材記事8掲載 (2) 東京吉祥寺テラスの運営、本市の魅力発信と移住相談窓口 ・本市からの情報発信を希望する登録者 521人(H31.3.31時点) ・登録者への移住情報、観光情報などの発信 6回 ・移住相談 3組(年度内の移住組数 1組) (3) 首都圏のニーズ把握と本市への移住勉強会の開催 ・首都圏の移住に関心のある層を集めた勉強会 16回 延参加者556人 ・個別相談対応 20組 (4) 生涯活躍のまち基本計画の策定 ・有識者を交えての検討会 5回開催 ・地域、金融、福祉事業者、大学を交えての計画策定検討会 2回開催</p> <p>○評価・方向性 生活クラブ生協や荘内銀行との連携による首都圏での情報発信は、継続的に実施してきたことで、移住に関心のある層の取り込みに成功している。また、検討を重ね生涯活躍のまち構想の基本計画策定に至ることができた。今後は基本計画に基づき事業の具体的な進展を図ることで、移住に関心のある層の移住実現へとつなげていく。</p>			
事業成果の概要等	評価指標(単位)		目標	実績
	①生涯活躍のまち基本計画の策定		①計画完成	①完成
	②東京吉祥寺テラスにおける情報発信登録者数(人)		② 60	② 187
備考	○主な特定財源 地方創生推進交付金(国) 9,093,868円			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	13目 地域共生費	= 予算所属 = 地域創生部地域共生課																																												
事業名	結婚推進支援事業																																															
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																												
6,125,000円	4,552,906円	0円	1,572,094円	74.3%																																												
目的・趣旨	市、企業及び団体等が連携して、結婚を望む独身男女に出会いの機会を提供し、結婚成立に結びつけることで、若い世代の定住化を促進する。																																															
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 結婚サポートセンターの運営</p> <p>(2) 企業等との連携による結婚支援（委託事業）</p> <p>(3) やまがた出会いサポートセンターの運営に参画</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 結婚サポートセンターの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 結婚推進員による相談対応 結婚サポーターの仲介活動支援（成婚報酬の支給等） 婚活イベント等の開催 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結婚推進員の相談対応件数※</td> <td>162件</td> <td>144件</td> <td>150件</td> </tr> <tr> <td>結婚サポーター数</td> <td>75人</td> <td>77人</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>結婚サポーターの年間仲介組数</td> <td>244組</td> <td>272組</td> <td>179組</td> </tr> <tr> <td>上記仲介による成婚組数</td> <td>13組</td> <td>7組</td> <td>3組</td> </tr> <tr> <td>婚活イベント等開催数</td> <td>8回</td> <td>7回</td> <td>5回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※相談件数は来所・電話の件数のみ（メール相談は多数のため集計から除外）</p> <p>(2) 企業等との連携による結婚支援（委託事業 委託先：マリン5清水屋）</p> <ul style="list-style-type: none"> 自社社員の結婚を支援する「協力企業」、婚活を応援する「応援企業」を登録活用 市内の結婚支援情報をホームページ等で一元的に発信 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協力企業登録数※</td> <td>86社</td> <td>123社</td> <td>158社</td> </tr> <tr> <td>協力企業マッチング参加社員数</td> <td>61人</td> <td>33人</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>応援企業登録数※</td> <td>109社</td> <td>156社</td> <td>193社</td> </tr> <tr> <td>ホームページアクセス数</td> <td>8,301件</td> <td>7,135件</td> <td>7,394件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※企業登録数は各年度末現在登録数</p> <p>(3) やまがた出会いサポートセンターの運営に参画</p> <ul style="list-style-type: none"> 全県あげての結婚支援事業に、県、民間団体等と連携して取り組んだ。 内容：PCシステムによるお見合い、婚活力向上セミナー等 <p>○評価・方向性</p> <p>結婚サポーターの仲介による成婚件数は仲介件数と共に前年度に比べ減少した。新たなサポーターの確保にも取り組んでいるが、登録者が相手に求める条件も多様化しており、成果が見えにくい状況であるが、人口減少課題には必要性が高い事業であり引き続き取り組む。一方、協力・応援企業の登録数は順調に増加してきており、今後は登録企業との連携をより強化した結婚支援活動の展開を図る。</p>				項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	結婚推進員の相談対応件数※	162件	144件	150件	結婚サポーター数	75人	77人	73人	結婚サポーターの年間仲介組数	244組	272組	179組	上記仲介による成婚組数	13組	7組	3組	婚活イベント等開催数	8回	7回	5回	項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	協力企業登録数※	86社	123社	158社	協力企業マッチング参加社員数	61人	33人	73人	応援企業登録数※	109社	156社	193社	ホームページアクセス数	8,301件	7,135件	7,394件
	項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																												
	結婚推進員の相談対応件数※	162件	144件	150件																																												
	結婚サポーター数	75人	77人	73人																																												
	結婚サポーターの年間仲介組数	244組	272組	179組																																												
	上記仲介による成婚組数	13組	7組	3組																																												
	婚活イベント等開催数	8回	7回	5回																																												
	項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																												
	協力企業登録数※	86社	123社	158社																																												
	協力企業マッチング参加社員数	61人	33人	73人																																												
応援企業登録数※	109社	156社	193社																																													
ホームページアクセス数	8,301件	7,135件	7,394件																																													
評価指標（単位）		目標	実績																																													
結婚サポーターの仲介による成婚件数（件）		20	3																																													
備考	○主な特定財源 地域少子化対策重点推進交付金（県）1,992,096円																																															

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	13目 地域共生費	= 予算所属 = 地域創生部地域共生課	
事業名	酒田移住交流推進事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
13,005,000円	11,527,089円	0円	1,477,911円	88.6%	
目的・趣旨	移住や交流人口の増加に向けた取組みとして、総合相談窓口の設置、相談者への情報提供、積極的なPR、移住・定住に向けた支援など、総合的な施策を展開する。				
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 移住・定住に係るワンストップ相談窓口の設置</p> <p>(2) 移住ガイドブックの作成</p> <p>(3) 移住専門誌「TURNS」によるガイドブック作成及び綴り込み</p> <p>(4) 移住ポータルサイトの開設及び運用</p> <p>(5) 移住お試し住宅の運用</p> <p>(6) 首都圏開催の移住関連イベントへの出展</p> <p>(7) 移住定住者住宅支援費補助金の交付</p> <p>(8) 移住お試し住宅利用促進補助金の交付</p> <p>(9) 移住者交流会への支援</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 平成30年度移住相談総合窓口新規相談人数 202人</p> <p>(2) 移住ガイドブックの作成 500部</p> <p>(3) 「TURNS」によるガイドブック作成及び綴り込み 3,000部作成 全国約60,000部発行</p> <p>(4) 移住ポータルサイトページビュー数（H30.7.2～） 約27,000件</p> <p>(5) 移住お試し住宅利用実績 21組40人</p> <p>(6) 首都圏開催の移住関連イベントへの出展 13回</p> <p>(7) 移住定住者住宅支援費補助金交付実績 4件 1,471,000円</p> <p>(8) 移住お試し住宅利用促進補助金交付実績 4件 318,000円</p> <p>(9) 移住者交流会への支援 3回</p> <p>○評価・方向性</p> <p>移住相談総合窓口においてきめ細かい相談対応を行った。また積極的なイベント出展や移住専門誌へのガイドブックの綴り込み、移住ポータルサイトの開設など、移住を切り口とした本市のPRに注力した結果、各種メディア媒体でも取り上げられるなど注目を集め、相談受付数、移住者数が増加した。移住お試し住宅も夏シーズンは切れ目なく予約があるなど、利用者数が大きく伸びた。相談対応や各支援策をベースとしつつも、移住検討に向けたファーストステップを意識した取組みが奏功した。</p> <p>本市の移住環境について、新たな媒体を活用しながら引き続き子育て世代を含めた若い世代に対して特にPRしていく。そこで繋がった相談者を確実に移住まで結びつけることができるよう、今後も丁寧な相談対応を行っていく。また相談者のニーズを分析しながら、移住体験ツアーなど移住検討者と本市をつなぐ新しい仕掛けを検討していく。</p>				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	移住者数（人）		50	34	
	備考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国） 4,307,316円			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	13目 地域共生費	= 予算所属 = 地域創生部地域共生課																																
事業名	男女共同参画推進事業																																			
予算現額 ①	733,000円	支出済額 ②	344,743円	翌年度繰越額 ③																																
			0円	不用額 ①-②-③																																
			388,257円	執行率 ②/①																																
				47.0%																																
目的・趣旨	男女が互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会づくりを目指す。																																			
事業成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>酒田市男女共同参画推進センター「ウィズ」を拠点に、学習の場・相談の場・交流の場を提供し、行政・地域・各種団体等と連携して、市民の男女共同参画意識の啓発を図った。また、アドバイザー、関係団体等の協力のもと第2次酒田市男女共同参画推進計画～ウィズプラン～を策定した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 学習の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ウィズ講座及び出前講座の実施 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>8回</td> <td>7回</td> <td>13回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,053人</td> <td>668人</td> <td>319人</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成29年度から市民フォーラムを女性活躍推進事業で実施しているため、参加者数が減少している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに「出前講座「人生100年時代。生き方暮らし方再発見！」を実施した。開催回数 9回 参加者数 225人 県が開催する人材育成プログラム（チェリア塾）に参加する市民を支援した。修了者数 6人 <p>(2) 相談の場</p> <ul style="list-style-type: none"> DV等の悩みを抱えた方の最初の相談窓口として、男女共同参画推進員1人を配置し関係機関と連携を図りながら相談業務を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>38件</td> <td>43件</td> <td>42件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 交流の場</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に関する活動を行う団体登録のほか、男女共同参画推進サポーター7人と協働して講座等の企画・運営を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者</td> <td>1,500人</td> <td>1,111人</td> <td>934人</td> </tr> <tr> <td>団体数</td> <td>30団体</td> <td>29団体</td> <td>28団体</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>酒田市男女共同参画推進計画に基づき、各分野で連携を図りながら、サポーターとの協働により男女共同参画意識の啓発に取り組んだ。ウィズ講座への参加者数は減少したものの、出前講座の実施により学習機会は増加した。今後も男女共同参画に関する広報・啓発を行うとともに、多様な学習機会の提供等を通じ、男女共同参画社会の実現を目指す。</p>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	開催回数	8回	7回	13回	参加者数	1,053人	668人	319人		平成28年度	平成29年度	平成30年度	相談件数	38件	43件	42件		平成28年度	平成29年度	平成30年度	利用者	1,500人	1,111人	934人	団体数	30団体	29団体	28団体
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																	
開催回数	8回	7回	13回																																	
参加者数	1,053人	668人	319人																																	
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																	
相談件数	38件	43件	42件																																	
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																	
利用者	1,500人	1,111人	934人																																	
団体数	30団体	29団体	28団体																																	
	評価指標（単位）		目標	実績																																
	ウィズ講座等への参加者数（人）		800	319																																
備考																																				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	13目 地域共生費	= 予算所属 = 地域創生部地域共生課
事業名	女性活躍推進事業			
予算現額 ①	1,000,000円	支出済額 ②	817,051円	翌年度繰越額 ③
			0円	不用額 ①-②-③
			182,949円	執行率 ②/①
				81.7%
目的・趣旨	働く女性、働きたい女性がその個性と能力を十分発揮して職業生活において活躍できるまちにすることで地域の発展につなげるため、官民一体となって女性活躍を推進する。			
事業成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 市民フォーラムの開催</p> <p>女性活躍の意義と効果を広く理解してもらうために、主に女性向けの意識啓発のため市民フォーラムを開催した。</p> <p>【市民フォーラム「人生100年時代 踏み出そう、新しいワタシを探して」】</p> <ul style="list-style-type: none"> 期 日 11月17日 場 所 酒田市公益研修センター 内 容 第1部基調講演 第2部分科会 参加者 【第1部】118人 【第2部】37人 <p>(2) 女性活躍推進懇話会運営</p> <p>女性活躍を全市的に推進するために、関係機関、企業、学識経験者等で構成する酒田市女性活躍推進懇話会を2回開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日 8月9日、2月18日 内 容 本市の現状把握、情報共有、進捗確認、事業内容協議、施策提言等 <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 市民フォーラムの開催</p> <p>市民フォーラムでは、基調講演でこれからの時代の多様な働き方に関する実践的な情報を共有した。分科会では、実際に様々な働き方をしている方々との交流を図ったところ、これからの働き方に対して前向きな意識の醸成が図られた。</p> <p>(2) 女性活躍推進懇話会の設置及び運営</p> <p>懇話会には、本市の現状に精通した方や学識経験者、国、県などから参画いただいていることで、本市の実情に合った市としてやるべき施策を検討することにつながっている。</p> <p>○評価・方向性</p> <p>本市の女性活躍を推進するために平成29年度から関係機関等が連携して事業に取り組んでいる。行政の役割として、本事業において女性の意識啓発を図っているものである。指標の目標には達しなかったが、意識啓発は継続して実施すべきものであり、酒田市女性活躍推進懇話会で引き続き協議しながら、本市の女性活躍に資する内容の事業を実施していく必要がある。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	フォーラム参加者数（人）		200	118
備考	○主な特定財源 地域女性活躍推進交付金（県）408,000円			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	13目 地域共生費	= 予算所属 = 地域創生部地域共生課																										
事業名	U I J ターン促進対策事業																													
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																										
3,756,000円	3,700,086円	0円	55,914円	98.5%																										
目的・趣旨	本市へのU I J ターンを希望する者に対して、地元企業への就業機会の拡大を図り、若者の地元定住を促進する。																													
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 さかた産業フェアツアー 首都圏でU I J ターン希望者を募り、「さかた産業フェア」等を見学するツアーを実施した。市内企業への見学訪問、移住経験者との交流等の機会を通じて、酒田での起業・就職に関する動機付けを行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>実施日</th> <th>参加者数</th> <th>参加費</th> <th>移住者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>10/ 3～ 4</td> <td>20人</td> <td>9,800円</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>10/ 1～ 2</td> <td>16人</td> <td>15,000円</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>9/30～10/1</td> <td>11人</td> <td>15,000円</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>10/27～28</td> <td>15人</td> <td>学生 一般 9,800円 15,000円</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 ツアーには首都圏から15人の参加者（申込み19人、4人キャンセル）があり、各種媒体や関係機関を利用した周知や、首都圏でのイベント出展の際の個別の声かけが実を結んだ。産業フェア観覧のほか、市内企業訪問やコワーキングスペースの見学により市内就労に対する意識を醸成できたほか、移住者交流会に参加したことで地元の人々との繋がりが構築され、移住への動機付けがなされた。その後、参加者のうち2人が酒田市へ移住した。 他方、産業フェアを切り口にしたツアーは移住促進という目標に向けては、テーマが限定的であり、集客に苦慮することは否めない。ツアーを期に初めて本市を訪れる参加者も多いことから、本事業を移住交流推進事業及びU I J ターンマッチング支援事業に統合し、より総合的に酒田の環境や魅力に触れる機会となるようなツアーを実施することとする。</p>					年 度	実施日	参加者数	参加費	移住者数	平成27年度	10/ 3～ 4	20人	9,800円	2人	平成28年度	10/ 1～ 2	16人	15,000円	2人	平成29年度	9/30～10/1	11人	15,000円	1人	平成30年度	10/27～28	15人	学生 一般 9,800円 15,000円	2人
	年 度	実施日	参加者数	参加費	移住者数																									
	平成27年度	10/ 3～ 4	20人	9,800円	2人																									
	平成28年度	10/ 1～ 2	16人	15,000円	2人																									
平成29年度	9/30～10/1	11人	15,000円	1人																										
平成30年度	10/27～28	15人	学生 一般 9,800円 15,000円	2人																										
評価指標（単位）		目標	実績																											
さかた産業フェアツアー参加者数（人）		20	15																											
備考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国） 1,366,706円																													

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	13目 地域共生費	= 予算所属 = 地域創生部地域共生課																																									
事業名	U I J ターンマッチング支援事業																																												
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																									
2,840,000円	2,567,822円	0円	272,178円	90.4%																																									
目的・趣旨	市内企業と、本市へのU I J ターンを希望する求職者との雇用関係の成立を斡旋することにより、U I J ターン就職を促進する。																																												
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 「U I J ターンコーディネーター」の配置 市ホームページに求職・求人情報を掲載し職業紹介を行う「U I J ターン人材バンク」を運営したほか、U I J ターン就職希望者へハローワーク求人情報や就職ガイドンス等の情報を提供した。</p> <p>○事業実績・説明 U I J ターン人材バンク求人、求職、マッチング数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>新規求人数</th> <th>新規求職数</th> <th>新規メール配信登録者数</th> <th>内定者数</th> <th>創業者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>140人</td> <td>20人</td> <td>87人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>65人</td> <td>21人</td> <td>117人</td> <td>8人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>26人</td> <td>21人</td> <td>96人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>77人</td> <td>13人</td> <td>127人</td> <td>6人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>求人企業数</th> <th>求人数</th> <th>求職者数</th> <th>メール配信登録者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度末現在</td> <td>54社</td> <td>198人</td> <td>8人</td> <td>196人（うち学生89人）</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 マッチング支援により6人が企業からの内定を得、うち4人が年度内に本市に移住した。 本市移住への足掛かりとして、本事業における市内就労に関する情報提供やマッチング支援が機能しているため、引き続き移住を検討する求職者と地元企業を丁寧に繋いでいく。</p>					年 度	新規求人数	新規求職数	新規メール配信登録者数	内定者数	創業者数	平成27年度	140人	20人	87人	4人	0人	平成28年度	65人	21人	117人	8人	1人	平成29年度	26人	21人	96人	4人	0人	平成30年度	77人	13人	127人	6人	0人		求人企業数	求人数	求職者数	メール配信登録者数	平成30年度末現在	54社	198人	8人	196人（うち学生89人）
	年 度	新規求人数	新規求職数	新規メール配信登録者数	内定者数	創業者数																																							
	平成27年度	140人	20人	87人	4人	0人																																							
	平成28年度	65人	21人	117人	8人	1人																																							
平成29年度	26人	21人	96人	4人	0人																																								
平成30年度	77人	13人	127人	6人	0人																																								
	求人企業数	求人数	求職者数	メール配信登録者数																																									
平成30年度末現在	54社	198人	8人	196人（うち学生89人）																																									
評価指標（単位）		目標	実績																																										
U I J ターン人材バンクによる就職・起業者数（人）		10	4																																										
備考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国） 1,167,115円																																												

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	13目 地域共生費	= 予算所属 = 地域創生部地域共生課
事業名	山形県若者定着支援連携事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
4,368,000円	4,368,000円	0円	0円	100.0%
目的・趣旨	本市における将来の担い手となる若者の回帰・定着を促進するため、県と連携して、総務省、文部科学省が定める奨学金（日本学生支援機構第一種）を受ける学生を対象に、奨学金の返還を支援する。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>山形県が創設する山形県若者定着支援基金に、酒田市対象者分の返還支援額を出捐する（県1/2、市1/2）。</p> <p>（1）支援対象者の要件</p> <p>県内の高校を卒業した者のうち、日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けた奨学生であり、大学等を卒業後6か月以内に居住かつ県内に就業（支援対象分野）し、引き続き3年間経過したもの（候補者は年度毎にあらかじめ決定する）。</p> <p>（2）支援対象分野</p> <p>商工分野、農林水産分野、建設分野、医療・福祉分野、その他 ※他に支援制度がある分野（医師、看護師、介護福祉士、保育士）を除く</p> <p>（3）支援額</p> <p>貸与を受けた奨学金の総額又は2万6千円に奨学金の貸与を受けた月数を乗じた額のいずれか低い額。市はその1/2を負担。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>（1）候補者認定状況</p> <p>①平成27年度認定者 20名 ②平成28年度認定者 11名 ③平成29年度認定者 8名 ④平成30年度認定者 7名</p> <p>（2）平成30年度山形県若者定着支援基金への出捐</p> <p>平成29年度認定候補者分の出捐 26,000円（上限）×336月（支援対象月の合計）×1/2（市負担）＝4,368,000円</p> <p>（3）山形県若者定着支援基金への出捐金額 18,564,000円</p> <p>平成28年度出捐金 4,992,000円 平成29年度出捐金 9,204,000円 平成30年度出捐金 4,368,000円</p> <p>○評価・方向性</p> <p>本事業について、チラシやSNSを活用した周知を行い、7名を返還支援候補者として認定した。認定者に対する地元回帰へのインセンティブとなっていることから、事業効果はあったものと評価する。今後も継続して本事業による若者定着を支援していく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	山形県若者定着支援制度申込者数（人）		20	7
備考	○主な特定財源 人づくり基金繰入金 4,368,000円			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	9目 市民安全対策費	= 予算所属 = 市民部まちづくり推進課																																																																
事業名	消費者行政推進事業																																																																			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																
964,000円	879,673円	0円	84,327円	91.3%																																																																
目的・趣旨	商品やサービスに関するトラブル、商品の安全性や品質などの苦情や相談に対応する。また、相談窓口としての消費生活センターの周知を図るとともに、トラブルに巻き込まれないよう、消費活動に関する情報提供と普及啓発活動を行う。																																																																			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>高度化・複雑化・多様化する消費相談に対応するため相談窓口を開設し、問題の解決を図るとともに消費者トラブルを未然に防ぐため、出前講座を開催し、啓発チラシを配布した。また、多重債務に関する協議会、国民生活センター及び県消費生活センターと連携したきめ細かな対応を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>（1）相談内容別新規相談件数（単位：件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>相談内容</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・商品等に対する相談・苦情等</td> <td>243</td> <td>287</td> <td>326</td> </tr> <tr> <td> 教養娯楽品（海外宝くじ、学習教材等）</td> <td>32</td> <td>40</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td> 食料品（健康食品の送りつけ等）</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td> 住居品（布団、空調、冷暖房機等）</td> <td>35</td> <td>19</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>122</td> <td>174</td> <td>212</td> </tr> <tr> <td>・役務等に対する相談・苦情等</td> <td>377</td> <td>404</td> <td>368</td> </tr> <tr> <td> 金融・保険サービス</td> <td>117</td> <td>124</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td> 運輸・通信サービス</td> <td>163</td> <td>190</td> <td>156</td> </tr> <tr> <td> レンタル・工事・建築</td> <td>23</td> <td>24</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>74</td> <td>66</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>・相談その他</td> <td>70</td> <td>67</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>690</td> <td>758</td> <td>767</td> </tr> </tbody> </table> <p>（2）出前講座の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>53回</td> <td>58回</td> <td>56回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>1,427人</td> <td>1,572人</td> <td>1,815人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>相談対応により消費者トラブルの解決や市民の不安解消が図られ、市民の安定した消費生活を支えている。消費生活相談員による相談を今後も継続するとともに、出前講座などの啓発活動の強化に努める。多重債務者の動向を見極めながら、必要な支援を今後も継続していく。</p>				相談内容	H28	H29	H30	・商品等に対する相談・苦情等	243	287	326	教養娯楽品（海外宝くじ、学習教材等）	32	40	46	食料品（健康食品の送りつけ等）	54	54	51	住居品（布団、空調、冷暖房機等）	35	19	17	その他	122	174	212	・役務等に対する相談・苦情等	377	404	368	金融・保険サービス	117	124	137	運輸・通信サービス	163	190	156	レンタル・工事・建築	23	24	12	その他	74	66	63	・相談その他	70	67	73	合 計	690	758	767		H28	H29	H30	開催回数	53回	58回	56回	参加人数	1,427人	1,572人	1,815人
相談内容	H28	H29	H30																																																																	
・商品等に対する相談・苦情等	243	287	326																																																																	
教養娯楽品（海外宝くじ、学習教材等）	32	40	46																																																																	
食料品（健康食品の送りつけ等）	54	54	51																																																																	
住居品（布団、空調、冷暖房機等）	35	19	17																																																																	
その他	122	174	212																																																																	
・役務等に対する相談・苦情等	377	404	368																																																																	
金融・保険サービス	117	124	137																																																																	
運輸・通信サービス	163	190	156																																																																	
レンタル・工事・建築	23	24	12																																																																	
その他	74	66	63																																																																	
・相談その他	70	67	73																																																																	
合 計	690	758	767																																																																	
	H28	H29	H30																																																																	
開催回数	53回	58回	56回																																																																	
参加人数	1,427人	1,572人	1,815人																																																																	
	評価指標（単位）		目標	実績																																																																
	消費相談件数のうち特殊詐欺未然防止件数（件）		200	149																																																																
備考																																																																				

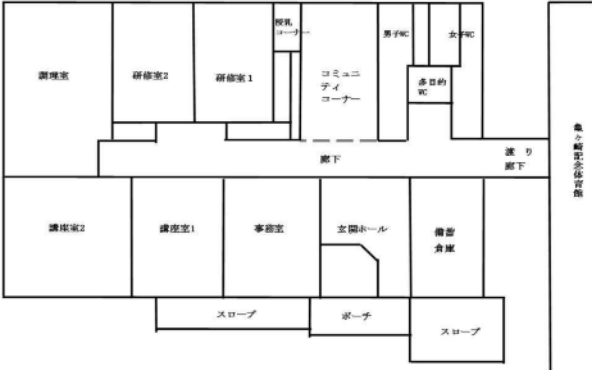
款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	9目 市民安全対策費	= 予算所属 = 市民部まちづくり推進課																																																		
事業名	安全・安心のまち酒田推進事業																																																					
予算現額 ①	24,902,000円	24,295,752円	0円	606,248円																																																		
支出済額 ②																																																						
翌年度繰越額 ③																																																						
不用額 ①-②-③																																																						
執行率 ②/①	97.6%																																																					
目的・趣旨	関係機関・団体・地域と連携しながら交通事故の未然防止、犯罪や非行のない明るい社会をつくる。																																																					
事業内容	<p>○事業内容 安全・安心でくらしやすいまちをめざし、関係機関等と連携して各種啓発活動等を行った。※平成30年度から防犯灯管理事業を分離</p> <p>○事業実績・説明 (1) 交通安全教育の推進 18,382,210円 37人の交通指導員が、14小学校の学区内通学路の危険箇所等で早朝の街頭指導を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">交通安全専門指導員 実施事業</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>延べ人数</th> <th>回数</th> <th>延べ人数</th> <th>回数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼児・児童等対象教室</td> <td>197</td> <td>12,248</td> <td>176</td> <td>10,879</td> <td>169</td> <td>10,341</td> </tr> <tr> <td>高齢者対象教室</td> <td>38</td> <td>1,009</td> <td>31</td> <td>906</td> <td>33</td> <td>1,059</td> </tr> <tr> <td>その他イベント等</td> <td>12</td> <td>3,074</td> <td>17</td> <td>3,314</td> <td>29</td> <td>6,153</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 交通安全啓発活動 各交通安全関係団体等と連携し、毎月1日・15日の交通安全の日や交通安全県民運動期間に街頭指導や交通安全家庭訪問指導などを実施した。</p> <p>(3) 酒田駅周辺駐輪場の整理と放置自転車撤去 1,995,742円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放置自転車撤去台数</td> <td>70</td> <td>55</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 運転免許自主返納の促進 3,917,800円 運転免許自主返納者に対し、バス回数券又はタクシー券の贈呈(5,000円相当額)、運転経歴証明書無料交付、運転経歴証明書提示によるバス、デマンドタクシーの100円割引の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転免許自主返納者数</td> <td>361</td> <td>454</td> <td>496</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 防犯団体と連携した活動 広報活動、研修会、合同パトロール、青色防犯パトロールを実施した。</p> <p>○評価・方向性 関係機関等と連携した各種啓発活動等により、市民の交通安全意識の向上と交通事故の減少に寄与しているほか、防犯活動についても市民生活の安全に寄与している。 安全・安心のまち実現のために、今後も引き続き各関係機関等と協力して各種啓発活動など地道な活動を積み重ねることで、市民の交通安全・防犯意識の向上を図っていく。交通安全については、特に幼児と高齢者の安全確保を図るため、広く交通安全教室の開催を呼びかけるとともに、運転免許自主返納制度の周知に努めていく。</p>				交通安全専門指導員 実施事業	平成28年度		平成29年度		平成30年度		回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数	幼児・児童等対象教室	197	12,248	176	10,879	169	10,341	高齢者対象教室	38	1,009	31	906	33	1,059	その他イベント等	12	3,074	17	3,314	29	6,153		平成28年度	平成29年度	平成30年度	放置自転車撤去台数	70	55	77		平成28年度	平成29年度	平成30年度	運転免許自主返納者数	361	454	496
交通安全専門指導員 実施事業	平成28年度		平成29年度			平成30年度																																																
	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数																																																
幼児・児童等対象教室	197	12,248	176	10,879	169	10,341																																																
高齢者対象教室	38	1,009	31	906	33	1,059																																																
その他イベント等	12	3,074	17	3,314	29	6,153																																																
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																			
放置自転車撤去台数	70	55	77																																																			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																			
運転免許自主返納者数	361	454	496																																																			
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転免許自主返納者数(人)</td> <td>500</td> <td>496</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標(単位)	目標	実績	運転免許自主返納者数(人)	500	496																																												
評価指標(単位)	目標	実績																																																				
運転免許自主返納者数(人)	500	496																																																				
備考	○主な特定財源 市町村総合交付金(交通安全専門指導事業)(県)635,000円 交通災害共済基金繰入金 3,903,000円																																																					

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	9目 市民安全対策費	= 予算所属 = 市民部まちづくり推進課																																																																					
事業名	空き家等総合対策事業																																																																								
予算現額 ①	1,982,000円	570,860円	0円	1,411,140円																																																																					
支出済額 ②																																																																									
翌年度繰越額 ③																																																																									
不用額 ①-②-③																																																																									
執行率 ②/①	28.8%																																																																								
目的・趣旨	市及び民間団体で組織する空き家等ネットワーク協議会と連携した、空き家等の利活用と、管理不全な空き家等の適正管理を促進し、近隣住民の良好な生活環境を維持する。																																																																								
事業内容	<p>○事業内容 (1) 空き家等ネットワーク協議会による無料相談会の開催(年2回)等 (2) 空き家等情報サイトの運営 (3) 空き家等対策の推進に関する特別措置法等に基づく助言・指導 (4) 空き家等所有者のための啓発パンフレットの送付 (5) 相続人不在の危険老朽空き家に係る相続財産管理人選任の申立て</p> <p>○事業実績・説明 (1) 空き家所有者等を対象に、空き家等ネットワーク協議会構成団体による無料相談会(年2回)、平日の電話、来所相談を実施した。 ※協議会構成団体のうち、不動産業協会の契約件数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不動産業</td> <td>69件</td> <td>75件</td> <td>100件</td> <td>74件</td> <td>57件</td> <td>55件</td> </tr> <tr> <td>協会2団体</td> <td>8件</td> <td>13件</td> <td>16件</td> <td>20件</td> <td>19件</td> <td>13件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 空き家等情報サイトの運営 掲載件数25件。契約件数9件。</p> <p>(3) 空き家等対策の推進に関する特別措置法等に基づく措置による改善件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改善件数</td> <td>86件</td> <td>62件</td> <td>63件</td> <td>76件</td> <td>69件</td> <td>78件</td> <td>137件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※改善件数の改善内容別内訳(H24~30)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改善内容</th> <th>建物の解体処分</th> <th>屋根・外壁等の飛散防止措置</th> <th>ハチの巣の除去</th> <th>雑草・樹木の除去</th> <th>不法投棄の除去・その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改善件数()はH30</td> <td>29件(8件)</td> <td>163件(38件)</td> <td>49件(10件)</td> <td>257件(40件)</td> <td>73件(41件)</td> <td>571件(137件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 空き家等所有者のための啓発パンフレットを全固定資産税納税義務者約45,000人へ郵送(固定資産税納税通知書へ同封)し、啓発・PRした。</p> <p>(5) 相続財産管理人選任の申立て</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申立て件数</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成30年度は申立て予定物件に相続人がいることが判明し、申立てに至らず。</p> <p>○評価・方向性 特定空き家等の発生抑制対策(法等に基づく措置、啓発パンフレットの送付等)と民間団体(空き家等ネットワーク協議会)と連携した利活用対策に効果が現れており、今後も取り組みを継続・強化し、特定空き家等の発生抑制・減少による近隣住民の良好な生活環境の維持及び空き家等の利活用に寄与していく。</p>				年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	不動産業	69件	75件	100件	74件	57件	55件	協会2団体	8件	13件	16件	20件	19件	13件	年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	改善件数	86件	62件	63件	76件	69件	78件	137件	改善内容	建物の解体処分	屋根・外壁等の飛散防止措置	ハチの巣の除去	雑草・樹木の除去	不法投棄の除去・その他	合計	改善件数()はH30	29件(8件)	163件(38件)	49件(10件)	257件(40件)	73件(41件)	571件(137件)	年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	申立て件数	1件	2件	1件	0件	2件	1件	1件	0件
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																																																			
不動産業	69件	75件	100件	74件	57件	55件																																																																			
協会2団体	8件	13件	16件	20件	19件	13件																																																																			
年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																																																		
改善件数	86件	62件	63件	76件	69件	78件	137件																																																																		
改善内容	建物の解体処分	屋根・外壁等の飛散防止措置	ハチの巣の除去	雑草・樹木の除去	不法投棄の除去・その他	合計																																																																			
改善件数()はH30	29件(8件)	163件(38件)	49件(10件)	257件(40件)	73件(41件)	571件(137件)																																																																			
年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																																																	
申立て件数	1件	2件	1件	0件	2件	1件	1件	0件																																																																	
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①特定空き家件数の抑制(件)</td> <td>① 500</td> <td>① 473</td> </tr> <tr> <td>②空き家等利活用件数(件)</td> <td>② 20</td> <td>② 13</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標(単位)	目標	実績	①特定空き家件数の抑制(件)	① 500	① 473	②空き家等利活用件数(件)	② 20	② 13																																																												
評価指標(単位)	目標	実績																																																																							
①特定空き家件数の抑制(件)	① 500	① 473																																																																							
②空き家等利活用件数(件)	② 20	② 13																																																																							
備考	○主な特定財源 地方創生推進交付金(国) 42,435円																																																																								

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	9目 市民安全対策費	= 予算所属 = 市民部まちづくり推進課	
事業名	防犯灯管理事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
64,769,000円	63,709,508円	0円	1,059,492円	98.4%	
目的・趣旨	防犯灯の適正な維持管理を行い、安全・安心なまちづくりの推進を図る。				
事業・成果の概要等	○事業内容 (1) 防犯灯の修繕などの維持管理を行った。 (2) 平成28～29年度に、蛍光灯防犯灯をLED防犯灯に更新する事業を行ったが、設置基準に合わないもの等があるため、適正化を進めた。 ・水銀灯を、LED灯へ交換 ・移設、廃灯、新設などの適正配置 ・契約内容の適正化				
	○事業実績・説明 (1) 防犯灯リース料等 30,778,888円 (土地借上含む) LED 13,136灯分				
	(2) 修繕等 7,856,533円				
	内 容		灯数		
	防犯灯の修繕などの維持管理		321		
	防犯灯の適正化 ・水銀灯をLED灯へ交換(43灯) ・移設、廃灯、新設などの適正配置(170灯) ・契約内容の適正化(78灯)		291		
	(3) 電気料 (単位:円)				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年額	48,440,524	44,166,492	35,454,720	25,074,087
	月平均	4,036,710	3,680,541	2,954,560	2,089,507
○評価・方向性 (1) 防犯灯の維持管理については、老朽化した防犯灯・柱の更新・撤去、自治会等から要望があり設置が適当と判断した箇所への防犯灯の新設等、適正に対応することができた。今後も適正に維持管理を行っていく。 (2) 防犯灯の適正化については、自治会等と協議の上、水銀灯のLED化、移設・廃灯・新設、契約内容の適正化を進めることができ、電気料金も削減することができた。設置基準に合わないもの等は、現場調査を進め、さらなる適正化を図っていく。					
評価指標(単位)		目標	実績		
適正化を進めた防犯灯の数(灯)		100	291		
備考					

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	10目 地域活動推進費	= 予算所属 = 市民部まちづくり推進課
事業名	コミュニティ(防災)センター改修事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
8,955,000円	8,683,092円	0円	271,908円	97.0%
目的・趣旨	コミュニティ(防災)センター等の利用者の安全を確保し、安心して快適に利用できる環境整備を行う。			
事業・成果の概要等	○事業内容 老朽化、経年劣化が著しいコミュニティセンターの修繕を行い、施設の適切な管理を図った。			
	○事業実績・説明 (1) 修繕料			
	・若浜学区コミュニティ防災センターエアコン設備修繕		1,155,600円	
	・広野コミュニティセンター大会議室エアコン設備修繕		1,479,600円	
	・東平田コミュニティ防災センター事務室エアコン設備修繕		680,400円	
	・南遊佐コミュニティセンター事務室エアコン設備修繕		419,472円	
	・松嶺コミュニティセンター事務室エアコン設備修繕		518,400円	
	・若浜学区コミュニティ防災センター暖房機設備修繕		637,740円	
	・宮野浦学区コミュニティ防災センター暖房機設備修繕		938,520円	
	・南遊佐コミュニティセンター非常放送設備修繕		1,242,000円	
・大沢コミュニティセンター舗装整備		1,611,360円		
○評価・方向性 計画していた事業についてはすべて実施することができたが、各施設の老朽化に伴い増加している修繕の要望すべてには対応しきれしていない。今後各施設の経年劣化が進むため、大規模改修の必要性が高まってくるが、改修内容の優先度と効果度を見極め、地域コミュニティ活動の拠点として、安全安心で快適な環境整備を行っていく。				
評価指標(単位)		目標	実績	
		年度内事業の完了	完了	
備考	○主な特定財源 緊急防災・減災事業債(市債) 4,200,000円 過疎対策事業債(市債) 1,600,000円			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	10目 地域活動推進費	= 予算所属 = 市民部まちづくり推進課						
事業名	コミュニティ振興事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
146,237,000円	145,936,100円	0円	300,900円	99.8%						
目的・趣旨	地域が育んできた力を活かし、地域に合った取り組みを地域コミュニティ自らが自由に選択し実行できる交付金制度（ひとづくり・まちづくり総合交付金）により、各地域の活性化を支援していく。									
事業内容	<p>○事業内容 コミュニティ振興会に対し、それぞれの地域課題解決を図るための自主的に使える財源として交付金を交付した。 また、各部署の補助金等のうち統合できるものは交付金への統合化を図り、更に自治会等の地域団体に対する交付金も併せ、総合交付金として各コミュニティ振興会へ一括交付した後、各振興会から各自治会等へ交付した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) ひとづくり・まちづくり交付金 121,682,300円 【内訳】 交付金算定基本額 83,286,000円 敬老会事業加算 27,659,300円 体育振興会事業加算 2,277,000円 自主防災協議会事業加算 310,000円 地域の教育力向上事業加算 6,600,000円 東山利活用事業加算 50,000円 廃棄物減量推進活動加算 1,500,000円</p> <p>(2) 特定交付金 24,253,800円 【内訳】 自治会運営交付金 21,033,800円 空き家等見守り隊加算 1,320,000円 町をきれいにする週間協力加算 1,050,000円 民俗芸能保存会交付金 850,000円</p> <p>○評価・方向性 各コミュニティ振興会へのアンケート（平成30年8月実施）の結果では、「新規事業の実施」又は「既存事業の見直し」に取り組んだとした振興会が合わせて24団体（66%）あり、地域の課題解決のための取組みが進められていると考えている。また、地区の活性化計画（プラン）の策定についてモデル的に取り組んでいる地区もあるが、「策定済」、「策定中」及び「策定したい」とした振興会が24団体（66%）あり、地域住民自らが主体となった取組みの必要性は認識されてきているものと分析している。こうした取組みを推進するため、必要な経費についての確に加算するなど、より使いやすい・実効性の高い制度とするための見直しを図っていく。</p>									
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域の課題解決に向けた新規事業の実施、又は既存事業の見直しをした地域（%）</td> <td>100</td> <td>66</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	地域の課題解決に向けた新規事業の実施、又は既存事業の見直しをした地域（%）	100	66
評価指標（単位）	目標	実績								
地域の課題解決に向けた新規事業の実施、又は既存事業の見直しをした地域（%）	100	66								
備考	<p>○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 12,400,000円 過疎地域自立コミュニティ振興基金繰入金 23,800,000円</p>									

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	10目 地域活動推進費	= 予算所属 = 市民部まちづくり推進課						
事業名	亀ヶ崎コミュニティ防災センター（仮称）整備事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
17,185,000円	17,157,960円	0円	27,040円	99.8%						
目的・趣旨	亀ヶ崎地区住民の生涯学習活動・自主防災活動等の拠点を整備することで、地域活動の活性化、防災活動の強化を図る。									
事業内容	<p>○事業内容 亀ヶ崎公園内に亀ヶ崎地区住民の活動拠点となる亀ヶ崎コミュニティ防災センター（仮称）を整備する。 ・木造平屋建、一部鉄骨造（延べ面積 393.12㎡、敷地面積 2,971.9㎡）</p> <p>○事業実績・説明 ・コミュニティ防災センター、防災資機材庫、駐車場等の外構整備の設計業務委託（※亀ヶ崎体育館と渡り廊下で結ぶ） ・埋蔵文化財調査のための地盤調査業務委託</p> <p>委託料内訳 ・設計業務委託 15,584,400円 ・地盤調査業務委託 1,573,560円 計 17,157,960円</p>									
事業成果の概要等	<p>＜参考＞ 建屋内配置図（概略）</p>  <p>○評価・方向性 計画通りに地域の活動拠点である亀ヶ崎コミュニティ防災センターの設計等ができた。 今後整備工事を進め、開館となるが、利用者が安全・安心・快適に施設を利用できるよう、適切な事業管理を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>年度内事業の完了</td> <td>完了</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績		年度内事業の完了	完了
評価指標（単位）	目標	実績								
	年度内事業の完了	完了								
備考	<p>○主な特定財源 緊急防災・減災事業債（市債） 17,100,000円</p>									

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	10目 地域活動推進費	= 予算所属 = 市民部まちづくり推進課
事業名	市民活動支援事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
12,006,000円	11,894,593円	0円	111,407円	99.1%
目的・趣旨	公益に資する市民活動の活性化を図り、市民、団体、事業者、地域コミュニティ及び行政が連携した協働のまちづくりを推進する。			
事業・成果の概要等	○事業内容 ボランティア・公益活動センターの運営、公益活動支援補助金等の交付を行い、市民、団体、事業者及び行政が連携した協働のまちづくりを推進した。			
	○事業実績・説明			
	(1) 公益活動団体			
		H28年度	H29年度	H30年度
	登録団体数	115団体	124団体	134団体
	(2) 公益活動支援補助金 (単位：円)			
		H28年度	H29年度	H30年度
	交付事業数	13事業	12事業	9事業
	交付金額	2,523,000	1,940,000	1,976,000
	(3) 飛島ボランティア活動支援補助金 (単位：円)			
	H28年度	H29年度	H30年度	
団体数	13団体	17団体	7団体	
人数	275人	233人	174人	
交付金額	882,320	842,870	687,120	
(4) ボランティア・公益活動センター運営				
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・公益活動センターオープン記念講演会の開催 ・公益活動のコーディネート業務（ボランティア・公益活動推進員3人配置） ・ボランティア活動へ参加する機会の提供（夏のボランティア体験） ・簡易版ブックレットによる市民への公益活動団体の紹介 ・公益活動団体の登録及び活動PR ・ボランティアコーディネーション力3級検定の実施（地域共創センター等共催） ・公益活動団体に対する研修及び情報提供 				
○評価・方向性				
公益活動支援センターに、ボランティアセンターの機能を統合し、平成30年4月にボランティア・公益活動センターに名称変更した。ボランティア関係の窓口を団体・個人を問わず一本化することにより、利用者の利便性が向上した。また、ボランティア・公益活動センターのオープン記念講演会を開催し、市民に対するセンターの周知、市民によるまちづくりへの参加意識醸成を図った。加えて、公益活動団体への補助金交付、ボランティアコーディネーション力検定などを通して、人材の育成にもつながる取り組みを行った。今後は、コーディネート機能の強化に取り組み、関係機関、ボランティア団体間の連携を促進していくことで、新しい活動の創出を図っていく。				
評価指標（単位）		目標	実績	
ボランティア・公益活動センターの利用人数（人）		9,500	6,080	
備考	○主な特定財源 公益活動支援基金繰入金 11,733,621円			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 市民部まちづくり推進課	
事業名	飛島活力再生推進事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
890,000円	773,656円	0円	116,344円	86.9%	
目的・趣旨	将来にわたってコミュニティ機能を維持し、人々が安心して住み続けられる島とするためには、広範な分野の対策を早急に講じる必要があることから、島民、民間団体、大学、行政が一体となって各種事業を推進する。				
事業・成果の概要等	○事業内容 (1) とびしま未来協議会の運営 島民・大学・NPO・県・市が一体となって協議会組織を運営し、島民座談会等を開催しながら、将来の飛島のあるべき姿に向けて、島民主体の事業を展開する。また、移住定住希望者への対応や外部人材の活動サポート、島民意見の集約など、飛島における諸活動のコーディネート役も担っている。				
	○事業実績・説明				
	協議会で定めた事業計画により次のとおり事業を実施した。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・とびしま未来協議会の開催（5/25） ・とびしま未来協議会通信の発行（21～22号） ・とびしま未来協議会のホームページ等による情報発信事業 ・地区防災計画づくりへの取り組み ・飛島振興プロジェクト事業（島民座談会）への協力 ・飛島でプチ移住体験事業への協力 ・天保そば『飛島や』の販売 ・「カフェスペースしまかへ」の運営（4/28～9/29） ・第11回三島交流会参加（8/23～24佐波島開催）※三島…佐波島・粟島・飛島 ・しまづくりサミット2018参加（11/16） ・アイランダー2018参加（11/17～18） 				
	○評価・方向性				
	とびしま未来協議会は、これまで取り組んできた島民主体の地域づくりが評価され、平成29年11月に「地方自治功労者総務大臣表彰」を受けた。また、「カフェスペースしまかへ」は若者の定住につながり、島に活気をもたらしており、飛島には欠かすことのできない存在となっている。引き続き、地域おこし協力隊員の募集を図り、外部人材の活用も含めた各種事業を継続していく必要がある。加えて、平成29年度から取り組んでいる島民や観光客の安全・安心の確保や交流・観光の拡大に向けた飛島振興策の検討について、山形県及びとびしま未来協議会との連携をさらに深めていく。				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	飛島地域人口（人）		205	191	
	備考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国） 125,000円			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 市民部まちづくり推進課	
事業名	飛島振興プロジェクト検討事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
434,000円	360,995円	0円	73,005円	83.2%	
目的・趣旨	山形県、酒田市、とびしま未来協議会等の連携のもと、個性的で魅力的な資源を活用し、地域社会の維持や振興に向けて、島民との話し合いにより具体的な施策について検討する。				
事業概要等	<p>○事業内容</p> <p>島民や飛島関係者との話し合い及びプロジェクトチーム会議において、飛島で必要となる施設整備やその機能及びその実現可能性などについて検討を行う。島民及び飛島関係者との話し合いを12回、プロジェクトチーム会議を3回実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>島民及び飛島関係者との話し合いを実施し、島民に真に望まれる、飛島に真に必要な施設・機能の整備の方向性をまとめた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月25日 とびしま未来協議会において事業説明 ・6月25日 勝浦地区での話し合い ・同 合同会社ととびしまとの話し合い ・7月14日 中村地区での話し合い ・同 合同会社和楽との話し合い ・7月27日 とびしま未来協議会事務局との話し合い ・7月28日 法木地区での話し合い ・8月9日 バードウォッチングガイド①との話し合い ・8月10日 ジオガイドとの話し合い ・8月20日 飛島コミュニティ振興会会長との話し合い ・同 バードウォッチングガイド②との話し合い ・8月26日 市長と語る「とびしま座談会」（方向性案を島民に提示） <p>○評価・方向性</p> <p>平成29年6月に設置された山形県と酒田市の関係課で構成する「飛島振興プロジェクトチーム」において、飛島振興の重点的な施策について協議・検討が進められおり、平成30年度～令和2年度の3か年で集中的に展開することとしている。</p> <p>平成30年度は、島民及び飛島関係者との丁寧な話し合いを行い、島民のニーズや飛島に真に必要な機能について把握することができた。平成30年8月に島民に示した方向性をもとに、拠点整備や島民の安心安全機能の確保等について検討を進める。</p>				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	プロジェクトチーム及び関係者と島民との話し合い（回）		5	15	
備考					

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 市民部定期航路事業所																							
事業名	定期船ととびしま利用促進事業																										
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																							
1,596,000円	1,546,086円	0円	49,914円	96.9%																							
目的・趣旨	鳥海山・飛島ジオパークの日本ジオパーク認定を契機として、子ども連れの家族が飛島でジオパークを楽しみ学習する際の費用負担を軽減することで鳥海山・飛島ジオパークの一層の普及と定期船乗船者数の維持向上、飛島への誘客を促進する。																										
事業概要等	<p>○事業内容</p> <p>4月28日から5月31日まで、7月及び10月に子ども無料キャンペーンを実施した。キャンペーン期間中に飛島ジオツアーとミニ飛島講座を開催し、飛島のジオサイトを紹介することにより、鳥海山・飛島ジオパークを体験学習する機会を創出した。また、野鳥観察ツアーを開催し、バードウォッチングスポットである飛島のPRに繋がった。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 子ども無料キャンペーンの実施</p> <p>定期航路事業において、保護者が同伴して定期船に乗船する場合の子ども（小学生）料金を無料とした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">期 間</th> <th colspan="3">利用者数</th> </tr> <tr> <th>大人</th> <th>子ども</th> <th>幼児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゴールデンウィーク月間</td> <td>4月28日～5月31日</td> <td>73人</td> <td>48人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>海の日月間</td> <td>7月1日～7月31日</td> <td>430人</td> <td>324人</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>バードウォッチング月間</td> <td>10月1日～10月31日</td> <td>39人</td> <td>30人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 飛島ジオツアー、ミニ飛島講座及び野鳥観察ツアーの実施</p> <p>【飛島ジオツアー】</p> <p>鳥海山・飛島ジオパーク認定ガイドが、館岩と海岸遊歩道周辺のジオサイトや見どころを案内した。</p> <p>参加者数 5月5日 大人9人、子ども4人（実施回数1） 5月6日 大人6人、子ども3人、幼児1人（実施回数2） 7月14日 大人15人、子ども11人、幼児2人（実施回数2） 7月15日 大人46人、子ども32人、幼児6人（実施回数2）</p> <p>【ミニ飛島講座】</p> <p>子ども料金無料期間内に鳥海山・飛島ジオパーク認定ガイドが、飛島に向かう定期船船内とマリンプラザ周辺で飛島の成り立ちや自然を解説した。</p> <p>【野鳥観察ツアー】</p> <p>日本野鳥の会山形県支部長を講師に島内の野鳥を観察して回った。</p> <p>参加者数 4月29日 大人6人、子ども5人、幼児1人</p> <p>○評価・方向性</p> <p>子ども無料キャンペーン期間を拡大したことで7、10月の乗客数は前年度に比べ増加する効果があった。更にキャンペーン期間を延長することにより乗客数の増加を図る。また、鳥海山・飛島ジオパーク認定ガイドの活動が拡大し、案内活動の定着が進んでいる。</p>					期 間	利用者数			大人	子ども	幼児	ゴールデンウィーク月間	4月28日～5月31日	73人	48人	12人	海の日月間	7月1日～7月31日	430人	324人	58人	バードウォッチング月間	10月1日～10月31日	39人	30人	2人
期 間	利用者数																										
	大人	子ども	幼児																								
ゴールデンウィーク月間	4月28日～5月31日	73人	48人	12人																							
海の日月間	7月1日～7月31日	430人	324人	58人																							
バードウォッチング月間	10月1日～10月31日	39人	30人	2人																							
	評価指標（単位）		目標	実績																							
	期間中子ども利用者数（人）		400	402																							
備考	○主な特定財源 鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会構成自治体支援事業助成金 281,000円																										

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 八幡総合支所地域振興課																																											
事業名	八幡地域振興事業																																														
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																											
1,825,000円	1,773,771円	0円	51,229円	97.2%																																											
目的・趣旨	生涯学習・芸術文化活動等の推進により、地域住民の学習への意欲向上や文化芸術意識の高揚を図る。																																														
事業・成果の概要等	○事業内容 八幡地域の自主性と特徴を生かした地域振興（生涯学習）事業の実施																																														
	(1) やわた文化祭 ・期日 展示部門／10月27日～29日 ステージ部門／11月3日																																														
	(2) やわた俳句大会 ・期日 8月25日																																														
	(3) 百人一首かるた大会 ・期日 1月12日																																														
	(4) クラシックコンサート ・期日 10月4日																																														
○事業実績・説明																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業内容</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> <tr> <th>参加数</th> <th>参加数</th> <th>参加数</th> <th>各事業執行額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>やわた文化祭</td> <td>300人</td> <td>300人</td> <td>300人</td> <td>210,336</td> </tr> <tr> <td>やわた俳句大会</td> <td>1,127人</td> <td>943人</td> <td>741人</td> <td>48,118</td> </tr> <tr> <td>百人一首かるた大会</td> <td>127人</td> <td>88人</td> <td>113人</td> <td>44,369</td> </tr> <tr> <td>クラシックコンサート</td> <td>199人</td> <td>266人</td> <td>220人</td> <td>1,470,948</td> </tr> <tr> <td>八幡婚活事業</td> <td>36人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>音楽国際交流事業</td> <td>780人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,569人</td> <td>1,597人</td> <td>1,374人</td> <td>1,773,771</td> </tr> </tbody> </table>				事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	参加数	参加数	参加数	各事業執行額	やわた文化祭	300人	300人	300人	210,336	やわた俳句大会	1,127人	943人	741人	48,118	百人一首かるた大会	127人	88人	113人	44,369	クラシックコンサート	199人	266人	220人	1,470,948	八幡婚活事業	36人				音楽国際交流事業	780人				合 計	2,569人	1,597人	1,374人	1,773,771
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度		平成30年度																																										
	参加数	参加数	参加数	各事業執行額																																											
やわた文化祭	300人	300人	300人	210,336																																											
やわた俳句大会	1,127人	943人	741人	48,118																																											
百人一首かるた大会	127人	88人	113人	44,369																																											
クラシックコンサート	199人	266人	220人	1,470,948																																											
八幡婚活事業	36人																																														
音楽国際交流事業	780人																																														
合 計	2,569人	1,597人	1,374人	1,773,771																																											
※俳句大会は、延べ人数																																															
○評価・方向性 上記の文化祭等のイベントは、芸術文化を鑑賞する機会や発表・交流・競技の場として、一定の参加団体・観客数を得て定着している。一方、俳句の会の高齢化、百人一首大会の少子化による参加者の確保など、課題が顕在化している。今後は、多くの地域住民・小中学生等が文化活動を通じ、気軽に参加し交流できる事業を検討し、地域振興の活性化に寄与できるよう考慮していく。																																															
評価指標（単位）		目標	実績																																												
事業参加人数（人）		1,650	1,374																																												
備考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） クラシックコンサート講演入場料		1,500,000円 233,400円																																												

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 八幡総合支所地域振興課																									
事業名	八幡生涯スポーツ振興事業																												
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																									
700,000円	700,000円	0円	0円	100.0%																									
目的・趣旨	八幡地区の生涯スポーツの振興を図るため、スポーツ大会を開催し地区民の健康維持推進と世代間交流、地域スポーツ団体の育成に寄与。																												
事業・成果の概要等	○事業内容 スポーツ大会参加者数(人)																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八幡体育祭</td> <td>459</td> <td>379</td> <td>373</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市巡回駅伝競走大会</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>(八幡分)</td> </tr> <tr> <td>市民体育祭</td> <td>147</td> <td>124</td> <td>124</td> <td>(八幡分)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>671</td> <td>552</td> <td>510</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	摘要	八幡体育祭	459	379	373		市巡回駅伝競走大会	13	13	13	(八幡分)	市民体育祭	147	124	124	(八幡分)	合 計	671	552	510	
	項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	摘要																								
	八幡体育祭	459	379	373																									
	市巡回駅伝競走大会	13	13	13	(八幡分)																								
市民体育祭	147	124	124	(八幡分)																									
合 計	671	552	510																										
○事業実績・説明 八幡体育祭実施種目																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>種目数</th> <th>平成30年度実施種目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>10</td> <td rowspan="3">ロードレース、ビーチボールバレー、ベタンク、公式ワナゲ、グラウンドゴルフ、エックスロープバトル、ソフトボール</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	種目数	平成30年度実施種目	平成28年度	10	ロードレース、ビーチボールバレー、ベタンク、公式ワナゲ、グラウンドゴルフ、エックスロープバトル、ソフトボール	平成29年度	7	平成30年度	7																
年 度	種目数	平成30年度実施種目																											
平成28年度	10	ロードレース、ビーチボールバレー、ベタンク、公式ワナゲ、グラウンドゴルフ、エックスロープバトル、ソフトボール																											
平成29年度	7																												
平成30年度	7																												
○評価・方向性 八幡スキー場は、設備の老朽化と後継者不足により平成30年度で八幡スキー場振興会が解散し、八幡スキー場を廃止した。 八幡体育祭は、参加者の減少傾向が続いてきたが、スポーツを通じて人々のつながりや一体感を生む世代間交流ができる貴重な事業であり、学校や地域への参加促進、更なる種目の普及と検討を図り、参加者数の維持・向上を目指す。																													
評価指標（単位）		目標	実績																										
八幡体育祭参加者人数（人）		500	373																										
備考	○主な特定財源 過疎地域自立集落機能活性化推進基金繰入金		669,500円																										

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 八幡総合支所地域振興課																																												
事業名	八幡地域おこし協力隊活動推進事業																																															
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																												
4,053,000円	2,992,327円	0円	1,060,673円	73.8%																																												
目的・趣旨	都市に住む若者を受け入れ、地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事してもらい、合わせて定住・定着を図りながら、地域活性化への貢献を期待するもの。																																															
事業・成果の概要等	○事業内容																																															
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の支え合い、生活支援の仕組みづくり ・地域資源の見直しとSNSや動画作成による情報発信 ・地域の農産物を活用したキッチンカーによるランチ提供の実施 ・地域の伝統行事への参加と伝承支援 ・大沢、日向コミュニティ振興会活動への参画 ・地域の特産品開発の仕組みづくり ・子育て中の親子支援 他 																																															
	○事業実績・説明																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>実施月</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">地域おこし事業への取り組み</td> <td>夏季</td> <td>キッチンカーによる地域食材の活用</td> </tr> <tr> <td>年4回</td> <td>マルシェ（野菜・手芸品・そば等）開催</td> </tr> <tr> <td>随時</td> <td>協力隊の情報誌の発行・ネットでの地域情報発信</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">地域の支え合い</td> <td>8月</td> <td>新たな地域資源活用のためのイベント企画</td> </tr> <tr> <td>随時</td> <td>地域の伝統行事の保存支援</td> </tr> <tr> <td>随時</td> <td>地域の不法投棄監視</td> </tr> <tr> <td>随時</td> <td>地域住民との地域課題解決に向けた意見交換</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>防災キャンプ支援</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高齢者支援</td> <td>随時</td> <td>高齢者教室企画支援</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>除雪ボランティア企画支援</td> </tr> <tr> <td>育児支援</td> <td>随時</td> <td>子育てランチ会、子育て意見交換会</td> </tr> <tr> <td>大学生への支援</td> <td>随時</td> <td>公益大生への研修支援</td> </tr> <tr> <td>コミ振活動への参画</td> <td>随時</td> <td>運動会・秋祭り・そば打ち体験等</td> </tr> <tr> <td>地域活動への参画</td> <td>随時</td> <td>消防団活動・自治会活動</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>随時</td> <td>各地域の協力隊、移住者との合同研修会企画実施</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>移住体験ツアー受入れ</td> </tr> </tbody> </table>					項 目	実施月	内 容	地域おこし事業への取り組み	夏季	キッチンカーによる地域食材の活用	年4回	マルシェ（野菜・手芸品・そば等）開催	随時	協力隊の情報誌の発行・ネットでの地域情報発信	地域の支え合い	8月	新たな地域資源活用のためのイベント企画	随時	地域の伝統行事の保存支援	随時	地域の不法投棄監視	随時	地域住民との地域課題解決に向けた意見交換	9月	防災キャンプ支援	高齢者支援	随時	高齢者教室企画支援	冬期	除雪ボランティア企画支援	育児支援	随時	子育てランチ会、子育て意見交換会	大学生への支援	随時	公益大生への研修支援	コミ振活動への参画	随時	運動会・秋祭り・そば打ち体験等	地域活動への参画	随時	消防団活動・自治会活動	その他	随時	各地域の協力隊、移住者との合同研修会企画実施	9月	移住体験ツアー受入れ
	項 目	実施月	内 容																																													
	地域おこし事業への取り組み	夏季	キッチンカーによる地域食材の活用																																													
		年4回	マルシェ（野菜・手芸品・そば等）開催																																													
		随時	協力隊の情報誌の発行・ネットでの地域情報発信																																													
	地域の支え合い	8月	新たな地域資源活用のためのイベント企画																																													
		随時	地域の伝統行事の保存支援																																													
随時		地域の不法投棄監視																																														
随時		地域住民との地域課題解決に向けた意見交換																																														
9月		防災キャンプ支援																																														
高齢者支援	随時	高齢者教室企画支援																																														
	冬期	除雪ボランティア企画支援																																														
育児支援	随時	子育てランチ会、子育て意見交換会																																														
大学生への支援	随時	公益大生への研修支援																																														
コミ振活動への参画	随時	運動会・秋祭り・そば打ち体験等																																														
地域活動への参画	随時	消防団活動・自治会活動																																														
その他	随時	各地域の協力隊、移住者との合同研修会企画実施																																														
	9月	移住体験ツアー受入れ																																														
○評価・方向性																																																
平成30年度に日向地区・大沢地区に配置した2名体制の隊員活動は、積極的に地域活動等に参画し地域の支援を行っており地域住民の評価も高い。日向地区の協力隊は任期満了後に市内企業へ就職が決まり、定住に繋がっている。令和元年度も引き続き日向地区へ協力隊を配置し、八幡地域における交流人口の拡大と、地域課題解決に向けた取り組みを継続して行う。																																																
評価指標（単位）		目標	実績																																													
地域おこし事業への取り組み数（件）		5	4																																													
備考																																																

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 八幡総合支所地域振興課																			
事業名	大沢地区地域づくり推進モデル事業																						
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																			
4,544,000円	4,357,825円	0円	186,175円	95.9%																			
目的・趣旨	山形県が県内の地区を選定して実施する地域運営組織形成モデル事業と連携し、人口減少や高齢化による地域課題の解決に向けた組織体制づくりや人材育成を行い、多機能型の取り組みを持続的にするための組織（地域運営組織）の形成を目指す。																						
事業・成果の概要等	○事業内容																						
	<ul style="list-style-type: none"> （1）八幡地域の八幡地区を活動拠点とした組織づくり <ul style="list-style-type: none"> ・地域の組織体制づくりや人材育成を図る （2）ジオパーク関連 <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用した交流人口の拡大や、収益の確保に向けた試験的なジオパーク関連イベントの実施 （3）先進地視察 <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化に対する機運醸成として、自主的な住民活動により地域活性化に成功している先進地区への大沢地区の住民を対象とした視察研修 （4）実施事業の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・組織づくり等を経て、具体的に実施する事業の検討を図る 																						
	○事業実績・説明																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>実績</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域づくり推進モデル事業計画策定・組織再編委員会</td> <td>16回</td> <td>地域づくり計画の策定と組織改編に向けた検討会を全大会、事務局会、作業部会に分けて開催</td> </tr> <tr> <td>ジオパークと連携した地域資源活用企画</td> <td>2回</td> <td>7月29日 ジオパーク連携川遊び企画 57名 2月3日 ジオパーク連携雪遊び企画 50名</td> </tr> <tr> <td>先進地視察研修</td> <td>2回</td> <td>9月3日 糸魚川市上南地区地域づくり協議会 14名 3月7日 北上市 NPO法人くちない 8名</td> </tr> <tr> <td>地域づくり計画策定</td> <td></td> <td>2月21日 大沢コミュニティ振興会臨時評議会にて地域づくり計画と組織再編の原案の承認</td> </tr> <tr> <td>その他の事業</td> <td>3回</td> <td>12月2日 ミニ産直コーナー設置による野菜試験販売 12月15日 アルミ缶回収ボックスの設置 1月25日 地域運営組織形成モデル事業報告会 3月7日 有償除雪ボランティア試験除雪実施</td> </tr> </tbody> </table>					項 目	実績	内 容	地域づくり推進モデル事業計画策定・組織再編委員会	16回	地域づくり計画の策定と組織改編に向けた検討会を全大会、事務局会、作業部会に分けて開催	ジオパークと連携した地域資源活用企画	2回	7月29日 ジオパーク連携川遊び企画 57名 2月3日 ジオパーク連携雪遊び企画 50名	先進地視察研修	2回	9月3日 糸魚川市上南地区地域づくり協議会 14名 3月7日 北上市 NPO法人くちない 8名	地域づくり計画策定		2月21日 大沢コミュニティ振興会臨時評議会にて地域づくり計画と組織再編の原案の承認	その他の事業	3回	12月2日 ミニ産直コーナー設置による野菜試験販売 12月15日 アルミ缶回収ボックスの設置 1月25日 地域運営組織形成モデル事業報告会 3月7日 有償除雪ボランティア試験除雪実施
	項 目	実績	内 容																				
	地域づくり推進モデル事業計画策定・組織再編委員会	16回	地域づくり計画の策定と組織改編に向けた検討会を全大会、事務局会、作業部会に分けて開催																				
	ジオパークと連携した地域資源活用企画	2回	7月29日 ジオパーク連携川遊び企画 57名 2月3日 ジオパーク連携雪遊び企画 50名																				
	先進地視察研修	2回	9月3日 糸魚川市上南地区地域づくり協議会 14名 3月7日 北上市 NPO法人くちない 8名																				
	地域づくり計画策定		2月21日 大沢コミュニティ振興会臨時評議会にて地域づくり計画と組織再編の原案の承認																				
	その他の事業	3回	12月2日 ミニ産直コーナー設置による野菜試験販売 12月15日 アルミ缶回収ボックスの設置 1月25日 地域運営組織形成モデル事業報告会 3月7日 有償除雪ボランティア試験除雪実施																				
○評価・方向性																							
大沢地区の地域づくり推進モデル事業は、地域住民の話し合いによる課題解決のための組織づくりと地域づくり計画が策定され、地域の機運も高まりつつある。今後は地域づくり計画を実行し、ノウハウの蓄積と人材の育成を進めることで自主的な課題解決の仕組みを定着させ、他地区への助言を行えるように事業を行う。																							
評価指標（単位）		目標	実績																				
収益事業数（件）		1	0																				
備考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国）		1,891,822円																				
	地域運営組織形成モデル事業費補助金（県）		500,000円																				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 八幡総合支所地域振興課	
事業名	白旗史朗作品によるジオパーク発信事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,876,000円	1,820,720円	0円	55,280円	97.1%	
目的・趣旨	鳥海山・飛鳥ジオパークの発信による交流人口拡大と、その機運醸成及び「写真のまち・さかた」や土門拳記念館の発信による交流人口拡大を図る。				
事業・成果の概要等	○事業内容				
	(1) 白旗史朗講演会 ・やわた文化祭の第50回記念として開催 ・おもに市民を対象として、日本を代表する山岳写真家による鳥海山の魅力などについての講演				
	(2) 白旗作品パネル作成 ・八幡町時代に、町の委託により白旗氏が撮影した鳥海山の写真100枚から、17枚を選んでパネルを作成し、講演会やジオパーク関係のイベント、酒田市美術館などで展示				
	(3) 鳥海山写真撮影モニターツアー ・山岳会の案内による鳥海山の撮影モニターツアーの開催 ・白旗氏による参加者が撮影した作品への講評 ・土門拳記念館バックヤードツアー				
	○事業実績				
	項 目	実績	内 容		
	白旗史朗講演会	200名	やわた文化祭50回記念として白旗史朗による特別記念講演と対談の開催		
	白旗作品パネル作成	17枚	白旗作品のデジタル化と大型パネルへのプリント		
	モニターツアー	20名	山岳ガイドによる鳥海山ガイドと白旗史朗による写真撮影講座と指導ツアー		
	パネル展示	随時	八幡文化祭展示（10月27日～10月29日） 酒田市美術館市民ギャラリー（1月5日～1月25日） 酒田吹奏楽団「プラスのひびき2018」（12月9日）		
	○評価・方向性				
	山岳写真家、白旗史朗氏のネームバリューは現在も集客力があり、やわた文化祭での記念講演や、酒田市美術館でのジオパークと連携したパネル展示も好評であった。白旗作品のポジフィルムを計画的にデジタル化し保存、プリントしたパネルを活用した展示会を開催することで、写真という切り口から鳥海山・飛鳥ジオパーク活動の推進を図る方法を継続する。				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	白旗史朗氏講演会入場者数（人）		250	200	
備考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 1,500,000円 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会構成自治体支援事業助成金 300,000円				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 八幡総合支所地域振興課	
事業名	八幡青少年国内交流事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
2,402,000円	2,394,321円	0円	7,679円	99.7%	
目的・趣旨	八幡地域の小学生が沖縄県東村の小学生との交流を通じ友情を深めると共に、共同生活の中で自立心・協調心を養う。また、互いの地域の自然・歴史・文化に触れあうことにより、児童の見聞を広げ、視野拡大を図る。				
事業・成果の概要等	○事業内容				
	(1) 第24回八幡「児童交流の翼」派遣 ・日程 7月27日～31日（4泊5日） ・研修内容 小学校での交流会、パイナップル収穫、海洋体験交流、民泊、歴史・平和学習、首里城見学 ・応募者 23人（一條小10人・八幡小13人）全員6年生 ・参加者 20人（一條小9人・八幡小10人） ・受入れ校 沖縄県東村立有銘小学校 ・準備等 4月 実行委員会 6月～7月 事前学習会（2回） 3月 感想文集配付				
	(2) 第25回東村「児童交流の翼」受入れ ・日程 1月25日～1月28日（3泊4日） ・研修内容 八幡小学校での交流会、雪体験活動、地域の人達を交えて昔からの伝統的な遊び等を通じた児童の交流会				
	○事業実績				
		年 度	応募者数 （人）	派遣児童数 （人）	受入児童数 （人）
	平成28年度	38	20	16	15
	平成29年度	37	20	19	18
	平成30年度	23	20	19	17
	○評価・方向性				
	交流を通じて、友情を育み、児童の協調心・自立心を養っている。また、遠く離れた地域の異文化や歴史に触れることにより、自分達の地域の優れたところや平和の尊さを認識する機会にもなっている。交流後の児童の感想文の内容や例年の応募者数を見ても、双方の児童・保護者等のニーズは高く、今後も有意義な交流活動事業を検討していく。				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	①東村との交流参加児童の満足度（%）		①100	①100	
	②事業参加者数（人）		②20	②20	
備考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 2,300,000円				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 八幡総合支所建設産業課
事業名	鳥海山・やわた地域ジオパーク推進事業			
予算現額 ①	289,000円	289,000円	0円	0円
支出済額 ②				
翌年度繰越額 ③				
不用額 ①-②-③				
執行率 ②/①	100.0%			
目的・趣旨	ジオパーク認定を受けた鳥海山麓で展開される観光振興事業及び地元住民が中心となっておこなう地域おこし活動を支援することにより、地域の活性化と豊かな観光資源のPRを図る。			
事業・成果の概要等	○事業内容 八幡地域観光物産事業実行委員会がジオサイトの紹介や地域文化の掘り起こしなど、豊かな観光資源のPRや各種イベントを実施する。 実行委員会負担金 289,000円			
	○事業実績・説明			
	月日	名称	実施場所	参加者数
	6月9日	新緑の青沢峡探訪	北青沢大俣川流域	16人
	7月7日	やわたの名瀑探訪	慈光滝、玉簾の滝など5名瀑	17人
	8月26日	ジオパーク研修会①	鳥海山「月山森」	悪天候のため中止
	9月29日	ジオパーク研修会②	上青沢白玉川及び日向川発電所	17人
	10月14日	ジオパーク研修会③	升田「鶴間池」周辺	15人
	11月3日	紅葉の青沢峡探訪	北青沢大俣川流域	13人
1月18日	初心者のためのトレッキング講習会①	湯ノ台周辺	15人	
2月16日	初心者のためのトレッキング講習会②	湯ノ台周辺	19人	
3月2日	初心者のためのトレッキング講習会③	湯ノ台周辺	21人	
○評価・方向性 これまで脚光を浴びることのなかった地域の観光資源を地域住民を交えて企画した。マイクロバス1台の事業であるが悪天候のため1事業が中止になったにもかかわらず多数の参加者があった。 参加者のリピート率の高い事業であり、今後更なる広がりも期待できるイベントとして引き続き支援していく。				
	評価指標（単位）	目標	実績	
	参加者数（人）	150	133	
備考	○主な特定財源 過疎地域自立集落機能活性化推進基金繰入金 289,000円			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 八幡総合支所建設産業課	
事業名	やわた産業まつり支援事業				
予算現額 ①	246,000円	246,000円	0円	0円	
支出済額 ②					
翌年度繰越額 ③					
不用額 ①-②-③					
執行率 ②/①	100.0%				
目的・趣旨	秋の収穫祭を兼ねて開催される地域の恒例行事であり、地域内外への特産品等の周知と販路拡大を目指すやわた産業まつりを支援することで、地域事業者・各種団体の活性化および地域住民の交流推進を図る。				
事業・成果の概要等	○事業内容 地域の事業者等による地元物品の展示販売や餅つき、大沢清流太鼓や消防音楽隊、鳥海八幡中学校吹奏楽部の演奏等を行い、地域活性化イベントの実行委員会を支援した。				
	(1) 期日 平成30年10月28日				
	(2) 場所 八幡タウンセンター前 駐車場				
	(3) 参加者数 約2,000人				
	(4) 実行委員会負担金 246,000円				
	○事業実績・説明				
	年度	支出額（円）	出店数	参加者数（人）	主な販売品や演出物
	平成26年度	246,000	12	約3,500	牛乳 ヨーグルト スベアリブ 地元野菜 林業用資材 升田かぶ 鳥海山水河水 地酒 模擬上様式 中学校吹奏楽等
	平成27年度	246,000	13	約3,500	
	平成28年度	246,000	14	約3,500	
平成29年度	246,000	11	約3,000		
平成30年度	246,000	11	約2,000		
○評価・方向性 今回は天候に恵まれず目標を下回ったが、地域に定着した行事であり、今後も特産品等の周知や販路拡大を目指すイベントとして引き続き支援していく。					
	評価指標（単位）	目標	実績		
	やわた産業まつり入込数（人）	3,500	2,000		
備考	○主な特定財源 過疎地域自立農工商等連携推進基金繰入金 246,000円				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 八幡総合支所建設産業課																		
事 業 名	八幡地域観光物産支援事業																					
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																		
950,000円	950,000円	0円	0円	100.0%																		
目的・趣旨	八幡地域の恒例のイベント「やわたの夏まつり」を実施する八幡地域観光物産事業実行委員会を支援し、住民の交流と地域活性化を目指す。																					
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>八幡地域の文化伝統芸能を舞台で披露する第1部、プロのパフォーマー等による第2部、及びフィナーレを飾る花火の打ち上げの3部構成で夏の夜を盛り上げた。</p> <p>(1) 期日 平成30年8月14日 (2) 場所 八幡タウンセンター前 駐車場 (3) 参加者数 約3,100人 (4) 実行委員会負担金 950,000円</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支出額 (円)</th> <th>参加者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>950,000</td> <td>約3,000</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>950,000</td> <td>約2,150</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>950,000</td> <td>約3,500</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>950,000</td> <td>約3,500</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>950,000</td> <td>約3,100</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>地域の伝統行事であるとともに、趣味の芸能、伝統芸能を学ぶ住民の発表の場もかねており、住民間の交流の促進を図るためにも引き続き支援していく。</p>				年度	支出額 (円)	参加者数 (人)	平成26年度	950,000	約3,000	平成27年度	950,000	約2,150	平成28年度	950,000	約3,500	平成29年度	950,000	約3,500	平成30年度	950,000	約3,100
	年度	支出額 (円)	参加者数 (人)																			
	平成26年度	950,000	約3,000																			
平成27年度	950,000	約2,150																				
平成28年度	950,000	約3,500																				
平成29年度	950,000	約3,500																				
平成30年度	950,000	約3,100																				
	評価指標 (単位)	目標	実績																			
	やわたの夏まつり入込数 (人)	3,000	3,100																			
備考	○主な特定財源 過疎対策事業債 (市債) 900,000円																					

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 松山総合支所地域振興課	
事 業 名	松山地域振興事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
705,000円	550,820円	0円	154,180円	78.1%	
目的・趣旨	高齢者健康づくり (高齢化対策)、まつやまくまくん教室 (子育て支援)、芸術祭支援の3事業を展開し、交流人口の増加による地域のにぎわい創出と活性化を図る。				
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 高齢者健康づくり 健康寿命の延伸と地域住民の交流を推進するため、松山健康福祉センターを拠点とした介護予防事業 (松山いきいきくらぶ)、健康福祉フェアを継続して実施し、健康で安心して生活できる基盤づくりを行った。</p> <p>(2) まつやまくまくん教室 ・創作教室 絵本作家つちだよしはる先生とふれあいながら、親子と一緒に創作する機会の提供と松山地区の交流人口の拡大を図った。 ・読み聞かせ 絵本の読み聞かせや昔話を聞く機会をつくることによって、地域との交流や親子の関わりを増やし、相互コミュニケーションの向上を図った。</p> <p>(3) 芸術祭への支援 松山地区で開催されるイベント情報の集約とその周知を図ることで松山地区への関心を深めた。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 高齢者健康づくり 165,835円 ・松山いきいきくらぶ 10回実施 延べ参加人数 516名 ・松山健康福祉フェアの開催 7月8日 参加人数 128名 (講演会講師: 松山診療所 (山形県・酒田市病院機構) 鈴木琢磨 医師) ・松山いきいき体操実施指導 27回実施 延べ参加人数 1,068名</p> <p>(2) まつやまくまくん教室 349,345円 ・創作教室 (松山保育園) 10月23日 参加人数28名 ・創作教室 (松山小学校) 10月24日 参加人数26名 ・読み聞かせ 11月4日 (産業フェア内での開催) ・創作教室 (かるた) 2月16日~17日 参加人数54名</p> <p>(3) 芸術祭支援 35,640円 ・芸術祭チラシ発行・配布 2,000枚</p> <p>○評価・方向性</p> <p>まつやまくまくん教室は市民が一流の芸術に触れる貴重な機会であり、特に冬のかかるたづくりに関しては、他地区にない冬の季節を利用した親子で楽しめる事業である。高齢者の生きがいと健康づくり、松山地域からの発信による親子の学びの場の提供と芸術祭支援はそれぞれ地域振興に資する事業として有効であり継続していく。</p>				
		評価指標 (単位)	目標	実績	
		参加人数 (人)	1,200	1,820	
備考	○主な特定財源 過疎対策事業債 (市債) 500,000円				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 松山総合支所地域振興課						
事業名	松山生涯スポーツ振興事業									
予算現額 ①	540,000円	540,000円	0円	0円						
支出済額 ②										
翌年度繰越額 ③										
不用額 ①-②-③										
執行率 ②/①	100.0%									
目的・趣旨	スポーツによる、健康増進・体力向上に取り組むとともに、総合型地域スポーツクラブ「みなスポ松山」やNPO法人「まちづくりnet松山」と連携を図り、城下町の風致や眺海の森などの松山の魅力とコラボし内外に発信することで交流人口の拡大を図る。									
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 眺海の森 新緑ウォーク</p> <p>(2) 眺海の森 紅葉ウォーク</p> <p>(3) ウィンタースポーツの集いin眺海の森</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 眺海の森 新緑ウォーク 440,000円 ※(1)(2)の合計</p> <p>・日程 5月26日</p> <p>・内容 新緑を楽しみながら眺海の森をトレッキング（森の案内人のガイド付き）</p> <p>・委託先 総合型地域スポーツクラブ「みなスポ松山」</p> <p>・参加者 39名（参加者27名、森の案内人4名、スタッフ8名）</p> <p>(2) 眺海の森 紅葉ウォーク</p> <p>・日程 10月27日</p> <p>・内容 紅葉を楽しみながら眺海の森をトレッキング（森の案内人のガイド付き）</p> <p>・委託先 総合型地域スポーツクラブ「みなスポ松山」</p> <p>・参加者 29名（参加者17名、森の案内人5名、スタッフ7名）</p> <p>(3) ウィンタースポーツの集いin眺海の森 100,000円</p> <p>・日程 2月10日</p> <p>・内容 松山スキー場周辺でのイベントの開催（紅白もち振舞、雪上ピーチフラッグス、大回転タイムレースなど）</p> <p>・委託先 NPO法人「まちづくりnet松山」</p> <p>・参加者 約330名（来場者数約300名、NPO法人及び松山スキークラブのスタッフ約30名）</p> <p>○評価・方向性</p> <p>事業を通じて、市民の健康増進を図るとともに眺海の森の四季の魅力をアピールすることができた。特にウォーク事業については松山地域内外にリピーターもついてきたことから、参加者の健康の増進とともに松山地域における交流人口の拡大に寄与しているため、今後とも継続していきたい。</p>									
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業参加者数（人）</td> <td>200</td> <td>398</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	事業参加者数（人）	200	398
評価指標（単位）	目標	実績								
事業参加者数（人）	200	398								
備考	○主な特定財源 過疎地域自立集落機能活性化推進基金繰入金 540,000円									

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 松山総合支所地域振興課						
事業名	松山にぎわい創出事業									
予算現額 ①	567,000円	567,000円	0円	0円						
支出済額 ②										
翌年度繰越額 ③										
不用額 ①-②-③										
執行率 ②/①	100.0%									
目的・趣旨	松山歴史公園を中心とした城下町松山の魅力を発信するイベント等を実施することで、街ににぎわいを創出し、交流人口の増加と地域の活性化を図る。									
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 松山にぎわい創出実行委員会への支援</p> <p>(2) まつやま大手門くらふとフェアの開催支援</p> <p>(3) 松山にぎわい創出事業への助言・実施支援</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 松山にぎわい創出実行委員会 負担金 567,000円</p> <p>・設立 平成27年6月25日</p> <p>・会長 齊藤 薫（酒田ふれあい商工会松山支部地域理事）</p> <p>(2) まつやま大手門くらふとフェアの開催支援</p> <p>・概要 全国より工房・アトリエの出展を募り、歴史公園で工芸品の展示販売イベントを実施</p> <p>・期 日： 9月22日～23日</p> <p>・場 所： 松山歴史公園</p> <p>・出店者数： 139団体（岩手・長野・熊本など、全国より出展）</p> <p>・来場者数： 初日 2,500人・2日目 4,800人</p> <p>(3) 松山にぎわい創出事業への助言・実施支援</p> <p>①松山産業フェアへの出店</p> <p>・期 日： 11月19日</p> <p>・内 容： 松山農村環境改善センターで子ども向け緑日模擬店開設</p> <p>②荘内麩キャンペーン実施</p> <p>・期 日： 11月1日～12月31日</p> <p>・内 容： 荘内麩のクイズを出題し、正解者の中から抽選で荘内麩を贈呈リーフレットと幟を作成し地区内の荘内麩販売店舗に設置</p> <p>荘内麩の歴史や製造工程、レシビ等を掲載</p> <p>・応募総数： 409通</p> <p>③御朱印台紙「羽州松山御朱印之散策」の作成・販売</p> <p>○評価・方向性</p> <p>松山歴史公園で開催されている「くらふとフェア」の来客者、出展者ともに年々増加している状況にある。地元特産の荘内麩のキャンペーンにも新たに取り組んで地域の産業振興及び松山地域への集客にも寄与することができた。今後も発展継続させ、にぎわい行事の定着に努めていく。</p>									
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来客数（人）</td> <td>5,000</td> <td>7,300</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	来客数（人）	5,000	7,300
評価指標（単位）	目標	実績								
来客数（人）	5,000	7,300								
備考	○主な特定財源 過疎地域自立集落機能活性化推進基金繰入金 567,000円									

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 松山総合支所地域振興課
事業名	松山の宝推進事業			
予算現額 ①	730,000円	730,000円	0円	0円
支出済額 ②				
翌年度繰越額 ③				
不用額 ①-②-③				
執行率 ②/①	100.0%			
目的・趣旨	松山の歴史的資産が、「城下町の町割り・歴史と文化そして最上川の景観」として「未来に伝える山形の宝」（県事業）への登録を契機に、「松山の宝推進協議会」を組織し、情報発信等事業を展開し、郷土愛の醸成、交流人口の拡大により地域の活性化を図る。			
事業概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 松山の宝推進協議会の独自事業への指導・支援</p> <p>(2) 明治150年庄内・松山郷土史シンポジウム</p> <p>(3) 甲冑着付講座</p> <p>(4) 錦秋の松山アプリ片手にご城下探訪キャンペーン</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 松山の宝推進協議会独自企画催行事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜の山寺・ツバキネ散策と山寺昆虫の森ホタル観察 ・アララギ山の自然と清川口古戦跡の鳥瞰を楽しむトレッキング ・松山の宝茶話会 <p>(2) 明治150年庄内・松山郷土史シンポジウム 記念講演と地元有識者によるリレートークを行い、戊辰戦争からの庄内松山藩の歴史的背景を知り、現在の松山地区の成り立ちについて理解を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：11月10日 ・参加者数：107名 ・会場：松山城址館 ・演題：「TVドラマと幕末」 ・記念講演講師：酒巻浩史氏（脚本家） <p>(3) 甲冑着付講座 松山の文化である甲冑について、古式に則った着付けのできる人材の育成と正しい甲冑の管理を学ぶ講座を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：高橋 弘氏（荘内藩甲冑研究会理事） ・実施日：12月21日 ・参加者：14名 <p>(4) 錦秋の松山アプリ片手にご城下探訪キャンペーン アプリを使ったアトラクションで、来訪客にまちあるきを楽しんでもらった。</p> <p>①実施期日：9月22日～12月21日</p> <p>②実施内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光地図アプリに約160か所の見所コンテンツを登録 ・名所・史跡名が入ったイベント限定フォトフレームで記念撮影（18か所） ・AR動画配信スポットで松山の風物を紹介（4か所） <p>○評価・方向性</p> <p>松山在住者に地域愛の涵養を図るとともに、新たな情報発信を通じ、シンポジウム等、地域外から多くの参加者を松山に迎えることができた。また、地域外からの訪問客に対してアプリ等を使って利便性を向上させることができた。今後、交流人口の拡大を図るため、地域文化の継承・保全・情報発信を継続しコンテンツを充実させていく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	協議会独自事業の指導・支援件数（件）		3	3
備考	○主な特定財源 未来に伝える山形の宝登録制度推進事業費補助金(県) 345,000円 過疎地域自立集落機能活性化推進基金繰入金 385,000円			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 松山総合支所地域振興課
事業名	松山地域おこし協力隊活動推進事業			
予算現額 ①	1,523,000円	1,379,145円	0円	143,855円
支出済額 ②				
翌年度繰越額 ③				
不用額 ①-②-③				
執行率 ②/①	90.6%			
目的・趣旨	都市に住む若者を受け入れ、地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援などの「地域協力活動」に従事してもらうとともに、その定住・定着を図りながら地域の活性化を図る。			
事業概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 地域の課題、地域資源の抽出と利活用</p> <p>(2) 地域住民、自治会活動の支援、協力</p> <p>(3) 定住に向けた素材利用、実践（地域おこし事業への取組み）</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 地域の課題、地域資源の抽出と利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりワークショップに参加し、地域ビジョンの作成について検討 ・南部コミュニティセンター（旧地見興屋小学校）を利用した活動の実践 ・地元の湧き水を使用したコーヒーの販売 ・蕎麦を使用した和菓子づくり <p>(2) 地域住民、自治会活動の支援、協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会、神楽、夏まつり、敬老会等の地域行事への支援、協力 ・お菓子づくり教室等の各種教室の講師 ・国内交流事業への協力 ・自治会の集会等にあわせた出前喫茶の実施 <p>(3) 定住に向けた素材利用、実践（地域おこし事業への取組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミセン内に喫茶コーナーを設置（6月5日から毎週火～金曜日の午後） ・ランチの提供を実践（7月6日から予約制でパスタを提供） ・地域住民の集いの場としての居酒屋を開始（8月から毎月1回 土曜日の夜） ・婚活パーティーの企画、実践（2月と3月の2回） <p>○評価・方向性</p> <p>食を中心とした地域おこしで地域の活性化に弾みをつけることができた。コミセン内の喫茶コーナー等は今後とも地域住民の集いの場として定着させていく。</p> <p>隊員の任期満了で住まいは地区を離れるが、市内に定住することで、地域の活性化に寄与することを期待する。</p> <p>また、引き続き隊員を募集・確保し、さらなる地域おこしを図っていく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	地域おこし事業への取組み件数（件）		5	4
備考				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 松山総合支所地域振興課	
事業名	南部地区地域づくり推進モデル事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
3,122,000円	3,074,946円	0円	47,054円	98.5%	
目的・趣旨	地域内でワークショップやセミナー等を行い、住民主体の地域の将来プランを作成するとともに、地域拠点の形成や、課題の解決に向けた取組みを持続的に行うための地域運営組織の形成を目指す。				
事業・成果の概要等	○事業内容 (1) 地域住民のワークショップ（WS）の開催 (2) 先進地への視察 (3) 問題解決のためのセミナーの開催 平成29年度から令和2年度の4か年事業				
	○事業実績・説明				
		項 目	月	内 容	参加
	ワークショップの開催		7月	第1回WS（進め方について）	15人
			11月	第2回WS（地域ビジョンについて）	13人
			12月	第3回WS（地域ビジョンについて）	16人
			3月	第4回WS（地域ビジョンについて） 外部講師によるセミナーの開催	14人
	先進地視察		10月	川西町「きらりよしじまネットワーク」	16人
	支出内訳 ・ひとづくり・まちづくり交付金 2,909,000円 ・借上料 98,230円 ・講師によるセミナー開催費用 67,716円				
	○評価・方向性 ワークショップを開催することにより、地域の課題が浮き彫りになり、今後の方向性を確認して、目標としてきた地域ビジョンを完成できた。 地域ビジョンの達成に向け、次年度から部門ごとの実施計画を作成するとともに、新たに開始された弁当配給事業等を継続していく。				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	ワークショップ延べ参加者数（人）		100	74	
備考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国） 1,487,258円				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 松山総合支所地域振興課
事業名	松山青少年国内外交流事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
4,322,000円	4,252,418円	0円	69,582円	98.4%
目的・趣旨	次世代を担う松山小学校の児童及び市内中学校の生徒を国内外に派遣することで、視野を広げ郷土を愛する心を育む。また、相手方をホームステイで受け入れ、相互交流を行うことで国際化時代に対応できるたくましい青少年リーダーを育成する。			
事業・成果の概要等	○事業内容 (1) 国内交流事業 鹿児島県志布志市内小学校児童と松山小学校児童との相互交流 (2) 国外交流事業 アメリカ合衆国マサチューセッツ州ケープコッドライトハウスチャータースクール生徒と市内中学校生徒との相互交流（平成30年度は派遣）			
	○事業実績・説明			
	(1) アメリカ生活体験研修（派遣）		3,252,991円	
	・日程	7月28日～8月6日		
	・研修内容	ホームステイ、アメリカ生活体験、ケープコッド内施設見学、ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学見学等		
	・募集対象	市内中学生2年生及び3年生		
	・派遣人数	8名（2年生男子1名・女子1名、3年生女子6名）		
	・準備日程等	事前研修4回実施（日本文化紹介の練習、日常英会話など）		
	(2) 鹿児島青少年相互交流（派遣）		999,427円 ※(2)(3)の合計	
	・日程	8月3日～6日		
・研修内容	ホームステイ、南国体験（海洋活動等）、各施設見学			
・募集対象	松山小学校児童5年生及び6年生			
・派遣人数	10名（5年生男子5名・女子4名、6年生女子1名）			
(3) 鹿児島青少年相互交流（受入）				
・日程	1月25日～28日			
・研修内容	ホームステイ、雪国体験（スキー等）、各施設見学			
・受入人数	10名（5年生男子1名・女子2名、6年生男子4名・女子3名）			
(4) 事業報告会【アメリカ・鹿児島合同】				
・日程	10月3日			
・内容	研修に参加しての感想発表と引率者による事業内容の報告			
○評価・方向性 ホームステイを基本として、異文化に触れ、相互交流を行うことによって人とのコミュニケーション能力が養われている。児童・生徒の地域リーダーとしての意識の醸成を図るとともに、グローバルな時代に対応できる人材づくりのためには貴重な事業である。また、令和元年度は国外交流事業の受入れとなるが、アメリカの生徒だけでなく市内中学校生徒にも松山の魅力を紹介したい。				
	評価指標（単位）		目標	実績
	事業参加者数（人）		18	18
備考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 4,200,000円			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 松山総合支所建設産業課
事業名	松山地域観光物産支援事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
1,950,000円	1,950,000円	0円	0円	100.0%
目的・趣旨	松山地域において、活力ある地域づくりを目指して地域の交流人口の増加を図り、地域の活性化に寄与することを目的に、各種イベントの実施を支援する。			
事業内容	<p>○事業内容 松山地域観光物産事業実行委員会の実施事業に必要な経費を負担。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 花の城下町まつやま探訪 (入込数 約200人) ・日時 平成30年4月14日 ・場所 松山歴史公園 ・内容 松山城大手門2階の一般開放、鎧着付け体験、呈茶、城下町歩き (花の城下町まつやま探訪については、交流観光課の事業負担金より支出)</p> <p>(2) 2018 LIVE WORLD in 眺海の森 (入込数 約100人) 365,000円 ・日時 平成30年7月28日 ・場所 シアターOZ ・内容 アマチュアバンドのコンテスト (出演バンド4組)</p> <p>(3) 城下町まつやま夏ものがたり (入込数 約2,900人) 750,000円 ・日時 平成30年8月11日から20日まで ・場所 上堰沿い県道ほか ・内容 佐藤公紀氏の美人画絵灯ろう展示、地域内外の特産品販売</p> <p>(4) 眺海の森音楽祭 (入込数 約100人) 365,000円 ・日時 平成30年11月25日 ・場所 城址館 ・内容 姜建華による二胡コンサート</p> <p>(5) まつやま産業フェア (入込数 約2,000人) 370,000円 ・日時 平成30年11月4日 ・場所 松山農村環境改善センター ・内容 特産品販売、子ども餅つき大会、大抽選会ほか</p> <p>(6) 特産品開発：まつやま産業フェア内特設会場 (入込数 約2,000人 (再掲)) 100,000円 ・日時 平成30年11月4日 ・場所 松山農村環境改善センター ・内容 特産品のケース展示及び特産品パンフレットでのPR</p> <p>○評価・方向性 松山地域の観光客入込数は、継続しているイベントの周知も進み、目標を達成することができた。当事業のイベント実施により松山地域の魅力を広く市内外へ宣伝し、更なる入込数の増加につなげていく。</p>			
事業成果の概要等	評価指標 (単位)		目標	実績
	イベント参加者数 (人)		4,500	5,300
備考	○主な特定財源 過疎対策事業債 (市債) 1,900,000円			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 平田総合支所地域振興課																																											
事業名	平田地域振興事業																																														
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																											
1,582,000円	1,509,460円	0円	72,540円	95.4%																																											
目的・趣旨	地域資源を活用した各種事業を行うことで、地域の賑わい創出や交流人口の拡大を図る。																																														
事業内容	<p>○事業内容 1. 教室事業 (平田さしこ教室 全8回) 5月23日～9月26日 2. 文化祭事業 (ひらた文化祭) 10月26日～11月11日 3. その他関連活動事業・事務費</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業内容</th> <th colspan="3">参加者数 (人)</th> <th rowspan="2">決算額 (円)</th> </tr> <tr> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①平田さしこ教室</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>27</td> <td>154,555</td> </tr> <tr> <td>②ひらた文化祭</td> <td>2,130</td> <td>2,241</td> <td>2,773</td> <td>1,200,000</td> </tr> <tr> <td>③第50回記念特別展</td> <td></td> <td>1,200</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④家族ふれあい遠足</td> <td>17</td> <td></td> <td>17</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>⑤大人の自然教室 (婚活事業)</td> <td>47</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥その他関連活動事業・事務費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>144,905</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2,227</td> <td>3,474</td> <td>2,817</td> <td>1,509,460</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 地域振興に資する各種事業を実施しており、平成30年度は、劇場版35mmフィルムの上映設備を備えているひらたタウンセンターを使用し、日本映画の貴重なフィルムを借用して「OzのSHOW-WA劇場」を開催した。3日間の上映会で延べ380人が訪れた。また、年8回開催している平田さしこ教室にも、鶴岡市や遊佐町などから多くの受講生が参加し、賑わいづくりや交流人口拡大に寄与している。今後もコストを削減しながら、事業の見直しを行い、成果の向上を図っていく。</p>				事業内容	参加者数 (人)			決算額 (円)	28年度	29年度	30年度	①平田さしこ教室	33	33	27	154,555	②ひらた文化祭	2,130	2,241	2,773	1,200,000	③第50回記念特別展		1,200			④家族ふれあい遠足	17		17	10,000	⑤大人の自然教室 (婚活事業)	47				⑥その他関連活動事業・事務費				144,905		2,227	3,474	2,817	1,509,460
事業内容	参加者数 (人)			決算額 (円)																																											
	28年度	29年度	30年度																																												
①平田さしこ教室	33	33	27	154,555																																											
②ひらた文化祭	2,130	2,241	2,773	1,200,000																																											
③第50回記念特別展		1,200																																													
④家族ふれあい遠足	17		17	10,000																																											
⑤大人の自然教室 (婚活事業)	47																																														
⑥その他関連活動事業・事務費				144,905																																											
	2,227	3,474	2,817	1,509,460																																											
事業成果の概要等	評価指標 (単位)		目標	実績																																											
	事業参加者数 (人)		2,300	2,817																																											
備考	○主な特定財源 過疎対策事業費 (市債) 1,500,000円																																														

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 平田総合支所地域振興課	
事業名	平田生涯スポーツ振興事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
639,000円	597,899円	0円	41,101円	93.6%	
目的・趣旨	地域の体育・スポーツを推進し、地区民の交流・健康促進とスポーツ人口の拡大を図る。また、地域間交流の場の提供を行い、地域スポーツ団体の組織育成を図る。				
事業・成果の概要等	○事業内容				
	(1) ゲートボール大会 6月23日 B&Gゲートボール場				
	(2) ふれあいグラウンド・ゴルフ大会 6月16日 高畑グラウンドゴルフ場				
	(3) スーパーグラウンド・ゴルフ大会 9月1日 高畑グラウンドゴルフ場				
	(4) ジョグ・ウォークフェスタ 10月8日 アイアイひらた周辺				
	(5) ビーチバレーボール大会 11月8日～29日の木曜日(4日間) B&Gアリーナ				
	(6) キッズサッカー教室 11月25日～12月23日、1月6日～2月3日の日曜日(10日間) B&Gアリーナ他				
	(7) スキー教室 1月20日 平田スキー場				
	(8) 雪ん子目ん玉まつり(スキー大会) 1月27日 平田スキー場				
	(9) 卓球レクリエーション大会 1月20日 B&Gアリーナ				
(10) バスケットボール大会(スリーバイスリー) 3月18日 B&Gアリーナ					
○事業実績・説明 (単位:人、円)					
事業名/延べ参加者数		28年度	29年度	30年度	30年度 執行額の内訳
①ゲートボール大会		30	21	25	20,000
②ふれあいグラウンド・ゴルフ大会		89	80	85	20,000
③スーパーグラウンド・ゴルフ大会		70	92	64	58,000
④ジョグ・ウォークフェスタ		278	158	228	275,000
⑤ビーチバレーボール大会		252	256	288	61,000
⑥キッズサッカー教室		264	273	190	20,000
⑦スキー教室		18	5	5	21,000
⑧雪ん子目ん玉まつり(スキー大会)		193	151	122	72,000
⑨卓球レクリエーション大会		60	80	88	21,000
⑩バスケットボール大会		16	16	18	21,000
大会・教室関係の需用費(消耗品)		-	-	-	8,899
計		1,270	1,132	1,113	597,899
○評価・方向性					
競技種目により参加人数にばらつきがあり、各競技団体毎に競技人口の拡大に向け、教室・大会開催に検討を加えながら実施したが目標達成までには至らなかった。今後とも継続してコスト削減を図りながら、更なる地区民の交流・健康促進とスポーツ人口の拡大に努める。					
評価指標(単位)		目標	実績		
事業参加者数(人)		1,200	1,113		
備考	○主な特定財源 過疎地域自立集落機能活性化推進基金繰入金 597,899円				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 平田総合支所地域振興課	
事業名	平田地域おこし協力隊活動推進事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
3,713,000円	2,660,328円	0円	1,052,672円	71.6%	
目的・趣旨	都市に住む若者を受け入れ、地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事してもらい、合わせて定住・定着を図りながら、地域活性化を図る。				
事業・成果の概要等	○事業内容				
	平成29年度に着任した隊員1名に加え、新たに1名の地域おこし協力隊員を平田地域に受け入れた。				
	活動拠点を、田沢コミュニティセンターおよび、やまもと農村交流センターに置き、それぞれの拠点に1名ずつの隊員を配置することで、より地域住民と密接な連携を図り、地域住民と一体となった地域活性化の取り組みを推進した。				
	○事業実績・説明				
	項目	実施月	内容		
	地域の活性化への取り組み	随時	Facebookによる情報発信		
		毎月	月刊協力隊通信の製作、地区内全戸配布		
	地域おこし事業への取り組み	随時	地域青年層との協働によるキッチンカーでの地域食材活用メニューの販売		
		随時	地域コミュニティ振興会が主催する事業への協力(ちよこっと市)		
	やまもと農村交流センターの利活用および利用団体の活性化	随時	地域資源の掘り起こし(籾工芸教室、笹巻づくり)		
随時		地域高齢者対象サロンや子育て世代対象サロンへの協力			
コミ振活動等への参画	7~8月	協力隊写真展の開催			
	随時	運動会、敬老会、文化祭、そば打ち体験等			
庄内地域の協力隊員との連携	随時	地域の伝統行事の伝承支援			
	随時	若者未来ミーティングへの参加			
5回	5回	IROTORI(いろとり)ドッジボールの開催			
	随時	YouTubeによる情報発信			
○評価・方向性					
協力隊員の積極的な活動が好評を得ており、私生活を含めた様々な場面で援助をいただく等、地域住民から受け入れられている。					
今後、任期終了後の定住・定着を目指し、地域産品を活用した商品開発や、販売等を計画しており、引き続き支援していく。					
評価指標(単位)		目標	実績		
地域おこし事業への取組み件数(件)		5	5		
備考					

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 平田総合支所地域振興課																											
事業名	里山さかた交流人口拡大事業																														
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																											
1,424,000円	1,329,209円	0円	94,791円	93.3%																											
目的・趣旨	平田地域の中山間地区交流人口拡大と子育て支援を目的に、市内小学校の自然教室等への事業支援を行う。また、地域の名所や行事を情報発信することにより、地域PR効果と住民の地域への誇りを醸成する。																														
事業・成果の概要等	○事業内容																														
	(1) ひらた自然体験教室受け入れ																														
	(2) PR用冊子「里山ひらたハイキングマップ」の制作及び配布																														
	(3) インターネット等を活用した平田地域の里山情報発信																														
○事業実績・説明																															
(1) ひらた自然体験教室受け入れ 1,010,440円 自然体験教室実施後のアンケートから、豊かな里山の自然を体験できる貴重な場所であることや、丁寧な受け入れ態勢であったとの評価をいただいた。																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>小学校名</th> <th>学年</th> <th>日程</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南平田小</td> <td>4年</td> <td>6月7日～8日</td> <td>47名</td> </tr> <tr> <td>西荒瀬小</td> <td>4年</td> <td>6月13日～15日</td> <td>38名</td> </tr> <tr> <td>田沢小</td> <td>3、4、5年</td> <td>6月20日～22日</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>浜田小</td> <td>3年</td> <td>7月3日</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>琢成小</td> <td>4年</td> <td>7月24日～25日</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>南平田小</td> <td>3年</td> <td>9月12日</td> <td>52名</td> </tr> </tbody> </table>				小学校名	学年	日程	人数	南平田小	4年	6月7日～8日	47名	西荒瀬小	4年	6月13日～15日	38名	田沢小	3、4、5年	6月20日～22日	11名	浜田小	3年	7月3日	28名	琢成小	4年	7月24日～25日	28名	南平田小	3年	9月12日	52名
小学校名	学年	日程	人数																												
南平田小	4年	6月7日～8日	47名																												
西荒瀬小	4年	6月13日～15日	38名																												
田沢小	3、4、5年	6月20日～22日	11名																												
浜田小	3年	7月3日	28名																												
琢成小	4年	7月24日～25日	28名																												
南平田小	3年	9月12日	52名																												
(2) PR用冊子「里山ひらたハイキングマップ」の制作及び配布 298,278円 ハイキングマップを2,000部制作し、市内の公共施設等に設置したが、市外からの郵送希望もあり、平田地域のPRに寄与することができた。																															
(3) インターネット等を活用した平田地域の里山情報発信 インターネットや平田っ子交流会等で平田地域のPR活動を展開し、首都圏や県内外へ情報発信することができた。																															
(4) その他事業 20,491円																															
○評価・方向性 自然体験教室を通して交流人口の拡大や賑わいの創出が図られ、地域活力の向上に寄与している。また、児童は活動を通して里山地域の良さに触れることができた。今後もさらなる体験メニューの充実や、受け入れ支援態勢の強化を図っていく。																															
評価指標（単位）		目標	実績																												
参加小学校教員の満足度（%）		90	93																												
備考	○主な特定財源 過疎地域自立集落機能活性化推進基金繰入金 1,200,000円																														

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 平田総合支所地域振興課
事業名	田沢地区地域づくり推進モデル事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
4,830,000円	4,800,638円	0円	29,362円	99.4%
目的・趣旨	地域住民自らによる主体的な地域の将来プランを策定するとともに、地域課題の解決に向けた多機能型の取り組みを持続的に行うための組織（地域運営組織）を形成していく。			
事業・成果の概要等	○事業内容			
	田沢コミュニティ振興会地域において、地域住民がワークショップなどにより主体的に話し合いを実施し、地域づくり活性化プランを策定した。 平成29年度から令和2年度の4か年事業。			
	○事業実績・説明			
	(1) コミュニティ振興会の組織強化 ・事業担当事務局職員をコミュニティ振興会雇用で配置した。 (2) 田沢地域づくり活性化プランの策定 ・全体会議2回、作業部会4回、事務局会議7回開催し、3月に田沢地域づくり活性化プランを策定した。 ・先進地（新潟県十日町市、鶴岡市福栄地区ほか）を視察した。 ・地域運営組織形成モデル事業報告会（1月25日、場所八幡タウンセンター） (3) 自己評価診断票の作成 ・効果的な事業計画を立てるための評価基準や改善点を明らかにするため、外部委託により自己評価診断を実施した。			
○評価・方向性 4か年事業の2年目として、昨年度まとめられた素案をもとに地域づくり活性化プランを策定し順調な進捗を得た。今後は、自立し持続的な組織を形成するべく策定したプランを実行していく。				
評価指標（単位）		目標	実績	
収益事業の立ち上げ件数（件）		4年間で1	0	
備考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国） 2,078,769円 地域運営組織形成モデル事業費補助金（県） 500,000円			

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 平田総合支所地域振興課	
事業名	平田青少年国内交流事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
615,000円	610,584円	0円	4,416円	99.3%	
目的・趣旨	岐阜県海津市（旧平田町）と酒田市（旧平田町）との4日間の交流体験を通じ、両地域の親善を深めながら、両市の歴史や文化を習得し、相互理解と郷土愛を育む。また、ホームステイや体験学習を通して、心と身体を含めた総合的な育ちを図る。				
事業成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>海津市（旧平田町）と酒田市（旧平田町）の両地域の児童が、隔年で相互訪問し、集団活動や体験活動、ホームステイを行いながら交流を深めた。 平成30年度は、酒田市の児童が海津市を訪問した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所 岐阜県海津市 ・日 程 8月9日～12日 ・参加児童 平田地域児童 20名、海津市児童 18名 ・内 容 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、関ヶ原歴史民俗資料館見学、宿泊体験学習（ホームステイ、合同合宿）ほか <p>○評価・方向性</p> <p>体験プログラム等は毎回見直しを行っているため、実施事業内容は充実しており参加児童の満足度は高い。 記録集の内容からは、文化や気候が異なる地域に訪問したことにより、異なった地域に対する相互理解を深めた様子が見られた。また、保護者アンケートの結果では、短期間ではあるが親元を離れて過ごしたことにより、自分のことは自分でできるようになるなど、児童の成長の様子がうかがえ、本事業が意義あるものと評価している。 本市においては、児童数が減少し、参加児童の確保が年々難しくなっていることから、対象学年を見直すなど参加対象の拡大を図り実施する。</p>				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	参加児童保護者の満足度（%）		90	94	
備考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 600,000円				

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 平田総合支所建設産業課																					
事業名	ひらた花いっぱい推進事業																								
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																					
624,000円	620,336円	0円	3,664円	99.4%																					
目的・趣旨	道路緑地帯等の公共の場所に花を植栽することにより、環境の美化に寄与する。また、市民からその作業にボランティアとして協力いただくことで、美化意識の向上につなげる。																								
事業成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>地域の団体等に道路緑地帯の公共の場所に花を植栽するための花苗・種子を配布した。</p> <p>（1）配布内容 花苗（サルビア、ペゴニア） 種子セット（育苗トレイ、ビニールポット、培養土）</p> <p>（2）配布先 自治会、婦人会、老人クラブ、保育園、個人等</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体数（団体）</td> <td>37</td> <td>36</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>参加者数（人）</td> <td>600</td> <td>501</td> <td>570</td> </tr> <tr> <td>花苗配布数（ポット）</td> <td>7,190</td> <td>6,906</td> <td>7,201</td> </tr> <tr> <td>種子セット配布数（組）</td> <td>56</td> <td>33</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>参加団体数、種子セット配布数は前年度を下回ったが、参加者数、花苗配布数については前年度を上回った。傾向として、種子セットよりも育苗済である花苗の申し込みが多くなっており、手間のかからない花苗の増大に対応することで、実施団体の継続需要に応えることができると考えられる。 今後も、継続して周知・PRに努め、自治会・各種団体等に参加を呼びかけていく。</p>						平成28年度	平成29年度	平成30年度	参加団体数（団体）	37	36	35	参加者数（人）	600	501	570	花苗配布数（ポット）	7,190	6,906	7,201	種子セット配布数（組）	56	33	28
		平成28年度	平成29年度	平成30年度																					
	参加団体数（団体）	37	36	35																					
参加者数（人）	600	501	570																						
花苗配布数（ポット）	7,190	6,906	7,201																						
種子セット配布数（組）	56	33	28																						
評価指標（単位）		目標	実績																						
事業参加者数（人）		600	570																						
備考	○主な特定財源 過疎地域自立集落機能活性化推進基金繰入金 600,000円																								

款 項 目	2款 総務費	1項 総務管理費	11目 地域振興費	= 予算所属 = 平田総合支所建設産業課																																	
事業名	ひらた賑わい創出事業																																				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																	
2,911,000円	2,911,000円	0円	0円	100.0%																																	
目的・趣旨	魅力ある地域づくりのため、お祭りなどの各種イベントを開催し、地域内の連帯感と相互理解を深め、地域振興や産業振興を図る。																																				
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 田沢川ダムまつり実行委員会負担金 835,000円 ・田沢川ダムまつりの開催（10月21日） ダム内部見学会、魚のつかみ取り、木工教室、地元特産品販売等</p> <p>(2) 庄内ひらた目ん玉夏まつり実行委員会負担金 746,000円 ・庄内ひらた目ん玉夏まつりの開催（8月14日） 花火打ち上げ、一輪車演技、ステージパフォーマンス等</p> <p>(3) 平田地域観光物産事業実行委員会負担金 1,330,000円 ・ひらた植木まつりの開催（6月15日～17日） 植木・花鉢・金魚の販売、地元特産品販売、コンテナガーデン講習会等 ・ひらた産業まつりの開催（11月3日） 地元特産品販売、模擬上棟式と餅ふるまい、木工教室、子供向けバッテリーカー、岐阜県海津市物産販売等 ・冬の十二滝と温泉ツアーの開催（1月27日） スノーシューをはいて、冬の十二滝ヘトレッキング アイアイひらたで昼食と入浴</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業内容</th> <th colspan="3">入込数（人）</th> </tr> <tr> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田沢川ダムまつり</td> <td>1,500</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>庄内ひらた目ん玉夏まつり</td> <td>4,500</td> <td>4,500</td> <td>4,500</td> </tr> <tr> <td>ひらた植木まつり</td> <td>3,400</td> <td>3,700</td> <td>3,800</td> </tr> <tr> <td>ひらた産業まつり</td> <td>3,000</td> <td>3,600</td> <td>3,500</td> </tr> <tr> <td>冬の十二滝と温泉ツアー</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>来場者が楽しめるイベントの開催により、平田地域の特産品や農産物等の周知や市民のイベント参加を促すことができた。今後も平田地域の豊かな自然や食文化等を活用して、賑わいの創出による交流人口の拡大と地域経済の活性化に努める。 また、参加者のニーズの把握に努め、より魅力的な事業運営を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イベント入込数（人）</td> <td>13,000</td> <td>13,139</td> </tr> </tbody> </table>				事業内容	入込数（人）			平成28年度	平成29年度	平成30年度	田沢川ダムまつり	1,500	1,300	1,300	庄内ひらた目ん玉夏まつり	4,500	4,500	4,500	ひらた植木まつり	3,400	3,700	3,800	ひらた産業まつり	3,000	3,600	3,500	冬の十二滝と温泉ツアー	18	24	39	評価指標（単位）	目標	実績	イベント入込数（人）	13,000	13,139
事業内容	入込数（人）																																				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																		
田沢川ダムまつり	1,500	1,300	1,300																																		
庄内ひらた目ん玉夏まつり	4,500	4,500	4,500																																		
ひらた植木まつり	3,400	3,700	3,800																																		
ひらた産業まつり	3,000	3,600	3,500																																		
冬の十二滝と温泉ツアー	18	24	39																																		
評価指標（単位）	目標	実績																																			
イベント入込数（人）	13,000	13,139																																			
備考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 2,900,000円																																				

款 項 目	3款 民生費	1項 社会福祉費	1目 社会福祉総務費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課																																																								
事業名	民生委員・児童委員活動事業																																																											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																								
23,376,000円	22,658,849円	0円	717,151円	96.9%																																																								
目的・趣旨	民生委員・児童委員活動を支援することにより、地域福祉・在宅福祉の向上に努める。																																																											
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 県から支払委託された民生委員・児童委員活動費等交付金17,957,100円を酒田市民生委員・児童委員協議会連合会に交付し活動を支援した。</p> <p>(2) コミュニティ振興会、自治会等に依頼し、民生委員推薦会を4回開催して7人の新任の民生委員・児童委員を山形県に推薦した。</p> <p>(3) 酒田市主催の民生委員・児童委員全員対象研修会（7/11）を開催し、255人が参加した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 酒田市民生委員・児童委員協議会連合会交付金（17,957,100円）の内訳</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>・民生委員・児童委員活動費</td> <td>16,107,000円</td> </tr> <tr> <td>・民生委員・児童委員協議会運営費</td> <td>518,700円</td> </tr> <tr> <td>・民生委員・児童委員協議会会長会議出席等旅費</td> <td>135,800円</td> </tr> <tr> <td>・地区民生委員・児童委員協議会活動費</td> <td>1,195,600円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 民生委員推薦会開催状況（平成30年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">推薦人数</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>民生委員</th> <th>主任児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月18日</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>7月20日</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>10月22日</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>2月13日</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>3月25日</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6人</td> <td>1人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 全員対象研修会開催状況（定数273人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>7月13日</td> <td>254人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>7月13日</td> <td>251人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>7月11日</td> <td>255人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>昨年度は、民生委員・児童委員の研修会参加者数が目標を5人下回る255人となったものの、多様な福祉サービス等の知識の習得によって、要援護者の支援活動に役立っているなど福祉の増進に大きく寄与した。今後も研修内容等の改善を図るとともに、関係機関との連携を進めるなど、支援を継続していく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会参加者数（人）</td> <td>260</td> <td>255</td> </tr> </tbody> </table>				・民生委員・児童委員活動費	16,107,000円	・民生委員・児童委員協議会運営費	518,700円	・民生委員・児童委員協議会会長会議出席等旅費	135,800円	・地区民生委員・児童委員協議会活動費	1,195,600円		推薦人数		合 計	民生委員	主任児童	5月18日	1人	0人	1人	7月20日	2人	1人	3人	10月22日	1人	0人	1人	2月13日	1人	0人	1人	3月25日	1人	0人	1人	合計	6人	1人	7人		開催日	参加者数	平成28年度	7月13日	254人	平成29年度	7月13日	251人	平成30年度	7月11日	255人	評価指標（単位）	目標	実績	研修会参加者数（人）	260	255
・民生委員・児童委員活動費	16,107,000円																																																											
・民生委員・児童委員協議会運営費	518,700円																																																											
・民生委員・児童委員協議会会長会議出席等旅費	135,800円																																																											
・地区民生委員・児童委員協議会活動費	1,195,600円																																																											
	推薦人数		合 計																																																									
	民生委員	主任児童																																																										
5月18日	1人	0人	1人																																																									
7月20日	2人	1人	3人																																																									
10月22日	1人	0人	1人																																																									
2月13日	1人	0人	1人																																																									
3月25日	1人	0人	1人																																																									
合計	6人	1人	7人																																																									
	開催日	参加者数																																																										
平成28年度	7月13日	254人																																																										
平成29年度	7月13日	251人																																																										
平成30年度	7月11日	255人																																																										
評価指標（単位）	目標	実績																																																										
研修会参加者数（人）	260	255																																																										
備考	○主な特定財源 民生委員・児童委員活動費委託金（県） 16,107,000円 民生委員・児童委員協議会運営費委託金（県） 518,000円 地区民生委員・児童委員協議会活動費委託金（県） 1,195,000円																																																											

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	1 目 社会福祉総務費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課
事業名	社会福祉総務費各種補助事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
97,064,000 円	93,532,139 円	0 円	3,531,861 円	96.4 %
目的・趣旨	酒田市社会福祉協議会などの各団体に対し、円滑な事業運営と社会福祉の推進を図るため活動補助金を交付する。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 地域福祉の推進等に大きな役割を果たしている酒田市社会福祉協議会の円滑な事業運営を図り、あわせて福祉拠点となる地域福祉センターなどの施設運営を目的に助成するほか、民生委員・児童委員協議会連合会などの各団体に対し、社会福祉を円滑に進めるための活動補助金を交付した。</p> <p>○事業実績・説明 補助金の内訳 (1) 社会福祉協議会運営費補助金 90,933,239 円 (2) 民生委員・児童委員協議会連合会補助金 750,000 円 (3) 遺族会補助金 188,900 円 (4) 宿所提供施設事業費補助金 800,000 円 (5) 障がい者福祉会等運営費補助金 674,000 円 (6) 酒田手をつなぐ育成会運営費補助金 186,000 円</p> <p>○評価・方向性 各福祉関係団体に対して補助金の交付することによって、円滑な事業運営が行われており、本市福祉の維持、向上に寄与している。 決算収支等を確認しながら、自立した運営が可能かどうか、引き続き検討していく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	事業執行率（%）		100	100
備考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 33,000,000 円 地域福祉基金繰入 11,346,000 円 地域福祉基金利子 341,389 円			

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	1 目 社会福祉総務費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課																									
事業名	災害時要援護者避難支援事業																												
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																									
1,189,000 円	1,095,393 円	0 円	93,607 円	92.1 %																									
目的・趣旨	災害時の避難に支援が必要と思われる方の名簿等を整備し、災害発生時における避難誘導、安否確認等の支援活動に活用する。																												
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 平成20年度から整備している災害時要援護者台帳について、各自治会に呼びかけて一斉更新を行い、災害時に避難支援が必要と思われる方の台帳登録の適正化に努めた。 災害時要援護者台帳は自治会の防災訓練等にも活用されている。</p> <p>○事業実績 (1) 台帳の登録状況（年度末）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要援護者</td> <td>1,224人</td> <td>1,182人</td> <td>1,119人</td> <td>1,078人</td> </tr> <tr> <td>避難支援者</td> <td>1,733人</td> <td>1,629人</td> <td>1,514人</td> <td>1,406人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 台帳の整備率（年度末）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整備率</td> <td>68.86%</td> <td>70.46%</td> <td>72.65%</td> <td>73.52%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 地域によって取り組み方に差があるものの、自治会における台帳整備率は上昇傾向にある。今後も地域や市民へ丁寧な事業周知や説明を行いながら台帳整備を進めていく。</p>					平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	要援護者	1,224人	1,182人	1,119人	1,078人	避難支援者	1,733人	1,629人	1,514人	1,406人		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	整備率	68.86%	70.46%	72.65%	73.52%
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度																									
要援護者	1,224人	1,182人	1,119人	1,078人																									
避難支援者	1,733人	1,629人	1,514人	1,406人																									
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度																									
整備率	68.86%	70.46%	72.65%	73.52%																									
	評価指標（単位）		目標	実績																									
	全自治会における台帳整備率（%）		75	73																									
備考																													

款 項 目	3款 民生費	1項 社会福祉費	1目 社会福祉総務費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課																																
事業名	地域福祉推進事業																																			
予算現額 ①	725,000円	724,860円	0円	140円																																
支出済額 ②				99.9%																																
翌年度繰越額 ③																																				
不用額 ①-②-③																																				
執行率 ②/①																																				
目的・趣旨	高齢化の一層の進展や人口減少による核家族化、過疎化などに伴う地域社会の新たな課題に対応し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていることのできる地域社会を実現するため、幅広い市民参加による地域福祉活動を推進する。																																			
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 地域支え合い活動推進事業 地域支え合いの仕組みづくりを考える研修会（地域ワークショップ）を経て、地域の日常的な支え合い活動を実施しようとするコミュニティ振興会等に対し、事業の立ち上げ経費を助成した。</p> <p>(2) 救急安心カード整備事業 急病などに備えて、かかりつけの病院（医院）や緊急時連絡先を記入したカードを、専用の容器に入れて自宅の冷蔵庫に保管する救急安心カードを整備した。</p> <p>(3) 福祉の担い手育成事業 福祉の担い手を育成するため、高齢者疑似体験などの体験プログラム事業を酒田市社会福祉協議会（ボランティアセンター）に委託した。</p>																																			
事業実績	<p>○事業実績</p> <p>(1) 地域支え合い活動推進事業 ・地域支え合い活動推進事業費補助金。1団体に補助金を交付。 ・実践検討団体 1団体、地域ワークショップ実施団体 1団体</p> <p>(2) 救急安心カード整備事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>容器</td> <td>660個</td> <td>379個</td> <td>456個</td> </tr> <tr> <td>ステッカー</td> <td>592枚</td> <td>528枚</td> <td>371枚</td> </tr> <tr> <td>カード</td> <td>779枚</td> <td>799枚</td> <td>493枚</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 福祉の担い手育成事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校数</td> <td>12校</td> <td>14校</td> <td>13校</td> </tr> <tr> <td>学級数</td> <td>21学級</td> <td>21学級</td> <td>19学級</td> </tr> <tr> <td>児童・生徒数</td> <td>451人</td> <td>518人</td> <td>483人</td> </tr> </tbody> </table>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	容器	660個	379個	456個	ステッカー	592枚	528枚	371枚	カード	779枚	799枚	493枚		平成28年度	平成29年度	平成30年度	学校数	12校	14校	13校	学級数	21学級	21学級	19学級	児童・生徒数	451人	518人	483人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																	
容器	660個	379個	456個																																	
ステッカー	592枚	528枚	371枚																																	
カード	779枚	799枚	493枚																																	
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																	
学校数	12校	14校	13校																																	
学級数	21学級	21学級	19学級																																	
児童・生徒数	451人	518人	483人																																	
評価・方向性	<p>○評価・方向性</p> <p>平成24年度から2年間の地域支え合い活動推進事業の助成を受けて実践した団体が平成27年度より国の補助もしくは自主運営によって活動を順調に継続実施している。平成30年度は南遊佐地区で移動販売車による買い物支援や居場所づくりを実施し、好評を得ている。また、松陵地区が次年度の活動開始を目指し、研修会を行うなど体制づくりを行った。今後も社協と連携して取組団体数の拡大を目指したい。</p>																																			
評価指標（単位）	地域支え合い活動を実践する団体数（団体）	3	3																																	
備考																																				

款 項 目	3款 民生費	1項 社会福祉費	1目 社会福祉総務費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課														
事業名	生活困窮者自立相談支援事業																	
予算現額 ①	12,426,000円	12,418,400円	0円	7,600円														
支出済額 ②				99.9%														
翌年度繰越額 ③																		
不用額 ①-②-③																		
執行率 ②/①																		
目的・趣旨	生活困窮者自立支援法に基づき、生活保護に至る可能性のある生活困窮者へ包括的な相談支援や就労支援等を行い、自立に向けた支援を実施するものである。																	
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>生活保護に至る可能性のある生活困窮者に対し、包括的な相談支援や就労支援等を酒田市社会福祉協議会に委託し、相談窓口を設置した。 相談窓口では、生活困窮者からの相談を受け、主に以下の業務を行った。</p> <p>(1) 生活困窮者の抱えている課題を評価・分析（アセスメント）し、そのニーズを把握した。</p> <p>(2) ニーズに応じた支援が計画的かつ継続的に行われるよう、自立支援計画を策定した。</p> <p>(3) 自立支援計画に基づく各種支援が包括的に行われるよう、関係機関との連絡調整を実施した。</p>																	
事業実績・説明	<p>○事業実績・説明</p> <table> <tbody> <tr> <td>(1) 新規相談者数</td> <td>193人</td> </tr> <tr> <td>(2) 新規延べ相談件数</td> <td>929件</td> </tr> <tr> <td>(3) 新規支援プラン作成件数</td> <td>53件</td> </tr> <tr> <td>(4) 支援期間延長作成件数</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>(5) 終結プラン件数</td> <td>36件</td> </tr> <tr> <td>(6) 就職決定者数</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>(7) 支援調整会議開催回数</td> <td>19回</td> </tr> </tbody> </table>				(1) 新規相談者数	193人	(2) 新規延べ相談件数	929件	(3) 新規支援プラン作成件数	53件	(4) 支援期間延長作成件数	2件	(5) 終結プラン件数	36件	(6) 就職決定者数	36人	(7) 支援調整会議開催回数	19回
(1) 新規相談者数	193人																	
(2) 新規延べ相談件数	929件																	
(3) 新規支援プラン作成件数	53件																	
(4) 支援期間延長作成件数	2件																	
(5) 終結プラン件数	36件																	
(6) 就職決定者数	36人																	
(7) 支援調整会議開催回数	19回																	
評価・方向性	<p>○評価・方向性</p> <p>新規相談件数が減少している中で、相談者に対しては丁寧な対応に努め、一定の成果は上がっているものと考えている。生活困窮者が関係機関等とスムーズにつながるよう引き続き関係機関とのネットワーク構築に取り組んでいく。</p>																	
評価指標（単位）	生活困窮者の相談対応のうち解決した件数（件）	40	36															
備考	○主な特定財源 生活困窮者自立相談支援事業費負担金（国） 9,316,500円																	

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	1 目 社会福祉総務費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課						
事業名	生活困窮者住居確保給付金事業									
予算現額 ①	459,000 円	418,500 円	0 円	40,500 円						
支出済額 ②										
翌年度繰越額 ③										
不用額 ①-②-③										
執行率 ②/①	91.2 %									
目的・趣旨	生活困窮者自立支援法に基づき、離職等により経済的に困窮し、住居を失った、または失うおそれのある者に対し、住居確保給付金を支給することにより、安定した住居の確保と就労の自立を図るものである。									
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>離職等により経済的に困窮し、住宅を失った、または失うおそれがある者に対し、住居確保給付金を支給することにより、安定した住居の確保と就労自立を図った。</p> <p>(1) 支給対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請日において、65歳未満であって、離職等後2年以内の者 ・離職等の前に世帯の生計を主として維持していたこと ・ハローワークに求職の申し込みをしていること ・国の雇用施策による給付等を受けていないこと ・暴力団員でないこと <p>(2) 支給要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入、資産要件が基準以下であること ・受給期間中の就職活動要件(就労支援員等による面接等(月4回以上)) ・ハローワークでの職業相談(月2回以上)、原則1回以上求人先へ応募等 <p>(3) 支給期間</p> <p>原則3か月間 (一定の要件を満たす場合、3か月ごと延長可能。最長9か月間)</p> <p>(4) 支給額</p> <p>賃貸住宅の家賃額(上限額は生活保護住宅扶助基準額)</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 扶助費支給額 378,000円</p> <p>(2) 支給対象世帯 4世帯(うち1世帯延長あり)</p> <p>(3) 支給延べ件数 13件</p> <p>○評価・方向性</p> <p>就労意欲のある世帯に対して、支給延長を行う等適正に対応することができた。今後も、離職等により経済的に困窮し、住居を失うおそれのある生活困窮者が、関係機関等とスムーズにつながるよう、引き続きネットワーク構築に取り組んでいく。</p>									
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住居確保給付金受給者のうち、就職により中止・満了となった割合(%)</td> <td>50</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標(単位)	目標	実績	住居確保給付金受給者のうち、就職により中止・満了となった割合(%)	50	75
評価指標(単位)	目標	実績								
住居確保給付金受給者のうち、就職により中止・満了となった割合(%)	50	75								
備考	○主な特定財源 生活困窮者住居確保給付金負担金(国) 276,750円									

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	2 目 障がい者福祉費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課																																																				
事業名	障がい者ほっとふくしサービス事業																																																							
予算現額 ①	9,328,000 円	8,870,640 円	0 円	457,360 円																																																				
支出済額 ②																																																								
翌年度繰越額 ③																																																								
不用額 ①-②-③																																																								
執行率 ②/①	95.1 %																																																							
目的・趣旨	重度心身障がい者が本市指定の福祉サービスを利用する際、その負担金等の一部または全部を助成することにより、障がい者が快適で安全な生活と社会参加を図ることを目的に、障がい者ほっとふくし券を交付する。																																																							
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>タクシーの利用、紙おむつ等の購入、福祉乗合バス回数券購入、障がい福祉サービスの利用料等に使用できる障がい者ほっとふくし券を交付した。</p> <p>(1) 交付対象者: ①身体障害者手帳1・2級所持者、②療育手帳A所持者、③精神保健福祉手帳1級所持者</p> <p>(2) 交 付 額: 一人あたり年額 9,000円</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 交付状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付人数</td> <td>1,212人</td> <td>1,184人</td> <td>1,235人</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>10,908,000円</td> <td>10,656,000円</td> <td>11,115,000円</td> </tr> <tr> <td>使用額</td> <td>8,646,500円</td> <td>8,689,000円</td> <td>8,646,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 使用状況 (上段:金額、下段:使用割合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障がい福祉サービス</td> <td>14,000円 0.17%</td> <td>4,500円 0.05%</td> <td>0円 0.00%</td> </tr> <tr> <td>有償ヘルパーサービス</td> <td>27,000円 0.31%</td> <td>16,000円 0.18%</td> <td>1,000円 0.01%</td> </tr> <tr> <td>配食サービス</td> <td>837,000円 9.68%</td> <td>892,000円 10.27%</td> <td>1,025,000円 11.85%</td> </tr> <tr> <td>訪問入浴</td> <td>9,000円 0.10%</td> <td>0円 0.00%</td> <td>0円 0.00%</td> </tr> <tr> <td>紙おむつ等購入</td> <td>3,527,500円 40.80%</td> <td>3,633,000円 41.81%</td> <td>3,683,000円 42.60%</td> </tr> <tr> <td>福祉乗合バス等</td> <td>411,500円 4.76%</td> <td>447,000円 5.15%</td> <td>499,500円 5.78%</td> </tr> <tr> <td>タクシー</td> <td>3,811,500円 44.08%</td> <td>3,683,500円 42.39%</td> <td>3,433,500円 39.71%</td> </tr> <tr> <td>定期航路</td> <td>9,000円 0.10%</td> <td>13,000円 0.15%</td> <td>4,000円 0.05%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>登録事業者数が増加した一方で、使用率は減少している。今後は障がい者制度の状況や要望等を踏まえて、障がい者の社会参加支援となることを念頭に、登録事業者数の一層の増加に向けた対応、現状のサービス内容の一層の充実を検討する。</p>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	交付人数	1,212人	1,184人	1,235人	交付額	10,908,000円	10,656,000円	11,115,000円	使用額	8,646,500円	8,689,000円	8,646,000円		平成28年度	平成29年度	平成30年度	障がい福祉サービス	14,000円 0.17%	4,500円 0.05%	0円 0.00%	有償ヘルパーサービス	27,000円 0.31%	16,000円 0.18%	1,000円 0.01%	配食サービス	837,000円 9.68%	892,000円 10.27%	1,025,000円 11.85%	訪問入浴	9,000円 0.10%	0円 0.00%	0円 0.00%	紙おむつ等購入	3,527,500円 40.80%	3,633,000円 41.81%	3,683,000円 42.60%	福祉乗合バス等	411,500円 4.76%	447,000円 5.15%	499,500円 5.78%	タクシー	3,811,500円 44.08%	3,683,500円 42.39%	3,433,500円 39.71%	定期航路	9,000円 0.10%	13,000円 0.15%	4,000円 0.05%
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																					
交付人数	1,212人	1,184人	1,235人																																																					
交付額	10,908,000円	10,656,000円	11,115,000円																																																					
使用額	8,646,500円	8,689,000円	8,646,000円																																																					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																					
障がい福祉サービス	14,000円 0.17%	4,500円 0.05%	0円 0.00%																																																					
有償ヘルパーサービス	27,000円 0.31%	16,000円 0.18%	1,000円 0.01%																																																					
配食サービス	837,000円 9.68%	892,000円 10.27%	1,025,000円 11.85%																																																					
訪問入浴	9,000円 0.10%	0円 0.00%	0円 0.00%																																																					
紙おむつ等購入	3,527,500円 40.80%	3,633,000円 41.81%	3,683,000円 42.60%																																																					
福祉乗合バス等	411,500円 4.76%	447,000円 5.15%	499,500円 5.78%																																																					
タクシー	3,811,500円 44.08%	3,683,500円 42.39%	3,433,500円 39.71%																																																					
定期航路	9,000円 0.10%	13,000円 0.15%	4,000円 0.05%																																																					
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録事業者数(事業所)</td> <td>98</td> <td>98</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標(単位)	目標	実績	登録事業者数(事業所)	98	98																																														
評価指標(単位)	目標	実績																																																						
登録事業者数(事業所)	98	98																																																						
備考																																																								

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	2 目 障がい者福祉費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課																										
事業名	障がい者地域福祉対策促進事業																													
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																										
8,488,000円	7,744,158円	0円	743,842円	91.2%																										
目的・趣旨	在宅の重度身体障がい（児）者等に対し、紙おむつの支給、人工透析療法のための通院費助成、せきずい損傷者の介護者への介護手当の支給及び在宅酸素療法者への電気料金の助成等を行うことで、障がい（児）者の福祉の向上を図る。																													
事業成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) せきずい損傷者介護手当支給事業 重度のせきずい損傷のため常時介護を必要とする場合に、介護者に月額 5,000円を支給した。</p> <p>(2) 重度障がい者紙おむつ支給事業 常時失禁状態にある在宅の重度障がい者に対して、紙おむつを支給した。 ・所得税非課税世帯（A）@8,000円/月相当 ・所得税課税世帯（B）@6,000円/月相当</p> <p>(3) 人工透析患者通院交通費助成事業 人工透析療法による医療の給付を受ける際の通院に要する交通費の全部、または一部を助成した。</p> <p>(4) 在宅酸素療法者支援事業 呼吸器機能障害（1、2級を除く）で身体障害者手帳所持者に、酸素濃縮器の電気料を助成した。</p> <p>(5) 自動車運転免許取得・改造助成事業 身体障がい者が自動車の運転免許を取得するために要した経費の一部や、自動車の手動装置等を改造する場合などに経費の一部を助成した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成30年度</th> </tr> <tr> <th>対象者数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>せきずい損傷者介護手当支給事業</td> <td>21人</td> <td>1,180,000円</td> </tr> <tr> <td>重度障がい者紙おむつ支給事業</td> <td>A : 31人 B : 30人</td> <td>4,647,497円</td> </tr> <tr> <td>人工透析患者通院交通費助成事業</td> <td>78人</td> <td>1,109,805円</td> </tr> <tr> <td>在宅酸素療法者支援事業</td> <td>27人</td> <td>387,200円</td> </tr> <tr> <td>自動車運転免許取得・改造助成事業</td> <td>5人</td> <td>419,656円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 障がい（児）者とその家族の経済的な負担軽減が図られた。今後も事業の周知を行いながら、安心して生活を営んでいけるよう支援を継続していく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重度障がい者紙おむつ支給対象者数（人）</td> <td>62</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table>					平成30年度		対象者数	支給額	せきずい損傷者介護手当支給事業	21人	1,180,000円	重度障がい者紙おむつ支給事業	A : 31人 B : 30人	4,647,497円	人工透析患者通院交通費助成事業	78人	1,109,805円	在宅酸素療法者支援事業	27人	387,200円	自動車運転免許取得・改造助成事業	5人	419,656円	評価指標（単位）	目標	実績	重度障がい者紙おむつ支給対象者数（人）	62	61
	平成30年度																													
	対象者数	支給額																												
せきずい損傷者介護手当支給事業	21人	1,180,000円																												
重度障がい者紙おむつ支給事業	A : 31人 B : 30人	4,647,497円																												
人工透析患者通院交通費助成事業	78人	1,109,805円																												
在宅酸素療法者支援事業	27人	387,200円																												
自動車運転免許取得・改造助成事業	5人	419,656円																												
評価指標（単位）	目標	実績																												
重度障がい者紙おむつ支給対象者数（人）	62	61																												
備考	○主な特定財源 市町村総合交付金 心身障がい者地域福祉対策促進事業（県） 1,274,000円 在宅酸素療法者支援事業（県） 228,000円																													

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	2 目 障がい者福祉費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課																																																		
事業名	やさしい住まいづくり事業																																																					
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																		
903,000円	693,261円	0円	209,739円	76.8%																																																		
目的・趣旨	身体障がい者が快適で安全な日常生活を送るために、住宅福祉機器を設置する場合、その費用の一部を助成する。																																																					
事業成果の概要等	<p>○事業内容 65歳未満の身体障害者手帳所持者が、新たに住宅福祉機器を設置する場合に、その費用の一部を助成する。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 補助件数の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手すり</td> <td>7件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>介護用ベッド</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>洋式便器等</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>シルバーカー</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>移動支援機器</td> <td>3件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>入浴補助用具</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12件</td> <td>9件</td> <td>12件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 補助金総額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助金総額</td> <td>534,407円</td> <td>279,530円</td> <td>693,261円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 事業開始より20年が経過し、住宅の改造要望も一巡したため、近年は10件程度の利用にとどまっているが、身体障がい者が安心して在宅生活できる住環境づくりに寄与している。身体障がい者が在宅において快適で安全な生活ができるよう、引き続き支援していく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅福祉機器設置事業費補助件数（件）</td> <td>13</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	手すり	7件	3件	3件	介護用ベッド	0件	1件	4件	洋式便器等	2件	1件	2件	シルバーカー	0件	1件	1件	移動支援機器	3件	2件	0件	入浴補助用具	0件	1件	0件	その他	0件	0件	2件	合計	12件	9件	12件		平成28年度	平成29年度	平成30年度	補助金総額	534,407円	279,530円	693,261円	評価指標（単位）	目標	実績	住宅福祉機器設置事業費補助件数（件）	13	12
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																			
手すり	7件	3件	3件																																																			
介護用ベッド	0件	1件	4件																																																			
洋式便器等	2件	1件	2件																																																			
シルバーカー	0件	1件	1件																																																			
移動支援機器	3件	2件	0件																																																			
入浴補助用具	0件	1件	0件																																																			
その他	0件	0件	2件																																																			
合計	12件	9件	12件																																																			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																			
補助金総額	534,407円	279,530円	693,261円																																																			
評価指標（単位）	目標	実績																																																				
住宅福祉機器設置事業費補助件数（件）	13	12																																																				
備考	○主な特定財源 エコー身体障がい者福祉基金繰入金 693,261円																																																					

款 項 目	3款 民生費	1項 社会福祉費	2目 障がい者福祉費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課
事業名	心身障がい児扶助事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
7,155,000円	6,939,000円	0円	216,000円	97.0%
目的・趣旨	心身障がい児を養育する保護者に手当を支給することにより、障がい児福祉の増進を図る。			
事業・成果の概要等	○事業内容 身体障害者手帳または療育手帳を所持している20歳未満の児童を養育している保護者に月額3,000円を支給した。			
	○事業実績・説明			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	対象児童数	213人	217人	198人
	支 給 額	7,152,000円	6,951,000円	6,939,000円
	※対象児童数は各年度末現在の人数			
	○評価・方向性 酒田市独自の事業として、手当を支給することにより障がい児保護者の経済的負担の軽減を図った。今後も安心して生活していけるように事業の継続を検討していく。			
	評価指標（単位）		目標	実績
	手当支給児童数（人）		213	198
備考				

款 項 目	3款 民生費	1項 社会福祉費	2目 障がい者福祉費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課	
事業名	発達支援事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
8,382,236円	8,187,953円	0円	194,283円	97.7%	
目的・趣旨	発達特性に応じて、早期から適切な発達支援を行うとともに、様々なライフステージに応じて適切な支援を一生涯に渡って継続させるため、相談窓口の一本化により発達支援の円滑な推進を図る。				
事業・成果の概要等	○事業内容 平成23年度に発達支援室を開設し、子育て支援課家庭相談員、健康課保健師、学校教育課指導主事等とともに、保育園・幼稚園を訪問し、特性の有無や発達障がいの診断の有無に関わらず、全てのお子さんへの円滑な発達支援につなげるよう、適切な関わりの支援等の共通認識を図ったほか、相談会、事例検討会、研修会等を行った。また、発達支援室において、様々な年齢や発達特性について、随時幅広い相談を受けた。				
	○事業実績・説明				
	(1) 育ちのサポート事業				
		年度	訪問回数	訪問園数	相談者実数
	平成28年度	124回	40園	453人	675人
	平成29年度	135回	40園	551人	756人
	平成30年度	139回	40園	591人	783人
	(2) 相談会				
	年度	回数	相談者実数	相談者延数	
	平成28年度	25回	81人	141人	
	平成29年度	25回	72人	185人	
	平成30年度	25回	59人	139人	
	(3) 事例検討会				
	年度	回数	検討事例	参加者数	
	平成28年度	18回	107事例	139人	
	平成29年度	12回	86事例	96人	
	平成30年度	13回	75事例	84人	
	(4) 研修会、講演会				
	年度	回数	参加者数		
	平成28年度	27回	607人		
	平成29年度	19回	457人		
	平成30年度	12回	421人		
	○評価・方向性 育ちのサポート事業や相談会等により、何らかの発達特性を有する子どもとその保護者に対して、適切な対応方法の助言や、医療機関等へつなぐことができた。相談件数は増加傾向にあり、引き続き発達特性に応じた早期からの支援を継続していく。				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	園訪問における相談支援児童件数（件）		464	591	
備考	○主な特定財源 地域生活支援事業費補助金（国） 2,564,629円 地域生活支援事業費等補助金（県） 1,258,658円				

款 項 目	3款 民生費	1項 社会福祉費	2目 障がい者福祉費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課
事業名	障がい児通所支援事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
183,647,764円	180,813,818円	0円	2,833,946円	98.5%
目的・趣旨	障がい児の生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進、その他必要な支援を行う。			
事業・成果の概要等	○事業内容 本市において通所給付決定を受け、障がい児通所支援（児童発達支援事業、放課後等デイサービス）を利用した障がい児に通所給付費を支給した。 また、障がい児支援利用計画を作成した場合に計画相談支援給付費を支給した。			
	○事業実績・説明			
	(1) 児童発達支援・放課後等デイサービス			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	利用実人数	122人	114人	98人
	利用延べ回数	19,287回	22,566回	24,852回
	利用施設数	13施設	13施設	13施設
	(2) 障害児相談支援			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	利用実人数	150人	177人	185人
利用延べ回数	268回	365回	426回	
利用施設数	9施設	9施設	9施設	
○評価・方向性 障がい児の日常生活における基本動作の指導や、集団生活へ適応するための訓練の場を提供することで、社会生活能力の向上、社会との交流促進に寄与した。障がい児に対する療育の環境づくりの一環として、今後も引き続き事業を継続する。				
評価指標（単位）		目標	実績	
年間利用者数（人）		120	98	
備考	○主な特定財源 障がい児通所給付費負担金（国） 88,738,581円 障がい児通所給付費負担金（県） 44,369,290円			

款 項 目	3款 民生費	1項 社会福祉費	3目 障がい者自立支援費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課	
事業名	障がい福祉サービス給付事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,777,826,490円	1,741,860,824円	0円	35,965,666円	98.0%	
目的・趣旨	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律における障がい福祉サービス（介護給付、訓練等給付）等を提供し障がい（児）者が安心して暮らせる地域社会の実現を目指す。				
事業・成果の概要等	○事業内容 日常生活における介護給付を行うとともに、自立した日常生活、社会参加や就労ができるよう訓練等の給付を行った。				
	○事業実績・説明				
		サービス名	利用実人数	利用延数	利用施設数
	介護給付	居宅介護	131人	19,301.50時間	8施設
		重度訪問介護	4人	2,204.50時間	3施設
		同行援護	16人	911.00時間	4施設
		療養介護	18人	6,542回	4施設
		生活介護	267人	55,336回	25施設
		短期入所	49人	3,373回	11施設
	訓練等給付	施設入所支援	154人	51,405回	15施設
自立訓練（生活訓練）		87人	10,346回	11施設	
宿泊型自立訓練		8人	2,210回	1施設	
就労移行支援		41人	5,481回	10施設	
就労継続支援A型		40人	9,348回	4施設	
就労継続支援B型		320人	57,675回	37施設	
その他	共同生活援助	147人	—	22施設	
	計画相談支援	811人	1,757回	28施設	
	補装具費	交付 145件 修理 57件	(種目) 義肢、装具、歩行補助つえ 盲人安全つえ、義眼、眼鏡 補聴器、車いす、電動車いす 座位保持装置		
○評価・方向性 利用者の状況に応じ、適正な給付を行い、障がい者の自立した生活維持に寄与した。今後も、障がい者に対して、日常生活における介護サービスと自立した生活、社会参加、就労のための訓練等給付を継続する。					
評価指標（単位）		目標	実績		
年間利用延べ人数（人）		19,725	19,064		
備考	○主な特定財源 障がい者自立支援給付費負担金（国） 876,243,016円 障がい者自立支援給付費負担金（県） 440,693,278円				

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	3 目 障がい者自立支援費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課																																																							
事 業 名	自立支援医療給付事業																																																										
予算現額 ①	146,282,000 円	139,526,873 円	0 円	6,755,127 円																																																							
支出済額 ②				95.4 %																																																							
翌年度繰越額 ③																																																											
不用額 ①-②-③																																																											
執行率 ②/①																																																											
目的・趣旨	身体障がい（児）者の障がいを除去、軽減し、日常生活及び社会生活を容易にすることを目的に、医療費の一部を負担する。																																																										
事業内容	○事業内容 心臓ペースメーカー手術、関節置換術等の自立支援医療（更生医療・育成医療）に係る給付を行った。																																																										
事業実績・説明	○事業実績・説明 (1) 更生医療																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">障がい種別</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> </tr> <tr> <th>給付人数</th> <th>給付件数</th> <th>給付人数</th> <th>給付件数</th> <th>給付人数</th> <th>給付件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視覚・聴覚・音声・言語</td> <td>0人</td> <td>0件</td> <td>2人</td> <td>2件</td> <td>2人</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>肢体</td> <td>30人</td> <td>37件</td> <td>19人</td> <td>29件</td> <td>17人</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>心臓</td> <td>83人</td> <td>132件</td> <td>78人</td> <td>122件</td> <td>121人</td> <td>125件</td> </tr> <tr> <td>腎臓</td> <td>104人</td> <td>112件</td> <td>167人</td> <td>166件</td> <td>142人</td> <td>145件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2人</td> <td>2件</td> <td>3人</td> <td>2件</td> <td>5人</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>219人</td> <td>283件</td> <td>269人</td> <td>321件</td> <td>287人</td> <td>295件</td> </tr> </tbody> </table>				障がい種別	平成28年度		平成29年度		平成30年度		給付人数	給付件数	給付人数	給付件数	給付人数	給付件数	視覚・聴覚・音声・言語	0人	0件	2人	2件	2人	2件	肢体	30人	37件	19人	29件	17人	18件	心臓	83人	132件	78人	122件	121人	125件	腎臓	104人	112件	167人	166件	142人	145件	その他	2人	2件	3人	2件	5人	5件	合計	219人	283件	269人	321件	287人	295件
障がい種別	平成28年度		平成29年度			平成30年度																																																					
	給付人数	給付件数	給付人数	給付件数	給付人数	給付件数																																																					
視覚・聴覚・音声・言語	0人	0件	2人	2件	2人	2件																																																					
肢体	30人	37件	19人	29件	17人	18件																																																					
心臓	83人	132件	78人	122件	121人	125件																																																					
腎臓	104人	112件	167人	166件	142人	145件																																																					
その他	2人	2件	3人	2件	5人	5件																																																					
合計	219人	283件	269人	321件	287人	295件																																																					
	(2) 育成医療																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">障がい種別</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> </tr> <tr> <th>給付人数</th> <th>給付件数</th> <th>給付人数</th> <th>給付件数</th> <th>給付人数</th> <th>給付件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視覚・聴覚・音声・言語</td> <td>20人</td> <td>9件</td> <td>12人</td> <td>9件</td> <td>6人</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>肢体</td> <td>6人</td> <td>0件</td> <td>9人</td> <td>5件</td> <td>7人</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>心臓</td> <td>3人</td> <td>7件</td> <td>2人</td> <td>0件</td> <td>5人</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>腎臓</td> <td>0人</td> <td>0件</td> <td>0人</td> <td>0件</td> <td>0人</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7人</td> <td>8件</td> <td>4人</td> <td>1件</td> <td>2人</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>36人</td> <td>24件</td> <td>27人</td> <td>15件</td> <td>20人</td> <td>20件</td> </tr> </tbody> </table>				障がい種別	平成28年度		平成29年度		平成30年度		給付人数	給付件数	給付人数	給付件数	給付人数	給付件数	視覚・聴覚・音声・言語	20人	9件	12人	9件	6人	6件	肢体	6人	0件	9人	5件	7人	7件	心臓	3人	7件	2人	0件	5人	5件	腎臓	0人	0件	0人	0件	0人	0件	その他	7人	8件	4人	1件	2人	2件	合計	36人	24件	27人	15件	20人	20件
障がい種別	平成28年度		平成29年度			平成30年度																																																					
	給付人数	給付件数	給付人数	給付件数	給付人数	給付件数																																																					
視覚・聴覚・音声・言語	20人	9件	12人	9件	6人	6件																																																					
肢体	6人	0件	9人	5件	7人	7件																																																					
心臓	3人	7件	2人	0件	5人	5件																																																					
腎臓	0人	0件	0人	0件	0人	0件																																																					
その他	7人	8件	4人	1件	2人	2件																																																					
合計	36人	24件	27人	15件	20人	20件																																																					
	※給付人数と給付件数は延べ数としている。																																																										
評価・方向性	○評価・方向性 障がい（児）者の医療費の一部を公費負担することで、経済的な負担の軽減を図った。申請があったもののうち、所得制限による非該当や手術取りやめ等による取り下げがあり、給付に至らないケースもあったが、引き続き制度の周知を図り、今後も円滑に事業を継続していく。																																																										
評価指標（単位）	目標		実績																																																								
新規支給人数（人）	190		196																																																								
備考	○主な特定財源 障がい者医療費負担金（国） 69,563,000円 障がい者医療費負担金（県） 34,167,784円																																																										

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	3 目 障がい者自立支援費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課																				
事 業 名	意思疎通支援事業																							
予算現額 ①	1,726,000 円	1,660,454 円	0 円	65,546 円																				
支出済額 ②				96.2 %																				
翌年度繰越額 ③																								
不用額 ①-②-③																								
執行率 ②/①																								
目的・趣旨	聴覚障がい者等が医療機関や事業所等に赴く場合に、手話奉仕員または要約筆記奉仕員を派遣し、聴覚障がい者等の円滑なコミュニケーションを支援した。また、手話教室を開催し、手話奉仕員の育成と聴覚障がいに関する理解と知識を高める。																							
事業内容	○事業内容 聴覚障がい者等が医療機関や事業所等に赴く場合に、手話奉仕員または要約筆記奉仕員を派遣し、聴覚障がい者等の円滑なコミュニケーションを支援した。 また、手話教室（手話奉仕員養成講座40回、ステップアップ講座20回）を酒田市ボランティアセンターへ委託し開催した。																							
事業実績・説明	○事業実績・説明 (1) 手話奉仕員・要約筆記奉仕員派遣実績 ・手話奉仕員																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手話奉仕員登録数</td> <td>12人</td> <td>14人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>延べ派遣回数</td> <td>93回</td> <td>83回</td> <td>79回</td> </tr> <tr> <td>延べ派遣人数</td> <td>126人</td> <td>87人</td> <td>91人</td> </tr> <tr> <td>延べ派遣時間</td> <td>373時間</td> <td>353時間</td> <td>393時間</td> </tr> </tbody> </table>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	手話奉仕員登録数	12人	14人	16人	延べ派遣回数	93回	83回	79回	延べ派遣人数	126人	87人	91人	延べ派遣時間	373時間	353時間	393時間
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																					
手話奉仕員登録数	12人	14人	16人																					
延べ派遣回数	93回	83回	79回																					
延べ派遣人数	126人	87人	91人																					
延べ派遣時間	373時間	353時間	393時間																					
	・要約筆記奉仕員																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要約筆記奉仕員登録数</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>延べ派遣回数</td> <td>9回</td> <td>15回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>延べ派遣人数</td> <td>13人</td> <td>25人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>延べ派遣時間</td> <td>53時間</td> <td>106時間</td> <td>82時間</td> </tr> </tbody> </table>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	要約筆記奉仕員登録数	6人	6人	8人	延べ派遣回数	9回	15回	12回	延べ派遣人数	13人	25人	17人	延べ派遣時間	53時間	106時間	82時間
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																					
要約筆記奉仕員登録数	6人	6人	8人																					
延べ派遣回数	9回	15回	12回																					
延べ派遣人数	13人	25人	17人																					
延べ派遣時間	53時間	106時間	82時間																					
	(2) 手話教室開催実績																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>受講者数</th> <th>修了者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手話奉仕員養成講座</td> <td>40回</td> <td>20人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>ステップアップ講座</td> <td>20回</td> <td>14人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>					回数	受講者数	修了者数	手話奉仕員養成講座	40回	20人	11人	ステップアップ講座	20回	14人	—								
	回数	受講者数	修了者数																					
手話奉仕員養成講座	40回	20人	11人																					
ステップアップ講座	20回	14人	—																					
	※ステップアップ講座は修了制としていない。																							
評価・方向性	○評価・方向性 手話・要約筆記共に奉仕員登録者数が増加した。また、1回あたりの派遣時間も増加しているが、特定奉仕員への依頼の集中化が見られるため、可能な限り、均等な調整を行っていく必要がある。																							
評価指標（単位）	目標		実績																					
手話奉仕員登録者数（人）	12		16																					
備考	○主な特定財源 地域生活支援事業費補助金（国） 582,057円 地域生活支援事業費等補助金（県） 285,660円																							

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	3 目 障がい者自立支援費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課
事業名	地域活動支援センター事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
11,365,000 円	11,365,000 円	0 円	0 円	100.0 %
目的・趣旨	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律における地域活動支援センターとして、障がい者の創作的活動または生産活動等の機会提供などの支援を行う。			
事業・成果の概要等	○事業内容 障がい者の小規模作業所型と教室型の地域活動支援センターの運営に対して助成した。			
	○事業実績・説明			
	(1) 小規模作業所型			
	名称	特定非営利活動法人 みつば		
	職員	施設長 1 名、指導員 1 名		
	通所利用者数	22 人		
	助成額	6,365,000 円		
	(2) 教室型			
	名称	特定非営利活動法人 酒田市障がい者福祉会		
	職員	施設長 1 名、指導員 2 名		
延べ利用者数	4,204 人			
教室名	書道、パソコン、軽スポーツ等			
助成額	5,000,000 円			
○評価・方向性 利用者数から見ると十分な需要があり、障がい者の社会との交流促進、自立した生活の支援につながっている。障がい者の日常生活における機能訓練、社会参加の促進を図るため、地域活動支援センターの適正な運営、利用者数の増加を目指していく。				
評価指標 (単位)		目標	実績	
年間延べ利用者数 (人)		6,200	5,986	
備考	○主な特定財源 地域生活支援事業費補助金 (国) 1,051,623 円 地域生活支援事業費等補助金 (県) 516,111 円			

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	3 目 障がい者自立支援費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課
事業名	地域生活支援事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
39,175,000 円	37,296,456 円	0 円	1,878,544 円	95.2 %
目的・趣旨	障がい (児) 者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、各種支援を行う。			
事業・成果の概要等	○事業内容 障がい (児) 者に対する日常生活用具の給付や、外出のための移動を支援するほか、障がい (児) 者の日中における活動の場を確保し、社会参加の促進を図った。			
	○事業実績・説明			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	リフト付福祉車両移送型延利用回数	982回	1,003回	1,012回
	ガイドヘルパー等個別支援型延利用人数	1人	2人	2人
	障がい児通所支援車両移送型延利用回数	1,539回	1,191回	1,092回
	日常生活用具給付件数	2,488件	2,515件	2,528件
	障がい者スポーツ大会参加者	82人	83人	80人
	障がい者軽スポーツ大会参加者	45人	47人	49人
	市広報及び議会報の点訳利用者	7人	7人	7人
知的障害者職親委託事業委託	0人	0人	1人	
介護用車両改造補助金交付者	0人	0人	0人	
訪問入浴サービス利用者	6人	4人	4人	
日中一時支援 (日中短期入所) 利用者	49人	52人	61人	
自動車運転免許取得・改造費助成利用者	3人	7人	5人	
成年後見制度利用支援扶助	2人	2人	3人	
○評価・方向性 制度の周知等により、目標を上回る利用実績があった。障がい児の日中活動の場の確保、家族の就労支援や一時的な休息等負担軽減として一定のニーズがあり、今後も事業の周知を図りながら支援を継続していく。				
評価指標 (単位)		目標	実績	
日中一時支援 (児) 延べ利用人数 (人)		150	165	
備考	○主な特定財源 地域生活支援事業費補助金 (国) 14,022,536 円 地域生活支援事業費等補助金 (県) 6,881,923 円			

款 項 目	3款 民生費	1項 社会福祉費	4目 特別障がい者手当等給付事業費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課																				
事 業 名	特別障がい者手当等給付事業																							
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																				
50,991,000円	49,862,178円	0円	1,128,822円	97.8%																				
目的・趣旨	日常生活において、常時特別の介護を必要とする障がい（児）者の経済的負担を軽減するため、手当を支給する。																							
事業・成果の概要等	○事業内容 (1) 特別障害者手当 月額 平成30年4月～31年3月 26,940円 (2) 障害児福祉手当 月額 平成30年4月～31年3月 14,650円 (3) 福祉手当（経過措置分）月額 平成30年4月～31年3月 14,650円 ※それぞれ年4回支給（5月、8月、11月、2月）																							
	○事業実績・説明																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別障害者手当</td> <td>111人</td> <td>116人</td> <td>115人</td> </tr> <tr> <td>障害児福祉手当</td> <td>74人</td> <td>65人</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>福祉手当（経過措置分）</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>187人</td> <td>183人</td> <td>187人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※各年度末の受給者数</p>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	特別障害者手当	111人	116人	115人	障害児福祉手当	74人	65人	70人	福祉手当（経過措置分）	2人	2人	2人	合計	187人	183人	187人
		平成28年度	平成29年度	平成30年度																				
特別障害者手当	111人	116人	115人																					
障害児福祉手当	74人	65人	70人																					
福祉手当（経過措置分）	2人	2人	2人																					
合計	187人	183人	187人																					
○評価・方向性 常時特別の介護を必要とする障がい（児）者の経済的負担を軽減するため、事業を円滑に進めた。今後も安心して生活できるように支援を継続していく。																								
	評価指標（単位）		目標	実績																				
	支給対象者数（人）		191	187																				
備考	○主な特定財源 特別障がい者手当等給付費負担金（国） 37,200,315円																							

款 項 目	3款 民生費	1項 社会福祉費	5目 老人福祉費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課												
事 業 名	老人クラブ助成事業															
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①												
5,692,080円	5,692,080円	0円	0円	100.0%												
目的・趣旨	地域を基盤として、高齢者自らの生きがいと健康づくりを進める活動やボランティア活動、社会奉仕等の活動を促進するため、老人クラブに対して助成する。															
事業・成果の概要等	○事業内容 市内の老人クラブ活動のうち、社会奉仕、教養講座開設、スポーツ振興活動の各事業に対して補助金を交付した。 また、酒田市老人クラブ連合会に対して、市内の老人クラブの活動を促進する事業、健康づくり・介護予防支援事業、地域支え合い事業などについて補助金を交付するとともに、老人クラブ活動指導員に係る人件費の一部を補助した。															
	○事業実績・説明															
	(1) 補助金の内訳 ・老人クラブ連合会補助金 282,080円 ・老人クラブ活動費補助金 4,990,000円 ・老人クラブ活動指導員設置事業費補助金 420,000円 (2) 老人クラブの状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>老人クラブ数</td> <td>113団体</td> <td>107団体</td> <td>107団体</td> </tr> <tr> <td>老人クラブ会員数</td> <td>5,045人</td> <td>4,743人</td> <td>4,552人</td> </tr> </tbody> </table>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	老人クラブ数	113団体	107団体	107団体	老人クラブ会員数	5,045人	4,743人	4,552人
		平成28年度	平成29年度	平成30年度												
老人クラブ数	113団体	107団体	107団体													
老人クラブ会員数	5,045人	4,743人	4,552人													
○評価・方向性 定年年齢の引き上げや他の活動団体の多様化などにより新規会員の加入に結びつかず、会員数の減少傾向が続いているが、高齢者の生きがいつくり、交流、健康増進という点では、活動支援は非常に有効である。広報などを通じて会員増加のための取組みを支援する。																
	評価指標（単位）		目標	実績												
	会員数（人）		4,743	4,552												
備考	○主な特定財源 老人クラブ活動助成費補助金（県） 1,686,000円															

款 項 目	3款 民生費	1項 社会福祉費	5目 老人福祉費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課
事業名	シルバー人材センター補助事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
10,888,000円	10,888,000円	0円	0円	100.0%
目的・趣旨	高齢者の補助的、短期的な就労を通じ、自己能力の活用による社会参加を促進するとともに、いきがいを高めることを目的とし、酒田市シルバー人材センターに助成する。			
事業・成果の概要等	○事業内容 シルバー人材センターの運営費及び地域社会の教育、子育て等の需要に対応するために行う企画提案方式の事業費について、国の定める運営費補助基準に基づき、補助対象経費の2分の1を補助金として交付した（国と市がそれぞれが2分の1を補助）。			
	○事業実績・説明 (1) 補助金の状況（内訳）			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	運営費補助金	7,088,000円	7,088,000円	7,088,000円
	事業費補助金	3,800,000円	3,800,000円	3,800,000円
	(2) 事業活動の状況			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	会員数	730人	711人	743人
	就労実人数	639人	614人	624人
	就労率	87.5%	86.4%	84.0%
受託件数	8,848件	8,616件	8,061件	
延べ就労人数	90,690人	87,907人	78,489人	
受託金額	360,540,597円	342,418,571円	334,921,654円	
(3) 事業費補助金による活動内容				
	講習会名	開催日	内 容	
	安全就業研修会	H31.3.19	実際の事故映像で危険予知を学ぶ	
	安全就業推進大会	H30.10.11	実際の事故映像で危険予知を学ぶ	
	安全就労研修会	H30.6.7	安全に対する意識改革、草刈機等の安全な使い方	
○評価・方向性 就労延べ人数は減少しているものの、農業や育児支援等といった人手不足分野等への取組みによって、現役世代の下支えや労働力確保に貢献すると共に、社会参加を通じた会員の生きがいづくりに寄与している。今後も高齢者の社会参加の促進を図るため、センターの適正運営や就労人数の増加を目指していく。				
	評価指標（単位）		目標	実績
	年間延べ就労件数（人）		97,700	78,489
備考	○主な特定財源 市町村総合交付金 高齢者労働能力活用事業（県） 1,404,000円			

款 項 目	3款 民生費	1項 社会福祉費	5目 老人福祉費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課
事業名	老人施設入所援護事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
110,408,000円	108,857,340円	0円	1,550,660円	98.6%
目的・趣旨	老人福祉法に基づき、居宅での生活困難な高齢者を養護し、当該高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定を図るものである。			
事業・成果の概要等	○事業内容 (1) おおむね65歳以上の方であって、諸事情により居宅において養護を受けることが困難な方を養護老人ホームに入所させ、その費用を本人もしくは扶養義務者に代わって支弁した。 (2) 高齢者の虐待等のやむを得ない事由による緊急措置の費用を支給し、生活の安定と安全を図った。			
	○事業実績 (1) 老人保護措置費			
		施設名	入所者数	措置費
		ともえ	1人	3,790,620円
		湯野浜恩園	2人	4,743,860円
		かたばみの家	37人	91,887,414円
		松峰園	3人	8,417,693円
		合計	43人	108,839,587円
	(平成31年3月末現在)			
	(2) 老人施設等緊急措置費 ・対象者 1人 ・措置費 17,753円			
○評価・方向性 酒田市内の施設は満床で、市外の施設にわずかに空きがあるが、施設入所希望者に対しては適切な処遇を行っている。今後も高齢者の健康と生活安定を図るため、入所希望者や入所を必要とする方に対しては、適正に処遇していく。				
	評価指標（単位）		目標	実績
	養護老人ホーム入所者数（人）		46	43
備考	○主な特定財源 老人保護措置費負担金 17,480,213円			

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	5 目 老人福祉費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部福祉課											
事 業 名	緊急通報システム運営事業														
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①											
2,816,000 円	2,515,863 円	0 円	300,137 円	89.3 %											
目 的・趣 旨	一人暮らし高齢者等の安全な在宅生活の確保を目的とし、急病などの緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう、緊急通報装置を貸与する。														
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 緊急通報システム利用者がシステム本体または付属ペンダントのボタンを押すことで受信センターに通報が入り、近隣者や民生委員等の事前に登録された協力員が利用者の救急搬送要請や安否確認を行った。														
	○事業実績・説明 (1) 利用状況														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>133人</td> <td>125人</td> <td>116人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※各年度末の人数</p>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	利用者数	133人	125人	116人			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度											
利用者数	133人	125人	116人												
(2) 通報の状況															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通報件数</td> <td>20件</td> <td>13件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>誤報件数</td> <td>35件</td> <td>39件</td> <td>32件</td> </tr> </tbody> </table>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	通報件数	20件	13件	15件	誤報件数	35件	39件	32件
	平成28年度	平成29年度	平成30年度												
通報件数	20件	13件	15件												
誤報件数	35件	39件	32件												
○評価・方向性 安否確認を行い、利用者の包括的見守りに寄与することができたが、携帯電話の普及や民間事業者による安否確認サービスの充実などにより、緊急通報システムの設置台数は年々減少している。そのため、本システムの新規申込みは平成30年度末で終了し、今後は民間の安否確認サービスの初期費用の一部助成等による包括的見守り支援に転換していく。															
評価指標（単位）		目標	実績												
新規申請者数（人）		25	15												
備 考	○主な特定財源 緊急通報システム利用者負担金 306,042円														

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	5 目 老人福祉費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部福祉課																
事 業 名	やさしいまちづくり除雪援助事業																			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																
9,533,000 円	5,970,051 円	0 円	3,562,949 円	62.6 %																
目 的・趣 旨	生活通路の除雪または屋根の雪下ろしができない高齢者や障がい者に除雪等協力者を配置し、冬期間の生活の安全を確保する。また、高齢者世帯等の積雪による被害を未然に防ぐため、居宅の雪下ろしを事業所に依頼する際に、その費用の一部を助成する。																			
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 (1) おおむね10cmを超える積雪量があった日等に、高齢者世帯等の生活通路の除雪を行った協力員に対して1日あたり1,000円の奨励金を交付した。 (2) 当該年度の住民税非課税の高齢者世帯等が、積雪による被害を防止するために雪下ろしを実施した場合、25,000円を上限として要した費用の1/2以内の補助金を交付した。																			
	○事業実績・説明 (1) 除雪登録者（要援助者）等の状況																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>除雪登録者数</td> <td>763人</td> <td>767人</td> <td>748人</td> </tr> <tr> <td>除雪協力者数</td> <td>755人</td> <td>768人</td> <td>777人</td> </tr> <tr> <td>除雪協力団体数</td> <td>11団体</td> <td>14団体</td> <td>12団体</td> </tr> </tbody> </table> <p>※除雪登録者数は微減した。また、除雪協力者の確保が困難な状況は続いているが、除雪協力者数は微増した。除雪協力団体数は事業所等の減により微減した。</p>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	除雪登録者数	763人	767人	748人	除雪協力者数	755人	768人	777人	除雪協力団体数	11団体	14団体	12団体
		平成28年度	平成29年度	平成30年度																
除雪登録者数	763人	767人	748人																	
除雪協力者数	755人	768人	777人																	
除雪協力団体数	11団体	14団体	12団体																	
(2) 雪下ろし支援（補助金）の利用状況																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用世帯数</td> <td>5世帯</td> <td>11世帯</td> <td>5世帯</td> </tr> <tr> <td>延べ実施回数</td> <td>5回</td> <td>13回</td> <td>6回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成30年度は前年度に比べ降雪量が少なかったため、利用世帯数、実施回数が減少した。</p>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	利用世帯数	5世帯	11世帯	5世帯	延べ実施回数	5回	13回	6回					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																	
利用世帯数	5世帯	11世帯	5世帯																	
延べ実施回数	5回	13回	6回																	
○評価・方向性 除雪協力者数が微増し、地域内の助け合いの機運は高まってきている。高齢化が進み、地域での除雪協力者確保が困難になってきている現状を踏まえ、民間企業・事業所、学校、ボランティア団体などの除雪協力体制の構築や、除雪が困難な人の生活を支える地域内の助け合いを積極的に支援していく。																				
評価指標（単位）		目標	実績																	
除雪協力者登録者数（人）		800	777																	
備 考	○主な特定財源 市町村総合交付金 雪対策推進事業（県） 250,000円 新井野社会福祉基金利子 12,945円																			

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	5 目 老人福祉費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課																																					
事 業 名	やさしい生活支援事業																																								
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																					
6,042,000 円	5,917,000 円	0 円	125,000 円	97.9 %																																					
目 的・趣 旨	高齢者の在宅生活における転倒防止や外出支援を行うことで介護状態になることを防ぎ、より長く安全な在宅生活を送ることを目的に、高齢者等が新たに福祉機器を設置または購入した費用の一部を助成する。																																								
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 在宅で生活する高齢者が快適で安全な生活を送ることができるよう、介護予防のための福祉機器を設置・購入する場合に、1回10万円を限度に費用の2分の1（電動アシスト自転車については3万円を限度に3分の1）を助成した。																																								
	○事業実績・説明 (1) 補助件数の状況																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>玄関ステップ</td> <td>0件</td> <td>3件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>手すり</td> <td>53件</td> <td>69件</td> <td>58件</td> </tr> <tr> <td>電動アシスト自転車</td> <td>27件</td> <td>26件</td> <td>50件</td> </tr> <tr> <td>洋式便器</td> <td>5件</td> <td>4件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>入浴補助用具</td> <td>24件</td> <td>17件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>シルバーカー</td> <td>138件</td> <td>126件</td> <td>122件</td> </tr> <tr> <td>つえ</td> <td>41件</td> <td>34件</td> <td>42件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>288件</td> <td>279件</td> <td>291件</td> </tr> </tbody> </table>						平成28年度	平成29年度	平成30年度	玄関ステップ	0件	3件	1件	手すり	53件	69件	58件	電動アシスト自転車	27件	26件	50件	洋式便器	5件	4件	3件	入浴補助用具	24件	17件	15件	シルバーカー	138件	126件	122件	つえ	41件	34件	42件	合計	288件	279件	291件
		平成28年度	平成29年度	平成30年度																																					
玄関ステップ	0件	3件	1件																																						
手すり	53件	69件	58件																																						
電動アシスト自転車	27件	26件	50件																																						
洋式便器	5件	4件	3件																																						
入浴補助用具	24件	17件	15件																																						
シルバーカー	138件	126件	122件																																						
つえ	41件	34件	42件																																						
合計	288件	279件	291件																																						
(2) 補助金の状況																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助金総額</td> <td>5,068,000 円</td> <td>5,853,000 円</td> <td>5,866,000 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>減少傾向にあった申請件数が増加し、補助金総額も増加した。</p>						平成28年度	平成29年度	平成30年度	補助金総額	5,068,000 円	5,853,000 円	5,866,000 円																													
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																						
補助金総額	5,068,000 円	5,853,000 円	5,866,000 円																																						
○評価・方向性 福祉機器等を扱う事業所からの代行申請が多く、また比較的手続きが簡単で時間も要さないため、利用しやすい制度であるといえる。メニュー見直しについては、今後の介護保険の状況や要望等をふまえて検討する。さらに、引き続き広報等で制度の周知を図る。																																									
評価指標（単位）		目標	実績																																						
制度利用件数（件）		300	291																																						
備 考																																									

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	5 目 老人福祉費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課																																																																																										
事 業 名	ほっとふくし券事業																																																																																													
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																																										
26,494,000 円	25,786,468 円	0 円	707,532 円	97.3 %																																																																																										
目 的・趣 旨	在宅での介護を必要とする方の経済的な負担を軽減し、安心した生活を送ることができるよう、介護に係る費用の一部を助成する。																																																																																													
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 要介護認定を受け、介護保険料段階の要件（鍼・灸マッサージ等利用助成券は年齢要件のみ）に該当した方を対象に、リハビリパンツの購入費用や有償ヘルパーサービス等に利用できるほっとふくし券（一般券及び各種専用券）を交付した。																																																																																													
	○事業実績・説明																																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ほっとふくし券種類</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">一般券</td> <td>交付人数</td> <td>1,471人</td> <td>1,481人</td> <td>1,429人</td> </tr> <tr> <td>交 付 額</td> <td>25,695,000 円</td> <td>26,605,000 円</td> <td>25,835,000 円</td> </tr> <tr> <td>利 用 額</td> <td>20,998,000 円</td> <td>21,200,000 円</td> <td>20,700,500 円</td> </tr> <tr> <td>使 用 率</td> <td>81.7%</td> <td>79.7%</td> <td>80.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ストレッチャー車専用券</td> <td>交付人数</td> <td>31人</td> <td>28人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>交 付 額</td> <td>696,000 円</td> <td>648,000 円</td> <td>720,000 円</td> </tr> <tr> <td>利 用 額</td> <td>192,000 円</td> <td>144,000 円</td> <td>170,000 円</td> </tr> <tr> <td>使 用 率</td> <td>27.6%</td> <td>22.2%</td> <td>23.6%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">訪問理容・美容サービス専用券</td> <td>交付人数</td> <td>91人</td> <td>109人</td> <td>124人</td> </tr> <tr> <td>交 付 額</td> <td>455,000 円</td> <td>530,000 円</td> <td>620,000 円</td> </tr> <tr> <td>利 用 額</td> <td>190,000 円</td> <td>215,000 円</td> <td>194,000 円</td> </tr> <tr> <td>使 用 率</td> <td>41.8%</td> <td>40.6%</td> <td>31.3%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">寝具洗濯乾燥消毒サービス専用券</td> <td>交付人数</td> <td>15人</td> <td>17人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>交 付 額</td> <td>75,000 円</td> <td>85,000 円</td> <td>75,000 円</td> </tr> <tr> <td>利 用 額</td> <td>40,000 円</td> <td>39,000 円</td> <td>49,000 円</td> </tr> <tr> <td>使 用 率</td> <td>53.3%</td> <td>45.9%</td> <td>65.3%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">鍼・灸・マッサージ等利用助成券</td> <td>交付人数</td> <td>1,204人</td> <td>1,126人</td> <td>1,105人</td> </tr> <tr> <td>交 付 額</td> <td>6,819,000 円</td> <td>6,357,000 円</td> <td>6,231,000 円</td> </tr> <tr> <td>利 用 額</td> <td>3,913,000 円</td> <td>3,911,000 円</td> <td>3,804,000 円</td> </tr> <tr> <td>使 用 率</td> <td>57.4%</td> <td>61.5%</td> <td>61.0%</td> </tr> </tbody> </table>					ほっとふくし券種類	平成28年度	平成29年度	平成30年度	一般券	交付人数	1,471人	1,481人	1,429人	交 付 額	25,695,000 円	26,605,000 円	25,835,000 円	利 用 額	20,998,000 円	21,200,000 円	20,700,500 円	使 用 率	81.7%	79.7%	80.1%	ストレッチャー車専用券	交付人数	31人	28人	32人	交 付 額	696,000 円	648,000 円	720,000 円	利 用 額	192,000 円	144,000 円	170,000 円	使 用 率	27.6%	22.2%	23.6%	訪問理容・美容サービス専用券	交付人数	91人	109人	124人	交 付 額	455,000 円	530,000 円	620,000 円	利 用 額	190,000 円	215,000 円	194,000 円	使 用 率	41.8%	40.6%	31.3%	寝具洗濯乾燥消毒サービス専用券	交付人数	15人	17人	15人	交 付 額	75,000 円	85,000 円	75,000 円	利 用 額	40,000 円	39,000 円	49,000 円	使 用 率	53.3%	45.9%	65.3%	鍼・灸・マッサージ等利用助成券	交付人数	1,204人	1,126人	1,105人	交 付 額	6,819,000 円	6,357,000 円	6,231,000 円	利 用 額	3,913,000 円	3,911,000 円	3,804,000 円	使 用 率	57.4%	61.5%	61.0%
	ほっとふくし券種類	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																																																										
一般券	交付人数	1,471人	1,481人	1,429人																																																																																										
	交 付 額	25,695,000 円	26,605,000 円	25,835,000 円																																																																																										
	利 用 額	20,998,000 円	21,200,000 円	20,700,500 円																																																																																										
	使 用 率	81.7%	79.7%	80.1%																																																																																										
ストレッチャー車専用券	交付人数	31人	28人	32人																																																																																										
	交 付 額	696,000 円	648,000 円	720,000 円																																																																																										
	利 用 額	192,000 円	144,000 円	170,000 円																																																																																										
	使 用 率	27.6%	22.2%	23.6%																																																																																										
訪問理容・美容サービス専用券	交付人数	91人	109人	124人																																																																																										
	交 付 額	455,000 円	530,000 円	620,000 円																																																																																										
	利 用 額	190,000 円	215,000 円	194,000 円																																																																																										
	使 用 率	41.8%	40.6%	31.3%																																																																																										
寝具洗濯乾燥消毒サービス専用券	交付人数	15人	17人	15人																																																																																										
	交 付 額	75,000 円	85,000 円	75,000 円																																																																																										
	利 用 額	40,000 円	39,000 円	49,000 円																																																																																										
	使 用 率	53.3%	45.9%	65.3%																																																																																										
鍼・灸・マッサージ等利用助成券	交付人数	1,204人	1,126人	1,105人																																																																																										
	交 付 額	6,819,000 円	6,357,000 円	6,231,000 円																																																																																										
	利 用 額	3,913,000 円	3,911,000 円	3,804,000 円																																																																																										
	使 用 率	57.4%	61.5%	61.0%																																																																																										
○評価・方向性 券の年間使用率はほぼ横ばいにある。券の交付により、交通手段の確保や介護用品の購入についての経済的な負担の軽減が図られた。事業見直しについては、今後の介護保険の状況や要望等を踏まえて検討する。さらに、引き続き広報等で制度の周知を図る。																																																																																														
評価指標（単位）		目標	実績																																																																																											
年間使用率（%）		84	80																																																																																											
備 考																																																																																														

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	5 目 老人福祉費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課																																	
事業名	軽度生活援助事業																																				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																	
2,866,000円	2,334,500円	0円	531,500円	81.5%																																	
目的・趣旨	在宅で生活する一人暮らし高齢者等を対象に、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活の継続と要介護状態への進行防止を図る。																																				
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 おおむね65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する高齢者に対して、疾病、認知症、虚弱等の理由で自ら行うことのできない軽易な日常生活の業務(掃除、買い物、ゴミ出し、灯油つめ、除雪等)について生活援助員の派遣を行った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣世帯数</td> <td>189世帯</td> <td>186世帯</td> <td>191世帯</td> </tr> <tr> <td>派遣回数</td> <td>3,580回</td> <td>4,334回</td> <td>3,620回</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">派遣内訳</td> <td>掃除</td> <td>776回</td> <td>784回</td> <td>703回</td> </tr> <tr> <td>買い物</td> <td>1,257回</td> <td>1,261回</td> <td>1,259回</td> </tr> <tr> <td>ゴミ出し</td> <td>384回</td> <td>282回</td> <td>293回</td> </tr> <tr> <td>灯油つめ</td> <td>46回</td> <td>20回</td> <td>70回</td> </tr> <tr> <td>除雪</td> <td>1,117回</td> <td>1,987回</td> <td>1,295回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 平成30年度は、比較的暖かく昨年より積雪量が少なかったため、除雪援助の回数が減少したが、軽易な作業を援助することで、持続可能な在宅生活を送れ、福祉の増進に寄与している。今後は事業の周知を図り、利用者を増やすことによって、多くの高齢者の生活支援を行いたい。</p>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	派遣世帯数	189世帯	186世帯	191世帯	派遣回数	3,580回	4,334回	3,620回	派遣内訳	掃除	776回	784回	703回	買い物	1,257回	1,261回	1,259回	ゴミ出し	384回	282回	293回	灯油つめ	46回	20回	70回	除雪	1,117回	1,987回	1,295回
		平成28年度	平成29年度	平成30年度																																	
	派遣世帯数	189世帯	186世帯	191世帯																																	
派遣回数	3,580回	4,334回	3,620回																																		
派遣内訳	掃除	776回	784回	703回																																	
	買い物	1,257回	1,261回	1,259回																																	
	ゴミ出し	384回	282回	293回																																	
	灯油つめ	46回	20回	70回																																	
	除雪	1,117回	1,987回	1,295回																																	
	評価指標(単位)	目標	実績																																		
	軽度生活援助事業派遣回数(回)	3,700	3,620																																		
備考	○主な特定財源 軽度生活援助事業利用者負担金 512,740円																																				

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	5 目 老人福祉費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課																
事業名	飛島高齢者生活支援事業																			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																
1,460,000円	1,424,044円	0円	35,956円	97.5%																
目的・趣旨	飛島に居住する高齢者の経済的負担を軽減し、飛島での生活を支援するため、定期航路運賃の一部を助成する。																			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 飛島に居住する65歳以上の方を対象に、定期航路運賃の一部を助成した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 交付(利用)状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付人数</td> <td>145人</td> <td>137人</td> <td>135人</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>2,450,500円</td> <td>2,315,300円</td> <td>2,281,500円</td> </tr> <tr> <td>利用額</td> <td>1,323,270円</td> <td>1,402,700円</td> <td>1,375,660円</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成30年度は、前年度に比べて、飛島に居住する65歳以上の人数が減少したことにより交付人数が減少し、利用額も減少した。</p> <p>○評価・方向性 利用率は前年度に比べて減少したものの、島民の経済的負担の軽減により外出機会の増加で健康増進、介護予防に寄与している。今後も、飛島に居住する高齢者の島での生活を支援するため、継続して支援していく。</p>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	交付人数	145人	137人	135人	交付額	2,450,500円	2,315,300円	2,281,500円	利用額	1,323,270円	1,402,700円	1,375,660円
		平成28年度	平成29年度	平成30年度																
	交付人数	145人	137人	135人																
交付額	2,450,500円	2,315,300円	2,281,500円																	
利用額	1,323,270円	1,402,700円	1,375,660円																	
	評価指標(単位)	目標	実績																	
	定期航路運賃助成券利用率(%)	70	60.3																	
備考																				

款 項 目	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	6 目 福祉医療費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課			
事業名	重度心身障がい（児）者医療給付事業						
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①		
278,228,000 円	261,455,980 円		0 円	16,772,020 円	94.0 %		
目的・趣旨	重度心身障がい（児）者に対し、医療費の負担を軽減するために医療給付を行い、社会福祉の増進を図る。						
事業・成果の概要等	○事業内容 各医療制度のもとで本人等の負担額のうち、その全部または一部を助成し、負担軽減を図った。 また、本市単独事業として、20歳前に傷病を負ったことによる障害基礎年金2級受給者及び特別児童扶養手当2級支給児童も適用範囲に拡大して給付を行った。						
	○事業実績・説明 (単位：人、件、円)						
	年度	区分	対象者	件数	高額療養費	一部負担金	給付額
	H28	総 額	2,684	71,229	78,610,455	20,688,652	258,395,784
		県補助対象	2,281	61,765	74,106,689	18,345,762	230,264,717
		市単独事業	403	9,464	4,503,766	2,342,890	28,131,067
	H29	総 額	2,627	70,344	81,555,962	19,403,262	258,802,484
		県補助対象	2,221	60,885	75,900,169	17,320,577	230,123,775
		市単独事業	406	9,459	5,655,793	2,082,685	28,678,709
	H30	総 額	2,896	69,723	75,585,867	20,122,310	254,850,476
県補助対象		2,480	60,162	71,732,703	17,948,250	225,295,146	
市単独事業		416	9,561	3,853,164	2,174,060	29,555,330	
○評価・方向性 医療費の自己負担を軽減することにより、経済的負担による受診機会の減少を防ぎ、安心した地域生活を送ることに寄与した。社会福祉の増進を図る観点から継続して実施するよう検討する。							
評価指標（単位）			目標	実績			
①市単独事業給付額（千円）			① 29,458	① 29,555			
②市単独事業対象者数（人）			② 405	② 416			
備考	○主な特定財源 重度心身障がい（児）者医療費補助金（県） 113,862,623円						

款 項 目	3 款 民生費	3 項 生活保護費	2 目 生活保護扶助費	= 予算所属 = 健康福祉部福祉課	
事業名	生活保護扶助事業				
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
1,349,603,000 円	1,348,548,645 円		0 円	1,054,355 円	99.9 %
目的・趣旨	生活困窮者に対し必要な援護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、自立の助長を図る。				
事業・成果の概要等	○事業内容 生活保護法に基づいて、生活困窮者の程度に応じて必要な保護を行うことにより、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することを目的とし、生活扶助、住宅扶助、教育扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助、就労自立給付金の支給を行った。				
	○事業実績・説明				
	(1) 支給状況				
		扶助名	支出額	割合	
		生活扶助費	381,794,286 円	28.3%	
		住宅扶助費	170,553,916 円	12.6%	
		教育扶助費	3,564,266 円	0.3%	
		医療扶助費	684,239,937 円	50.7%	
		介護扶助費	81,340,292 円	6.0%	
		出産扶助費	0 円	0.0%	
	生業扶助費	2,883,965 円	0.2%		
	葬 祭 費	1,412,883 円	0.1%		
	就労自立給付金	150,770 円	0.0%		
	施設事務費	22,608,330 円	1.8%		
	合 計	1,348,548,645 円	100.0%		
(2) 平成30年度における異動数					
・保護開始 106 世帯 115 人					
・保護廃止 84 世帯 93 人					
(3) 平成30年度末における状況					
・被保護世帯数 758 世帯					
・被保護者数 911 人					
○評価・方向性 生活保護法に基づき、適正に保護を実施し、自立するための就労支援を行った。就労開始による自立は給与水準からもなかなか難しいところがあるが、4件が自立できていることは、目標には届かないものの一つの成果であり、今後も引き続き保護世帯の自立助長を図っていく。					
評価指標（単位）			目標	実績	
就労収入増に伴う保護からの自立世帯数（世帯）			5	4	
備考	○主な特定財源 生活保護費負担金（国） 1,005,449,820円 生活保護費負担金（県） 4,781,328円				

款 項 目	3款 民生費	1項 社会福祉費	6目 福祉医療費	= 予算所屬 = 健康福祉部子育て支援課																																
事業名	子育て支援・ひとり親家庭等医療給付事業																																			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																
407,283,000円	384,829,702円	0円	22,453,298円	94.5%																																
目的・趣旨	乳幼児等及びひとり親家庭等の医療費負担を軽減するために医療給付を行い、社会福祉の増進を図る。																																			
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 子育て支援医療 対象者の健康保険で受診した時の自己負担額を助成する。 ・ 0歳～中学3年生までの児童の通院および入院 ・ 所得制限なし ・ 一部負担金なし</p> <p>(2) ひとり親家庭等医療 所得税非課税で次の人を対象とし、対象者の健康保険で受診した時の自己負担額を助成する。 ・ 配偶者のない人で18歳以下の児童を扶養している人とその児童 ・ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律により、配偶者が保護命令を受けた人で18歳以下の児童を扶養している人とその児童 ・ 父または母が身体または精神の重度の障がい有する場合に、その児童（18歳以下）と障がいのある父または母の配偶者（18歳以下の児童の親） ・ 父母のいない18歳以下の児童</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 子育て支援医療給付事業（扶助費）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>件数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>12,126人</td> <td>175,076件</td> <td>340,971,054円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>11,662人</td> <td>176,920件</td> <td>336,516,403円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>11,285人</td> <td>167,612件</td> <td>317,813,188円</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成26年4月～ 小学4～6年生の通院対象拡大 ・平成27年4月～ 中学生の通院対象拡大</p> <p>(2) ひとり親家庭等医療給付事業（扶助費）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>件数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>1,611人</td> <td>20,175件</td> <td>54,066,266円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,575人</td> <td>18,428件</td> <td>48,488,369円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,462人</td> <td>18,101件</td> <td>49,680,139円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象者数：年度末時点の受給対象者数 件数：医療機関の受診件数</p> <p>○評価・方向性 子育て世代及びひとり親家庭の医療費を軽減することで、経済的な不安をなくすことができた等、好評を得ており（平成29年ニーズ調査より）、子育てに対する安心感の増進に寄与している。今後も子育てしやすい環境を整備し、少子化対策の一助となるよう事業を継続する。なお、平成29年度から子育て支援医療証は自動更新とし、保護者の手続きにかかる負担を軽減している。</p>				年度	対象者数	件数	給付額	H28	12,126人	175,076件	340,971,054円	H29	11,662人	176,920件	336,516,403円	H30	11,285人	167,612件	317,813,188円	年度	対象者数	件数	給付額	H28	1,611人	20,175件	54,066,266円	H29	1,575人	18,428件	48,488,369円	H30	1,462人	18,101件	49,680,139円
年度	対象者数	件数	給付額																																	
H28	12,126人	175,076件	340,971,054円																																	
H29	11,662人	176,920件	336,516,403円																																	
H30	11,285人	167,612件	317,813,188円																																	
年度	対象者数	件数	給付額																																	
H28	1,611人	20,175件	54,066,266円																																	
H29	1,575人	18,428件	48,488,369円																																	
H30	1,462人	18,101件	49,680,139円																																	
概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療証交付率（%）</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	医療証交付率（%）	100	100																										
評価指標（単位）	目標	実績																																		
医療証交付率（%）	100	100																																		
備考	<p>○主な特定財源 子育て支援医療費補助金（県） 102,429,643円 ひとり親家庭等医療費補助金（県） 25,440,503円</p>																																			

款 項 目	3款 民生費	1項 社会福祉費	6目 福祉医療費	= 予算所屬 = 健康福祉部子育て支援課																																														
事業名	未熟児養育医療給付事業																																																	
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																														
5,273,000円	3,960,413円	0円	1,312,587円	75.1%																																														
目的・趣旨	通常の出産と比較して、より高額な入院費が見込まれる未熟児の入院養育に必要な費用を助成することにより、子どもの発育が増進されるとともに、保護者の経済的負担が軽減され、子育てに対する不安や負担感の軽減につながる。																																																	
事業内容	<p>○事業内容 身体の発育が未熟なまま生まれ、指定医療機関において入院を必要とする乳児に対し、その養育に必要な医療の給付または医療に要する費用を支給した。 養育医療の給付にあたっては、その世帯の所得に応じた階層区分により、その費用の全部または一部を支援した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>給付者数 (実人数)</th> <th>件数</th> <th>日数・回数</th> <th>給付額</th> <th>費用徴収額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H28</td> <td>医療費</td> <td>17人</td> <td>40件</td> <td>833日</td> <td>3,886,029円</td> <td>817,049円</td> </tr> <tr> <td>食事療養費</td> <td>13人</td> <td>24件</td> <td>1,127日</td> <td>418,120円</td> <td>68,768円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>医療費</td> <td>14人</td> <td>41件</td> <td>923日</td> <td>3,846,914円</td> <td>998,270円</td> </tr> <tr> <td>食事療養費</td> <td>11人</td> <td>22件</td> <td>870日</td> <td>313,200円</td> <td>98,262円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>医療費</td> <td>10人</td> <td>36件</td> <td>792日</td> <td>3,379,556円</td> <td>534,758円</td> </tr> <tr> <td>食事療養費</td> <td>8人</td> <td>29件</td> <td>1,468日</td> <td>665,480円</td> <td>110,029円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 本事業の利用者は、所得に応じた階層区分により、その費用の全部または一部を自己負担するが、本市においては、子育て支援医療給付事業からも医療費を給付しているため、費用徴収額を「医療費：食事療養費」の割合で乗じ、食事療養費分について自己負担を求めている。 ※ 費用徴収額の欄の上段は、子育て支援医療給付事業からの充当分、下段が利用者の自己負担分を表記している。</p> <p>○評価・方向性 適切な処置が必要な子どもに対し、医療にかかる経済的負担を軽減することで、子どもの発育増進と保護者の子育てに対する安心感の増進に寄与している。 母子保健法に基づいて実施している事業であり、本市にとって子育て支援医療給付事業より財源的に有利であることから今後も事業を継続し、対象者が生後速やかに適切な処置を受けることができるよう努めていく。</p>				年度	区分	給付者数 (実人数)	件数	日数・回数	給付額	費用徴収額	H28	医療費	17人	40件	833日	3,886,029円	817,049円	食事療養費	13人	24件	1,127日	418,120円	68,768円	H29	医療費	14人	41件	923日	3,846,914円	998,270円	食事療養費	11人	22件	870日	313,200円	98,262円	H30	医療費	10人	36件	792日	3,379,556円	534,758円	食事療養費	8人	29件	1,468日	665,480円	110,029円
年度	区分	給付者数 (実人数)	件数	日数・回数	給付額	費用徴収額																																												
H28	医療費	17人	40件	833日	3,886,029円	817,049円																																												
	食事療養費	13人	24件	1,127日	418,120円	68,768円																																												
H29	医療費	14人	41件	923日	3,846,914円	998,270円																																												
	食事療養費	11人	22件	870日	313,200円	98,262円																																												
H30	医療費	10人	36件	792日	3,379,556円	534,758円																																												
	食事療養費	8人	29件	1,468日	665,480円	110,029円																																												
概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給付決定率（%）</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	給付決定率（%）	100	100																																								
評価指標（単位）	目標	実績																																																
給付決定率（%）	100	100																																																
備考	<p>○主な特定財源 未熟児養育医療費負担金（国） 1,805,500円 未熟児養育医療費負担金（県） 902,750円 未熟児養育医療受療者負担金 110,029円</p>																																																	

款 項 目	3 款	2 項	1 目	= 予 算 所 属 =																																																																																															
	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費		健康福祉部子育て支援課																																																																																														
事 業 名	私立幼稚園就園奨励事業																																																																																																		
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																																															
18,342,000 円	17,685,600 円	0 円	656,400 円	96.4 %																																																																																															
目 的・趣 旨	私立幼稚園に子どもを就園させている家庭の保育料を補助することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、幼児教育の振興と充実を図る。																																																																																																		
事 業・成 果の 概 要 等	○事業内容 子どもが私立幼稚園に就園している家庭の課税状況や兄弟の年齢及び人数などの条件に応じ、入園料及び保育料に対する補助を行った。 補助限度額は国の基準に準じているが、きょうだい判定の範囲については、国の基準が小学校3年生までであるのに対し、本市では小学校6年生までに拡大して判定している。																																																																																																		
	○事業実績・説明 (単位：人、円)																																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>満3歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> <th>計</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">H28</td> <td>第1子</td> <td>16</td> <td>62</td> <td>94</td> <td>85</td> <td>257</td> <td>23,125,900</td> </tr> <tr> <td>第2子</td> <td>38</td> <td>106</td> <td>94</td> <td>110</td> <td>348</td> <td>60,608,340</td> </tr> <tr> <td>第3子以降</td> <td>8</td> <td>22</td> <td>17</td> <td>22</td> <td>69</td> <td>17,925,800</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>62</td> <td>190</td> <td>205</td> <td>217</td> <td>674</td> <td>101,660,040</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">H29</td> <td>第1子</td> <td>7</td> <td>14</td> <td>19</td> <td>24</td> <td>64</td> <td>5,376,100</td> </tr> <tr> <td>第2子</td> <td>6</td> <td>19</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>73</td> <td>12,024,200</td> </tr> <tr> <td>第3子以降</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>19</td> <td>4,012,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17</td> <td>39</td> <td>49</td> <td>51</td> <td>156</td> <td>21,412,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">H30</td> <td>第1子</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>41</td> <td>3,370,900</td> </tr> <tr> <td>第2子</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>61</td> <td>10,130,700</td> </tr> <tr> <td>第3子以降</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>4,184,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12</td> <td>26</td> <td>39</td> <td>40</td> <td>117</td> <td>17,685,600</td> </tr> </tbody> </table>				年度	区分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	補助金額	H28	第1子	16	62	94	85	257	23,125,900	第2子	38	106	94	110	348	60,608,340	第3子以降	8	22	17	22	69	17,925,800	計	62	190	205	217	674	101,660,040	H29	第1子	7	14	19	24	64	5,376,100	第2子	6	19	24	24	73	12,024,200	第3子以降	4	6	6	3	19	4,012,000	計	17	39	49	51	156	21,412,300	H30	第1子	2	11	13	15	41	3,370,900	第2子	8	11	22	20	61	10,130,700	第3子以降	2	4	4	5	15	4,184,000	計	12	26	39	40	117	17,685,600
	年度	区分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	補助金額																																																																																											
	H28	第1子	16	62	94	85	257	23,125,900																																																																																											
		第2子	38	106	94	110	348	60,608,340																																																																																											
		第3子以降	8	22	17	22	69	17,925,800																																																																																											
		計	62	190	205	217	674	101,660,040																																																																																											
	H29	第1子	7	14	19	24	64	5,376,100																																																																																											
		第2子	6	19	24	24	73	12,024,200																																																																																											
第3子以降		4	6	6	3	19	4,012,000																																																																																												
計		17	39	49	51	156	21,412,300																																																																																												
H30	第1子	2	11	13	15	41	3,370,900																																																																																												
	第2子	8	11	22	20	61	10,130,700																																																																																												
	第3子以降	2	4	4	5	15	4,184,000																																																																																												
	計	12	26	39	40	117	17,685,600																																																																																												
○評価・方向性 保育料の軽減策として、平成28年度からきょうだい判定の範囲を小学校6年生までに引き上げる要件緩和措置を実施し、より多くの子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子育てに対する安心感の増進に寄与することができた。 平成29年度から、幼稚園5園が認定こども園に移行したことにより、補助対象は1園のみとなったこともあって対象児童数が大きく減少している。 当該事業対象の私立幼稚園（1園）が認定こども園へ移行することに伴い、平成31年度当初予算に事業費は計上されていない。																																																																																																			
評価指標（単位）		目標	実績																																																																																																
補助対象者数（人）		188	117																																																																																																
備 考	○主な特定財源 私立幼稚園就園奨励費補助金（国） 4,734,000円																																																																																																		

款 項 目	3 款	2 項	1 目	= 予 算 所 属 =																				
	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費		健康福祉部子育て支援課																			
事 業 名	私立幼稚園にこにこ子育て支援事業																							
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																				
413,000 円	328,500 円	0 円	84,500 円	79.5 %																				
目 的・趣 旨	私立幼稚園に2人以上の子どもが同時に就園している家庭の保育料の一部を軽減し、保護者の経済的負担の緩和を図る。																							
事 業・成 果の 概 要 等	○事業内容 私立幼稚園に同時に2人以上の子どもを就園させている家庭に対し、第2子以降の保育料の軽減を行った。 所得制限はなく、次の算出式により得た額を補助している。 ・第2子の場合 (252,000円－就園奨励費補助金) × 1/2 ・第3子の場合 (252,000円－就園奨励費補助金)																							
	○事業実績・説明 (単位：人、円)																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>きょうだいが同時就園</th> <th>就園奨励費 該当者数</th> <th>にこにこ子育て支援事業 補助金該当者数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>89</td> <td>89</td> <td>64</td> <td>2,088,500</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>11</td> <td>307,500</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>12</td> <td>328,500</td> </tr> </tbody> </table>				年度	きょうだいが同時就園	就園奨励費 該当者数	にこにこ子育て支援事業 補助金該当者数	補助金額	H28	89	89	64	2,088,500	H29	21	21	11	307,500	H30	17	17	12	328,500
	年度	きょうだいが同時就園	就園奨励費 該当者数	にこにこ子育て支援事業 補助金該当者数	補助金額																			
	H28	89	89	64	2,088,500																			
	H29	21	21	11	307,500																			
	H30	17	17	12	328,500																			
	○評価・方向性 私立幼稚園就園奨励費補助金に上乗せする形で、子育て世帯の経済的負担を一層、軽減することができた。 平成29年度から、幼稚園5園が認定こども園に移行したことにより、対象児童数が大きく減少している。 当該事業対象の私立幼稚園（1園）が認定こども園へ移行することに伴い、平成31年度当初予算に事業費は計上されていない。																							
	評価指標（単位）		目標	実績																				
	補助対象者数（人）		22	12																				
備 考																								

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部子育て支援課																																																	
事 業 名	特別保育事業																																																				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																	
181,437,000 円	180,369,854 円	0 円	1,067,146 円	99.4 %																																																	
目 的・趣 旨	核家族化や女性の就労機会の増加などを背景として多様化しているニーズに対応するため、特別保育事業を計画的に実施する法人立保育所等に補助金を交付する。																																																				
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 延長保育促進事業 保育時間が標準（11時間）又は短時間（8時間）を超える延長保育の実施</p> <p>(2) 一時預かり事業 ・保護者の臨時的就労や病気、冠婚葬祭時など一時的な保育の実施 ・認定こども園の教育時間前後の預かりも対象とした。</p> <p>(3) 子育て支援センター事業 育児不安を抱える保護者からの相談に応じて必要な助言・指導を行うとともに、子育てサークルの育成・支援や在宅で子育てする保護者の交流の場を提供した。</p> <p>(4) 障がい児保育事業 障がい児と健常児の統合保育を実施した。</p> <p>(5) 病児・病後児保育事業 児童が保育中に体調不良となった場合等に、また、児童が病気の「回復期」で集団保育が困難な期間において、当該児童の一時的な保育を実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th colspan="3">実施園数</th> <th rowspan="2">平成30年度 補助金額</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長保育促進事業（標準時間）</td> <td>18園</td> <td>19園</td> <td>18園</td> <td>8,826,000円</td> </tr> <tr> <td>延長保育促進事業（短時間）</td> <td>6園</td> <td>4園</td> <td>5園</td> <td>1,592,100円</td> </tr> <tr> <td>一時預かり事業</td> <td>19園</td> <td>21園</td> <td>20園</td> <td>30,428,839円</td> </tr> <tr> <td>子育て支援センター事業</td> <td>1園</td> <td>1園</td> <td>1園</td> <td>2,841,000円</td> </tr> <tr> <td>障がい児保育事業</td> <td>22園</td> <td>28園</td> <td>28園</td> <td>101,713,915円</td> </tr> <tr> <td>病児・病後児保育事業</td> <td>7園</td> <td>8園</td> <td>8園</td> <td>34,968,000円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>73園</td> <td>81園</td> <td>80園</td> <td>180,369,854円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 平成30年度から地域活動事業を補助対象外としたものの、延長保育、一時預かり、障がい児保育などの事業の充実を図った。一時預かりや病児保育等の保育ニーズは高まっており、子どもを産み育てやすい環境を整え、保育サービスへの満足度を向上させるため、この事業が大きく貢献している。今後も、多様化する保育需要に対応するため、サービスを拡充し、国・県の補助を活用しながら、特別保育を実施する施設に対し助成を行い子育て支援の充実を図っていく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長保育延べ利用児童数（人）</td> <td>25,000</td> <td>26,367</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	実施園数			平成30年度 補助金額	H28年度	H29年度	H30年度	延長保育促進事業（標準時間）	18園	19園	18園	8,826,000円	延長保育促進事業（短時間）	6園	4園	5園	1,592,100円	一時預かり事業	19園	21園	20園	30,428,839円	子育て支援センター事業	1園	1園	1園	2,841,000円	障がい児保育事業	22園	28園	28園	101,713,915円	病児・病後児保育事業	7園	8園	8園	34,968,000円	合 計	73園	81園	80園	180,369,854円	評価指標（単位）	目標	実績	延長保育延べ利用児童数（人）	25,000	26,367
事業名	実施園数			平成30年度 補助金額																																																	
	H28年度	H29年度	H30年度																																																		
延長保育促進事業（標準時間）	18園	19園	18園	8,826,000円																																																	
延長保育促進事業（短時間）	6園	4園	5園	1,592,100円																																																	
一時預かり事業	19園	21園	20園	30,428,839円																																																	
子育て支援センター事業	1園	1園	1園	2,841,000円																																																	
障がい児保育事業	22園	28園	28園	101,713,915円																																																	
病児・病後児保育事業	7園	8園	8園	34,968,000円																																																	
合 計	73園	81園	80園	180,369,854円																																																	
評価指標（単位）	目標	実績																																																			
延長保育延べ利用児童数（人）	25,000	26,367																																																			
備 考	○主な特定財源 子ども・子育て支援交付金（国） 31,891,000円 保育対策等促進事業費補助金（県） 26,218,000円																																																				

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部子育て支援課																																					
事 業 名	法人立保育所等補助事業																																								
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																					
13,227,000 円	13,076,250 円	0 円	150,750 円	98.9 %																																					
目 的・趣 旨	法人立保育所や認定こども園の職員の資質向上、運営の安定を図るために法人立保育所等を支援する。																																								
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 法人立保育所等運営費補助金 ・基準額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>均等割</th> <th colspan="2">1 法人あたり 100,000円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※法人合併した場合、合併年度から10年間に限り合併前の法人数で算出する。</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <th>定員割</th> <td>45人以下 140,000円</td> <td>61人～90人 80,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>46人～60人 100,000円</td> <td>91人以上 70,000円</td> </tr> <tr> <th>職員割</th> <td colspan="2">処遇改善等加算 適用職員数×10,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 法人立保育所借地料補助金 ・基準額 当該年度の相続税路線価×10/8×敷地面積×4/100または実支出額のうち、いずれか低い額を補助する。</p> <p>(3) 保育対策総合支援事業費補助金 保育所等における保育士業務の負担軽減のため、保育業務支援システムの導入経費に補助する。（基準額：1か所当たり1,000,000円が上限）</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 法人立保育所運営費補助金 20法人、29施設分 10,250,000円</p> <p>(2) 法人立保育所借地料補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮野浦保育園</td> <td>260,000 円</td> </tr> <tr> <td>木の実こども園</td> <td>1,066,250 円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,326,250 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 保育対策総合支援事業費補助金（保育所等におけるICT化推進事業）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本楯保育園</td> <td>750,000 円</td> </tr> <tr> <td>あづまこども園</td> <td>750,000 円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,500,000 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 当該補助により、法人保育園や認定こども園の運営の健全化を図り、各園が職員等の研修に取組んだ。平成30年度には保育所等の業務効率化を推進することができた。今後も、法人職員の質の向上や運営強化のため支援していく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修（職員の質の向上）に取組む園数（園）</td> <td>29</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table>				均等割	1 法人あたり 100,000円		※法人合併した場合、合併年度から10年間に限り合併前の法人数で算出する。			定員割	45人以下 140,000円	61人～90人 80,000円		46人～60人 100,000円	91人以上 70,000円	職員割	処遇改善等加算 適用職員数×10,000円		施設名	補助金額	宮野浦保育園	260,000 円	木の実こども園	1,066,250 円	合 計	1,326,250 円	施設名	補助金額	本楯保育園	750,000 円	あづまこども園	750,000 円	合 計	1,500,000 円	評価指標（単位）	目標	実績	研修（職員の質の向上）に取組む園数（園）	29	29
均等割	1 法人あたり 100,000円																																								
※法人合併した場合、合併年度から10年間に限り合併前の法人数で算出する。																																									
定員割	45人以下 140,000円	61人～90人 80,000円																																							
	46人～60人 100,000円	91人以上 70,000円																																							
職員割	処遇改善等加算 適用職員数×10,000円																																								
施設名	補助金額																																								
宮野浦保育園	260,000 円																																								
木の実こども園	1,066,250 円																																								
合 計	1,326,250 円																																								
施設名	補助金額																																								
本楯保育園	750,000 円																																								
あづまこども園	750,000 円																																								
合 計	1,500,000 円																																								
評価指標（単位）	目標	実績																																							
研修（職員の質の向上）に取組む園数（園）	29	29																																							
備 考	○主な特定財源 保育対策総合支援事業費補助金（国） 1,000,000円																																								

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部子育て支援課																																		
事 業 名	保育士等人材確保事業																																					
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																		
1,253,000 円	1,059,443 円	0 円	193,557 円	84.6 %																																		
目 的・趣 旨	<p>人員不足が見込まれる保育士等の人材確保のために、保育園等で働きたいと思う人を増やすとともに本市の保育園等に就職するきっかけをつくる。また、保育士等の離職を防止して定着を図るための研修会を実施する。</p>																																					
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 高校生や保育士養成校の学生及び潜在保育士を対象とした就職ガイダンスを開催した。また、若手保育士を対象とした研修を行い、働く意欲を向上させ、離職防止を図った。 山形県人材福祉センターと連携を図るとともに、市ホームページや市広報により保育士等の人材確保に関する情報を周知した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 保育士就職ガイダンス（保育の仕事まるわかりフェア） 日時：8月11日（土・祝日）午後1時～4時 場所：ホテルリッチ&ガーデン酒田 内容：講話、各園のPR・相談（12施設等）、保育士のおしゃべりコーナー、就学先紹介コーナー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>当日の状況</th> <th>人数 (人)</th> <th>参加者と参加施設のマッチング状況</th> <th>人数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>65</td> <td>見学・ボランティア・実習者数</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(内訳)</td> <td>学生（卒業予定者）</td> <td rowspan="4">(内訳)</td> <td>見学等実施した</td> </tr> <tr> <td>学生（上記以外）</td> <td>ボランティア等実施した</td> </tr> <tr> <td>高校生（保護者含）</td> <td>教育・保育実習実施した</td> </tr> <tr> <td>潜在保育士</td> <td></td> </tr> <tr> <td>相談・面接者数</td> <td>58</td> <td>面接者数</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(相談等の内訳)</td> <td>園の説明</td> <td rowspan="5">(内訳)</td> <td>学生新卒者</td> </tr> <tr> <td>施設見学の予約</td> <td>潜在保育士</td> </tr> <tr> <td>ボランティア等の予約</td> <td>採用者数</td> </tr> <tr> <td>実習予約</td> <td>学生新卒者</td> </tr> <tr> <td>面接相談</td> <td>潜在保育士</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 保育士等離職防止研修会（ステップアップ研修） 市内の保育園・こども園・幼稚園で勤務5年程度までの職員を対象に2回実施。 (3) 山形県福祉人材センターとの連携 保育士再就職支援研修会事例発表に参加し、事例発表と相談ブースを開設した。</p> <p>○評価・方向性 フェアを開催したことで、高校生などが保育の仕事に携わりたいと思うきっかけづくりができた。また、養成校生や潜在保育士の就職に結びつけることができた。 今後も現状を把握し、関係機関と連携を図りながら保育士等の人材確保の取り組みを継続していく。</p>				当日の状況	人数 (人)	参加者と参加施設のマッチング状況	人数 (人)	参加者数	65	見学・ボランティア・実習者数	17	(内訳)	学生（卒業予定者）	(内訳)	見学等実施した	学生（上記以外）	ボランティア等実施した	高校生（保護者含）	教育・保育実習実施した	潜在保育士		相談・面接者数	58	面接者数	12	(相談等の内訳)	園の説明	(内訳)	学生新卒者	施設見学の予約	潜在保育士	ボランティア等の予約	採用者数	実習予約	学生新卒者	面接相談	潜在保育士
当日の状況	人数 (人)	参加者と参加施設のマッチング状況	人数 (人)																																			
参加者数	65	見学・ボランティア・実習者数	17																																			
(内訳)	学生（卒業予定者）	(内訳)	見学等実施した																																			
	学生（上記以外）		ボランティア等実施した																																			
	高校生（保護者含）		教育・保育実習実施した																																			
	潜在保育士																																					
相談・面接者数	58	面接者数	12																																			
(相談等の内訳)	園の説明	(内訳)	学生新卒者																																			
	施設見学の予約		潜在保育士																																			
	ボランティア等の予約		採用者数																																			
	実習予約		学生新卒者																																			
	面接相談		潜在保育士																																			
	評価指標（単位）	目標	実績																																			
	保育園等の求人に対する就職率（%）	100	73.9																																			
備 考	<p>○主な特定財源 子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金（国） 704,000円 さかた応援基金繰入金 355,000円</p>																																					

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部子育て支援課																																		
事 業 名	児童手当扶助事業																																					
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																		
1,395,150,000 円	1,388,645,000 円	0 円	6,505,000 円	99.5 %																																		
目 的・趣 旨	<p>児童を養育している父母等に手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、時代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。</p>																																					
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 児童手当法に基づき、所得制限内の児童養育者に児童手当を支給する。また、所得制限を超えている養育者には、平成24年6月分から特例給付を支給している。</p> <p>(1) 児童手当（平成24年度以降） ・支給対象 0歳～中学校修了前児童の所得制限内の養育者（公務員を除く） ・支給月額 0～2歳の児童 15,000円 3歳～中学校修了前の児童 10,000円（第3子以降は15,000円、ただし中学生は10,000円）</p> <p>(2) 特例給付 ・支給対象 0歳～中学校修了前児童の所得制限を超えている養育者（公務員を除く） ・支給月額 年齢に関わらず受給者が所得制限を超過のとき 5,000円</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>児童手当の額の基礎となる延べ児童数</th> <th>支出額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H28</td> <td>児童手当</td> <td>130,192 人</td> <td>1,461,025,000 円</td> </tr> <tr> <td>特例給付</td> <td>4,361 人</td> <td>21,805,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>134,553 人</td> <td>1,482,830,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H29</td> <td>児童手当</td> <td>125,963 人</td> <td>1,413,975,000 円</td> </tr> <tr> <td>特例給付</td> <td>4,304 人</td> <td>21,520,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>130,267 人</td> <td>1,435,495,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H30</td> <td>児童手当</td> <td>121,726 人</td> <td>1,366,465,000 円</td> </tr> <tr> <td>特例給付</td> <td>4,436 人</td> <td>22,180,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>126,162 人</td> <td>1,388,645,000 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 手当を支給することにより、子育て世帯への経済的負担の軽減及び家計の安定に寄与している。今後も全ての対象児童へ手当支給ができるよう、事業の適正な実施と事務の効率化を進めていく。</p>				年度	区分	児童手当の額の基礎となる延べ児童数	支出額	H28	児童手当	130,192 人	1,461,025,000 円	特例給付	4,361 人	21,805,000 円	計	134,553 人	1,482,830,000 円	H29	児童手当	125,963 人	1,413,975,000 円	特例給付	4,304 人	21,520,000 円	計	130,267 人	1,435,495,000 円	H30	児童手当	121,726 人	1,366,465,000 円	特例給付	4,436 人	22,180,000 円	計	126,162 人	1,388,645,000 円
年度	区分	児童手当の額の基礎となる延べ児童数	支出額																																			
H28	児童手当	130,192 人	1,461,025,000 円																																			
	特例給付	4,361 人	21,805,000 円																																			
	計	134,553 人	1,482,830,000 円																																			
H29	児童手当	125,963 人	1,413,975,000 円																																			
	特例給付	4,304 人	21,520,000 円																																			
	計	130,267 人	1,435,495,000 円																																			
H30	児童手当	121,726 人	1,366,465,000 円																																			
	特例給付	4,436 人	22,180,000 円																																			
	計	126,162 人	1,388,645,000 円																																			
	評価指標（単位）	目標	実績																																			
	児童手当現況届の提出割合（%）	100	99.8																																			
備 考	<p>○主な特定財源 児童手当費負担金（国） 966,499,665円 児童手当費負担金（県） 210,845,332円</p>																																					

款 項 目	3 款	2 項	1 目	= 予 算 所 属 =																															
	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費		健康福祉部子育て支援課																														
事 業 名	ファミリーサポートセンター運営事業																																		
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																															
5,043,000 円	4,698,940 円	0 円	344,060 円	93.2 %																															
目 的 ・ 趣 旨	仕事と育児の両立を支援するため、育児の援助を受けたい人（利用会員）と援助を行いたい人（協会員）の募集や仲介を行う。																																		
事 業 ・ 成 果 の 概 要 等	○事業内容 保護者の仕事や家庭の都合等で家庭での養育ができないときに、援助を受けたい会員（利用会員）がファミリーサポートセンターのアドバイザーに援助の依頼を行い、依頼を受けたアドバイザーは援助を行いたい会員（協会員）の中から、条件に合う協会員とマッチングすることで、相互援助活動を成立させる。 また、児童を預かる際の安全性の向上や会員の資質向上のため、研修会や交流会を月1回程度実施している。																																		
	○事業実績・説明 (1) 会員数の状況																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用会員</td> <td>367人</td> <td>358人</td> <td>356人</td> </tr> <tr> <td>協会員</td> <td>84人</td> <td>85人</td> <td>87人</td> </tr> <tr> <td>両方会員</td> <td>20人</td> <td>16人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>471人</td> <td>459人</td> <td>458人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	H28年度	H29年度	H30年度	利用会員	367人	358人	356人	協会員	84人	85人	87人	両方会員	20人	16人	15人	合計	471人	459人	458人											
	区分	H28年度	H29年度	H30年度																															
	利用会員	367人	358人	356人																															
	協会員	84人	85人	87人																															
	両方会員	20人	16人	15人																															
	合計	471人	459人	458人																															
	(2) 受付状況																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所・幼稚園登園前の預かり及び送り</td> <td>79人</td> <td>53人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり</td> <td>275人</td> <td>380人</td> <td>314人</td> </tr> <tr> <td>子どもの病気時の預かり</td> <td>6人</td> <td>2人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>こどもの習い事等の場合の援助</td> <td>332人</td> <td>354人</td> <td>366人</td> </tr> <tr> <td>保護者の短時間・臨時的就労の場合の預かり</td> <td>117人</td> <td>40人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>その他（冠婚葬祭、PTA、その他用事等）</td> <td>74人</td> <td>108人</td> <td>142人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>883人</td> <td>937人</td> <td>865人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	H28年度	H29年度	H30年度	保育所・幼稚園登園前の預かり及び送り	79人	53人	22人	保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	275人	380人	314人	子どもの病気時の預かり	6人	2人	5人	こどもの習い事等の場合の援助	332人	354人	366人	保護者の短時間・臨時的就労の場合の預かり	117人	40人	16人	その他（冠婚葬祭、PTA、その他用事等）	74人	108人	142人	合計	883人	937人
区分	H28年度	H29年度	H30年度																																
保育所・幼稚園登園前の預かり及び送り	79人	53人	22人																																
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	275人	380人	314人																																
子どもの病気時の預かり	6人	2人	5人																																
こどもの習い事等の場合の援助	332人	354人	366人																																
保護者の短時間・臨時的就労の場合の預かり	117人	40人	16人																																
その他（冠婚葬祭、PTA、その他用事等）	74人	108人	142人																																
合計	883人	937人	865人																																
○評価・方向性 会員数は、近年の延長保育や一時保育の活用など、地域の子育て環境の充実に伴い、緩やかな減少傾向にあり、援助内容は預かりが減少し、送迎や習い事への援助へと比重が変化している。 子育て世代の共働きの割合は今後も増加し、事業のニーズは高いと思われるが、全国的に協会員の高齢化が進んでおり、新規の協会員の確保が必要である。今後とも会員の増加に努め、子育てしやすい環境の整備を推進していく。																																			
評価指標（単位）		目標	実績																																
ファミリーサポートセンター年間登録人数（人）		450	458																																
備 考	○主な特定財源 子ども・子育て支援交付金（国） 1,053,000円 保育対策等促進事業費補助金（県） 1,053,000円																																		

款 項 目	3 款	2 項	1 目	= 予 算 所 属 =																																											
	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費		健康福祉部子育て支援課																																										
事 業 名	放課後児童健全育成事業																																														
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																											
200,682,000 円	192,329,106 円	0 円	8,352,894 円	95.8 %																																											
目 的 ・ 趣 旨	仕事と子育ての両立を支援するため、放課後の保育が必要な児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る。																																														
事 業 ・ 成 果 の 概 要 等	○事業内容 (1) 市内23箇所に学童保育所を開設し、運営は各事業主体に委託した。 (2) 要保護・準要保護世帯又は多子世帯における児童の利用料の補助を実施。 (3) 放課後児童支援員の処遇改善又は資格取得支援を行う運営団体への支援を実施。																																														
	○事業実績・説明 (1) 学童保育所の運営委託 (単位：人、円)																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">在籍児童数（年間平均）</th> </tr> <tr> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童数計</td> <td>1,155</td> <td>1,190</td> <td>1,201</td> </tr> <tr> <td>14学童保育所（がくほれんwith酒田）</td> <td>932</td> <td>969</td> <td>941</td> </tr> <tr> <td>十坂学区学童保育所</td> <td>66</td> <td>72</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>4学童保育所（酒田保育協会）</td> <td>72</td> <td>75</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>八幡学童保育所</td> <td>24</td> <td>27</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>西荒瀬学区学童保育所</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>鳥海地区学童保育所</td> <td>30</td> <td>13</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>松山学童保育所</td> <td>9</td> <td>14</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>事業費計</td> <td>134,581,780</td> <td>172,200,040</td> <td>181,878,080</td> </tr> </tbody> </table>					在籍児童数（年間平均）			平成28年度	平成29年度	平成30年度	児童数計	1,155	1,190	1,201	14学童保育所（がくほれんwith酒田）	932	969	941	十坂学区学童保育所	66	72	73	4学童保育所（酒田保育協会）	72	75	84	八幡学童保育所	24	27	28	西荒瀬学区学童保育所	22	20	23	鳥海地区学童保育所	30	13	26	松山学童保育所	9	14	26	事業費計	134,581,780	172,200,040	181,878,080
		在籍児童数（年間平均）																																													
		平成28年度	平成29年度	平成30年度																																											
	児童数計	1,155	1,190	1,201																																											
	14学童保育所（がくほれんwith酒田）	932	969	941																																											
	十坂学区学童保育所	66	72	73																																											
	4学童保育所（酒田保育協会）	72	75	84																																											
	八幡学童保育所	24	27	28																																											
西荒瀬学区学童保育所	22	20	23																																												
鳥海地区学童保育所	30	13	26																																												
松山学童保育所	9	14	26																																												
事業費計	134,581,780	172,200,040	181,878,080																																												
(2) 保育料等支援事業 (単位：人、円)																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要保護・準要保護補助対象児童数</td> <td>81</td> <td>87</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>3,378,600</td> <td>5,280,900</td> <td>4,763,400</td> </tr> <tr> <td>多子世帯補助対象児童数</td> <td></td> <td>47</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td></td> <td>1,827,300</td> <td>2,188,200</td> </tr> </tbody> </table>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	要保護・準要保護補助対象児童数	81	87	77	補助金額	3,378,600	5,280,900	4,763,400	多子世帯補助対象児童数		47	55	補助金額		1,827,300	2,188,200																								
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																												
要保護・準要保護補助対象児童数	81	87	77																																												
補助金額	3,378,600	5,280,900	4,763,400																																												
多子世帯補助対象児童数		47	55																																												
補助金額		1,827,300	2,188,200																																												
(3) 指導員処遇改善支援事業 (単位：人、円)																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>処遇改善・資格取得者数（補助金額）</td> <td>4 (720,000)</td> <td>3 (540,000)</td> <td>4 (720,000)</td> </tr> </tbody> </table>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	処遇改善・資格取得者数（補助金額）	4 (720,000)	3 (540,000)	4 (720,000)																																				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																												
処遇改善・資格取得者数（補助金額）	4 (720,000)	3 (540,000)	4 (720,000)																																												
○評価・方向性 学童の運営、利用者負担軽減、指導員の処遇改善について一体的に取り組むことができ、適切な学童保育指導ができたことと評価している。 今後も児童数の推移や利用ニーズの動向を注視しながら、安心・安全な環境下で学童保育指導が実施できるよう保育環境の充実を図っていく。																																															
評価指標（単位）		目標	実績																																												
学童保育所入所児童数（人）		1,100	1,201																																												
備 考	○主な特定財源 子ども・子育て支援交付金（国） 57,650,000円 放課後児童健全育成事業費等補助金（県） 61,116,000円 過疎対策事業債（市債） 7,200,000円																																														

款 項 目	3款 民生費	2項 児童福祉費	1目 児童福祉総務費	= 予算所属 = 健康福祉部子育て支援課
事業名	八幡学童保育所整備事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
3,998,000円	3,961,440円	0円	36,560円	99.1%
目的・趣旨	八幡学童保育所の保育室及び事務室のスペースを拡張し、学童保育の環境整備を図る。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 平成29年度まで酒田ふれあい商工会八幡支部が使用していた事務室を、保育室等とするための改修工事を行う。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 工事概要 間仕切壁の一部撤去及び新設により、保育スペースを拡張し、建具やカーペットの新設等の内装改修等を行った。 (2) 工事請負費 3,961,440円</p> <p>○評価・方向性 施設を有効に活用し、快適な保育環境の整備を図った。今後の入所児童の推移を勘案しながら、学童保育所の整備を検討していく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
			年度内事業の完了	完了
備考	○主な特定財源 合併特例事業債（市債） 3,700,000円			

款 項 目	3款 民生費	2項 児童福祉費	1目 児童福祉総務費	= 予算所属 = 健康福祉部子育て支援課																																																
事業名	児童虐待防止対策事業																																																			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																
662,000円	430,650円	0円	231,350円	65.1%																																																
目的・趣旨	酒田市要保護児童対策地域協議会を運営し、関係機関の情報の共有化、連携の強化を進める。また、ワークショップや子ども家庭支援員の派遣などを実施しながら地域全体で児童の健全育成を推進し、虐待の未然防止を図る。																																																			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 (1) 酒田市要保護児童対策地域協議会を運営し、代表者・実務者・ケース検討会議を開催した。 (2) 子どもへの暴力防止教育プログラムとしてCAPプログラムを導入し、小学校等の児童及び保護者、教職員、学童指導員を対象にワークショップを実施した。 (3) 子育て不安や引きこもり、児童虐待等の家庭養育上の問題を抱える家庭に家庭相談員が訪問したり、子ども家庭支援員派遣を検討した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 酒田市要保護児童対策地域協議会 ・協議会開催実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>代表者会議</th> <th>実務者会議</th> <th>ケース検討会議</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>2回</td> <td>6回</td> <td>31件</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2回</td> <td>6回</td> <td>35件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2回</td> <td>6回</td> <td>35件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・虐待通告・認定件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>虐待通告</th> <th>虐待認定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>41件</td> <td>21件</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>31件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>47件</td> <td>35件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 子どもへの暴力防止教育プログラム（CAPプログラム）実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>若宮保育園、新堀保育園</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>新堀保育園、浜田保育園、松陵保育園、若宮保育園</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>浜田保育園、松陵保育園、若宮保育園</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 子ども家庭支援員の派遣状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象家庭</th> <th>派遣回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>0世帯</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2世帯</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>0世帯</td> <td>0回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 酒田市要保護児童対策地域協議会により、関係機関と緊密な連携を図りながら児童虐待防止に努め、要保護児童や家庭養育上の問題を抱える家庭への必要な支援を行った。今後も関係機関との連携を図りながら必要な支援を継続していく。</p>				年度	代表者会議	実務者会議	ケース検討会議	H28	2回	6回	31件	H29	2回	6回	35件	H30	2回	6回	35件	年度	虐待通告	虐待認定	H28	41件	21件	H29	31件	15件	H30	47件	35件	年度	実施施設	H28	若宮保育園、新堀保育園	H29	新堀保育園、浜田保育園、松陵保育園、若宮保育園	H30	浜田保育園、松陵保育園、若宮保育園	年度	対象家庭	派遣回数	H28	0世帯	0回	H29	2世帯	4回	H30	0世帯	0回
年度	代表者会議	実務者会議	ケース検討会議																																																	
H28	2回	6回	31件																																																	
H29	2回	6回	35件																																																	
H30	2回	6回	35件																																																	
年度	虐待通告	虐待認定																																																		
H28	41件	21件																																																		
H29	31件	15件																																																		
H30	47件	35件																																																		
年度	実施施設																																																			
H28	若宮保育園、新堀保育園																																																			
H29	新堀保育園、浜田保育園、松陵保育園、若宮保育園																																																			
H30	浜田保育園、松陵保育園、若宮保育園																																																			
年度	対象家庭	派遣回数																																																		
H28	0世帯	0回																																																		
H29	2世帯	4回																																																		
H30	0世帯	0回																																																		
	評価指標（単位）		目標	実績																																																
	児童虐待等相談件数に対する対応率（%）		100	100																																																
備考	○主な特定財源 子ども・子育て支援交付金（国） 222,000円 地域子ども・子育て支援事業費補助金（県） 43,000円																																																			

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部子育て支援課						
事 業 名	発達障がい児及び家族等支援事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
768,000 円	457,544 円	0 円	310,456 円	59.6 %						
目 的・趣 旨	<p>ペアレントプログラム研修の実施により、保育職員（受講者）が保護者支援の技術を修得することで子どもの発達に悩み子育てに難しさを感じている保護者の助けとなり、特別な支援を必要とする子どもや家庭への支援に対する満足度が向上することを目的とする。</p>									
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 外部講師による事前研修</p> <p>(2) ペアレントプログラム研修を実施（全6回）</p> <p>(3) ペアレントプログラムを実施する自治体等への先進地視察</p> <p>【ペアレントプログラムとは】</p> <p>ペアレントプログラムは、子育てに難しさを感じる保護者が、子どもの「行動」の客観的な理解の仕方を学び、楽しく子育てに臨む自信を身につけることを目的としたもの。保護者の認知の変容を目指した内容で、保護者支援に活用することが可能であり、保育者等の支援者が支援者研修を受講することで、保護者支援技術を身につけることができる。ペアレントプログラムが目指す保護者の変化は次の3点。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が、子どもの「性格」ではなく、「行動」で考えることができるようになること ・子どもを叱って対応するのではなく、できたことに注目してほめて対応すること ・保護者が仲間を見つけられること <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 外部講師による事前研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日／平成30年12月1日 ・講 師／宮城学院女子大学教授 白石雅一氏 ・参加者／保育職員19人、福祉課、子育て支援課、健康課職員9人 <p>(2) ペアレントプログラム研修を実施（全6回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日／①平成30年12月22日、②平成31年1月12日、③1月26日、④2月2日、⑤2月16日、⑥3月2日 ・講 師／宮城学院女子大学教授 白石雅一氏 ・参加者／保護者10人、保育職員10人、子育て支援課職員1人 ・ペアレントプログラム資格認定者 6人 <p>※資格認定の条件は、6回の研修受講後にアドバンスワークショップに参加すること。有資格者は、プログラムの講師になることができる。（5年間有効）</p> <p>(3) ペアレントプログラムを実施する自治体等への先進地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庄市視察／平成30年11月10日、平成30年11月24日 保育職員が各日4人参加 ・大府市（愛知県）視察／平成31年3月28日 保育職員2人参加 <p>○評価・方向性</p> <p>参加した保護者、保育職員のいずれも、プログラムの効果を実感しており、それは抑うつ症状改善割合にも表れている。今後も事業を継続し取り組みを広げていく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プログラムによる保護者の抑うつ症状改善割合（%）</td> <td>20</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	プログラムによる保護者の抑うつ症状改善割合（%）	20	72
評価指標（単位）	目標	実績								
プログラムによる保護者の抑うつ症状改善割合（%）	20	72								
備 考	<p>○主な特定財源 地域生活支援事業費補助金（国） 102,591円</p> <p>地域生活支援事業費等補助金（県） 50,349円</p>									

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部子育て支援課																														
事 業 名	少子化対策地域推進事業																																	
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																														
300,000 円	123,000 円	0 円	177,000 円	41.0 %																														
目 的・趣 旨	<p>核家族化や都市化による共同意識の希薄化を背景として、子育てに悩みやストレスを感じる家庭が増加傾向にある。地域全体で子育てする意識を醸成することで、育児に対する負担感の軽減を図る。</p>																																	
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>地域の高齢者や子育てサークルが、自ら企画・実施する育児講座や世代間交流活動を支援することで、地域全体で子育てをする気運を醸成し、子育て世代の孤立化の予防や負担感の軽減を図った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施団体</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育てサポートグループビーちくばーく</td> <td>3回</td> <td>121人</td> </tr> <tr> <td>泉学区子育て応援団コロボックル</td> <td>8回</td> <td>283人</td> </tr> <tr> <td>ちょうかい子育て応援団</td> <td>3回</td> <td>122人</td> </tr> <tr> <td>郡鏡・山谷子育て応援団</td> <td>4回</td> <td>134人</td> </tr> <tr> <td>ひろの子育て応援団</td> <td>7回</td> <td>71人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25回</td> <td>731人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>これまででは、地域で子育て応援団の組織を立ち上げる際に、立ち上げから3年間に限って、運営費の補助をしていたが、組織の立ち上げが市内全域を一巡したため、毎年開催している地域子育て応援団の意見交換会における要望を踏まえ、支援内容の見直しを行い、組織立ち上げから期間を限った運営費の補助から、継続的な運営費の補助ができるよう交付要綱を改正した。</p> <p>各地域に向けて周知はしたものの、年度途中の改正のため、申請団体数及び執行率は低調であった。今後も制度の周知に努め、多くの利用団体の活動を支援することで、地域全体で子育てをするという機運を市全域に広げていく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①交付対象団体数（団体）</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>②交付対象活動の参加者数（人）</td> <td>1,000</td> <td>731</td> </tr> </tbody> </table>				実施団体	実施回数	参加人数	子育てサポートグループビーちくばーく	3回	121人	泉学区子育て応援団コロボックル	8回	283人	ちょうかい子育て応援団	3回	122人	郡鏡・山谷子育て応援団	4回	134人	ひろの子育て応援団	7回	71人	合計	25回	731人	評価指標（単位）	目標	実績	①交付対象団体数（団体）	7	5	②交付対象活動の参加者数（人）	1,000	731
実施団体	実施回数	参加人数																																
子育てサポートグループビーちくばーく	3回	121人																																
泉学区子育て応援団コロボックル	8回	283人																																
ちょうかい子育て応援団	3回	122人																																
郡鏡・山谷子育て応援団	4回	134人																																
ひろの子育て応援団	7回	71人																																
合計	25回	731人																																
評価指標（単位）	目標	実績																																
①交付対象団体数（団体）	7	5																																
②交付対象活動の参加者数（人）	1,000	731																																
備 考	<p>○主な特定財源 市町村総合交付金</p> <p>みんな子育て応援団地域連携事業（県） 123,000円</p>																																	

款 項 目	3 款	2 項	1 目	= 予 算 所 属 =																					
	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費	健康福祉部子育て支援課																					
事 業 名	つどいの広場事業																								
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																					
17,348,000 円	17,347,919 円	0 円	81 円	99.9 %																					
目 的 ・ 趣 旨	子育て家庭を支援するため、親子が自由に集うことのできる身近な場所として商店街の空き店舗を活用し、地域の子育て支援拠点として、きめ細かく多様な子育て支援活動を実施する。																								
事 業 ・ 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>就学前児童を子育てしている親子が気軽に集い、交流を深める場として、中心商店街の空き店舗を活用、運営をNPO法人に委託して、以下の事業を実施した。</p> <p>また、黒森コミュニティセンターを会場に、地域子育て支援拠点が利用しにくい地域に週1回出張して同様の事業（一時預かりを除く）を実施した。</p> <p>(1) 子育て親子の交流、つどいの場を提供</p> <p>(2) 子育てアドバイザーを配置し、育児の悩み相談に対応</p> <p>(3) 子育て関連情報の提供</p> <p>(4) 子育て支援などに関する講座の実施</p> <p>(5) 一時預かり保育</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>6,935人</td> <td>7,151人</td> <td>6,555人</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>506件</td> <td>677件</td> <td>1,070件</td> </tr> <tr> <td>育児講座回数</td> <td>115回</td> <td>81回</td> <td>83回</td> </tr> <tr> <td>一時預かり利用者数</td> <td>1,160人</td> <td>1,147人</td> <td>1,135人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>未就学児童の就園率の上昇など保育環境の充実に伴い、利用者は減少傾向にある。当該事業は地域に根付いており、子育て世代の不安感・負担感の軽減のほか、商店街の空き店舗を活用することで、中心商店街に一定の人の流れを生むという効果があると評価しているが、近隣自治体において、地域子育て支援拠点施設の整備が進んでいることから、利用者の分散が予想される。</p> <p>今後は、より事業の効果を高めるべく、子育て世代が利用しやすい環境づくりを進めるとともに、周知活動を強化していく。</p>						H28年度	H29年度	H30年度	利用者数	6,935人	7,151人	6,555人	相談件数	506件	677件	1,070件	育児講座回数	115回	81回	83回	一時預かり利用者数	1,160人	1,147人	1,135人
		H28年度	H29年度	H30年度																					
	利用者数	6,935人	7,151人	6,555人																					
	相談件数	506件	677件	1,070件																					
育児講座回数	115回	81回	83回																						
一時預かり利用者数	1,160人	1,147人	1,135人																						
評価指標（単位）		目標	実績																						
年間延べ利用人数（人）		6,000	6,555																						
備 考	<p>○主な特定財源 子ども・子育て支援交付金（国） 5,782,000円</p> <p>保育対策等促進事業補助金（県） 5,782,000円</p>																								

款 項 目	3 款	2 項	1 目	= 予 算 所 属 =							
	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費	健康福祉部子育て支援課							
事 業 名	浜田・若竹統合保育園整備事業										
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①							
16,262,000 円	16,167,634 円	0 円	94,366 円	99.4 %							
目 的 ・ 趣 旨	特別保育の充実を図り、子育て支援の機能を充実させていくために、老朽化した保育園（浜田・若竹保育園）を統合し、保育園を新たに整備する。										
事 業 ・ 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>令和3年度の統合保育園の開所に向け、プロポーザル方式により設計業務委託や地盤調査を実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>・プロポーザル審査委員会を2回（4月9日、7月5日）開催し、設計業者の選定を行った。</p> <p>・平成30年10月～11月に地盤調査業務委託を実施し、その調査結果を設計業務に反映していく。</p> <p>・平成30年8月～令和元年7月に設計業務委託契約を行い、令和元年度完成に向け協議を進めている。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>(1) 報償費（プロポーザル審査委員謝金）</td> <td>46,000 円</td> </tr> <tr> <td>(2) 旅費（プロポーザル審査委員費用弁償）</td> <td>1,554 円</td> </tr> <tr> <td>(3) 委託料（設計業務委託、地盤調査業務委託）</td> <td>16,120,080 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>令和3年度の統合保育園の開所に向けプロポーザル方式により設計業者を決定した。また、市民ワークショップを開催し、市民の意見などを設計に反映させながら事業を進めている。</p> <p>令和元～2年度には建設工事を予定しているが、地元住民や園児保護者から理解を得ながら整備を進め、満足度の高い保育を提供できるように努めていく。</p>					(1) 報償費（プロポーザル審査委員謝金）	46,000 円	(2) 旅費（プロポーザル審査委員費用弁償）	1,554 円	(3) 委託料（設計業務委託、地盤調査業務委託）	16,120,080 円
	(1) 報償費（プロポーザル審査委員謝金）	46,000 円									
	(2) 旅費（プロポーザル審査委員費用弁償）	1,554 円									
	(3) 委託料（設計業務委託、地盤調査業務委託）	16,120,080 円									
評価指標（単位）		目標	実績								
		年度内事業の完了	完了								
備 考	○主な特定財源 合併特例事業債（市債） 15,300,000円										

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部子育て支援課
事 業 名	平田保育園トイレ増設事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
6,780,000 円	5,767,200 円	0 円	1,012,800 円	85.1 %
目 的 ・ 趣 旨	平田保育園の3歳以上児が使用するトイレについて、洋式トイレを4基増設し、混雑の解消を図る。			
事 業 ・ 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 平田保育園の3歳以上の園児90名が、洋式5基、小便器5基の合計10基のトイレを男女兼用で使用しており、非常に混雑しているため、洋式トイレ4基を増設し混雑の解消を図った。</p> <p>○事業実績・説明 現在、洗濯・物干室として利用している部屋にトイレ4基を増設し、当部屋に設置してある洗濯機2台を2歳児室脇のトイレと平成28年度に増築された1歳児室脇のトイレへそれぞれ1台ずつ移設した。 (1) 設計委託料 1,188,000 円 (2) 工事請負費 4,579,200 円</p> <p>○評価・方向性 入園児数に応じた快適な環境整備を図った。入園児数に応じた快適な環境となるよう、入園児数の推移を勘案しながら保育園の整備を検討していく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
			年度内事業の完了	完了
備 考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 5,700,000円			

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部子育て支援課																
事 業 名	ブックスタート支援事業																			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																
1,141,000 円	842,257 円	0 円	298,743 円	73.8 %																
目 的 ・ 趣 旨	赤ちゃんと保護者が、絵本を介してゆっくり心触れ合うひとときを持つ機会をつくるとともに、子どもが読書に親しむきっかけを作る。																			
事 業 ・ 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 健康センターや図書館と連携し、3か月児の健康診査時に絵本を配布した。 また、ボランティアによる1対1での読み聞かせと選本の仕方、絵本を通じた関わり方、本を通じた親子のふれあいや絆づくりの支援を行った。 配布する絵本は、6種類用意し、その中から2種類を選択する形とした。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>24回</td> <td>24回</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>配布人数</td> <td>662人</td> <td>629人</td> <td>574人</td> </tr> <tr> <td>配布率</td> <td>100.0%</td> <td>100.6%</td> <td>99.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 絵本を配布した半年後の9か月健診時に実施しているアンケートでは、ブックスタートの効果として、「子どもが絵本に興味を持つようになった」「毎日読み聞かせをするようになった」等の肯定的な意見が多く、親子がふれあいの時間を持つきっかけとなったと評価している。 また、ブックスタート事業の際に配布している市立図書館の利用者登録カードを使い9.9%の親子が利用登録を行うなど、他の事業への波及効果も認められる。 今後は、より効果的に親子が読み聞かせができるよう、指導する職員やボランティアに対する研修等を充実させ、事業効率を高めていく。</p>					H28年度	H29年度	H30年度	実施回数	24回	24回	24回	配布人数	662人	629人	574人	配布率	100.0%	100.6%	99.8%
	H28年度	H29年度	H30年度																	
実施回数	24回	24回	24回																	
配布人数	662人	629人	574人																	
配布率	100.0%	100.6%	99.8%																	
	評価指標（単位）		目標	実績																
	事業に対する満足度（%）		78	100																
備 考																				

款 項 目	3 款	2 項	1 目	= 予 算 所 属 =
	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費	
事 業 名	法人立保育所等施設整備事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
41,917,000 円	41,917,000 円	0 円	0 円	100.0 %
目 的・趣 旨	保育所及び認定こども園の施設整備に対して、国の制度を利用しながら法人の負担を軽減する。			
事 業・成 果の 概 要 等	○事業内容 北新橋保育園、アテネ認定こども園、あきほ病児・病後児保育所の施設改修に対して補助した。			
	○事業実績・説明 (1) 社会福祉法人双葉協会（北新橋保育園） ・整備概要 保育室増築及び調理室、暖房設備、園舎外壁等の改修 ・事業費財源内訳			
		市補助金	26,859,000 円	
		(うち国補助金)	(17,906,000 円)	
		自己資金等	43,262,842 円	
		合 計	70,121,842 円	
	(2) 学校法人アテネ学園（アテネ認定こども園） ・整備概要 ブロック塀解体及びフェンス設置 ・事業費財源内訳			
		市補助金	337,000 円	
		(うち国補助金)	(225,000 円)	
		自己資金等	113,000 円	
	合 計	450,000 円		
(3) 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構（あきほ病児・病後児保育所） ・整備概要 病児保育室の拡張 ・事業費財源内訳				
	市補助金	14,721,000 円		
	(うち国・県補助金)	(9,814,000 円)		
	自己資金等	6,007,656 円		
	合 計	20,728,656 円		
○評価・方向性 保育所や認定こども園の施設整備に対する補助により、保育環境の充実が図られた。今後も、保育施設等の環境整備については、国・県の補助金を活用しながら支援していく。				
	評価指標（単位）		目標	実績
			年度内事業の完了	完了
備 考	○主な特定財源 保育所等整備交付金（国）18,131,000円、子ども・子育て支援整備交付金（国）4,907,000円、子ども・子育て支援整備交付金（県）4,907,000円、合併特例事業債（市債） 13,200,000円			

款 項 目	3 款	2 項	2 目	= 予 算 所 属 =			
	民生費	児童福祉費	母子福祉費		健康福祉部子育て支援課		
事 業 名	児童扶養手当扶助事業						
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①			
399,868,000 円	398,382,830 円	0 円	1,485,170 円	99.6 %			
目 的・趣 旨	ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進及び児童の健全な育成を支援する。						
事 業・成 果の 概 要 等	○事業内容 18歳未満（一定の障がいのある児童の場合は20歳未満）の児童を養育している、死亡、離婚、生死不明などで父または母がいないひとり親家庭や、父または母が重度の障がい者である家庭に手当を支給した。 ・手当月額（平成30年4月～平成31年3月分の手当が対象）						
		児童数	全部支給（上限）	一部支給			
		1 人	42,500円	42,490円～10,030円			
		2 人	52,540円	52,530円～15,050円			
		3 人	58,560円	58,550円～18,060円			
		4人以上	全部支給の場合 6,020円の加算				
	○事業実績・説明 ・各年度受給者数（各年度3月31日現在）（単位：人）						
		受給者数			対象児童数		
	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	離婚	891 (157)	838 (175)	788 (173)	1,259 (205)	1,220 (201)	1,159 (241)
死別	10 (5)	9 (4)	7 (2)	14 (10)	12 (1)	11 (2)	
未婚	67 (7)	55 (10)	56 (9)	67 (10)	70 (8)	71 (9)	
障害	12	12	12	21	20	20	
遺棄	1	1	1	1	1	1	
DV	1	1	0	1	1	0	
計	982 (169)	916 (189)	864 (184)	1,363 (225)	1,324 (210)	1,262 (252)	
※（ ）内は、本人または扶養義務者の所得による全部支給停止者数（外数）							
○評価・方向性 手当を支給することにより、ひとり親家庭等の経済的負担の軽減の一助として、生活の安定と自立の促進に寄与している。 今後も現況届の未提出者に提出を促しつつ、法令に基づいた適正な手当給付をしていく。また、令和元年度に実施される未婚の受給者に対する臨時・特別給付金の支給に関しても、適正に対応していく。							
	評価指標（単位）			目標	実績		
	支給対象者の現況届提出割合（提出者／対象者）（%）			100	98.8		
備 考	○主な特定財源 児童扶養手当負担金（国） 133,447,696円						

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	2 目 母子福祉費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部子育て支援課								
事 業 名	母子生活支援施設入所扶助事業											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①								
1,039,000 円	0 円	0 円	1,039,000 円	0.0 %								
目 的・趣 旨	家庭内暴力（DV）からの保護や困難問題を抱えた母子世帯の自立促進を図る。											
事 業・成 果の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>18歳未満の子どもを育てている母子家庭等の母親が、生活上の問題のため子どもの養育が十分にできない場合に施設入所の措置を行い、母子の生活支援を行う。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支給件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>過去3年間利用実績はないが、このことは、母子家庭等における各種の生活支援、相談・援助など支援の充実が図られているものと評価している。必要となったときのために今後も事業自体は継続していく。</p>				年度	支給件数	H28	0件	H29	0件	H30	0件
	年度	支給件数										
	H28	0件										
H29	0件											
H30	0件											
評価指標（単位）		目標	実績									
措置対象者の入所措置率（%）		100	対象者なし									
備 考												

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	2 目 母子福祉費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部子育て支援課																																																						
事 業 名	ひとり親家庭自立支援給付金事業																																																									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																						
5,855,000 円	5,386,000 円	0 円	469,000 円	92.0 %																																																						
目 的・趣 旨	教育訓練や高等職業訓練及びそれに伴い必要となる生活費等を給付することにより、ひとり親家庭の母または父の主体的な能力開発の取り組みが可能となり、特別な支援を必要とする子どもや家庭への支援に対する満足度が向上する。																																																									
事 業・成 果の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>(1) ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金 母子家庭の母及び父子家庭の父の経済的な自立に役立つ、看護師等の資格取得のために養成機関等に就学した場合、生活費負担減のため一定期間（最長3年）経済的支援を行う。また、修了時に修了支援金を支給する。</p> <p>(2) ひとり親家庭生活応援給付金 高等職業訓練促進給付金の支給を受ける母子家庭の母及び父子家庭の父が修学期間における生活の負担軽減を図るために生活費の援助を行う。</p> <p>(3) ひとり親家庭住まい応援給付金 高等職業訓練促進給付金の支給を受ける母子家庭の母及び父子家庭の父が民間賃貸住宅で生活している場合、修学期間における家賃の負担軽減を図るために援助を行う。</p> <p>(4) ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金 母子家庭の母及び父子家庭の父の主体的な能力開発の取り組みを支援する。雇用保険の教育訓練給付の受給資格を有しない人が対象教育訓練を受講し修了した場合経費の60%（12,001円以上で上限200,000円）を支給する。</p> <p>○事業実績・説明 （単位：千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">高等職業訓練促進給付金</th> <th colspan="2">修了支援給付金</th> <th colspan="2">生活応援給付金</th> <th colspan="2">住まい応援給付金</th> <th colspan="2">自立支援教育訓練給付金</th> </tr> <tr> <th>支給人数</th> <th>支給金額</th> <th>支給人数</th> <th>支給金額</th> <th>支給人数</th> <th>支給金額</th> <th>支給人数</th> <th>支給金額</th> <th>支給人数</th> <th>支給金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>3</td> <td>2,700</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>3</td> <td>1,350</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>4</td> <td>4,800</td> <td>2</td> <td>100</td> <td>4</td> <td>2,400</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3</td> <td>3,246</td> <td>2</td> <td>100</td> <td>3</td> <td>1,800</td> <td>1</td> <td>240</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>四半期ごとに在学証明書の提出を求め、適正な給付ができた。今後も児童扶養手当の受付時等に制度を紹介し、周知に努める。また、平成31年度から新設した高卒認定試験合格支援事業についても周知に努める。</p>				年度	高等職業訓練促進給付金		修了支援給付金		生活応援給付金		住まい応援給付金		自立支援教育訓練給付金		支給人数	支給金額	支給人数	支給金額	支給人数	支給金額	支給人数	支給金額	支給人数	支給金額	H28	3	2,700	1	50	3	1,350	0	0	1	58	H29	4	4,800	2	100	4	2,400	0	0	0	0	H30	3	3,246	2	100	3	1,800	1	240	0	0
	年度	高等職業訓練促進給付金		修了支援給付金		生活応援給付金		住まい応援給付金		自立支援教育訓練給付金																																																
		支給人数	支給金額	支給人数	支給金額	支給人数	支給金額	支給人数	支給金額	支給人数	支給金額																																															
H28	3	2,700	1	50	3	1,350	0	0	1	58																																																
H29	4	4,800	2	100	4	2,400	0	0	0	0																																																
H30	3	3,246	2	100	3	1,800	1	240	0	0																																																
評価指標（単位）		目標	実績																																																							
利用率（利用者/利用必要者）（%）		100	100																																																							
備 考	<p>○主な特定財源 母子家庭等対策総合支援事業費補助金（国） 2,860,000円 ひとり親家庭生活応援給付金及び住まい応援給付金事業費補助金（県） 1,020,000円</p>																																																									

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	3 目 保育所費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部子育て支援課																							
事 業 名	保育所等入所扶助事業																										
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																							
2,875,957,000 円	2,832,171,524 円	0 円	43,785,476 円	98.5 %																							
目 的・趣 旨	子ども・子育て支援法及び児童福祉法の規定により、子どものための教育・保育給付を行うため、法人立保育所等に施設型給付費を支出することにより、子どもが健やかに成長することができる社会の実現に寄与する。																										
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 法人立保育所、認定こども園等において特定教育・保育を行った場合に、定員区分等と入所児童数に応じて、特定教育・保育施設の運営費を、法人立保育所等に支出した。																										
	○事業実績・説明 (1) 運営費に含まれる経費 ①事業費 入所児童の一般生活費 ②管理費 管理に必要な経費 ③人件費 保育所等の長、保育士、調理員等の人件費																										
	(2) 扶助費内訳 (単位：円)																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>法人立保育園</th> <th>認定こども園</th> <th>事業所内保育所</th> <th>管外委託分</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>2,074,936,820</td> <td>251,196,450</td> <td>15,685,870</td> <td>31,940,220</td> <td>2,373,759,360</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,733,526,510</td> <td>1,019,086,117</td> <td>11,433,090</td> <td>24,121,092</td> <td>2,788,166,809</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,762,687,220</td> <td>1,027,642,648</td> <td>20,945,350</td> <td>20,896,306</td> <td>2,832,171,524</td> </tr> </tbody> </table>				年度	法人立保育園	認定こども園	事業所内保育所	管外委託分	計	H28	2,074,936,820	251,196,450	15,685,870	31,940,220	2,373,759,360	H29	1,733,526,510	1,019,086,117	11,433,090	24,121,092	2,788,166,809	H30	1,762,687,220	1,027,642,648	20,945,350	20,896,306
年度	法人立保育園	認定こども園	事業所内保育所	管外委託分	計																						
H28	2,074,936,820	251,196,450	15,685,870	31,940,220	2,373,759,360																						
H29	1,733,526,510	1,019,086,117	11,433,090	24,121,092	2,788,166,809																						
H30	1,762,687,220	1,027,642,648	20,945,350	20,896,306	2,832,171,524																						
○評価・方向性 共働き家庭の増加により、低年齢児の入所率は増加傾向にある。待機児童が発生しないように、今後の児童数の推移、保育需要の動向等も踏まえ、入所定員の管理と調整を行っていく。																											
評価指標 (単位)		目標	実績																								
法人保育所等年間入所児童延べ人数 (人)		38,000	30,390																								
備 考	○主な特定財源 子どものための教育・保育給付交付金 (国) 1,085,353,975 円 保育所運営費負担金 (県) 502,891,262 円 子どものための教育・保育給付費補助金 (県) 46,434,368 円																										

款 項 目	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	3 目 保育所費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部子育て支援課																																																		
事 業 名	子育て支援センター運営事業																																																					
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																		
17,141,000 円	16,801,567 円	0 円	339,433 円	98.0 %																																																		
目 的・趣 旨	子育て親子の交流促進や子育てに関する相談等、子育て全般に関する専門的な支援を行う地域の拠点としての機能を果たす。																																																					
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 就学前児童を子育てしている親子が気軽に集い、交流を深める場として、公立保育園4園に併設して、以下の事業を実施した。 (1) 子育て親子の交流、つどいの場を提供 (2) 育児の悩み相談に対応 (3) 子育て関連情報の提供 (4) 子育て支援などに関する講座の実施 (5) 世代間交流や子育てサークルの支援などの地域支援活動の実施																																																					
	○事業実績・説明																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">酒田子育て支援センター</td> <td>利用人数</td> <td>7,953人</td> <td>10,389人</td> <td>10,126人</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>307件</td> <td>312件</td> <td>265件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">八幡子育て支援センター</td> <td>利用人数</td> <td>1,912人</td> <td>2,184人</td> <td>2,715人</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>131件</td> <td>84件</td> <td>62件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">松山子育て支援センター</td> <td>利用人数</td> <td>2,029人</td> <td>2,402人</td> <td>2,276人</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>116件</td> <td>117件</td> <td>114件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平田子育て支援センター</td> <td>利用人数</td> <td>2,537人</td> <td>3,666人</td> <td>3,973人</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>293件</td> <td>116件</td> <td>99件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td>利用人数</td> <td>14,431人</td> <td>18,641人</td> <td>19,090人</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>847件</td> <td>629件</td> <td>540件</td> </tr> </tbody> </table>						H28年度	H29年度	H30年度	酒田子育て支援センター	利用人数	7,953人	10,389人	10,126人	相談件数	307件	312件	265件	八幡子育て支援センター	利用人数	1,912人	2,184人	2,715人	相談件数	131件	84件	62件	松山子育て支援センター	利用人数	2,029人	2,402人	2,276人	相談件数	116件	117件	114件	平田子育て支援センター	利用人数	2,537人	3,666人	3,973人	相談件数	293件	116件	99件	合計	利用人数	14,431人	18,641人	19,090人	相談件数	847件	629件	540件
			H28年度	H29年度	H30年度																																																	
酒田子育て支援センター	利用人数	7,953人	10,389人	10,126人																																																		
	相談件数	307件	312件	265件																																																		
八幡子育て支援センター	利用人数	1,912人	2,184人	2,715人																																																		
	相談件数	131件	84件	62件																																																		
松山子育て支援センター	利用人数	2,029人	2,402人	2,276人																																																		
	相談件数	116件	117件	114件																																																		
平田子育て支援センター	利用人数	2,537人	3,666人	3,973人																																																		
	相談件数	293件	116件	99件																																																		
合計	利用人数	14,431人	18,641人	19,090人																																																		
	相談件数	847件	629件	540件																																																		
○評価・方向性 社会全体で見ると、未就園乳幼児数は、就園率の上昇など保育環境の充実に伴い、減少傾向にあるが、本事業は、利用人数が増加していることから、子育て中の親子の交流の場、育児に関する身近な相談相手として、非常に高いニーズがある事業と評価している。 近隣自治体において、地域子育て支援拠点施設の整備が進んでいることから、利用者の分散が予想されるが、地域の子育て拠点として、事業内容の充実を図り、子育てに関する不安感・負担感の軽減に努めていく。																																																						
評価指標 (単位)		目標	実績																																																			
子育て支援センターブレイルーム利用者数 (人)		12,000	19,090																																																			
備 考	○主な特定財源 子ども・子育て支援交付金 (国) 6,317,000 円 保育対策等促進事業費補助金 (県) 5,583,000 円																																																					

款 項 目	3 款	2 項	3 目	= 予 算 所 属 =																									
	民生費	児童福祉費	保育所費	健康福祉部子育て支援課																									
事 業 名	病児・病後児保育事業																												
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																									
8,155,000 円	7,164,604 円	0 円	990,396 円	87.9 %																									
目 的・趣 旨	病気または病気の回復期にある児童を保育することにより、児童の健全育成と保護者の就労支援を図る。																												
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健康回復を図るため、病気または病気の回復期で生後3か月から小学3年生までの集団保育が困難な子どもを、あきほ病児・病後児保育所及び平田保育園内の専用施設において一時的に預かる。また、保育園等で体調が不良になった児童を、看護師がタクシーによる送迎を実施するサービスを平成31年3月に試行実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実利用人数</th> <th colspan="2">延べ利用人数</th> </tr> <tr> <th>あきほ保育所</th> <th>平田保育園</th> <th>あきほ保育所</th> <th>平田保育園</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>83人</td> <td>1人</td> <td>234人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>81人</td> <td>0人</td> <td>296人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>78人</td> <td>2人</td> <td>247人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※うち3町の実利用者数（延べ利用者数）は、H28は庄内町1（1）人、H29は遊佐町1（2）人・庄内町2（6）人、H30は遊佐町1（1）人</p> <p>○評価・方向性</p> <p>庄内北部定住自立圏協定により、遊佐町、庄内町、三川町との相互受け入れを行っている。保護者の看護休暇取得の減にも一定の効果は上げており、就労支援といった役割は果たしているものと評価している。インフルエンザ等流行期での利用の集中や協定圏域内の病児・病後児保育の受入れ状況等を踏まえ、平成31年度はあきほ病児・病後児保育所の定員を3名から9名に増員し、また保育園等で体調不良となった場合に保護者に代わってかかりつけ医を受診させ、その後保育する病児送迎サービス等によりさらに充実を図っていく。</p>					年度	実利用人数		延べ利用人数		あきほ保育所	平田保育園	あきほ保育所	平田保育園	H28	83人	1人	234人	1人	H29	81人	0人	296人	0人	H30	78人	2人	247人	3人
	年度	実利用人数		延べ利用人数																									
		あきほ保育所	平田保育園	あきほ保育所	平田保育園																								
	H28	83人	1人	234人	1人																								
	H29	81人	0人	296人	0人																								
H30	78人	2人	247人	3人																									
評価指標（単位）		目標	実績																										
保護者の看護休暇取得日数減（件）		220	247																										
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table border="1"> <tr> <td>病児・病後児保育入所負担金</td> <td>464,645円</td> </tr> <tr> <td>子ども・子育て支援交付金（国）</td> <td>2,486,000円</td> </tr> <tr> <td>保育対策等促進事業費補助金（県）</td> <td>2,260,000円</td> </tr> </table>					病児・病後児保育入所負担金	464,645円	子ども・子育て支援交付金（国）	2,486,000円	保育対策等促進事業費補助金（県）	2,260,000円																		
病児・病後児保育入所負担金	464,645円																												
子ども・子育て支援交付金（国）	2,486,000円																												
保育対策等促進事業費補助金（県）	2,260,000円																												

款 項 目	3 款	2 項	4 目	= 予 算 所 属 =																																												
	民生費	児童福祉費	児童発達支援センター費	健康福祉部子育て支援課																																												
事 業 名	児童発達支援センター管理事業																																															
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																												
10,872,000 円	10,530,348 円	0 円	341,652 円	96.9 %																																												
目 的・趣 旨	酒田市福祉型児童発達支援センター（はまなし学園）の適正な管理運営により、障がい児の早期療育や健全育成とともに、障がい児福祉の向上と保護者への支援を図る。																																															
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 児童福祉法に基づく利用契約による通所児童の療育支援</p> <p>(2) 小集団活動（保育園や幼稚園と並行通所する児童の療育支援）</p> <p>(3) まつのみ教室（親子通所による療育支援）</p> <p>(4) 日中一時支援事業</p> <p>(5) 障がい児療育訓練事業（親子訓練会／年4回、園内訓練会／週1回）</p> <p>(6) 相談支援事業、保育所等訪問支援事業を通じた地域支援</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 通所児童数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢区分</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>14</td> <td>8</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p>※年齢区分は平成30年4月1日現在、児童数は平成31年3月31日現在</p> <p>(2) 小集団活動利用状況</p> <p>利用延べ人数 34人（実人数は2人）</p> <p>(3) まつのみ教室利用状況</p> <p>利用延べ人数 449人（実人数は25人）</p> <p>(4) 日中一時支援事業利用状況</p> <p>利用延べ人数 204人（実人数は9人）</p> <p>(5) 療育訓練会実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者</th> <th>指導者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30年6月16日</td> <td>児童 17人、保護者 17人</td> <td>講師 1人、スーパーバイザー 3人</td> </tr> <tr> <td>H30年7月21日</td> <td>児童 14人、保護者 14人</td> <td>スーパーバイザー 3人</td> </tr> <tr> <td>H30年10月13日</td> <td>児童 14人、保護者 15人</td> <td>スーパーバイザー 3人</td> </tr> <tr> <td>H30年11月17日</td> <td>児童 12人、保護者 13人</td> <td>スーパーバイザー 3人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 相談支援事業、保育所等訪問支援事業の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>相談（訪問）人数</th> <th>訪問園数</th> <th>延相談（訪問）件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談支援事業</td> <td>70人</td> <td></td> <td>306件</td> </tr> <tr> <td>保育所等訪問支援事業</td> <td>8人</td> <td>7園</td> <td>128回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>各種支援を通じて、障がい児の早期療育に努めたため、集团的対応への移行など様々な成果をあげることができた。</p> <p>児童発達支援事業として実施しているまつのみ教室では、母子通園での支援を行い、日中一時支援事業や相談支援事業等の利用も増加傾向にあるため、相談員の増員などによる充実を図っていく。また、保育所等訪問支援へのニーズも高く、保育園、認定こども園等に入園している児童の支援も強化していく。</p>					年齢区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	人数	0	0	6	3	14	8	31	開催日	参加者	指導者	H30年6月16日	児童 17人、保護者 17人	講師 1人、スーパーバイザー 3人	H30年7月21日	児童 14人、保護者 14人	スーパーバイザー 3人	H30年10月13日	児童 14人、保護者 15人	スーパーバイザー 3人	H30年11月17日	児童 12人、保護者 13人	スーパーバイザー 3人		相談（訪問）人数	訪問園数	延相談（訪問）件数	相談支援事業	70人		306件	保育所等訪問支援事業	8人	7園	128回
	年齢区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計																																								
	人数	0	0	6	3	14	8	31																																								
	開催日	参加者	指導者																																													
	H30年6月16日	児童 17人、保護者 17人	講師 1人、スーパーバイザー 3人																																													
H30年7月21日	児童 14人、保護者 14人	スーパーバイザー 3人																																														
H30年10月13日	児童 14人、保護者 15人	スーパーバイザー 3人																																														
H30年11月17日	児童 12人、保護者 13人	スーパーバイザー 3人																																														
	相談（訪問）人数	訪問園数	延相談（訪問）件数																																													
相談支援事業	70人		306件																																													
保育所等訪問支援事業	8人	7園	128回																																													
評価指標（単位）		目標	実績																																													
個別的対応から集团的対応への移行につながった児童数（人）		6	7																																													
備 考	<p>○主な特定財源</p> <table border="1"> <tr> <td>障がい児通所給付費負担金（国）</td> <td>4,482,964円</td> </tr> <tr> <td>障がい児通所給付費負担金（県）</td> <td>2,241,482円</td> </tr> </table>					障がい児通所給付費負担金（国）	4,482,964円	障がい児通所給付費負担金（県）	2,241,482円																																							
障がい児通所給付費負担金（国）	4,482,964円																																															
障がい児通所給付費負担金（県）	2,241,482円																																															

款 項 目	3款 民生費	2項 児童福祉費	5目 児童センター費	= 予算所属 = 健康福祉部子育て支援課
事業名	児童センター運営事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
10,897,000円	10,379,593円	0円	517,407円	95.3%
目的・趣旨	児童に遊びの場を提供することで心身の健全育成を図るとともに、各種企画事業を通して、子育てにかかる保護者の負担の軽減を図る。また、関係機関と連携・調整しながら子育て支援の拠点としての役割を果たす。			
事業・成果の概要等	○事業内容 交流ひろばにおいて、雨天・積雪時でも児童が安全に遊べる場を提供し、心身の健全育成に資するとともに、以下の事業を実施した。 (1) 子育て親子の交流、つどいの場を提供 (2) 育児の悩み相談に対応 (3) 子育て関連情報の提供 (4) 子育てに関する各種企画事業の実施 (5) 児童の遊びの場の提供			
	○事業実績・説明			
		H28年度	H29年度	H30年度
	開館日数	359日	358日	358日
	利用人数	児童 4,859人 幼児 21,108人 大人 21,044人 団体 420人 合計 47,431人	4,174人 19,862人 19,129人 572人 43,737人	4,706人 19,465人 19,003人 389人 43,563人
相談件数	114件	216件	178件	
○評価・方向性 児童向けの講座を日曜日に開催するようにしたことで、児童の利用者は増加したが、保育環境の充実に伴う未就園乳幼児の減少、近隣自治体における類似施設の整備などの影響で、全体として利用者は減少傾向にある。 各地域の子育て支援拠点施設の中核としての役割や中心商店街に子育て世代を誘導する役割を担っているが、雨天時・降雪時でも遊べる施設としては、同種の施設と比較して規模的に手狭であるため、大幅な利用者増は困難な状況である。 今後は、交流ひろばの設備を活用した各種企画事業を充実させることで各地域の子育て支援拠点施設との差別化を図り、子育て世代の不安感・負担感の解消に努めていく。				
	評価指標（単位）		目標	実績
	児童センター利用者の年間総数（人）		43,000	43,563
備考	○主な特定財源 子ども・子育て支援交付金（国） 保育対策等促進事業費補助金（県）		3,632,000円 3,460,000円	

款 項 目	4款 衛生費	2項 環境衛生費	2目 環境保全費	= 予算所属 = 市民部環境衛生課
事業名	猛禽類保護センター利活用事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
6,205,000円	6,101,278円	0円	103,722円	98.3%
目的・趣旨	猛禽類保護センターの利活用を推進する猛禽類保護センター活用協議会の運営に参加し、地域活性化を図るとともに自然保護に関する普及啓発を推進する。			
事業・成果の概要等	○事業内容 (1) 猛禽類保護センターやイベント等での展示及び解説等 (2) 猛禽類をはじめとする野鳥等の観察会等の実施 (3) 猛禽類保護センターの維持管理 維持管理者／猛禽類保護センター活用協議会			
	○事業実績・説明 (1) 自然観察会の実施（全8回） 計152人参加 (2) 特別企画プログラムの実施（ゴールデンウィーク及び夏休み期間） 計747人参加 (3) 環境教育支援として総合学習、自然体験学習の実施 計651人参加 (4) 猛禽類保護センター来館者数			
	（単位：人）			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
		6,430	6,431	9,460
○評価・方向性 国、県とともに本市の豊かな自然についての解説と自然保護に係る普及啓発事業に取り組んでいる。平成30年度は「鳥類施設無謀にも恐竜を飾る」と題した特別企画展示が注目を集め、来館者数は9,000人を超えた。鳥類の祖先である恐竜を通して、猛禽類について理解を深めてもらい、自然保護の普及啓発が図られた。今後も企画展示等を充実させるとともに、市内外へのPRに努めていく。				
	評価指標（単位）		目標	実績
	猛禽類保護センター来館者数（人）		7,000	9,460
備考	○主な特定財源 湯の台園地管理委託金（県） 過疎対策事業債（市債）		797,040円 5,300,000円	

款 項 目	4 款 衛生費	2 項 環境衛生費	3 目 斎場費	= 予 算 所 属 = 市民部環境衛生課											
事 業 名	酒田市斎場改築事業														
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①											
100,354,000 円	83,808 円	100,054,000 円	216,192 円	0.1 %											
目 的・趣 旨	酒田市斎場は、建設後40年以上経過し、施設や炉の老朽化が進んでいるため、新たな斎場を整備する。														
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 平成30年度は、解体工事・外構工事・設計監理業務委託を実施した。														
	○継続費 (単位：千円)														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>継続費の総額</th> <th>平成30年度 予算計上額</th> <th>支出済額</th> <th>翌年度 繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田市斎場改築事業費 (設計監理)</td> <td>41,202</td> <td>2,175</td> <td>0</td> <td>2,175</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	継続費の総額	平成30年度 予算計上額	支出済額	翌年度 繰越額	酒田市斎場改築事業費 (設計監理)	41,202	2,175	0	2,175
	事業名	継続費の総額	平成30年度 予算計上額	支出済額	翌年度 繰越額										
	酒田市斎場改築事業費 (設計監理)	41,202	2,175	0	2,175										
○繰越明許費 (単位：千円)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>金額</th> <th>翌年度繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田市斎場改築事業 (解体、二期外構工事)</td> <td>97,879</td> <td>97,879</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	金額	翌年度繰越額	酒田市斎場改築事業 (解体、二期外構工事)	97,879	97,879					
事業名	金額	翌年度繰越額													
酒田市斎場改築事業 (解体、二期外構工事)	97,879	97,879													
○評価・方向性 平成30年度中の完成を予定していたが、旧斎場作業室内の内壁からアスベストが検出されたことにより、工期を延長するとともに翌年度への繰り越しを行った。 令和元年度の完成に向けて取り組む。															
評価指標 (単位)		目標	実績												
		年度内事業の完了	未了												
備 考															

款 項 目	4 款 衛生費	3 項 清掃費	1 目 清掃総務費	= 予 算 所 属 = 市民部環境衛生課																					
事 業 名	酒田地区広域行政組合分賦金																								
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																					
563,117,000 円	563,117,000 円	0 円	0 円	100.0 %																					
目 的・趣 旨	酒田地区広域行政組合の衛生費に係る運営経費を負担する。																								
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 酒田地区広域行政組合が運営するごみ、し尿及び浄化槽汚泥の処理に係る運営経費として分賦金を負担した。																								
	○事業実績・説明																								
	処理内容 (酒田市内)																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃・粗大ごみ (t)</td> <td>36,472</td> <td>36,452</td> <td>35,817</td> </tr> <tr> <td>不燃ごみ (t)</td> <td>2,328</td> <td>2,267</td> <td>2,274</td> </tr> <tr> <td>計 (t)</td> <td>38,800</td> <td>38,719</td> <td>38,091</td> </tr> <tr> <td>し尿・浄化槽汚泥 (kℓ)</td> <td>17,737</td> <td>17,004</td> <td>16,174</td> </tr> </tbody> </table>					種 別	平成28年度	平成29年度	平成30年度	可燃・粗大ごみ (t)	36,472	36,452	35,817	不燃ごみ (t)	2,328	2,267	2,274	計 (t)	38,800	38,719	38,091	し尿・浄化槽汚泥 (kℓ)	17,737	17,004	16,174
	種 別	平成28年度	平成29年度	平成30年度																					
可燃・粗大ごみ (t)	36,472	36,452	35,817																						
不燃ごみ (t)	2,328	2,267	2,274																						
計 (t)	38,800	38,719	38,091																						
し尿・浄化槽汚泥 (kℓ)	17,737	17,004	16,174																						
※市最終処分場 (新林) を除く。																									
○評価・方向性 ごみ、し尿及び浄化槽汚泥の処理は、酒田地区広域行政組合に運営経費を負担することで、安全で衛生的な廃棄物処理が実施されている。今後もコストの適正性を確認しながら、安全で衛生的な廃棄物処理が行えるよう経費負担をしていく。																									
評価指標 (単位)		目標	実績																						
家庭系ごみ及び事業系ごみの総排出量 (t)		36,199	38,103																						
備 考																									

款 項 目	4 款 衛生費	3 項 清掃費	1 目 清掃総務費	= 予 算 所 属 = 市民部環境衛生課																																																																																																														
事 業 名	ごみ減量化推進事業																																																																																																																	
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																																																														
32,001,000 円	27,805,795 円	0 円	4,195,205 円	86.9 %																																																																																																														
目 的・趣 旨	<p>集団資源回収等に対して報償金を交付し、廃棄物の資源化及び減量化を推進する。 また、ごみ出し情報の発行やごみ減量等に係る研修会を実施し、環境保全や廃棄物の資源化及び減量化の意識向上を図る。</p>																																																																																																																	
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 資源回収運動の奨励</td> <td>19,314,075 円</td> </tr> <tr> <td>(2) 生ごみ処理機等購入助成</td> <td>172,700 円</td> </tr> <tr> <td>(3) 紙類資源回収の奨励</td> <td>6,979,464 円</td> </tr> <tr> <td>(4) ごみ出し情報の発行</td> <td>964,612 円</td> </tr> <tr> <td>(5) 廃棄物減量等推進審議会の開催</td> <td>147,654 円</td> </tr> <tr> <td>(6) 廃棄物減量等推進員の設置</td> <td>200,000 円</td> </tr> <tr> <td>(7) ごみ減量化に係る研修会の実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(8) 使用済み小型家電及び古着の回収</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(9) 事業系ごみ減量啓発チラシの配布</td> <td>27,290 円</td> </tr> <tr> <td>(10) その他 ごみ減量化のPR（広報年4回掲載、学校・保育園等を通じた普及活動、市役所1階の表示盤を使った普及等）</td> <td></td> </tr> </table> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資源回収運動</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加団体数 (団体)</td> <td>260</td> <td>256</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>回収量 (t)</td> <td>2,656</td> <td>2,521</td> <td>2,418</td> </tr> <tr> <td>生ごみ処理機等購入助成</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電動処理機 (基)</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>コンポスト (基)</td> <td>18</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>紙類資源回収</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ごみステーション回収量 (t)</td> <td>665</td> <td>686</td> <td>669</td> </tr> <tr> <td>資源ステーション回収量 (t)</td> <td>547</td> <td>567</td> <td>555</td> </tr> <tr> <td>ごみ出し情報</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発行回数 (回)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>廃棄物減量等推進員</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置地区数 (地区)</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>研修会の開催 (出前講座他)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施回数 (回)</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>参加人数 (人)</td> <td>554</td> <td>493</td> <td>861</td> </tr> <tr> <td>小型家電回収</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>回収量 (kg)</td> <td>1,892</td> <td>10,992</td> <td>7,133</td> </tr> <tr> <td>古着回収</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>回収量 (kg)</td> <td>-</td> <td>1,950</td> <td>3,910</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>平成30年度の市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量は696gで、前年度と比較すると18gの減となった。これは出前講座や広報等の各種媒体による市民への普及啓発、小型家電や古着等の回収など、少しずつ取り組みの効果が出ているものと考えている。しかし、本市の目標値623g（令和6年度）や県内自治体のごみ排出量比較からもまだ多い状況であり、引き続きごみ減量化の普及啓発、回収等の取り組みが必要である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭系ごみ及び事業系ごみの総排出量 (t)</td> <td>36,199</td> <td>38,103</td> </tr> </tbody> </table>				(1) 資源回収運動の奨励	19,314,075 円	(2) 生ごみ処理機等購入助成	172,700 円	(3) 紙類資源回収の奨励	6,979,464 円	(4) ごみ出し情報の発行	964,612 円	(5) 廃棄物減量等推進審議会の開催	147,654 円	(6) 廃棄物減量等推進員の設置	200,000 円	(7) ごみ減量化に係る研修会の実施		(8) 使用済み小型家電及び古着の回収		(9) 事業系ごみ減量啓発チラシの配布	27,290 円	(10) その他 ごみ減量化のPR（広報年4回掲載、学校・保育園等を通じた普及活動、市役所1階の表示盤を使った普及等）		事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	資源回収運動				参加団体数 (団体)	260	256	252	回収量 (t)	2,656	2,521	2,418	生ごみ処理機等購入助成				電動処理機 (基)	8	3	8	コンポスト (基)	18	11	12	紙類資源回収				ごみステーション回収量 (t)	665	686	669	資源ステーション回収量 (t)	547	567	555	ごみ出し情報				発行回数 (回)	3	3	3	廃棄物減量等推進員				設置地区数 (地区)	36	36	36	研修会の開催 (出前講座他)				実施回数 (回)	20	21	29	参加人数 (人)	554	493	861	小型家電回収				回収量 (kg)	1,892	10,992	7,133	古着回収				回収量 (kg)	-	1,950	3,910	評価指標 (単位)	目標	実績	家庭系ごみ及び事業系ごみの総排出量 (t)	36,199	38,103
(1) 資源回収運動の奨励	19,314,075 円																																																																																																																	
(2) 生ごみ処理機等購入助成	172,700 円																																																																																																																	
(3) 紙類資源回収の奨励	6,979,464 円																																																																																																																	
(4) ごみ出し情報の発行	964,612 円																																																																																																																	
(5) 廃棄物減量等推進審議会の開催	147,654 円																																																																																																																	
(6) 廃棄物減量等推進員の設置	200,000 円																																																																																																																	
(7) ごみ減量化に係る研修会の実施																																																																																																																		
(8) 使用済み小型家電及び古着の回収																																																																																																																		
(9) 事業系ごみ減量啓発チラシの配布	27,290 円																																																																																																																	
(10) その他 ごみ減量化のPR（広報年4回掲載、学校・保育園等を通じた普及活動、市役所1階の表示盤を使った普及等）																																																																																																																		
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																																																																															
資源回収運動																																																																																																																		
参加団体数 (団体)	260	256	252																																																																																																															
回収量 (t)	2,656	2,521	2,418																																																																																																															
生ごみ処理機等購入助成																																																																																																																		
電動処理機 (基)	8	3	8																																																																																																															
コンポスト (基)	18	11	12																																																																																																															
紙類資源回収																																																																																																																		
ごみステーション回収量 (t)	665	686	669																																																																																																															
資源ステーション回収量 (t)	547	567	555																																																																																																															
ごみ出し情報																																																																																																																		
発行回数 (回)	3	3	3																																																																																																															
廃棄物減量等推進員																																																																																																																		
設置地区数 (地区)	36	36	36																																																																																																															
研修会の開催 (出前講座他)																																																																																																																		
実施回数 (回)	20	21	29																																																																																																															
参加人数 (人)	554	493	861																																																																																																															
小型家電回収																																																																																																																		
回収量 (kg)	1,892	10,992	7,133																																																																																																															
古着回収																																																																																																																		
回収量 (kg)	-	1,950	3,910																																																																																																															
評価指標 (単位)	目標	実績																																																																																																																
家庭系ごみ及び事業系ごみの総排出量 (t)	36,199	38,103																																																																																																																
備 考	<p>○主な特定財源 小型家電リサイクル売払代 124,939円 古着売払代 8,445円</p>																																																																																																																	

款 項 目	4 款 衛生費	3 項 清掃費	1 目 清掃総務費	= 予 算 所 属 = 市民部環境衛生課																																														
事 業 名	不法投棄防止対策推進事業																																																	
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																														
2,643,000 円	2,499,512 円	0 円	143,488 円	94.6 %																																														
目 的・趣 旨	<p>廃棄物の不法投棄を防止することにより、美観を保護するとともに、市民の清潔で快適な生活環境の維持に資する。</p>																																																	
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>不法投棄防止の啓発と不法投棄監視員によるパトロールを実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>・不法投棄監視員活動回数 28名×2回/月×12か月=672回 ・使用済み自動車等海上輸送費報償金交付件数 4件</p> <p>・不法投棄の回収実績</p> <p>(1) 件数 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>家電5品目</th> <th>自転車</th> <th>タイヤ</th> <th>その他</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>29</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>22</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 数量 (単位：台、本)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>家電5品目</th> <th>自転車</th> <th>タイヤ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>20</td> <td>5</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>21</td> <td>8</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table> <p>※家電5品目とは、テレビ、洗濯機、冷蔵庫、エアコン、衣類乾燥機である。</p> <p>○評価・方向性</p> <p>不法投棄監視員によるパトロール活動により、不法投棄の件数は年々減少傾向にある。今後も引き続きパトロールを行うとともに、看板の設置やチラシの配布による啓発活動を実施する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不法投棄件数対平成29年度減少率 (%)</td> <td>20</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	家電5品目	自転車	タイヤ	その他	合 計	平成28年度	12	5	11	29	57	平成29年度	12	7	9	22	50	平成30年度	9	0	11	16	36	年 度	家電5品目	自転車	タイヤ	平成28年度	20	5	40	平成29年度	21	8	37	平成30年度	20	0	34	評価指標 (単位)	目標	実績	不法投棄件数対平成29年度減少率 (%)	20	28
年 度	家電5品目	自転車	タイヤ	その他	合 計																																													
平成28年度	12	5	11	29	57																																													
平成29年度	12	7	9	22	50																																													
平成30年度	9	0	11	16	36																																													
年 度	家電5品目	自転車	タイヤ																																															
平成28年度	20	5	40																																															
平成29年度	21	8	37																																															
平成30年度	20	0	34																																															
評価指標 (単位)	目標	実績																																																
不法投棄件数対平成29年度減少率 (%)	20	28																																																
備 考	<p>○主な特定財源 自動車リサイクル法「離島対策支援事業」出えん金38,576円</p>																																																	

款 項 目	4 款 衛生費	3 項 清掃費	1 目 清掃総務費	= 予 算 所 属 = 市民部環境衛生課
事 業 名	家庭系ごみ有料化事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
896,000 円	663,101 円	0 円	232,899 円	74.0 %
目 的・趣 旨	本市の市民 1 人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量は、県内13市で最も多いことから、ごみ減量化とリサイクルの推進、排出量の多寡に応じた負担の公平性の確保、ごみ排出に係る市民の意識改革を目指す。			
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 出前講座等を通して、本市のごみの現状、ごみ減量の必要性、ごみ減量の方法等について市民に説明し意識改革を図るとともに、先進地等の状況調査を行いながら家庭系ごみ有料化についての検討を進めている。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 先進地等視察調査 68,880 円 ・秋田市（酒田市廃棄物減量等推進審議会による視察） (2) 出前講座 283,181 円 ・開催実績 自治会等 20箇所 503人 コミュニティ振興会 4箇所 143人 児童・PTA 1箇所 140人 その他 2箇所 42人 合計 27箇所 828人 (3) 家庭系可燃ごみ質分析業務委託 311,040円 ・もやすごみの組成分析 4回</p> <p>○評価・方向性 出前講座等を通して、本市のごみの現状、ごみ減量の必要性、ごみ減量の方法等について普及啓発を行っており、少しずつ効果が出てきているものと考えている。しかし、本市の目標値623g（令和6年度）や県内自治体のごみ排出量比較からもまだ多い状況であり、引き続き、ごみ減量化の有効な方策である家庭系ごみ有料化について、検討していく必要がある。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	家庭系ごみ排出量（t）		25,374	26,194
備 考				

款 項 目	4 款 衛生費	5 項 上水道費	1 目 上水道費	= 予 算 所 属 = 市民部環境衛生課																																																								
事 業 名	水道事業運営費補助事業																																																											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																								
146,511,000 円	146,505,641 円	0 円	5,359 円	99.9 %																																																								
目 的・趣 旨	一般会計から水道事業に運営費補助及び出資することにより、水道事業運営の安定化を図る。																																																											
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 水道事業に対し、運営費補助金及び出資金を支出した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 収益に係る補助金 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大平無水源簡易水道事業運営費補助金</td> <td>10,805,287</td> <td>10,718,971</td> <td>7,780,856</td> </tr> <tr> <td>飛島簡易水道事業運営費補助金</td> <td>56,121,541</td> <td>41,112,812</td> <td>32,593,395</td> </tr> <tr> <td>高料金対策資本費補助金</td> <td>20,987,481</td> <td>32,930,530</td> <td>25,152,306</td> </tr> <tr> <td>上水道統合水道補助金</td> <td>1,072,734</td> <td>1,136,330</td> <td>699,038</td> </tr> <tr> <td>柏谷沢小規模水道運営費補助金</td> <td>6,671,524</td> <td>6,507,394</td> <td>9,977,792</td> </tr> <tr> <td>地方公営企業職員に係る児童手当補助金</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>884,000</td> </tr> <tr> <td>八幡簡易水道事業運営費補助金</td> <td>51,581,000</td> <td>56,194,000</td> <td>55,627,240</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>147,239,567</td> <td>148,600,037</td> <td>132,714,627</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 資本に係る出資金 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大平無水源簡易水道事業出資金</td> <td>16,753,813</td> <td>6,350,172</td> <td>6,652,403</td> </tr> <tr> <td>上水道統合水道出資金</td> <td>7,584,000</td> <td>9,097,584</td> <td>7,018,611</td> </tr> <tr> <td>地方公営企業職員に係る児童手当出資金</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>120,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>24,337,813</td> <td>15,447,756</td> <td>13,791,014</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 適切な補助金及び出資金により、安定的な水道事業の運営に寄与していると評価している。今後もコストの適正性を確認しながら、水道水の安定供給に対し支援を行う。</p>				種 別	平成28年度	平成29年度	平成30年度	大平無水源簡易水道事業運営費補助金	10,805,287	10,718,971	7,780,856	飛島簡易水道事業運営費補助金	56,121,541	41,112,812	32,593,395	高料金対策資本費補助金	20,987,481	32,930,530	25,152,306	上水道統合水道補助金	1,072,734	1,136,330	699,038	柏谷沢小規模水道運営費補助金	6,671,524	6,507,394	9,977,792	地方公営企業職員に係る児童手当補助金	-	-	884,000	八幡簡易水道事業運営費補助金	51,581,000	56,194,000	55,627,240	計	147,239,567	148,600,037	132,714,627	種 別	平成28年度	平成29年度	平成30年度	大平無水源簡易水道事業出資金	16,753,813	6,350,172	6,652,403	上水道統合水道出資金	7,584,000	9,097,584	7,018,611	地方公営企業職員に係る児童手当出資金	-	-	120,000	計	24,337,813	15,447,756	13,791,014
種 別	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																									
大平無水源簡易水道事業運営費補助金	10,805,287	10,718,971	7,780,856																																																									
飛島簡易水道事業運営費補助金	56,121,541	41,112,812	32,593,395																																																									
高料金対策資本費補助金	20,987,481	32,930,530	25,152,306																																																									
上水道統合水道補助金	1,072,734	1,136,330	699,038																																																									
柏谷沢小規模水道運営費補助金	6,671,524	6,507,394	9,977,792																																																									
地方公営企業職員に係る児童手当補助金	-	-	884,000																																																									
八幡簡易水道事業運営費補助金	51,581,000	56,194,000	55,627,240																																																									
計	147,239,567	148,600,037	132,714,627																																																									
種 別	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																									
大平無水源簡易水道事業出資金	16,753,813	6,350,172	6,652,403																																																									
上水道統合水道出資金	7,584,000	9,097,584	7,018,611																																																									
地方公営企業職員に係る児童手当出資金	-	-	120,000																																																									
計	24,337,813	15,447,756	13,791,014																																																									
	評価指標（単位）		目標	実績																																																								
	補助金及び出資金の交付算定地域における水道水の供給に支障をきたす断水事故件数（件）		0	0																																																								
備 考	○主な特定財源 柏谷沢小規模水道維持管理負担金 2,333,443円																																																											

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	1 目 保健衛生総務費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課
事 業 名	健康さかた21推進事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
1,753,000円	1,438,550円	0円	314,450円	82.1%
目 的・趣 旨	さかた健康づくりビジョン【健康さかた21（第3期）】（計画期間：平成29～34年度）を推進するため、健康づくり協議会、栄養改善教室や各種食育教室を開催し、市民の健康増進を図る。			
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 さかた健康づくりビジョン【健康さかた21（第3期）】を推進するため、各種栄養食生活改善事業を行った。</p> <p>○事業実績・説明 各種栄養食生活改善事業 ・食生活改善推進員養成講習会 12回（受講者数：19人、終了者数：17人） ・食生活改善推進員に対する講習 4回（延べ参加者数：247人）</p> <p>○評価・方向性 生活習慣の改善、平均寿命・健康寿命の延伸に向け、食生活改善推進のため講習会等を開催した。食生活改善推進員の養成もほぼ目標通り行っており、今後も食生活改善、健康寿命の延伸に向けた事業を実施していく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	食生活改善推進員養成講習会修了者数（人）		20	17
備 考	○主な特定財源 各種講習会参加者負担金等 118,250円			

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	1 目 保健衛生総務費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課																																																																																				
事 業 名	乳幼児健診事業																																																																																							
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																																				
8,864,000円	8,539,713円	0円	324,287円	96.3%																																																																																				
目 的・趣 旨	母子保健法に基づき、乳幼児の疾病の早期発見、発育・発達の確認を行うとともに、育児に関する不安や悩みに対して適切な相談や支援を行う。																																																																																							
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 各月年齢の乳幼児に対する健康診査や健康相談、歯科健康診査等を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(1) 健康診査</th> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3か月児健康診査（24回）</td> <td>受診数</td> <td>651人</td> <td>615人</td> <td>564人</td> </tr> <tr> <td>受診率</td> <td>99.1%</td> <td>98.6%</td> <td>99.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1歳6か月児健康診査（24回）</td> <td>受診数</td> <td>659人</td> <td>652人</td> <td>634人</td> </tr> <tr> <td>受診率</td> <td>99.6%</td> <td>99.6%</td> <td>99.7%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3歳児健康診査（24回）</td> <td>受診数</td> <td>697人</td> <td>715人</td> <td>658人</td> </tr> <tr> <td>受診率</td> <td>99.6%</td> <td>99.4%</td> <td>99.7%</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(2) 健康相談</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">9か月児健康相談（24回）</td> <td>受診数</td> <td>662人</td> <td>629人</td> <td>609人</td> </tr> <tr> <td>受診率</td> <td>97.2%</td> <td>98.9%</td> <td>98.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(3) 歯科健康診査</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2歳児歯科健診（6回） ※希望者のみ</td> <td>受診数</td> <td>197人</td> <td>181人</td> <td>175人</td> </tr> <tr> <td>受診率</td> <td>28.8%</td> <td>27.8%</td> <td>26.3%</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(4) 健診フォロー教室</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1歳6か月児健診フォロー教室</td> <td>回数</td> <td>7回</td> <td>7回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>58人</td> <td>67人</td> <td>79人</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(5) 外国籍妊産婦等の通訳配置</td> </tr> <tr> <td colspan="2">派遣回数</td> <td>0回</td> <td>4回</td> <td>3回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 乳幼児の疾病の早期発見と発育・発達の確認を行うとともに、育児に関する不安や悩みに対して適切な相談・支援を行うことができた。乳幼児健診は母子保健法に基づき実施しており、今後も継続して相談・支援を行っていく。</p>				(1) 健康診査		平成28年度	平成29年度	平成30年度	3か月児健康診査（24回）	受診数	651人	615人	564人	受診率	99.1%	98.6%	99.1%	1歳6か月児健康診査（24回）	受診数	659人	652人	634人	受診率	99.6%	99.6%	99.7%	3歳児健康診査（24回）	受診数	697人	715人	658人	受診率	99.6%	99.4%	99.7%	(2) 健康相談					9か月児健康相談（24回）	受診数	662人	629人	609人	受診率	97.2%	98.9%	98.9%	(3) 歯科健康診査					2歳児歯科健診（6回） ※希望者のみ	受診数	197人	181人	175人	受診率	28.8%	27.8%	26.3%	(4) 健診フォロー教室					1歳6か月児健診フォロー教室	回数	7回	7回	10回	人数	58人	67人	79人	(5) 外国籍妊産婦等の通訳配置					派遣回数		0回	4回	3回
(1) 健康診査		平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																																																				
3か月児健康診査（24回）	受診数	651人	615人	564人																																																																																				
	受診率	99.1%	98.6%	99.1%																																																																																				
1歳6か月児健康診査（24回）	受診数	659人	652人	634人																																																																																				
	受診率	99.6%	99.6%	99.7%																																																																																				
3歳児健康診査（24回）	受診数	697人	715人	658人																																																																																				
	受診率	99.6%	99.4%	99.7%																																																																																				
(2) 健康相談																																																																																								
9か月児健康相談（24回）	受診数	662人	629人	609人																																																																																				
	受診率	97.2%	98.9%	98.9%																																																																																				
(3) 歯科健康診査																																																																																								
2歳児歯科健診（6回） ※希望者のみ	受診数	197人	181人	175人																																																																																				
	受診率	28.8%	27.8%	26.3%																																																																																				
(4) 健診フォロー教室																																																																																								
1歳6か月児健診フォロー教室	回数	7回	7回	10回																																																																																				
	人数	58人	67人	79人																																																																																				
(5) 外国籍妊産婦等の通訳配置																																																																																								
派遣回数		0回	4回	3回																																																																																				
	評価指標（単位）		目標	実績																																																																																				
	健診未受診者の状況把握率（%）		100	100																																																																																				
備 考																																																																																								

款 項 目	4款 衛生費	1項 保健衛生費	1目 保健衛生総務費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課		
事業名	妊婦健康管理事業					
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①		
53,035,000円	50,233,806円	0円	2,801,194円	94.7%		
目的・趣旨	妊婦健康診査に対して助成を行うことにより、妊娠から出産までの期間を安全に過ごし、安心して出産に臨めるように支援する。					
事業・成果の概要等	○事業内容 妊婦に対して、妊婦健康診査の受診券を交付し、安心して出産できるように支援した。平成28年4月から超音波検査を追加し、健診の充実を図っている。					
	○事業実績・説明					
		助成上限額	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	一般健診 (14回)	①受診者数(初回)	10,000円	626人	585人	549人
		②受診者数(2~14回)	5,000円	6,982人	6,655人	6,045人
		③延受診者数		7,608人	7,240人	6,594人
	HTLV-1抗体検査	2,290円	606人	604人	533人	
	子宮頸がん検診	3,400円	612人	583人	533人	
	クラミジア抗原検査	2,100円	591人	592人	527人	
	超音波検査	(1回目)	5,300円	565人	594人	549人
(2~4回目)		4,770円	1,119人	1,714人	1,550人	
○評価・方向性 早期の妊娠届出と定期健康診査により安心して妊娠期を過ごすことができるよう、定期受診の必要性について説明し、受診につなげることができた。今後も安心して出産を迎えられるような関わりを実施していく。また、ハイリスク妊婦については、関係機関との緊密な連携のもと、対応を更に強化していく。						
評価指標(単位)		目標	実績			
妊婦健康診査受診率(%)		100	100			
備考						

款 項 目	4款 衛生費	1項 保健衛生費	1目 保健衛生総務費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課		
事業名	妊娠・出産・子育て包括支援(ネウボラ)事業					
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①		
10,042,000円	8,463,523円	0円	1,578,477円	84.3%		
目的・趣旨	妊娠から出産、子育て期までに切れ目のない子育て支援を行うため「子育て世代包括支援センターぎゅっと」を開設し、各種相談を行うとともに、関係機関とのネットワークを強化し、安心して子どもを産み育てられる環境を整備する。					
事業・成果の概要等	○事業内容 妊娠期から出産、子育て期まで母子保健や育児に関する総合相談、支援を必要とする方に対し支援計画の作成、母子保健サービス等の提供及び関係機関との連絡調整、各種事業を行った。					
	○事業実績・説明					
		項目	平成29年度	平成30年度		
	各種相談・教育	母子健康手帳交付時相談 (各総合支所対応分含む)	手帳交付数	594件	552件	
		随時相談(母乳ミルク相談含む)	件数	2,991件	3,938件	
		さかたすくすくベビーギフト	配布数	322人	580人	
	産前産後サポート	ぎゅっとサロン	回数	14回	13回	
			参加者数	370人	358人	
	産前産後サポート	訪問型産前・産後サポート	回数	9回	14回	
			参加者数	妊婦28人 親子116組	妊婦17人 親子182組	
産前産後サポート	母乳ミルク相談室(再掲)月2回	相談件数	234件	341件		
		参加者数	116人	153人		
産後ケア(宿泊型)	産後の骨盤ケア教室 月1回	利用者数	1組	7組		
		参加者数	617人	585人		
産後ケア(宿泊型)	妊婦健康診査助成	助成券交付人数	617人	585人		
		利用者数	32回	48回		
産後ケア(宿泊型)	妊産婦支援会議	開催数	32回	48回		
		参加者数	2回	1回		
産後ケア(宿泊型)	ネットワーク会議	開催数	2回	1回		
		訪問者数	598件	548件		
産後ケア(宿泊型)	新生児訪問	訪問者数	598件	548件		
		訪問者数	598件	548件		
○評価・方向性 子育て世代包括支援センターを開設し、相談窓口が周知されたことで相談件数が年々増加している。妊娠期から出産、子育て期まで切れ目のない支援を今後も継続し、安心して、子どもを産み育てられる環境を整備していく。						
評価指標(単位)		目標	実績			
要支援妊婦の妊娠期のフォローの割合(%)		100	97.3			
備考	○主な特定財源 子ども・子育て支援交付金(国) 2,940,000円 保育対策等促進事業費補助金(県) 1,986,000円					

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	1 目 保健衛生総務費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部健康課																																												
事 業 名	心の健康づくり推進事業																																															
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																												
1,141,000 円	1,009,974 円	0 円	131,026 円	88.5 %																																												
目 的・趣 旨	自殺の背景には様々な社会的要因があることを踏まえ、相談窓口の充実を図り、うつ病予防等に関する正しい情報の提供や周知、地域での見守り活動などの普及啓発を行う。「酒田市自殺対策計画」に基づき、関係機関が連携した総合的な支援を実施する。																																															
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 市民を対象にしたこころの健康相談や、健康講座等を実施した。また、自殺対策基本法第13条第2項に基づき、「酒田市自殺対策計画～支えあい 自分の命も みんなの命も大切にすまち酒田～」を策定した。																																															
	○事業実績・説明																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 酒田市自殺計画策定懇話会の開催</td> <td>2 回</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(2) 市民健康講演会の開催</td> <td>1 回</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>(3) こころの健康相談の実施</td> <td>10回</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>(4) 学区・地区でのこころの研修会の開催</td> <td>25回</td> <td>延べ695人</td> </tr> <tr> <td>(5) こころのサポーター養成講座の開催</td> <td>6 回</td> <td>延べ232人</td> </tr> <tr> <td>(6) スーパーバイズ研修会</td> <td>1 回</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>(7) 看板設置による普及啓発</td> <td>通年</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(8) 福祉乗合バスの公告を利用した普及啓発</td> <td>通年</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(9) 各種メディアを活用した普及啓発</td> <td>通年</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				項目	回数	参加者数	(1) 酒田市自殺計画策定懇話会の開催	2 回	-	(2) 市民健康講演会の開催	1 回	90人	(3) こころの健康相談の実施	10回	17人	(4) 学区・地区でのこころの研修会の開催	25回	延べ695人	(5) こころのサポーター養成講座の開催	6 回	延べ232人	(6) スーパーバイズ研修会	1 回	13人	(7) 看板設置による普及啓発	通年	-	(8) 福祉乗合バスの公告を利用した普及啓発	通年	-	(9) 各種メディアを活用した普及啓発	通年	-														
	項目	回数	参加者数																																													
	(1) 酒田市自殺計画策定懇話会の開催	2 回	-																																													
	(2) 市民健康講演会の開催	1 回	90人																																													
	(3) こころの健康相談の実施	10回	17人																																													
	(4) 学区・地区でのこころの研修会の開催	25回	延べ695人																																													
	(5) こころのサポーター養成講座の開催	6 回	延べ232人																																													
	(6) スーパーバイズ研修会	1 回	13人																																													
(7) 看板設置による普及啓発	通年	-																																														
(8) 福祉乗合バスの公告を利用した普及啓発	通年	-																																														
(9) 各種メディアを活用した普及啓発	通年	-																																														
地域別自殺者数・自殺死亡率の推移（人口動態統計）																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年</th> <th>26年</th> <th>27年</th> <th>28年</th> <th>29年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">酒田市</td> <td>自殺者数</td> <td>31人</td> <td>23人</td> <td>21人</td> <td>25人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>自殺死亡率</td> <td>28.8人</td> <td>21.6人</td> <td>19.9人</td> <td>23.8人</td> <td>22.1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">山形県</td> <td>自殺者数</td> <td>279人</td> <td>243人</td> <td>243人</td> <td>220人</td> <td>210人</td> </tr> <tr> <td>自殺死亡率</td> <td>24.6人</td> <td>21.6人</td> <td>21.7人</td> <td>19.9人</td> <td>19.2人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">全国</td> <td>自殺者数</td> <td>26,063人</td> <td>24,398人</td> <td>23,152人</td> <td>20,984人</td> <td>20,465人</td> </tr> <tr> <td>自殺死亡率</td> <td>20.7人</td> <td>19.5人</td> <td>18.5人</td> <td>16.8人</td> <td>16.4人</td> </tr> </tbody> </table>					25年	26年	27年	28年	29年	酒田市	自殺者数	31人	23人	21人	25人	23人	自殺死亡率	28.8人	21.6人	19.9人	23.8人	22.1人	山形県	自殺者数	279人	243人	243人	220人	210人	自殺死亡率	24.6人	21.6人	21.7人	19.9人	19.2人	全国	自殺者数	26,063人	24,398人	23,152人	20,984人	20,465人	自殺死亡率	20.7人	19.5人	18.5人	16.8人	16.4人
	25年	26年	27年	28年	29年																																											
酒田市	自殺者数	31人	23人	21人	25人	23人																																										
	自殺死亡率	28.8人	21.6人	19.9人	23.8人	22.1人																																										
山形県	自殺者数	279人	243人	243人	220人	210人																																										
	自殺死亡率	24.6人	21.6人	21.7人	19.9人	19.2人																																										
全国	自殺者数	26,063人	24,398人	23,152人	20,984人	20,465人																																										
	自殺死亡率	20.7人	19.5人	18.5人	16.8人	16.4人																																										
※自殺死亡率とは、人口10万人あたりの自殺者数																																																
○評価・方向性 本市の自殺死亡率は、全国、山形県に比べ高い数値で経過してきた。こころの健康相談、「こころのサポーター」の人材養成及び普及啓発事業等の実施により、自殺死亡率は減少傾向にあるものの、平成27年の19.9人を除くと20.0人を上回り、国、県を上回っている状況にある。 引き続き人材養成、普及啓発事業を継続するとともに、自殺対策計画に基づき関係機関が連携した総合的な支援を実施していく。																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころのサポーター養成者数 年間の延人数（人）</td> <td>1,000</td> <td>927</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	こころのサポーター養成者数 年間の延人数（人）	1,000	927																																							
評価指標（単位）	目標	実績																																														
こころのサポーター養成者数 年間の延人数（人）	1,000	927																																														
備 考	○主な特定財源 地域自殺対策強化交付金（県） 542,000円																																															

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	1 目 保健衛生総務費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部健康課																						
事 業 名	特定不妊治療助成事業																									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																						
10,000,000 円	9,292,455 円	0 円	707,545 円	92.9 %																						
目 的・趣 旨	不妊に悩む夫婦への支援及び少子化対策の一環として、不妊治療に要する経済的負担を軽減し子どもを産みやすい環境づくりを図る。																									
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 (1) 山形県特定不妊治療の助成対象となった方で、特定不妊治療に要した費用のうち県助成額の上限を超えた夫婦に1回あたり10万円を限度に助成した。 (2) 男性不妊治療については、5万円を上限に助成した。																									
	○事業実績・説明																									
	(1) 特定不妊治療																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">申請数</th> <th rowspan="2">妊娠数</th> <th rowspan="2">妊娠した割合</th> </tr> <tr> <th>実人数</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>61人</td> <td>87人</td> <td>29人</td> <td>47.5%</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>56人</td> <td>87人</td> <td>24人</td> <td>42.9%</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>63人</td> <td>97人</td> <td>23人</td> <td>36.5%</td> </tr> </tbody> </table>					申請数		妊娠数	妊娠した割合	実人数	延人数	平成28年度	61人	87人	29人	47.5%	平成29年度	56人	87人	24人	42.9%	平成30年度	63人	97人	23人	36.5%
		申請数		妊娠数		妊娠した割合																				
		実人数	延人数																							
	平成28年度	61人	87人	29人	47.5%																					
	平成29年度	56人	87人	24人	42.9%																					
	平成30年度	63人	97人	23人	36.5%																					
	(2) 男性不妊治療																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">申請数</th> <th rowspan="2">妊娠数</th> </tr> <tr> <th>実人数</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人※</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>					申請数		妊娠数	実人数	延人数	平成28年度	0人	0人	0人	平成29年度	1人	1人	1人※	平成30年度	1人	1人	0人					
	申請数		妊娠数																							
	実人数	延人数																								
平成28年度	0人	0人	0人																							
平成29年度	1人	1人	1人※																							
平成30年度	1人	1人	0人																							
※特定不妊治療の妊娠数に含む。																										
○評価・方向性 不妊に悩む夫婦の精神的、経済的負担が軽減された。妊娠を希望する夫婦が安心して不妊治療が受けられるよう、今後も継続して支援していく。																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請延べ人数（人）</td> <td>100</td> <td>97</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	申請延べ人数（人）	100	97																	
評価指標（単位）	目標	実績																								
申請延べ人数（人）	100	97																								
備 考																										

款 項 目	4款 衛生費	1項 保健衛生費	1目 保健衛生総務費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課																																																																							
事業名	歯と口腔の健康づくり推進事業																																																																										
予算現額 ①	470,000円	253,318円	0円	216,682円																																																																							
支出済額 ②				53.9%																																																																							
翌年度繰越額 ③																																																																											
不用額 ①-②-③																																																																											
執行率 ②/①																																																																											
目的・趣旨	酒田市歯と口腔の健康づくり推進条例などに基づき、市民の歯と口腔の健康づくりの充実と健康寿命の延伸を推進する。また障がい児の歯と口腔の健康づくりを推進するための助成券を発行し、生涯にわたる予防歯科（口腔衛生）に関する意識の向上を図る。																																																																										
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 20歳未満の特別児童扶養手当受給者へ歯科健診等助成券を発行した。併せてリーフレット「障がい児の口腔ケア」を同封し、口腔内を健康に保つ必要性を周知した。</p> <p>助成券の内容（以下のいずれか一つを選択できる）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科健診券 ・ フッ素塗布券（医療機関でフッ化物歯面塗布） ・ 歯科グッズ券（歯ブラシ、歯磨粉、フロス等歯間清掃用具） <p>(2) 市民を対象に口腔の健康づくりに関する歯科保健健康教育を実施した。</p>																																																																										
事業実績・説明	<p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 障がい児歯科健診等助成券 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">平成28年度</th> <th colspan="3">平成29年度</th> <th colspan="3">平成30年度</th> </tr> <tr> <th>対象</th> <th>実績</th> <th>割合</th> <th>対象</th> <th>実績</th> <th>割合</th> <th>対象</th> <th>実績</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歯科健診</td> <td></td> <td>8</td> <td>3.2%</td> <td></td> <td>1</td> <td>0.4%</td> <td></td> <td>1</td> <td>0.5%</td> </tr> <tr> <td>フッ素塗布</td> <td>246</td> <td>6</td> <td>2.4%</td> <td>238</td> <td>8</td> <td>3.4%</td> <td>217</td> <td>4</td> <td>1.8%</td> </tr> <tr> <td>歯科グッズ</td> <td></td> <td>39</td> <td>15.9%</td> <td></td> <td>49</td> <td>20.6%</td> <td></td> <td>46</td> <td>21.2%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>246</td> <td>53</td> <td>21.5%</td> <td>238</td> <td>58</td> <td>24.4%</td> <td>217</td> <td>51</td> <td>23.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 歯科保健健康教育</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>対象者</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歯周疾患予防</td> <td>成人</td> <td>28回</td> <td>660人</td> </tr> <tr> <td>う蝕予防</td> <td>乳幼児・保護者</td> <td>8回</td> <td>167人</td> </tr> </tbody> </table>				項目	平成28年度			平成29年度			平成30年度			対象	実績	割合	対象	実績	割合	対象	実績	割合	歯科健診		8	3.2%		1	0.4%		1	0.5%	フッ素塗布	246	6	2.4%	238	8	3.4%	217	4	1.8%	歯科グッズ		39	15.9%		49	20.6%		46	21.2%	計	246	53	21.5%	238	58	24.4%	217	51	23.5%	内容	対象者	回数	人数	歯周疾患予防	成人	28回	660人	う蝕予防	乳幼児・保護者	8回	167人
項目	平成28年度			平成29年度			平成30年度																																																																				
	対象	実績	割合	対象	実績	割合	対象	実績	割合																																																																		
歯科健診		8	3.2%		1	0.4%		1	0.5%																																																																		
フッ素塗布	246	6	2.4%	238	8	3.4%	217	4	1.8%																																																																		
歯科グッズ		39	15.9%		49	20.6%		46	21.2%																																																																		
計	246	53	21.5%	238	58	24.4%	217	51	23.5%																																																																		
内容	対象者	回数	人数																																																																								
歯周疾患予防	成人	28回	660人																																																																								
う蝕予防	乳幼児・保護者	8回	167人																																																																								
評価・方向性	<p>○評価・方向性</p> <p>障がい児歯科健診助成券の利用率は20%台で推移している。平成30年度に実施したアンケート結果からも事業に対するニーズはあるので、対象者への一層の周知を図るとともに利用率を上げていく。</p> <p>また、歯科保健健康教育は、新たに青年層に対する予防歯科に関する意識向上を図るなど、市民に対する健康教育を充実していく。</p>																																																																										
評価指標（単位）	目標		実績																																																																								
予防歯科診療（助成券）実施率（%）	50		23.5																																																																								
備考																																																																											

款 項 目	4款 衛生費	1項 保健衛生費	1目 保健衛生総務費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課																						
事業名	中町にぎわい健康プラザ管理運営事業																									
予算現額 ①	66,362,000円	65,184,161円	0円	1,177,839円																						
支出済額 ②				98.2%																						
翌年度繰越額 ③																										
不用額 ①-②-③																										
執行率 ②/①																										
目的・趣旨	市民の健康の増進及び交流を図り、中心市街地の活性化に寄与するため、中町にぎわい健康プラザの管理運営を行う。																									
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 市民の健康の増進 各種トレーニングマシンや多目的スペースにより、市民が気軽に運動できる場を提供するとともに、希望者には管理受託団体のスタッフによる運動指導を行い、市民の健康増進を図った。</p> <p>(2) 中心市街地のにぎわいの創出 集いのスペースは、施設利用者や周辺の買い物客が気軽に休憩できる場を提供するとともに、各種団体や市主催のイベント等での活用により、中心市街地のにぎわいの創出に寄与した。</p>																									
事業実績・説明	<p>○事業実績・説明</p> <p>各エリア別の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">エリア名</th> <th colspan="2">利用者数（人）</th> <th rowspan="2">主な利用内容</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">マシンスペース</td> <td>31,369</td> <td>33,837</td> <td rowspan="3">ランニングマシンなどの各種トレーニング機器（28台）・1周80mのウォーキングコース・体組成計・血圧計</td> </tr> <tr> <td>うち男性</td> <td>17,149</td> </tr> <tr> <td>うち女性</td> <td>16,688</td> </tr> <tr> <td>多目的スペース</td> <td>7,976</td> <td>9,826</td> <td>市保健事業及び各種市民サークルでの利用（ヨガ教室、ロコモ教室、障がい者スポーツ教室、特定保健指導、骨盤ケア教室 ほか）</td> </tr> <tr> <td>集いのスペース</td> <td>14,005</td> <td>21,038</td> <td>市保健事業やイベント及び各種市民サークルでの利用（音楽コンサート、ダンベル体操、認知症カフェ、酒まつり、ホストタウンニュージールランド講習、看護祭、大型客船寄港歓迎案内所、中町マルシェ、中町わくわくマーケット、さかた健康チャレンジセミナーほか）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※集いのスペースは大きな祭事やイベント等を除く概数値</p>				エリア名	利用者数（人）		主な利用内容	H29	H30	マシンスペース	31,369	33,837	ランニングマシンなどの各種トレーニング機器（28台）・1周80mのウォーキングコース・体組成計・血圧計	うち男性	17,149	うち女性	16,688	多目的スペース	7,976	9,826	市保健事業及び各種市民サークルでの利用（ヨガ教室、ロコモ教室、障がい者スポーツ教室、特定保健指導、骨盤ケア教室 ほか）	集いのスペース	14,005	21,038	市保健事業やイベント及び各種市民サークルでの利用（音楽コンサート、ダンベル体操、認知症カフェ、酒まつり、ホストタウンニュージールランド講習、看護祭、大型客船寄港歓迎案内所、中町マルシェ、中町わくわくマーケット、さかた健康チャレンジセミナーほか）
エリア名	利用者数（人）		主な利用内容																							
	H29	H30																								
マシンスペース	31,369	33,837	ランニングマシンなどの各種トレーニング機器（28台）・1周80mのウォーキングコース・体組成計・血圧計																							
	うち男性	17,149																								
	うち女性	16,688																								
多目的スペース	7,976	9,826	市保健事業及び各種市民サークルでの利用（ヨガ教室、ロコモ教室、障がい者スポーツ教室、特定保健指導、骨盤ケア教室 ほか）																							
集いのスペース	14,005	21,038	市保健事業やイベント及び各種市民サークルでの利用（音楽コンサート、ダンベル体操、認知症カフェ、酒まつり、ホストタウンニュージールランド講習、看護祭、大型客船寄港歓迎案内所、中町マルシェ、中町わくわくマーケット、さかた健康チャレンジセミナーほか）																							
評価・方向性	<p>○評価・方向性</p> <p>市民の健康増進や各種団体の利用及び市主催のイベント等の活用により、利用者数は目標値を超え順調に推移しており、中心市街地のにぎわい創出に寄与している。引き続き、各種健康教室の開催や施設の周知により利用者増加を目指す。</p>																									
評価指標（単位）	目標		実績																							
年間利用者数（人）	42,360		43,663																							
備考	○主な特定財源 財産管理使用料 11,111,900円																									

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	1 目 保健衛生総務費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部健康課						
事 業 名	健やかさかたヘルスケア推進事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
13,352,000 円	12,886,573 円	0 円	465,427 円	96.5 %						
目 的・趣 旨	さかた健康づくりビジョンに掲げる「健やかさかた のばそう健康寿命！」の実現に向け、運動と食事による生活習慣の改善や、市民一人ひとりの状態に合わせた健康づくりのための環境整備を地方創生推進交付金を活用して進める。									
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>参加者に対し歩数や消費カロリーを計測する活動量計を配付し、市内各所に体組成計、血圧計を設置するとともに、計測データをグラフ表示などで見える化することにより、参加者個々の健康づくりのための環境整備を行った。さらに、参加者一人ひとりの目標や目的意識に合わせて保健指導や栄養講座、健康セミナー等健康づくりプログラムを実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 機器設置場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体組成計、血圧計、データ送信機設置 市役所、中町にぎわい健康プラザ、光ヶ丘プール ・データ送信機のみ設置 市民健康センター、交流ひろば、総合文化センター、八幡タウンセンター 松山総合支所、平田B & G海洋センター <p>(2) セミナー開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートセミナー2回開催 延38名参加 ・調理実習セミナー1回開催 17名参加 ・ふりかえりセミナー2回開催 延81名参加 <p>(3) 歩数イベント(3回)</p> <p>(4) 健康さかたチャレンジポイント制度の試験実施</p> <p>平成30年11月19日～平成31年2月3日までの間に計測された歩数により獲得したポイント数に応じて、中町等で使用できる商品券が当たる抽選会をふりかえりセミナーと併せて開催した。</p> <p>さかた健康チャレンジ参加実績(年度末累計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>339人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>627人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>歩数イベントの開催期間中は全体の歩数が増加しており、健康意識の改善につながっている。今後は、健康さかたチャレンジポイント制度を本実施するなどの取り組みにより、新たな個人参加を促す。また、企業に対しても参加を働きかけて、市民の健康づくりのための環境整備に努める。</p>					参加者	平成29年度	339人	平成30年度	627人
	参加者									
平成29年度	339人									
平成30年度	627人									
	評価指標(単位)	目標	実績							
	参加者数(人)	800	627							
備 考	○主な特定財源 地方創生推進交付金(国) 5,969,977円 健やかさかたヘルスケア推進事業利用者負担金 566,300円									

款 項 目	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	1 目 保健衛生総務費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部健康課
事 業 名	調剤情報ネットワークシステム運営費負担事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
752,000 円	542,794 円	0 円	209,206 円	72.2 %
目 的・趣 旨	酒田地区の調剤薬局において調剤情報の地域内共有を行い、重複投与及び相互作用等の電子的チェックを行うことで、医療費の適正化や服薬指導の効率化を図る。			
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>各病院及び薬局から処方された調剤情報を、ちょうかいネットとの連携により専用クラウドに登録し、調剤情報を医療機関や介護事業所などで共有するシステムを構築するもので、酒田地区医療情報ネットワーク協議会に対してその運用経費の一部を市が負担した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年3月末時点参加拠点薬局数 42店 <p>○評価・方向性</p> <p>平成31年2月末現在において酒田市内の77%の薬局が加入し、2,366人の患者の調剤情報を共有することが可能になった。また、マイナンバーカードを使った個人認証により、薬局での本人確認を容易にするシステムの運用も併せて開始された。調剤情報を地域内で共有することにより、医療費の適正化や服薬指導の効率化を図るため、引き続き支援していく。</p>			
	評価指標(単位)	目標	実績	
	参加拠点数(施設)	54	42	
備 考				

款 項 目	4款 衛生費	1項 保健衛生費	2目 予防費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課																																																																																																																																																						
事業名	各種予防接種事業																																																																																																																																																									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																																																																																																						
206,480,000円	184,039,608円	0円	22,440,392円	89.1%																																																																																																																																																						
目的・趣旨	予防接種法に基づく各種予防接種を実施し、感染症の罹患と発病防止を図る。																																																																																																																																																									
事業・成果の概要等	○事業内容及び事業実績・説明																																																																																																																																																									
	(1) 定期接種																																																																																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>対象者</th> <th>実施者</th> <th>接種率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">B型肝炎</td> <td>1回目</td> <td>530</td> <td>549</td> <td>103.6%</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>530</td> <td>557</td> <td>105.1%</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>530</td> <td>560</td> <td>105.7%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ヒブワクチン</td> <td>1回目</td> <td>530</td> <td>550</td> <td>103.8%</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>530</td> <td>555</td> <td>104.7%</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>530</td> <td>564</td> <td>106.4%</td> </tr> <tr> <td>追加</td> <td>613</td> <td>621</td> <td>101.3%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">小児用肺炎球菌</td> <td>1回目</td> <td>530</td> <td>550</td> <td>103.8%</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>530</td> <td>555</td> <td>104.7%</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>530</td> <td>564</td> <td>106.4%</td> </tr> <tr> <td>追加</td> <td>613</td> <td>623</td> <td>101.6%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">四種混合</td> <td>1期</td> <td>1回目</td> <td>530</td> <td>554</td> <td>104.5%</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>530</td> <td>568</td> <td>107.2%</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>530</td> <td>580</td> <td>109.4%</td> </tr> <tr> <td>追加</td> <td>613</td> <td>676</td> <td>110.3%</td> </tr> <tr> <td>二種混合2期</td> <td></td> <td>801</td> <td>723</td> <td>90.3%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">麻しん風しん混合</td> <td>1期</td> <td>645</td> <td>615</td> <td>95.3%</td> </tr> <tr> <td>2期</td> <td>707</td> <td>682</td> <td>96.5%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水痘</td> <td>1回目</td> <td>613</td> <td>611</td> <td>99.7%</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>646</td> <td>557</td> <td>86.2%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">日本脳炎</td> <td>1期</td> <td>1回目</td> <td>681</td> <td>854</td> <td>125.4%</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>681</td> <td>866</td> <td>127.2%</td> </tr> <tr> <td>追加</td> <td>660</td> <td>942</td> <td>142.7%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">不活化ポリオ</td> <td>2期</td> <td>1,000</td> <td>1,106</td> <td>110.6%</td> </tr> <tr> <td>1回目</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">追加</td> <td></td> <td>6</td> <td>6</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>1回目</td> <td>433</td> <td>1</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>433</td> <td>2</td> <td>0.5%</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>433</td> <td>2</td> <td>0.5%</td> </tr> <tr> <td>高齢者インフルエンザ</td> <td></td> <td>36,164</td> <td>20,624</td> <td>57.0%</td> </tr> <tr> <td>高齢者肺炎球菌ワクチン</td> <td></td> <td>7,696</td> <td>3,189</td> <td>41.4%</td> </tr> </tbody> </table>				種 目	対象者	実施者	接種率 (%)	B型肝炎	1回目	530	549	103.6%	2回目	530	557	105.1%	3回目	530	560	105.7%	ヒブワクチン	1回目	530	550	103.8%	2回目	530	555	104.7%	3回目	530	564	106.4%	追加	613	621	101.3%	小児用肺炎球菌	1回目	530	550	103.8%	2回目	530	555	104.7%	3回目	530	564	106.4%	追加	613	623	101.6%	四種混合	1期	1回目	530	554	104.5%	2回目	530	568	107.2%	3回目	530	580	109.4%	追加	613	676	110.3%	二種混合2期		801	723	90.3%	麻しん風しん混合	1期	645	615	95.3%	2期	707	682	96.5%	水痘	1回目	613	611	99.7%	2回目	646	557	86.2%	日本脳炎	1期	1回目	681	854	125.4%	2回目	681	866	127.2%	追加	660	942	142.7%	不活化ポリオ	2期	1,000	1,106	110.6%	1回目	0	0	-	2回目	0	0	-	3回目	1	1	100.0%	追加		6	6	100.0%	1回目	433	1	0.2%	2回目	433	2	0.5%	3回目	433	2	0.5%	高齢者インフルエンザ		36,164	20,624	57.0%	高齢者肺炎球菌ワクチン		7,696	3,189	41.4%
	種 目	対象者	実施者	接種率 (%)																																																																																																																																																						
	B型肝炎	1回目	530	549	103.6%																																																																																																																																																					
		2回目	530	557	105.1%																																																																																																																																																					
		3回目	530	560	105.7%																																																																																																																																																					
	ヒブワクチン	1回目	530	550	103.8%																																																																																																																																																					
		2回目	530	555	104.7%																																																																																																																																																					
		3回目	530	564	106.4%																																																																																																																																																					
追加		613	621	101.3%																																																																																																																																																						
小児用肺炎球菌	1回目	530	550	103.8%																																																																																																																																																						
	2回目	530	555	104.7%																																																																																																																																																						
	3回目	530	564	106.4%																																																																																																																																																						
	追加	613	623	101.6%																																																																																																																																																						
四種混合	1期	1回目	530	554	104.5%																																																																																																																																																					
	2回目	530	568	107.2%																																																																																																																																																						
	3回目	530	580	109.4%																																																																																																																																																						
	追加	613	676	110.3%																																																																																																																																																						
二種混合2期		801	723	90.3%																																																																																																																																																						
麻しん風しん混合	1期	645	615	95.3%																																																																																																																																																						
	2期	707	682	96.5%																																																																																																																																																						
水痘	1回目	613	611	99.7%																																																																																																																																																						
	2回目	646	557	86.2%																																																																																																																																																						
日本脳炎	1期	1回目	681	854	125.4%																																																																																																																																																					
	2回目	681	866	127.2%																																																																																																																																																						
	追加	660	942	142.7%																																																																																																																																																						
不活化ポリオ	2期	1,000	1,106	110.6%																																																																																																																																																						
	1回目	0	0	-																																																																																																																																																						
	2回目	0	0	-																																																																																																																																																						
	3回目	1	1	100.0%																																																																																																																																																						
追加		6	6	100.0%																																																																																																																																																						
	1回目	433	1	0.2%																																																																																																																																																						
	2回目	433	2	0.5%																																																																																																																																																						
3回目	433	2	0.5%																																																																																																																																																							
高齢者インフルエンザ		36,164	20,624	57.0%																																																																																																																																																						
高齢者肺炎球菌ワクチン		7,696	3,189	41.4%																																																																																																																																																						
(2) 任意接種 風しん予防接種等費用緊急助成事業																																																																																																																																																										
・抗体検査213人 ・予防接種127人 妊娠を希望する女性、風しん抗体価の低い妊婦の夫及び家族を対象に抗体検査や予防接種の費用に全額助成を行った。																																																																																																																																																										
○評価・方向性																																																																																																																																																										
予防接種法に基づく定期予防接種のため、接種率は高くなっている。また、風しん予防接種は先天性風しん症候群予防が目的で、多くの方が利用している。感染症の罹患と発病防止のための予防接種の必要性を周知し、接種率のさらなる向上を目指していく。																																																																																																																																																										
評価指標 (単位)		目標	実績																																																																																																																																																							
子どもの定期予防接種率 (%)		100	106.4																																																																																																																																																							
備考	○主な特定財源 風しん予防接種促進事業費補助金 (県) 1,166,000円																																																																																																																																																									

款 項 目	4款 衛生費	1項 保健衛生費	2目 予防費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課																
事業名	献血推進事業																			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																
1,662,000円	1,470,372円	0円	191,628円	88.5%																
目的・趣旨	各医療機関が行う手術に欠かせない安全な血液が安定して供給されるよう、関係機関と連携して献血思想の普及啓発を行い、市民の献血に対する理解を深め、献血者の確保を図る。																			
事業・成果の概要等	○事業内容																			
	献血の受入れが円滑に実施されるよう、赤十字血液センターや献血推進連絡協議会、献血協力企業・団体と連携した。																			
	○事業実績・説明																			
	(1) 献血協力者数																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目標人数</th> <th>実績人数</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200ml献血</td> <td>35人</td> <td>22人</td> <td>62.9%</td> </tr> <tr> <td>400ml献血</td> <td>1,950人</td> <td>2,668人</td> <td>136.8%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,985人</td> <td>2,690人</td> <td>135.5%</td> </tr> </tbody> </table>				区分	目標人数	実績人数	達成率	200ml献血	35人	22人	62.9%	400ml献血	1,950人	2,668人	136.8%	計	1,985人	2,690人	135.5%
	区分	目標人数	実績人数	達成率																
	200ml献血	35人	22人	62.9%																
	400ml献血	1,950人	2,668人	136.8%																
	計	1,985人	2,690人	135.5%																
	(2) 献血会場数																			
・実会場数 53会場 延べ会場数 87会場																				
○評価・方向性																				
15地区の協会の等で組織する献血推進連絡協議会や企業・団体等の協力により、山形県献血推進計画の市町村別献血者確保目標を達成することができた。将来的に献血協力者の確保が困難になると予想されるため、400ml献血数の安定的な確保に向け、若年層を含めた一層の周知に努める。																				
評価指標 (単位)		目標	実績																	
年間献血者目標数 (人)		1,985	2,690																	
備考																				

款 項 目	4款 衛生費	1項 保健衛生費	3目 健康増進費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課		
事業名	健康増進事業					
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
159,127,000円	152,249,102円		0円	6,877,898円	95.7%	
目的・趣旨	健康増進事業法に基づく住民への保健事業として、4つの保健事業を実施するもので、生活習慣病予防とがん検診受診率（受診者数の増加）の向上を図る。					
事業・成果の概要等	○事業内容 40歳以上の中高齢者を対象に、健康教育、健康相談、健康診査、訪問指導を行った。					
	○事業実績・説明					
	(1) 健康教育	各地区の健康教室で生活習慣病の予防や健康増進に関する知識の普及を図った。				
	(2) 健康相談	心身の健康に関し、個別の相談に応じ、その指導と助言を行った。				
	(3) 健康診査	集団健診、個別健診、人間ドック等を実施した。				
	(4) 訪問指導	療養上の保健指導が必要な方に家庭訪問を実施した。				
	(5) 受診者数の実績と推移					
		平成28年度		平成29年度		平成30年度
	・健康教育	173回	5,697人	168回	4,083人	217回 3,916人
	・健康相談	200回	4,358人	180回	3,270人	191回 2,776人
・健康診査	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数 受診率	
胃がん検診	9,124人	31.5%	8,571人	30.2%	7,912人 28.5%	
大腸がん検診	13,876人	47.9%	13,738人	48.4%	13,497人 48.6%	
子宮がん検診	7,429人	38.8%	7,361人	39.8%	7,296人 40.7%	
乳がん検診	4,464人	25.6%	4,105人	22.7%	4,152人 23.7%	
肺がん検診	16,639人	57.5%	16,174人	57.0%	15,978人 57.5%	
前立腺がん検診	4,371人	38.0%	4,433人	39.0%	4,249人 38.1%	
肝炎ウイルス検診	1,282人	-	1,037人	-	1,031人 -	
歯周疾患検診	170人	3.0%	150人	2.4%	146人 2.4%	
・訪問指導	499人		512人		521人	
○評価・方向性 受診勧奨（健診申し込み、勧奨等）の見直しにより、胃、前立腺がん及び歯周疾患検診を除き、受診率は増加している。早期発見・早期治療により、市民の健康増進及び医療費や介護保険料の増加抑制を図るため、今後も受診率向上に向けた対策を検討していく。						
評価指標（単位）			目標	実績		
がん検診受診率（%）			50	39.5		
備考	○主な特定財源 健康増進事業費補助金（県）		4,814,000円			
	健康診査料徴収金		23,792,300円			

款 項 目	4款 衛生費	1項 保健衛生費	3目 健康増進費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課	
事業名	若年者健診事業				
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
7,782,000円	5,237,479円		0円	2,544,521円	67.3%
目的・趣旨	若年者の健診機会を確保することにより、若年期からの健康維持・増進への関心が高まり、生活習慣病等の予防が図られる。また、疾病の早期発見・早期治療により医療費の削減に寄与する。				
事業・成果の概要等	○事業内容 16歳以上40歳未満の若年者を対象に、年13回の基本健康診査を実施した。				
	○事業実績・説明				
	(1) 検診内容 問診、腹囲測定、身体計測、血圧、尿検査、代謝系検査（ヘモグロビンA1c、血糖）脂質検査、肝機能検査、貧血検査、心電図、眼底検査、骨粗しょう症検査（女性のみオプション）				
	(2) 受診者数等の実績と推移				
		対象者数	受診者数	受診率	
	平成28年度	3,269人	961人	29.4%	
	平成29年度	2,840人	802人	28.2%	
	平成30年度	2,573人	724人	28.1%	
	○評価・方向性 若い時期からの健康管理と健康診査に対する動機付けを行うことにより、生活習慣病等の予防が図られた。受診率については低下しているが、若年者の健康に対する関心高め、生活習慣病等の予防、疾病の早期発見・早期治療を図るため、データヘルス計画等に基づき取り組みを進めていく。				
	評価指標（単位）			目標	実績
若年者健診受診率（%）			30	28.1	
備考	○主な特定財源 若年者健康診査料徴収金		1,506,600円		

款 項 目	4款 衛生費	1項 保健衛生費	3目 健康増進費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課	
事業名	後期高齢者健診事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
46,080,000円	44,450,558円	0円	1,629,442円	96.5%	
目的・趣旨	山形県後期高齢者医療広域連合の委託を受け、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき後期高齢者（75歳以上）の健康診査を実施する。				
事業成果の概要等	○事業内容 75歳以上の高齢者を対象とする健康診査を実施した。				
	○事業実績・説明 (1) 検査内容 身体測定、内診、血圧測定、尿検査、血液検査、心電図、眼底検査など				
	(2) 受診者数等の実績と推移				
		対象者数	受診者数	受診率	
平成28年度	18,537人	5,203人	28.1%		
平成29年度	18,925人	5,272人	27.9%		
平成30年度	18,861人	5,402人	28.6%		
○評価・方向性 健康診査を通して、生活習慣病等の予防及び疾病の早期発見・早期治療により高齢者の健康増進が図られた。今後も生活習慣病等の予防及び疾病の早期発見・早期治療に向け、受診勧奨を行いながら、高齢者の健康増進を図っていく。					
評価指標（単位）		目標	実績		
後期高齢者健診受診率（%）		25	28.6		
備考	○主な特定財源 後期高齢者健診委託金 46,365,812円				

款 項 目	4款 衛生費	1項 保健衛生費	3目 健康増進費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課					
事業名	女性特有のがん検診推進事業								
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①					
11,697,000円	10,656,086円	0円	1,040,914円	91.1%					
目的・趣旨	特定の年齢に達した女性に子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券を送付し、検診受診の促進、がんの早期発見・早期治療を図る。								
事業成果の概要等	○事業内容 子宮頸がん検診については、21歳から41歳までの5歳刻みの年齢の女性に、乳がん検診については、41歳から61歳までの5歳刻みの年齢の女性に、がん検診無料クーポン券を送付し、検診受診の促進を図った。								
	○事業実績・説明 (1) 子宮頸がん検診受診者数の推移 (単位：人、%)								
		平成28年度		平成29年度		平成30年度			
	年齢	クーポン券 発行数	受診者 数	受診率	クーポン券 発行数	受診者 数	受診率	クーポン券 発行数	受診者 数
21歳	377	30	8.0	363	27	7.4	329	29	8.8
26歳	346	66	19.1	343	65	19.0	343	67	19.5
31歳	462	136	29.4	454	106	23.3	394	95	24.1
36歳	561	164	29.2	515	152	29.5	527	137	26.0
41歳	647	233	36.0	592	208	35.1	638	217	34.0
合計	2,393	629	26.3	2,267	558	24.6	2,231	545	24.4
(2) 乳がん検診受診者数の推移 (単位：人、%)									
	平成28年度		平成29年度		平成30年度				
年齢	クーポン券 発行数	受診者 数	受診率	クーポン券 発行数	受診者 数	受診率	クーポン券 発行数	受診者 数	受診率
41歳	647	208	32.1	592	178	30.1	638	198	31.0
46歳	645	159	24.7	673	171	25.4	698	170	24.4
51歳	646	192	29.7	600	153	25.5	618	195	31.6
56歳	711	228	32.1	697	190	27.3	671	199	29.7
61歳	820	328	40.0	772	274	35.5	731	295	40.4
合計	3,469	1,115	32.1	3,334	966	29.0	3,356	1,057	31.5
○評価・方向性 子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券の発行により、乳がん検診は昨年よりも検診受診の促進が図られた。また、子宮頸がん検診も受診率の大幅の低下は見られなかった。5歳刻みで10年間実施したことにより、市民の全年代へ検査機会が提供され、一定の効果を得たことから、今後は対象年齢を見直し、受診率のさらなる向上に向け、がんの早期発見や正しい健康意識の普及啓発を実施するとともに、受診勧奨や再勧奨により、がんによる死亡の減少と健康増進を図っていく。									
評価指標（単位）		目標	実績						
子宮頸がん検診受診率（%）		50	24.4						
乳がん検診受診率（%）			31.5						
備考	○主な特定財源 女性特有のがん検診推進事業費補助金（国） 797,000円								

款 項 目	4款 衛生費	1項 保健衛生費	3目 健康増進費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課			
事業名	働きざかりのがん検診推進事業						
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①			
15,334,000円	12,718,071円	0円	2,615,929円	82.9%			
目的・趣旨	特定の年齢に達した住民に胃がん・大腸がん検診の無料クーポン券を送付し、検診受診の促進、がんの早期発見・早期治療を図る。						
事業・成果の概要等	○事業内容 41歳から71歳までの5歳刻みの年齢の市民に、胃がん及び大腸がん検診の無料クーポン券を送付し、検診受診の促進を図った。						
	○事業実績・説明						
	(1) 胃がん検診受診者数の推移 (単位：枚、人、%)						
	年齢	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		クーポン券 発行数	受診者 数	受診率	クーポン券 発行数	受診者 数	受診率
	41歳	1,330	140	10.5	1,323	116	8.8
	46歳	1,239	126	10.2	1,370	139	10.1
	51歳	1,239	139	11.2	1,209	94	7.8
	56歳	1,363	192	14.1	1,374	171	12.4
	61歳	1,623	368	22.7	1,479	275	18.6
66歳	1,980	624	31.5	1,830	507	27.7	
71歳	1,110	302	27.2	1,588	441	27.8	
合計	9,884	1,891	19.1	10,173	1,743	17.1	
				10,576	1,718	16.2	
(2) 大腸がん検診受診者数の推移 (単位：枚、人、%)							
年齢	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
	クーポン券 発行数	受診者 数	受診率	クーポン券 発行数	受診者 数	受診率	
41歳	1,330	136	10.2	1,323	114	8.6	
46歳	1,239	118	9.5	1,370	137	10.0	
51歳	1,239	147	11.9	1,209	104	8.6	
56歳	1,363	225	16.5	1,374	194	14.1	
61歳	1,623	446	27.5	1,479	347	23.5	
66歳	1,980	795	40.2	1,830	701	38.3	
71歳	1,110	421	37.9	1,588	649	40.9	
合計	9,884	2,288	23.1	10,173	2,246	22.1	
				10,576	2,317	21.9	
○評価・方向性							
胃・大腸がん検診の無料クーポン券の発行により、検診受診の促進を図ったが昨年度よりも受診率は低下した。今後は無料クーポンの発行による受診率向上から、がんの早期発見や正しい健康意識の普及啓発活動、受診勧奨や再勧奨等の強化による受診率向上に取組みを移し、がんによる死亡の減少と健康増進を図っていく。							
評価指標 (単位)			目標	実績			
胃がん検診受診率 (%)			50	16.2			
大腸がん検診受診率 (%)				21.9			
備考							

款 項 目	4款 衛生費	1項 保健衛生費	3目 健康増進費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課			
事業名	ピロリ菌検査 (胃がんリスク評価検査) 事業						
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①			
3,882,000円	2,034,496円	0円	1,847,504円	52.4%			
目的・趣旨	胃がんの主な原因であるピロリ菌の有無を検査し、その除菌を促進することで胃がんや胃潰瘍等の予防につなげ、市民の健康増進及び医療費の抑制を図る。						
事業・成果の概要等	○事業内容 (1) 酒田市のがん検診事業の胃がん検診 (胃バリウム検査) にピロリ菌検査を加え、セット検診として実施した。 (2) 41歳から71歳までの5歳刻みの方に無料クーポン券を送付し、胃バリウム検査とセットでの受診を促した。						
	○事業実績・説明						
	ピロリ菌検査受診者数の実績と推移 (単位：枚、人、%)						
	年齢	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		クーポン券 発行数	受診者 数	受診率	クーポン券 発行数	受診者 数	受診率
	41歳	1,330	128	9.6	1,320	106	8.0
	46歳	1,239	110	8.9	1,354	112	8.3
	51歳	1,239	117	9.4	1,199	85	7.1
	56歳	1,363	157	11.5	1,355	132	9.7
	61歳	1,623	284	17.5	1,445	198	13.7
66歳	1,980	448	22.6	1,754	334	19.0	
71歳	1,110	232	20.9	1,518	264	17.4	
合計	9,884	1,476	14.9	9,945	1,231	12.4	
				10,576	1,084	10.2	
○評価・方向性							
ピロリ菌検査無料クーポン券を発行することにより検診受診が促進され、ピロリ菌除菌の促進が図られた。5歳刻みで5年間実施したことにより、市民の全年代へ検査機会が提供され、一定の効果を得たことから、今後はクーポン対象年齢を41歳としながら、事業の一層の周知に努め、胃がんや胃潰瘍等の予防につなげるとともに、市民の健康増進を図っていく。							
評価指標 (単位)			目標	実績			
ピロリ菌検査受診率 (%)			50	10.2			
備考							

款 項 目	4款 衛生費	1項 保健衛生費	3目 健康増進費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課								
事業名	がん患者用ウィッグ購入費助成事業											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①								
1,192,000円	791,100円	0円	400,900円	66.4%								
目的・趣旨	がん患者の療養生活の質の向上を図るため、がん治療に伴う外見の悩みに対して支援する目的で、医療用ウィッグを購入した場合、その経費の一部を助成する。											
事業成果の概要等	<p>○事業内容 山形県がん患者医療用ウィッグ購入費助成事業実施要綱に準じて実施する。酒田市在住の医療用ウィッグを購入したがん患者に対し、2万円または購入経費の1/2の額のいずれか低い金額を助成した。</p> <p>○事業実績・説明 助成者数の実績と推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>助成者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>40人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 ウィッグ購入費を助成することにより、がん患者の治療と就労等の社会生活の両立及び抗がん剤治療による外見の悩みや経済的負担の軽減が図られた。目標は達成できなかったものの、事業に対するニーズは高いといえるので、今後も制度の周知に努め、利用促進を図っていく。</p>					助成者数	平成28年度	50人	平成29年度	49人	平成30年度	40人
		助成者数										
	平成28年度	50人										
平成29年度	49人											
平成30年度	40人											
	評価指標（単位）	目標	実績									
	ウィッグ助成金の受給者数（人）	59	40									
備考	○主な特定財源 がん患者医療用ウィッグ購入費助成事業費補助金（県） 395,000円											

款 項 目	4款 衛生費	1項 保健衛生費	5目 診療所費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課																		
事業名	診療所管理運営事業																					
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																		
34,360,000円	32,702,674円	0円	1,657,326円	95.2%																		
目的・趣旨	地域の一次医療としての役割を果たすため、酒田市休日診療所を運営し、市民の初期救急医療の確保と充実を図る。また、日本海八幡クリニック、飛鳥診療所、及び松山診療所の施設管理に係る経費の一部を負担する。																					
事業成果の概要等	<p>○事業内容 (1) 酒田地区医師会十全堂及び酒田地区薬剤師会の協力を得て、酒田市休日診療所の運営を行った。 ・診療科目 小児科、内科、外科 ・医師等 医師2名（小児科1名、内科・外科1名） 薬剤師2名、看護師3名、事務員2名 ・調剤 院内処方 ・診療日 日曜日、祝日、12月31日から1月3日 ・診療時間 午前9時～午後5時 (2) 日本海八幡クリニック、飛鳥診療所及び松山診療所における市所有部分の施設管理に伴う経費を負担した。</p> <p>○事業実績・説明 ・休日診療所利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">患者数</th> <th rowspan="2">診療日数</th> </tr> <tr> <th>来診人数</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>4,504人</td> <td>64.3人</td> <td>70日</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>4,718人</td> <td>67.4人</td> <td>70日</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>4,355人</td> <td>60.5人</td> <td>72日</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 休日診療所を運営することにより、休日及び年末年始等における一次医療及び初期救急医療体制が図られた。また、日本海八幡クリニック、飛鳥診療所及び松山診療所の施設管理に係る経費の一部を負担することにより、それぞれの地域医療の確保が図られた。今後も持続可能な地域医療体制の整備を図っていく。</p>				年度	患者数		診療日数	来診人数	1日平均	平成28年度	4,504人	64.3人	70日	平成29年度	4,718人	67.4人	70日	平成30年度	4,355人	60.5人	72日
	年度	患者数		診療日数																		
		来診人数	1日平均																			
平成28年度	4,504人	64.3人	70日																			
平成29年度	4,718人	67.4人	70日																			
平成30年度	4,355人	60.5人	72日																			
	評価指標（単位）	目標	実績																			
	診療所開設率（%）	100	100																			
備考	○主な特定財源 診療所使用料 45,576,161円																					

款 項 目	4款 衛生費	4項 病院費	1目 病院費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課
事 業 名	山形県・酒田市病院機構評価委員会運営事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
528,000円	175,837円	0円	352,163円	33.3%
目的・趣旨	<p>県と市が定める中期目標や、病院機構が作成する中期計画、業務実績を評価し、必要に応じて改善勧告等を行う機関として、地方独立行政法人法に基づき県と市が共同で設置、運営する。</p>			
事業概要等	<p>○事業内容 平成30年度は、平成29年度の業務実績評価と決算報告・財務諸表について評価委員会からの意見聴取を行った。 また、第3期中期計画（平成28年度～31年度）の変更にあたり、評価委員会からの意見聴取を行った。</p> <p>○事業実績・説明 （1）開催回数 2回 （2）内容 第1回 財務諸表等、平成29年度業務実績の評価 ・開催日 平成30年11月8日 ・開催場所 山形県自治会館 ・出席者 評価委員 4名 ・財務諸表等に関しては、承認することが妥当であると評価された。 ・平成29年度業務実績については、総合的には「非常に優れている」と評価された。</p> <p>第2回 第3期中期計画の変更 ・開催日 平成31年1月16日（書面決議） ・第3期中期計画の変更については、案のとおり認可することが妥当であると評価された。</p> <p>○評価・方向性 地方独立行政法人法第11条に基づき、医療や経営に関し識見を有する委員から、病院機構の業務実績、財務諸表等、中期目標・中期計画の変更等について、客観的かつ中立公正な評価をいただくことができた。今後も、適正な評価を継続し、安定的な病院運営につながるよう機能を果たしていく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	開催回数（回）		1	2
備考	○主な特定財源 山形県・酒田市病院機構評価委員会負担金（県） 87,919円			

款 項 目	4款 衛生費	4項 病院費	1目 病院費	= 予算所属 = 健康福祉部健康課
事 業 名	地方独立行政法人病院事業運営費負担事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
2,616,244,000円	2,614,308,000円	0円	1,936,000円	99.9%
目的・趣旨	<p>地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の健全な運営を図るため、地方独立行政法人法に基づきその事業経費の一部を負担する。</p>			
事業概要等	<p>○事業内容 地方独立行政法人法に基づき、事業経費の一部に対して負担、出資及び貸付けを行った。</p> <p>○事業実績・説明 （1）地方独立行政法人病院事業運営費交付金 1,218,394,000円 法人が実施する病院事業に対し、地方独立行政法人法第85条の規定により、事業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費等について、設立団体として運営費交付金を負担した。</p> <p>（2）地方独立行政法人病院事業長期貸付金 687,800,000円 設立団体以外からの長期借入ができない地方独立行政法人に対し、法人が実施する施設整備や医療器械の更新等の建設改良事業について、市が市債を発行して貸付けした。</p> <p>（3）出資金 708,114,000円 平成30年4月の移管統合に伴い、山形県・酒田市病院機構へ移籍する職員の退職給与引当金及び賞与引当金相当額、並びに日本海八幡クリニック、松山診療所及び飛鳥診療所等への運営資金として出資した。</p> <p>○評価・方向性 運営費交付金等により病院事業の安定経営及び施設機能の充実と患者環境の整備が行われ、地域医療の確保、充実が図られている。地方独立行政法人法に基づき設置している評価委員会からも、病院機構の業務実績は非常に優れているものと評価されており、今後も県とともに継続して負担していく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	経常収支比率（%）		100	103.4
備考	○主な特定財源 地方独立行政法人病院転貸債（市債） 687,800,000円			

款 項 目	4款 衛生費	4項 病院費	1目 病院費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部健康課																																																																																																																																																		
事 業 名	夜間診療事業																																																																																																																																																					
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																																																																																																		
17,200,000円	17,200,000円	0円	0円	100.0%																																																																																																																																																		
目 的・趣 旨	日本海総合病院救急外来において、平日夜間は酒田地区医師会十全堂が医師を派遣し、また休日夜間は、日本海総合病院が直接行う初期救急医療に対して、その経費の一部を負担することで、市民の初期救急医療の確保・充実に図る。																																																																																																																																																					
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 日本海総合病院が、酒田地区医師会十全堂の協力を得て実施する夜間の初期救急医療に対して、その経費の一部を負担した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 医師会の協力による平日夜間診療 ・診療日 月曜日～土曜日（祝日及び12月31日～1月3日を除く） ・診療時間 午後7時～午後10時 ・平日夜間診療患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開所実日数(日)</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>293</td> </tr> <tr> <td>成人系</td> <td colspan="13"></td> </tr> <tr> <td>診療実日数(日)</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>254</td> </tr> <tr> <td>患者数(人)</td> <td>41</td> <td>45</td> <td>55</td> <td>51</td> <td>44</td> <td>41</td> <td>40</td> <td>39</td> <td>36</td> <td>118</td> <td>70</td> <td>47</td> <td>627</td> </tr> <tr> <td>小児系</td> <td colspan="13"></td> </tr> <tr> <td>診療実日数(日)</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>293</td> </tr> <tr> <td>うち応援医師</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>うち病院医師</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>14</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>197</td> </tr> <tr> <td>患者数(人)</td> <td>29</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>27</td> <td>37</td> <td>26</td> <td>14</td> <td>25</td> <td>12</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>24</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>※応援医師・・・酒田地区医師会十全堂からの応援医師（成人系は応援医師のみ） ※病院医師・・・日本海総合病院医師</p> <p>(2) 日本海総合病院が行う休日夜間診療 ・診療日 休日（日曜日、祝日及び12月31日～1月3日） ・診療日 午後6時～午後9時 ・終日の救急外来患者数に含まれるため、夜間診療のみの患者数は集計できない</p> <p>○評価・方向性 夜間における初期救急医療体制の確保が図られた。今後も地区医師会及び病院機構と連携し、持続可能な地域医療体制の整備を図っていく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療実施率（%）</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>				月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	開所実日数(日)	24	24	26	25	26	23	26	24	24	23	23	25	293	成人系														診療実日数(日)	21	22	23	21	20	20	22	21	22	21	20	21	254	患者数(人)	41	45	55	51	44	41	40	39	36	118	70	47	627	小児系														診療実日数(日)	24	24	26	25	26	23	26	24	24	23	23	25	293	うち応援医師	10	10	10	8	8	9	8	7	5	7	7	7	96	うち病院医師	14	14	16	17	18	14	18	17	19	16	16	18	197	患者数(人)	29	31	31	27	37	26	14	25	12	23	21	24	300	評価指標（単位）	目標	実績	診療実施率（%）	100	100
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計																																																																																																																																									
開所実日数(日)	24	24	26	25	26	23	26	24	24	23	23	25	293																																																																																																																																									
成人系																																																																																																																																																						
診療実日数(日)	21	22	23	21	20	20	22	21	22	21	20	21	254																																																																																																																																									
患者数(人)	41	45	55	51	44	41	40	39	36	118	70	47	627																																																																																																																																									
小児系																																																																																																																																																						
診療実日数(日)	24	24	26	25	26	23	26	24	24	23	23	25	293																																																																																																																																									
うち応援医師	10	10	10	8	8	9	8	7	5	7	7	7	96																																																																																																																																									
うち病院医師	14	14	16	17	18	14	18	17	19	16	16	18	197																																																																																																																																									
患者数(人)	29	31	31	27	37	26	14	25	12	23	21	24	300																																																																																																																																									
評価指標（単位）	目標	実績																																																																																																																																																				
診療実施率（%）	100	100																																																																																																																																																				
備 考																																																																																																																																																						

款 項 目	4款 衛生費	1項 保健衛生費	4目 看護学校費	= 予 算 所 属 = 健康福祉部酒田看護専門学校																				
事 業 名	看護専門学校管理運営事業																							
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																				
108,657,000円	107,340,388円	0円	1,316,612円	98.8%																				
目 的・趣 旨	開校9年目となる市立酒田看護専門学校の管理運営を行い、地域医療の担い手となる看護人材を持続的に育成・輩出し、地域の安心安全に寄与する。																							
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 専門職業人として自立した看護人材の育成と確保をめざし、教育の質の向上、教育環境の整備、入学生数の確保及び国家試験全員合格に向けての対策事業を実施した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 適正な教育環境整備を図りながら、1年生29名、2年生29名、3年生31名の看護師養成教育を行った。 (2) 年次計画に基づき教材備品等を購入し、スムーズな学校管理運営を行った。 ・教材備品購入費 543,564円 ・図書購入費 844,833円 (3) 学校訪問等の活動を行い、学生の募集に努めた。 ・6～7月 市広報及び市ホームページに学生募集要項を掲載 県内及び由利本荘市以南の高等学校74校に募集要項を送付 ・7～8月 オープンキャンパスの開催（4回） (4) 平成31年度入学者選考試験の結果 ・受験者数 43名（内推薦入試 11名 一般入試 32名） ・合格者数 25名（内推薦入試 8名 一般入試 17名） (5) 平成30年度卒業生の看護師国家試験の結果 ・受験者数 26名 ・合格者数 26名（合格率 100.0% 県内 94.2% 全国 89.3%） (6) 平成30年度卒業生の進路状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">山形県内</th> <th rowspan="2">県外</th> </tr> <tr> <th>酒田市内</th> <th>市外</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14名</td> <td>7名</td> <td></td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・14名が市内の医療機関へ就職</p> <p>○評価・方向性 本校卒業生の看護師国家試験合格率が全国と山形県を上回った。今後も合格率100%を目指すと共に、学校訪問やオープンキャンパス等の開催により学生募集に努め、優秀な看護師を養成し、より多くの卒業生の地元定着を図っていく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学生の定員確保数（人）</td> <td>①30</td> <td>①25</td> </tr> <tr> <td>②看護師国家試験全員合格者数（人）</td> <td>②32</td> <td>②26</td> </tr> </tbody> </table>				山形県内			県外	酒田市内	市外		14名	7名		5名	評価指標（単位）	目標	実績	①学生の定員確保数（人）	①30	①25	②看護師国家試験全員合格者数（人）	②32	②26
山形県内			県外																					
酒田市内	市外																							
14名	7名		5名																					
評価指標（単位）	目標	実績																						
①学生の定員確保数（人）	①30	①25																						
②看護師国家試験全員合格者数（人）	②32	②26																						
備 考	○主な特定財源 授業料 14,346,000円 受検料 430,000円 入学金 1,900,000円																							

款 項 目	5款 労働費	1項 労働諸費	1目 労働諸費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課																				
事業名	高校生就職支援事業																							
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																				
1,208,000円	1,207,249円	0円	751円	99.9%																				
目的・趣旨	市内高校生の就職意識向上と早期離職防止等を目的に、各進路指導に応じたセミナー等を開催するとともに、技能検定試験・資格等に向けて実施する実技訓練に必要な消耗品の購入を支援することで試験の合格率を高め、高い技術を持った人材を育成する。																							
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 市内高等学校と連携して、高校生を対象に就職セミナーや面接指導を実施した。</p> <p>(2) 酒田光陵高等学校工業科に対して、技能検定講座の材料費を支援した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) ハローワーク酒田管内 新規高卒就職者の職業紹介状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>就職内定者数</th> <th>就職内定率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>355人</td> <td>99.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) セミナー開催日数、受講生徒数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>セミナー日数</th> <th>受講生徒数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>8日</td> <td>635人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 酒田光陵高等学校工業科の技能検定合格者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>技能検定 受験者数</th> <th>技能検定 合格者数</th> <th>合格率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>261人</td> <td>167人</td> <td>64.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>ハローワーク酒田管内における新規高卒就職者の就職内定率は、3年連続で99%を上回っていることやハローワークが類似事業を実施していることなどから、各進路指導に応じたセミナー等は平成30年度をもって終了した。今後は市内企業の求める高い技術を持った人材育成を目的として、高校生の技能検定合格に向け、必要な消耗品の購入支援を継続実施していく。</p>				年 度	就職内定者数	就職内定率	平成30年度	355人	99.7%	年 度	セミナー日数	受講生徒数	平成30年度	8日	635人	年 度	技能検定 受験者数	技能検定 合格者数	合格率	平成30年度	261人	167人	64.0%
年 度	就職内定者数	就職内定率																						
平成30年度	355人	99.7%																						
年 度	セミナー日数	受講生徒数																						
平成30年度	8日	635人																						
年 度	技能検定 受験者数	技能検定 合格者数	合格率																					
平成30年度	261人	167人	64.0%																					
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規高卒者就職内定率（%）</td> <td>100</td> <td>99.7</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	新規高卒者就職内定率（%）	100	99.7														
評価指標（単位）	目標	実績																						
新規高卒者就職内定率（%）	100	99.7																						
備考																								

款 項 目	5款 労働費	1項 労働諸費	1目 労働諸費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課																																								
事業名	酒田市雇用創造協議会活動負担事業																																											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																								
24,260,000円	24,260,000円	0円	0円	100.0%																																								
目的・趣旨	実践型地域雇用創造事業を厚生労働省から受託し、人材育成や地域資源を活用した商品開発等に取り組む酒田市雇用創造協議会に対し、委託費入金までの事業費及び協議会が独自で行う新規学卒者を対象とした人材育成等の活動経費を負担する。																																											
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 実践型地域雇用創造事業（厚生労働省より受託） 国から委託費が入金されるまでの事業経費を立て替えるため、負担金を交付した。 （年度末に同額を市に返戻）</p> <p>(2) 新規学卒者支援事業（市負担金事業） 実践型地域雇用創造事業の対象外となる新規学卒者を対象に、地元企業について理解を深めるための会社見学会を実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 実践型地域雇用創造事業（厚生労働省より受託） 23,260,000円 雇用拡大を目的とした事業主向けのセミナー、求職者のスキルアップを目的とした人材育成セミナー、地域の資源を活用した商品開発など、新たな雇用創出を目的とした各種事業を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>回数</th> <th>アウトプット※</th> <th>アウトカム※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雇用拡大メニュー（事業主等対象セミナー）</td> <td>16回</td> <td>388社</td> <td>155人</td> </tr> <tr> <td>人材育成メニュー（求職者等対象セミナー）</td> <td>34回</td> <td>563人</td> <td>84人</td> </tr> <tr> <td>就職促進メニュー（合同企業面接会）</td> <td>1回</td> <td>37人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>インバウンド観光受入態勢整備</td> <td colspan="3">2コース×5言語のモデルコースマップ制作 おもてなしマニュアルの制作 プロモーション映像制作</td> </tr> <tr> <td>地域の資源を活用した商品開発</td> <td colspan="3">新商品8品を公開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※アウトプット：セミナーに参加した企業の数又は求職者等の人数 ※アウトカム：アウトプット対象者のうち就職者数又は起業者数</p> <p>(2) 新規学卒者支援事業（市負担金事業） 1,000,000円 新規学卒者が地元企業への理解を深め、地元就職を促進するため、地元企業を見学するツアーを実施した。また、国委託費の対象外経費を支出した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者</th> <th>参加人数</th> <th>見学企業数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年9月18日</td> <td>産業技術短期大学校庄内校1年生</td> <td>11人</td> <td>2社</td> </tr> <tr> <td>平成30年9月27日</td> <td>産業技術短期大学校庄内校1年生</td> <td>22人</td> <td>3社</td> </tr> <tr> <td>平成30年11月8日</td> <td>市内の見学希望者</td> <td>10人</td> <td>3社</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>平成28年度から平成30年度までの間、実践型地域雇用創造事業（厚生労働省）を受託している酒田市雇用創造協議会を支援し、雇用創出及び新規学卒者の地元定着に効果があった。当該事業は平成30年度末をもって委託期間を満了したが、引き続き地域雇用活性化推進事業（厚生労働省）の受託を目指し、地域の雇用改善を図る。</p>				事業内容	回数	アウトプット※	アウトカム※	雇用拡大メニュー（事業主等対象セミナー）	16回	388社	155人	人材育成メニュー（求職者等対象セミナー）	34回	563人	84人	就職促進メニュー（合同企業面接会）	1回	37人	6人	インバウンド観光受入態勢整備	2コース×5言語のモデルコースマップ制作 おもてなしマニュアルの制作 プロモーション映像制作			地域の資源を活用した商品開発	新商品8品を公開			開催日	参加者	参加人数	見学企業数	平成30年9月18日	産業技術短期大学校庄内校1年生	11人	2社	平成30年9月27日	産業技術短期大学校庄内校1年生	22人	3社	平成30年11月8日	市内の見学希望者	10人	3社
事業内容	回数	アウトプット※	アウトカム※																																									
雇用拡大メニュー（事業主等対象セミナー）	16回	388社	155人																																									
人材育成メニュー（求職者等対象セミナー）	34回	563人	84人																																									
就職促進メニュー（合同企業面接会）	1回	37人	6人																																									
インバウンド観光受入態勢整備	2コース×5言語のモデルコースマップ制作 おもてなしマニュアルの制作 プロモーション映像制作																																											
地域の資源を活用した商品開発	新商品8品を公開																																											
開催日	参加者	参加人数	見学企業数																																									
平成30年9月18日	産業技術短期大学校庄内校1年生	11人	2社																																									
平成30年9月27日	産業技術短期大学校庄内校1年生	22人	3社																																									
平成30年11月8日	市内の見学希望者	10人	3社																																									
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セミナー受講等による雇用・就職・起業者数（人）</td> <td>82</td> <td>245</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	セミナー受講等による雇用・就職・起業者数（人）	82	245																																		
評価指標（単位）	目標	実績																																										
セミナー受講等による雇用・就職・起業者数（人）	82	245																																										
備考	○主な特定財源 酒田市雇用創造協議会活動負担事業返戻金 23,260,000円																																											

款 項 目	5款 労働費	1項 労働諸費	1目 労働諸費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課																																																																						
事業名	若者地元就職促進事業																																																																									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																						
1,700,000円	1,617,978円	0円	82,022円	95.2%																																																																						
目的・趣旨	<p>高校生、進路指導教諭及びPTA等が就職活動前に市内企業の見学を行い、若手社員との懇談等を通して市内企業の理解を深めることによって、市内企業への就職を促進するとともに雇用のミスマッチの解消に寄与する。</p>																																																																									
事業成果の概要等	<p>○事業内容及び事業実績・説明 (1) 企業見学ツアーの実施 市内高校生、保護者、教諭を対象とした市内企業見学ツアーを実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>実施日</th> <th>学科・学年</th> <th>人数</th> <th>企業数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">酒田光陵高等学校</td> <td rowspan="7">平成30年7月4日</td> <td rowspan="2">普通科 2年生</td> <td>41</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">商業科 2年生</td> <td>39</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>平成30年9月26日</td> <td>機械科 2年生</td> <td>33</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>平成30年10月26日</td> <td>環境技術科 2年生</td> <td>40</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>平成30年11月6日</td> <td>情報科 2年生</td> <td>42</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>平成30年11月7日</td> <td>エネルギー技術科 1年生</td> <td>40</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>平成30年11月29日</td> <td>電子機械科 2年生</td> <td>40</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>酒田西高等学校</td> <td>平成30年10月1日</td> <td>保護者</td> <td>13</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">酒田南高等学校</td> <td rowspan="3">平成31年2月26日</td> <td>食育調理科 2年生</td> <td>25</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>商業科 2年生</td> <td>19</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普通科 2年生</td> <td>44</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>455</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 「酒田ジョブガイド」の発行 市広報連載の市内企業紹介記事を冊子化し、庄内北部定住自立圏内の高校生等に約1,500部配布した。</p> <p>(3) 地元企業個別訪問の実施 高校生が個別に訪問可能な企業119社をリスト化し、庄内北部定住自立圏内の各高校に対して情報提供を行った。</p> <p>○評価・方向性 平成30年度における新規高卒就職者の県内就職率は前年度を上回っている。毎年度の着実な事業実施により、地元企業への理解が深められ、県内就職率向上に寄与しているものと考えられる。また事業に対する高等学校のニーズも高いため、引き続き事業を継続し、高校生の地元就職促進に取り組んでいく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業見学ツアーの参加者数（人）</td> <td>450</td> <td>455</td> </tr> </tbody> </table>				学校名	実施日	学科・学年	人数	企業数	酒田光陵高等学校	平成30年7月4日	普通科 2年生	41	2	18	3	商業科 2年生	39	6	7	3	12	3	18	3	24	3	平成30年9月26日	機械科 2年生	33	4	平成30年10月26日	環境技術科 2年生	40	3	平成30年11月6日	情報科 2年生	42	2	平成30年11月7日	エネルギー技術科 1年生	40	3	平成30年11月29日	電子機械科 2年生	40	3	酒田西高等学校	平成30年10月1日	保護者	13	3	酒田南高等学校	平成31年2月26日	食育調理科 2年生	25	3	商業科 2年生	19	3	普通科 2年生	44	3	合計			455	50	評価指標（単位）	目標	実績	企業見学ツアーの参加者数（人）	450	455
	学校名	実施日	学科・学年	人数	企業数																																																																					
	酒田光陵高等学校	平成30年7月4日	普通科 2年生	41	2																																																																					
				18	3																																																																					
			商業科 2年生	39	6																																																																					
				7	3																																																																					
			12	3																																																																						
			18	3																																																																						
			24	3																																																																						
		平成30年9月26日	機械科 2年生	33	4																																																																					
		平成30年10月26日	環境技術科 2年生	40	3																																																																					
		平成30年11月6日	情報科 2年生	42	2																																																																					
		平成30年11月7日	エネルギー技術科 1年生	40	3																																																																					
		平成30年11月29日	電子機械科 2年生	40	3																																																																					
		酒田西高等学校	平成30年10月1日	保護者	13	3																																																																				
	酒田南高等学校	平成31年2月26日	食育調理科 2年生	25	3																																																																					
商業科 2年生			19	3																																																																						
普通科 2年生			44	3																																																																						
合計			455	50																																																																						
評価指標（単位）	目標	実績																																																																								
企業見学ツアーの参加者数（人）	450	455																																																																								
備考																																																																										

款 項 目	5款 労働費	1項 労働諸費	1目 労働諸費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課																																																
事業名	酒田市シニア雇用創造協議会活動負担事業																																																			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																
4,852,000円	4,852,000円	0円	0円	100.0%																																																
目的・趣旨	<p>高齢者の雇用・就業促進を目的とする生涯現役促進地域連携事業を厚生労働省から受託し、高齢者の多様な就業機会の確保に取り組む酒田市シニア雇用創造協議会に対し、委託費入金までの事業費及び協議会が独自に行う事業費を負担する。</p>																																																			
事業成果の概要等	<p>○事業内容及び事業実績・説明 (1) 生涯現役促進地域連携事業（厚生労働省より受託） 4,352,000円 ・地域連携ネットワーク支援メニュー 市内企業を訪問しシニアでもできる仕事の切り出しやシニア求人の開拓を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成30年度</th> <th>企業訪問数</th> <th>シニア世代歓迎求人開拓数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>40社</td> <td>32社</td> </tr> </tbody> </table> <p>・事業主支援メニュー 各企業へ出張し、退職後の生涯設計に必要な年金・保険制度や再就職・再雇用をテーマとしたセミナーを実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成30年度</th> <th>セミナー実施企業数</th> <th>満足度90%以上の企業数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>2社</td> <td>2社</td> </tr> </tbody> </table> <p>・高齢者支援メニュー（55歳以上の求職者対象） 「健康増進」をテーマとしたセミナーや、介護・農業等の体験型セミナーによる実践的な就労支援を行った。さらに、求人開拓で成果が上がった業種に特化した就労セミナーを開催し就労の機会を提供した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成30年度</th> <th>セミナー参加者数</th> <th>満足度90%以上の参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>122人</td> <td>117人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・マッチング支援メニュー 協議会事務所内に高齢者の就労相談窓口を開設した。また、高齢者向けの合同企業説明会を開催し、高齢者・事業主双方のマッチングを支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成30年度</th> <th>就労相談</th> <th>相談者数</th> <th>相談後の雇用・就業者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>101人</td> <td>63人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成30年度</th> <th>企業説明会</th> <th>参加企業数</th> <th>参加人数</th> <th>参加者の雇用・就業者数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>13社</td> <td>51人</td> <td>5人（3社）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 高齢者就業促進事業（市負担金事業） 500,000円 高齢者の就業を促進するため、パソコン入門セミナーを開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成30年度</th> <th>セミナー参加者数</th> <th>満足度90%以上の参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>16人</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 各種支援メニュー等を実施することにより、高齢者の就業機会の確保に貢献している。引き続き、生涯現役促進地域連携事業（厚生労働省）を受託している酒田市シニア雇用創造協議会を支援し、高齢者の就労支援を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マッチング支援メニューによる就業者数（人）</td> <td>22</td> <td>68</td> </tr> </tbody> </table>				平成30年度	企業訪問数	シニア世代歓迎求人開拓数		40社	32社	平成30年度	セミナー実施企業数	満足度90%以上の企業数		2社	2社	平成30年度	セミナー参加者数	満足度90%以上の参加者数		122人	117人	平成30年度	就労相談	相談者数	相談後の雇用・就業者数			101人	63人	平成30年度	企業説明会	参加企業数	参加人数	参加者の雇用・就業者数等			13社	51人	5人（3社）	平成30年度	セミナー参加者数	満足度90%以上の参加者数		16人	15人	評価指標（単位）	目標	実績	マッチング支援メニューによる就業者数（人）	22	68
	平成30年度	企業訪問数	シニア世代歓迎求人開拓数																																																	
		40社	32社																																																	
	平成30年度	セミナー実施企業数	満足度90%以上の企業数																																																	
		2社	2社																																																	
	平成30年度	セミナー参加者数	満足度90%以上の参加者数																																																	
		122人	117人																																																	
	平成30年度	就労相談	相談者数	相談後の雇用・就業者数																																																
			101人	63人																																																
	平成30年度	企業説明会	参加企業数	参加人数	参加者の雇用・就業者数等																																															
			13社	51人	5人（3社）																																															
	平成30年度	セミナー参加者数	満足度90%以上の参加者数																																																	
		16人	15人																																																	
	評価指標（単位）	目標	実績																																																	
	マッチング支援メニューによる就業者数（人）	22	68																																																	
	備考	<p>○主な特定財源 酒田市シニア雇用創造協議会活動負担事業返戻金 4,352,000円</p>																																																		

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	3目 農業振興費	= 予算所屬 = 農林水産部農政課												
事業名	都市農村交流事業															
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①												
4,487,000円	3,289,617円	0円	1,197,383円	73.3%												
目的・趣旨	首都圏での販売促進活動による酒田産農産物のPRのほか、酒田ファームステイやグリーン・ツーリズムによる都市住民との交流を通じて、酒田ファン（酒田産農産物ファン）の獲得を図る。															
事業内容	<p>○事業内容 東京都武蔵野市のアンテナショップ「麦わら帽子」での販売促進活動を中心に、首都圏で酒田産農産物をPRした。また、田園調布学園からのファームステイ受入れやグリーン・ツーリズムの推進により、酒田ファンの獲得と拡大を図る取組を行った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 首都圏での酒田産農産物のPRによる販売促進 1,399,297円 ・アンテナショップ「麦わら帽子」での酒田産農産物の通年販売とフェアの開催 酒田の日：毎月第4土・日曜日/酒田フェア：9月と11月の2回開催 ※なお、平成30年度は、店舗改修工事のため7月から8月までの2か月間、営業を休止したため、販売額が前年度を下回っている。 ・商業施設「コピス吉祥寺」イベントデッキでのPR 酒田DAY：11月3日（土）～4日（日）と3月21日（木）の2回開催 (2) 酒田ファームステイ実行委員会負担金 1,293,000円 ・受入実績 実施日：8月24日（金）～27日（月）3泊4日 受入人数：田園調布学園中等部2年生215名 受入家庭：69世帯 (3) グリーン・ツーリズム推進事業 230,000円 ・酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会の会員が実施する農業体験プログラム（30種類）の提供 協議会会員数：21名 体験者総数：1,977名（平成30年4月～平成31年3月） (4) 食育交流活動補助金（補助金上限額25千円） 367,320円 ・本市の保育園、小中学校等において農業体験等の食育交流活動に取り組む農業者への支援 ※ 補助金交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付件数</td> <td>13件</td> <td>13件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>302,280円</td> <td>317,960円</td> <td>367,320円</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	交付件数	13件	13件	15件	補助金額	302,280円	317,960円	367,320円
区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度													
交付件数	13件	13件	15件													
補助金額	302,280円	317,960円	367,320円													
事業成果の概要等	<p>○評価・方向性 武蔵野市のアンテナショップ「麦わら帽子」や同市での物販イベントを通じた酒田産農産物のPRによる販売促進に手応えが出てきた。また、酒田ファームステイやグリーン・ツーリズムによる農業体験が交流人口の増加につながっている。こうした子どもたちを含む老若男女を巻き込んだ都市と本市の農村交流を確実に定着させることで酒田ファンの獲得と拡大を図れるよう、引き続き、改善を図りながら実施する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アンテナショップ等における酒田産農林水産物・加工品販売額（千円）</td> <td>36,000</td> <td>25,492</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	アンテナショップ等における酒田産農林水産物・加工品販売額（千円）	36,000	25,492						
評価指標（単位）	目標	実績														
アンテナショップ等における酒田産農林水産物・加工品販売額（千円）	36,000	25,492														
備考																

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	3目 農業振興費	= 予算所屬 = 農林水産部農政課						
事業名	さかたでアグリ支援事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
1,653,000円	753,747円	0円	899,253円	45.6%						
目的・趣旨	本市での新規就農者の確保を図るための総合的な対策として、本市での就農に関する情報提供、大学生等への就農宣伝活動、農業の基礎と経営感覚、販売ノウハウを学ぶ「食と農のビジネス塾」への支援を行うことにより、円滑な就農の促進と就農者の定着を図る。									
事業内容	<p>○事業内容 (1) 「新・農業人フェア」出展 全国規模の就農相談会である「新・農業人フェア」に出展し、就農希望者に本市での就農に関する情報提供を行った。 (2) 高校生・大学生等への就農宣伝活動 市内高校・東北公益文科大学・山形大学農学部及び県立農林大学校の生徒等を対象に、本市での就農PRパンフレットを配布し、新規学卒就農者の発掘を図った。 (3) 地域定住農業者育成コンソーシアムへの負担金 (1) や (2) で本市での就農を希望する者等が、農業の基礎と経営感覚、販売ノウハウを学べるよう山形大学農学部を中心とするコンソーシアムが開催する「食と農のビジネス塾」を支援した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 新・農業人フェアに出展 248,847円 ・東京開催（1回目） 日時：平成30年7月28日（土）10：00～17：00 場所：東京国際フォーラム 総来場者数：1,006人、本市ブース着席者数：15人 ・東京開催（2回目） 日時：平成31年1月26日（土）10：00～16：30 場所：池袋サンシャインシティ 総来場者数：970人、本市ブース着席者数：14人 (2) 高校生・大学生等の就農宣伝活動 99,900円 就農PRパンフレット作成・配布 500部 (3) 地域定住農業者育成コンソーシアム負担金 405,000円</p> <p>○評価・方向性 新・農業人フェア等の新規就農イベントにより、UIJターン者を中心とした新規就農志向者からの相談は増加しており、確実な手応えがある。 引き続き、本市での新規就農者の確保を図るための総合的な対策事業である本事業を実施し、就農前、就農準備、就農開始時といった段階に応じた丁寧な支援を行うことにより、円滑な就農の促進と就農者の定着を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規就農者数（人）</td> <td>5年間で100</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	新規就農者数（人）	5年間で100	21
評価指標（単位）	目標	実績								
新規就農者数（人）	5年間で100	21								
備考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国） 106,963円									

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	3目 農業振興費	= 予算所属 = 農林水産部農政課																																							
事業名	農業次世代人材投資事業																																										
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																							
15,100,000円	14,330,000円	0円	770,000円	94.9%																																							
目的・趣旨	新規就農者が安心して農業を始めることができるよう、経営が不安定となりがちな就農開始直後の農業経営を支援し、新規就農者の定着を図る。																																										
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 農業次世代人材投資資金交付金推進事業 本資金交付対象者が就農定着に向け、税理士による個別の経営相談を実施した。</p> <p>(2) 農業次世代人材投資資金交付事業 交付対象者の主な要件は次のとおりであり、これにあてはまる新規就農者に資金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独立・自営就農であり、就農時の年齢が原則45歳未満であること ・独立・自営就農5年後には農業で生計維持が可能な計画を策定すること ・人・農地プランへ中心経営体として位置付けられている。又は、位置付けられることが確実であること ・生活費の確保を目的とした国の他の事業による給付を受けていないこと <p>※交付額：個人 1,500,000円/年、夫婦 2,250,000円/年 (最大5年間で所得に応じた変動交付)</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 農業次世代人材投資資金交付金推進事業 80,000円 ・交付対象者のうち相談者 8人</p> <p>(2) 農業次世代人材投資資金交付事業 14,250,000円 ・交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付対象者</td> <td>14人 (1組)</td> <td>13人 (1組)</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新たに経営を開始</td> <td>6人 (1組)</td> <td>4人 (1組)</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>親元 (全部継承)</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>親元 (一部継承)</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>親元 (部門設立)</td> <td>6人</td> <td>7人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>19,467,332円</td> <td>16,125,000円</td> <td>14,250,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () の組数は内数で夫婦受給者</p> <p>○評価・方向性</p> <p>本事業による既交付者からは、本資金があることで、最低限の生活費が確保されるため、安心して全力で農業に取り組みたと評価されており、本事業を継続することで次世代を担う新規就農者の確保を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規就農者数 (人)</td> <td>5年間で100</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>					年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	交付対象者	14人 (1組)	13人 (1組)	10人	(内訳)				新たに経営を開始	6人 (1組)	4人 (1組)	3人	親元 (全部継承)	0人	0人	1人	親元 (一部継承)	2人	2人	1人	親元 (部門設立)	6人	7人	5人	交付額	19,467,332円	16,125,000円	14,250,000円	評価指標 (単位)	目標	実績	新規就農者数 (人)	5年間で100	21
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																								
交付対象者	14人 (1組)	13人 (1組)	10人																																								
(内訳)																																											
新たに経営を開始	6人 (1組)	4人 (1組)	3人																																								
親元 (全部継承)	0人	0人	1人																																								
親元 (一部継承)	2人	2人	1人																																								
親元 (部門設立)	6人	7人	5人																																								
交付額	19,467,332円	16,125,000円	14,250,000円																																								
評価指標 (単位)	目標	実績																																									
新規就農者数 (人)	5年間で100	21																																									
備考	○主な特定財源 農業次世代人材投資事業費補助金 (県) 14,322,000円																																										

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	3目 農業振興費	= 予算所属 = 農林水産部農政課																											
事業名	経営体育成支援事業																														
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																											
6,202,000円	6,202,000円	0円	0円	100.0%																											
目的・趣旨	人・農地プランに位置付けられた地域の将来を担う中心経営体等が、経営規模拡大や付加価値額向上、経営の多角化に取り組む際に必要となる農業用機械、施設等の導入を支援することにより、経営基盤を強化し、持続可能な農業経営体の育成を図る。																														
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>経営体育成支援事業 ・融資主体型補助 (補助率3/10以内) 経営規模の拡大等に取り組む地域の将来を担う中心経営体等が、融資を活用した農業用機械等を導入する際、その一部を助成し、補助残分は融資活用をした。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>経営体育成支援事業助成金 6,202,000円 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名 (個人又は団体)</th> <th>整備内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田南部 (個人)</td> <td>トラクター (ロータリー、グランドソー付) 代かき機</td> <td>8,294,400</td> <td>2,487,000</td> </tr> <tr> <td>広野 (個人)</td> <td>田植機 (箱施用剤散布機、補助車輪付)</td> <td>2,628,720</td> <td>719,000</td> </tr> <tr> <td>浜中 (個人)</td> <td>トラクター (ロータリー付) 代かき機、乾燥機</td> <td>10,238,400</td> <td>2,996,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>21,161,520</td> <td>6,202,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>経営規模を拡大するためには、新たな機械整備等が必要となる。このため、人・農地プランに位置付けられた地域の将来を担う中心経営体等による経営規模の拡大等に支援することで、自身の農業経営の発展、ひいては地域農業の維持発展につながることから、継続して支援を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成対象者の経営面積の増加率 (%)</td> <td>10</td> <td>9.6</td> </tr> </tbody> </table>					地区名 (個人又は団体)	整備内容	事業費	補助金	酒田南部 (個人)	トラクター (ロータリー、グランドソー付) 代かき機	8,294,400	2,487,000	広野 (個人)	田植機 (箱施用剤散布機、補助車輪付)	2,628,720	719,000	浜中 (個人)	トラクター (ロータリー付) 代かき機、乾燥機	10,238,400	2,996,000	合 計		21,161,520	6,202,000	評価指標 (単位)	目標	実績	助成対象者の経営面積の増加率 (%)	10	9.6
地区名 (個人又は団体)	整備内容	事業費	補助金																												
酒田南部 (個人)	トラクター (ロータリー、グランドソー付) 代かき機	8,294,400	2,487,000																												
広野 (個人)	田植機 (箱施用剤散布機、補助車輪付)	2,628,720	719,000																												
浜中 (個人)	トラクター (ロータリー付) 代かき機、乾燥機	10,238,400	2,996,000																												
合 計		21,161,520	6,202,000																												
評価指標 (単位)	目標	実績																													
助成対象者の経営面積の増加率 (%)	10	9.6																													
備考	○主な特定財源 経営体育成支援事業費補助金 (県) 6,202,000円																														

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	3目 農業振興費	= 予算所属 = 農林水産部農政課																																																																								
事業名	生産組合支援事業																																																																											
予算現額 ①	3,825,000円	3,825,000円	0円	0円																																																																								
支出済額 ②																																																																												
翌年度繰越額 ③																																																																												
不用額 ①-②-③																																																																												
執行率 ②/①	100.0%																																																																											
目的・趣旨	市内16地区258の生産組合により構成されている酒田市生産組合協議会と本市及び農業者団体が連携し、米の「生産の目安」達成や営農計画書作成を通じた合意形成により、米の需給調整による米価安定と米の販売額の増加を図る。																																																																											
事業内容	<p>○事業内容 生産組合協議会の活動を通じた生産者に対する需給調整の必要性の周知徹底、需要に応じた米生産を図ると同時に、米のみに依存しない生産による農業産出額向上に向けて生産指導などを実施した。</p> <p>○事業実績・説明 生産組合交付金 3,825,000円 (内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>対象組合数</th> <th>対象水田面積</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>西荒瀬</td><td>13組合</td><td>4,621,290㎡</td><td>180,736円</td></tr> <tr><td>鳥海</td><td>9組合</td><td>4,572,640㎡</td><td>157,692円</td></tr> <tr><td>本 桶</td><td>19組合</td><td>7,153,320㎡</td><td>271,471円</td></tr> <tr><td>上 田</td><td>10組合</td><td>6,028,410㎡</td><td>184,387円</td></tr> <tr><td>北平田</td><td>14組合</td><td>6,113,870㎡</td><td>215,490円</td></tr> <tr><td>東平田</td><td>9組合</td><td>6,346,290㎡</td><td>182,832円</td></tr> <tr><td>中平田</td><td>17組合</td><td>9,178,930㎡</td><td>293,848円</td></tr> <tr><td>広 野</td><td>12組合</td><td>6,053,690㎡</td><td>199,618円</td></tr> <tr><td>浜 中</td><td>8組合</td><td>2,728,480㎡</td><td>109,106円</td></tr> <tr><td>酒田南部</td><td>5組合</td><td>5,009,560㎡</td><td>128,783円</td></tr> <tr><td>新 堀</td><td>8組合</td><td>6,705,150㎡</td><td>182,027円</td></tr> <tr><td>酒田北部</td><td>9組合</td><td>1,435,840㎡</td><td>92,787円</td></tr> <tr><td>八 幡</td><td>39組合</td><td>11,885,790㎡</td><td>505,936円</td></tr> <tr><td>松 山</td><td>32組合</td><td>9,278,250㎡</td><td>406,431円</td></tr> <tr><td>平 田</td><td>48組合</td><td>12,451,580㎡</td><td>582,768円</td></tr> <tr><td>袖 浦</td><td>6組合</td><td>4,732,580㎡</td><td>131,088円</td></tr> <tr><td>計</td><td>258組合</td><td>104,295,670㎡</td><td>3,825,000円</td></tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 地域農業を振興し、その根幹を担う生産組合は市内16地区258組織あり、これらのきめ細かな連携網を通じて、地域農業を取り巻く大きな環境の変化に適合しつつ、米の需給調整を図り、米価を安定させることが米の販売額増加につながる。 平成30年度は一部農家による主食用米増産により、生産の目安の達成率が100%を若干下回ったものの、引き続き、生産組合協議会を通じた活動支援と丁寧な指導を継続することで地区との合意形成に向けた取組を推進する。</p>				地区名	対象組合数	対象水田面積	交付額	西荒瀬	13組合	4,621,290㎡	180,736円	鳥海	9組合	4,572,640㎡	157,692円	本 桶	19組合	7,153,320㎡	271,471円	上 田	10組合	6,028,410㎡	184,387円	北平田	14組合	6,113,870㎡	215,490円	東平田	9組合	6,346,290㎡	182,832円	中平田	17組合	9,178,930㎡	293,848円	広 野	12組合	6,053,690㎡	199,618円	浜 中	8組合	2,728,480㎡	109,106円	酒田南部	5組合	5,009,560㎡	128,783円	新 堀	8組合	6,705,150㎡	182,027円	酒田北部	9組合	1,435,840㎡	92,787円	八 幡	39組合	11,885,790㎡	505,936円	松 山	32組合	9,278,250㎡	406,431円	平 田	48組合	12,451,580㎡	582,768円	袖 浦	6組合	4,732,580㎡	131,088円	計	258組合	104,295,670㎡	3,825,000円
地区名	対象組合数	対象水田面積	交付額																																																																									
西荒瀬	13組合	4,621,290㎡	180,736円																																																																									
鳥海	9組合	4,572,640㎡	157,692円																																																																									
本 桶	19組合	7,153,320㎡	271,471円																																																																									
上 田	10組合	6,028,410㎡	184,387円																																																																									
北平田	14組合	6,113,870㎡	215,490円																																																																									
東平田	9組合	6,346,290㎡	182,832円																																																																									
中平田	17組合	9,178,930㎡	293,848円																																																																									
広 野	12組合	6,053,690㎡	199,618円																																																																									
浜 中	8組合	2,728,480㎡	109,106円																																																																									
酒田南部	5組合	5,009,560㎡	128,783円																																																																									
新 堀	8組合	6,705,150㎡	182,027円																																																																									
酒田北部	9組合	1,435,840㎡	92,787円																																																																									
八 幡	39組合	11,885,790㎡	505,936円																																																																									
松 山	32組合	9,278,250㎡	406,431円																																																																									
平 田	48組合	12,451,580㎡	582,768円																																																																									
袖 浦	6組合	4,732,580㎡	131,088円																																																																									
計	258組合	104,295,670㎡	3,825,000円																																																																									
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産の目安の達成率 (%)</td> <td>100</td> <td>99.7</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標 (単位)	目標	実績	生産の目安の達成率 (%)	100	99.7																																																																		
評価指標 (単位)	目標	実績																																																																										
生産の目安の達成率 (%)	100	99.7																																																																										
備考																																																																												

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	3目 農業振興費	= 予算所属 = 農林水産部農政課																
事業名	さかた農産物消費拡大事業																			
予算現額 ①	6,578,000円	6,478,756円	0円	99,244円																
支出済額 ②																				
翌年度繰越額 ③																				
不用額 ①-②-③																				
執行率 ②/①	98.5%																			
目的・趣旨	酒田産米の消費拡大など食育の取組を通じて市民の地場産農産物への理解を深め、地産地消の推進を図るとともに、本市農産物の魅力を発信するイベントの実施などにより、酒田産農産物の消費拡大を図る。																			
事業内容	<p>○事業内容 (1) 食育・地産地消推進委員会の開催 ・9月と2月に推進委員会を開催し、情報交換を通じて今後の取組について協議した。 (2) 地域産米学校給食負担金 ・米飯学校給食での1等米使用(通常は2等米)及びつや姫・雪若丸給食実施に伴う価格差分を酒田市米消費拡大推進協議会を通じ負担した。 (3) 農林水産まつり実行委員会負担金 (4) 米消費拡大推進協議会負担金</p> <p>○事業実績・説明 (1) 食育・地産地消推進委員会の開催(9月、2月) 51,756円 (2) 地域産米学校給食負担金(推進事業費酒田市負担金分) 703,000円 ・1等米価格差等補てん実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数 量</td> <td>92,257kg</td> <td>79,860kg</td> <td>80,105kg</td> </tr> <tr> <td>金 額(※)</td> <td>1,631,525円</td> <td>862,488円</td> <td>928,470円</td> </tr> <tr> <td>対 象</td> <td>全34校 8,661名</td> <td>全30校 8,244名</td> <td>全30校 7,949名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※金額は協議会からの支出金額であり、本市は割振りされた負担金のみ支出 ・平成30年度 つや姫給食1回、雪若丸給食2回実施 (3) 農林水産まつり実行委員会負担金 2,741,000円 ・「酒田市農林水産まつり2018」の開催 開催日/10月27日~28日、会場/酒田市国体記念体育館、出店団体/41団体 (4) 米消費拡大推進協議会負担金 2,983,000円 ・各種イベントにおけるシート米の提供(実績) (平成28年度)4,725個、(平成29年度)2,661個、(平成30年度)3,378個 ・米粉PR事業 米粉を使った食育料理教室(9組23人参加)、米粉を使った料理コンテスト(応募総数29件)、就学前児童へ米粉パンを提供(44組)</p> <p>○評価・方向性 米をはじめ本市の主力農産物について、その消費拡大を図るため、食育の取組を通じた地場農産物への理解を深めるとともに地産地消を推進できた。市民にまずは食べていただくことで地産地消と消費拡大を図っているところである。引き続き、食育・地産地消推進計画の進捗を図りながら酒田産農産物の消費拡大に向けた取組を実施する。</p>				区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	数 量	92,257kg	79,860kg	80,105kg	金 額(※)	1,631,525円	862,488円	928,470円	対 象	全34校 8,661名	全30校 8,244名	全30校 7,949名
区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度																	
数 量	92,257kg	79,860kg	80,105kg																	
金 額(※)	1,631,525円	862,488円	928,470円																	
対 象	全34校 8,661名	全30校 8,244名	全30校 7,949名																	
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市産直入込客数(千人)</td> <td>①245</td> <td>①232.4</td> </tr> <tr> <td>②農林水産まつり来場者数(千人)</td> <td>②20</td> <td>②12.0</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標 (単位)	目標	実績	①市産直入込客数(千人)	①245	①232.4	②農林水産まつり来場者数(千人)	②20	②12.0							
評価指標 (単位)	目標	実績																		
①市産直入込客数(千人)	①245	①232.4																		
②農林水産まつり来場者数(千人)	②20	②12.0																		
備考	○主な特定財源 学校給食米粉利用推進事業費補助金(県) 133,495円																			

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	3目 農業振興費	= 予算所属 = 農林水産部農政課												
事業名	さかた農産物販路拡大事業															
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①											
1,583,000円	1,394,940円		0円	188,060円	88.1%											
目的・趣旨	<p>全国規模で開催される農業イベントに参加し、本市農産物のPRを図るとともに、農業者自らが行う販路拡大への取組を支援し、激しい産地間競争を勝ち抜ける足腰の強い農業者の育成と農業所得の向上を目指す。</p>															
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 全国イベントへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国規模で開催される農業イベントに参加し、本市農産物のPRを行った。 <p>(2) 農産物販路拡大支援事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外及び友好都市（交流を含む）での農業者自らが行う販路拡大への取組に支援を行った。 <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 全国イベントへの参加 54,940円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9回全国ねぎサミット (開催：11月3日～4日 新潟県新潟市) <p>(2) 農産物販路拡大支援事業費補助金 1,340,000円</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>事業実施主体</th> <th>補助額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規販路拡大コース (補助額上限300千円)</td> <td>J Aそでうら野菜部会 他4件、計5件</td> <td>958,000円</td> <td>商談会による 新規契約2件</td> </tr> <tr> <td>友好都市販売活動コース (補助額上限100千円)</td> <td>酒田うめもの会 他3件、計4件</td> <td>382,000円</td> <td>目標売上額を 上回った団体2件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・新規販路拡大コース 県外での見本市や商談会に参加し、新規契約獲得に向けた販売活動などを実施する事業 ・友好都市販売活動コース 友好都市との交流の一環として、農産物の販売、PRを実施する事業 <p>※ 事業実施主体</p> <p>市内に住所を置く2戸以上の農業者等で構成する農業者団体、農業法人</p> <p>○評価・方向性</p> <p>本市特産の農産物のPRや販路拡大を支援することで、商談会を通じて新規契約が成立したり、販売活動で売上げ目標を上回る団体があるなど、農業者の所得向上につながる手応えを得る結果となった。</p> <p>今後とも、本市農産物のPRと販路拡大を図るための支援を継続し、激しい産地間競争を勝ち抜ける足腰の強い農業者の育成と農業所得の向上を図る。</p>				事業区分	事業実施主体	補助額	備考	新規販路拡大コース (補助額上限300千円)	J Aそでうら野菜部会 他4件、計5件	958,000円	商談会による 新規契約2件	友好都市販売活動コース (補助額上限100千円)	酒田うめもの会 他3件、計4件	382,000円	目標売上額を 上回った団体2件
事業区分	事業実施主体	補助額	備考													
新規販路拡大コース (補助額上限300千円)	J Aそでうら野菜部会 他4件、計5件	958,000円	商談会による 新規契約2件													
友好都市販売活動コース (補助額上限100千円)	酒田うめもの会 他3件、計4件	382,000円	目標売上額を 上回った団体2件													
事業成果の概要等	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>販路拡大の取組での平均売上金額（千円）</td> <td>300</td> <td>365</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	販路拡大の取組での平均売上金額（千円）	300	365						
評価指標（単位）	目標	実績														
販路拡大の取組での平均売上金額（千円）	300	365														
備考																

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	3目 農業振興費	= 予算所属 = 農林水産部農政課												
事業名	経営開始支援資金利子助成事業															
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①											
544,000円	540,130円		0円	3,870円	99.3%											
目的・趣旨	<p>設立間もない農事組合法人は、経営基盤が安定しないため、一定程度の運転資金が必要となることから、運転資金借入れの利子を助成し、経営開始初期段階の経営基盤の強化と農業経営の安定化を図る。</p>															
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>経営開始初期段階にある農事組合法人が市内の農協から借り入れた、農業経営の安定に必要な運転資金の利子に対して、農協と協調して助成を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>経営開始支援資金利子助成金 540,130円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利子助成率 上限1.0%（別途、農協も上限1.0%で同率助成し実質無利子化） (利子計算額1,000円未満の場合は助成対象外) ・助成金交付 1法人3回までの資金借入れが対象 <p>※ 助成金交付実績</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成件数</td> <td>新規 7件</td> <td>新規 10件 継続 7件</td> <td>新規 5件 継続 11件</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>38,843円</td> <td>470,655円</td> <td>540,130円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実績はすべて庄内みどり農協管内</p> <p>○評価・方向性</p> <p>農事組合法人における経営開始初期段階の経営基盤の強化と農業経営の安定が図られ、特に集落営農組織から当該法人への法人化は一定程度進展した。</p> <p>今後は、個人経営体や家族経営体など多様な経営体の法人化を支援していくことで、引き続き、経営基盤の強化を図る。</p>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	助成件数	新規 7件	新規 10件 継続 7件	新規 5件 継続 11件	助成金額	38,843円	470,655円	540,130円
	平成28年度	平成29年度	平成30年度													
助成件数	新規 7件	新規 10件 継続 7件	新規 5件 継続 11件													
助成金額	38,843円	470,655円	540,130円													
事業成果の概要等	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定農業者法人経営面積（ha）</td> <td>2,700</td> <td>2,805</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	認定農業者法人経営面積（ha）	2,700	2,805						
評価指標（単位）	目標	実績														
認定農業者法人経営面積（ha）	2,700	2,805														
備考																

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	3目 農業振興費	= 予算所属 = 農林水産部農政課																
事業名	機構集積協力金交付事業																			
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①															
26,071,000円	26,000,200円		0円	70,800円	99.7%															
目的・趣旨	農地中間管理機構を通じ、農地集積等に協力した地域及び個人を支援することにより、農地中間管理機構を活用した担い手への農地の集積を促進し、その先の集約化を図る。																			
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 経営転換協力金</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営転換、離農等により機構に自作地の貸付等を行った農業者等に対し面積に応じた協力金を交付した。 単価 新規集積農地面積 25,000円/10a それ以外 23,000円/10a (1戸あたり上限額700千円) <p>(2) 耕作者集積協力金</p> <ul style="list-style-type: none"> 機構の借受農地等に隣接する農地について、機構に貸付を行った、それまでの耕作者に対し面積に応じた協力金を交付した。 単価 新規集積農地面積 5,000円/10a それ以外 3,000円/10a <p>(3) 地域集積協力金</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域内の話し合いに基づき、農地を機構を通じて担い手に集積した地域に対し面積の割合に応じた協力金を交付した。 単価 集積率が2割超5割以下 10,000円/10a 集積率が5割超8割以下 14,000円/10a 集積率が8割超 18,000円/10a <p>○事業実績・説明</p> <p>機構集積協力金 26,000,200円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>数 量</th> <th>交 付 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 経営転換協力金</td> <td>38戸</td> <td>16,623,700円</td> </tr> <tr> <td>(2) 耕作者集積協力金</td> <td>7件</td> <td>247,300円</td> </tr> <tr> <td>(3) 地域集積協力金</td> <td>8地域</td> <td>9,129,200円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>26,000,200円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>担い手への農地集積率は7割を超えており、引き続き、機構を通じた農地集積を促進し、特に、大規模化を目指す法人等への集積を図る。</p>						数 量	交 付 額	(1) 経営転換協力金	38戸	16,623,700円	(2) 耕作者集積協力金	7件	247,300円	(3) 地域集積協力金	8地域	9,129,200円	合 計		26,000,200円
	数 量	交 付 額																		
(1) 経営転換協力金	38戸	16,623,700円																		
(2) 耕作者集積協力金	7件	247,300円																		
(3) 地域集積協力金	8地域	9,129,200円																		
合 計		26,000,200円																		
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>担い手への農地集積率 (%)</td> <td>80</td> <td>74.8</td> </tr> </tbody> </table>					評価指標 (単位)	目 標	実 績	担い手への農地集積率 (%)	80	74.8									
評価指標 (単位)	目 標	実 績																		
担い手への農地集積率 (%)	80	74.8																		
備考	○主な特定財源 農地集積・集約化対策事業費補助金 (県) 26,000,200円																			

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	3目 農業振興費	= 予算所属 = 農林水産部農政課																										
事業名	酒田地区農産物輸出推進協議会負担事業																													
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																									
1,000,000円	1,000,000円		0円	0円	100.0%																									
目的・趣旨	酒田地区農産物輸出推進協議会の活動を支援することで、海外での新たな需要の確保による本市農産物の輸出の拡大と、販売額向上による農業者の所得確保を図る。																													
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>行政、農協、農業関係団体等で構成する酒田地区農産物輸出推進協議会に負担金を支出し、活動を支援した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>酒田地区農産物輸出推進協議会負担金 1,000,000円</p> <p>(1) 海外でのプロモーション活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 啓翁桜の輸出を軌道に乗せるための取組を実施 日程/平成31年3月2日～7日 行先/ロシア (サンクトペテルブルク市) <p>(2) 取引拡大に向けた品目のPR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 販促グッズとして啓翁桜をプリントしたPR用のせんべいを作成し、現地ロシアの日本企業等を訪問 <p>(3) 海外販路開拓等に向けた情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ジェットロ山形等と海外情勢や取組内容についての意見交換を実施 最新のロシアの経済状況等を情報収集するため、ジェットロサンクトペテルブルク事務所長の経済セミナーに参加 <p>(4) 輸出実績 (販売のみ ※テスト輸送等を除く)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>輸 出 先</th> <th>品 目</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H28</td> <td>台湾</td> <td>日本梨</td> <td>58箱 (0.3t)</td> </tr> <tr> <td>香港、ロシア</td> <td>啓翁桜、ストック</td> <td>7,490本</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>香港</td> <td>庄内柿</td> <td>15箱 (0.1t)</td> </tr> <tr> <td>香港、ロシア、ベトナム</td> <td>啓翁桜</td> <td>20,970本</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>台湾</td> <td>日本梨</td> <td>100箱 (0.5t)</td> </tr> <tr> <td>香港、ベトナム、上海</td> <td>啓翁桜</td> <td>22,030本</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>酒田地区農産物輸出推進協議会が実施したロシアでの啓翁桜のプロモーション活動では、物流企業とのつながりが生まれるなど、輸送ルートの確立に向け着実に進んでおり、ロシアでの活動は一定の成果をあげた。東南アジアでの輸出量も順調に伸びており輸出拡大に向けて期待ができる。今後は、米や他の農産物についても、農業者の所得確保につながるようアジア圏を中心に新たな販路拡大に向けた取組を展開していく。</p>					年度	輸 出 先	品 目	数 量	H28	台湾	日本梨	58箱 (0.3t)	香港、ロシア	啓翁桜、ストック	7,490本	H29	香港	庄内柿	15箱 (0.1t)	香港、ロシア、ベトナム	啓翁桜	20,970本	H30	台湾	日本梨	100箱 (0.5t)	香港、ベトナム、上海	啓翁桜	22,030本
年度	輸 出 先	品 目	数 量																											
H28	台湾	日本梨	58箱 (0.3t)																											
	香港、ロシア	啓翁桜、ストック	7,490本																											
H29	香港	庄内柿	15箱 (0.1t)																											
	香港、ロシア、ベトナム	啓翁桜	20,970本																											
H30	台湾	日本梨	100箱 (0.5t)																											
	香港、ベトナム、上海	啓翁桜	22,030本																											
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①花き輸出量 (本)</td> <td>①12,000</td> <td>①22,030</td> </tr> <tr> <td>②果樹・野菜等輸出量 (t)</td> <td>② 29</td> <td>② 109</td> </tr> </tbody> </table>					評価指標 (単位)	目 標	実 績	①花き輸出量 (本)	①12,000	①22,030	②果樹・野菜等輸出量 (t)	② 29	② 109																
評価指標 (単位)	目 標	実 績																												
①花き輸出量 (本)	①12,000	①22,030																												
②果樹・野菜等輸出量 (t)	② 29	② 109																												
備考	○主な特定財源 地方創生推進交付金 (国) 500,000円																													

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	4目 畜産業費	= 予算所属 = 農林水産部農政課								
事業名	畜産生産振興総合支援事業											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①								
4,000,000円	3,991,000円	0円	9,000円	99.8%								
目的・趣旨	畜産経営者等に対し、堆肥設備の整備、飼養環境の改善、自給飼料設備の整備といった取組に対して支援することで、生産性の向上を図り、足腰の強い畜産経営を確立する。											
事業・成果の概要等	○事業内容 (1) 畜産資源有効活用支援事業 堆肥散布用機械の整備といった堆肥還元に必要な設備に対する支援を行った。 (2) 畜産生産性向上支援事業 飼料の効率的な給与や生産性向上のための施設整備、密閉防止及び飼養環境改善のための施設整備に対し支援を行った。											
	○事業実績・説明 (1) 畜産資源有効活用支援事業 1,300,000円 (単位：円)											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田市畜産振興協議会</td> <td>堆肥舎屋根改修、家畜糞尿運搬車購入、堆肥運搬用ダンプ購入で3件</td> <td>5,195,242</td> <td>1,300,000</td> </tr> </tbody> </table>				事業主体	事業内容	事業費	補助金額	酒田市畜産振興協議会	堆肥舎屋根改修、家畜糞尿運搬車購入、堆肥運搬用ダンプ購入で3件	5,195,242	1,300,000
	事業主体	事業内容	事業費	補助金額								
	酒田市畜産振興協議会	堆肥舎屋根改修、家畜糞尿運搬車購入、堆肥運搬用ダンプ購入で3件	5,195,242	1,300,000								
(2) 畜産生産性向上支援事業 2,691,000円 (単位：円)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田市畜産振興協議会</td> <td>畜舎屋根改修、畜舎外壁改修、畜舎内外送風設備改修、畜舎カーテン改修で6件</td> <td>9,203,709</td> <td>2,691,000</td> </tr> </tbody> </table>				事業主体	事業内容	事業費	補助金額	酒田市畜産振興協議会	畜舎屋根改修、畜舎外壁改修、畜舎内外送風設備改修、畜舎カーテン改修で6件	9,203,709	2,691,000	
事業主体	事業内容	事業費	補助金額									
酒田市畜産振興協議会	畜舎屋根改修、畜舎外壁改修、畜舎内外送風設備改修、畜舎カーテン改修で6件	9,203,709	2,691,000									
※補助率：(1)(2)ともに1設備導入、施設の改修ごとに事業費の3分の1以内又は500千円のいずれか低い額												
○評価・方向性 設備導入や施設の改修により、肥料の生産量の向上、肥育の発育向上及び出荷量の増加につながっており、今後も安定した足腰の強い畜産経営の確立のために支援を継続していく。												
評価指標 (単位)		目標	実績									
畜産販売高 (庄内みどり農協取扱実績) (億円)		13.5	15.4									
備考	○主な特定財源 畜産振興基金繰入金 3,991,000円											

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	4目 畜産業費	= 予算所属 = 農林水産部農政課								
事業名	畜産経営競争力強化支援事業											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①								
9,981,000円	9,981,000円	0円	0円	100.0%								
目的・趣旨	意欲のある畜産経営団体が行う規模拡大や生産性向上、経営の効率化を図る取組を支援することで、生産拡大やブランド力向上による畜産業の競争力強化を図る。											
事業・成果の概要等	○事業内容 ・畜舎等整備支援事業 生産拡大に意欲のある生産組合が実施した、繁殖・肥育一貫経営の規模拡大を図り、生産基盤を強化するための和牛繁殖牛舎の整備に対して支援を行った。											
	○事業実績・説明 ・畜舎等整備支援事業 9,981,000円 (単位：円)											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施主体</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中平田飼料生産組合</td> <td>和牛繁殖牛舎及び付帯設備</td> <td>23,738,400</td> <td>9,981,000</td> </tr> </tbody> </table>				実施主体	事業内容	事業費	補助金額	中平田飼料生産組合	和牛繁殖牛舎及び付帯設備	23,738,400	9,981,000
	実施主体	事業内容	事業費	補助金額								
	中平田飼料生産組合	和牛繁殖牛舎及び付帯設備	23,738,400	9,981,000								
※補助率：1/2以内 (県5/12、市1/12)												
○評価・方向性 牛舎の整備により、繁殖・肥育一貫経営が可能となり、高騰が続いている肥育素牛の導入経費を抑え、経営の安定が図られた。今後も生産性の向上と本市の畜産振興のための実施主体が策定する整備計画に沿って支援を行っていく。												
評価指標 (単位)		目標	実績									
畜産販売高 (庄内みどり農協取扱実績) (億円)		13.5	15.4									
備考	○主な特定財源 畜産経営競争力強化支援事業費補助金 (県) 8,318,000円											

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	6目 農村基盤整備対策費	= 予算所属 = 農林水産部農政課																																																																	
事業名	中山間地域等直接支払事業																																																																				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																	
39,354,000円	38,570,158円	0円	783,842円	98.0%																																																																	
目的・趣旨	<p>山間部の農地は、傾斜面が多く、耕作放棄地の発生による国土の保全、水源のかん養等の多面的機能の低下が懸念されるため、集落協定に基づく協定農用地の維持に取り組み、中山間地域農業の維持と活性化を目指す。</p>																																																																				
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 中山間地域等直接支払交付金 八幡、松山、平田地区における傾斜等の条件不利な農用地で、本市と農業者が締結した集落協定に基づき、5年以上農業生産活動等を行う協定に交付金を交付した。 ・対象農用地 以下の基準等に該当する1ha以上の農用地 急傾斜地：水田傾斜 1/20以上 畑 傾斜15度以上 緩傾斜地：水田傾斜 1/100以上 畑 傾斜8度以上 ・交付単価 急傾斜地：水田 21,000円/10a 畑 11,500円/10a 緩傾斜地：水田 8,000円/10a 畑 3,500円/10a ※ 緩傾斜農用地は急傾斜農用地に連担していること</p> <p>(2) 中山間地域等直接支払推進交付金 同交付金に係る事務費を支出した。</p>																																																																				
事業成果の概要等	<p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 中山間地域等直接支払交付金 38,296,158円 (単位：協定、ha、円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地区名</th> <th colspan="3">平成28年度</th> <th colspan="3">平成29年度</th> <th colspan="3">平成30年度</th> </tr> <tr> <th>協定数</th> <th>面積</th> <th>交付金額</th> <th>協定数</th> <th>面積</th> <th>交付金額</th> <th>協定数</th> <th>面積</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八幡</td> <td>8</td> <td>80.6</td> <td>15,155,915</td> <td>8</td> <td>80.6</td> <td>15,155,915</td> <td>8</td> <td>83.0</td> <td>15,463,203</td> </tr> <tr> <td>松山</td> <td>4</td> <td>66.9</td> <td>8,893,174</td> <td>4</td> <td>66.9</td> <td>8,893,174</td> <td>4</td> <td>66.9</td> <td>8,893,174</td> </tr> <tr> <td>平田</td> <td>10</td> <td>128.0</td> <td>13,939,781</td> <td>10</td> <td>128.0</td> <td>13,939,781</td> <td>10</td> <td>128.0</td> <td>13,939,781</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22</td> <td>275.5</td> <td>37,988,870</td> <td>22</td> <td>275.5</td> <td>37,988,870</td> <td>22</td> <td>277.9</td> <td>38,296,158</td> </tr> </tbody> </table> <p>※負担割合：国2/4、県1/4、市1/4</p> <p>(2) 中山間地域等直接支払推進交付金 274,000円</p> <p>○評価・方向性 農業の生産条件不利地である中山間地域の農業者の耕作意欲減退の防止、多面的機能発揮の促進及び耕作放棄地の発生抑制のために本事業は非常に重要であり、引き続き、協定農用地の保全維持に取り組んでいく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協定農用地保全率 (%)</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>				地区名	平成28年度			平成29年度			平成30年度			協定数	面積	交付金額	協定数	面積	交付金額	協定数	面積	交付金額	八幡	8	80.6	15,155,915	8	80.6	15,155,915	8	83.0	15,463,203	松山	4	66.9	8,893,174	4	66.9	8,893,174	4	66.9	8,893,174	平田	10	128.0	13,939,781	10	128.0	13,939,781	10	128.0	13,939,781	合計	22	275.5	37,988,870	22	275.5	37,988,870	22	277.9	38,296,158	評価指標 (単位)	目標	実績	協定農用地保全率 (%)	100	100
地区名	平成28年度			平成29年度			平成30年度																																																														
	協定数	面積	交付金額	協定数	面積	交付金額	協定数	面積	交付金額																																																												
八幡	8	80.6	15,155,915	8	80.6	15,155,915	8	83.0	15,463,203																																																												
松山	4	66.9	8,893,174	4	66.9	8,893,174	4	66.9	8,893,174																																																												
平田	10	128.0	13,939,781	10	128.0	13,939,781	10	128.0	13,939,781																																																												
合計	22	275.5	37,988,870	22	275.5	37,988,870	22	277.9	38,296,158																																																												
評価指標 (単位)	目標	実績																																																																			
協定農用地保全率 (%)	100	100																																																																			
備考	<p>○主な特定財源 中山間地域等直接支払交付金 (県) 28,722,108円 中山間地域等直接支払推進交付金 (県) 274,000円</p>																																																																				

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	6目 農村基盤整備対策費	= 予算所属 = 農林水産部農政課																																														
事業名	環境保全型農業直接支払事業																																																	
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																														
20,889,000円	20,713,780円	0円	175,220円	99.2%																																														
目的・趣旨	<p>環境保全を重視した農業生産の推進、意欲のある農業者の活動を継続できる環境の整備のために交付金を交付し、農業の持続的発展と農業の有する多面的機能の健全な発揮を図る。</p>																																																	
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 環境保全型農業直接支払交付金 有機農業 (化学肥料及び化学合成農薬を使用しない取組) 及び特別栽培 (慣行栽培の基準より化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組) に、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い、営農活動を組み合わせて実施した農業者を支援した。 (2) 環境保全型農業推進事業費 環境保全型農業の推進のため事務費を支出した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 環境保全型農業直接支払交付金 20,681,780円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付対象面積 (a)</td> <td>52,960</td> <td>55,920</td> <td>47,780</td> </tr> <tr> <td>交付対象件数 (件)</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>交付額 (円) (国県及び市の合計金額)</td> <td>24,540,780</td> <td>23,844,020</td> <td>20,681,780</td> </tr> </tbody> </table> <p>※負担割合：国2/4、県1/4、市1/4 ・交付対象取組及び取組面積 (内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交付対象取組</th> <th>取組面積</th> <th>交付単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有機農業</td> <td>4,099 a</td> <td>8,000円/10 a</td> </tr> <tr> <td>特別栽培と窒素分の低い堆肥施用</td> <td>3,238 a</td> <td>4,400円/10 a</td> </tr> <tr> <td>特別栽培と窒素分の高い堆肥施用</td> <td>3,043 a</td> <td>2,200円/10 a</td> </tr> <tr> <td>特別栽培と冬期湛水管理 (有機肥料投入あり、畦補強あり)</td> <td>259 a</td> <td>8,000円/10 a</td> </tr> <tr> <td>特別栽培と冬期湛水管理 (有機肥料投入あり、畦補強なし)</td> <td>816 a</td> <td>7,000円/10 a</td> </tr> <tr> <td>特別栽培と冬期湛水管理 (有機肥料投入なし、畦補強なし)</td> <td>489 a</td> <td>4,000円/10 a</td> </tr> <tr> <td>特別栽培と水稲 I P M ※1</td> <td>35,836 a</td> <td>4,000円/10 a</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：「I P M」とは、総合的病害虫・雑草管理を言う</p> <p>(2) 環境保全型農業推進事業費 (事務費) 32,000円</p> <p>○評価・方向性 昨年大雨等の影響で、収穫後の秋耕作業に取り組みなかった生産者が多かったため、取組面積は減少した。 しかし、環境保全に対する関心は高まっており、環境保全型農業への取組は重要であるため、引き続き本事業を推進していく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境保全型農業直接支払交付金事業取組面積 (ha)</td> <td>680</td> <td>477</td> </tr> </tbody> </table>				年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	交付対象面積 (a)	52,960	55,920	47,780	交付対象件数 (件)	19	19	18	交付額 (円) (国県及び市の合計金額)	24,540,780	23,844,020	20,681,780	交付対象取組	取組面積	交付単価	有機農業	4,099 a	8,000円/10 a	特別栽培と窒素分の低い堆肥施用	3,238 a	4,400円/10 a	特別栽培と窒素分の高い堆肥施用	3,043 a	2,200円/10 a	特別栽培と冬期湛水管理 (有機肥料投入あり、畦補強あり)	259 a	8,000円/10 a	特別栽培と冬期湛水管理 (有機肥料投入あり、畦補強なし)	816 a	7,000円/10 a	特別栽培と冬期湛水管理 (有機肥料投入なし、畦補強なし)	489 a	4,000円/10 a	特別栽培と水稲 I P M ※1	35,836 a	4,000円/10 a	評価指標 (単位)	目標	実績	環境保全型農業直接支払交付金事業取組面積 (ha)	680	477
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																															
交付対象面積 (a)	52,960	55,920	47,780																																															
交付対象件数 (件)	19	19	18																																															
交付額 (円) (国県及び市の合計金額)	24,540,780	23,844,020	20,681,780																																															
交付対象取組	取組面積	交付単価																																																
有機農業	4,099 a	8,000円/10 a																																																
特別栽培と窒素分の低い堆肥施用	3,238 a	4,400円/10 a																																																
特別栽培と窒素分の高い堆肥施用	3,043 a	2,200円/10 a																																																
特別栽培と冬期湛水管理 (有機肥料投入あり、畦補強あり)	259 a	8,000円/10 a																																																
特別栽培と冬期湛水管理 (有機肥料投入あり、畦補強なし)	816 a	7,000円/10 a																																																
特別栽培と冬期湛水管理 (有機肥料投入なし、畦補強なし)	489 a	4,000円/10 a																																																
特別栽培と水稲 I P M ※1	35,836 a	4,000円/10 a																																																
評価指標 (単位)	目標	実績																																																
環境保全型農業直接支払交付金事業取組面積 (ha)	680	477																																																
備考	<p>○主な特定財源 環境保全型農業直接支払交付金 (県) 15,511,335円 環境保全型農業直接支援対策事業推進事務費補助金 (県) 32,000円</p>																																																	

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	7目 地域農業生産対策費	= 予算所属 = 農林水産部農政課																																														
事業名	庄内バイオ研修センター運営事業																																																	
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																														
9,643,000円	7,004,560円	0円	2,638,440円	72.6%																																														
目的・趣旨	植物バイオテクノロジー関係の人材の育成及び特産農産物の育種開発・調査等により、地域農業の振興を図る。																																																	
事業成果の概要等	<p>○事業内容 酒田女鶴、酒田まめほの香の種子を生産者に供給し、作付拡大の取組を行った。人材育成として、小中学生、高校生を対象に学習会を開催した。また、農林水産まつりで、酒田まめほの香や西洋野菜の試食提供による普及啓発活動を行ったほか、酒田市種苗協議会と連携し、農協等に優良種苗を供給した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 地域特産農産物の改良・開発 ・「酒田女鶴」種子供給量：543kg（作付予定面積：1,087.5a） ・その他（枝豆の良食味多収品種の選抜、糯米品種の短稈化改良研究等） (2) 人材育成 ・学習テーマ「イチゴを培養してみよう」（対象：小中学生）修了者数：3名 ・学習テーマ「コムギの遺伝子解析」（対象：高校生）修了者数：6名 (3) 普及啓発活動 ・「酒田まめほの香」おこわ、西洋野菜サラダ（農林水産まつり出店） ・「酒田まめほの香」黄粉餅（庄内みどり農協年末内販売会との共催） (4) 優良種苗供給体制の構築 ・ミニトマト：132トレイ ・イチゴ：2,384本 ・さつまいも：550本 ・ネギ：2,700トレイ ・ダリア：501本</p> <p>※庄内バイオ研修センター利用状況 (単位：日、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">開館 日数</th> <th colspan="4">研修会及び実験室利用等</th> <th rowspan="2">研修室 ・会議等</th> <th rowspan="2">視察見学 等来館者</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>学習会</th> <th>農業者</th> <th>社会人</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>260</td> <td>47</td> <td>38</td> <td>37</td> <td>24</td> <td>102</td> <td>285</td> <td>533</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>244</td> <td>79</td> <td>17</td> <td>87</td> <td>18</td> <td>73</td> <td>328</td> <td>602</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>240</td> <td>45</td> <td>20</td> <td>143</td> <td>21</td> <td>59</td> <td>222</td> <td>510</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 人材育成として実施している学習会での小中学生及び高校生の受講者数は年々減少傾向にあったが、これまで延べ約900名が受講し、バイオ技術の理解や啓発に貢献した。種苗供給については、全農山形、農協が主体となった体制のもとで種苗生産を実施することになったことから、平成30年度で種苗供給推進協議会は解散した。また、庄内バイオ研修センターも、設立当初の目的が達成され、当時の環境とは変化したことから平成30年度で廃止した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間利用者数（人）</td> <td>550</td> <td>510</td> </tr> </tbody> </table>				年度	開館 日数	研修会及び実験室利用等				研修室 ・会議等	視察見学 等来館者	合 計	学習会	農業者	社会人	その他	H28	260	47	38	37	24	102	285	533	H29	244	79	17	87	18	73	328	602	H30	240	45	20	143	21	59	222	510	評価指標（単位）	目標	実績	年間利用者数（人）	550	510
年度	開館 日数	研修会及び実験室利用等					研修室 ・会議等	視察見学 等来館者	合 計																																									
		学習会	農業者	社会人	その他																																													
H28	260	47	38	37	24	102	285	533																																										
H29	244	79	17	87	18	73	328	602																																										
H30	240	45	20	143	21	59	222	510																																										
評価指標（単位）	目標	実績																																																
年間利用者数（人）	550	510																																																
備考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国） 4,859,631円																																																	

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	7目 地域農業生産対策費	= 予算所属 = 農林水産部農政課														
事業名	鳥海南麓畑地振興対策推進事業																	
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①														
1,963,000円	1,306,858円	0円	656,142円	66.6%														
目的・趣旨	国営造成事業で整備した鳥海南麓畑地にかかる営農施設の維持管理や、同地区農地の熟畑化を支援することで、同地区の特色を活かした経営の展開を図り、農業所得の向上につなげる。																	
事業成果の概要等	<p>○事業内容 鳥海南麓団地内の用水設備や管理休養施設等営農施設の維持管理を行った。また、同団地内の生産組織が行った堆肥等導入及び農業用機械を使用した深耕による土壌改良に対して支援を行った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 鳥海南麓団地内の営農施設管理 681,858円 (2) 鳥海南麓土壌改良支援事業費補助金 625,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>受益面積</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドリーム・アグリ・カンパニー</td> <td>2.5ha</td> <td>1,577,246円</td> <td>625,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※補助率：堆肥等の施用 1/2以内 ：農業用機械を使用しての深耕 1/3以内</p> <p>○評価・方向性 鳥海南麓地区では、主にえだまめ、そば、啓翁桜などが栽培されており、これまでも土壌改良等に支援し、更なる作付面積の拡大を図ってきたが、依然として土壌状態は厳しいものがある。引き続き、耕作者等との意見交換等を実施して、生産意欲のある農家に対し支援を行うことで作付面積の拡大を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作付面積（a）</td> <td>7,860</td> <td>4,676</td> </tr> </tbody> </table>				事業主体	受益面積	事業費	補助金額	ドリーム・アグリ・カンパニー	2.5ha	1,577,246円	625,000円	評価指標（単位）	目標	実績	作付面積（a）	7,860	4,676
事業主体	受益面積	事業費	補助金額															
ドリーム・アグリ・カンパニー	2.5ha	1,577,246円	625,000円															
評価指標（単位）	目標	実績																
作付面積（a）	7,860	4,676																
備考																		

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	7目 地域農業生産対策費	= 予算所属 = 農林水産部農政課
事業名	野生鳥獣農作物被害対策事業			
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③ 執行率 ②/①
1,599,000円	974,670円		0円	624,330円 61.0%
目的・趣旨	酒田市鳥獣被害防止計画における農作物被害の軽減目標の達成のため、平成30年度に酒田市鳥獣被害対策実施隊を設置し、地域における農作物の被害対策を的確かつ効果的に実施し、被害の減少により農業の生産性を高める。			
事業・成果の概要等	○事業内容 山形県猟友会酒田支部より推薦のあった46名を「酒田市鳥獣被害対策実施隊員」として委嘱し、生産者団体等からの要請に応じて、有害鳥獣の駆除活動を行った。			
	○事業実績・説明 (1) 有害鳥獣被害対策実施隊の活動 970,200円 ・実施隊の活動報酬 クマの出没による箱わな設置、撤去、運搬、巡視作業、鳥類の追払い等			
	(2) 事務費 4,470円			
	※捕獲実施状況 (単位：頭、羽、人)			
	捕獲地区・地域	対象鳥獣	捕獲数	捕獲参加延べ人数
	八幡	クマ	3	51
	袖浦	カラス	12	13
	平田	カラス	33	18
	松山	クマ	2	12
	刈屋	ムクドリ	111	41
	宮内	カワウ	20	32
	穂積市神	カワウ	11	40
	○評価・方向性 酒田市鳥獣被害対策実施隊を設置し、関係機関と連携しながら有害鳥獣の捕獲活動をより機動的に行うことで、農作物の被害金額を確実に軽減することができた。引き続き、酒田市鳥獣被害防止計画に基づき農作物の被害軽減に努める。			
	評価指標 (単位)		目標	実績
	有害鳥獣による農作物被害額 (百万円)		30	29
備考				

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	7目 地域農業生産対策費	= 予算所属 = 農林水産部農政課
事業名	園芸大国やまがた産地育成支援事業			
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③ 執行率 ②/①
34,697,000円	33,571,000円		0円	1,126,000円 96.8%
目的・趣旨	山形県が策定した「第3次農林水産業元気再生戦略」に基づき、園芸大国やまがたの実現に向けて、園芸農業の産出額のさらなる拡大と園芸産地をリードする競争力の高い経営体の育成を図る。			
事業・成果の概要等	○事業内容 農業者団体などが、メロン、ミニトマト、アスパラガスといった酒田産農産物の産地化を図るための施設整備等に対し支援を行った。			
	○事業実績・説明 園芸大国やまがた産地育成支援事業費補助金 33,571,000円 ・生産基盤整備事業 (単位：円)			
		事業主体	実施内容	事業費 補助金額
		浜中農業経営研鑽会 (メロン)	パイプハウス7棟 (1,588㎡)	9,481,211 4,740,000
	J A庄内みどり (ミニトマト)	(リース)パイプハウス9棟 (1,900㎡)、遮光資材、循環扇、灌水資材他	11,241,811 5,203,000	
	J A庄内みどり (アスパラガス)	(リース)パイプハウス4棟 (1,073㎡)、循環扇、灌水資材、防風柵	7,352,863 3,434,000	
	J A庄内みどり (パブリカ)	(リース)パイプハウス1棟 (153㎡)、遮光資材、循環扇、灌水資材	1,014,470 469,000	
	J A庄内みどり (シャインマスカット)	(リース)パイプハウス7棟 (1,800㎡)、遮光資材、灌水資材	10,756,384 4,977,000	
	潮風農園 (枝豆)	枝豆収穫機GTH-1、枝豆供給ホッパー、枝豆選別コンベア 各1	5,076,000 2,538,000	
	東平田花木専門部 (啓翁桜)	パイプハウス1棟 (194㎡)、オンドル (暖房機)1式	3,602,756 1,800,000	
	そでうら園芸組合 (アスパラガス、メロン他)	パイプハウス9棟 (2,075㎡)	14,317,511 7,158,000	
	そでうらファーム さといも研究会	高畝整形マルチャー、ニプロ掘取機 各1	1,058,400 528,000	
	北部ストック研究会	パイプハウス3棟 (806㎡)	5,448,245 2,724,000	
	※補助率：1/2以内 (県5/12、市1/12)			
	○評価・方向性 本市が産地化を目指すメロン、ミニトマト、アスパラガス等の園芸作物について、農業者団体等の事業主体自らが策定した産地化計画により必要な基盤整備を支援したところ、当該作付面積が増えている。引き続き、販売額の増大につながる園芸品目の産地づくりを支援する。			
	評価指標 (単位)		目標	実績
	園芸品目の販売額 (管内農協取扱実績) (百万円)		3,490	3,023
備考	○主な特定財源 園芸大国やまがた産地育成支援事業費補助金 (県) 27,977,000円			

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	7目 地域農業生産対策費	= 予算所属 = 農林水産部農政課																
事業名	産地パワーアップ事業																			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																
10,909,000円	10,313,000円	0円	596,000円	94.5%																
目的・趣旨	生産拡大に意欲のある農業者等が、地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組に対して支援し、生産性や品質の向上を図り、農業産出額の増加につなげる。																			
事業・成果の概要等	○事業内容 酒田産農産物の要となる園芸作物において、ねぎや枝豆の収穫等の機械化一貫体制の確立による生産性の向上、パイプハウスの設置による品質の向上を図る取組に対して支援を行った。																			
	○事業実績・説明 産地パワーアップ事業費補助金 10,313,000円																			
	・生産支援事業 (単位：円)																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>主な実施内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広野上組園芸振興組合</td> <td>乗用土寄せ管理機 ねぎ掘取り機</td> <td>5,779,201</td> <td>2,674,000</td> </tr> <tr> <td>農事組合法人一心きらきらファーム</td> <td>枝豆収穫機</td> <td>4,428,000</td> <td>2,050,000</td> </tr> <tr> <td>J A庄内みどり浜中メロン組合</td> <td>パイプハウス、遮光資材、防虫資材、灌水資材</td> <td>11,178,349</td> <td>5,589,000</td> </tr> </tbody> </table>				事業主体	主な実施内容	事業費	補助金額	広野上組園芸振興組合	乗用土寄せ管理機 ねぎ掘取り機	5,779,201	2,674,000	農事組合法人一心きらきらファーム	枝豆収穫機	4,428,000	2,050,000	J A庄内みどり浜中メロン組合	パイプハウス、遮光資材、防虫資材、灌水資材	11,178,349	5,589,000
	事業主体	主な実施内容	事業費	補助金額																
広野上組園芸振興組合	乗用土寄せ管理機 ねぎ掘取り機	5,779,201	2,674,000																	
農事組合法人一心きらきらファーム	枝豆収穫機	4,428,000	2,050,000																	
J A庄内みどり浜中メロン組合	パイプハウス、遮光資材、防虫資材、灌水資材	11,178,349	5,589,000																	
※補助率：1/2以内																				
○評価・方向性 生産拡大に意欲のある農業者等が、地域の営農戦略として酒田産農産物の産地化を図るための「産地パワーアップ計画」に基づいた取組に対しての施設整備を支援してきた。引き続き、生産性や品質の向上、そして農業所得の向上に向けた取組を支援する。																				
評価指標 (単位)		目標	実績																	
米穀・園芸品目の販売額 (管内農協取扱実績) (百万円)		20,482	13,078																	
備考	○主な特定財源 産地パワーアップ事業費補助金 (県) 10,313,000円																			

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	7目 地域農業生産対策費	= 予算所属 = 農林水産部農政課								
事業名	さかた農産物ブランド化チャレンジ支援事業											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①								
10,000,000円	9,437,000円	0円	563,000円	94.4%								
目的・趣旨	生産者団体や認定農業者が酒田産農産物について取り組む新たな作物の導入や生産コストの低減、省力化等のチャレンジに対して支援を行うことにより、酒田産農産物の産地化やブランド化の構築を図るとともに経営基盤を強化することで農業産出額の増加を図る。											
事業・成果の概要等	○事業内容 生産者団体等の生産者団体や認定農業者が、長ねぎ、アスパラガス、メロン、カラー等の重点品目の酒田産農産物について、ブランド化へチャレンジするために必要な園芸施設や機械導入に対して支援を行った。											
	○事業実績・説明 さかた農産物ブランド化チャレンジ支援事業費補助金 9,437,000円											
	(1) 水田での取組 (単位：円)											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>主な実施内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4団体、3個人 計7件</td> <td>左記7件それぞれについて、長ねぎ管理機、整形器、移植機、マルチスプレッター、ハウス用さく井工事、振動サブソイラーといった導入に支援</td> <td>7,809,632</td> <td>3,719,000</td> </tr> </tbody> </table>				事業主体	主な実施内容	事業費	補助金額	4団体、3個人 計7件	左記7件それぞれについて、長ねぎ管理機、整形器、移植機、マルチスプレッター、ハウス用さく井工事、振動サブソイラーといった導入に支援	7,809,632	3,719,000
	事業主体	主な実施内容	事業費	補助金額								
4団体、3個人 計7件	左記7件それぞれについて、長ねぎ管理機、整形器、移植機、マルチスプレッター、ハウス用さく井工事、振動サブソイラーといった導入に支援	7,809,632	3,719,000									
※補助率：1/2又は団体1,000千円、個人500千円のいずれか低い額												
(2) 畑地・果樹園・その他の取組 (単位：円)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>主な実施内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10団体、4個人 計14件</td> <td>左記14件それぞれについて、スピードスプレーヤー、遮光資材、防虫資材、背負動力噴霧機、防除機、自走式ラジコン動噴機といった導入に支援</td> <td>19,125,226</td> <td>5,718,000</td> </tr> </tbody> </table>				事業主体	主な実施内容	事業費	補助金額	10団体、4個人 計14件	左記14件それぞれについて、スピードスプレーヤー、遮光資材、防虫資材、背負動力噴霧機、防除機、自走式ラジコン動噴機といった導入に支援	19,125,226	5,718,000	
事業主体	主な実施内容	事業費	補助金額									
10団体、4個人 計14件	左記14件それぞれについて、スピードスプレーヤー、遮光資材、防虫資材、背負動力噴霧機、防除機、自走式ラジコン動噴機といった導入に支援	19,125,226	5,718,000									
※補助率：1/3又は団体1,000千円、個人500千円のいずれか低い額												
○評価・方向性 生産者団体等のチャレンジに支援することで、取組初期のリスク軽減を図り、生産コストの低減や省力化により、経営基盤を強化している。酒田産農産物のブランド化には様々な取組が必要であり、国や県の事業では対象外の取組であっても、産地の特徴を見出し、特産に育てるための支援をきめ細かく行えるよう継続していく。												
評価指標 (単位)		目標	実績									
米穀・園芸品目の販売額 (管内農協取扱実績) (百万円)		20,482	13,078									
備考												

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	7目 地域農業生産対策費	= 予算所属 = 農林水産部農政課																																
事業名	経営所得安定対策等運営事業																																			
予算現額 ①	20,408,000円	20,408,000円	0円	0円																																
支出済額 ②																																				
翌年度繰越額 ③																																				
不用額 ①-②-③																																				
執行率 ②/①	100.0%																																			
目的・趣旨	米の「生産の目安」達成のため、県の補助金を活用し状況確認や周知徹底等の実効性を確保する。また、産地交付金の設定・作付確認等を展開し、国から直接支払われる同交付金の活用により高収益作物等への転換を促進し、主食用米のみに依存しない生産を図る。																																			
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>酒田市農業再生協議会が行う、「生産の目安」（米需給調整）の算定・提示に関する調整事務及び経営所得安定対策等の実施に必要な地域段階での推進活動や要件確認等に要する以下の活動を支援した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 米需給調整事務 3,937,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産の目安の算定・提示及び地域全体の調整・周知徹底 ・生産の目安の達成状況確認 ・水稻生産実施計画書の電算処理等 <p>(2) 経営所得安定対策等事務 16,255,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営所得安定対策等の普及・推進活動 ・水田フル活用ビジョンの作成 ・産地交付金の要件設定・確認等 <p>(3) 酒田市の農業の方向性の作成 216,000円</p> <p>【経営所得安定対策等の申請状況】</p> <p>※交付申請件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>経営形態</th> <th>個人</th> <th>法人</th> <th>団体</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>1,436件</td> <td>40件</td> <td>51件</td> <td>1,527件</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>1,824件</td> <td>51件</td> <td>12件</td> <td>1,887件</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>1,604件</td> <td>54件</td> <td>10件</td> <td>1,668件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各交付金における交付対象面積及び交付額（国から農家へ直接支払われる推定額）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交付金区分</th> <th>対象面積</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水田活用の直接支払交付金</td> <td>5,995.7ha</td> <td>1,900,325,000円</td> </tr> <tr> <td>畑作物の直接支払交付金</td> <td>779.3ha</td> <td>138,099,000円</td> </tr> <tr> <td>収入減少影響緩和対策交付金</td> <td>109.3ha</td> <td>1,231,413円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>米需給調整事務や経営所得安定対策等事務経費は、県を通じての10割補助であり、生産の目安の達成や産地交付金など、本市の農業者にメリットが最大限得られるよう、酒田市農業再生協議会で引き続き取り組む。</p>				経営形態	個人	法人	団体	合計	平成28年度	1,436件	40件	51件	1,527件	平成29年度	1,824件	51件	12件	1,887件	平成30年度	1,604件	54件	10件	1,668件	交付金区分	対象面積	交付額	水田活用の直接支払交付金	5,995.7ha	1,900,325,000円	畑作物の直接支払交付金	779.3ha	138,099,000円	収入減少影響緩和対策交付金	109.3ha	1,231,413円
経営形態	個人	法人	団体	合計																																
平成28年度	1,436件	40件	51件	1,527件																																
平成29年度	1,824件	51件	12件	1,887件																																
平成30年度	1,604件	54件	10件	1,668件																																
交付金区分	対象面積	交付額																																		
水田活用の直接支払交付金	5,995.7ha	1,900,325,000円																																		
畑作物の直接支払交付金	779.3ha	138,099,000円																																		
収入減少影響緩和対策交付金	109.3ha	1,231,413円																																		
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①生産の目安の達成率（%）</td> <td>① 100</td> <td>① 99.7</td> </tr> <tr> <td>②産地交付金の対象面積（ha）</td> <td>②3,100</td> <td>②3,044</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	①生産の目安の達成率（%）	① 100	① 99.7	②産地交付金の対象面積（ha）	②3,100	②3,044																							
評価指標（単位）	目標	実績																																		
①生産の目安の達成率（%）	① 100	① 99.7																																		
②産地交付金の対象面積（ha）	②3,100	②3,044																																		
備考	<p>○主な特定財源 経営所得安定対策等推進事業費補助金（県） 16,255,000円</p> <p>米需給調整推進事業費補助金（県） 3,937,000円</p>																																			

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	7目 地域農業生産対策費	= 予算所属 = 農林水産部農政課						
事業名	飼料用米生産拡大支援事業									
予算現額 ①	333,000円	333,000円	0円	0円						
支出済額 ②										
翌年度繰越額 ③										
不用額 ①-②-③										
執行率 ②/①	100.0%									
目的・趣旨	飼料用米等非主食用米の生産を拡大し、需要に応じた多様な米づくりを推進するため、飼料用米の保管や集荷に必要な施設等の整備を支援し、生産拡大を図る。									
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>飼料用米の生産拡大を図る農業者に対し、飼料用米の保管や集荷に必要な施設整備に対し支援した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>飼料用米生産拡大支援事業費補助金 333,000円</p> <p>フレコンスケールの導入 1件</p> <p>事業費：1,080,000円</p> <p>補助率：1/3以内（県3/12 市1/12）</p> <p>○評価・方向性</p> <p>フレコンスケールの導入によって飼料用米計量作業の効率化が図られた。需要に応じた主食用米の生産を行って価格を安定させるためには、飼料用米等の非主食用米の生産を拡大し、需要に応じた多様な米づくりを推進する必要がある、引き続き、飼料用米の作付拡大を目指す農業者を支援する。</p>									
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>飼料用米生産量（t）</td> <td>5,100</td> <td>4,863</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	飼料用米生産量（t）	5,100	4,863
評価指標（単位）	目標	実績								
飼料用米生産量（t）	5,100	4,863								
備考	<p>○主な特定財源 飼料用米生産拡大支援事業費補助金（県） 250,000円</p>									

款 項 目	6 款	1 項	5 目	= 予 算 所 属 =	
	農林水産業費	農業費	農地費	農林水産部	農林水産課
事 業 名	農村環境改善センター改修事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,726,000 円	1,598,400 円	0 円	127,600 円	92.6 %	
目 的・趣 旨	農村居住者の研修及び集会施設として設置された農村環境改善センターの改修を行う。				
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 平田農村環境改善センターのホール系統空調設備が老朽化しており、その設備更新するため設計業務を行った。</p> <p>○事業実績・説明 ・平田農村環境改善センター ホール系統空調設備更新設計業務委託 設計委託料 1,598,400 円</p> <p>・平成29年度 8,384,040 円 松山農村環境改善センター外構改修工事</p> <p>・平成28年度 35,117,280 円 松山農村環境改善センター照明設備工事（建築・電気工事） 平田農村環境改善センター高圧受電設備工事</p> <p>・平成27年度 67,508,640 円 酒田農村環境改善センター下水道工事 平田農村環境改善センター耐震改修工事</p> <p>○評価・方向性 設計業務委託を実施し、現在と同規模の冷暖房能力があり、経済性に優れた設計成果となった。今後、計画的に更新工事を実施していく。</p>				
	評価指標（単位）	目標	実績		
	年度内事業の完了	完了			
備 考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 1,500,000 円				

款 項 目	6 款	1 項	5 目	= 予 算 所 属 =																																							
	農林水産業費	農業費	農地費	農林水産部	農林水産課																																						
事 業 名	国営造成施設管理体制整備促進事業																																										
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																							
24,104,000 円	24,100,000 円	0 円	4,000 円	99.9 %																																							
目 的・趣 旨	農業水利施設が有する河川の水量調整、自然災害防止、景観維持などの農業以外の多面的機能と農業用かんがい機能維持のため、揚水機場等の維持管理費を支援する。																																										
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 国営、県営事業により整備した揚水機等の維持管理を行う土地改良区等に農業以外の社会的効果に相当する割合の負担金を支出した。</p> <p>（農業水利施設の持つ社会的効果と農業用効果の割合は、0.6 : 1.6 であることから、土地改良区等への対象施設の管理経費の6/16を上限として、農業以外の公益的な効果として支援した。）</p> <p>○事業実績・説明 （1）土地改良施設管理体制整備推進協議会負担金（単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>費用区分</th> <th>事業主体</th> <th>市負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">整備推進活動費</td> <td>最上川下流右岸地区土地改良施設管理体制整備推進協議会</td> <td>119,000</td> </tr> <tr> <td>赤川地区土地改良施設管理体制整備推進協議会</td> <td>9,000</td> </tr> <tr> <td>最上川下流地区土地改良施設管理体制整備推進協議会</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>143,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>（2）国営造成施設管理体制整備支援事業負担金（単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>費用区分</th> <th>事業主体</th> <th>市負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">整備強化支援費</td> <td>日向川土地改良区</td> <td>14,440,000</td> </tr> <tr> <td>大町溝土地改良区</td> <td>4,671,000</td> </tr> <tr> <td>最上川下流右岸地区共同管理（大町溝土地改良区）</td> <td>2,364,000</td> </tr> <tr> <td>庄内赤川土地改良区</td> <td>900,000</td> </tr> <tr> <td>最上川土地改良区</td> <td>1,580,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>23,955,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>（3）県営造成施設管理体制整備支援事業負担金（単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>費用区分</th> <th>事業主体</th> <th>市負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">整備強化支援費</td> <td>西郷土地改良区</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 これまで本事業に取り組むことで、管理組織との管理協定も着実に増加し、環境保全や防火体制の整備に一定の成果を挙げてきた。今後も、管理体制の整備に向けて、関係機関と協力し、取り組んでいく。</p>					費用区分	事業主体	市負担金	整備推進活動費	最上川下流右岸地区土地改良施設管理体制整備推進協議会	119,000	赤川地区土地改良施設管理体制整備推進協議会	9,000	最上川下流地区土地改良施設管理体制整備推進協議会	15,000	合 計		143,000	費用区分	事業主体	市負担金	整備強化支援費	日向川土地改良区	14,440,000	大町溝土地改良区	4,671,000	最上川下流右岸地区共同管理（大町溝土地改良区）	2,364,000	庄内赤川土地改良区	900,000	最上川土地改良区	1,580,000	合 計		23,955,000	費用区分	事業主体	市負担金	整備強化支援費	西郷土地改良区	2,000	合 計	2,000
	費用区分	事業主体	市負担金																																								
整備推進活動費	最上川下流右岸地区土地改良施設管理体制整備推進協議会	119,000																																									
	赤川地区土地改良施設管理体制整備推進協議会	9,000																																									
	最上川下流地区土地改良施設管理体制整備推進協議会	15,000																																									
合 計		143,000																																									
費用区分	事業主体	市負担金																																									
整備強化支援費	日向川土地改良区	14,440,000																																									
	大町溝土地改良区	4,671,000																																									
	最上川下流右岸地区共同管理（大町溝土地改良区）	2,364,000																																									
	庄内赤川土地改良区	900,000																																									
	最上川土地改良区	1,580,000																																									
合 計		23,955,000																																									
費用区分	事業主体	市負担金																																									
整備強化支援費	西郷土地改良区	2,000																																									
	合 計	2,000																																									
評価指標（単位）	目標	実績																																									
管理体制整備計画（千円）	24,104	24,100																																									
備 考	○主な特定財源 国営造成施設管理体制整備促進事業費補助金（県） 18,074,500 円																																										

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	5目 農地費	= 予算所属 = 農林水産部農林水産課																						
事業名	農業基盤整備事業																									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																						
20,094,400円	17,003,961円	2,900,000円	190,439円	84.6%																						
目的・趣旨	排水路の整備及びほ場整備に係る換地業務を行うことにより、生産効率の向上及び農業競争力の強化を図る。																									
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 烏海南麓山楯団地排水整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 排水整備工事 (次年度繰越) 設計委託 用地取得 <p>(2) 烏海南麓泥沢工区揚水施設復旧 ※年度途中緊急対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 揚水施設復旧工事 <p>(3) 備畑地区経営体育成基盤整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ほ場整備実施のための換地業務委託 備畑地区 円能寺・沖地区 																									
事業実績・説明	<p>○事業実績・説明 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>県支出金</th> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換地業務委託料</td> <td>7,729,560</td> <td rowspan="5">13,441,360</td> <td rowspan="5">2,400,000</td> <td rowspan="5">1,162,601</td> </tr> <tr> <td>設計委託料</td> <td>6,024,240</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>3,242,160</td> </tr> <tr> <td>用地取得</td> <td>8,001</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17,003,961</td> </tr> </tbody> </table>					項目	事業費	財源内訳			県支出金	市債	一般財源	換地業務委託料	7,729,560	13,441,360	2,400,000	1,162,601	設計委託料	6,024,240	工事請負費	3,242,160	用地取得	8,001	合計	17,003,961
項目	事業費	財源内訳																								
		県支出金	市債	一般財源																						
換地業務委託料	7,729,560	13,441,360	2,400,000	1,162,601																						
設計委託料	6,024,240																									
工事請負費	3,242,160																									
用地取得	8,001																									
合計	17,003,961																									
評価・方向性	<p>排水整備により、住民の安全確保及び農業水利施設の健全な維持管理が図られた。また、農業施設の計画的な整備を行うことにより、生産効率の向上、農業競争力の強化に寄与することから、今後も継続して事業に取り組んでいく。</p>																									
評価指標 (単位)	目標		実績																							
水路整備率 (%)	43		35																							
備考	<p>○主な特定財源 農業基盤整備促進事業費補助金 (県) 3,551,800円</p> <p>経営体育成基盤整備事業換地業務委託金 (県) 7,729,560円</p> <p>過疎対策事業債 (市債) 2,400,000円</p>																									

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	5目 農地費	= 予算所属 = 農林水産部農林水産課	
事業名	土地改良負担事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
303,309,000円	302,911,772円	0円	397,228円	99.9%	
目的・趣旨	農業の生産性の向上、農業総生産の増大等に資するため行う農業生産基盤の整備について、本市が受ける利益を限度として、事業に要する費用の一部を負担する。				
事業内容及び事業実績	<p>○事業内容及び事業実績</p> <p>(1) 過年度に完了した土地改良事業に対する負担金 14,135,877円</p> <ul style="list-style-type: none"> 最上川下流地区国営農業水利事業負担金 14,135,877円 (償還期間：H14～H30、内訳：松山町分7,375,701円、平田町分6,760,176円) <p>(2) 平成30年度県営土地改良事業に対する負担金 288,775,895円</p> <ul style="list-style-type: none"> 西郷北部地区経営体育成基盤整備事業 10,000円 坂野辺地区経営体育成基盤整備事業 (※) 19,860,200円 備畑地区経営体育成基盤整備事業 (※) 15,254,160円 円能寺・沖地区経営体育成基盤整備事業 (※) (新規) 15,925,000円 広野地区農業水利施設保全合理化事業 (※) 120,000,000円 吉田新堀西野地区水利施設整備事業 (※) 4,451,400円 田沢川地区水利施設整備事業 (※) 25,000,000円 酒田地区水田畑地化基盤強化対策事業 (※) 1,605,000円 酒田地区水田畑地化基盤強化対策事業 (特定農山村) (※) 7,816,500円 日向川地区地域用水環境整備事業 (※) 1,204,000円 柳沢地区農村地域防災減災事業 (※) 16,380,000円 庄内砂丘地区農村地域防災減災事業 (※) 24,576,000円 京田川地区農村地域防災減災事業 (※) 16,487,000円 本溝地区農村地域防災減災事業 (※) 3,220,000円 南幹線基幹水利施設ストックマネジメント事業 (※) 13,319,400円 赤川地区国営造成施設維持管理事業 (赤川頭首工) 97,037円 最上川下流右岸地区基幹水利施設管理事業 (平沢揚水機場) 1,564,448円 最上川下流右岸2地区基幹水利施設管理事業 (導水幹線用水路) 711,203円 最上川下流地区基幹水利施設管理事業 (北楯頭首工) 238,609円 赤川2地区基幹水利施設管理事業 (赤川幹線用水路) 166,289円 最上川下流右岸地区基幹水利施設管理事業 (整備補修) 307,923円 最上川下流右岸2地区基幹水利施設管理事業 (整備補修) 539,362円 最上川下流地区基幹水利施設管理事業 (整備補修) 42,364円 				
事業成果の概要等	<p>(※) 市債充当事業</p> <p>○評価・方向性</p> <p>農業用施設の増強や老朽化、防災減災に取り組んだことにより、農作業の効率化と農村地域の安全確保に効果を上げられた。しかし、さらなる生産性の向上等のためには、遅れている事業の早期完成の働きかけを行っていく。</p>				
評価指標 (単位)	目標		実績		
事業進捗率 (%)	71		65		
備考	<p>○主な特定財源 受益者分担金 16,151,160円、公共事業等債 (市債) 205,300,000円</p> <p>一般補助施設整備等事業債 (市債) 29,600,000円</p> <p>過疎対策事業債 (市債) 13,800,000円</p>				

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	5目 農地費	= 予算所属 = 農林水産部農林水産課																									
事業名	農道整備事業																												
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																								
7,300,000円	6,788,494円		0円	511,506円	93.0%																								
目的・趣旨	老朽化した農道の整備補修を行い、生産効率の向上、農業競争力の強化を図る。また、農道橋梁の点検診断を行い、適切な補修計画により農道橋梁の延命化を図っていく。																												
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 施設修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> 農道滝谷線法面修繕 鳥海南麓重倉工区（支線農道）被災箇所復旧修繕 鳥海南麓山楯工区南山団地5ブロック農道法面修繕 鳥海南麓山楯団地（南山）農道舗装及びガードレール等補修 <p>(2) 農道橋梁点検（4橋）</p> <ul style="list-style-type: none"> 南麓大橋（八幡地域）橋梁延長 L=142.0m 滝の里橋（八幡地域）橋梁延長 L=24.9m 鈴川橋（松山地域）橋梁延長 L=15.0m 松の木橋（松山地域）橋梁延長 L=24.0m <p>○事業実績・説明</p> <p style="text-align: right;">（単位：円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内 容</th> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設修繕（4箇所）</td> <td>5,126,374</td> <td>5,100,000</td> <td>26,374</td> </tr> <tr> <td>農道橋梁点検（4橋）</td> <td>1,662,120</td> <td>0</td> <td>1,662,120</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>6,788,494</td> <td>5,100,000</td> <td>1,688,494</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>老朽化した農道の整備補修を行い、通行者の安全性、利便性を向上することができた。また、年次計画により農道橋梁の点検を行い、異常の有無、補修の必要性を把握できた。今後、計画的な補修を行っていく。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>年度内事業の完了</td> <td>完了</td> </tr> </tbody> </table>					内 容	事業費	財源内訳		市債	一般財源	施設修繕（4箇所）	5,126,374	5,100,000	26,374	農道橋梁点検（4橋）	1,662,120	0	1,662,120	合 計	6,788,494	5,100,000	1,688,494	評価指標（単位）	目標	実績		年度内事業の完了	完了
内 容	事業費	財源内訳																											
		市債	一般財源																										
施設修繕（4箇所）	5,126,374	5,100,000	26,374																										
農道橋梁点検（4橋）	1,662,120	0	1,662,120																										
合 計	6,788,494	5,100,000	1,688,494																										
評価指標（単位）	目標	実績																											
	年度内事業の完了	完了																											
備考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 5,100,000千円																												

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	5目 農地費	= 予算所属 = 農林水産部農林水産課							
事業名	地籍調査事業										
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
35,855,000円	13,388,818円		21,355,000円	1,111,182円	37.3%						
目的・趣旨	国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するため、地籍の明確化を図り、土地に関する最も基礎的な情報を整備する。										
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>一筆ごとの土地について、所有者・地番・地目・境界・面積を調査し、その成果をもとに登記簿の記載を修正し、公図を置き換えるため、その結果を地籍図・地籍簿に取りまとめた。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 地籍図根多角測量、一筆地調査、一筆地測量</p> <ul style="list-style-type: none"> 北俣字西沢 0.24km² <p>(2) 地積測定、複図作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 生石字泉山、願瀬山 0.22km² <p>(3) 地籍図根多角測量、一筆地調査、一筆地測量</p> <ul style="list-style-type: none"> 生石字ニツ山、十二ノ木 0.33km² <p>（国の補正予算に伴い、翌年度事業予算の一部を平成30年度補正予算で計上し、全額を繰越）</p> <p>○評価・方向性</p> <p>平田地域1か所と東平田地域1か所で調査し、土地に関する最も基礎的な情報（地籍）を整備し、山林の利用の高度化に資することができた。土地所有者の高齢化による境界精通者の激減という課題に一層拍車がかかることが懸念されるが、山林の利用促進を図るため地籍の明確化を継続していく。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施面積（km²）</td> <td>0.23</td> <td>0.24</td> </tr> </tbody> </table>					評価指標（単位）	目標	実績	実施面積（km ² ）	0.23	0.24
評価指標（単位）	目標	実績									
実施面積（km ² ）	0.23	0.24									
備考	○主な特定財源 地籍調査事業費補助金（県） 9,489,000円										

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	5目 農地費	= 予算所属 = 農林水産部農林水産課																																
事業名	多面的機能支払事業																																			
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																															
574,636,000円	574,634,634円		0円	1,366円	99.9%																															
目的・趣旨	水路、農道及びため池等、農業を支える共用の施設を維持管理するための地域の共同作業を支援し、農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図る。																																			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 農地維持支払 農地法面、水路、農道の草刈り、泥上げ等の基礎的な保全活動 資源向上支払（共同活動） 農地法面、水路、農道の初期補修、農村環境の美化、植栽等 資源向上支払（長寿命化） 老朽化した水路、農道等の計画的な補修 <p>多面的機能支払交付金単価 (単位：円/10a)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>田</th> <th>畑</th> <th>草地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地維持支払</td> <td>3,000</td> <td>2,000</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>資源向上支払（共同活動）</td> <td>1,500</td> <td>900</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>資源向上支払（長寿命化）</td> <td>4,400</td> <td>2,000</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>負担割合 国1/2 県1/4 市1/4 ※資源向上支払（共同活動）は5年継続組織の単価</p> <p>○事業実績・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組面積 1,034,224 a (農地維持支払に係る面積 田999,105 a、畑35,119 a) 取組実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>組織数</th> <th>交付金(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地維持支払</td> <td>50</td> <td>306,755,300</td> </tr> <tr> <td>資源向上支払（共同活動）</td> <td>44</td> <td>134,802,000</td> </tr> <tr> <td>資源向上支払（長寿命化）</td> <td>18</td> <td>125,348,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>566,905,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>平成30年度は51組織において市で認定された活動に取り組み、農業用施設、地域環境の保全に一定の効果が得られた。なお、砂丘の畑地帯の畑等は、水田と異なり水路の泥上げや草刈り等の課題が少ないため、制度への加入に至らず、活動取組面積が増加していない。ほとんどの組織が令和元年度から活動の見直し等を図りながら新たな事業計画を策定し、実施することになるため、更なる質的向上を目指し多面的機能の維持・発揮のため事業を継続していく。</p>					事業	田	畑	草地	農地維持支払	3,000	2,000	250	資源向上支払（共同活動）	1,500	900	150	資源向上支払（長寿命化）	4,400	2,000	400	事業	組織数	交付金(円)	農地維持支払	50	306,755,300	資源向上支払（共同活動）	44	134,802,000	資源向上支払（長寿命化）	18	125,348,000	合計		566,905,300
	事業	田	畑	草地																																
	農地維持支払	3,000	2,000	250																																
	資源向上支払（共同活動）	1,500	900	150																																
	資源向上支払（長寿命化）	4,400	2,000	400																																
	事業	組織数	交付金(円)																																	
	農地維持支払	50	306,755,300																																	
	資源向上支払（共同活動）	44	134,802,000																																	
	資源向上支払（長寿命化）	18	125,348,000																																	
	合計		566,905,300																																	
評価指標（単位）			目標	実績																																
活動取組面積（ha）			10,837	10,342																																
備考	<p>○主な特定財源 多面的機能支払事業交付金（県） 427,488,966円</p> <p>多面的機能支払事業過年度償還金 7,225,778円</p>																																			

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	5目 農地費	= 予算所属 = 農林水産部農林水産課																		
事業名	農村広場改修事業																					
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																	
1,004,000円	999,000円		0円	5,000円	99.5%																	
目的・趣旨	老朽化した農村広場の施設について改修を行い、本来の機能回復、利用者の事故等の未然防止及び利用拡大を図る。																					
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 工事請負費</p> <ul style="list-style-type: none"> 松山多目的運動公園東側階段改修工事 <p>○事業実績・説明</p> <p>(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設</th> <th rowspan="2">内容</th> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市 債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松山多目的運動公園東側階段</td> <td>階段工 N=11段 階段の組木を酒田産材を使用し て改修 園路舗装 A=8.5㎡ 手摺 L=4.4m</td> <td>999,000</td> <td>900,000</td> <td>99,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>999,000</td> <td>900,000</td> <td>99,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成29年度 3,391,200円 松山多目的運動公園遊歩道改修工事</p> <p>○評価・方向性</p> <p>事業の実施により利用者の安全性、利便性を向上することができた。今後も利用者が安全・快適に利用できる環境を整えるため、経年劣化等が見られる箇所について計画的に修繕・更新工事を実施していく。</p>					施設	内容	事業費	財源内訳		市 債	一般財源	松山多目的運動公園東側階段	階段工 N=11段 階段の組木を酒田産材を使用し て改修 園路舗装 A=8.5㎡ 手摺 L=4.4m	999,000	900,000	99,000	合計		999,000	900,000	99,000
	施設	内容	事業費	財源内訳																		
				市 債	一般財源																	
	松山多目的運動公園東側階段	階段工 N=11段 階段の組木を酒田産材を使用し て改修 園路舗装 A=8.5㎡ 手摺 L=4.4m	999,000	900,000	99,000																	
	合計		999,000	900,000	99,000																	
	評価指標（単位）			目標	実績																	
				年度内事業の完了	完了																	
	備考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 900,000円																				

款 項 目	6款	2項	2目	= 予算所属 =
	農林水産業費	林業費	林業振興費	
事業名	森林病虫害等対策事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
93,045,000円	40,586,550円	52,456,000円	2,450円	43.6%
目的・趣旨	防風や飛砂防備等の公益的機能を持つ海岸砂丘林と出羽丘陵地帯の松林を松くい虫の被害から守るため、国、県が実施する事業と連携を図りながら防除事業を実施した。			
事業・成果の概要等	○事業内容 防風や飛砂防備等の公益的機能を持つ海岸砂丘林と出羽丘陵地帯の松林を松くい虫の被害から守るため、国、県が実施する事業と連携を図りながら防除事業を実施した。			
	○事業実績・説明 (単位：円)			
	事業名 (事業箇所)	事業箇所	事業量	事業費
	森林病虫害等防除事業 (海岸林地上散布)	浜中地内ほか	99ha	10,638,000
	松くい虫防除事業 (地上散布)	総光寺沢 地内ほか	12ha	1,123,200
	保全松林健全化整備事業 (松山地区衛生伐)	総光寺沢 地内ほか	478本 389㎡	7,863,480
	保全松林健全化整備事業 (海岸林衛生伐春季)	浜中地内ほか	1,222本 647㎡	13,035,600
	松くい虫防除事業 (伐倒駆除秋季)	市条地内ほか	267本 306㎡	6,200,280
	松くい虫被害木活用事業 (森林区域外)	宮海地内ほか	25本 22㎡	1,123,200
	計		111ha 1,364㎡	39,983,760
○評価・方向性 庄内海岸林99ha、松山地区12haの薬剤地上散布及び市全域において1,364㎡の伐倒駆除を実施し、防風や飛砂防備等公益的機能の維持が図られた。しかしながら、松くい虫の被害はまだまだ発生しており今後も継続的な防除・駆除が必要である。業務委託費は、翌年度へ繰り越した。				
評価指標 (単位)		目標	実績	
①薬剤地上散布面積 (ha)		① 111	① 111	
②伐倒駆除体積 (㎡)		②1,850	②1,364	
備考	○主な特定財源 森林施業支援事業交付金 (県) 14,300,867円 森林病虫害等防除事業費補助金 (県) 7,978,500円 過疎対策事業債 (市債) 5,800,000円			

款 項 目	6款	2項	2目	= 予算所属 =	
	農林水産業費	林業費	林業振興費		農林水産部農林水産課
事業名	(繰越明許費) 森林病虫害等対策事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
67,998,960円	67,998,960円	0円	0円	100.0%	
目的・趣旨	防風や飛砂防備等の公益的機能を持つ海岸砂丘林と出羽丘陵地帯の松林を松くい虫の被害から守るため、国、県が実施する事業と連携を図りながら、防除事業を実施した。				
事業・成果の概要等	○事業内容 防風や飛砂防備等の公益的機能を持つ海岸砂丘林の松林を松くい虫の被害から守るため、国、県が実施する事業と連携を図りながら防除事業を実施した。				
	○事業実績・説明 (単位：円)				
	事業名 (事業箇所)	事業箇所	事業量	事業費	
	保全松林健全化整備事業 (海岸林衛生伐春季)	浜中地内ほか	5,866本 3,558㎡	67,998,960	
	○評価・方向性 庄内海岸林において3,558㎡の伐倒駆除を実施し、防風や飛砂防備等公益的機能の維持が図られた。しかしながら、松くい虫の被害はまだまだ拡大しており今後も継続的な防除・駆除が必要である。				
	評価指標 (単位)		目標	実績	
	伐倒駆除体積 (㎡)		3,558	3,558	
	備考	○主な特定財源 森林施業支援事業交付金 (県) 47,079,403円			

款 項 目	6款	2項	2目	= 予算所属 =																																							
	農林水産業費	林業費	林業振興費		農林水産部農林水産課																																						
事業名	森林ボランティア育成事業																																										
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																							
1,309,000円	1,224,786円	0円	84,214円	93.6%																																							
目的・趣旨	万里の松原や砂防林など、市民に身近な森林を守るボランティア活動を支援することにより、森林荒廃の防止と森林の多面的機能を理解してもらうことで森林環境教育を推進する。																																										
事業・成果の概要等	○事業内容 市民自らの手で森林を守るという趣旨で、ボランティアによる森林整備や清掃活動を推進し、学校や地域団体等の行う森林・自然環境学習について積極的に支援した。																																										
	(1) 山をきれいにしてウォーキング (2) 光ヶ丘松林整備ボランティア (3) 砂防林を育てよう (4) 学習林活動及び森林整備活動に関する学校行事への支援 (5) 庄内公益の森づくりを考える会への参加 (6) 地域団体等の行う自然環境学習、整備体験への支援																																										
	○事業実績・説明 酒田市主催事業 総事業費 1,224,786円 (単位：人)																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施日</th> <th>実施箇所</th> <th>活動内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山をきれいにしてウォーキング</td> <td>4月21日</td> <td>万里の松原</td> <td>ゴミ拾い</td> <td>162</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">光ヶ丘松林整備ボランティア</td> <td>6月23日</td> <td>万里の松原</td> <td>下刈、除伐</td> <td>257</td> </tr> <tr> <td>9月22日</td> <td>万里の松原</td> <td>下刈、除伐</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>砂防林を育てよう</td> <td>11月10日</td> <td>飯森山西地区</td> <td>枝打ち、つる切り</td> <td>196</td> </tr> <tr> <td colspan="4">計</td> <td>774</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	実施日	実施箇所	活動内容	参加者数	山をきれいにしてウォーキング	4月21日	万里の松原	ゴミ拾い	162	光ヶ丘松林整備ボランティア	6月23日	万里の松原	下刈、除伐	257	9月22日	万里の松原	下刈、除伐	159	砂防林を育てよう	11月10日	飯森山西地区	枝打ち、つる切り	196	計				774										
	事業名	実施日	実施箇所	活動内容	参加者数																																						
	山をきれいにしてウォーキング	4月21日	万里の松原	ゴミ拾い	162																																						
	光ヶ丘松林整備ボランティア	6月23日	万里の松原	下刈、除伐	257																																						
		9月22日	万里の松原	下刈、除伐	159																																						
	砂防林を育てよう	11月10日	飯森山西地区	枝打ち、つる切り	196																																						
	計				774																																						
森林整備活動状況 (単位：人)																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動組織名</th> <th>実施日</th> <th>実施箇所</th> <th>活動内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西荒瀬保育園</td> <td>4月14日</td> <td>西荒瀬森林内</td> <td>森林整備</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>酒田光陵高等学校</td> <td>5月24日</td> <td>万里の松原</td> <td>枝拾い</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>第一中学校</td> <td>7月11日</td> <td>宮海国有林</td> <td>枝打ち、つる切り</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>泉小学校</td> <td>10月26日</td> <td>大浜</td> <td>枝打ち</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>東北公益文科大学</td> <td>11月13日</td> <td>飯森山西地区</td> <td>ほだ木取り</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>松陵小学校</td> <td>11月14日</td> <td>大浜</td> <td>枝打ち</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td colspan="4">計</td> <td>1,566</td> </tr> </tbody> </table>				活動組織名	実施日	実施箇所	活動内容	参加者数	西荒瀬保育園	4月14日	西荒瀬森林内	森林整備	24	酒田光陵高等学校	5月24日	万里の松原	枝拾い	1,200	第一中学校	7月11日	宮海国有林	枝打ち、つる切り	126	泉小学校	10月26日	大浜	枝打ち	82	東北公益文科大学	11月13日	飯森山西地区	ほだ木取り	45	松陵小学校	11月14日	大浜	枝打ち	89	計				1,566
活動組織名	実施日	実施箇所	活動内容	参加者数																																							
西荒瀬保育園	4月14日	西荒瀬森林内	森林整備	24																																							
酒田光陵高等学校	5月24日	万里の松原	枝拾い	1,200																																							
第一中学校	7月11日	宮海国有林	枝打ち、つる切り	126																																							
泉小学校	10月26日	大浜	枝打ち	82																																							
東北公益文科大学	11月13日	飯森山西地区	ほだ木取り	45																																							
松陵小学校	11月14日	大浜	枝打ち	89																																							
計				1,566																																							
○評価・方向性 市民の協力を得ながら、本事業を展開することで、貴重な砂防林を後世に引き継ぐための森林ボランティアを育成している。森林景観の維持、環境の保全に対する意識を高めるため、今後も継続して実施していく。																																											
評価指標 (単位)		目標	実績																																								
ボランティア活動参加者数 (人)		2,000	2,340																																								
備考	○主な特定財源 みどり環境交付金 (県) 1,083,636円																																										

款 項 目	6款	2項	2目	= 予算所属 =												
	農林水産業費	林業費	林業振興費		農林水産部農林水産課											
事業名	森林整備地域活動支援事業															
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①												
3,800,000円	3,420,000円	0円	380,000円	90.0%												
目的・趣旨	適切な森林整備を通じて森林の有する多面的な機能の発揮を図る観点から、森林経営計画を立案するなど、施業実施まで意欲のある林業事業者等による森林施業実施・受委託の促進を図る。															
事業・成果の概要等	○事業内容 地域における適切な森林整備の取組みの推進を図る措置として、森林経営計画の認定を受ける者に森林整備活動支援交付金を交付した。															
	○事業実績・説明 (1) 交付対象 面的なまとまりをもって、計画的な間伐等を行うため、森林所有者から経営委託を受け、森林経営計画を作成する事業者															
	(2) 経営計画作成面積 総事業費 3,420,000円															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>計画箇所</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>大蕨、北青沢、北俣地内</td> <td>290.42ha</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>草津、大蕨、麓、北俣地内</td> <td>218.41ha</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>生石地内</td> <td>62.20ha</td> </tr> </tbody> </table>				年度	計画箇所	面積	H28	大蕨、北青沢、北俣地内	290.42ha	H29	草津、大蕨、麓、北俣地内	218.41ha	H30	生石地内	62.20ha
	年度	計画箇所	面積													
	H28	大蕨、北青沢、北俣地内	290.42ha													
	H29	草津、大蕨、麓、北俣地内	218.41ha													
	H30	生石地内	62.20ha													
	○評価・方向性 森林経営計画を作成することにより、間伐等の作業の効率化と森林施業の集約化が図られ、これにより計画的な森林整備が可能となった。引き続き経営計画を策定して森林施業実施を促進していく。															
	評価指標 (単位)		目標	実績												
森林経営計画作成面積 (ha)		210	62													
備考	○主な特定財源 森林整備地域活動支援交付金 (県) 2,565,000円															

款 項 目	6款 農林水産業費	2項 林業費	2目 林業振興費	= 予算所属 = 農林水産部農林水産課																																																																		
事業名	さかた型地域材利活用促進事業																																																																					
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																		
12,344,000円	11,948,546円	0円	395,454円	96.8%																																																																		
目的・趣旨	森林の有する公益的機能の発揮と地域経済の活性化のため、川上（林家、森林組合、素材生産業者）から川中（製材）及び川下（建築関係者）がネットワークを組織し、本市面積の6割を占める森林から産出する地域材の利用拡大を図る。																																																																					
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) さかたの家づくり利子補給 新築住宅に地域材を使用した場合、住宅ローンに利子補給を実施した。</p> <p>(2) 地域材利活用普及事業 住宅等の工事に地域材を使用した場合、100千円を上限として助成した。</p> <p>(3) さかた木づかいネットワーク事業 川上から川下までのネットワーク組織により、会員研修や市民向けの家づくり相談会を実施した。</p> <p>(4) 地域産材を活用した額縁作成 地域材を使用して額縁を作成し、市の表彰事業において積極的に使用しPRを行った。</p> <p>(5) 地域産材を活用した「さかたの木記念品」作成 酒田産木材利活用に対する本市の感謝の意を表するため「さかたの木記念品」を間伐材等で作成し、さかたの家づくり利子補給および地域材利活用普及事業の活用住宅に贈呈する。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業名</th> <th>事業費 (円)</th> <th>特定財源</th> <th>件数 (件)</th> <th>使用材積 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">H28</td> <td>さかたの家づくり利子補給</td> <td>2,418,087</td> <td>-</td> <td>19</td> <td>204.8</td> </tr> <tr> <td>地域材利活用普及事業</td> <td>1,800,000</td> <td>-</td> <td>18</td> <td>233.6</td> </tr> <tr> <td>さかた木づかいネットワーク事業</td> <td>2,113,000</td> <td>県支出金</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>酒田産間伐材利用促進事業</td> <td>697,680</td> <td>県支出金</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H29</td> <td>さかたの家づくり利子補給</td> <td>2,509,759</td> <td>-</td> <td>34</td> <td>406.8</td> </tr> <tr> <td>地域材利活用普及事業</td> <td>1,000,000</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>110.4</td> </tr> <tr> <td>さかた木づかいネットワーク事業</td> <td>2,113,000</td> <td>県支出金</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H30</td> <td>さかたの家づくり利子補給</td> <td>2,878,770</td> <td>-</td> <td>21</td> <td>253.7</td> </tr> <tr> <td>地域材利活用普及事業</td> <td>1,800,000</td> <td>-</td> <td>18</td> <td>180.6</td> </tr> <tr> <td>さかた木づかいネットワーク事業</td> <td>2,435,000</td> <td>県支出金</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域産材を活用した額縁 1,143 枚作成 4,719,276円 地域産材を活用した記念品 29 件贈呈 115,500円</p> <p>○評価・方向性 酒田産木材の利用拡大が図られる中で、木材素材生産量が増大している。今後も、建築業者等に本事業のPRを実施するなど川上から川下までのさかた木づかい夢ネットを活用し、酒田産木材のさらなる利用拡大を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域材等補助利用住宅における地域材使用量 (m³)</td> <td>400</td> <td>434</td> </tr> </tbody> </table>					年度	事業名	事業費 (円)	特定財源	件数 (件)	使用材積 (m³)	H28	さかたの家づくり利子補給	2,418,087	-	19	204.8	地域材利活用普及事業	1,800,000	-	18	233.6	さかた木づかいネットワーク事業	2,113,000	県支出金	-	-	酒田産間伐材利用促進事業	697,680	県支出金	-	-	H29	さかたの家づくり利子補給	2,509,759	-	34	406.8	地域材利活用普及事業	1,000,000	-	10	110.4	さかた木づかいネットワーク事業	2,113,000	県支出金	-	-	H30	さかたの家づくり利子補給	2,878,770	-	21	253.7	地域材利活用普及事業	1,800,000	-	18	180.6	さかた木づかいネットワーク事業	2,435,000	県支出金	-	-	評価指標 (単位)	目標	実績	地域材等補助利用住宅における地域材使用量 (m³)	400	434
年度	事業名	事業費 (円)	特定財源	件数 (件)	使用材積 (m³)																																																																	
H28	さかたの家づくり利子補給	2,418,087	-	19	204.8																																																																	
	地域材利活用普及事業	1,800,000	-	18	233.6																																																																	
	さかた木づかいネットワーク事業	2,113,000	県支出金	-	-																																																																	
	酒田産間伐材利用促進事業	697,680	県支出金	-	-																																																																	
H29	さかたの家づくり利子補給	2,509,759	-	34	406.8																																																																	
	地域材利活用普及事業	1,000,000	-	10	110.4																																																																	
	さかた木づかいネットワーク事業	2,113,000	県支出金	-	-																																																																	
H30	さかたの家づくり利子補給	2,878,770	-	21	253.7																																																																	
	地域材利活用普及事業	1,800,000	-	18	180.6																																																																	
	さかた木づかいネットワーク事業	2,435,000	県支出金	-	-																																																																	
評価指標 (単位)	目標	実績																																																																				
地域材等補助利用住宅における地域材使用量 (m³)	400	434																																																																				
備考	○主な特定財源 みどり環境交付金 (県) 2,435,000円																																																																					

款 項 目	6款 農林水産業費	2項 林業費	2目 林業振興費	= 予算所属 = 農林水産部農林水産課																																											
事業名	市有林間伐事業																																														
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																											
13,066,000円	13,045,500円	0円	20,500円	99.8%																																											
目的・趣旨	県、県林業公社、市、森林所有者が伐採搬出事業を集約化し、連携しながら利用間伐を実施し、地域材の素材生産、バイオマス材及び集成材利用等のまとまった木材の搬出を行うことで地域材の利用循環を図るとともに、間伐により良好な山林環境の維持を行う。																																														
事業内容	<p>○事業内容 県の補助事業等を活用し市有林の間伐事業を行い、搬出された木材を売却した。約24haの市有林を平成28年度～30年度の3か年計画で30%間伐を実施した。</p> <p>○事業実績・説明 総事業費 13,045,500円</p> <p>(1) 市有林間伐事業搬出間伐等業務</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>搬出間伐</th> <th>作業道開設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>6ha</td> <td>850m</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>6ha</td> <td>800m</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>11.85ha</td> <td>1,800m</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 市有林売却</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A材</th> <th>B材</th> <th>C・D材</th> <th>合計</th> <th>売却金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>171m³</td> <td>451m³</td> <td>497m³</td> <td>1,119m³</td> <td>3,127千円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>58m³</td> <td>255m³</td> <td>330m³</td> <td>643m³</td> <td>1,619千円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>473m³</td> <td>339m³</td> <td>598m³</td> <td>1,410m³</td> <td>4,500千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 間伐材を搬出することにより、地域材の有効利用・利用循環が図られた。良好な山林環境の維持を行うため引き続き計画的間伐を行う必要がある。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>間伐実施面積 (ha)</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>						搬出間伐	作業道開設	平成28年度	6ha	850m	平成29年度	6ha	800m	平成30年度	11.85ha	1,800m		A材	B材	C・D材	合計	売却金額	平成28年度	171m³	451m³	497m³	1,119m³	3,127千円	平成29年度	58m³	255m³	330m³	643m³	1,619千円	平成30年度	473m³	339m³	598m³	1,410m³	4,500千円	評価指標 (単位)	目標	実績	間伐実施面積 (ha)	12	12
	搬出間伐	作業道開設																																													
平成28年度	6ha	850m																																													
平成29年度	6ha	800m																																													
平成30年度	11.85ha	1,800m																																													
	A材	B材	C・D材	合計	売却金額																																										
平成28年度	171m³	451m³	497m³	1,119m³	3,127千円																																										
平成29年度	58m³	255m³	330m³	643m³	1,619千円																																										
平成30年度	473m³	339m³	598m³	1,410m³	4,500千円																																										
評価指標 (単位)	目標	実績																																													
間伐実施面積 (ha)	12	12																																													
備考	○主な特定財源 森林施業支援事業交付金 (県) 8,812,796円 市有林売却収入 4,232,704円																																														

款 項 目	6款 農林水産業費	2項 林業費	2目 林業振興費	= 予算所属 = 農林水産部農林水産課
事業名	林道整備事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
172,944,000円	29,907,360円	46,233,000円	96,803,640円	17.3%
目的・趣旨	通行に支障をきたしている林道の支障部分の改良整備を行い、民有林の搬出間伐を促進し、林業の活性化を図る。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 通行に支障をきたしている林道を木材の搬出が出来るよう改良整備工事を実施した。</p> <p>○事業実績・説明 林道山楯線ほか改良整備工事 総事業費 29,907,360円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区 山楯地内ほか ・箇所数 5箇所 ・延長 L=1,720m 			
	<p>○評価・方向性 年次の整備計画を策定することで、測量設計業務を実施し改良工法・工事費算定を把握できた。このことにより、次年度における円滑な発注が可能となった。また、事業費の平準化を検討するにあたり、測量設計業務による工法決定や概算工事費算定を継続的に実施していく。 平成30年8月の大雨災害による補正予算対応分のうち、年度内の事業完了が困難となった一部路線にかかる事業費を次年度に繰り越している。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	工事完了延長（m）		1,720	1,720
備考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 29,900,000円			

款 項 目	6款 農林水産業費	2項 林業費	2目 林業振興費	= 予算所属 = 農林水産部農林水産課	
事業名	林地台帳整備事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
5,019,000円	5,016,384円	0円	2,616円	99.9%	
目的・趣旨	林地台帳の情報の修正・更新を適切に行うことにより所有者情報の精度が向上するとともに、森林組合や林業事業体が森林の所有者に関する情報をワンストップで入手できることにより、森林施業集約化の促進を図る。				
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 市が、法務局、地方公共団体、森林組合等が保有している森林の土地の所有者、所在、境界に関する情報等について、関係者から情報を集め、林地台帳として一元的に取りまとめた。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 林地台帳の作成（資料収集整理、林地台帳及び林地台帳地図の修正、所有者情報等の更新） (2) 森林情報管理システム導入（既存森林GISへの林地台帳機能追加） 総事業費 5,016,384円</p> <p>○評価・方向性 林地台帳の整備により、森林整備において、森林の土地の所有者や林地に関する情報等の適切な活用が図られることとなった。 今後は、森林の土地所有者、所在、境界に関する情報の修正・更新を適切に行い、更なる森林施業集約化の促進を図る。</p>				
		評価指標（単位）		目標	実績
				年度内事業の完了	完了
備考					

款 項 目	6款 農林水産業費	2項 林業費	2目 林業振興費	= 予算所属 = 農林水産部農林水産課											
事業名	再造林推進事業														
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①										
352,000円	351,000円		0円	1,000円	99.7%										
目的・趣旨	伐採後の再造林を推進することにより、公益的機能の高い健全な森林の育成と林業の振興を図る。														
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 森林資源の循環及び林齢構成の是正を図るため、森林の皆伐後の保育（下刈り）を実施しようとする者に、予算の範囲内で補助した。 （1）健全な森林の育成を図るため、8年生までに実施する下刈りに対して補助 （2）保育（下刈り）補助 51千円/ha（標準単価232千円/ha×22%）</p> <p>○事業実績・説明 （1）事業実施箇所、面積 総事業費 351,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>計画箇所</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H30</td> <td>酒田市北俣地内</td> <td>4.51ha</td> </tr> <tr> <td>酒田市麓地内</td> <td>3.00ha</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7.51ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 伐採後の再造林（下刈り）に対して補助することにより、森林所有者の経費負担の軽減が図られた。公益的機能の高い健全な森林の育成と森林資源の循環利用を図るため、再造林（下刈り）に対する支援を継続していく。</p>					年度	計画箇所	面積	H30	酒田市北俣地内	4.51ha	酒田市麓地内	3.00ha	合計	7.51ha
	年度	計画箇所	面積												
	H30	酒田市北俣地内	4.51ha												
		酒田市麓地内	3.00ha												
合計		7.51ha													
評価指標（単位）		目標	実績												
補助面積（ha）		8	8												
備考															

款 項 目	6款 農林水産業費	3項 水産業費	2目 水産振興費	= 予算所属 = 農林水産部農林水産課																																									
事業名	離島漁業再生支援事業																																												
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																								
8,418,000円	8,418,000円		0円	0円	100.0%																																								
目的・趣旨	離島は、輸送や生産資材の調達・販売面で条件不利な状況にあり、漁業者の減少や高齢化も特に進んでいることから、島の基幹産業である漁業の再生を図り、漁業生産額の維持・向上を図る。																																												
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 飛島の基幹産業である漁業の再生を図るため、地域の創意工夫による漁場の生産力の向上等に関する取組みに対し支援した。</p> <p>○事業実績・説明 ・交付対象 飛島地区漁業集落（勝浦、中村、法木） ・事業費 交付金 8,160千円（負担割合 国2/4、県1/4、市1/4） 推進事業費 258千円（負担割合 国10/10） （1）種苗放流：キジハタ、アワビ、サザエ等の放流を実施 3,365,321円 種苗放流実績（単位：尾）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>魚種</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アワビ</td> <td>18,000</td> <td>28,000</td> <td>18,000</td> </tr> <tr> <td>サザエ</td> <td>21,000</td> <td>11,000</td> <td>22,200</td> </tr> <tr> <td>ヒラメ</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> </tr> <tr> <td>キジハタ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>（2）漁場の管理・改善：海苔付け面の清掃を実施 210,000円 （3）漁場監視：密漁、不審船の早期発見を目指し漁場監視を実施 115,000円 （4）鮮度保持・ブランド化： 3,337,487円 低利用であったアカモクの商品化や活アワビの出荷、農林水産まつりで特産品のサザエのつぼ焼きの販売を行うことで販路拡大や消費拡大、ブランド化を推進した。 （5）陸電施設整備、漁協委託料、会議費等経費： 1,390,192円</p> <p>漁獲量の推移（参考）（単位：kg）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>魚種</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アワビ</td> <td>669</td> <td>411</td> <td>266</td> </tr> <tr> <td>サザエ</td> <td>38,046</td> <td>23,958</td> <td>19,169</td> </tr> <tr> <td>ヒラメ</td> <td>259</td> <td>423</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>キジハタ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 サザエ等の種苗放流は、漁獲量の安定化につながっており、これまで未利用だったアカモクを「シャキとろぎばさ」として商品開発し、アカモクの水揚げ収入を得るなど本事業による効果も出てきており、引き続き継続的な取組みが必要である。</p>					魚種	平成28年度	平成29年度	平成30年度	アワビ	18,000	28,000	18,000	サザエ	21,000	11,000	22,200	ヒラメ	6,000	6,000	6,000	キジハタ	—	—	1,000	魚種	平成28年度	平成29年度	平成30年度	アワビ	669	411	266	サザエ	38,046	23,958	19,169	ヒラメ	259	423	270	キジハタ	—	—	—
	魚種	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																									
	アワビ	18,000	28,000	18,000																																									
	サザエ	21,000	11,000	22,200																																									
ヒラメ	6,000	6,000	6,000																																										
キジハタ	—	—	1,000																																										
魚種	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																										
アワビ	669	411	266																																										
サザエ	38,046	23,958	19,169																																										
ヒラメ	259	423	270																																										
キジハタ	—	—	—																																										
評価指標（単位）		目標	実績																																										
飛島地区漁業生産額（百万円）		132	69																																										
備考	<p>○主な特定財源 離島漁業再生支援交付金（県） 6,180,000円 離島漁業再生支援推進交付金（県） 258,000円</p>																																												

款 項 目	6款		3項		2目		= 予算所属 =																																																										
	農林水産業費		水産業費		水産振興費			農林水産部農林水産課																																																									
事業名	漁業資源増殖種苗購入事業																																																																
予算現額 ①	760,000円		支出済額 ②		755,233円		翌年度繰越額 ③	0円	不用額 ①-②-③	4,767円	執行率 ②/①	99.4%																																																					
目的・趣旨	山形県の栽培漁業対象種であるサクラマス、イワナの種苗放流を行い、つくり育てる漁業を推進するとともに、小学校と連携した児童の放流体験活動を通じて河川環境の保全意識の啓発を図る。																																																																
事業成果の概要等	○事業内容 各内水面漁協と連携した種苗放流を行うため、各漁協の放流計画に基づく種苗を放流した。また、放流の際は、内水面漁協と小学校が連携して児童の放流体験活動を実施した。																																																																
	○事業実績・説明 (1) 平成30年度 総事業費 755,233円																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>魚種名</th> <th>規格</th> <th>放流尾数(尾)</th> <th>種苗単価(円)</th> <th>事業費(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サクラマス</td> <td>30.0g</td> <td>3,000</td> <td>43.2</td> <td>129,600</td> <td>赤川漁協/黒森小</td> </tr> <tr> <td>サクラマス</td> <td>30.0g</td> <td>3,000</td> <td>43.2</td> <td>129,600</td> <td>両羽漁協/新堀小</td> </tr> <tr> <td>サクラマス</td> <td>2.3g</td> <td>11,000</td> <td>13.5</td> <td>148,500</td> <td>両羽漁協</td> </tr> <tr> <td>サクラマス</td> <td>2.3g</td> <td>9,500</td> <td>13.5</td> <td>128,250</td> <td>日向荒瀬漁協/鳥海小</td> </tr> <tr> <td>イワナ</td> <td>2.5g</td> <td>6,740</td> <td>14.58</td> <td>98,269</td> <td>日向荒瀬漁協</td> </tr> <tr> <td>イワナ</td> <td>3.0g</td> <td>8,300</td> <td>14.58</td> <td>121,014</td> <td>最上川第八漁協</td> </tr> </tbody> </table>												魚種名	規格	放流尾数(尾)	種苗単価(円)	事業費(円)	備考	サクラマス	30.0g	3,000	43.2	129,600	赤川漁協/黒森小	サクラマス	30.0g	3,000	43.2	129,600	両羽漁協/新堀小	サクラマス	2.3g	11,000	13.5	148,500	両羽漁協	サクラマス	2.3g	9,500	13.5	128,250	日向荒瀬漁協/鳥海小	イワナ	2.5g	6,740	14.58	98,269	日向荒瀬漁協	イワナ	3.0g	8,300	14.58	121,014	最上川第八漁協											
	魚種名	規格	放流尾数(尾)	種苗単価(円)	事業費(円)	備考																																																											
	サクラマス	30.0g	3,000	43.2	129,600	赤川漁協/黒森小																																																											
	サクラマス	30.0g	3,000	43.2	129,600	両羽漁協/新堀小																																																											
	サクラマス	2.3g	11,000	13.5	148,500	両羽漁協																																																											
	サクラマス	2.3g	9,500	13.5	128,250	日向荒瀬漁協/鳥海小																																																											
	イワナ	2.5g	6,740	14.58	98,269	日向荒瀬漁協																																																											
	イワナ	3.0g	8,300	14.58	121,014	最上川第八漁協																																																											
(2) 年度別放流尾数																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>魚種名</th> <th>規格</th> <th>H28年度放流尾数</th> <th>H29年度放流尾数</th> <th>H30年度放流尾数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サクラマス</td> <td>30.0g</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>赤川漁協/黒森小</td> </tr> <tr> <td>サクラマス</td> <td>30.0g</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>両羽漁協/新堀小</td> </tr> <tr> <td>サクラマス</td> <td>約2.3g</td> <td>11,000</td> <td>11,000</td> <td>11,000</td> <td>両羽漁協</td> </tr> <tr> <td>サクラマス</td> <td>2.3g</td> <td>9,500</td> <td>9,500</td> <td>9,500</td> <td>日向荒瀬漁協/鳥海小</td> </tr> <tr> <td>イワナ</td> <td>約3.0g</td> <td>6,500</td> <td>6,740</td> <td>6,740</td> <td>日向荒瀬漁協</td> </tr> <tr> <td>イワナ</td> <td>3.0g</td> <td>8,300</td> <td>8,300</td> <td>8,300</td> <td>最上川第八漁協</td> </tr> <tr> <td>クロダイ</td> <td>30.0mm</td> <td>500</td> <td>3,100</td> <td>—</td> <td>酒田市</td> </tr> <tr> <td>トラフグ</td> <td>40.0mm</td> <td>500</td> <td>栽培漁業へ</td> <td>—</td> <td>赤川河口</td> </tr> </tbody> </table>												魚種名	規格	H28年度放流尾数	H29年度放流尾数	H30年度放流尾数	備考	サクラマス	30.0g	3,000	3,000	3,000	赤川漁協/黒森小	サクラマス	30.0g	3,000	3,000	3,000	両羽漁協/新堀小	サクラマス	約2.3g	11,000	11,000	11,000	両羽漁協	サクラマス	2.3g	9,500	9,500	9,500	日向荒瀬漁協/鳥海小	イワナ	約3.0g	6,500	6,740	6,740	日向荒瀬漁協	イワナ	3.0g	8,300	8,300	8,300	最上川第八漁協	クロダイ	30.0mm	500	3,100	—	酒田市	トラフグ	40.0mm	500	栽培漁業へ	—	赤川河口
魚種名	規格	H28年度放流尾数	H29年度放流尾数	H30年度放流尾数	備考																																																												
サクラマス	30.0g	3,000	3,000	3,000	赤川漁協/黒森小																																																												
サクラマス	30.0g	3,000	3,000	3,000	両羽漁協/新堀小																																																												
サクラマス	約2.3g	11,000	11,000	11,000	両羽漁協																																																												
サクラマス	2.3g	9,500	9,500	9,500	日向荒瀬漁協/鳥海小																																																												
イワナ	約3.0g	6,500	6,740	6,740	日向荒瀬漁協																																																												
イワナ	3.0g	8,300	8,300	8,300	最上川第八漁協																																																												
クロダイ	30.0mm	500	3,100	—	酒田市																																																												
トラフグ	40.0mm	500	栽培漁業へ	—	赤川河口																																																												
(平成28年度全国豊かな海づくり大会でクロダイ、トラフグ放流)																																																																	
○評価・方向性 赤川漁協や両羽漁協等でのサクラマス放流では、小学生と漁協が協力して実施することにより、内水面におけるつくり育てる漁業への意識向上と河川環境保全意識の啓発が図られた。引き続き、子どもたちと一体となった種苗放流を行うことで、市民意識の高揚とともに、本市の内水面の資源増殖と内水面漁業の振興を図る。																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サクラマスの漁獲量(kg)</td> <td>3,080</td> <td>2,185</td> </tr> </tbody> </table>												評価指標(単位)	目標	実績	サクラマスの漁獲量(kg)	3,080	2,185																																																
評価指標(単位)	目標	実績																																																															
サクラマスの漁獲量(kg)	3,080	2,185																																																															
備考	○主な特定財源 市町村総合交付金(漁業資源増殖種苗購入事業)(県) 189,000円																																																																

款 項 目	6款		3項		2目		= 予算所属 =																				
	農林水産業費		水産業費		水産振興費			農林水産部農林水産課																			
事業名	栽培漁業地域展開促進事業																										
予算現額 ①	1,549,000円		支出済額 ②		1,246,500円		翌年度繰越額 ③	0円	不用額 ①-②-③	302,500円	執行率 ②/①	80.5%															
目的・趣旨	国際的な漁業規制の中にあつて沿岸漁業への依存がますます高まり、「つくり育てる漁業」に期待が寄せられていることから、健苗放流を行い、種苗の生存率を高める取組みに支援し、本市の沿岸漁業を維持・存続させ、成長産業に導く。																										
事業成果の概要等	○事業内容 山形県漁業協同組合が行うヒラメの稚魚の中間育成および放流、トラフグの種苗放流に支援した。																										
	○事業実績・説明 (1) ヒラメ中間育成・放流 787,500円																										
	・平成30年度放流																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>放流日</th> <th>放流尾数</th> <th>放流場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月25日</td> <td>3,400</td> <td>勝浦</td> <td rowspan="3">・ヒラメ種苗の收容サイズは40mmであり、16日間中間育成し、65mm程度にして放流 ・放流場所は、十里塚、飛島など</td> </tr> <tr> <td>7月28日</td> <td>28,000</td> <td>十里塚</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31,400</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												放流日	放流尾数	放流場所	備考	7月25日	3,400	勝浦	・ヒラメ種苗の收容サイズは40mmであり、16日間中間育成し、65mm程度にして放流 ・放流場所は、十里塚、飛島など	7月28日	28,000	十里塚	合計	31,400		
	放流日	放流尾数	放流場所	備考																							
	7月25日	3,400	勝浦	・ヒラメ種苗の收容サイズは40mmであり、16日間中間育成し、65mm程度にして放流 ・放流場所は、十里塚、飛島など																							
	7月28日	28,000	十里塚																								
	合計	31,400																									
	・過去3か年の放流実績・漁獲実績																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>收容尾数</td> <td>37,500</td> <td>37,500</td> <td>37,500</td> </tr> <tr> <td>放流尾数</td> <td>5,000</td> <td>33,800</td> <td>31,400</td> </tr> <tr> <td>漁獲量(kg)</td> <td>49,014</td> <td>48,146</td> <td>38,348</td> </tr> </tbody> </table>												区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	收容尾数	37,500	37,500	37,500	放流尾数	5,000	33,800	31,400	漁獲量(kg)	49,014	48,146
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度																								
收容尾数	37,500	37,500	37,500																								
放流尾数	5,000	33,800	31,400																								
漁獲量(kg)	49,014	48,146	38,348																								
※平成28年度はポンプ故障により全滅したため、別途5,000尾を確保して放流																											
(2) トラフグ放流 459,000円																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>放流日</th> <th>放流尾数</th> <th>平均全長mm</th> <th>放流場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月21日</td> <td>17,000</td> <td>40.0</td> <td>最上川河口・赤川河口</td> </tr> </tbody> </table>												放流日	放流尾数	平均全長mm	放流場所	7月21日	17,000	40.0	最上川河口・赤川河口								
放流日	放流尾数	平均全長mm	放流場所																								
7月21日	17,000	40.0	最上川河口・赤川河口																								
※トラフグは29年度から開始																											
(3) 費用負担：県・漁協・2市1町で費用負担している。																											
・負担割合：県5/15、漁協6/15、2市1町4/15																											
・県漁協への交付方法： 酒田市が県補助金を受け入れ、本市負担分と合算して県漁協へ交付 交付割合は9/15(県5/15+市4/15)																											
○評価・方向性 ヒラメ及びトラフグの種苗放流は、県・漁協・2市1町が支援を行いながら、一体となって取り組んでいる。県では、漁獲調査により放流効果の検証等や放流尾数を増やす取組みを進めている。高品質で魚価の高い種の漁獲量向上のため、今後も継続して実施していく。																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①ヒラメ生産額(千円)</td> <td>①12,700</td> <td>①6,738</td> </tr> <tr> <td>②フグ延縄漁生産額(千円)</td> <td>②14,800</td> <td>②688</td> </tr> </tbody> </table>												評価指標(単位)	目標	実績	①ヒラメ生産額(千円)	①12,700	①6,738	②フグ延縄漁生産額(千円)	②14,800	②688							
評価指標(単位)	目標	実績																									
①ヒラメ生産額(千円)	①12,700	①6,738																									
②フグ延縄漁生産額(千円)	②14,800	②688																									
備考	○主な特定財源 栽培漁業地域展開促進事業費補助金(県) 692,500円																										

款 項 目	6款 農林水産業費	3項 水産業費	2目 水産振興費	= 予算所属 = 農林水産部農林水産課							
事業名	水産多面的機能発揮対策推進事業										
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
630,000円	618,000円		0円	12,000円	98.1%						
目的・趣旨	環境・生態系の維持・回復など、漁業者が行う水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する地域の活動を支援し、水産資源の維持・増大を図る。										
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 環境・生態系の維持・回復の取り組みとして、魚類の産卵場所及び幼稚魚の育成場となる藻場を酒田港内に造成し、保全する活動に支援した。</p> <p>○事業実績・説明 活動組織である「酒田港藻場づくりの会」は、沿岸漁業者を中心に環境保全活動を行うNPO法人や教育関係者により構成されており、本市と協定を締結し事業計画に沿って、以下の取組みを実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組内容</th> <th>取組効果</th> <th>地域連携</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・海藻（アカモク）の母藻設置 ・食害生物駆除（ウニ、貝類） ・定期モニタリング調査</td> <td>左記の活動により、海藻の増加が見られ、1月には、ハタハタの産卵を確認。</td> <td>酒田光陵高等学校、加茂水産高等学校、鶴岡工業高等専門学校との連携により、流木を活用した炭の製造や海洋環境保全等の取組みを実施。</td> </tr> </tbody> </table> <p>・実施期間 平成29年度から令和2年度 ・負担金 468,000円 ・事務費 150,000円</p> <p>○評価・方向性 水産生物の産卵・育成場として藻場は重要な機能を果たしており、その維持・回復は水産資源の増大につながる。本事業により海藻の母藻設置によって一部で海藻の定着が見られており、事業の継続的実施が必要である。</p>					取組内容	取組効果	地域連携	・海藻（アカモク）の母藻設置 ・食害生物駆除（ウニ、貝類） ・定期モニタリング調査	左記の活動により、海藻の増加が見られ、1月には、ハタハタの産卵を確認。	酒田光陵高等学校、加茂水産高等学校、鶴岡工業高等専門学校との連携により、流木を活用した炭の製造や海洋環境保全等の取組みを実施。
	取組内容	取組効果	地域連携								
	・海藻（アカモク）の母藻設置 ・食害生物駆除（ウニ、貝類） ・定期モニタリング調査	左記の活動により、海藻の増加が見られ、1月には、ハタハタの産卵を確認。	酒田光陵高等学校、加茂水産高等学校、鶴岡工業高等専門学校との連携により、流木を活用した炭の製造や海洋環境保全等の取組みを実施。								
	評価指標（単位）		目標	実績							
活動組織の事業目的達成率（%）		80	76								
備考	○主な特定財源 水産多面的機能発揮対策推進事業費補助金（県） 150,000円										

款 項 目	6款 農林水産業費	3項 水産業費	2目 水産振興費	= 予算所属 = 農林水産部農林水産課																					
事業名	いか釣り漁業支援事業																								
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																				
5,386,000円	5,377,085円		0円	8,915円	99.8%																				
目的・趣旨	スルメイカは酒田港全体の漁獲の約8割を占めており、県内外の中型いか釣り船をはじめとするいか釣り漁業について、県外船誘致も含め振興することで、酒田港へのスルメイカの水揚げ推進を図る。																								
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 酒田港のスルメイカ水揚量を確保するため、県外船誘致を含め、中型いか釣り船及び小型いか釣り船に対して支援を実施した。</p> <p>○事業実績・説明 （1）交付対象 山形県漁業協同組合 （2）支援内容 ①船凍いか収納段ボール箱購入に対する補助 2,423,280円 （段ボール1箱に対し、酒田市20円、県漁業10円） ②乗組員生活環境支援として、屋外風呂シャワーの設置費用、及びレンタカー借上げ料の1/2補助。 300,000円 ③漁船誘致対策経費（陸電設備及び荷揚用ベルトコンベア整備） 653,033円 ④乗組員操業支援として、入港回数に応じて酒田産つや姫を贈呈 442,330円 ⑤出航式開催経費、商標登録経費及び諸経費等 1,558,442円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>段ボール入（個）</th> <th>ブロック（個）</th> <th>合計</th> <th>ブロック割合（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>140,678</td> <td>87,597</td> <td>228,275</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>139,538</td> <td>90,888</td> <td>230,426</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>121,164</td> <td>66,776</td> <td>187,940</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 スルメイカの全国的な不漁が続く、主要産地の水揚量が大幅に落ち込む中、本市では、前年比2割減の1,864トン、水揚金額約11億円を確保。 ※2 船凍いか収納段ボール箱前年比13%の減少要因は、スルメイカ不漁のほか、近年は、加工用として箱に入れないブロック（無選別）の需要が高まっていることによる（段ボール箱入、ブロックともに1個＝8kg）。</p> <p>○評価・方向性 スルメイカの漁獲量は、国全体として激減している中、本市への水揚量、水揚金額ともに一定程度確保できており、本事業の効果として明るい兆しが出ていると考えられることから、まずは、本事業を維持して展開していく。 令和元年度は、ブランド化と消費拡大を推進するため、小学校給食に酒田船凍いかを提供する。</p>					年度	段ボール入（個）	ブロック（個）	合計	ブロック割合（%）	H28	140,678	87,597	228,275	38	H29	139,538	90,888	230,426	39	H30	121,164	66,776	187,940	36
	年度	段ボール入（個）	ブロック（個）	合計	ブロック割合（%）																				
	H28	140,678	87,597	228,275	38																				
	H29	139,538	90,888	230,426	39																				
H30	121,164	66,776	187,940	36																					
評価指標（単位）		目標	実績																						
中型いか釣り船水揚量（箱）		200,000	187,940																						
備考	○主な特定財源 いか釣り船応援寄附金 1,340,000円 さかた応援基金繰入金 4,037,000円																								

款 項 目	6款	3項	2目	＝ 予算所属 ＝	
	農林水産業費	水産業費	水産振興費	農林水産部	農林水産課
事業名	庄内浜トップブランド水産物創出事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
376,000円	376,000円	0円	0円	100.0%	
目的・趣旨	<p>県、沿岸市町、県漁協、漁業者、飲食店等が一体となって進める庄内浜トップブランド創出を推進し、庄内浜産水産物の付加価値向上による漁業所得向上を図る。</p>				
事業成果の概要等	<p>○事業内容 県を中心として設立した「庄内浜ブランド創出協議会」（平成29年5月12日に設立）に本市負担金を支出し、サワラ、トラフグ、ズワイガニのブランド化戦略を支援した。 (1) 漁獲物の品質向上 ・調理技術講習会の開催 ・鮮度保持試験の実施及び安定供給体制の構築（冷凍技術の開発） (2) 観光との連携 「庄内おばこサワラキャンペーン」、「庄内浜天然トラフグキャンペーン」の実施 (3) 事業費 2,400,000円 酒田市負担額 376,000円 負担割合 県、県漁協、沿岸2市1町（※）それぞれ1/3の割合を負担 （※）酒田市47%、鶴岡市48%、遊佐町5% 直近5年（H24～28）の漁業生産額の平均額で按分</p>				
	<p>○事業実績・説明 (1) サワラ部会 ・「庄内おばこサワラキャンペーン」の実施 期間 平成30年10月12日～12月2日 参加店舗 庄内の旅館、飲食店 21店舗（酒田市内6店舗） 総来客数 3,273人（平成29年度2,283人） (2) トラフグ部会 ・「食の都庄内天然トラフグキャンペーン」の実施 期間 平成30年12月1日～31年3月15日 参加店舗 庄内の旅館、飲食店 28店舗（酒田市内9店舗） 総来客数 3,685人（平成29年度2,149人） (3) ズワイガニ部会 ・選別学習会及び情報交換会 平成30年10月23日 ・ブランド化先進地視察（福井県越前町、敦賀市）平成31年1月26～27日</p>				
備考	<p>○評価・方向性 ブランド創出により、市民の認知度や利用者の増加など一定の手応えを感じている。他方、水揚量の減少や時化による品不足が生じており、漁獲量の増加や安定供給が課題となっているが、課題解消の取り組みもあわせて継続することで、漁業者の所得向上を図る。</p>				
	評価指標（単位）		目標	実績	
県漁業生産額（億円）		30	27		

款 項 目	6款	3項	2目	＝ 予算所属 ＝	
	農林水産業費	水産業費	水産振興費	農林水産部	農林水産課
事業名	庄内浜産水産物安定供給推進事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
705,000円	705,000円	0円	0円	100.0%	
目的・趣旨	<p>山形県漁協が山形市内のスーパーに直営店を設置・展開する取り組みに対して支援することで、県内陸部における庄内浜産水産物の認知度向上及び消費拡大を推進し、漁業者の所得向上を図る。</p>				
事業成果の概要等	<p>○事業内容 漁獲が多い時期に県漁協加工場で急速冷凍機を活用した鮮魚や加工品を備蓄し、漁獲の少ない時期に山形市内に設置している漁協直営店「庄内海丸」で販売することで禁漁期や時化等による鮮魚不足を解消し、内陸部への消費拡大と安定供給を図る。また、浜値を安定させることで漁業者の所得向上を目指す。 (1) 庄内浜産水産物安定供給事業費補助金 705,000円（酒田市負担額） (2) 事業費 4,500,000円 負担割合 県、県漁協、沿岸2市1町（※）それぞれ1/3の割合を負担 （※）酒田市47%、鶴岡市48%、遊佐町5% 直近5年（H24～28）の漁業生産額の平均額で按分</p>				
	<p>○事業実績・説明 (1) 実施場所 山形県漁業協同組合 由良加工場 県漁協直営店「庄内海丸」 山形市内（生活協同組合協立社コープしろにし） (2) 実施体制 由良加工場2名、庄内海丸販売員1名 (3) 加工開発商品 庄内おばこサワラ柵、庄内浜鮮魚（フィレー、柵）、未利用魚の活用 (4) 販売実績 通年企画 対面販売による試食、調理法等の情報発信 SNSを活用した庄内海丸での取扱商品の発信、ニーズ調査 季節企画 急速冷凍処理した「冬眠活メイカ」試験販売 山形紅の蔵における急速冷凍タラ汁振る舞い 各種商品展示会への出展</p>				
備考	<p>○評価・方向性 県内陸部における消費者に対して、庄内浜産水産物の鮮度や品質の良さを認識理解してもらうことにより、徐々に消費量が増えてきている。さらに、県漁協加工場に導入した急速冷凍機の活用により刺身食材など新たな商品開発を行い安定供給が図られた。今後、漁獲量の多い時期に、産地市場における魚価単価の安定化が図られ、漁業所得向上につながるよう取り組みを推進する。</p>				
	評価指標（単位）		目標	実績	
直売ブースの販売金額（千円）		30,000	36,706		

款 項 目	6款	3項	2目	= 予算所属 =	
	農林水産業費	水産業費	水産振興費	農林水産部	農林水産課
事業名	日本さかな検定開催支援事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,049,000円	1,016,837円	0円	32,163円	96.9%	
目的・趣旨	魚食文化継承を目的とする日本さかな検定を誘致し、本市がスルメイカの産地であることや離島飛島の豊かな水産物を全国に発信することにより認知度向上を図る。また、魚の旬や美味しい食べ方を知ることにより、魚食普及・地産地消による消費拡大を推進する。				
事業成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 第9回日本さかな検定の誘致・開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年6月24日(日)に全国9会場にて一斉に開催。 本市では、水産関連団体により酒田実行委員会を組織して誘致。 <p>(2) 関連イベントの開催</p> <p>検定前日と当日の2日間、大学内の広場にて「ととけん応援まつり」を開催。本市水産業を「知る、触れる、味わう」をテーマに、水産を身近に感じてもらえるイベントを実施した。</p> <p>(3) 食育教室の開催</p> <p>県漁協、庄内浜文化伝道師の協力により「食育教室」を保育園で開催し、旬の魚を「知る、触れる、味わう」体験を行い、家庭用レシピを保護者に配布した。</p>				
	<p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 第9回日本さかな検定開催 598,320円</p> <ul style="list-style-type: none"> 酒田会場受験者数193人(3級81人、2級109人、1級3人) <p>(2) 酒田ととけん応援まつりの開催 336,468円</p> <ul style="list-style-type: none"> 来場者数1,500人 <p>(3) 食育教室の開催 82,049円</p> <ul style="list-style-type: none"> 3保育園にて開催 北新橋保育園(サケ) 3～5歳児 62名、1～2歳児 30名 小鳩保育園(スルメイカ) 2～5歳児 77名 酒田報恩会保育園(タラ) 2～5歳児 75名 				
	<p>○評価・方向性</p> <p>若い世代を中心に魚離れが進み、魚の消費が低迷していることなどにより水産業全体の活気が失われつつある中で、水産関係者により実行委員会を組織して各種取組みを推進することで、業界自体の活性化が図られてきている。</p> <p>また、本事業実施により、若い世代に対する情報提供機会の創出により、地域水産業への理解や魚食普及に対する理解も図られてきていることから、さらに消費を喚起することにより、魚価向上につなげ漁業所得向上を促進する。</p>				
評価指標(単位)		目標	実績		
日本さかな検定受検者数(人)		150	193		
備考					

款 項 目	6款	1項	1目	= 予算所属 =																					
	農林水産業費	農業費	農業委員会費	農業委員会事務局																					
事業名	農業者年金業務受託事業																								
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																					
1,810,000円	1,810,000円	0円	0円	100.0%																					
目的・趣旨	農業者の老後の生活の安定と福祉の向上を図るとともに、農業の担い手となる後継者の確保に資する。																								
事業成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>独立行政法人農業者年金基金との委託契約に基づき、次の取り組みを行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 農業者年金諸届け等の受付、点検、記載内容の確認及び基金等への送付 加入対象者への制度の周知・普及 加入推進のための各種研修会への参加・実施 スムーズな年金受給を図るための受給予定者説明会の開催 被保険者・受給者の窓口相談業務 																								
	<p>○事業実績・説明</p> <p>対象者数の推移 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>加入・受給状況</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加入者</td> <td>353</td> <td>362</td> <td>349</td> </tr> <tr> <td>待機者</td> <td>191</td> <td>171</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>経営移譲年金等受給者</td> <td>1,096</td> <td>997</td> <td>914</td> </tr> <tr> <td>老齢年金のみ受給者</td> <td>480</td> <td>492</td> <td>540</td> </tr> </tbody> </table>					加入・受給状況	平成28年度	平成29年度	平成30年度	加入者	353	362	349	待機者	191	171	165	経営移譲年金等受給者	1,096	997	914	老齢年金のみ受給者	480	492	540
	加入・受給状況	平成28年度	平成29年度	平成30年度																					
加入者	353	362	349																						
待機者	191	171	165																						
経営移譲年金等受給者	1,096	997	914																						
老齢年金のみ受給者	480	492	540																						
<p>○評価・方向性</p> <p>農業者のための公的年金制度であり、新規加入については農業委員による戸別訪問等を通して、制度の趣旨や内容についての周知に努めた結果、目標を上回る実績となった。今後についても更なる加入促進を目指していく。</p>																									
評価指標(単位)		目標	実績																						
農業者年金新規加入者数(人)		5	10																						
備考	○主な特定財源 農業者年金業務委託金 1,705,468円																								

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	1目 農業委員会費	= 予算所属 = 農業委員会事務局
事業名	農業委員会報「きらり」発行事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
2,601,000円	2,489,052円	0円	111,948円	95.7%
目的・趣旨	本市の農業者や消費者に対して、農業委員会活動や農業情勢・農業政策、地域の特色ある農業活動等を広く情報提供することで、酒田農業の振興と活性化を図る。			
事業成果の概要等	<p>○事業内容 農業委員による会報委員会を設置し、農業委員会活動や地域の特色ある農業活動等を掲載した会報を年4回発行した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 発行回数 4回(5月、8月、11月、1月) (2) 発行部数 11,000部/1回 ・内訳(概数) 酒田 4,900部 八幡 1,900部 松山 1,400部 平田 2,000部 その他 800部 (3) 会報委員会 9回開催</p> <p>○評価・方向性 4回の発行を通して、本市農家の情報源としての役割を果たすことができた。 今後は、広く市民に農業への関心を持ってもらい、新規就農の意欲と契機の増進につなげるため、全戸配布とし、この取り組みに即したわかりやすく魅力的な紙面作りに努めていく。</p>			
	評価指標(単位)		目標	実績
	地域農業者の取り組みや声の掲載件数(件)		12	16
備考				

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	1目 農業委員会費	= 予算所属 = 農業委員会事務局
事業名	機構集積支援事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
2,277,000円	2,215,854円	0円	61,146円	97.3%
目的・趣旨	農地利用状況調査や意向調査等を通して、遊休農地の解消を促進する。また、農地法に基づく事務の適正実施等により農地の有効利用を促進し、利用集積と集約化を図る。			
事業成果の概要等	<p>○事業内容 (1) 農地利用状況調査 農地の利用状況調査(農地パトロール)を実施し、情報収集と調査結果の取りまとめを行い、遊休農地の把握・違反転用の発生防止を図った。 (2) 遊休農地所有者への意向調査 利用状況調査によって確認された遊休農地の所有者に貸付意向の調査等を行った。 (3) 農地法に基づく事務の適正実施 賃借料情報の公表、農地法の許可等の法令業務に関する審議の透明性を図るため、議事録の公表など農地法に基づく事務の適正化を図った。 (4) 農業委員等の資質向上のための活動 必要な知識を習得させるための研修会等に参加した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 農地利用状況調査(7月~8月) ・参加者数 農業委員29人、協力者28人 (2) 遊休農地所有者への利用意向調査(11月) (3) (一社)全国農業会議所、(一社)山形県農業会議主催の研修等に参加 ・東北・北海道農業活性化フォーラム 北海道(8月) ・山形県農業委員会大会 南陽市(11月) ・女性の農業委員活動推進シンポジウム 東京都(3月) ・農業委員特別研修会 河北町(3月)</p> <p>○評価・方向性 農地の利用状況調査や意向調査の実施により、遊休農地の発生防止や解消のPRとなり、農地所有者が有効活用について考える良い機会につながっているため、今後とも農業委員の個別対応による丁寧な説明を取り入れながら対応していく。</p>			
	評価指標(単位)		目標	実績
	意向調査回収率(%)		100	100
備考	○主な特定財源 機構集積支援事業費補助金(県) 2,109,982円			

款 項 目	6款 農林水産業費	1項 農業費	1目 農業委員会費	= 予算所属 = 農業委員会事務局																																																													
事 業 名	農地集積センター活動支援事業																																																																
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																													
903,000円	842,376円	0円	60,624円	93.3%																																																													
目 的・趣 旨	農地集積の総合的な窓口及び農地の賃貸借に伴う参考賃借料の決定機関として設置された酒田市農地集積センターの活動を支援し、担い手への農地集積と集約化等を図る。																																																																
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>酒田市農地集積センターは本店、支店及び参考賃借料検討協議会から構成され、次の取り組みを行った。</p> <p>(1) 本店 酒田市全体の農地中間管理事業等における農地の出し手と受け手のマッチング案をまとめた。</p> <p>(2) 支店 支店の中に16の地区会議を設置し、地区単位の農地中間管理事業等における農地の出し手と受け手のマッチング案をまとめた。</p> <p>(3) 参考賃借料検討協議会 農地の賃貸借の際の指標となる参考賃借料を決定した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 本店会議 2回開催（9月、1月）</p> <p>(2) 支店地区会議 延べ20地区で開催（協議案件のある地区で開催）</p> <p>(3) 参考賃借料検討協議会 2回開催（12月）</p> <p>(4) 農地中間管理事業に係る配分（マッチング）実績 (人、筆、㎡)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">受け手登録者</th> <th colspan="3">出し手申請者</th> <th colspan="2">配分</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>累計</th> <th>人数</th> <th>筆数</th> <th>面積</th> <th>筆数</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目</td> <td>0</td> <td>471</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>14</td> <td>32,560</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>33</td> <td>504</td> <td>76</td> <td>326</td> <td>720,490</td> <td>338</td> <td>717,390</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>27</td> <td>531</td> <td>39</td> <td>164</td> <td>436,178</td> <td>176</td> <td>464,049</td> </tr> <tr> <td>4回目</td> <td>0</td> <td>531</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>2,853</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>531</td> <td></td> <td>115</td> <td>490</td> <td>1,156,668</td> <td>530</td> <td>1,216,852</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>農地中間管理事業におけるマッチングについては、法人化が一段落したことや一定程度条件の良い農地が一巡したこと等により、大きな集積の動きは落ち着いてきているが、今後も更なる農地の高度利用等を目指し、酒田市農地集積センターの活動や人・農地プランにおける地域での話し合いを通じて、効果的な農地の集積・集約化に取り組んでいく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農用地利用配分計画面積（ha）</td> <td>100</td> <td>121</td> </tr> </tbody> </table>					受け手登録者		出し手申請者			配分		新規	累計	人数	筆数	面積	筆数	面積	1回目	0	471				14	32,560	2回目	33	504	76	326	720,490	338	717,390	3回目	27	531	39	164	436,178	176	464,049	4回目	0	531				2	2,853	合計	531		115	490	1,156,668	530	1,216,852	評価指標（単位）	目標	実績	農用地利用配分計画面積（ha）	100	121
	受け手登録者		出し手申請者			配分																																																											
	新規	累計	人数	筆数	面積	筆数	面積																																																										
1回目	0	471				14	32,560																																																										
2回目	33	504	76	326	720,490	338	717,390																																																										
3回目	27	531	39	164	436,178	176	464,049																																																										
4回目	0	531				2	2,853																																																										
合計	531		115	490	1,156,668	530	1,216,852																																																										
評価指標（単位）	目標	実績																																																															
農用地利用配分計画面積（ha）	100	121																																																															
備 考																																																																	

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	2目 商工振興費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課						
事 業 名	中小企業融資資金貸付事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
1,497,850,000円	1,489,850,000円	0円	8,000,000円	99.5%						
目 的・趣 旨	中小企業者の経営基盤の確立と発展のために必要な資金を融資することで、本市商工業の振興と中小企業者の経営の安定を図る。									
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>事業拡張及び事業の高度化、福利厚生施設の充実、魅力向上のための店舗改装、工業団地への立地資金（土地取得資金を含む。）など、多角的に中小企業者等の資金調達を支援することにより、地域経済の活性化、本市産業の育成・発展を図った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 商工組合中央金庫貸付金 80,000,000円 ・中小企業金融の円滑化を図るため、公金預託制度融資の原資として商工組合中央金庫に対し貸付した。</p> <p>(2) 店舗改装資金貸付金 3,500,000円 ・中小企業者が個店の魅力を高めるために行う店舗改装等に対し貸付した。 ・過年度分6件</p> <p>(3) 環境整備資金貸付金 670,000円 ・中小企業者が安定的な労働力の確保や従業員の育成のために行う福利厚生施設の建設や職場環境の整備等に対し貸付した。 ・過年度分2件</p> <p>(4) 産業立地促進資金貸付金 1,405,680,000円 ・市内工業団地等へ立地しようとする法人等で市内産業の高度化に資することが期待できる案件に対し、県と協調して貸付した。 ・過年度分21件、新規融資分6件（新規利用実企業数3社）</p> <p>○評価・方向性</p> <p>酒田京田西工業団地、新堀工業団地、松山工業団地へそれぞれ新たに立地または増設した企業3社が産業立地促進資金を新規に活用した。立地する際の負担軽減が図られることから、企業誘致におけるインセンティブのひとつとして有効な事業である。今後も、金融機関等に対し当該制度の周知に努め、更なる利用を促進する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規制度利用件数（件）</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	新規制度利用件数（件）	2	6
評価指標（単位）	目標	実績								
新規制度利用件数（件）	2	6								
備 考	○主な特定財源 中小企業融資資金貸付金元利収入 1,489,850,000円									

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	2目 商工振興費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課						
事業名	産学官連携コワーキングスペース運営事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
7,926,000円	7,924,378円	0円	1,622円	99.9%						
目的・趣旨	共に“Co”仕事をする“Working”場所“Space”であるコワーキングスペースの運営を通じて、その利用者による新たなビジネスや産業を創造する。									
事業成果の概要等	<p>○事業内容 産学官が連携して開設したコワーキングスペース「UNDERBAR」の運営業務を東北公益文科大学に委託し、その利活用を通じて、創業・起業を促進するための利用者間の交流機会を創出した。</p> <p>○事業実績・説明 公益研修センターコワーキングスペース運営業務委託 ・業務委託先：東北公益文科大学 ・業務委託料：7,924,378円 ・場所：酒田市公益研修センター2階（小研修室） ・開館時間：平日10時～22時、土・日10時～17時 ・会員数：265人 ・延べ利用者数：3,692人 ・対象：会社員、創業を目指す人、学生等 ・創業等に関する自主的なイベント、セミナーの開催 全61回 ・会員による新規創業件数：3件</p> <p>○評価・方向性 当該コワーキングスペースは、平成27年度から庄内地域初のコワーキングスペースとして、創業・起業を促進するための利用者間の交流機会を創出することや本地域におけるコワーキングスペースのニーズを探ることなどを目的に運営を行ってきた。平成29年には、利用者の中から自らコワーキングスペースを市内に開設する者が出たことと、平成30年6月に開設された産業振興まちづくりセンター（サンロク）にコワーキングスペースが開設されたことから、当該コワーキングスペースについては所要の成果を上げたと判断し、平成30年度末をもって運営業務委託を終了した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数（人）</td> <td>4,800</td> <td>3,692</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	延べ利用者数（人）	4,800	3,692
評価指標（単位）	目標	実績								
延べ利用者数（人）	4,800	3,692								
備考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国）3,962,189円									

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	2目 商工振興費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課																			
事業名	産業振興まちづくり推進事業																						
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																			
117,364,000円	90,440,150円	0円	26,923,850円	77.1%																			
目的・趣旨	産業振興まちづくりセンター（愛称：サンロク）を開設し、地元企業、農林水産事業者等のニーズとシーズをつなぐ（マッチング）ことにより、産業振興、農工商連携等の推進を行う。また、マッチング案件組成、開業及び販路開拓等を重点的に支援する。																						
事業成果の概要等	<p>○事業内容 産業振興まちづくりセンター（サンロク）を開設し、マッチングプロジェクト組成、各種セミナー開催、コワーキングスペースの運営、創業支援コーディネーターによる創業支援、チャレンジキッチン運営、女性活躍支援員による企業への啓発活動等を行った。また、各種補助金による各プロジェクトの事業推進を図った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 産業振興まちづくりセンター（サンロク）の運営に係る経費 55,126,172円 (実績)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>プロジェクト組成件数（進捗中含む）</td> <td>87件</td> </tr> <tr> <td>新規創業件数</td> <td>33件</td> </tr> <tr> <td>コワーキング会員数</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>コワーキング年間利用者（延べ人数）</td> <td>3,320人</td> </tr> <tr> <td>セミナー・セッション開催数</td> <td>34回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 酒田文化展示企画運営委託 2,993,978円（展示企画3回実施） ・中心市街地の核店舗である榊マリン5清水屋のフロアを活用し、幅広い年齢層をターゲットとした展覧企画を実施</p> <p>(3) 各種補助金 ① つなぐプロジェクト支援補助金（補助率1/2、上限額500千円） ・地元事業者等の連携のもとに実施する新たなプロジェクトに要する経費を支援 ・交付実績：6件（2,673,000円） ② 開業支援補助金（補助率1/2、上限額1,000千円） ・市内での開業等を促進するため、開業に伴う経費を支援 ・交付実績：31件（24,649,000円） ③ 創業支援促進事業費補助金（補助率1/2） ・酒田商工会議所が実施する創業塾の開催や専門家相談事業に対する支援 ・交付実績：246,000円 ・創業塾：受講者22人（うち修了者18人）・専門家相談事業：延べ相談件数6件 ④ 販路拡大支援補助金（補助率1/2、上限額300千円（市場調査型は500千円）） ・市内企業が商談会等への出展に要する経費、市場調査に要する経費を支援 ・交付実績：38件（4,752,000円）</p> <p>○評価・方向性 サンロク開設初年度ということもあり、市内企業への周知が行き届かず、プロジェクト組成件数は目標に達しなかった。次年度以降は企業ヒアリングの頻度を増やし、サンロクのPRを行うことにより、マッチングプロジェクト組成数の増加に努める。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① マッチング件数（件）</td> <td>① 135</td> <td>① 87</td> </tr> <tr> <td>② 創業件数（件）</td> <td>② 30</td> <td>② 33</td> </tr> </tbody> </table>				プロジェクト組成件数（進捗中含む）	87件	新規創業件数	33件	コワーキング会員数	57人	コワーキング年間利用者（延べ人数）	3,320人	セミナー・セッション開催数	34回	評価指標（単位）	目標	実績	① マッチング件数（件）	① 135	① 87	② 創業件数（件）	② 30	② 33
プロジェクト組成件数（進捗中含む）	87件																						
新規創業件数	33件																						
コワーキング会員数	57人																						
コワーキング年間利用者（延べ人数）	3,320人																						
セミナー・セッション開催数	34回																						
評価指標（単位）	目標	実績																					
① マッチング件数（件）	① 135	① 87																					
② 創業件数（件）	② 30	② 33																					
備考	○主な特定財源 地方創生推進交付金（国）27,146,312円 さかた応援基金繰入金 14,600,000円																						

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	2目 商工振興費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課																		
事業名	工場等設置助成事業																					
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																		
93,912,000円	93,912,000円	0円	0円	100.0%																		
目的・趣旨	工場等を新設、拡充又は移設した企業に対し、投下固定資産の固定資産税相当額を助成し、企業の育成及び産業振興を図る。																					
事業・成果の概要等	○事業内容 工場等を新設又は既存工場等を拡充若しくは移設した企業に対し、投下固定資産の固定資産税相当額を申請年度の翌年から3年間（特例は5年間）助成するもので、当該年度分について交付した。																					
	○事業実績・説明 工場等設置助成金 93,912,000円（交付実企業数44社）																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>助成措置適用指定年度</th> <th>指定企業数</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>1</td> <td>774,000円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>24</td> <td>26,422,000円</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>17</td> <td>31,173,000円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>22</td> <td>35,543,000円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>93,912,000円</td> </tr> </tbody> </table>				助成措置適用指定年度	指定企業数	助成金額	平成26年度	1	774,000円	平成27年度	24	26,422,000円	平成28年度	17	31,173,000円	平成29年度	22	35,543,000円	合 計		93,912,000円
	助成措置適用指定年度	指定企業数	助成金額																			
	平成26年度	1	774,000円																			
	平成27年度	24	26,422,000円																			
	平成28年度	17	31,173,000円																			
	平成29年度	22	35,543,000円																			
	合 計		93,912,000円																			
	・助成率 新設又は移設100%、拡充60%																					
・助成期間 3年間（酒田京田西工業団地等へ新規に立地する市外資本の企業で、製造業等の場合は5年間）																						
○評価・方向性 企業の設備投資による生産能力の向上が図られたこと等により製造品出荷額等は増加傾向にある。平成30年設備投資分からは、同様の目的のために設置しているこの助成金と農工課税免除制度を統合し、制度を分かりやすくした設備投資促進助成金により、市内外の企業に対して設備投資を促し、企業の生産能力の更なる向上を支援する。																						
評価指標（単位）		目標	実績																			
助成金対象企業数		45	44																			
備考																						

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	2目 商工振興費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課																					
事業名	さかた産業フェア開催事業																								
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																					
4,475,000円	4,475,000円	0円	0円	100.0%																					
目的・趣旨	地元の企業にPRの場を提供し、地域内外への地域特産品の周知と販路拡大を支援するとともに、若者に地域の企業を知る機会を提供することにより、地元就職の促進を図ることを目的に開催する。																								
事業・成果の概要等	○事業内容 市内の企業、学校等が一堂に会し、自社製品の展示・販売などにより、市民や取引先等に自社PRを行った。その他、来場者が企業の製品や事業を直接体験できるイベントや大型スクリーン等を活用した企業PR動画の放映、プレゼンテーションなどを実施した。 また、平成30年度から農林水産まつりと同時開催することで、来場者の増加を図った。																								
	(1) 日時 平成30年10月27日、10月28日 9時30分～15時30分																								
	(2) 場所 酒田市国体記念体育館																								
	(3) 主催 さかた産業フェア運営協議会 (酒田市、酒田商工会議所、酒田ふれあい商工会)																								
	○事業実績・説明																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出展者</td> <td>45団体</td> <td>57団体</td> <td>56団体</td> <td>63団体</td> <td>68団体</td> <td>66団体</td> </tr> <tr> <td>来場者</td> <td>6,400人</td> <td>7,200人</td> <td>8,400人</td> <td>10,300人</td> <td>9,400人</td> <td>9,800人</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	出展者	45団体	57団体	56団体	63団体	68団体	66団体	来場者	6,400人	7,200人	8,400人	10,300人	9,400人	9,800人
	年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																		
	出展者	45団体	57団体	56団体	63団体	68団体	66団体																		
	来場者	6,400人	7,200人	8,400人	10,300人	9,400人	9,800人																		
	○評価・方向性 イベント両日が雨天だったこともあり、来場者数の減少が危惧されたが、2日間を通じて昨年度以上の来場者があり、来場者アンケートでは「地元の産業の素晴らしさに感動しました。」「酒田の産業に興味を持ちました。」等の感想が多数あり、出展企業に有効な自社PRの場を提供することができた。 今後は、各種媒体を活用した広報を行うことにより全体的な来場者数を底上げし、企業の振興と地域産業の活性化を図る。																								
評価指標（単位）		目標	実績																						
イベント参加者数（人）		15,000	9,800																						
備考																									

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	4目 企業開発費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課																																
事業名	企業立地促進事業																																			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																
108,546,000円	108,079,514円	0円	466,486円	99.6%																																
目的・趣旨	本市の工業団地及び優遇措置など立地環境を紹介する。また、工場等を新設、拡充又は移設するために用地を取得した企業に対し、用地取得費の一部を助成し、企業立地及び雇用機会の拡大を図る。																																			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 酒田市への企業誘致に関連した情報や助成制度をまとめた酒田市企業立地ガイド等によるPR活動を行うとともに、特定の地域内において工場や事業所を新設・拡充するために新たに用地を取得した企業に対し、用地取得費の一部を助成した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 企業誘致に関するセミナーへの参加出展及びPR活動</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>セミナー等名称</th> <th>参加企業数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>やまがた企業立地セミナー (東京都:平成30年10月)</td> <td>98 社/団体</td> <td>169人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 用地取得助成金 ・交付実績 107,140千円 (2社: (株)丸運ロジスティクス東北、サミット酒田パワー(株)) ・対象経費 用地取得費 ・助成率 新規雇用者数により、20%、30%又は50% ・限度額 業種、市内・市外企業により、1企業者につき1億円、2億円又は3億円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>立地場所</th> <th>用地取得費</th> <th>助成率</th> <th>助成金額</th> <th>新規雇用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田京田西工業団地</td> <td>35,700千円</td> <td>20%</td> <td>7,140千円</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>酒田臨海工業団地</td> <td>567,736千円</td> <td>30%</td> <td>100,000千円 (上限額)</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>603,436千円</td> <td></td> <td>107,140千円</td> <td>27人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 新たな企業立地(設備投資)を検討する市内外の企業に対して、初期投資を軽減する用地取得助成金がインセンティブとなり企業立地が進み、その結果として、新規雇用者の創出につながった。今後も、用地取得助成金の交付により、新たな企業立地等に伴う新規雇用者数の増加を目指す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業立地件数(件)</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>				セミナー等名称	参加企業数	参加人数	やまがた企業立地セミナー (東京都:平成30年10月)	98 社/団体	169人	立地場所	用地取得費	助成率	助成金額	新規雇用	酒田京田西工業団地	35,700千円	20%	7,140千円	4人	酒田臨海工業団地	567,736千円	30%	100,000千円 (上限額)	23人	合計	603,436千円		107,140千円	27人	評価指標(単位)	目標	実績	企業立地件数(件)	2	5
セミナー等名称	参加企業数	参加人数																																		
やまがた企業立地セミナー (東京都:平成30年10月)	98 社/団体	169人																																		
立地場所	用地取得費	助成率	助成金額	新規雇用																																
酒田京田西工業団地	35,700千円	20%	7,140千円	4人																																
酒田臨海工業団地	567,736千円	30%	100,000千円 (上限額)	23人																																
合計	603,436千円		107,140千円	27人																																
評価指標(単位)	目標	実績																																		
企業立地件数(件)	2	5																																		
備考																																				

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	4目 企業開発費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課														
事業名	工場等拡張支援助成事業																	
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①														
2,000,000円	2,000,000円	0円	0円	100.0%														
目的・趣旨	既存工場等で500㎡以上の用地拡張に伴い必要となる整備経費を助成することにより、企業の育成、設備投資及び雇用機会の拡大を図る。																	
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 既存の工場等の拡張のために500㎡以上の用地を取得した企業に対し、拡張に伴って必要となる整備経費の一部を助成した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 工場等拡張支援助成金 2,000千円 (交付実績企業数1社: エイエスエムトランスポート(株)) (2) 対象経費 駐車場の整備に要した経費 (3) 助成率 1/2 (4) 限度額 1企業者につき2,000千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取得用地</th> <th>拡張面積</th> <th>対象経費</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田京田西工業団地</td> <td>4,300㎡</td> <td>6,480,000円</td> <td>2,000,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 市内の企業が工場等の移転拡張(設備投資)を検討する際、初期投資を軽減する当該助成金がインセンティブとなり、企業の設備投資が促進されたが、生産能力向上に対する間接的な助成であり、直接的な助成である設備投資促進助成金の創設にあわせて、平成30年度末で要綱を廃止した。今後は平成30年度中の適用指定分までを交付対象とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成金適用企業の従業員増加数(人)</td> <td>9</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>				取得用地	拡張面積	対象経費	助成金額	酒田京田西工業団地	4,300㎡	6,480,000円	2,000,000円	評価指標(単位)	目標	実績	助成金適用企業の従業員増加数(人)	9	5
取得用地	拡張面積	対象経費	助成金額															
酒田京田西工業団地	4,300㎡	6,480,000円	2,000,000円															
評価指標(単位)	目標	実績																
助成金適用企業の従業員増加数(人)	9	5																
備考																		

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	4目 企業開発費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課												
事業名	賃借型立地企業定着促進事業															
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①												
13,600,000円	13,540,000円	0円	60,000円	99.6%												
目的・趣旨	市の誘致により市内の賃借物件において操業を開始した企業に対し、その賃借料等の一部を助成し、地元定着、追加設備投資及び新規雇用の拡大を図る。															
事業成果の概要等	<p>○事業内容 市の誘致により市内の賃借物件において操業を開始した市外企業に対し、その賃借料等の一部を助成した。</p> <p>○事業実績・説明 (1)賃借型立地企業定着促進助成金 13,540千円 (交付企業数2社) ・ 庄内オリエンタルモーターテック(株) 平成30年7月操業開始 ・ (株)ティスコ運輸 平成29年10月操業開始 (2)対象経費 土地建物の賃借料、改装費用 (3)助成率 50% (4)限度額 1企業につき30,000千円 (操業開始月から起算して12月毎に10,000千円) (5)雇用要件 本市に住所を有する雇用保険被保険者を5人以上雇用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>立地場所</th> <th>対象経費 (円)</th> <th>助成金額 (円)</th> <th>従業員増加数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大宮町二丁目</td> <td>25,562,190</td> <td>10,000,000</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>広野</td> <td>7,080,000</td> <td>3,540,000</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 賃借型立地企業定着促進助成金が直接の契機となり立地した企業がこの3年間で2社となり、企業にとって企業立地の判断基準となる効果的な支援制度となっている。事業継続により効果も継続し、製造品出荷額の増加、新規雇用の確保、遊休不動産の有効活用など本市経済の活性化につなげていく。</p>				立地場所	対象経費 (円)	助成金額 (円)	従業員増加数 (人)	大宮町二丁目	25,562,190	10,000,000	7	広野	7,080,000	3,540,000	5
	立地場所	対象経費 (円)	助成金額 (円)	従業員増加数 (人)												
	大宮町二丁目	25,562,190	10,000,000	7												
	広野	7,080,000	3,540,000	5												
評価指標 (単位)		目標	実績													
助成金適用企業の従業員増加数 (人)		5	12													
備考																

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	4目 企業開発費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課						
事業名	情報通信関連企業立地促進事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
18,000,000円	12,900,000円	0円	5,100,000円	71.7%						
目的・趣旨	本市の区域内において情報通信関連事業を行う企業に対し、情報通信関連企業立地促進助成金を交付し、雇用機会の拡大を図る。									
事業成果の概要等	<p>○事業内容 市の誘致により大規模なコールセンターを建設した(株)プレステージ・インターナショナルに対し、純増稼働席数に応じて助成した。</p> <p>○事業実績・説明 (1)情報通信関連企業立地促進助成金 12,900千円 (交付企業数1社：(株)プレステージ・インターナショナル) (2)立地形態 建設型コールセンター (3)助成内容 純増稼働席数1席当たり300千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>立地場所</th> <th>稼働席数</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田京田西工業団地</td> <td>43席</td> <td>12,900千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 コールセンター業の立地企業に対して、初期投資を軽減する情報通信関連企業立地促進助成金の活用を奨励したことなどにより稼働席数が増加し、雇用の拡大につながった。引き続き、当該助成金により、純増稼働席数の増加による雇用機会の拡大を図る。</p>				立地場所	稼働席数	助成金額	酒田京田西工業団地	43席	12,900千円
	立地場所	稼働席数	助成金額							
	酒田京田西工業団地	43席	12,900千円							
	評価指標 (単位)		目標	実績						
助成金適用企業の純増稼働席数 (席)		20	43							
備考										

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	5目 地域公共交通費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課																																							
事業名	生活交通バス路線維持費補助事業																																										
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																							
88,387,000円	88,387,000円	0円	0円	100.0%																																							
目的・趣旨	国庫補助対象外の路線バス及び廃止路線代替バスを運行している乗合バス事業者に対して、本市路線部分の運行維持費について補助金を交付することにより、市民の日常生活に不可欠なバスの運行を確保する。																																										
事業内容	<p>○事業内容 国庫補助対象外の路線バス及び廃止路線代替バスを運行している乗合バス事業者に対して、本市路線部分の運行維持費について補助金を交付する。</p> <p>○事業実績・説明 (1) バス路線維持費補助金（国庫補助対象外路線） ・交付先 庄内交通株式会社</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>交付額</th> <th>輸送人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>十里塚-古湊線</td> <td>17,446,000円</td> <td>29,730人</td> </tr> <tr> <td>酒田市内循環線</td> <td>15,219,000円</td> <td>25,007人</td> </tr> <tr> <td>酒田-山寺線</td> <td>11,134,000円</td> <td>26,235人</td> </tr> <tr> <td>酒田-観音寺線</td> <td>12,985,000円</td> <td>24,267人</td> </tr> <tr> <td>酒田-余目線</td> <td>9,523,000円</td> <td>23,076人</td> </tr> <tr> <td>酒田-湯野浜線</td> <td>16,343,000円</td> <td>28,486人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>82,650,000円</td> <td>156,801人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 生活交通バス維持費補助金（廃止代替路線） ・交付先 庄内交通株式会社</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>交付額</th> <th>輸送人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海ヶ沢線</td> <td>1,615,000円</td> <td>1,179人</td> </tr> <tr> <td>円能寺線</td> <td>1,413,000円</td> <td>1,563人</td> </tr> <tr> <td>小林線</td> <td>2,709,000円</td> <td>1,989人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,737,000円</td> <td>4,731人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※輸送人員は平成29年10月1日から平成30年9月30日までの1年間（バス年度） ※廃止代替路線は、平成30年3月31日運行廃止</p>				路線名	交付額	輸送人員	十里塚-古湊線	17,446,000円	29,730人	酒田市内循環線	15,219,000円	25,007人	酒田-山寺線	11,134,000円	26,235人	酒田-観音寺線	12,985,000円	24,267人	酒田-余目線	9,523,000円	23,076人	酒田-湯野浜線	16,343,000円	28,486人	計	82,650,000円	156,801人	路線名	交付額	輸送人員	海ヶ沢線	1,615,000円	1,179人	円能寺線	1,413,000円	1,563人	小林線	2,709,000円	1,989人	計	5,737,000円	4,731人
路線名	交付額	輸送人員																																									
十里塚-古湊線	17,446,000円	29,730人																																									
酒田市内循環線	15,219,000円	25,007人																																									
酒田-山寺線	11,134,000円	26,235人																																									
酒田-観音寺線	12,985,000円	24,267人																																									
酒田-余目線	9,523,000円	23,076人																																									
酒田-湯野浜線	16,343,000円	28,486人																																									
計	82,650,000円	156,801人																																									
路線名	交付額	輸送人員																																									
海ヶ沢線	1,615,000円	1,179人																																									
円能寺線	1,413,000円	1,563人																																									
小林線	2,709,000円	1,989人																																									
計	5,737,000円	4,731人																																									
成果の概要等	<p>○評価・方向性 補助金交付による損失補てんを行うことで、国庫補助対象外のバス路線の維持ができています。引き続き、市民の日常生活の足を守るため、補助金交付を行いながらバス路線の運行を維持すると同時に、運行経路の改善等について、バス事業者と協議していく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バス路線数（路線）</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	バス路線数（路線）	6	6																																	
評価指標（単位）	目標	実績																																									
バス路線数（路線）	6	6																																									
備考	○主な特定財源 市町村総合交付金（生活交通確保対策事業）（県） 7,317,000円																																										

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	5目 地域公共交通費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課																																				
事業名	乗合バス運行事業																																							
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																				
113,997,000円	110,893,018円	0円	3,103,982円	97.3%																																				
目的・趣旨	公共交通の空白地帯を解消し、高齢者や障がい者、通院者の交通手段を確保するとともに、中心市街地へのアクセスの向上、まちの賑わいを図る。																																							
事業内容	<p>○事業内容 (1) るんるんバス5路線を運行した。 ・市内循環右回り線 ・市内循環左回り線 ・酒田駅大学線 ・古湊砂越駅線 ・酒田駅かんぼ線</p> <p>(2) ぐるっとバス4路線を運行した。 ・升田やまゆり荘線 ・青沢やまゆり荘線 ・一條循環線 ・観音寺循環線</p> <p>(3) 平田ワンコインバス2路線を運行した。 ・砂越海ヶ沢線 ・砂越小林線</p>																																							
成果の概要等	<p>○事業実績・説明 (1) 乗車人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>乗合バス名</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>るんるんバス</td> <td>153,967人</td> <td>152,181人</td> <td>159,183人</td> <td>169,268人</td> <td>175,911人</td> </tr> <tr> <td>ぐるっとバス</td> <td>20,929人</td> <td>18,512人</td> <td>14,200人</td> <td>12,070人</td> <td>10,832人</td> </tr> <tr> <td>平田ワンコインバス</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6,904人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>174,896人</td> <td>170,693人</td> <td>173,383人</td> <td>181,338人</td> <td>193,647人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平田ワンコインバスは、廃止路線代替バスの廃止に伴い、平成30年度から運行開始</p> <p>(2) バスロケーションシステム 利用者がスマートフォンや携帯電話でバスの運行・遅延状況を確認できるシステムを平成30年度から導入し、運行状況に関する問合せ件数が減少した。</p> <p>○評価・方向性 乗車人数は前年度より12,309人増で目標値の108.8%を達成した。これは平成30年度から運行を開始した平田ワンコインバスと平成29年度から開始した運転免許返納割引制度により、潜在的な利用者の掘り起しに成功したためと推測される。 引き続き交通空白地帯の解消に努めながら、市民ニーズを的確に把握し、利便性の高い路線運行と利用拡大に努める。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乗車人数（人）</td> <td>178,000</td> <td>193,647</td> </tr> </tbody> </table>				乗合バス名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	るんるんバス	153,967人	152,181人	159,183人	169,268人	175,911人	ぐるっとバス	20,929人	18,512人	14,200人	12,070人	10,832人	平田ワンコインバス	-	-	-	-	6,904人	計	174,896人	170,693人	173,383人	181,338人	193,647人	評価指標（単位）	目標	実績	乗車人数（人）	178,000	193,647
乗合バス名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																			
るんるんバス	153,967人	152,181人	159,183人	169,268人	175,911人																																			
ぐるっとバス	20,929人	18,512人	14,200人	12,070人	10,832人																																			
平田ワンコインバス	-	-	-	-	6,904人																																			
計	174,896人	170,693人	173,383人	181,338人	193,647人																																			
評価指標（単位）	目標	実績																																						
乗車人数（人）	178,000	193,647																																						
備考	○主な特定財源 福祉乗合バス運賃収入 18,879,400円 市町村総合交付金（生活交通確保対策事業）（県） 7,341,000円 福祉乗合バス広告収入 291,600円																																							

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	5目 地域公共交通費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課																														
事業名	デマンドタクシー運行事業																																	
予算現額 ①	23,462,000円	21,595,251円	0円	1,866,749円																														
支出済額 ②				92.0%																														
翌年度繰越額 ③																																		
不用額 ①-②-③																																		
執行率 ②/①																																		
目的・趣旨	<p>郊外地区の定時定路線型バス交通に代わる地域公共交通として、必要なときに運行する予約型公共交通のデマンドタクシーを運行し、郊外地区の交通手段の確保と高齢者等交通弱者の移動利便性の向上を図っていく。</p>																																	
事業内容	<p>○事業内容 登録した利用者からの予約に応じ郊外地区と市街地間を運行する乗合タクシーであり、自宅から指定乗降場所までを結ぶ予約型公共交通として運行している。 平成22年7月から広野地区・新堀地区、続いて平成23年12月から中平田地区、東平田地区、北平田地区、南遊佐地区、西荒瀬地区、松山地域で運行を開始し、平成26年10月からは本楯地区、上田地区で運行開始となり、現在は10地区等で運行している。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 市街地行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">運行地区等</th> <th>運行曜日</th> <th>便数</th> <th>料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">自宅～市街地拠点</td> <td>新堀、東平田、北平田、南遊佐地区</td> <td>月、水、金</td> <td rowspan="2">4便</td> <td rowspan="3">500円</td> </tr> <tr> <td>広野、中平田、西荒瀬、本楯、上田地区</td> <td>火、木、金</td> </tr> <tr> <td>松山地域</td> <td>火、木、金</td> <td>3便</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <ul style="list-style-type: none"> 乗降場所12拠点（自宅以外） 中町、酒田駅、日本海総合病院、酒田リハビリ病院、文化センター正面口、東中の口、亀ヶ崎小学校前、亀ヶ崎6丁目、東泉町2丁目、ゆたか1丁目、旭新町（上記10地区等共通）、大町溝前（松山地域専用） </td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 松山総合支所管内線</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">運行地区等</th> <th>運行曜日</th> <th>便数</th> <th>料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自宅～管内拠点</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 乗降場所2拠点（自宅以外） 庄内みどり農協松山支店、松山診療所 </td> <td>月～金</td> <td>3便</td> <td>300円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 利用人数 6,891人（前年度7,232人 4.7%減） 東平田地区運行便の利用者が大幅に減少しているが、広野・中平田・北平田地区及び松山地域の利用者が増加しており、全体の減少を補っている。</p> <p>○評価・方向性 利用人数は前年度より341人減となったが、郊外地区の交通空白地帯を解消し、運行一台当たりの人数は目標値を上回っている。引き続き運行経費の通増を抑制しつつ、制度の周知等を行い運行水準の維持向上に努める。</p>				運行地区等		運行曜日	便数	料金	自宅～市街地拠点	新堀、東平田、北平田、南遊佐地区	月、水、金	4便	500円	広野、中平田、西荒瀬、本楯、上田地区	火、木、金	松山地域	火、木、金	3便	<ul style="list-style-type: none"> 乗降場所12拠点（自宅以外） 中町、酒田駅、日本海総合病院、酒田リハビリ病院、文化センター正面口、東中の口、亀ヶ崎小学校前、亀ヶ崎6丁目、東泉町2丁目、ゆたか1丁目、旭新町（上記10地区等共通）、大町溝前（松山地域専用） 					運行地区等		運行曜日	便数	料金	自宅～管内拠点	<ul style="list-style-type: none"> 乗降場所2拠点（自宅以外） 庄内みどり農協松山支店、松山診療所 	月～金	3便	300円
運行地区等		運行曜日	便数	料金																														
自宅～市街地拠点	新堀、東平田、北平田、南遊佐地区	月、水、金	4便	500円																														
	広野、中平田、西荒瀬、本楯、上田地区	火、木、金																																
	松山地域	火、木、金	3便																															
<ul style="list-style-type: none"> 乗降場所12拠点（自宅以外） 中町、酒田駅、日本海総合病院、酒田リハビリ病院、文化センター正面口、東中の口、亀ヶ崎小学校前、亀ヶ崎6丁目、東泉町2丁目、ゆたか1丁目、旭新町（上記10地区等共通）、大町溝前（松山地域専用） 																																		
運行地区等		運行曜日	便数	料金																														
自宅～管内拠点	<ul style="list-style-type: none"> 乗降場所2拠点（自宅以外） 庄内みどり農協松山支店、松山診療所 	月～金	3便	300円																														
概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デマンドタクシー運行一台当たり人数（人）</td> <td>1.53</td> <td>1.57</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	デマンドタクシー運行一台当たり人数（人）	1.53	1.57																								
評価指標（単位）	目標	実績																																
デマンドタクシー運行一台当たり人数（人）	1.53	1.57																																
備考	<p>○主な特定財源 福祉乗合タクシー運賃収入 3,429,000円 市町村総合交付金（生活交通確保対策事業）（県） 1,500,000円</p>																																	

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	= 予算所属 = 地域創生部交流観光課																								
事業名	観光物産協会負担事業																											
予算現額 ①	47,709,000円	47,709,000円	0円	0円																								
支出済額 ②				100.0%																								
翌年度繰越額 ③																												
不用額 ①-②-③																												
執行率 ②/①																												
目的・趣旨	<p>一般社団法人酒田観光物産協会が実施するイベントや情報発信などの事業に対し負担金を支出し、民間事業所の機動力を生かし、本市の観光物産振興を図る。</p>																											
事業内容	<p>○事業内容 (1) イベントの開催 ・日和山公園桜まつり、酒田まつり、酒田港まつり菖旬流し、酒田港まつり花火ショー、酒田雑街道の開催 (2) ホームページ等による情報発信 (3) 酒田夢の倶楽（華の館）における企画展の実施 (4) 駅観光案内所の運営、観光ガイド協会と連携した観光案内</p> <p>○事業実績・説明 (1) 各イベント入込数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント名</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日和山公園桜まつり</td> <td>31,000</td> <td>36,000</td> <td>38,000</td> </tr> <tr> <td>酒田まつり</td> <td>282,000</td> <td>256,000</td> <td>251,000</td> </tr> <tr> <td>酒田港まつり菖旬流し</td> <td>15,700</td> <td>15,700</td> <td>17,000</td> </tr> <tr> <td>酒田港まつり花火ショー</td> <td>221,000</td> <td>218,000</td> <td>220,000</td> </tr> <tr> <td>酒田雑街道</td> <td>28,247</td> <td>26,783</td> <td>25,089</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ホームページ（酒田さんぽ） ・ホームページをリニューアルし、スマートフォン、タブレット等の表示に対応した。 (3) 酒田夢の倶楽（華の館）における企画展の実施 ・皮革工芸展、切り絵展、鶺鴒川原人形展など計16企画展を実施。 (4) 駅観光案内所の運営、観光ガイド協会と連携した観光案内 ・駅観光案内所実績（毎日実施） 17,553件 ・酒田夢の倶楽案内所実績（大型連休や夏、秋の土日などに実施） 13,991件</p> <p>○評価・方向性 当負担金により実施しているイベントは、歴史があり、市内外のお客様から楽しんで頂ける内容となっており、本市観光物産振興には欠かせないものとなっていることから、今後の持続性を高めていくための適切な実施形態等を検討する。 また、まちあるき観光やクルーズ船寄港時の対応など観光ガイド協会の役割は大きくなっており、引き続き観光ガイド協会との連携や人材育成などに支援していく。</p>				イベント名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	日和山公園桜まつり	31,000	36,000	38,000	酒田まつり	282,000	256,000	251,000	酒田港まつり菖旬流し	15,700	15,700	17,000	酒田港まつり花火ショー	221,000	218,000	220,000	酒田雑街道	28,247	26,783	25,089
イベント名	平成28年度	平成29年度	平成30年度																									
日和山公園桜まつり	31,000	36,000	38,000																									
酒田まつり	282,000	256,000	251,000																									
酒田港まつり菖旬流し	15,700	15,700	17,000																									
酒田港まつり花火ショー	221,000	218,000	220,000																									
酒田雑街道	28,247	26,783	25,089																									
概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①実施イベント入込数（万人）</td> <td>① 56</td> <td>① 55</td> </tr> <tr> <td>②酒田市観光物産館観光バス立寄り数（台）</td> <td>②2,000</td> <td>②1,381</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	①実施イベント入込数（万人）	① 56	① 55	②酒田市観光物産館観光バス立寄り数（台）	②2,000	②1,381															
評価指標（単位）	目標	実績																										
①実施イベント入込数（万人）	① 56	① 55																										
②酒田市観光物産館観光バス立寄り数（台）	②2,000	②1,381																										
備考																												

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	= 予算所属 = 地域創生部交流観光課	
事業名	旧割烹小幡整備事業				
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
8,185,000円	7,575,648円		0円	609,352円	92.6%
目的・趣旨	旧割烹小幡を活用するため、擁壁の安全性の調査と、施設改修を実施するまでの建物の傷みの進捗を軽減するための修繕工事を実施した。				
事業概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 擁壁の安全性調査</p> <p>(2) 応急修繕工事</p> <p>(3) 内部に残留していた廃棄物の処分</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 擁壁の安全性調査 国土交通省で公表している宅地擁壁老朽化判定マニュアルに基づき、旧割烹小幡の擁壁の危険度を調査した。 擁壁の北側、東側の部分については、極めて危険度の低い「小」との評価結果となった。 一部、南側に危険度「中」の箇所が発見されたが、モルタル等での補修が可能であるとの調査結果から、当該箇所については本体施工時に併せて補修することとしている。</p> <p>(2) 応急修繕工事 一部で柱等が腐食し、倒壊の危険性があった和館の南側部分の解体及び雨漏りしていた部分についての応急的な補修を行った。</p> <p>(3) 廃棄物処分 元の所有者であった小幡家及び一時期小幡家から建物を借りていた酒田ロケーションボックスが残っていた不用品の処分を行った。 (令和元年度も継続実施予定。)</p> <p>○評価・方向性 本体の本格的な整備に向けての準備を進めた。今後、日和山周辺の拠点となる施設整備を行う。</p>				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	事業進捗		年度内事業完了	年度内事業完了	
備考					

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	= 予算所属 = 地域創生部交流観光課													
事業名	観光戦略推進事業																
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①												
26,163,000円	23,912,993円		0円	2,250,007円	91.4%												
目的・趣旨	観光戦略を具体化するため、外国人旅行者の受入態勢の充実、本市及び周辺地域が連携したPRをはじめとする観光誘客事業を実施するとともに、観光誘客に取り組む民間企業・団体を支援する。																
事業概要等	<p>○事業内容</p> <p>外国人旅行者受入環境整備のための各種事業を実施した。 また、観光誘客に取り組む市内の企業、団体に対して、費用の一部を助成するとともに、市内外からの集客が見込める酒田のラーメンを活用したイベントを支援した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 外国人旅行者の受入態勢整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携型観光情報システム実装事業 ウェブ上で観光ルートを作成できるサービス（多言語）を構築した。 ガイド研修会（平成31年3月4日実施） インバウンド受入れのため、観光ガイドと英語ボランティアガイドが相互学習できる研修会を実施した。 庄内地域二次交通対策調査及び情報発信事業 仙台空港－酒田・鶴岡の高速バスから路線バス、自転車等を活用したインバウンド向け周遊コースの調査及び情報発信を実施した。 屋外アクセスポイント整備事業 酒田市中心市街地に、Wi-Fiの屋外アクセスポイントを整備した。 多言語パンフレット及びマップの作成 中国語（繁体字・簡体字）、ロシア語の観光パンフレット・マップを作成した。 <p>(2) 観光誘客支援補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業主体</th> <th>対象事業</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一社）酒田観光物産協会</td> <td>多言語案内看板（おしんコーナー）</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td>酒田市升田区</td> <td>多言語案内看板（御嶽神社付近）</td> <td>135,000円</td> </tr> <tr> <td>みちのくインバウンド推進協議会</td> <td>インバウンドツアー造成</td> <td>1,000,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 酒田のラーメンEXPO2018への支援 1,000,000円 ・期日／9月23日（日・祝）～24日（月・振休）</p> <p>○評価・方向性 誘客活動に積極的に取り組む企業、団体を支援し、インバウンドをはじめとする観光客の入込数増につなげることができた。今後もコンベンション誘致に関する支援を追加するなど、有効な支援策を検討しながら継続していく。 外国人旅行者の受入態勢整備、県や周辺地域が連携したPRについても効果が出てきていると評価されることから、引き続き財源の確保と連携事業の実施を検討する。</p>					事業主体	対象事業	補助金額	一社）酒田観光物産協会	多言語案内看板（おしんコーナー）	200,000円	酒田市升田区	多言語案内看板（御嶽神社付近）	135,000円	みちのくインバウンド推進協議会	インバウンドツアー造成	1,000,000円
事業主体	対象事業	補助金額															
一社）酒田観光物産協会	多言語案内看板（おしんコーナー）	200,000円															
酒田市升田区	多言語案内看板（御嶽神社付近）	135,000円															
みちのくインバウンド推進協議会	インバウンドツアー造成	1,000,000円															
	評価指標（単位）		目標	実績													
	補助金申請件数（件）		3	3													
備考	<p>○主な特定財源 東北観光復興対策交付金（国） 3,413,000円 情報通信技術活用事業費補助金（国） 15,000,000円</p>																

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	= 予算所属 = 地域創生部交流観光課						
事業名	酒の酒田の酒まつり事業									
予算現額 ①	769,000円	604,850円	0円	164,150円						
支出済額 ②										
翌年度繰越額 ③										
不用額 ①-②-③										
執行率 ②/①	78.7%									
目的・趣旨	本市の売りである「地酒」を中心とした食に係るイベントを実施し、観光誘客に繋げる。									
事業内容	<p>○事業内容 観光戦略の柱に位置付けられている「食」をテーマに、民間団体と連携した事業を実施する。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 酒々井町との交流 酒々井ふるさとまつり ・平成30年11月25日(日)※酒田市が「酒々井ふるさとまつり」に参加 ・酒々井中央公園(住所:千葉県印旛郡酒々井町中央4-1) ・地酒の無料試飲・販売、オランダせんべいや鳥海高原ヨーグルト、庄内米などを販売し、互いの地酒・地物の良さをPRした。 ・地酒、オランダせんべいや鳥海高原ヨーグルトの販売は、株式会社大泉に委託。 ※当初は、「酒々井千葉氏まつり(平成30年9月30日(日))」に参加予定だったが、台風により開催中止となったため、「酒々井ふるさとまつり」へ参加した。 (2) 酒の酒田実行委員会によるイベント 酒の酒田の酒まつり ・平成31年1月26日(土)27日(日) ・酒田市中町中央公園テント ・日本海寒鱈まつりに合わせ、酒田・遊佐の9蔵を集め有料試飲と販売を実施した。また、IWC2018やまがたの開催を記念して、酒田市・秋田市・千葉県酒々井町のIWC受賞酒の有料試飲および販売も行った。 ・売上額:1月26日 148,400円 1月27日 147,650円</p> <p>○評価・方向性 自治体名に酒のつく千葉県酒々井町の交流事業や日本海寒鱈まつりに合わせたイベントを通し、本市の観光と地酒のPRを行い、酒田の酒の知名度と売上の向上につなげることができた。 今後はLCCでつながりのできた成田市でのイベントへの参加を検討しつつ、引き続き酒々井町との交流を継続しながら、首都圏へ酒の酒田を発信していく。</p>									
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒の酒田の酒まつり売上額(千円)</td> <td>181</td> <td>294</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標(単位)	目標	実績	酒の酒田の酒まつり売上額(千円)	181	294
評価指標(単位)	目標	実績								
酒の酒田の酒まつり売上額(千円)	181	294								
備考										

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	= 予算所属 = 地域創生部交流観光課																				
事業名	客船受入事業																							
予算現額 ①	517,000円	425,451円	0円	91,549円																				
支出済額 ②																								
翌年度繰越額 ③																								
不用額 ①-②-③																								
執行率 ②/①	82.3%																							
目的・趣旨	酒田港に寄港するクルーズ船等の乗客、乗務員を歓迎し、酒田港に寄港する客船増を図るとともに、酒田市のファン及びリピーターを増やす。																							
事業内容	<p>○事業内容 酒田港北海岸壁と中町に観光案内所を開設、主要観光施設への英語ガイドの配置などを実施した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 平成30年度 客船受入実績 寄港回数:5回(うち酒田発着2回) 寄港船舶:ダイヤモンド・プリンセス、コスタ ネオロマンチカ</p> <p>(2) 観光案内所・販売ブースの利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>7月1日 ダイヤモンド・プリンセス</th> <th>7月17日 ダイヤモンド・プリンセス</th> <th>8月2日 コスタ ネオロマンチカ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ふ頭での売店売上(円)</td> <td>1,523,934</td> <td>1,123,070</td> <td>849,150</td> </tr> <tr> <td>岸壁観光案内所利用者数(人)</td> <td>1,144</td> <td>1,101</td> <td>535</td> </tr> <tr> <td>中町観光案内所利用者数(人)</td> <td>1,020</td> <td>960</td> <td>378</td> </tr> <tr> <td>シャトルバス利用者数(人)</td> <td>1,700</td> <td>1,600</td> <td>630</td> </tr> </tbody> </table> <p>※8月23日飛鳥II、10月12日コスタ ネオロマンチカは、台風等の船社都合により寄港中止。</p> <p>○評価・方向性 平成30年度は、これまで最大の規模となる外航クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」が酒田港へ初寄港した。課題となっていた外国語対応スタッフおよび多言語パンフレット類、市内観光施設や店舗の外国語対応の改善を図った。タクシーの台数不足や、キャッシュレス決済への対応が新たな課題となった。 一方で、酒田港に寄港した船の乗船客、クルーからは、中町での高校生英語ボランティアや各種イベントなどの各種おもてなし活動に対して非常に高い評価を得た。 平成31年度も外航クルーズ船の寄港が5回予定されているため、乗船客の満足度が高まるよう、観光案内所や観光施設への外国語ガイドの充実等、対応を進めたい。</p>					7月1日 ダイヤモンド・プリンセス	7月17日 ダイヤモンド・プリンセス	8月2日 コスタ ネオロマンチカ	ふ頭での売店売上(円)	1,523,934	1,123,070	849,150	岸壁観光案内所利用者数(人)	1,144	1,101	535	中町観光案内所利用者数(人)	1,020	960	378	シャトルバス利用者数(人)	1,700	1,600	630
	7月1日 ダイヤモンド・プリンセス	7月17日 ダイヤモンド・プリンセス	8月2日 コスタ ネオロマンチカ																					
ふ頭での売店売上(円)	1,523,934	1,123,070	849,150																					
岸壁観光案内所利用者数(人)	1,144	1,101	535																					
中町観光案内所利用者数(人)	1,020	960	378																					
シャトルバス利用者数(人)	1,700	1,600	630																					
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光・市内案内従事者数(人)</td> <td>100</td> <td>441</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標(単位)	目標	実績	観光・市内案内従事者数(人)	100	441														
評価指標(単位)	目標	実績																						
観光・市内案内従事者数(人)	100	441																						
備考	○主な特定財源 地方創生推進交付金(国) 212,725円																							

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	= 予 算 所 属 = 地域創生部交流観光課
事 業 名	鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
17,259,000円	14,541,045円	0円	2,717,955円	84.3%
目 的・趣 旨	ジオツーリズムによる観光振興、住民のジオパーク活動の促進、防災及び自然教育の推進を目的に秋田県由利本荘市・にかほ市、山形県酒田市・遊佐町の3市1町で広域連携。平成28年9月に日本ジオパークネットワーク加盟が認められた。			
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会幹事会の開催 鳥海山と飛鳥をエリアとする3市1町が協議会事務局と連携し、足並みを揃えた事業推進を行うため、定期的に幹事会を開催し情報を共有した。</p> <p>(2) 市民へのジオパーク周知のための啓発活動や環境保全・教育活動との連携 ・日本ジオパークネットワーク全国大会への参加 ・定期船とびしま子ども無料キャンペーンに合わせた船上ガイドの派遣 ・トビシマカンゾウ保全作業の実施 ・クロマツ保全作業の実施 ・出前講座による市民への啓発活動 ・とびしまマリンプラザでの情報発信の強化 ・鳥海山やわた地域ジオパークイベントの開催</p> <p>(3) ガイド養成講座の実施</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会総会・幹事会の開催 ①総会 平成30年5月29日 ②幹事会 6回開催</p> <p>(2) 市民へのジオパーク周知のための啓発活動や環境保全・教育活動との連携 ・日本ジオパークネットワーク全国大会（北海道様似町）への参加 ・定期船とびしま子ども無料キャンペーンに合わせた船上ガイドの派遣 ・トビシマカンゾウ保全作業の実施 10月16日～10月17日 参加者8名 ・クロマツ保全作業の実施 10月13日 参加者8名 ・出前講座等による市民への周知活動 22件 362名参加 ・とびしまマリンプラザ内ヘインフォメーションコーナーの設置 ・鳥海山やわた地域ジオパークイベントの開催</p> <p>(3) ガイド養成講座の実施 ・飛鳥ガイド養成講座（5日間）2名受講 ・ジオガイド養成講座（酒田市主催）受講者9名</p> <p>○評価・方向性 平成30年度は事業化されたジオパーク活動を継続して行うことで、市民への定着と啓発が図られた。とびしまマリンプラザへのインフォメーションコーナーの設置に伴い、今後ジオガイドの窓口として機能するよう運用面での整備を行っていく。また、クロマツの保全活動などの取り組みも広がっている。令和2年度には、日本ジオパーク認定にかかる再審査が予定されており、活動がさらに広がるような取り組みを検討していく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	講習会及びジオツーリズム参加者数（人）		160	362
備 考	○主な特定財源 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業協議会自治体支援交付金 1,367,000円			

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	= 予 算 所 属 = 地域創生部交流観光課
事 業 名	地域の資源協働整備事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
1,022,000円	1,015,701円	0円	6,299円	99.4%
目 的・趣 旨	地域の団体等が労力を提供し、市では資材費を支援して、地域資源の整備に取り組む事業であり、住民と市の協働によって、交流人口の拡大を目指す。			
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 市が原材料費を提供し、地元の資源を活用した活動団体との協働により資源の環境整備を行うもの。胎蔵ロマン会は、胎蔵山の登山道に避難小屋や休憩場等として活用する多目的小屋の整備、悠々の杜推進協議会は、悠々の杜環境整備をそれぞれ3年かけて行う。また、鳥海やわたインタープリター協会は、鳥海高原家族旅行村心字池整備を単年度で行う。いずれも市民協働の理念を体現するリーディング事業である。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 多目的小屋の整備 実施主体／胎蔵ロマン会 内容／平成28年度 多目的小屋基礎部分等の整備 平成29年度 柱・梁部分等の整備 平成30年度 外壁・屋根部分の整備 実施日／6月3日間、7月3日間、9月3日間、10月27日竣工式</p> <p>(2) 悠々の杜の環境整備 実施主体／悠々の杜推進協議会 ①悠々の杜堆積土処分 内容／悠々の杜第2駐車場周辺の堆積土処分 実施日／6月1日、2日 ②遊歩道チップ整備 内容／中学生の体験学習によるチップ敷設 実施日／7月12日</p> <p>(3) 家族旅行村心字池整備 実施主体／鳥海やわたインタープリター協会 内容／心字池踏み板改修整備 実施日／11月17日</p> <p>○評価・方向性 本事業により、市民協働で地域の資源を整備していく体制の構築が図られた。今後も地域と連携しながら整備を継続する。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	整備進捗状況（%）		97	99
備 考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 1,000,000円			

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	= 予算所属 = 地域創生部交流観光課						
事 業 名	秋田・酒田交流事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
2,000,000円	2,000,000円	0円	0円	100.0%						
目 的・趣 旨	北前船の寄港地として共通の歴史を持つ秋田市との交流を通し、両市の観光・文化・スポーツを通じた交流を促進することで両市の活性化を図る。									
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 酒田市と秋田市両市が負担金を拠出し、両市及び関係団体が構成する実行委員会による両市の観光・文化・スポーツ面での交流事業を行った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) まつりの交流 ①酒田まつりへの土崎港曳山まつりの参加 日程／5月20日 参加者／下酒田町曳山実行委員会 約50人、松陵コミュニティ振興会 約80人 ②土崎港曳山まつりへの参加（曳山の引き手） 日程／7月21日 参加者／松陵コミュニティ振興会 35人 ③秋田醸しまつりでの酒田の酒の試飲・販売、観光PR 日程／10月20日～21日 ④酒田日本海寒鱈まつりでの秋田の酒・料理の販売、観光PR 日程／1月26日～27日 (2) 観光交流 ①寺町探訪まち歩きツアー（秋田市） 日程／7月28日 参加者／23人 内容／秋田市寺町散策、土崎港歴史伝承館、セリオンほか ②北前号で行く！北前船寄港地交流モニターツアー（酒田市） 日程／9月15日～16日 参加者／59人 内容／玉簾の滝、相馬樓、山王くらぶ、飛鳥 (3) 文化交流 ・吹奏楽交流演奏会 日程／9月29日 会場／希望ホール 参加者／秋田市 約140人（中学・高校生）、酒田市 約60人（中学生） (4) スポーツ交流 ・スポーツ推進員によるスポーツ交流（フロアカーリング）、意見交換ほか 日程／1月26日～27日 会場／秋田市 参加者／秋田市33人、酒田市30人</p> <p>○評価・方向性 イベントへの相互参加により、それぞれの魅力向上につながった。両市民の相互理解に寄与しており、今後も様々な分野での交流を行い、継続して事業を実施していく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イベント交流による入込増数（人）</td> <td>10,000</td> <td>7,000</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	イベント交流による入込増数（人）	10,000	7,000
評価指標（単位）	目標	実績								
イベント交流による入込増数（人）	10,000	7,000								
備 考										

款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	= 予算所属 = 地域創生部交流観光課																														
事 業 名	まちなかサイン整備事業																																	
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																														
12,512,000円	12,510,655円	0円	1,345円	99.9%																														
目 的・趣 旨	中心市街地活性化区域において、国内外の観光客も楽しめる分かりやすいデザインと多言語表記の案内看板を計画的に配置し、回遊性を高めることにより滞在時間の延長を図る。同時に、市民の地域再発見による郷土愛の醸成を目指す。																																	
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 酒田市の観光戦略のテーマであるKOEKI（公益と交易）のまち酒田を感じられる施設や観光資源を回遊できるルートを設定し、中心市街地エリアの主要な交差点などに周辺施設情報を掲載したサインを23基整備した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 表記言語 ・日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ロシア語、韓国語 （盤面は日本語、英語。その他言語はQRコードを活用。） (2) 設置場所</p> <table border="1"> <tbody> <tr><td>1 本間美術館前</td><td>13 相馬樓駐車場</td></tr> <tr><td>2 山形銀行酒田駅前支店交差点</td><td>14 山王くらぶ駐車場</td></tr> <tr><td>3 鶴岡信用金庫戸野町支店前</td><td>15 下日枝神社参道駐車場</td></tr> <tr><td>4 一番町田畑造花店前交差点</td><td>16 旧割烹小幡隣接地</td></tr> <tr><td>5 大通公園</td><td>17 日和山公園下駐車場</td></tr> <tr><td>6 本間家旧本邸東駐車場</td><td>18 酒田港酒田海上保安部船艇前</td></tr> <tr><td>7 中央公園</td><td>19 酒田港湾合同庁舎前</td></tr> <tr><td>8 市役所前112号交差点</td><td>20 みなと市場</td></tr> <tr><td>9 清水屋モール前</td><td>21 さかた海鮮市場</td></tr> <tr><td>10 中町伝兵衛薬局前交差点</td><td>22 船場町港橋前</td></tr> <tr><td>11 交流広場前</td><td>23 川辺の館ポケットパーク</td></tr> <tr><td>12 日本政策金融公庫前ポケットパーク</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(3) 表示情報 ・周辺観光施設の説明、当該地点から観光施設までの方向、距離 ・周辺マップ</p> <p>○評価・方向性 交差点や分岐点などの、案内に効果的な場所へ配置した。日本語・英語以外の表記に関しては、QRコードを活用することで見やすい盤面とした。その結果、観光客の利便性が向上し、周遊を促進することができた。 今後、まちなかを周遊させる取り組みでサインの活用を検討していく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設定ルート周辺の施設入込数（千人）</td> <td>1,568</td> <td>1,522</td> </tr> </tbody> </table>				1 本間美術館前	13 相馬樓駐車場	2 山形銀行酒田駅前支店交差点	14 山王くらぶ駐車場	3 鶴岡信用金庫戸野町支店前	15 下日枝神社参道駐車場	4 一番町田畑造花店前交差点	16 旧割烹小幡隣接地	5 大通公園	17 日和山公園下駐車場	6 本間家旧本邸東駐車場	18 酒田港酒田海上保安部船艇前	7 中央公園	19 酒田港湾合同庁舎前	8 市役所前112号交差点	20 みなと市場	9 清水屋モール前	21 さかた海鮮市場	10 中町伝兵衛薬局前交差点	22 船場町港橋前	11 交流広場前	23 川辺の館ポケットパーク	12 日本政策金融公庫前ポケットパーク		評価指標（単位）	目標	実績	設定ルート周辺の施設入込数（千人）	1,568	1,522
1 本間美術館前	13 相馬樓駐車場																																	
2 山形銀行酒田駅前支店交差点	14 山王くらぶ駐車場																																	
3 鶴岡信用金庫戸野町支店前	15 下日枝神社参道駐車場																																	
4 一番町田畑造花店前交差点	16 旧割烹小幡隣接地																																	
5 大通公園	17 日和山公園下駐車場																																	
6 本間家旧本邸東駐車場	18 酒田港酒田海上保安部船艇前																																	
7 中央公園	19 酒田港湾合同庁舎前																																	
8 市役所前112号交差点	20 みなと市場																																	
9 清水屋モール前	21 さかた海鮮市場																																	
10 中町伝兵衛薬局前交差点	22 船場町港橋前																																	
11 交流広場前	23 川辺の館ポケットパーク																																	
12 日本政策金融公庫前ポケットパーク																																		
評価指標（単位）	目標	実績																																
設定ルート周辺の施設入込数（千人）	1,568	1,522																																
備 考	○主な特定財源 社会資本整備総合交付金（国） 1,600,000円																																	

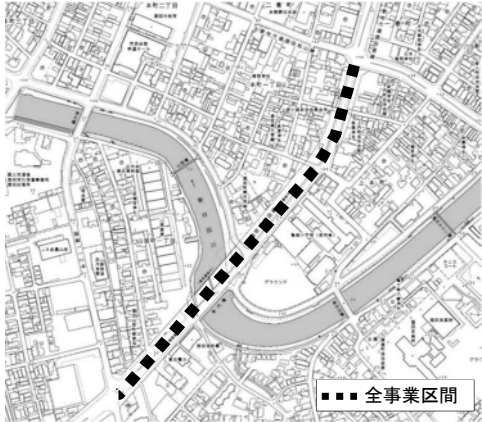
款 項 目	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	= 予算所属 = 地域創生部交流観光課
事 業 名	I W C 2 0 1 8 開催負担事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
600,000円	600,000円	0円	0円	100.0%
目 的・趣 旨	世界最大規模のワイン品評会インターナショナル・ワイン・チャレンジ（IWC）の「SAKE」部門審査会が本県で開催されるにあたり、審査会への実施協力及びIWC 2018「SAKE部門」やまがた開催支援委員会が開催する事業に参加する。			
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 IWC主催事業及びIWC2018「SAKE部門」やまがた開催支援委員会主催事業への実施協力と負担金を執行した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) IWC主催事業 ・「SAKE部門」審査会 日時：平成30年5月13日～16日 場所：山形市（ビッグウイング） ・バイヤー・メディア向け試飲会及びトロフィー授賞式 日時：平成30年5月18日 場所：山形市</p> <p>(2) IWC2018「SAKE部門」やまがた開催支援委員会主催事業 ・歓迎レセプション 日時：平成30年5月12日 場所：天童市 ・山形の酒造りセミナー及び県内観光地視察 日時：平成30年5月16日～17日 場所：県内各地 ・チャリティー試飲会 日時及び場所：平成30年5月19日 酒田市（中町にぎわい健康プラザ周辺）・鶴岡市・新庄市・山形市・米沢市 内容：審査会出品酒及び地元酒蔵の酒の試飲等</p> <p>IWC2018の結果 ・最優秀酒蔵賞（SAKE BREWER OF THE YEAR 2018） 東北銘醸株式会社 ・各種トロフィー賞（市内酒蔵のみ） 純米吟醸酒の部 麓井酒造株式会社 フモト牛純米吟醸山田錦 本醸造の部 東北銘醸株式会社 伝承生もと 純米酒の部（山形トロフィー） 東北銘醸株式会社 初孫 出羽の里 純米酒</p> <p>○評価・方向性 IWC2018「SAKE部門」の山形開催に伴い、酒田市からも多くの酒蔵が出品した。その結果、上記のとおり入賞の酒、酒蔵が出て、酒田の酒の知名度は一気に向上した。また、県内5箇所で開催された試飲会によって、県民を中心に味の良さも認知された。 この事業は単年度で終了。試飲会は春の酒まつりとして継続し、引き続き酒の酒田の知名度向上に努める。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	試飲会チケット販売数（枚）		1,000	実行委員会より公表なし
備 考				

款 項 目	8款 土木費	5項 都市計画費	1目 都市計画総務費	= 予算所属 = 企画部都市デザイン課
事 業 名	都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
12,638,000円	12,117,657円	0円	520,343円	95.9%
目 的・趣 旨	人口減少及び少子高齢化に対応したまちづくりの中長期的な方針と、その方針を具現化しコンパクトなまちづくりの一体的な推進を図るため、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定を行う。			
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定（平成29年度と30年度の2箇年で実施）に向け、下記事業実績の支援を専門業者に委託した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 都市計画マスタープラン ①都市整備方針の検討 ・土地利用、交通体系、景観、緑と水、都市防災、その他都市施設など ②実現化方策の検討 ・地域の実情を踏まえたテーマ別の取り組み ・都市づくりの推進体制 ・進行管理 ③計画（案）の説明会 ④計画（案）の巡回展示（市役所、八幡タウンセンター） ⑤都市計画マスタープランのとりまとめ</p> <p>(2) 立地適正化計画 ①居住誘導区域の設定と誘導施策の検討 ②都市機能誘導区域の設定と誘導施策の検討 ③誘導施設の検討 ④目標値の設定 ⑤施策の達成状況に関する評価方法の検討 ・定量的な目標値等の検討 ・期待される効果の検討 ⑥計画（案）の説明会 ⑦計画（案）の巡回展示（市役所、八幡タウンセンター） ⑧立地適正化計画のとりまとめ</p> <p>○評価・方向性 両計画について、都市計画審議会、アドバイザーや庁内検討委員会等の意見、市民アンケート調査等による市民意見を取り入れながら策定することができた。 今後は、コンパクトなまちづくりの一体的な推進を図る。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定		計画完成	完成
備 考	○主な特定財源 集約都市形成支援事業費補助金（国） 3,600,000円			

款 項 目	8款 土木費	5項 都市計画費	1目 都市計画総務費	= 予算所属 = 企画部都市デザイン課
事業名	さかたらしい景観づくり事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
3,791,000円	3,407,856円	0円	383,144円	89.9%
目的・趣旨	酒田市景観計画及び酒田市景観条例に基づく景観行政の展開により、本市の自然や歴史、文化を活かした魅力的な景観づくりを推進する。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 良好な景観形成への推進・誘導</p> <p>(2) 「景観形成重点地域」の景観づくり推進 (山居倉庫周辺地区、松山歴史公園周辺地区、日和山周辺地区)</p> <p>(3) 屋外広告物事務の円滑な運用</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 景観条例に基づく各種受理件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観条例（第5条）に基づく届出受理（民間） 31件 ・景観条例（第9条）に基づく通知受理（国等） 0件 <p>(2) 景観助成金交付実績</p> <p>件数：2件 / 合計助成金額：803,000円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山居倉庫周辺地区 1件 / 助成金額 383,000円 工事内容／建築物の外観を変更する修繕（外壁の張り替えおよび塗り替え） ・日和山周辺地区 1件 / 助成金額 420,000円 工事内容／建築物の新築（屋根および外壁） <p>(3) 屋外広告物の許可申請受理 185件</p> <p>○評価・方向性</p> <p>良好な景観形成を推進するために酒田市景観計画及び酒田市景観条例、景観形成重点地域内における景観助成金制度の周知に努め、昨年度に新規指定された日和山周辺地区での助成金実績もあげた。今後も引き続き良好な景観形成の推進を図る。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	景観形成重点地域内での景観助成金の活用（件）		3	2
備考	<p>○主な特定財源 屋外広告物許可申請手数料 442,430円</p> <p>市町村総合交付金（屋外広告物事務）（県） 1,518,000円</p>			

款 項 目	8款 土木費	5項 都市計画費	1目 都市計画総務費	= 予算所属 = 企画部都市デザイン課
事業名	花と緑のまちづくり事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
4,000,000円	3,752,736円	0円	247,264円	93.8%
目的・趣旨	市民、事業者、行政の協働による花と緑があふれたまちづくりに取り組み、彩り豊かな花による市街地の美化を通じて、市民の美化に対する意識醸成とおもてなしによる観光客等の誘致を推進するもの。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) フラワーバスケット事業（市民参画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタンディングフラワーバスケット制作講習会の開催 <p>(2) フラワーオフィス事業（おもてなし）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎を中心に彩り豊かな花を飾り、来街者をもてなす仕組みづくり <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) ガーデニング講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 5月13日 参加者48名 会場：市庁舎駐車場 ・第2回 7月21日 参加者59名 会場：中町モール ・第3回 9月15日 参加者59名 会場：中町モール <p>(2) スタンディングフラワーバスケットの設置</p> <p>①市庁舎正面駐車場通路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置基数／13基 ・設置期間／5月13日から12月6日 <p>②中町モール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置基数／13基 ・設置期間／9月7日から9月14日 			
	評価指標（単位）		目標	実績
	イベント（講習会）参加者数（人）		100	166
備考	<p>○主な特定財源 さかた応援基金繰入金 3,000,000円</p>			



款 項 目	8款 土木費	5項 都市計画費	2目 街路事業費	= 予算所属 = 企画部都市デザイン課						
事 業 名	県施行街路整備事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
18,259,000円	18,258,700円	0円	300円	99.9%						
目 的・趣 旨	<p>県が施行する街路事業（都市計画道路整備事業）について、地方財政法第27条の規定に基づき当該事業費の一部を負担し、都市施設の整備促進を図る。</p>									
事 業・成 果の 概 要 等	<p>○事業内容 豊里十里塚線の道路拡幅（4車線化）に向けた用地補償費、拡幅工事費等の事業費の一部を負担した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業認可期間 平成9年度～令和2年度 全体計画 L=708m、W=33m 全体事業費 9,000百万円 平成30年度まで事業費 7,926百万円（進捗率 88%） <p>○事業実績・説明 県施行街路整備事業費負担金 18,258,700円（市負担金）</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業費 450,913,000円 工事内容 橋梁上部工事、道路改良工事、道路詳細設計等  <p>■■■■ 全事業区間</p> <p>○評価・方向性 事業主体である山形県への国からの交付額増額に伴い、目標値を上回った。引き続き、山形県に対し事業の早期完了に向けた要望活動や事業協力を行っていく。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標（単位）</td> <td>目標</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>事業進捗率（%）</td> <td>85</td> <td>88</td> </tr> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	事業進捗率（%）	85	88
評価指標（単位）	目標	実績								
事業進捗率（%）	85	88								
備 考	<p>○主な特定財源 公共事業等債（市債） 14,700,000円 合併特例事業債（市債） 3,300,000円</p>									

款 項 目	8款 土木費	4項 港湾費	1目 港湾振興費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課																																																										
事 業 名	港湾整備事業																																																													
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																										
41,300,000円	41,299,600円	0円	400円	99.9%																																																										
目 的・趣 旨	<p>国土交通省及び山形県が実施する港湾整備事業に係る費用の一部を負担することによって港湾機能の強化を図り、酒田港の利用促進と地域経済の活性化につなげる。</p>																																																													
事 業・成 果の 概 要 等	<p>○事業内容 (1) 港湾整備事業費（負担金対象事業費）</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">事業費</td> <td rowspan="2">市負担分</td> <td colspan="2">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>国</td> <td>1,879,919,987円</td> <td>31,899,600円</td> <td rowspan="2">37,300,000円</td> <td rowspan="2">3,999,600円</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>197,820,000円</td> <td>9,400,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,077,739,987円</td> <td>41,299,600円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 国土交通省事業内訳</p> <table border="1"> <tr> <td>地区</td> <td>施設名：事業内容</td> <td>事業費</td> </tr> <tr> <td>外港</td> <td>高砂岸壁（-14m）：延伸</td> <td rowspan="2">1,880,000,000円</td> </tr> <tr> <td>北港</td> <td>防波堤（北）（第二）：延長、防波堤（北）（改良）：延長、泊地（-13m）：浚渫</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成28年度事業精算金</td> <td>▲ 80,013円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,879,919,987円</td> </tr> </table> <p>(3) 山形県事業内訳</p> <table border="1"> <tr> <td>地区</td> <td>施設名：事業内容</td> <td>事業費</td> </tr> <tr> <td>本港</td> <td>水産第2岸壁：被覆防食、新井田川河口（-3.0m）：浚渫</td> <td>65,835,000円</td> </tr> <tr> <td>外港</td> <td>外港ふ頭2号線：道路改良</td> <td>31,500,000円</td> </tr> <tr> <td>北港</td> <td>酒田臨海線：道路改良、古湊護岸及び古湊投下泊地護岸：矢板補修</td> <td>96,285,000円</td> </tr> <tr> <td>東ふ頭</td> <td>上屋改修：基本計画</td> <td>4,200,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>197,820,000円</td> </tr> </table> <p>○事業実績・説明 地方財政法第27条の規定による港湾所在自治体の負担金</p> <p>○評価・方向性 庄内開発協議会、酒田市重要事業要望等での要望活動に取り組み、岸壁延伸や道路改良等の港湾整備が実施された。今後も事業費の確保に向け、要望活動を継続していく。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標（単位）</td> <td>目標</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>酒田港整備要望回数（回）</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> </table>					事業費	市負担分	財源内訳		市債	一般財源	国	1,879,919,987円	31,899,600円	37,300,000円	3,999,600円	県	197,820,000円	9,400,000円	計	2,077,739,987円	41,299,600円			地区	施設名：事業内容	事業費	外港	高砂岸壁（-14m）：延伸	1,880,000,000円	北港	防波堤（北）（第二）：延長、防波堤（北）（改良）：延長、泊地（-13m）：浚渫	平成28年度事業精算金		▲ 80,013円	計		1,879,919,987円	地区	施設名：事業内容	事業費	本港	水産第2岸壁：被覆防食、新井田川河口（-3.0m）：浚渫	65,835,000円	外港	外港ふ頭2号線：道路改良	31,500,000円	北港	酒田臨海線：道路改良、古湊護岸及び古湊投下泊地護岸：矢板補修	96,285,000円	東ふ頭	上屋改修：基本計画	4,200,000円	計		197,820,000円	評価指標（単位）	目標	実績	酒田港整備要望回数（回）	3	5
	事業費	市負担分	財源内訳																																																											
			市債	一般財源																																																										
国	1,879,919,987円	31,899,600円	37,300,000円	3,999,600円																																																										
県	197,820,000円	9,400,000円																																																												
計	2,077,739,987円	41,299,600円																																																												
地区	施設名：事業内容	事業費																																																												
外港	高砂岸壁（-14m）：延伸	1,880,000,000円																																																												
北港	防波堤（北）（第二）：延長、防波堤（北）（改良）：延長、泊地（-13m）：浚渫																																																													
平成28年度事業精算金		▲ 80,013円																																																												
計		1,879,919,987円																																																												
地区	施設名：事業内容	事業費																																																												
本港	水産第2岸壁：被覆防食、新井田川河口（-3.0m）：浚渫	65,835,000円																																																												
外港	外港ふ頭2号線：道路改良	31,500,000円																																																												
北港	酒田臨海線：道路改良、古湊護岸及び古湊投下泊地護岸：矢板補修	96,285,000円																																																												
東ふ頭	上屋改修：基本計画	4,200,000円																																																												
計		197,820,000円																																																												
評価指標（単位）	目標	実績																																																												
酒田港整備要望回数（回）	3	5																																																												
備 考	<p>○主な特定財源 公共事業等債（市債） 37,300,000円</p>																																																													

款 項 目	8款 土木費	4項 港湾費	1目 港湾振興費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課																																						
事業名	重要港湾酒田港活性化推進事業																																									
予算現額 ①	22,583,000円	22,012,591円	0円	570,409円																																						
支出済額 ②				97.5%																																						
翌年度繰越額 ③																																										
不用額 ①-②-③																																										
執行率 ②/①																																										
目的・趣旨	酒田港における取扱貨物量及びコンテナ取扱貨物量の増加を図り、地域経済の活性化につなげる。																																									
事業内容	<p>○事業内容 “プロスパーポートさかた”ポートセールス協議会と連携し、酒田港の利用を促進するためのポートセールス活動及びコンテナ助成を実施するとともに、リサイクルポート拠点化方策の検討等を実施する。</p> <p>○事業実績・説明 (1) ポートセールス活動 ・荷主、商社等の訪問件数 347件 (庄内90件、内陸156件、県外76件、船社代理店等25件)</p> <p>(2) コンテナ助成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>申請</th> <th>助成金額</th> <th>対象コンテナ数</th> <th>対象梱包容積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規荷主助成</td> <td>11件</td> <td>2,860千円</td> <td>143TEU</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>継続荷主助成</td> <td>35件</td> <td>23,668千円</td> <td>21,922TEU</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>特殊梱包貨物助成</td> <td>1件</td> <td>500千円</td> <td>—</td> <td>108m³</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) コンテナ取扱貨物量 (単位：TEU)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年</th> <th>平成27年</th> <th>平成28年</th> <th>平成29年</th> <th>平成30年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実入りのみ</td> <td>13,799</td> <td>22,028</td> <td>23,658</td> <td>28,365</td> <td>25,321</td> </tr> <tr> <td>空コンテナ含む</td> <td>23,558</td> <td>35,094</td> <td>36,931</td> <td>46,635</td> <td>41,251</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 酒田港ポートセミナーの開催 ・開催日：平成30年11月27日 場所：山形市 参加者数：約130名</p> <p>(5) 酒田港国際資源循環フォーラム ・開催日：平成30年10月23日 場所：酒田市 参加者数：約80名</p> <p>○評価・方向性 酒田港のコンテナ取扱貨物量は、ポートセールス活動やコンテナ助成などの取り組みにより、過去最高であった前年を下回ったものの、歴代2位となった。更なる利用促進を図るため、関係機関・団体等と連携してセールスターゲットの掘り起こしを行い、民間と行政が一体となったポートセールス活動を行っていく。</p>					申請	助成金額	対象コンテナ数	対象梱包容積	新規荷主助成	11件	2,860千円	143TEU	—	継続荷主助成	35件	23,668千円	21,922TEU	—	特殊梱包貨物助成	1件	500千円	—	108m ³		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	実入りのみ	13,799	22,028	23,658	28,365	25,321	空コンテナ含む	23,558	35,094	36,931	46,635	41,251
	申請	助成金額	対象コンテナ数	対象梱包容積																																						
新規荷主助成	11件	2,860千円	143TEU	—																																						
継続荷主助成	35件	23,668千円	21,922TEU	—																																						
特殊梱包貨物助成	1件	500千円	—	108m ³																																						
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年																																					
実入りのみ	13,799	22,028	23,658	28,365	25,321																																					
空コンテナ含む	23,558	35,094	36,931	46,635	41,251																																					
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポートセールス訪問回数 (回)</td> <td>170</td> <td>347</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標 (単位)	目標	実績	ポートセールス訪問回数 (回)	170	347																																
評価指標 (単位)	目標	実績																																								
ポートセールス訪問回数 (回)	170	347																																								
備考																																										

款 項 目	8款 土木費	4項 港湾費	1目 港湾振興費	= 予算所属 = 地域創生部商工港湾課						
事業名	客船誘致事業									
予算現額 ①	9,656,000円	9,262,147円	0円	393,853円						
支出済額 ②				95.9%						
翌年度繰越額 ③										
不用額 ①-②-③										
執行率 ②/①										
目的・趣旨	酒田港にクルーズ船が寄港し、乗客が市内外を訪れることによって賑わい創出と観光・購買消費による地域経済の活性化につなげるとともに、市民のおもてなし意識の醸成や港湾への理解促進、酒田港の知名度向上につなげる。									
事業内容	<p>○事業内容 (1) クルーズ船社へのプロモーション活動、視察対応 (2) 歓迎・出港イベント及び岸壁の一般開放等の実施</p> <p>○事業実績・説明 (1) ・クルーズ船社へのプロモーション活動 訪問社数：12社 (外国船社10社、国内船社2社) ・クルーズ船社の視察対応 対応件数：4件 (外国船社3件、国内船社1件)</p> <p>(2) クルーズ船の酒田港寄港時における歓迎・出港イベント等</p> <p>①「ダイヤモンド・プリンセス」(寄港)【初寄港】 ・日時：平成30年7月1日 7:00~16:00 ・内容：歓迎イベント、寄港歓迎式、観光案内、物産販売、出港イベント</p> <p>②「にっぽん丸」(酒田港発着) ・日時：平成30年7月10日 8:00~10:00 7月12日 13:00~15:00 ・内容：出港式典、出港イベント</p> <p>③「ダイヤモンド・プリンセス」(寄港) ・日時：平成30年7月17日 7:00~16:00 ・内容：歓迎イベント、観光案内、物産販売、出港イベント</p> <p>④「コスタ ネオロマンチカ」(寄港) ・日時：平成30年8月2日 9:30~19:30 ・内容：歓迎イベント、寄港歓迎式、観光案内、物産販売、船内見学会、シャトルバス運行、出港イベント</p> <p>○評価・方向性 誘致活動及び寄港対応の成果により、外国クルーズ船の寄港回数は前年を上回った。引き続き誘致活動等に取り組み、更なる寄港増加を目指す。</p>									
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クルーズ船誘致活動回数 (回)</td> <td>8</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標 (単位)	目標	実績	クルーズ船誘致活動回数 (回)	8	16
評価指標 (単位)	目標	実績								
クルーズ船誘致活動回数 (回)	8	16								
備考	○主な特定財源 地方創生推進交付金(国) 4,314,814円									

款 項 目	8 款 土木費	2 項 道路橋りょう費	2 目 道路橋りょう維持費	= 予 算 所 属 = 建設部土木課																					
事 業 名	側溝整備事業																								
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																					
199,338,000 円	198,141,279 円	0 円	1,196,721 円	99.4 %																					
目 的・趣 旨	雨水排水対策として、老朽化した側溝を改修することによりその機能を回復させ、快適な居住環境を整備する。																								
事 業・成 果の 概 要 等	○事業内容 老朽化や不等沈下により本来の機能を果たしていない側溝の改修を実施した。																								
	○事業実績・説明 平成30年度は第7次側溝整備5か年計画の2年目であり、全体計画23.5kmに対して9.38km整備し、進捗率が39.9%になった。																								
	【工事内訳】 (単位：m)																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>側溝整備工区名 (地区名)</th> <th>側溝整備延長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>第1工区 (仲町地内外)</td><td>625.5</td></tr> <tr><td>第2工区 (錦町三丁目地内外)</td><td>510.8</td></tr> <tr><td>第3工区 (宮内地内外)</td><td>388.7</td></tr> <tr><td>第4工区 (新橋五丁目地内外)</td><td>575.3</td></tr> <tr><td>第5工区 (北新橋一丁目地内外)</td><td>280.3</td></tr> <tr><td>第6工区 (末広町地内外)</td><td>470.7</td></tr> <tr><td>第7工区 (光ヶ丘五丁目地内外)</td><td>283.3</td></tr> <tr><td>第8工区 (住吉町地内外)</td><td>666.1</td></tr> <tr><td>第9工区 (千石町一丁目地内外)</td><td>368.7</td></tr> <tr><td>合計</td><td>4,169.4</td></tr> </tbody> </table>				側溝整備工区名 (地区名)	側溝整備延長	第1工区 (仲町地内外)	625.5	第2工区 (錦町三丁目地内外)	510.8	第3工区 (宮内地内外)	388.7	第4工区 (新橋五丁目地内外)	575.3	第5工区 (北新橋一丁目地内外)	280.3	第6工区 (末広町地内外)	470.7	第7工区 (光ヶ丘五丁目地内外)	283.3	第8工区 (住吉町地内外)	666.1	第9工区 (千石町一丁目地内外)	368.7	合計
側溝整備工区名 (地区名)	側溝整備延長																								
第1工区 (仲町地内外)	625.5																								
第2工区 (錦町三丁目地内外)	510.8																								
第3工区 (宮内地内外)	388.7																								
第4工区 (新橋五丁目地内外)	575.3																								
第5工区 (北新橋一丁目地内外)	280.3																								
第6工区 (末広町地内外)	470.7																								
第7工区 (光ヶ丘五丁目地内外)	283.3																								
第8工区 (住吉町地内外)	666.1																								
第9工区 (千石町一丁目地内外)	368.7																								
合計	4,169.4																								
○評価・方向性 平成30年度は、社会資本整備総合交付金の配分額の減少により、目標4.7kmに対し実績4.2kmで達成することが出来なかった。 引き続き、第7次側溝整備5か年計画 (平成29年度～令和3年度) に基づき、年間4.7kmを目標に整備を行う。																									
評価指標 (単位)		目標	実績																						
整備延長 (km)		4.7	4.2																						
備 考	○主な特定財源 社会資本整備総合交付金 (国) 60,669,000円 合併特例事業債 (市債) 104,000,000円 過疎対策事業債 (市債) 27,900,000円																								

款 項 目	8 款 土木費	2 項 道路橋りょう費	2 目 道路橋りょう維持費	= 予 算 所 属 = 建設部土木課											
事 業 名	舗装改修事業														
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①											
83,807,000 円	80,870,400 円	2,849,000 円	87,600 円	96.5 %											
目 的・趣 旨	ひび割れやわだちの著しい市道の舗装補修等を行い、円滑な交通の確保、交通事故の防止を図る。														
事 業・成 果の 概 要 等	○事業内容 大型車の通行等により傷んだ、市道の路面の改修を行った。														
	○事業実績・説明														
	(単位：m ²)														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>市 道 路 線 名</th> <th>舗 装 面 積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>市道落野目板戸線</td><td>5,640.0</td></tr> <tr><td>市道上通1号線</td><td>1,470.0</td></tr> <tr><td>市道大島田横代線</td><td>1,660.0</td></tr> <tr><td>市道安田京屋線</td><td>5,520.0</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>14,290.0</td></tr> </tbody> </table>				市 道 路 線 名	舗 装 面 積	市道落野目板戸線	5,640.0	市道上通1号線	1,470.0	市道大島田横代線	1,660.0	市道安田京屋線	5,520.0	合 計
市 道 路 線 名	舗 装 面 積														
市道落野目板戸線	5,640.0														
市道上通1号線	1,470.0														
市道大島田横代線	1,660.0														
市道安田京屋線	5,520.0														
合 計	14,290.0														
○評価・方向性 平成29年度に策定した「舗装長寿命化修繕計画」の年次計画(5か年)路線の改修を行うことが出来た。 引き続き、「舗装長寿命化修繕計画」(平成29年度～令和3年度) に基づき、傷んだ路面の改修を行う。															
評価指標 (単位)		目標	実績												
		年度内事業の完了	完了												
備 考	○主な特定財源 防災・安全交付金 (国) 26,879,000円 合併特例事業債 (市債) 25,600,000円 公共施設等適正管理推進事業債 (市債) 24,200,000円														

款 項 目	8 款 土木費	2 項 道路橋りょう費	2 目 道路橋りょう維持費	= 予 算 所 属 = 建設部土木課																								
事 業 名	橋りょう延命化事業																											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																								
238,088,000 円	113,758,480 円	122,336,680 円	1,992,840 円	47.8 %																								
目 的・趣 旨	今後、老朽化する道路橋が急速に増加することを見据え、橋りょうの長寿命化及び修繕・架替えに計画的に取り組むことで経費の縮減を図り、地域道路網の安全性と信頼性を確保する。																											
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 5年サイクルで、橋りょうの点検(診断含む)、修繕計画の策定(見直し)を行い、補修設計業務委託、補修、修繕工事・架替え工事を行うもの。 ・管理橋りょう数 497橋(修繕計画対象) ・平成28年度 修繕計画策定																											
	○事業実績・説明 (1) 補修設計 ・ボックスカルバートにした方が有利となる2橋の架替え設計を実施したほか、鉄道を横断する跨線橋2橋の耐震予備設計を実施し、事業費を縮減する方法の検討を行った。 (2) 補修工事 ・早急に対処する必要がある4橋に加え、長寿命化を図る1橋の補修工事を実施した。 ・補修工事の入札不調が続いたことにより、施工可能時期を逃したため翌年度に予算を繰り越した。																											
	(3) 実施状況																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費(円)</th> <th>補修設計(橋)</th> <th>補修工事(橋)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>125,668,588</td> <td>1</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>331,976,880</td> <td>13</td> <td>5</td> <td>追加補正含む</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>182,983,780</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>繰越含む</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>113,758,480</td> <td>2</td> <td>5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				年度	事業費(円)	補修設計(橋)	補修工事(橋)	備考	H27	125,668,588	1	3		H28	331,976,880	13	5	追加補正含む	H29	182,983,780	11	4	繰越含む	H30	113,758,480	2	5
年度	事業費(円)	補修設計(橋)	補修工事(橋)	備考																								
H27	125,668,588	1	3																									
H28	331,976,880	13	5	追加補正含む																								
H29	182,983,780	11	4	繰越含む																								
H30	113,758,480	2	5																									
○評価・方向性 防災・安全交付金事業の整備計画において、5年で25橋(5橋/年)の補修を目標としており、成果としてはほぼ計画どおりとなっている。 施工業者の人手不足などから、小規模橋りょうの補修工事が受注されにくい状況にあるため、発注時期と方法の見直しを行い、着実に補修を行っていく必要がある。																												
評価指標(単位)		目標	実績																									
補修橋りょう数(橋)		6	5																									
備 考	○主な特定財源 防災・安全交付金(国) 51,162,000円 合併特例事業債(市債) 23,800,000円 過疎対策事業債(市債) 18,400,000円																											

款 項 目	8 款 土木費	2 項 道路橋りょう費	2 目 道路橋りょう維持費	= 予 算 所 属 = 建設部土木課																								
事 業 名	(繰越明許費) 橋りょう延命化事業																											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																								
41,961,540 円	41,745,320 円	0 円	216,220 円	99.5 %																								
目 的・趣 旨	今後、老朽化する道路橋が急速に増加することを見据え、橋りょうの長寿命化及び修繕・架替えに計画的に取り組むことで経費の縮減を図り、地域道路網の安全性と信頼性を確保する。																											
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 5年サイクルで、橋りょうの点検(診断含む)、修繕計画の策定(見直し)を行い、補修設計業務委託、補修、修繕工事・架替え工事を行うもの。 ・管理橋りょう数 497橋(修繕計画対象) ・平成28年度 修繕計画策定																											
	○事業実績・説明 (1) 補修設計 ・平成29年度実施の9橋に加え、補修からボックスカルバート化へ見直した2橋の架替え設計を繰越予算で実施し、計11橋の補修設計を実施した。 (2) 補修工事 ・平成30年度事業費と合わせ、1橋の補修工事を実施した。																											
	(3) 実施状況																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費(円)</th> <th>補修設計(橋)</th> <th>補修工事(橋)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>125,668,588</td> <td>1</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>331,976,880</td> <td>13</td> <td>5</td> <td>追加補正含む</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>141,238,460</td> <td>9</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29繰越</td> <td>41,745,320</td> <td>2</td> <td>(1)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				年度	事業費(円)	補修設計(橋)	補修工事(橋)	備考	H27	125,668,588	1	3		H28	331,976,880	13	5	追加補正含む	H29	141,238,460	9	4		H29繰越	41,745,320	2	(1)
年度	事業費(円)	補修設計(橋)	補修工事(橋)	備考																								
H27	125,668,588	1	3																									
H28	331,976,880	13	5	追加補正含む																								
H29	141,238,460	9	4																									
H29繰越	41,745,320	2	(1)																									
○評価・方向性 防災・安全交付金事業の整備計画において、5年で20橋(4橋/年)の補修を目標としており、成果としてはほぼ計画どおりとなっている。 今後も修繕計画に合わせて補修を実施する必要がある。																												
評価指標(単位)		目標	実績																									
補修橋りょう数(橋)		4	4																									
備 考	○主な特定財源 防災・安全交付金(国) 23,610,000円 合併特例事業債(市債) 17,200,000円																											

款 項 目	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	3目 道路橋りょう新設改良費	= 予算所属 = 建設部土木課																												
事業名	市道矢流川大平線道路改良事業																															
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																												
24,440,000円	23,628,293円	0円	811,707円	96.7%																												
目的・趣旨	安全で快適な交通環境の実現と市民の利便性を高めるため、交通ネットワークを整備する。																															
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 市民生活の利便性と安全性の向上を図るため、道路改良工事を実施した。 道路改良延長 L=706.2m、事業年度 平成25年度～平成30年度</p> <p>○事業実績・説明 (1) 道路改良工事 ・一部区間の拡幅を完了し供用をしていたが、平成29年度事業箇所と合わせ、残る区間の道路改良を完成した。 ・河川と隣接する道路であり、道路拡幅に伴い河川護岸工事も実施した。</p> <p>(2) 実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費(千円)</th> <th>進捗率(%)</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>23,466</td> <td>5.7</td> <td>測量設計、地質調査</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>36,840</td> <td>14.5</td> <td>用地取得、橋梁等詳細設計</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>21,381</td> <td>19.7</td> <td>道路築造工事</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>184,136</td> <td>64.0</td> <td>橋梁工事、道路築造工事</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>125,602</td> <td>94.3</td> <td>護岸工事、道路築造工事</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>23,628</td> <td>100.0</td> <td>護岸工事、道路築造工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 社会資本整備総合交付金の配分率の低下により、事業完了年度は当初の平成28年度から平成30年度となった。 本事業は平成初期から開始した市道矢流川大平線の最終区間であり、狭小幅員を解消するとともに、歩道を整備し全区間の利便性と安全性の向上を図ることができた。</p>				年度	事業費(千円)	進捗率(%)	実施内容	H25	23,466	5.7	測量設計、地質調査	H26	36,840	14.5	用地取得、橋梁等詳細設計	H27	21,381	19.7	道路築造工事	H28	184,136	64.0	橋梁工事、道路築造工事	H29	125,602	94.3	護岸工事、道路築造工事	H30	23,628	100.0	護岸工事、道路築造工事
	年度	事業費(千円)	進捗率(%)	実施内容																												
H25	23,466	5.7	測量設計、地質調査																													
H26	36,840	14.5	用地取得、橋梁等詳細設計																													
H27	21,381	19.7	道路築造工事																													
H28	184,136	64.0	橋梁工事、道路築造工事																													
H29	125,602	94.3	護岸工事、道路築造工事																													
H30	23,628	100.0	護岸工事、道路築造工事																													
	評価指標(単位)		目標	実績																												
			年度内事業の完了	完了																												
備考	<p>○主な特定財源 社会資本整備総合交付金(国) 11,791,000円 合併特例事業債(市債) 11,200,000円</p>																															

款 項 目	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	3目 道路橋りょう新設改良費	= 予算所属 = 建設部土木課																												
事業名	(繰越明許費) 市道矢流川大平線道路改良事業																															
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																												
124,420,000円	124,227,637円	0円	192,363円	99.8%																												
目的・趣旨	安全で快適な交通環境の実現と市民の利便性を高めるため、交通ネットワークを整備する。																															
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 市民生活の利便性と安全性の向上を図るため、道路改良工事を実施した。 道路改良延長 L=706.2m、事業年度 平成25年度～平成30年度</p> <p>○事業実績・説明 (1) 道路改良工事 ・施工箇所が河川区域内となり、着手可能時期の制約から予算を繰り越した。</p> <p>(2) 実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費(千円)</th> <th>進捗率(%)</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>23,466</td> <td>5.7</td> <td>測量設計、地質調査</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>36,840</td> <td>14.5</td> <td>用地取得、橋梁等詳細設計</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>21,381</td> <td>19.7</td> <td>道路築造工事</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>184,136</td> <td>64.0</td> <td>橋梁工事、道路築造工事</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,374</td> <td>64.4</td> <td>電柱移設、道路築造工事</td> </tr> <tr> <td>H29繰越</td> <td>124,228</td> <td>94.3</td> <td>護岸工事、道路築造工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 平成29年度中の事業完了を目標としていたが、社会資本整備総合交付金の内示額は要望額に対し4割程度となっており、当初の事業完了予定年度に遅れが生じた。 繰越予算と合わせ、平成30年度において残工事を実施し、事業を完了した。</p>				年度	事業費(千円)	進捗率(%)	実施内容	H25	23,466	5.7	測量設計、地質調査	H26	36,840	14.5	用地取得、橋梁等詳細設計	H27	21,381	19.7	道路築造工事	H28	184,136	64.0	橋梁工事、道路築造工事	H29	1,374	64.4	電柱移設、道路築造工事	H29繰越	124,228	94.3	護岸工事、道路築造工事
	年度	事業費(千円)	進捗率(%)	実施内容																												
H25	23,466	5.7	測量設計、地質調査																													
H26	36,840	14.5	用地取得、橋梁等詳細設計																													
H27	21,381	19.7	道路築造工事																													
H28	184,136	64.0	橋梁工事、道路築造工事																													
H29	1,374	64.4	電柱移設、道路築造工事																													
H29繰越	124,228	94.3	護岸工事、道路築造工事																													
	評価指標(単位)		目標	実績																												
			年度内事業の完了	完了																												
備考	<p>○主な特定財源 社会資本整備総合交付金(国) 68,326,000円 合併特例事業債(市債) 53,100,000円</p>																															


款 項 目	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	3目 道路橋りょう新設改良費	= 予算所属 = 建設部土木課																												
事業名	市道錦町坂野辺新田線外道路改良事業																															
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																												
167,141,000円	93,897,990円	72,664,240円	578,770円	56.2%																												
目的・趣旨	安全で快適な交通環境の実現と市民の利便性を高めるため、交通ネットワークを整備する。																															
事業内容	<p>○事業内容 市民生活の利便性と安全性の向上を図るため、道路改良工事を実施した。 錦町～京田西工業団地間、道路改良延長 L=415.6m 事業年度 平成25年度～令和2年度</p> <p>○事業実績・説明 (1) 道路改良工事 ・当初予算において、2基のカルバート工を計画していたが、交付金の配分額に合わせ、1基のカルバート工の施工を行った。 ・排水路の施工時期を調整した結果、年度内の工事完了が困難であることから、発注工事に係る予算を繰り越した。</p> <p>(2) 測量・修正設計 ・環状交差点計画を最新の設計基準に合わせて修正設計を行うとともに、錦町四丁目地内の用地取得予定箇所の調査を行った。</p> <p>(3) 実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費(千円)</th> <th>進捗率(%)</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>30,161</td> <td>3.9</td> <td>事業着手、測量設計</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>27,975</td> <td>7.5</td> <td>用地取得、水路付替工事</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>24,740</td> <td>10.6</td> <td>用地取得</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>54,383</td> <td>17.6</td> <td>載荷盛土工事</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>25,062</td> <td>20.8</td> <td>交差点設計、載荷盛土工事</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>93,898</td> <td>32.9</td> <td>カルバート工、測量・修正設計</td> </tr> </tbody> </table>				年度	事業費(千円)	進捗率(%)	実施内容	H25	30,161	3.9	事業着手、測量設計	H26	27,975	7.5	用地取得、水路付替工事	H27	24,740	10.6	用地取得	H28	54,383	17.6	載荷盛土工事	H29	25,062	20.8	交差点設計、載荷盛土工事	H30	93,898	32.9	カルバート工、測量・修正設計
年度	事業費(千円)	進捗率(%)	実施内容																													
H25	30,161	3.9	事業着手、測量設計																													
H26	27,975	7.5	用地取得、水路付替工事																													
H27	24,740	10.6	用地取得																													
H28	54,383	17.6	載荷盛土工事																													
H29	25,062	20.8	交差点設計、載荷盛土工事																													
H30	93,898	32.9	カルバート工、測量・修正設計																													
事業成果の概要等	<p>○評価・方向性 社会資本整備総合交付金の内示額が少ないことに加え、予算を繰り越したことに伴い、事業進捗率の目標59.5%に届かない状況である。 交差点周辺の修正設計を実施するとともに、必要となる用地取得箇所の地権者と交渉を行い、令和元年度の用地取得を予定している。 対外的には令和2年度の事業完了を発表しているが、京田西工業団地への企業進出に伴い、本事業路線の交通需要が高まっていることから、関係機関との調整をしながら事業を進める必要がある。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>年度内事業の完了</td> <td>完了</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標(単位)	目標	実績		年度内事業の完了	完了																						
評価指標(単位)	目標	実績																														
	年度内事業の完了	完了																														
備考	<p>○主な特定財源 社会資本整備総合交付金(国) 46,021,000円 合併特例事業債(市債) 45,300,000円</p>																															

款 項 目	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	3目 道路橋りょう新設改良費	= 予算所属 = 建設部土木課																				
事業名	(繰越明許費) 中町モール改修事業																							
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																				
161,625,600円	137,493,720円	0円	24,131,880円	85.1%																				
目的・趣旨	快適空間を創出し、利便性及びイベント活用機会の向上を図るため、中町モールの改修を行う。																							
事業内容	<p>○事業内容 利便性とイベント活用機会の向上を図るため、道路改修工事を実施した。 道路改修延長 L=100m、事業年度 平成27年度～平成30年度</p> <p>○事業実績・説明 (1) 改修工事 ・平成29年度に改修工事を発注したが、大屋根の基礎構造を見直したことに伴い工期を延長し、予算を繰り越した。 ・周辺の商店街へ工事内容の説明を行いながら、残る工事を実施した。</p> <p>(2) 実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費(千円)</th> <th>進捗率(%)</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>2,414</td> <td>1.0</td> <td>事業着手、測量設計</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>0</td> <td>1.0</td> <td>大屋根追加の検討</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>94,440</td> <td>41.3</td> <td>改修工事</td> </tr> <tr> <td>H29繰越</td> <td>137,494</td> <td>100.0</td> <td>改修工事</td> </tr> </tbody> </table>				年度	事業費(千円)	進捗率(%)	実施内容	H27	2,414	1.0	事業着手、測量設計	H28	0	1.0	大屋根追加の検討	H29	94,440	41.3	改修工事	H29繰越	137,494	100.0	改修工事
年度	事業費(千円)	進捗率(%)	実施内容																					
H27	2,414	1.0	事業着手、測量設計																					
H28	0	1.0	大屋根追加の検討																					
H29	94,440	41.3	改修工事																					
H29繰越	137,494	100.0	改修工事																					
事業成果の概要等	<p>○評価・方向性 大屋根を整備し、イベント等の活用と中町の賑わい向上に寄与することができた。 本体工事に係る予算を繰り越したものの、ゴールデンウィーク前に完成したことにより、早期に市民の利用につなげることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>年度内事業の完了</td> <td>完了</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標(単位)	目標	実績		年度内事業の完了	完了														
評価指標(単位)	目標	実績																						
	年度内事業の完了	完了																						
備考	<p>○主な特定財源 社会資本整備総合交付金(国) 53,642,000円 合併特例事業債(市債) 72,900,000円</p>																							

款 項 目	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	3目 道路橋りょう新設改良費	= 予算所属 = 建設部土木課																				
事業名	市道荒町山根線改良舗装事業																							
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																				
17,458,000円	17,456,976円	0円	1,024円	99.9%																				
目的・趣旨	安全で快適な交通環境の実現と市民の利便性を高めるため、交通ネットワークを整備する。																							
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 市民生活の利便性と安全性の向上を図るため、改良舗装工事を実施した。 舗装改修延長 L=574.6m、事業年度 平成27年度～平成30年度</p> <p>○事業実績・説明 (1) 改良舗装工事 ・平成29年度までに306.5mを完了し、平成30年度は残る268.1mの区間の改良舗装工事を実施し、事業を完了した。</p> <p>(2) 実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費(千円)</th> <th>進捗率(%)</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>1,620</td> <td>2.3</td> <td>事業着手、予備設計</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>18,250</td> <td>28.7</td> <td>測量・設計、用地取得、水路付替工事</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>31,870</td> <td>74.8</td> <td>用地取得、改良舗装工事</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>17,457</td> <td>100.0</td> <td>用地取得、改良舗装工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 最終年度に用地取得と工事を平行して行う事業であったが、計画通り平成30年度に事業を完了することができた。</p>				年度	事業費(千円)	進捗率(%)	実施内容	H27	1,620	2.3	事業着手、予備設計	H28	18,250	28.7	測量・設計、用地取得、水路付替工事	H29	31,870	74.8	用地取得、改良舗装工事	H30	17,457	100.0	用地取得、改良舗装工事
	年度	事業費(千円)	進捗率(%)	実施内容																				
	H27	1,620	2.3	事業着手、予備設計																				
	H28	18,250	28.7	測量・設計、用地取得、水路付替工事																				
H29	31,870	74.8	用地取得、改良舗装工事																					
H30	17,457	100.0	用地取得、改良舗装工事																					
評価指標(単位)		目標	実績																					
		年度内事業の完了	完了																					
備考	○主な特定財源 過疎対策事業債(市債) 17,400,000円																							

款 項 目	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	4目 交通安全施設等整備事業費	= 予算所属 = 建設部土木課															
事業名	交通安全施設(二種)整備事業																		
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①															
19,192,000円	19,190,520円	0円	1,480円	99.9%															
目的・趣旨	交通安全施設を整備することにより、市内各所における交通事故防止と交通の円滑化を図る。																		
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 市民の安全、安心を確保するため、交通安全施設の整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区画線(外側線・中央線)設置 ・防護柵(ガードレール等)の整備 <p>○事業実績・説明</p> <p style="text-align: right;">(単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業年度</th> <th>事業費</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>21,498,480</td> <td>・区画線(中央線・外側線)設置 L=16,030m ・防護柵(ガードレール等)設置 L=367.9m</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>19,781,280</td> <td>・区画線(中央線・外側線)設置 L=13,330m ・防護柵(ガードレール等)設置 L=365.3m</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>19,785,600</td> <td>・区画線(中央線・外側線)設置 L=17,020m ・防護柵(ガードレール等)設置 L=478.1m</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>19,190,520</td> <td>・区画線(中央線・外側線)設置 L=14,700m ・防護柵(ガードレール等)設置 L=458.4m</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 幹線道路や通学路等、危険性の高い箇所において、優先的に交通安全施設を更新したことにより、交通事故の抑制が図られた。 現状では、老朽化した防護柵や視認しにくい区画線を多数抱えているため、今後も事故の抑制効果の高い箇所を優先的に継続して更新を行う。</p>				事業年度	事業費	内 容	平成27年度	21,498,480	・区画線(中央線・外側線)設置 L=16,030m ・防護柵(ガードレール等)設置 L=367.9m	平成28年度	19,781,280	・区画線(中央線・外側線)設置 L=13,330m ・防護柵(ガードレール等)設置 L=365.3m	平成29年度	19,785,600	・区画線(中央線・外側線)設置 L=17,020m ・防護柵(ガードレール等)設置 L=478.1m	平成30年度	19,190,520	・区画線(中央線・外側線)設置 L=14,700m ・防護柵(ガードレール等)設置 L=458.4m
	事業年度	事業費	内 容																
	平成27年度	21,498,480	・区画線(中央線・外側線)設置 L=16,030m ・防護柵(ガードレール等)設置 L=367.9m																
	平成28年度	19,781,280	・区画線(中央線・外側線)設置 L=13,330m ・防護柵(ガードレール等)設置 L=365.3m																
平成29年度	19,785,600	・区画線(中央線・外側線)設置 L=17,020m ・防護柵(ガードレール等)設置 L=478.1m																	
平成30年度	19,190,520	・区画線(中央線・外側線)設置 L=14,700m ・防護柵(ガードレール等)設置 L=458.4m																	
評価指標(単位)		目標	実績																
市道管理瑕疵に起因する死亡事故発生件数(件)		0	0																
備考																			

款 項 目	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	6目 除雪対策費	= 予算所属 = 建設部土木課																							
事業名	除雪事業																										
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																							
400,000,000円	346,554,245円	0円	53,445,755円	86.6%																							
目的・趣旨	冬期間における歩行者・車両通行の安全確保と交通渋滞緩和を図るため、計画的な除雪機械整備を行う。																										
事業成果の概要等	○事業内容 冬期間の歩行者・車両通行の安全確保を図るため、除雪計画に基づき生活道路の除雪を実施した。																										
	○事業実績・説明																										
	・除雪実績																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市道延長</td> <td>976.3km</td> <td>歩道除雪率</td> <td>42.4%</td> </tr> <tr> <td>車道除雪延長</td> <td>833.8km</td> <td>除雪車出動日数</td> <td>31日</td> </tr> <tr> <td>車道除雪率</td> <td>85.4%</td> <td>総稼働台数</td> <td>1,891台</td> </tr> <tr> <td>歩道延長</td> <td>198.4km</td> <td>総稼働時間</td> <td>10,147時間</td> </tr> <tr> <td>歩道除雪延長</td> <td>84.2km</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区 分	内 容	区 分	内 容	市道延長	976.3km	歩道除雪率	42.4%	車道除雪延長	833.8km	除雪車出動日数	31日	車道除雪率	85.4%	総稼働台数	1,891台	歩道延長	198.4km	総稼働時間	10,147時間	歩道除雪延長	84.2km	
区 分	内 容	区 分	内 容																								
市道延長	976.3km	歩道除雪率	42.4%																								
車道除雪延長	833.8km	除雪車出動日数	31日																								
車道除雪率	85.4%	総稼働台数	1,891台																								
歩道延長	198.4km	総稼働時間	10,147時間																								
歩道除雪延長	84.2km																										
○評価・方向性 除雪機械の老朽化、人件費等の上昇など、除雪コストは上昇傾向にある。近年、除雪委託業者の確保は恒常的課題となっていることから、準備費用等一時金の増額、稼働が少ない場合にオペレーターへの保障費を増額するなど、除雪体制を維持するために必要な対策を継続して行う。																											
評価指標（単位）		目標	実績																								
車道除雪率（%）		85	85.4																								
備考	○主な特定財源 社会資本整備総合交付金（国） 20,400,000円 戸沢村除雪協力金 306,314円																										

款 項 目	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	6目 除雪対策費	= 予算所属 = 建設部土木課
事業名	除雪機械整備事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
40,295,000円	40,294,470円	0円	530円	99.9%
目的・趣旨	冬期間における歩行者・車両通行の安全確保と交通渋滞緩和を図るため、計画的な除雪機械整備を行う。			
事業成果の概要等	○事業内容 冬期間の交通確保に必要な除雪機械の購入			
	○事業実績・説明			
	・導入した除雪車両 除雪ドーザ（11t級） 1台 除雪ドーザ（8t級） 2台			
	  			
○評価・方向性 老朽化機械の更新、除雪業者所有機械の減少に伴う補充など、現状の体制を維持できるように除雪機械の購入を検討していく。				
評価指標（単位）		目標	実績	
車道除雪率（%）		85	85.4	
備考	○主な特定財源 防災・安全交付金（国） 25,653,000円 合併特例事業債（市債） 4,100,000円 過疎対策事業債（市債） 8,500,000円			

款 項 目	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	6目 除雪対策費	= 予算所属 = 建設部土木課					
事業名	克雪支援事業								
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①					
39,600,000円	23,751,438円	0円	15,848,562円	60.0%					
目的・趣旨	冬期間における歩行者・車両通行の安全確保と交通渋滞緩和を図る。								
事業・成果の概要等	○事業内容 冬期間の歩行者・車両通行の安全確保を図るため、除雪指定路線以外の自治会等が行う除雪に対して補助金を交付した。								
	○事業実績・説明								
	(1) 除雪特別対策補助金								
	<table border="1"> <tr> <td>除雪延べ面積</td> <td>1,176,609.9㎡</td> </tr> <tr> <td>交付団体</td> <td>39団体</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>23,532,198円</td> </tr> </table>				除雪延べ面積	1,176,609.9㎡	交付団体	39団体	補助金
除雪延べ面積	1,176,609.9㎡								
交付団体	39団体								
補助金	23,532,198円								
(2) 小型除雪機械購入補助金 ・共同購入した団体に購入費の1/2（上限30万円）の補助金									
<table border="1"> <tr> <td>交付団体</td> <td>1団体</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>219,240円</td> </tr> </table>				交付団体	1団体	補助金	219,240円		
交付団体	1団体								
補助金	219,240円								
○評価・方向性 除雪委託業者の確保が、今後困難になると予測されることから、地域で自主的に行う除雪作業を積極的に支援し、除雪体制の拡充を図りたい。									
評価指標（単位）		目標	実績						
除雪支援面積（㎡）		124,000	130,925						
備考	○主な特定財源 市町村総合交付金（雪対策推進事業）（県） 4,711,000円								

款 項 目	8款 土木費	5項 都市計画費	3目 公園費	= 予算所属 = 建設部土木課		
事業名	公園都市構想事業					
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①		
6,877,000円	6,468,163円	0円	408,837円	94.1%		
目的・趣旨	酒田市全体を公園のようにきれいで快適なまちにするため、公園都市構想の啓発運動を行いながら、行政と市民の協働により、市民ボランティアの手による美化活動や緑化活動等の公園都市実現に関する各種施策を展開する。					
事業・成果の概要等	○事業内容					
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 美化サポーターへの活動資材の提供（ゴミ袋、花苗、球根、肥料等） (2) 美化サポーターへの草刈り機械の貸出し及び機械用燃料の支給 (3) 美化サポーター意見交換会の開催 (4) アダプトサインの設置 (5) ボランティア保険への加入 					
	○事業実績・説明					
	(1) 美化サポーター年度別登録実績（団体、人）					
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
団体数	203	212	226	229	233	
登録人数	10,916	11,246	11,913	11,786	11,859	
(2) 光ヶ丘地区環境美化ボランティア活動						
<ul style="list-style-type: none"> ・6月23日実施 参加人数 256名 ・9月22日実施 参加人数 159名 合計 415名 						
(3) 美化サポーター意見交換会・講習会						
<ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成31年2月14日 ・場所 酒田勤労者福祉センター ・参加人数 105名（71団体） 						
(4) アダプトサイン						
<ul style="list-style-type: none"> ・設置件数 5件 ・設置団体 株式会社ティディイー、地神建設株式会社 TMCA南東北ブロック庄内、若竹町東部自治会、若浜美化クラブ 						
○評価・方向性						
花苗の支給が好評で、美化サポーターへの登録も増加しており、公園都市構想の目指すまちづくりに貢献していると考えている。市民参加を主体としたまちづくりを進めていくために、より多くの市民や事業者から美化サポーターに登録してもらい、より多くの区域に対し美化活動や緑化活動を実施していく。地域の環境美化と市民の環境に対する意識向上につながることから今後も事業を継続していく。						
評価指標（単位）		目標	実績			
美化サポーター登録人数（人）		12,000	11,859			
備考						

款 項 目	8款 土木費	5項 都市計画費	3目 公園費	= 予算所属 = 建設部土木課																															
事業名	公園施設再整備事業																																		
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																															
13,023,000円	13,012,920円	0円	10,080円	99.9%																															
目的・趣旨	都市公園等において、経年劣化した公園施設や機能、防犯面等から早期に整備が必要な危険箇所の改修を行い、公園利用者の安全性や利便性の向上を図る。																																		
事業成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 曙公園トイレ新築工事 (2) 公園電気設備等改修工事（6公園、7基） (3) 新橋緑地舗装改修工事</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 曙公園トイレ新築工事 ・曙公園</p> <table border="1"> <tr> <td>建築工事</td> <td>木造平屋建</td> <td>6.7㎡</td> </tr> <tr> <td>機械設備工事</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気設備工事</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 公園電気設備等改修工事 ・日和山公園 ・本町公園 ・北新橋西公園 ・港南公園 ・日の出公園 ・琢成緑地</p> <table border="1"> <tr> <td>LED照明灯設置・撤去（基礎除く）</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>LED照明灯設置・撤去</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>LED照明灯設置・撤去</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>LED照明灯設置・撤去</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>LED照明器具交換</td> <td>2基</td> </tr> <tr> <td>制御盤更新</td> <td>1基</td> </tr> </table> <p>(3) 新橋緑地舗装改修工事 ・新橋緑地</p> <table border="1"> <tr> <td>アスファルト舗装</td> <td>207.0㎡</td> </tr> <tr> <td>防根シート布設</td> <td>204.0㎡</td> </tr> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>老朽化に伴う公園施設や照明灯等の改修工事であり、その他にも緊急性を要する施設は数多く存在するため、必要不可欠な事業である。安全で安心な公園環境確保のために、計画的に改修を実施していく。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標（単位）</td> <td>目標</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td></td> <td>年度内事業の完了</td> <td>完了</td> </tr> </table>				建築工事	木造平屋建	6.7㎡	機械設備工事	一式		電気設備工事	一式		LED照明灯設置・撤去（基礎除く）	1基	LED照明灯設置・撤去	1基	LED照明灯設置・撤去	1基	LED照明灯設置・撤去	1基	LED照明器具交換	2基	制御盤更新	1基	アスファルト舗装	207.0㎡	防根シート布設	204.0㎡	評価指標（単位）	目標	実績		年度内事業の完了	完了
建築工事	木造平屋建	6.7㎡																																	
機械設備工事	一式																																		
電気設備工事	一式																																		
LED照明灯設置・撤去（基礎除く）	1基																																		
LED照明灯設置・撤去	1基																																		
LED照明灯設置・撤去	1基																																		
LED照明灯設置・撤去	1基																																		
LED照明器具交換	2基																																		
制御盤更新	1基																																		
アスファルト舗装	207.0㎡																																		
防根シート布設	204.0㎡																																		
評価指標（単位）	目標	実績																																	
	年度内事業の完了	完了																																	
備考	○主な特定財源 合併特例事業債（市債） 12,300,000円																																		

款 項 目	8款 土木費	5項 都市計画費	3目 公園費	= 予算所属 = 建設部土木課																																								
事業名	手づくり公園整備事業																																											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																								
8,730,000円	8,717,008円	0円	12,992円	99.9%																																								
目的・趣旨	地域住民が地域の特色や要望等を取り入れて行う公園整備を支援し、地域から愛され親しまれる公園づくり、協働のまちづくりを推進する。																																											
事業成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>地域住民が主体となって行う公園整備を支援した。（7公園、8施設）</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 平成30年度整備内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>公園名</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑風ひろば</td> <td>広場整備</td> </tr> <tr> <td>新堀農村公園</td> <td>遊具設置</td> </tr> <tr> <td>光ヶ丘一丁目公園</td> <td>水道設備</td> </tr> <tr> <td>光ヶ丘公園（児童遊戯場）</td> <td>遊具設置、休憩施設設置</td> </tr> <tr> <td>下安西公園</td> <td>遊具設置</td> </tr> <tr> <td>大町東公園</td> <td>遊具設置</td> </tr> <tr> <td>札の前公園</td> <td>遊具設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 年度別整備実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施箇所</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>実施箇所累計（H11～）</td> <td>128</td> <td>137</td> <td>146</td> <td>153</td> <td>160</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>毎年、一定の実施があり市民の意見を公園整備に反映できる事業として定着してきている。公園に対する市民の要望も多いため、快適な公園づくりや協働のまちづくりを推進する観点からも事業を継続していく。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標（単位）</td> <td>目標</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>事業実施延べ箇所数（か所）</td> <td>160</td> <td>160</td> </tr> </table>				公園名	整備内容	緑風ひろば	広場整備	新堀農村公園	遊具設置	光ヶ丘一丁目公園	水道設備	光ヶ丘公園（児童遊戯場）	遊具設置、休憩施設設置	下安西公園	遊具設置	大町東公園	遊具設置	札の前公園	遊具設置		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	実施箇所	10	9	9	7	7	実施箇所累計（H11～）	128	137	146	153	160	評価指標（単位）	目標	実績	事業実施延べ箇所数（か所）	160	160
公園名	整備内容																																											
緑風ひろば	広場整備																																											
新堀農村公園	遊具設置																																											
光ヶ丘一丁目公園	水道設備																																											
光ヶ丘公園（児童遊戯場）	遊具設置、休憩施設設置																																											
下安西公園	遊具設置																																											
大町東公園	遊具設置																																											
札の前公園	遊具設置																																											
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																							
実施箇所	10	9	9	7	7																																							
実施箇所累計（H11～）	128	137	146	153	160																																							
評価指標（単位）	目標	実績																																										
事業実施延べ箇所数（か所）	160	160																																										
備考																																												

款 項 目	8款 土木費	5項 都市計画費	3目 公園費	= 予算所属 = 建設部土木課								
事業名	日和山公園環境整備事業											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①								
49,468,000円	49,467,240円	0円	760円	99.9%								
目的・趣旨	市民の憩いの場であり観光スポットでもある日和山公園を、社会資本整備総合交付金を活用しながら整備し、市民や観光客の利便性と機能性の向上を図ることにより、公園の利活用を推進する。											
事業・成果の概要等	○事業内容 かつて湊と街を繋いだ歴史的に重要な日和山公園「ひょうたん池周辺」の再整備を行い、市民や観光客からさらに親しまれる公園として魅力向上を図るもの。											
	○事業実績・説明											
	・事業実施状況											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費(千円)</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>18,428</td> <td>園路等整備工事【繰越】</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>49,468</td> <td>園路等整備工事</td> </tr> </tbody> </table>				年度	事業費(千円)	実施内容	平成29年度	18,428	園路等整備工事【繰越】	平成30年度	49,468
年度	事業費(千円)	実施内容										
平成29年度	18,428	園路等整備工事【繰越】										
平成30年度	49,468	園路等整備工事										
・日和山公園園路等整備工事 敷地造成工 一式 植栽工 一式 園路広場整備工 一式 電気設備工 一式 公園施設整備工 一式 公園施設撤去工 一式 仮設工 一式 庭門工 一式												
○評価・方向性 四季折々楽しめる植栽や日和山公園の歴史を感じることができる施設整備により、周辺エリアへの回遊性と日和山公園の魅力向上に貢献していると考えている。計画通り平成30年度に事業を完了することができた。												
評価指標(単位)		目標	実績									
		年度内事業の完了	完了									
備考	○主な特定財源 合併特例事業債(市債) 26,900,000円											

款 項 目	8款 土木費	5項 都市計画費	3目 公園費	= 予算所属 = 建設部土木課
事業名	(繰越明許費) 日和山公園環境整備事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
18,681,600円	18,428,040円	0円	253,560円	98.6%
目的・趣旨	市民の憩いの場であり観光スポットでもある日和山公園を、社会資本整備総合交付金を活用しながら整備し、市民や観光客の利便性を機能性の向上を図ることにより、公園の利活用を推進する。			
事業・成果の概要等	○事業内容 かつて湊と街を繋いだ歴史的に重要な日和山公園「ひょうたん池周辺」の再整備を行い、市民や観光客からさらに親しまれる公園として魅力向上を図るもの。			
	○事業実績・説明			
	日和山公園ひょうたん池跡地の園路舗装工及び修景施設整備工を行った。			
	・日和山公園園路等整備工事 園路舗装工 一式 修景施設整備工 一式			
○評価・方向性 平成29年度繰越予算で園路舗装及び修景施設を整備し、市民や観光客から親しまれる公園として魅力向上に貢献していると考えている。目標にしていた酒田まつり前までに工事が完成し、早期に市民の利用につなげることができた。				
評価指標(単位)		目標	実績	
		年度内事業の完了	完了	
備考	○主な特定財源	社会資本整備総合交付金(国)	7,869,000円	
		合併特例事業債(市債)	10,000,000円	

款 項 目	8款 土木費	5項 都市計画費	3目 公園費	= 予算所属 = 建設部土木課									
事業名	公園施設長寿命化等整備事業												
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①									
132,360,000円	97,668,720円	34,171,280円	520,000円	73.8%									
目的・趣旨	酒田市公園施設長寿命化計画に則って公園施設の更新や補修を行い、長寿命化及びバリアフリー化を図る。												
事業成果の概要等	<p>○事業内容 公園施設の良好な維持管理を図るため、公園施設長寿命化計画を策定し計画に基づいた施設の更新整備を行うもの。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>・事業実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費(千円)</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>100,764</td> <td>公園施設長寿命化計画策定、測量設計、地質調査、園路整備工事、長寿命化整備工事【繰越】</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>131,840</td> <td>測量設計、園路整備工事、長寿命化整備工事【繰越】</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 公園施設長寿命化等実施設計業務委託 ・測量業務 路線測量 0.18km ・詳細設計業務 歩道詳細設計(階段改修) 0.03km トイレ実施設計 一式</p> <p>(2) 飯森山公園園路整備工事(冒険広場につながるスロープ整備) 敷地造成工 一式 法面工 120㎡ 擁壁工 475㎡ 園路広場整備工 327㎡ 管理施設整備工 一式 雨水排水設備工 一式 撤去工 一式</p> <p>(3) 公園施設長寿命化等整備工事【繰越】 遊戯施設整備工 一式 撤去工 一式 案内板設置工 1基 仮設工 一式</p> <p>○評価・方向性 園路整備工事により、冒険広場へのベビーカー乗入れがスムーズになり、園内の回遊性や利用者の安全・安心の確保につながった。 長寿命化整備工事は、冒険広場のローラー滑り台の更新を年度内完成で予定していたが、入札不調により翌年度に繰り越すこととなった。引き続き利用者の安全・安心の確保に向けて工事を進めていく。 公園施設の機能回復と事故防止、来園者の誰もが安心して利用できる魅力ある公園を維持するために、計画的に長寿命化対策に取り組んでいく。</p>				年度	事業費(千円)	実施内容	平成29年度	100,764	公園施設長寿命化計画策定、測量設計、地質調査、園路整備工事、長寿命化整備工事【繰越】	平成30年度	131,840	測量設計、園路整備工事、長寿命化整備工事【繰越】
	年度	事業費(千円)	実施内容										
平成29年度	100,764	公園施設長寿命化計画策定、測量設計、地質調査、園路整備工事、長寿命化整備工事【繰越】											
平成30年度	131,840	測量設計、園路整備工事、長寿命化整備工事【繰越】											
	評価指標(単位)		目標	実績									
			年度内事業の完了	未了									
備考	<p>○主な特定財源 防災・安全交付金(国) 46,541,000円 合併特例事業債(市債) 48,500,000円</p>												

款 項 目	8款 土木費	5項 都市計画費	3目 公園費	= 予算所属 = 建設部土木課
事業名	(繰越明許費) 公園施設長寿命化等整備事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
39,308,000円	39,289,440円	0円	18,560円	99.9%
目的・趣旨	酒田市公園施設長寿命化計画に則って公園施設の更新や補修を行い、長寿命化及びバリアフリー化を図る。			
事業成果の概要等	<p>○事業内容 公園施設の良好な維持管理を図るため、公園施設長寿命化計画を策定し計画に基づいた施設の更新整備を行うもの。</p> <p>○事業実績・説明 飯森山公園冒険ひろばの大型複合遊具の更新を行った。</p> <p>・公園施設長寿命化等整備工事 遊戯施設整備工 一式 撤去工 一式 仮設工 一式</p> <p>○評価・方向性 平成29年度繰越予算で大型複合遊具を更新整備し、利用者の安全・安心の確保や施設の長寿命化に貢献していると考えている。目標にしていた5月の大型連休までに工事が完成し、早期に市民の利用につなげることができた。</p>			
		評価指標(単位)		目標
			年度内事業の完了	完了
備考	<p>○主な特定財源 防災・安全交付金(国) 19,554,000円 合併特例事業債(市債) 18,600,000円</p>			

款 項 目	8款 土木費	6項 住宅費	1目 住宅管理費	= 予算所属 = 建設部建築課
事業名	市営住宅ストック改善事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
66,465,000円	66,365,352円	0円	99,648円	99.9%
目的・趣旨	市営住宅の長寿命化を図り、良好な居住環境を提供するため、計画的な改修を実施する。			
事業成果の概要等	○事業内容 市営住宅の良好な居住環境の改善を図るため、改修工事を行った。			
	○事業実績・説明 ・大町第二アパートの給排水管改修工事			
	年度	事業実績		事業費(円)
	H26	・港南第二アパート給排水管改修工事（給排水管、浴室改修） ・第一松境アパート耐震改修工事（実施設計）		51,901,344
	H27	・港南第三アパート給排水管改修工事（給排水管、浴室改修） ・第一松境アパート耐震改修工事		235,906,020
	H28	・大町団地（1号棟～3号棟）給排水改修工事（実施設計） ・第一・第二川南アパート屋外排水管改修工事		7,636,950
	H29	・大町第一アパート給排水改修工事（給排水管、浴室改修）		63,612,081
	H30	・大町第二アパート給排水改修工事（給排水管、浴室改修）		66,365,352
	○評価・方向性 老朽改修の工事を計画的に行い、住宅の長寿命化を図っている。また、良好な居住環境の向上につなげていく。			
	評価指標（単位）		目標	実績
		年度内事業の完了	完了	
備考	○主な特定財源 社会資本整備総合交付金（国） 7,995,000円 公営住宅建設事業債（市債） 51,900,000円			

款 項 目	8款 土木費	6項 住宅費	2目 建築指導費	= 予算所属 = 建設部建築課	
事業名	危険ブロック塀等撤去支援事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,280,000円	1,280,000円	0円	0円	100.0%	
目的・趣旨	一般交通の用に供する道路に面し、地震等の自然災害による崩落の危険性があるブロック塀等の撤去や改修を支援することで、安全を確保するとともに事故の未然防止を図る。				
事業成果の概要等	○事業内容 危険ブロック塀等の撤去または改修に要する工事費の2分の1以内で、80,000円を限度に補助金を交付した。				
	○事業実績・説明 (1) 実施件数 25件				
	(2) 工事面積 478㎡（延長 386m）				
		件数 (件)	工事面積 (㎡)	工事延長 (m)	事業費 (円)
	平成27年度	8	139	122	400,000
	平成28年度	9	147	108	482,000
	平成29年度	8	119	91	361,000
	平成30年度	25	478	386	1,280,000
	(3) 周知及び募集の状況 ・酒田の家づくり、住宅改善総合支援事業、住宅リフォーム総合支援事業の各パンフレットに記載し、各建設業団体、各金融機関、関係各課及び支所等に配布した。 ・出前講座や、防災訓練時に制度説明やチラシを配布した。 ・6月1日より先着順で募集を開始した。募集については市広報5月16日号、7月17日号、9月1日号（耐震特集記事）、及びホームページに掲載し周知した。 ・納税通知書に「酒田市の地震に対する支援事業について」を同封し周知した。 ・市広報7月17日号にブロック塀の点検および危険性について掲載し周知した。 ・市広報9月1日号に耐震特集記事を掲載し周知した。				
	○評価・方向性 近年一定の申請件数があるようになり、制度が定着してきている。また、平成30年に発生した大阪北部地震でのブロック塀倒壊による人的被害により、市民の関心が高まってきている。今後とも、制度のPRを強化し、周知の徹底を図り、危険ブロック塀に起因する事故の未然防止に努めていく。				
評価指標（単位）		目標	実績		
危険ブロック工事実施面積（㎡）		130	478		
備考	○主な特定財源 防災・安全交付金（国） 640,000円				

款 項 目	8款 土木費	6項 住宅費	2目 建築指導費	= 予算所属 = 建設部建築課																					
事業名	木造住宅耐震診断士派遣事業																								
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																					
2,820,000円	1,840,000円	0円	980,000円	65.2%																					
目的・趣旨	地震災害による木造住宅の倒壊と人に対する被害を軽減し、震災に強いまちにするため、市で耐震診断士を派遣し、木造住宅の耐震診断を実施する。																								
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 平成12年5月31日以前に着工された2階建て以下で、延べ床面積500㎡以下の在来軸組み工法等の木造住宅の耐震診断を行う方に対して、木造住宅耐震診断士を派遣した。 ・耐震診断費用（1棟あたり）図面有の場合100,000円 図面無の場合130,000円 ・自己負担額（1棟あたり）図面有の場合 10,000円 図面無の場合 13,000円</p> <p>○事業実績・説明 （1）実施件数 17件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施戸数 (戸)</th> <th>事業費 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>15</td> <td>1,509,879</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>22</td> <td>2,219,288</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>13</td> <td>1,320,000</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>17</td> <td>1,820,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>（2）周知及び募集の状況 ・酒田の家づくり、住宅改善総合支援事業、住宅リフォーム総合支援事業の各パンフレットに記載し、各建設業団体、各金融機関、関係各課及び支所等に配布した。 ・出前講座や、防災訓練時に制度説明やチラシを配布した。 ・市広報5月16日号、9月1日号（耐震特集記事）、12月1日号及びホームページに掲載し募集した。 ・納税通知書に「酒田市の地震に対する支援事業について」を同封し周知した。 ・6月1日より募集を先着順で開始した。</p> <p>○評価・方向性 前年度よりも、申請数が増加したが、目標には達してなく、市民の関心度が高まっていないが耐震化促進のため必要な事業である。今後とも、制度のPRを強化し周知徹底を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木造住宅耐震診断士の派遣（件）</td> <td>22</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>					実施戸数 (戸)	事業費 (円)	平成27年度	15	1,509,879	平成28年度	22	2,219,288	平成29年度	13	1,320,000	平成30年度	17	1,820,000	評価指標（単位）	目標	実績	木造住宅耐震診断士の派遣（件）	22	17
	実施戸数 (戸)	事業費 (円)																							
平成27年度	15	1,509,879																							
平成28年度	22	2,219,288																							
平成29年度	13	1,320,000																							
平成30年度	17	1,820,000																							
評価指標（単位）	目標	実績																							
木造住宅耐震診断士の派遣（件）	22	17																							
備考	○主な特定財源 木造住宅耐震診断負担金 182,000円 防災・安全交付金（国） 819,000円																								

款 項 目	8款 土木費	6項 住宅費	2目 建築指導費	= 予算所属 = 建設部建築課						
事業名	土砂災害等危険住宅移転事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
802,000円	802,000円	0円	0円	100.0%						
目的・趣旨	土砂災害等により住民の生命に危険を及ぼすおそれのある区域（土砂災害特別警戒区域）において、危険住宅の移転をする者に対し、補助金を交付することにより、危険住宅の移転を促進し住民の安全を確保する。									
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 移転を行う者に対して、危険住宅の除却に要する費用を1戸あたり、802,000円を限度として補助した。</p> <p>○事業実績・説明 （1）実施件数 1件</p> <p>（2）経過 ・平成29年度に、申請者より相談を受け、制度の説明及び国県へ予算要望を行う。 ・平成30年度当初より、申請者と打合せを実施する。 ・8月移転完了後、実績報告書の提出を受け補助金の交付を行う。</p> <p>○評価・方向性 土砂災害等による危険住宅の移転を実施し安全確保のため事業を適切に実施した。今後とも、移転を希望する対象者に対して、法令に従い事業の実施を継続する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標移転戸数（戸）</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	目標移転戸数（戸）	1	1
評価指標（単位）	目標	実績								
目標移転戸数（戸）	1	1								
備考	○主な特定財源 防災・安全交付金（国） 401,000円 土砂災害等危険住宅移転促進事業費補助金（県） 200,000円									

款 項 目	8款 土木費	6項 住宅費	2目 建築指導費	= 予算所属 = 建設部建築課
事業名	大規模建築物耐震改修支援事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
11,385,000円	11,385,000円	0円	0円	100.0%
目的・趣旨	耐震改修促進法の改正によって、耐震診断が義務化された大規模建築物（不特定多数の者が利用する建築物等）で、耐震診断の結果、耐震基準を満たさない建築物の耐震改修工事に要する費用の一部を補助する。			
事業成果の概要等	<p>○事業内容 耐震改修促進法の改正により、耐震診断が義務化され耐震基準を満たさない大規模建築物の所有者又は管理者に対して、耐震改修工事に要する費用の23%を限度に補助を実施した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 実施件数 1件</p> <p>(2) 対象建物の経過 ・平成26年度（平成27年度繰越）に耐震診断を実施（補助事業） ・平成29年度に耐震補強設計を実施（補助事業）及び改修工事の支援事業を予算化 ・平成30年10月に国及び県に補助申請を行う。 ・平成30年12月～平成31年2月に工事を実施 ・工事完了後、3月に実績報告書の提出を受け、補助金の交付を行う。</p> <p>○評価・方向性 不特定多数の者が利用する建築物の耐震化により、市民の地震災害より安全が図られた。 耐震診断が義務化された大規模建築物（不特定多数の者が利用する建築物等）で、耐震診断の結果、耐震基準を満たさない建築物の所有者又は管理者に対して耐震化の支援を行っていく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	補助実施件数（件）		1	1
備考	○主な特定財源 防災・安全交付金（国） 建築物耐震化事業費補助金（県）		5,692,000円 2,846,000円	

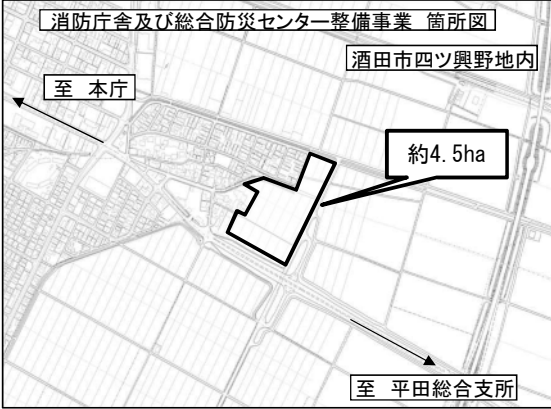
款 項 目	8款 土木費	6項 住宅費	2目 建築指導費	= 予算所属 = 建設部建築課																									
事業名	住宅改善支援事業																												
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																									
28,388,000円	24,243,293円	0円	4,144,707円	85.4%																									
目的・趣旨	住宅環境の改善を支援し、地域経済の活性化と中心市街地への居住誘導を図る。																												
事業成果の概要等	<p>○事業内容 持家住宅、賃貸住宅の整備及び空き家の解体のための金融機関による貸付に対して利子補給を行った。 ・貸付限度額 4,000,000円 ・返済期間 5年、7年、10年</p> <p>○事業実績・説明 (1) 実施件数 64件</p> <p>(2) 貸付額 177,900,000円</p> <p>(3) 総工事費 377,317,670円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>貸付件数 (件)</th> <th>貸付額 (円)</th> <th>総工事費 (円)</th> <th>利子補給額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>72</td> <td>241,900,000</td> <td>543,125,000</td> <td>28,617,903</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>88</td> <td>195,400,000</td> <td>403,862,000</td> <td>27,254,117</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>66</td> <td>161,600,000</td> <td>312,469,000</td> <td>25,656,289</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>64</td> <td>177,900,000</td> <td>377,317,670</td> <td>23,989,493</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 周知及び募集等の状況 ・パンフレット（2,200部）ポスター（100部）を作成し、各建設業団体、各金融機関、関係各課及び各支所等に配布した。 ・市広報3月16日号、及びホームページに掲載し募集した。 ・制度説明会を取扱金融機関対象に3月15日に実施及びPRの協力依頼をした。 ・4月2日より募集を開始した。</p> <p>○評価・方向性 近年、新築等における住宅ローン金利が低いことにより、件数が減少しているが、住宅リフォーム総合支援事業の対象外の方の利用も多く、地域経済に貢献している。今後も、事業のPRに努め、利用件数の増加に努める。</p>					貸付件数 (件)	貸付額 (円)	総工事費 (円)	利子補給額 (円)	平成27年度	72	241,900,000	543,125,000	28,617,903	平成28年度	88	195,400,000	403,862,000	27,254,117	平成29年度	66	161,600,000	312,469,000	25,656,289	平成30年度	64	177,900,000	377,317,670	23,989,493
	貸付件数 (件)	貸付額 (円)	総工事費 (円)	利子補給額 (円)																									
平成27年度	72	241,900,000	543,125,000	28,617,903																									
平成28年度	88	195,400,000	403,862,000	27,254,117																									
平成29年度	66	161,600,000	312,469,000	25,656,289																									
平成30年度	64	177,900,000	377,317,670	23,989,493																									
	評価指標（単位）		目標	実績																									
	貸付額に対する総工事費率（倍）		2.4	2.1																									
備考																													

款 項 目	8款 土木費	6項 住宅費	2目 建築指導費	= 予算所属 = 建設部建築課																																
事業名	木造住宅耐震改修支援事業																																			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																
3,879,000円	3,878,351円	0円	649円	99.9%																																
目的・趣旨	地震災害による木造住宅の倒壊を防止し、震災に強いまちづくりを進める。又、地震時の人命確保のための措置を図る。																																			
事業内容	<p>○事業内容 木造住宅の耐震改修に要する経費の2分の1以内で、800,000円を限度に補助金を交付した。</p> <p>(1) 補助金の交付額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 評点が1.0以上となる耐震改修工事 800,000円以内 ・ 評点が0.7以上1.0未満となる耐震改修工事 600,000円以内 ・ 防災ベッド等を設置する工事 1台あたり 100,000円以内 <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 実施件数・補助金額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>戸数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 耐震改修工事</td> <td>6戸</td> <td>3,720,000円</td> </tr> <tr> <td>・ 防災ベッド等を設置する工事</td> <td>0台</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>・ 委託料(啓発パンフレット等印字・封入業務)</td> <td></td> <td>158,351円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>耐震改修 実施戸数(戸)</th> <th>防災ベッド等 実施台数(台)</th> <th>補助事業費 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>13</td> <td>—</td> <td>8,520,000</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>2,320,000</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>6,470,000</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>3,720,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 周知及び募集の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 酒田の家づくり、住宅改善総合支援事業、住宅リフォーム総合支援事業の各パンフレットに記載し、各建設業団体、各金融機関、関係各課及び支所等に配布した。 ・ 出前講座や、防災訓練時の制度説明やチラシを配布した。 ・ 市広報5月16日号、9月1日号(耐震特集記事)、12月1日号及びホームページに掲載し募集した。 ・ 納税通知書に「酒田市の地震に対する支援事業について」を同封し周知した。 ・ 6月1日より募集を先着順で開始した。 <p>○評価・方向性</p> <p>耐震改修工事については、一定件数の需要が継続しており耐震化促進のため、必要な事業である。防災ベッド等の設置については、応募がなかった。 今後とも、制度のPRを強化し、住宅の耐震化の必要性について、周知徹底を図る。</p>					戸数	金額	・ 耐震改修工事	6戸	3,720,000円	・ 防災ベッド等を設置する工事	0台	0円	・ 委託料(啓発パンフレット等印字・封入業務)		158,351円		耐震改修 実施戸数(戸)	防災ベッド等 実施台数(台)	補助事業費 (円)	平成27年度	13	—	8,520,000	平成28年度	5	1	2,320,000	平成29年度	9	0	6,470,000	平成30年度	6	0	3,720,000
	戸数	金額																																		
・ 耐震改修工事	6戸	3,720,000円																																		
・ 防災ベッド等を設置する工事	0台	0円																																		
・ 委託料(啓発パンフレット等印字・封入業務)		158,351円																																		
	耐震改修 実施戸数(戸)	防災ベッド等 実施台数(台)	補助事業費 (円)																																	
平成27年度	13	—	8,520,000																																	
平成28年度	5	1	2,320,000																																	
平成29年度	9	0	6,470,000																																	
平成30年度	6	0	3,720,000																																	
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震改修工事執行率(%)</td> <td>100</td> <td>62.0</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標(単位)	目標	実績	耐震改修工事執行率(%)	100	62.0																										
評価指標(単位)	目標	実績																																		
耐震改修工事執行率(%)	100	62.0																																		
備考	<p>○主な特定財源 防災・安全交付金(国) 930,000円 住宅リフォーム総合支援事業費補助金(県) 1,860,000円</p>																																			

款 項 目	8款 土木費	6項 住宅費	2目 建築指導費	= 予算所属 = 建設部建築課																				
事業名	住宅リフォーム総合支援事業																							
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																				
108,281,000円	106,086,702円	0円	2,194,298円	98.0%																				
目的・趣旨	住宅のリフォームを推進し、住環境の整備と地域経済の活性化、地域産材の利活用の促進を図る。																							
事業内容	<p>○事業内容 住宅の質の向上を図るリフォーム工事に対して、工事費の20%以内で400,000円を限度(要件により限度額へ上乗せあり)に補助金を交付した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 実施件数 281件</p> <p>(2) 総工事費 846,591,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用件数 (件)</th> <th>補助金額 (千円)</th> <th>総工事費 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>291</td> <td>103,670</td> <td>819,983</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>280</td> <td>104,040</td> <td>834,122</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>282</td> <td>105,720</td> <td>848,744</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>281</td> <td>105,810</td> <td>846,591</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 周知及び募集等の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パンフレット(3,000部)を作成し、各建設業団体、金融機関、関係各課及び各支所等に配布し周知した。 ・ 当初予算の募集を4月9日に開始(応募多数の場合抽選)、7月24日に予算額に達した。 ・ 募集については市広報3月16日号、及びホームページに掲載し周知した。 <p>○評価・方向性</p> <p>住環境の改善と地域経済の活性化が図られている観点より、利用者及び市内工事業者等から、事業に対し好評を得ており、平成27年時より1件あたりの総工事も増加していることから本事業が地域経済の活性化に寄与しているものと評価する。 今後、PRに努め、事業を円滑に進めていく。</p>					利用件数 (件)	補助金額 (千円)	総工事費 (千円)	平成27年度	291	103,670	819,983	平成28年度	280	104,040	834,122	平成29年度	282	105,720	848,744	平成30年度	281	105,810	846,591
	利用件数 (件)	補助金額 (千円)	総工事費 (千円)																					
平成27年度	291	103,670	819,983																					
平成28年度	280	104,040	834,122																					
平成29年度	282	105,720	848,744																					
平成30年度	281	105,810	846,591																					
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅リフォーム補助執行率(%)</td> <td>100</td> <td>98.0</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標(単位)	目標	実績	住宅リフォーム補助執行率(%)	100	98.0														
評価指標(単位)	目標	実績																						
住宅リフォーム補助執行率(%)	100	98.0																						
備考	<p>○主な特定財源 社会資本整備総合交付金(国) 1,843,000円 住宅リフォーム総合支援事業費補助金(県) 55,532,000円</p>																							

款 項 目	9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費	= 予算所属 = 総務部危機管理課																		
事業名	酒田地区広域行政組合分賦金																					
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																		
1,316,842,000円	1,316,842,000円	0円	0円	100.0%																		
目的・趣旨	酒田地区広域行政組合の消防費に係る分賦金を負担する。																					
事業成果の概要等	○事業内容 酒田地区広域行政組合が運営する、常備消防に係る施設整備及び運営経費として分賦金を負担した。																					
	○事業実績・説明 消防庁舎整備や消防車両の更新など、常備消防に係る施設整備費用や維持管理費用等の負担を通して、消防力の強化や業務体制、救急活動等の充実を図り、災害に強い安心して暮らせるまちづくりを推進した。																					
	(1) 分賦金性質別内訳 (単位：千円)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>決 算 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 件 費</td> <td>1,076,467</td> </tr> <tr> <td>物 件 費</td> <td>81,075</td> </tr> <tr> <td>維持補修費</td> <td>945</td> </tr> <tr> <td>扶 助 費</td> <td>13,066</td> </tr> <tr> <td>補 助 費 等</td> <td>55,323</td> </tr> <tr> <td>公 債 費</td> <td>6,932</td> </tr> <tr> <td>普通建設事業費</td> <td>83,034</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,316,842</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	決 算 額	人 件 費	1,076,467	物 件 費	81,075	維持補修費	945	扶 助 費	13,066	補 助 費 等	55,323	公 債 費	6,932	普通建設事業費	83,034	合 計	1,316,842
	区 分	決 算 額																				
	人 件 費	1,076,467																				
	物 件 費	81,075																				
	維持補修費	945																				
	扶 助 費	13,066																				
	補 助 費 等	55,323																				
公 債 費	6,932																					
普通建設事業費	83,034																					
合 計	1,316,842																					
(2) 主な普通建設事業費 (酒田市負担分)																						
①消防庁舎整備 ・本部・本署庁舎移転改築整備設計委託料等 14,507,885円																						
②消防自動車等の整備 ・消防ポンプ自動車 (平田分署) 51,021,100円 ・12誘導心電図伝送装置・端末 (消防署・各分署計7台) 10,838,016円																						
○評価・方向性 分賦金の負担により、常備消防の車両更新や施設整備などを実施し、常備消防の体制の維持・向上を図ることができた。 また、消防庁舎の整備についても計画的な整備を行うことができた。今後も消防庁舎の整備をはじめ、施設の整備・更新により、消防体制を維持・向上させていくために負担を継続していく。																						
評価指標 (単位)		目標	実績																			
出火率 (件/万人)		3.0以下	3.1																			
備考	○主な特定財源 合併特例事業債 (市債) 19,900,000円 過疎対策事業債 (市債) 55,300,000円																					

款 項 目	9款 消防費	1項 消防費	3目 消防施設費	= 予算所属 = 総務部危機管理課	
事業名	消防施設等整備事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
103,898,000円	96,750,579円	0円	7,147,421円	93.1%	
目的・趣旨	消防施設等の計画的な整備や更新、適切な維持管理等を通して、消防体制の充実強化を図り、安心して暮らせるまちづくりを進める。				
事業成果の概要等	○事業内容 災害時における出動体制の確立と消防力の維持向上を図るため、老朽化した消防施設や車両・ポンプ等の更新、消防水利の整備等を行った。				
	○事業実績・説明 (1) 軽積載車 8,523,940円 ・酒田 (保岡) 1台、松山 (石名坂) 1台 (2) 資機材搬送車 10,195,200円 ・酒田 (こあら)、八幡 (荒町) 松山 (内町)、平田 (飛鳥) 計4台 (3) 小型動力ポンプ 7,270,560円 ・八幡 (大久保)、松山 (本町、相沢) 平田 (三之宮) 計4台 (4) 耐震性貯水槽建設 37,796,760円 ・酒田 (藤塚)、平田 (飛鳥) 計2棟 (5) 消防機具庫建設 8,176,680円 ・酒田 (保岡)、八幡 (荒町) 計2棟 (6) 消火栓更新 7,007,243円 計11基 ・酒田 10基、平田 1基				
	○評価・方向性 消防体制を維持していくために必要な消防車両や消防ポンプ、消防水利を計画的に更新・整備することができた。火災をはじめ各種災害等に対応するため、整備の充実は欠くことのできないものであり、状況に対応した整備手法を検討しながら継続していく。				
	評価指標 (単位)		目標	実績	
			年度内事業の完了	完了	
	備考	○主な特定財源 緊急防災・減災事業債 (市債) 43,400,000円 防災対策事業債 (市債) 3,300,000円 過疎対策事業債 (市債) 26,400,000円			

款 項 目	9款 消防費	1項 消防費	3目 消防施設費	= 予算所属 = 総務部危機管理課
事業名	消防庁舎及び総合防災センター整備事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
176,743,000円	176,741,244円	0円	1,756円	99.9%
目的・趣旨	消防本部・本署の四ツ興野地区への移転改築に合わせて、同エリアに大規模災害への対応が可能で平時も市民が利用可能な総合防災センターを整備する。			
事業・成果の概要等	○事業内容 平成29年度から平成30年度にかけて、敷地造成工事を行った。			
	○事業実績・説明 用地沈下測定手数料 498,204円 工業用水管防護設計業務委託料 1,640,520円 消防庁舎及び総合防災センター整備事業に伴う造成工事 174,603,520円			
				
	○継続費 (単位：千円)			
	事業名	総額	年度	金額
	消防庁舎及び総合防災センター整備事業費	297,075	平成29年度	122,472
			平成30年度	174,603
	○評価・方向性 当該事業は、消防本署等の老朽化に伴う再編整備であり、早期整備は必要不可欠である。引き続き総合防災センター及び消防庁舎整備を推進していく。			
	評価指標 (単位)	目標	実績	
		年度内事業の完了	完了	
備考	○主な特定財源 緊急防災・減災事業債 (市債) 174,600,000円			

款 項 目	9款 消防費	1項 消防費	4目 災害対策費	= 予算所属 = 総務部危機管理課	
事業名	防災対策強化事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
14,371,000円	11,966,756円	0円	2,404,244円	83.3%	
目的・趣旨	防災体制の充実強化を図るため、避難所となる小中学校への食料等の備蓄、Jアラートの新型受信機への更新、防災ラジオ頒布等を行う。				
事業・成果の概要等	○事業内容 災害時の避難体制を強化するため、備蓄食料等の整備や津波避難場所等表示看板整備を行ったほか、Jアラートの新型受信機への更新や防災ラジオの頒布を行った。また、秋田県、山形県、市、遊佐町、由利本荘市、にかほ市、その他関係機関等で構成する鳥海山火山防止協議会に負担金を交付し、鳥海山火山防災マップを作成した。				
	○事業実績・説明				
		(1) 備蓄用飲料水、食料、室内テレビアンテナ等 (避難所となる小中学校)	4,481,654円		
		(2) 津波避難場所等表示看板の設置 3箇所	430,704円		
	(3) Jアラート受信機の更新	1,836,000円			
	(4) 防災ラジオの購入 855台	4,531,874円			
	(5) 鳥海山火山防止協議会負担金	686,524円			
	○評価・方向性 情報伝達の多重化、円滑な避難及び避難所運営体制の強化を進め、災害が発生した場合にその被害を最小限に食い止められるよう取り組んできた。今後も、防災・減災対策が効果的に進められるよう計画的に進めていく。				
	評価指標 (単位)	目標	実績		
	避難所への防災備蓄品の整備率 (%)	100	100		
備考	○主な特定財源 津波対策推進事業費県補助金 (県) 94,000円 緊急防災・減災事業債 (市債) 1,700,000円				

款 項 目	9款 消防費	1項 消防費	4目 災害対策費	= 予算所属 = 総務部危機管理課																								
事業名	自主防災組織等活動支援事業																											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																								
2,732,000円	2,164,176円	0円	567,824円	79.2%																								
目的・趣旨	自主防災組織の育成とその活動の推進を図るため、防災資機材等を整備する自主防災組織に対し整備費を補助し、活動の支援を行う。																											
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 自主防災組織の育成とその活動の推進を図るため、防災資機材等を整備する自主防災組織を支援した。 補助率：整備費の1/2（限度額500千円）</p> <p>(2) 自主防災組織の活性化及び士気の高揚を図り、さらに災害時の避難活動等において組織の識別を行うため、自主防災組織に対して標旗の交付を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 自主防災組織資機材等整備補助金（23件） 2,151,000円</p> <p>(2) 自主防災組織標旗整備等 13,176円</p> <p>自主防災組織率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>自治会数</th> <th>自主防災組織数</th> <th>組織率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>460 団体</td> <td>423 団体</td> <td>92.0%</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>460 団体</td> <td>423 団体</td> <td>92.0%</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>460 団体</td> <td>437 団体</td> <td>95.0%</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>460 団体</td> <td>442 団体</td> <td>96.1%</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>461 団体</td> <td>443 団体</td> <td>96.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>自主防災会の組織率については向上しているが、防災訓練などの防災活動については低調な組織もあり、組織の育成と活動の推進を図るため事業を継続し、体制整備を推進していく。</p>				年 度	自治会数	自主防災組織数	組織率	平成26年度	460 団体	423 団体	92.0%	平成27年度	460 団体	423 団体	92.0%	平成28年度	460 団体	437 団体	95.0%	平成29年度	460 団体	442 団体	96.1%	平成30年度	461 団体	443 団体	96.1%
	年 度	自治会数	自主防災組織数	組織率																								
	平成26年度	460 団体	423 団体	92.0%																								
	平成27年度	460 団体	423 団体	92.0%																								
平成28年度	460 団体	437 団体	95.0%																									
平成29年度	460 団体	442 団体	96.1%																									
平成30年度	461 団体	443 団体	96.1%																									
評価指標（単位）		目標	実績																									
自主防災会の組織率（%）		100	96.1																									
備考																												

款 項 目	9款 消防費	1項 消防費	4目 災害対策費	= 予算所属 = 総務部危機管理課																																																																																																																								
事業名	防災行政無線デジタル化事業																																																																																																																											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																																																																								
225,114,000円	224,870,040円	0円	243,960円	99.9%																																																																																																																								
目的・趣旨	情報を正確かつ確実に伝達するため、老朽化したアナログ防災行政無線のデジタル化を進める。																																																																																																																											
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>防災行政無線のデジタル化を図り、情報の正確かつ確実な体制を整備した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>酒田地区及び平田地区における防災行政無線のデジタル化工事</p> <p>整備無線局数 36局（酒田地区11局、平田地区25局）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>無線局名</th> <th>所在地</th> <th>No.</th> <th>無線局名</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>西荒瀬</td><td>宮海字新林</td><td>8</td><td>中里</td><td>中野俣字中瀬</td></tr> <tr><td>2</td><td>南遊佐</td><td>宮内字小楯</td><td>9</td><td>鹿島</td><td>北俣字向</td></tr> <tr><td>3</td><td>本楯</td><td>本楯字新田目</td><td>10</td><td>本宮</td><td>北俣字本宮</td></tr> <tr><td>4</td><td>上田</td><td>上野曾根字上中割</td><td>11</td><td>東陽小学校</td><td>北俣字上中村</td></tr> <tr><td>5</td><td>北平田</td><td>漆曾根字千刈</td><td>12</td><td>コミュニティセンター</td><td>北俣字仁助新田</td></tr> <tr><td>6</td><td>東平田</td><td>生石字登路田</td><td>13</td><td>山谷</td><td>山谷字下川原</td></tr> <tr><td>7</td><td>中平田</td><td>熊手島字中福島</td><td>14</td><td>新山</td><td>楢橋字新山前新田</td></tr> <tr><td>8</td><td>新堀</td><td>木川字アラコウヤ</td><td>15</td><td>楢橋</td><td>楢橋字大林</td></tr> <tr><td>9</td><td>坂野辺</td><td>坂野辺新田字甲</td><td>16</td><td>山楯</td><td>山楯字清水田</td></tr> <tr><td>10</td><td>黒森</td><td>黒森字草刈谷地</td><td>17</td><td>郡山</td><td>郡山字上台</td></tr> <tr><td>11</td><td>広野</td><td>広野字上通</td><td>18</td><td>総合支所</td><td>飛鳥字契約場</td></tr> <tr><td colspan="3">酒田局 計 11局</td><td>19</td><td>飛鳥</td><td>飛鳥字大道端</td></tr> <tr><td>1</td><td>小林</td><td>小林字杉沢</td><td>20</td><td>砂越</td><td>砂越字楯之内</td></tr> <tr><td>2</td><td>山元</td><td>山元字中峰</td><td>21</td><td>砂越駅前</td><td>砂越字蛇尾</td></tr> <tr><td>3</td><td>楯山</td><td>楯山字岩花</td><td>22</td><td>緑町</td><td>砂越緑町</td></tr> <tr><td>4</td><td>小女房</td><td>田沢字道ノ外</td><td>23</td><td>鳥海南麓</td><td>山楯字南山</td></tr> <tr><td>5</td><td>元田沢</td><td>田沢字寺ノ下</td><td>24</td><td>田沢新田</td><td>田沢字田沢新田</td></tr> <tr><td>6</td><td>円能寺</td><td>中野俣字円能寺</td><td>25</td><td>道屋敷</td><td>北俣字道屋敷</td></tr> <tr><td>7</td><td>沖</td><td>中野俣字村北</td><td colspan="3">平田局 計 25局</td></tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>デジタル化を進めることで、当該地域において災害時の防災情報を正確に伝達できる通信手段が確保できた。今後も災害時の通信手段を確保するための整備を行い、防災・減災に取り組んでいく。</p>				No.	無線局名	所在地	No.	無線局名	所在地	1	西荒瀬	宮海字新林	8	中里	中野俣字中瀬	2	南遊佐	宮内字小楯	9	鹿島	北俣字向	3	本楯	本楯字新田目	10	本宮	北俣字本宮	4	上田	上野曾根字上中割	11	東陽小学校	北俣字上中村	5	北平田	漆曾根字千刈	12	コミュニティセンター	北俣字仁助新田	6	東平田	生石字登路田	13	山谷	山谷字下川原	7	中平田	熊手島字中福島	14	新山	楢橋字新山前新田	8	新堀	木川字アラコウヤ	15	楢橋	楢橋字大林	9	坂野辺	坂野辺新田字甲	16	山楯	山楯字清水田	10	黒森	黒森字草刈谷地	17	郡山	郡山字上台	11	広野	広野字上通	18	総合支所	飛鳥字契約場	酒田局 計 11局			19	飛鳥	飛鳥字大道端	1	小林	小林字杉沢	20	砂越	砂越字楯之内	2	山元	山元字中峰	21	砂越駅前	砂越字蛇尾	3	楯山	楯山字岩花	22	緑町	砂越緑町	4	小女房	田沢字道ノ外	23	鳥海南麓	山楯字南山	5	元田沢	田沢字寺ノ下	24	田沢新田	田沢字田沢新田	6	円能寺	中野俣字円能寺	25	道屋敷	北俣字道屋敷	7	沖	中野俣字村北	平田局 計 25局		
	No.	無線局名	所在地	No.	無線局名	所在地																																																																																																																						
	1	西荒瀬	宮海字新林	8	中里	中野俣字中瀬																																																																																																																						
	2	南遊佐	宮内字小楯	9	鹿島	北俣字向																																																																																																																						
3	本楯	本楯字新田目	10	本宮	北俣字本宮																																																																																																																							
4	上田	上野曾根字上中割	11	東陽小学校	北俣字上中村																																																																																																																							
5	北平田	漆曾根字千刈	12	コミュニティセンター	北俣字仁助新田																																																																																																																							
6	東平田	生石字登路田	13	山谷	山谷字下川原																																																																																																																							
7	中平田	熊手島字中福島	14	新山	楢橋字新山前新田																																																																																																																							
8	新堀	木川字アラコウヤ	15	楢橋	楢橋字大林																																																																																																																							
9	坂野辺	坂野辺新田字甲	16	山楯	山楯字清水田																																																																																																																							
10	黒森	黒森字草刈谷地	17	郡山	郡山字上台																																																																																																																							
11	広野	広野字上通	18	総合支所	飛鳥字契約場																																																																																																																							
酒田局 計 11局			19	飛鳥	飛鳥字大道端																																																																																																																							
1	小林	小林字杉沢	20	砂越	砂越字楯之内																																																																																																																							
2	山元	山元字中峰	21	砂越駅前	砂越字蛇尾																																																																																																																							
3	楯山	楯山字岩花	22	緑町	砂越緑町																																																																																																																							
4	小女房	田沢字道ノ外	23	鳥海南麓	山楯字南山																																																																																																																							
5	元田沢	田沢字寺ノ下	24	田沢新田	田沢字田沢新田																																																																																																																							
6	円能寺	中野俣字円能寺	25	道屋敷	北俣字道屋敷																																																																																																																							
7	沖	中野俣字村北	平田局 計 25局																																																																																																																									
評価指標（単位）		目標	実績																																																																																																																									
整備進捗率		100%	100%																																																																																																																									
備考	○主な特定財源 緊急防災・減災事業債（市債） 224,800,000円																																																																																																																											

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	2目 事務局費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課																										
事業名	学区改編推進事業																													
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																									
322,000円	251,130円		0円	70,870円	78.0%																									
目的・趣旨	少子化による児童生徒の減少と学校の小規模化が進む中、児童及び生徒の教育の機会均等と維持向上を図るため、学校規模の適正化を進め、教育環境の整備を図る。																													
事業・成果の概要等	○事業内容 (1) 酒田市小・中学校学区改編審議会の開催 (2) 学校の適正規模・適正配置に課題のある学区での説明会、懇談会等の開催																													
	○事業実績・説明																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th colspan="2">H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 酒田市小・中学校学区改編審議会の開催</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>教育人口統計の報告、学校規模に課題のある学区との情報交換状況の報告など</td> </tr> <tr> <td>(2) 学校の適正規模・適正配置に課題のある学区での説明会、懇談会等の開催</td> <td>3回</td> <td>4回</td> <td>6回</td> <td>黒森小(1回)、田沢小(1回)、新堀小(1回)、一條小(1回)、広野小(1回)、浜中小(1回)</td> </tr> <tr> <td>※ 統合準備委員会の開催</td> <td>6回</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>※ 「学区改編だより」及び「教育委員会からのお知らせ」の発行</td> <td>8回</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>					内 容	H28	H29	H30		(1) 酒田市小・中学校学区改編審議会の開催	2回	2回	2回	教育人口統計の報告、学校規模に課題のある学区との情報交換状況の報告など	(2) 学校の適正規模・適正配置に課題のある学区での説明会、懇談会等の開催	3回	4回	6回	黒森小(1回)、田沢小(1回)、新堀小(1回)、一條小(1回)、広野小(1回)、浜中小(1回)	※ 統合準備委員会の開催	6回	-	-	-	※ 「学区改編だより」及び「教育委員会からのお知らせ」の発行	8回	-	-	-
	内 容	H28	H29	H30																										
	(1) 酒田市小・中学校学区改編審議会の開催	2回	2回	2回	教育人口統計の報告、学校規模に課題のある学区との情報交換状況の報告など																									
(2) 学校の適正規模・適正配置に課題のある学区での説明会、懇談会等の開催	3回	4回	6回	黒森小(1回)、田沢小(1回)、新堀小(1回)、一條小(1回)、広野小(1回)、浜中小(1回)																										
※ 統合準備委員会の開催	6回	-	-	-																										
※ 「学区改編だより」及び「教育委員会からのお知らせ」の発行	8回	-	-	-																										
○評価・方向性 適正規模等に課題のある学区における説明については、教育人口統計の説明などによる児童・生徒数や学級数、複式学級編制についての情報提供及び意見交換を行うことができた。しかし、地域から学校がなくなることへの不安感などが強く、現状を情報共有する程度に留まっており、具体的な動きまでには至っていない。 今後も、地域や保護者への説明を継続的かつ丁寧に行い、地域の理解を更に深める必要があり、これからの児童生徒数の動きや複式学級編制の見込みなど、子どもを取り巻く教育環境について地域と共有を図るため、引き続き情報発信していく。																														
評価指標(単位)			目標	実績																										
学校規模の適正化を進めるため説明会等を開催する学区数(学区)			4	6																										
備考																														

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	2目 事務局費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課																									
事業名	手づくり学校環境整備事業																												
予算現額 ①	支出済額 ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																								
824,000円	714,065円		0円	109,935円	86.7%																								
目的・趣旨	児童生徒、保護者、教職員、地域住民が手づくりによる学校施設の整備を行うことにより、地域教育力の向上を目指す。																												
事業・成果の概要等	○事業内容 各学校の申請に基づき、児童生徒、教職員、PTA等の手づくりによる学校施設の環境整備作業に対して、必要な材料の提供を行った。																												
	○事業実績・説明 各学校の主な実施内容 ・ベンチ、動物小屋の塗装 ・体育館、廊下の清掃、ワックスがけ ・駐車場のライン引き ・物置の外壁張替え																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>8校</td> <td>8校</td> <td>8校</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>2校</td> <td>1校</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10校</td> <td>9校</td> <td>10校</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>368人</td> <td>379人</td> <td>454人</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>690,525円</td> <td>714,148円</td> <td>714,065円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	小学校	8校	8校	8校	中学校	2校	1校	2校	合計	10校	9校	10校	参加人数	368人	379人	454人	事業費	690,525円	714,148円	714,065円
	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度																									
	小学校	8校	8校	8校																									
中学校	2校	1校	2校																										
合計	10校	9校	10校																										
参加人数	368人	379人	454人																										
事業費	690,525円	714,148円	714,065円																										
○評価・方向性 児童生徒、保護者、教職員、地域住民が一緒になって、手づくりによる学校施設の環境整備を行うことにより、学校への愛着が育まれている。地域と学校が触れ合うことにより、自分たちの学校環境をよりよくしたいという意識向上にも貢献しており、学校施設の環境整備のため、継続して実施する。																													
評価指標(単位)			目標	実績																									
事業実施校数(校)			12	10																									
備考																													

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	2目 事務局費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課																																																									
事業名	東北公益文科大学連携推進事業																																																												
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																									
706,000円	587,901円	0円	118,099円	83.3%																																																									
目的・趣旨	東北公益文科大学の持つ知的資源を活用し、教育委員会・小中学校と連携した事業を通して、協力関係を築く。																																																												
事業・成果の概要等	○事業内容																																																												
	(1) 中学校の放課後を利用した生徒の学習支援																																																												
	(2) 小学生を対象にした夏休み、宿題お手伝い教室のサポート																																																												
	(3) 中学生を対象にした英語講座の開催																																																												
	○事業実績・説明																																																												
	(1) 中学校の放課後を利用した生徒の学習支援																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>参加生徒</th> <th>実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一中</td> <td>7人</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>第四中</td> <td>32人</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>第六中</td> <td>12人</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>鳥海八幡中</td> <td>20人</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>東部中</td> <td>69人</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>140人</td> <td>44回</td> </tr> </tbody> </table>		学校名	参加生徒	実施回数	第一中	7人	7回	第四中	32人	15回	第六中	12人	7回	鳥海八幡中	20人	7回	東部中	69人	8回	合計	140人	44回	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">中学生からの全体評価</th> <th>件数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">大変有意義である</td> <td>62件</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td colspan="3">まあまあ有意義である</td> <td>50件</td> <td>36%</td> </tr> <tr> <td colspan="3">どちらともいえない</td> <td>19件</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td colspan="3">あまり意義を感じられない</td> <td>6件</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td colspan="3">意義を感じられない</td> <td>2件</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td colspan="3">無回答</td> <td>1件</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table>			中学生からの全体評価			件数	割合	大変有意義である			62件	44%	まあまあ有意義である			50件	36%	どちらともいえない			19件	14%	あまり意義を感じられない			6件	4%	意義を感じられない			2件	1%	無回答			1件	1%
	学校名	参加生徒	実施回数																																																										
	第一中	7人	7回																																																										
	第四中	32人	15回																																																										
第六中	12人	7回																																																											
鳥海八幡中	20人	7回																																																											
東部中	69人	8回																																																											
合計	140人	44回																																																											
中学生からの全体評価			件数	割合																																																									
大変有意義である			62件	44%																																																									
まあまあ有意義である			50件	36%																																																									
どちらともいえない			19件	14%																																																									
あまり意義を感じられない			6件	4%																																																									
意義を感じられない			2件	1%																																																									
無回答			1件	1%																																																									
希望する中学校5校に対し、東北公益文科大学18名が生徒の学習支援を延べ44回行った。																																																													
(2) 小学生を対象にした夏休み、宿題お手伝い教室のサポート 東北公益文科大学8名が参加し小学生の夏休みの宿題をサポートした。																																																													
(3) 中学生を対象にした英語講座の開催 大学教員を講師として中学生向けの英語講座を、公益研修センターで実施した。																																																													
講座名 「英語の学びかた教えます」 日 時 8月1日・8月2日 講 師 東北公益文科大学 教授 スルトノフ ミルゾサイド 氏 東北公益文科大学 助教 パンティング ティモシー 氏 参加者 51名																																																													
○評価・方向性 教育委員会・中学校・東北公益文科大学の3者が協力して活動を展開することで、小中学生だけでなく、大学生にとっても学びの機会にもなっている。東北公益文科大学に対する市民理解にも貢献しており、教育振興、人材育成の観点からも事業を継続していく。																																																													
評価指標（単位）		目標	実績																																																										
事業参加者の満足度（%）		85	80																																																										
備考																																																													

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	5目 私立学校振興費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課																													
事業名	私立高等学校生徒授業料軽減事業																																
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																													
3,168,000円	3,168,000円	0円	0円	100.0%																													
目的・趣旨	私立高等学校に在学している生徒の授業料等に係る保護者の経済的な負担軽減を図ることで、子ども達の教育を受ける機会の確保に資する。																																
事業・成果の概要等	○事業内容																																
	私立高等学校に在学している生徒の授業料等に係る保護者等の経済的な負担軽減を図るため、毎年6月1日において私立高等学校に在学している生徒を有し、かつ、本市に住所を有する保護者等で、次のいずれかに該当するものに対し酒田市私立高等学校生徒授業料軽減補助金を交付するものである。																																
	(1) 生活保護法の規定による被保護世帯に属する方 【補助金額：60千円】																																
	(2) 当該年度の市民税が非課税の方 【補助金額：36千円】																																
	(3) 当該年度の市民税のうち、均等割額だけを課税される方 【補助金額：36千円】																																
	※交付要件緩和のため、平成30年度より交付要件の対象者を保護者世帯全員から保護者のみとした。																																
	○事業実績・説明																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活保護世帯</td> <td>1件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>市民税非課税世帯</td> <td>55件</td> <td>57件</td> <td>59件</td> </tr> <tr> <td>均等割のみ課税世帯</td> <td>39件</td> <td>33件</td> <td>24件</td> </tr> <tr> <td>うち前基準世帯</td> <td>13件</td> <td>13件</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>交付件数 計</td> <td>95件</td> <td>93件</td> <td>86件</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>3,444,000円</td> <td>3,420,000円</td> <td>3,168,000円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	生活保護世帯	1件	3件	3件	市民税非課税世帯	55件	57件	59件	均等割のみ課税世帯	39件	33件	24件	うち前基準世帯	13件	13件	-	交付件数 計	95件	93件	86件	交付額	3,444,000円	3,420,000円	3,168,000円	
	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度																													
	生活保護世帯	1件	3件	3件																													
市民税非課税世帯	55件	57件	59件																														
均等割のみ課税世帯	39件	33件	24件																														
うち前基準世帯	13件	13件	-																														
交付件数 計	95件	93件	86件																														
交付額	3,444,000円	3,420,000円	3,168,000円																														
※前基準世帯 年少扶養親族に対する扶養控除及び特定扶養親族に対する扶養控除の上乗せ部分廃止前の基準で算定し、均等割額のみ課税される世帯。現行の市民税扶養控除の考え方に合わせて、制度をわかりやすくするため、平成30年度廃止。																																	
事業の実施にあたり、ホームページへの事業概要の掲載や県内の私立高等学校（市内3校、市外13校）にパンフレットを配布するなど事業の周知に努めた。 平成30年度は219件申請があり、支給要件を満たす86件について交付した。																																	
○評価・方向性 家庭の経済状況によらず、次代を担う子どもの教育を受ける機会を確保することは必要であり、制度は一定の役割を果たしている。制度を広く周知することで、必要な市民が利用できるようにするとともに、国、県など他の私立高等学校就学支援制度とのバランスを考慮しながら、本市の支援制度を継続する。																																	
評価指標（単位）		目標	実績																														
給付件数（件）		95	86																														
備考																																	

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	5目 私立学校振興費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課																														
事業名	私学振興補助事業																																	
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																														
3,150,000円	3,150,000円	0円	0円	100.0%																														
目的・趣旨	市内の私立高等学校の運営費に対して補助することにより、学校運営の健全化及び私学教育の振興に資する。																																	
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 酒田南高等学校運営費補助金 2,800千円 昭和37年度から継続交付 和順館高等学校運営費補助金 350千円 平成17年度から継続交付 <p>○事業実績・説明</p> <p>私立高等学校を設置する学校法人に対する補助金の額は1校につき年額140万円以内。ただし、平成30年度に旧酒田南高等学校と旧天真学園高等学校が統合した酒田南高等学校に対する補助金額は、激変緩和措置として年額280万円以内とし、令和3年度まで段階的に減額していく。</p> <p>通信制課程のみを置く私立高等学校を設置する学校法人に対する補助金の額は、1校につき35万円以内</p> <p style="text-align: center;">(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田南高等学校運営費補助金</td> <td>1,400</td> <td>1,400</td> <td>1,400</td> <td>1,400</td> <td>2,800</td> </tr> <tr> <td>天真学園高等学校運営費補助金</td> <td>1,400</td> <td>1,400</td> <td>1,400</td> <td>1,400</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>和順館高等学校運営費補助金</td> <td>350</td> <td>350</td> <td>350</td> <td>350</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,150</td> <td>3,150</td> <td>3,150</td> <td>3,150</td> <td>3,150</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>私立高等学校は独自の教育理念のもと本市の教育振興等に貢献しており、また、教育の機会均等及び本市の子どもたちの教育を受ける権利の保障の一助として欠かせない存在となっている。私立高等学校の健全な運営を支援することにより、子ども達の進学の選択肢を広げ、多様な学びの場の確保に貢献している。市と酒田南高等学校が連携協定を締結したこともあり、総合的に検討する必要がある。</p>				区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	酒田南高等学校運営費補助金	1,400	1,400	1,400	1,400	2,800	天真学園高等学校運営費補助金	1,400	1,400	1,400	1,400	-	和順館高等学校運営費補助金	350	350	350	350	350	計	3,150	3,150	3,150	3,150	3,150
	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																												
	酒田南高等学校運営費補助金	1,400	1,400	1,400	1,400	2,800																												
	天真学園高等学校運営費補助金	1,400	1,400	1,400	1,400	-																												
和順館高等学校運営費補助金	350	350	350	350	350																													
計	3,150	3,150	3,150	3,150	3,150																													
評価指標（単位）		目標	実績																															
補助金を交付する私立高等学校数（校）		2	2																															
備考																																		

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	7目 教育諸費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課																																
事業名	京野基金大学修学奨励事業																																			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																
303,000円	302,419円	0円	581円	99.8%																																
目的・趣旨	大学進学に際し奨学金を給付することにより、経済的に困窮している世帯の優秀な生徒の修学を支援することで、子ども達の教育を受ける機会の確保に資する。																																			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>本市出身の学生の大学修学に係る経済的支援を図る目的で平成22年度に新設した制度であり、次のいずれにも該当する学生を有する保護者に学生1人につき30万円を交付するものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 学生の子帯の年収額が、生活保護法による保護基準の例によって算出した需要額の120パーセントに満たない者 高等学校を卒業した年度の翌年度に、国立大学法人立大学、公立大学等に入学した者。（ただし、医学部と歯学部は対象外） 高等学校在学中の成績が優秀であると認められる者 学生の子帯に本市の市民税等の滞納がない者 <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付件数</td> <td>1件</td> <td>4件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>大学修学奨学金交付額</td> <td>300,000円</td> <td>1,200,000円</td> <td>300,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>京野教育振興基金の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度当初残高</td> <td>3,731,650円</td> <td>3,437,461円</td> <td>2,242,021円</td> </tr> <tr> <td>取崩額</td> <td>300,000円</td> <td>1,200,000円</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>積立額</td> <td>5,811円</td> <td>4,560円</td> <td>2,419円</td> </tr> <tr> <td>年度末残高</td> <td>3,437,461円</td> <td>2,242,021円</td> <td>1,944,440円</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業の実施にあたり、ホームページへの事業概要の掲載や市内高等学校6校にパンフレットを配布するなど事業の周知に努めた。</p> <p>平成30年度は3件申請があり、支給要件を満たす1件について交付を決定した。</p> <p>○評価・方向性</p> <p>家庭の経済状況によらず、次代を担う子どもの教育を受ける機会を確保することは必要であり、制度は一定の役割を果たしている。令和2年度からの国の教育の無償化・負担軽減策の動向を把握し、今後の支援制度のあり方を検討していく。</p>				区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	交付件数	1件	4件	1件	大学修学奨学金交付額	300,000円	1,200,000円	300,000円	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	年度当初残高	3,731,650円	3,437,461円	2,242,021円	取崩額	300,000円	1,200,000円	300,000円	積立額	5,811円	4,560円	2,419円	年度末残高	3,437,461円	2,242,021円	1,944,440円
	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																
	交付件数	1件	4件	1件																																
	大学修学奨学金交付額	300,000円	1,200,000円	300,000円																																
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																	
年度当初残高	3,731,650円	3,437,461円	2,242,021円																																	
取崩額	300,000円	1,200,000円	300,000円																																	
積立額	5,811円	4,560円	2,419円																																	
年度末残高	3,437,461円	2,242,021円	1,944,440円																																	
評価指標（単位）		目標	実績																																	
給付件数（件）		4	1																																	
備考	<p>○主な特定財源 京野教育振興基金繰入金 300,000円</p> <p>京野教育振興基金利子 2,419円</p>																																			

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	7目 教育諸費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課																													
事 業 名	大学等修学支援事業																																
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																													
2,504,000円	2,322,832円	0円	181,168円	92.8%																													
目 的・趣 旨	本市出身学生の大学等修学に対し、経済的な支援を行うことで教育を受ける機会の確保に資する。																																
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 大学等（大学、短期大学、専修学校（専門課程を置き修学年限が2年以上のものに限る。）及び市長が認めた教育施設）修学に係る経済的支援を図るため、毎年6月1日において大学等に在籍している本市出身の学生を有する保護者等で、学生の家族（兄弟姉妹は除く。）の所得等の合計額が、次の金額以下である場合、大学等修学資金利子補給金を交付するものである。</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th colspan="2">所得等の合計額</th> </tr> <tr> <td>給与のみの場合</td> <td>収入額</td> <td>770万円</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>所得額</td> <td>573万円</td> </tr> </table> <p>利子補給金の額は、金融機関の修学貸付に係る利子相当額とし、学生1人につき、1年当たりの利子相当額4万円を上限とする。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規交付件数</td> <td>21件</td> <td>25件</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>継続交付件数</td> <td>43件</td> <td>42件</td> <td>53件</td> </tr> <tr> <td>交付件数 計</td> <td>64件</td> <td>67件</td> <td>70件</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>2,320,084円</td> <td>2,358,030円</td> <td>2,322,832円</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業の実施にあたり、ホームページへの事業概要の掲載や市内高等学校、大学、金融機関など27機関にパンフレットを配布するなど事業の周知に努めた。 平成30年度は71件申請があり、支給要件を満たす70件について交付した。</p> <p>○評価・方向性 家庭の経済状況によらず、次代を担う子どもの教育を受ける機会を確保することは必要であり、制度は一定の役割を果たしている。制度を広く周知することで、必要な市民が利用できるようにするとともに、大学等への修学の機会を確保するため、本市の支援制度を継続する。</p>				種別	所得等の合計額		給与のみの場合	収入額	770万円	上記以外	所得額	573万円	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	新規交付件数	21件	25件	17件	継続交付件数	43件	42件	53件	交付件数 計	64件	67件	70件	交付額	2,320,084円	2,358,030円	2,322,832円
種別	所得等の合計額																																
給与のみの場合	収入額	770万円																															
上記以外	所得額	573万円																															
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度																														
新規交付件数	21件	25件	17件																														
継続交付件数	43件	42件	53件																														
交付件数 計	64件	67件	70件																														
交付額	2,320,084円	2,358,030円	2,322,832円																														
	評価指標（単位）		目標	実績																													
	新規給付件数（件）		30	17																													
備 考																																	

款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	1目 学校管理費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課
事 業 名	施設整備事業（小学校）			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
24,645,000円	24,644,520円	0円	480円	99.9%
目 的・趣 旨	市内小学校の中規模的な施設・設備の修繕が必要となるものについて、計画的に更新・改修し、安全で良好な教育環境とする。			
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 市内小学校の施設や設備等にかかる中規模な改修等を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プール塗装（松原小学校） 2,817,720円 ・FFストーブ改修（西荒瀬小学校） 6,393,600円 ・キュービクル更新（富士見小学校） 4,035,960円 ・放送設備更新（富士見小学校） 2,973,240円 ・屋内運動場屋根・床改修工事（鳥海小学校） 8,424,000円 <p>○評価・方向性 修繕や更新が必要な学校の施設・設備について、年次的に実施できるよう使用状況を把握しながら適宜対応している。加えて学校から不具合や安全上問題があると報告のあった件について対応を図り、今後も安全で良好な教育環境を長く維持するために継続して実施する。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	事業実施箇所数（箇所）		5	5
備 考	○主な特定財源 合併特例事業債（市債） 8,000,000円			

款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	3目 学校保健費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課																												
事業名	小学校給食事業																															
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																												
368,012,000円	358,025,109円	0円	9,986,891円	97.3%																												
目的・趣旨	安全安心でおいしい給食を提供することにより、児童に食事の重要性を理解させるとともに、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけさせ、自然の恵みや生産者への感謝の心をはぐくむ。																															
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 給食調理員の研修(3回)、栄養教諭・学校栄養士による巡回指導(80回)</p> <p>(2) 調理室内、調理器具の消毒や、調理従事者、食材の細菌検査の実施 ・保存食細菌検査(24件)・表面付着菌検査(20件) ・食材についての理化学検査(残留農薬200項目)(1回)</p> <p>(3) 給食調理業務委託(浜田・富士見・亀ヶ崎・松原・宮野浦)</p> <p>(4) 給食調理器具等備品購入 ・冷凍冷蔵庫・食器消毒保管庫・ガス回転釜・冷凍庫・三層シンク等</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>・全小学校(22校)において給食を実施し、1日当たり5,097食を提供した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日あたり給食数(児童)</td> <td>4,953食</td> <td>4,817食</td> <td>4,669食</td> </tr> <tr> <td>1日あたり給食数(教職員)</td> <td>449食</td> <td>433食</td> <td>428食</td> </tr> <tr> <td>1日あたり給食数 計</td> <td>5,402食</td> <td>5,250食</td> <td>5,097食</td> </tr> <tr> <td>食材購入実績</td> <td>291,937,270円</td> <td>277,959,502円</td> <td>271,798,676円</td> </tr> <tr> <td>給食業務委託実績</td> <td>44,557,000円</td> <td>49,550,400円</td> <td>49,550,400円</td> </tr> <tr> <td>給食費(1食分)</td> <td>260円</td> <td>260円</td> <td>260円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1日あたり給食数は、各年度5月1日の数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対し、栄養教諭等が食に関する講話を実施した。(十坂・広野・浜中) ・「食育だより」「ジオ給食通信」を各10回、「給食だより」を12回発行した。 ・バレーボールチーム「アランマーレ」による食育活動を2校で実施した。 ・酒田の郷土料理や旬の食材を伝えるため、「食育の日献立」を実施した。 ・庄内産100%の米を利用した米飯学校給食のうち、「つや姫給食」を年2回、「雪若丸給食」を年4回実施した。 ・酒田産米を100%使用した「米粉パン」給食を年2回、酒田産乳使用の「県産ヨーグルト」給食を年1回、全小中学校で実施した。 ・異物混入防止の徹底を図るため、「学校給食における異物混入対応マニュアル」の運用を開始し、一学期中の状況により一部修正を加えた。 ・コンタミネーション対応を明確にするため、アレルギー対応マニュアルを改訂した。 <p>○評価・方向性</p> <p>衛生管理等を徹底し、安全安心でおいしい給食を提供することができた。また、巡回指導や、食育だより等の配布により、食に関する知識を高めることができた。</p> <p>将来、自立した健康管理、食事管理する力を身につけるため、継続して食育に取り組んでいく。</p>				区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	1日あたり給食数(児童)	4,953食	4,817食	4,669食	1日あたり給食数(教職員)	449食	433食	428食	1日あたり給食数 計	5,402食	5,250食	5,097食	食材購入実績	291,937,270円	277,959,502円	271,798,676円	給食業務委託実績	44,557,000円	49,550,400円	49,550,400円	給食費(1食分)	260円	260円	260円
	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度																												
	1日あたり給食数(児童)	4,953食	4,817食	4,669食																												
	1日あたり給食数(教職員)	449食	433食	428食																												
1日あたり給食数 計	5,402食	5,250食	5,097食																													
食材購入実績	291,937,270円	277,959,502円	271,798,676円																													
給食業務委託実績	44,557,000円	49,550,400円	49,550,400円																													
給食費(1食分)	260円	260円	260円																													
評価指標(単位)		目標	実績																													
事業実施校数(校)		22	22																													
備考	○主な特定財源 学校給食における地産地消促進事業費補助金(県) 1,824,726円 市町村総合交付金(米飯給食実施支援事業)(県) 655,000円 小学校給食費物資収入 268,177,062円																															

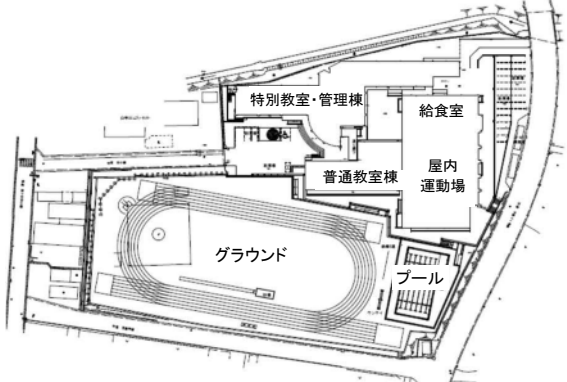
款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	3目 学校保健費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課	
事業名	学校給食施設環境整備事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
7,507,000円	7,506,000円	0円	1,000円	99.9%	
目的・趣旨	調理員の労働環境の改善、食中毒の予防、調理業務の効率化を図るために調理室の整備を行う。				
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>2校の食器洗浄機を更新したほか、献立作成のための栄養価計算、調理員への調理指示、食材発注等を支援する栄養管理システムを更新した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>・食器洗浄機更新 4,093,200円 (松原小学校、八幡小学校)</p> <p>・学校給食栄養管理システム 3,412,800円</p> <p>○評価・方向性</p> <p>学校給食施設において、年次計画に基づき調理室の環境改善を行った。食中毒防止の観点からの大型手洗器への交換が終了したことから、業務の効率化を図るため、老朽化した食器洗浄機の更新を行い、作業環境の改善を図った。今後も、調理員の労働環境改善、衛生管理に必要な調理室の整備を行っていく。</p>				
	評価指標(単位)		目標	実績	
	事業実施校数(校)		2	2	
	備考	○主な特定財源 合併特例事業債(市債) 2,300,000円 過疎対策事業債(市債) 1,600,000円			

款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	4目 学校建設費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課
事業名	学校トイレ改修事業（小学校）			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
68,126,000円	3,780,000円	64,346,000円	0円	5.5%
目的・趣旨	生活環境の変化により、一般家庭のトイレの多くが洋式となっている。子どもの学習・生活環境の改善のため、年次的に学校のトイレの洋式化を進める。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 小学校のトイレ改修工事の設計を実施した。なお、平成30年度の国の補正予算に伴い予算化し、令和元年度に予算を繰り越して工事を実施する。</p> <p>○事業実績・説明 ・南平田小学校トイレ改修工事設計業務委託 3,780,000円 （トイレ改修工事にかかる費用64,346,000円を令和元年度に繰り越し）</p> <p>○評価・方向性 学校トイレの洋式化と共に床のドライ化による衛生面の改善により、児童へより良好な教育環境の提供が図られた。現在も和式トイレが多く残る学校から、学校単位で年次計画を立て、トイレ改修の実施に向けて設計と工事を進めていく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
			年度内事業の完了	完了
備考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 3,700,000円			

款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	4目 学校建設費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課
事業名	（繰越明許費）学校トイレ改修事業（小学校）			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
65,494,000円	65,365,768円	0円	128,232円	99.8%
目的・趣旨	生活環境の変化により、一般家庭のトイレの多くが洋式となっている。子どもの学習・生活環境の改善のため、年次的に学校のトイレの洋式化を進める。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 小学校のトイレ改修工事を実施した。なお、平成29年度の国の補正予算に伴い予算化し、平成30年度に予算を繰り越して工事を実施した。</p> <p>○事業実績・説明 ・十坂小学校トイレ改修工事（建築工事） 29,259,360円 ・十坂小学校トイレ改修工事（設備工事） 35,997,480円 ・一般需用費 108,928円</p> <p>○評価・方向性 学校トイレの洋式化と共に床のドライ化による衛生面の改善により、児童へより良好な教育環境の提供が図られた。現在も和式トイレが多く残る学校から、学校単位で年次計画を立て、トイレ改修の実施に向けて設計と工事を進めていく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
			年度内事業の完了	完了
備考	○主な特定財源 学校施設環境改善交付金（国） 17,803,000円 学校教育施設等整備事業債（市債） 35,200,000円 合併特例事業債（市債） 11,500,000円			

款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	4目 学校建設費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課
事業名	松陵小学校屋内運動場改修事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
140,501,000円	4,268,160円	136,232,000円	840円	3.0%
目的・趣旨	老朽化した松陵小学校の屋内運動場について、建物全体の大規模な改修工事を行い、安全で良好な教育環境の整備を図る。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 松陵小学校の屋内運動場について、建物全体の老朽改修工事を実施するための設計業務委託を行った。なお、平成30年度の国の補正予算に伴い予算化し、令和元年度に繰越して工事を実施する。</p> <p>○事業実績・説明 ・松陵小学校屋内運動場改修工事設計業務委託 4,268,160円 (屋内運動場改修工事等にかかる費用136,232,000円を令和元年度に繰り越し)</p> <p>○評価・方向性 老朽化した屋内運動場の改修に向け、設計を実施し事業の推進が図られた。老朽化した屋内運動場を改修することにより、児童へより良好な教育環境の提供が図られる。また、サッシの耐震性向上、ガラスブロックの撤去、トイレの洋式化により、地域の避難所としての利用にも対応できるよう工事を進める。</p>			
	評価指標 (単位)		目標	実績
			年度内事業の完了	完了
備考	○主な特定財源 合併特例事業債 (市債)		4,000,000円	

款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	4目 学校建設費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課
事業名	松山小学校改修事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
662,853,000円	658,340,675円	2,699,200円	1,813,125円	99.3%
目的・趣旨	耐震診断の結果に基づき、松山小学校の校舎の改築や改修と、屋内運動場の改築等を行い、安全で良好な教育環境の整備を図る。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 校舎・屋内運動場の改築工事を平成29年度から平成30年度に継続して実施した。プール改築と外構工事を実施し、グラウンド改修工事を平成30年度から令和元年度に継続して実施している。また、給食と施設の備品を整備した。</p> <p>○事業実績・説明 ・松山小学校校舎屋内運動場改築工事 (29年度から継続) (30年度支出分) 472,921,058円 ・松山小学校プール改築工事 80,395,200円 ・松山小学校外構工事 64,388,520円 ・松山小学校グラウンド改修工事 (令和元年度へ継続) (30年度支出分) 26,308,800円 ・備品購入費 14,090,004円 ・需用費、役務費 237,093円</p>  <p>○評価・方向性 耐震診断結果に基づき、平成29年度から継続して改修・改築工事を実施し、良好な教育環境の整備を図り、また、地域の避難所として使用する際の施設の安全性が確保された。引き続きグラウンド改修工事を進めていく。</p>			
	評価指標 (単位)		目標	実績
			年度内事業の完了	完了
備考	○主な特定財源 公立学校施設整備費負担金(国) 過疎対策事業債(市債)		174,434,000円 480,200,000円	

款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	4目 学校建設費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課
事業名	(継続費・通次繰越) 松山小学校改修事業			
予算現額 ①	322,630,000円	298,868,542円	翌年度繰越額 ③ 0円	不用額 ①-②-③ 23,761,458円
	執行率 ②/① 92.6%			
目的・趣旨	耐震診断の結果に基づき、松山小学校の校舎の改築や改修と、屋内運動場の改築等を行い、安全で良好な教育環境の整備を図る。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 繰越した松山小学校改修事業の改修工事を平成29年度から平成30年度に継続して実施。</p> <p>○事業実績・説明 ・校舎屋内運動場改築工事（給食室分、校舎分）、校舎改修工事の平成30年度支出 松山小学校校舎改修工事 236,957,400円 松山小学校校舎屋内運動場改築工事（給食室分） 52,447,533円 松山小学校校舎屋内運動場改築工事（校舎分） 9,463,609円</p>			
				
	<p>○評価・方向性 耐震診断結果に基づき、平成29年度から継続して改修・改築工事を実施し、良好な教育環境の整備を図り、また、地域の避難所として使用する際の施設の安全性が確保された。引き続きグラウンド改修工事を進めていく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
			年度内事業の完了	完了
備考	○主な特定財源 学校施設環境改善交付金(国) 79,208,000円 合併特例事業債(市債) 142,700,000円 過疎対策事業債(市債) 2,800,000円 学校教育施設等整備事業債(市債) 66,600,000円			

款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	4目 学校建設費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課
事業名	田沢小学校改修事業			
予算現額 ①	6,228,000円	5,281,200円	翌年度繰越額 ③ 0円	不用額 ①-②-③ 946,800円
	執行率 ②/① 84.8%			
目的・趣旨	校舎・屋内運動場の耐震診断結果に基づき、児童の学びの場として建物の安全性を確保するために耐震改修を実施する。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 田沢小学校の校舎管理棟（鉄筋コンクリート造、約403㎡）について、管理棟を減築する耐震改修工事に変更し設計業務等を実施した。</p> <p>○事業実績・説明 ・田沢小学校改修工事（地盤調査） 205,200円 ・田沢小学校改修工事（設計） 5,076,000円</p> <p>○評価・方向性 耐震診断結果に基づき、耐震改修に向け設計を実施し事業の推進を図った。耐震改修工事を実施し、安全で良好な教育環境の整備を図る。また、地域の避難所として使用する際にも施設の安全性が確保されるよう改修工事を進めていく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
			年度内事業の完了	完了
備考	○主な特定財源 過疎対策事業債(市債) 5,200,000円			

款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	4目 学校建設費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課
事 業 名	学校空調設備整備事業（小学校）			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
687,533,000円	5,086,800円	682,409,200円	37,000円	0.7%
目 的・趣 旨	近年の夏の暑さから、学校の普通教室への空調設備の設置を求められている。子どもの教育環境の改善を図るために、普通教室に空調設備を設置するものです。			
事 業・成 果の 概 要 等	<p>○事業内容 市内全小学校の普通教室について、空調設備を設置するための設計を令和元年度に継続して実施している。なお、平成30年度の国の補正予算に伴い予算化し、令和元年度に繰越して工事を実施する。</p> <p>○事業実績・説明 ・小学校普通教室エアコン設置工事設計業務委託（H30～R元継続） （30年度支出分） 5,086,800円 （空調設備整備事業にかかる費用682,409,200円を令和元年度に繰り越し）</p> <p>○評価・方向性 近年の夏の暑さから、学校の普通教室への空調設備の設置を求められている。設計に着手したことにより、事業推進が図られた。子どもの教育環境の改善を図るために、全小学校の普通教室への空調設備設置工事を進める。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
備 考	○主な特定財源 学校教育施設等整備事業債（市債）		5,000,000円	

款 項 目	10款 教育費	3項 中学校費	1目 学校管理費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課
事 業 名	施設整備事業（中学校）			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
22,708,000円	22,707,000円	0円	1,000円	99.9%
目 的・趣 旨	市内中学校の中規模的な施設・設備の修繕が必要となるものについて、計画的に更新・改修し、安全で良好な教育環境とする。			
事 業・成 果の 概 要 等	<p>○事業内容 市内中学校の施設や設備等にかかる中規模な改修等を行った。</p> <p>○事業実績・説明 ・FFストーブ改修修繕（第六中学校3期、第四中学校1期） 13,284,000円 ・ガラスブロック改修修繕（第六中学校） 3,445,200円 ・冷房設備設置工事（第四中学校） 5,977,800円</p> <p>○評価・方向性 修繕や更新が必要な学校の施設・設備について、年次的に実施できるよう使用状況を把握しながら適宜対応している。加えて学校から不具合や安全上問題があると報告のあった件について対応を図り、今後も安全で良好な教育環境を長く維持するために継続して実施する。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	事業実施箇所数（箇所）		4	4
備 考	○主な特定財源 合併特例事業債（市債）		5,600,000円	

款 項 目	10款 教育費	3項 中学校費	3目 学校保健費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課																												
事 業 名	中学校給食事業																															
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																												
325,431,000円	320,079,918円	0円	5,351,082円	98.4%																												
目的・趣旨	安全安心でおいしい給食を提供することにより、生徒に食事の重要性を理解させるとともに、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけさせ、自然の恵みや生産者への感謝の心をはぐくむ。																															
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 給食業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aグループ(第一中学校、第二中学校、第六中学校) ・Bグループ(第三中学校、第四中学校) ・鳥海八幡中学校 ・飛島中学校 <p>(2) 調理室内、調理器具の消毒、調理従事者、食材の細菌検査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存食細菌検査(1件)・表面付着菌検査(2件) <p>○事業実績・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全中学校(8校)において給食を実施し、1日当たり2,852食を提供した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日あたり給食数(生徒)</td> <td>2,888食</td> <td>2,774食</td> <td>2,635食</td> </tr> <tr> <td>1日あたり給食数(教職員)</td> <td>228食</td> <td>225食</td> <td>217食</td> </tr> <tr> <td>1日あたり給食数 計</td> <td>3,116食</td> <td>2,999食</td> <td>2,852食</td> </tr> <tr> <td>食材購入実績</td> <td>19,358,181円</td> <td>19,379,412円</td> <td>18,005,664円</td> </tr> <tr> <td>給食業務委託実績</td> <td>314,708,766円</td> <td>307,411,731円</td> <td>298,632,651円</td> </tr> <tr> <td>給食費(1食分)</td> <td>305円</td> <td>305円</td> <td>305円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1日あたり給食数は、各年度5月1日の数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食育だより」「ジオ給食通信」を各10回、「給食だより」を12回発行した。 ・酒田の郷土料理や旬の食材を伝えるため、「食育の日献立」を実施した。 ・庄内産100%の米を利用した米飯学校給食のうち、「つや姫給食」を年2回、「雪若丸給食」を年4回実施した。 ・酒田産米を100%使用した「米粉パン」給食を年2回、酒田産乳使用の「県産ヨーグルト」給食を年1回、全小中学校で実施した。 ・異物混入防止の徹底を図るため、「学校給食における異物混入対応マニュアル」の運用を開始し、一学期中の状況により一部修正を加えた。 ・コンタミネーション対応を明確にするため、アレルギー対応マニュアルを改訂した。 <p>○評価・方向性</p> <p>衛生管理等を徹底し、安全安心でおいしい給食を提供することができた。また、食育だより等の配布により、食に関する知識を高めることができた。</p> <p>将来、自立した健康管理、食事管理する力を身につけるため、継続して食育に取り組んでいく。</p>				区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	1日あたり給食数(生徒)	2,888食	2,774食	2,635食	1日あたり給食数(教職員)	228食	225食	217食	1日あたり給食数 計	3,116食	2,999食	2,852食	食材購入実績	19,358,181円	19,379,412円	18,005,664円	給食業務委託実績	314,708,766円	307,411,731円	298,632,651円	給食費(1食分)	305円	305円	305円
	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度																												
1日あたり給食数(生徒)	2,888食	2,774食	2,635食																													
1日あたり給食数(教職員)	228食	225食	217食																													
1日あたり給食数 計	3,116食	2,999食	2,852食																													
食材購入実績	19,358,181円	19,379,412円	18,005,664円																													
給食業務委託実績	314,708,766円	307,411,731円	298,632,651円																													
給食費(1食分)	305円	305円	305円																													
	評価指標(単位)	目標	実績																													
	事業実施校数(校)	8	8																													
備考	○主な特定財源 学校給食における地産地消促進事業費補助金(県)		1,303,666円																													
	市町村総合交付金(米飯給食実施支援事業)(県)		369,000円																													
	中学校給食費物資収入		171,101,628円																													

款 項 目	10款 教育費	3項 中学校費	4目 学校建設費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課
事 業 名	学校トイレ改修事業(中学校)			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
113,537,000円	6,541,560円	106,995,000円	440円	5.8%
目的・趣旨	生活環境の変化により、一般家庭のトイレの多くが洋式となっている。生徒の学習・生活環境の改善のため、年次的に学校のトイレの洋式化を進める。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>中学校のトイレ改修工事の設計を実施した。なお、平成30年度の国の補正予算に伴い予算化し、令和元年度に予算を繰り越して工事を実施する。</p> <p>○事業実績・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第四中学校トイレ改修工事設計業務委託 6,541,560円 (トイレ改修工事にかかる費用106,995,000円を令和元年度に繰り越し) <p>○評価・方向性</p> <p>学校トイレの洋式化と共に床のドライ化による衛生面の改善により、生徒へより良好な教育環境の提供が図られた。現在も和式トイレが多く残る学校から、学校単位で年次計画を立て、トイレ改修の実施に向けて設計と工事を進めていく。</p>			
		評価指標(単位)	目標	実績
			年度内事業の完了	完了
備考	○主な特定財源 合併特例事業債(市債)		6,200,000円	

款 項 目	10款 教育費	3項 中学校費	4目 学校建設費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課							
事業名	(繰越明許費) 学校トイレ改修事業 (中学校)										
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①							
35,673,000円	35,129,281円	0円	543,719円	98.5%							
目的・趣旨	生活環境の変化により、一般家庭のトイレの多くが洋式となっている。生徒の学習・生活環境の改善のため、年次的に学校のトイレの洋式化を進める。										
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 中学校のトイレ改修工事を実施した。なお、平成29年度の国の補正予算に伴い予算化し、平成30年度に予算を繰り越して工事を実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="0"> <tr> <td>・第三中学校トイレ改修工事（建築工事）</td> <td>13,564,800円</td> </tr> <tr> <td>・第三中学校トイレ改修工事（設備工事）</td> <td>21,492,000円</td> </tr> <tr> <td>・一般需用費</td> <td>72,481円</td> </tr> </table> <p>○評価・方向性 学校トイレの洋式化と共に床のドライ化による衛生面の改善により、生徒へより良好な教育環境の提供が図られた。現在も和式トイレが多く残る学校から、学校単位で年次計画を立て、トイレ改修の実施に向けて設計と工事を進めていく。</p>					・第三中学校トイレ改修工事（建築工事）	13,564,800円	・第三中学校トイレ改修工事（設備工事）	21,492,000円	・一般需用費	72,481円
	・第三中学校トイレ改修工事（建築工事）	13,564,800円									
	・第三中学校トイレ改修工事（設備工事）	21,492,000円									
・一般需用費	72,481円										
	評価指標（単位）	目標	実績								
		年度内事業の完了	完了								
備考	<p>○主な特定財源</p> <table border="0"> <tr> <td>学校施設環境改善交付金（国）</td> <td>9,102,000円</td> </tr> <tr> <td>学校教育施設等整備事業債（市債）</td> <td>18,000,000円</td> </tr> <tr> <td>合併特例事業債（市債）</td> <td>7,500,000円</td> </tr> </table>					学校施設環境改善交付金（国）	9,102,000円	学校教育施設等整備事業債（市債）	18,000,000円	合併特例事業債（市債）	7,500,000円
学校施設環境改善交付金（国）	9,102,000円										
学校教育施設等整備事業債（市債）	18,000,000円										
合併特例事業債（市債）	7,500,000円										

款 項 目	10款 教育費	3項 中学校費	4目 学校建設費	= 予算所属 = 教育委員会企画管理課					
事業名	学校空調設備整備事業 (中学校)								
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①					
311,326,000円	0円	311,326,000円	0円	0.0%					
目的・趣旨	近年の夏の暑さから、学校の普通教室への空調設備の設置を求められている。生徒の教育環境の改善を図るために、普通教室に空調設備を設置するものです。								
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 市内全中学校の普通教室について、空調設備を設置するための設計を令和元年度に継続して実施している。なお、平成30年度の国の補正予算に伴い予算化し、令和元年度に繰り越して工事を実施する。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="0"> <tr> <td>・中学校普通教室エアコン設置工事（設計業務委託）（30年度支出分）</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（空調設備整備事業にかかる費用311,326,000円を令和元年度に繰り越し）</td> </tr> </table> <p>○評価・方向性 近年の夏の暑さから、学校の普通教室への空調設備の設置を求められている。設計に着手したことにより、事業推進が図られた。生徒の教育環境の改善を図るために、全中学校の普通教室への空調設備設置工事を進める。</p>					・中学校普通教室エアコン設置工事（設計業務委託）（30年度支出分）	0円	（空調設備整備事業にかかる費用311,326,000円を令和元年度に繰り越し）	
	・中学校普通教室エアコン設置工事（設計業務委託）（30年度支出分）	0円							
	（空調設備整備事業にかかる費用311,326,000円を令和元年度に繰り越し）								
	評価指標（単位）	目標	実績						
備考									

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課							
事業名	教育支援員充実事業										
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①							
83,451,000円	80,349,324円	0円	3,101,676円	96.3%							
目的・趣旨	通常学級及び特別支援学級における個別の支援を要する児童生徒の学習効果を高めるとともに、集団への不適応にある児童生徒の学校生活へのよりよい適応を図るために、学校の実態に応じて教育支援員を派遣する。										
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 60名の教育支援員を各小中学校に配置し、次の支援を行う。 (1) 通常学級における個別に支援を要する児童・生徒への学習支援 (2) 特別支援学級における児童・生徒への学習支援と生活支援</p> <p>○事業実績・説明 (1) 対応した児童生徒数 ・通常学級 988名 特別支援学級 81名 (平成29年度 通常学級 775名/特別支援学級 83名) (2) 研修会の実施(年2回) ・第1回教育支援員等研修会 内 容：①教育支援員の立場や活用方法について(教頭対象) 教育支援員充実事業に係るアンケート調査の結果について (講師：学校教育課指導主幹・指導主事) ②学級でのサポートの仕方について(教育支援員対象) (講師：学校教育課指導主事) 参加者数：教育支援員 59名 教頭 27名 ・第2回教育支援員研修会 内 容：①講義：発達障がいとその特性について ②演習：適切な支援のあり方について話し合う (講師：学校教育課指導主事) 参加者数：教育支援員 58名</p> <p>○評価・方向性 教育支援員の活用状況を見るためにアンケート調査を実施しており、その結果、支援にあたった児童生徒の他に、学級、学校全体においても支援効果が見られた。 学校では不登校、生徒指導上の問題等、日々様々な問題を抱えているが、教育支援員は支援を必要としている子どもや担任を支援し、学校運営の面でも大いに役立っているとともに、必要不可欠の存在となっている。今後も児童生徒の学校生活の充実のために本事業を継続していきたい。 さらに、同様の事業であり、事業の精選を図るために、教育支援員充実事業やADHD等支援体制推進事業の両事業をまとめて一本化としていくことを検討していく。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>教育支援員の配置による学級における指導効果(%)</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </table>					評価指標(単位)	目標	実績	教育支援員の配置による学級における指導効果(%)	100	100
評価指標(単位)	目標	実績									
教育支援員の配置による学級における指導効果(%)	100	100									
備考	○主な特定財源 さかた応援基金 7,863,402円										

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課																																																																										
事業名	教育委員会科学賞事業																																																																													
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																										
622,000円	610,548円	0円	11,452円	98.2%																																																																										
目的・趣旨	本市の科学振興を図ることを目的とし、児童生徒、市民の科学研究について審査・表彰を行い、科学への興味関心を高め、積極的な研究姿勢を育てる。																																																																													
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 (1) 理科自由研究相談会の開催 (2) 夏休みの児童生徒の理科自由研究への取組みのPR (3) 科学賞審査会の開催 (4) 科学賞表彰式</p> <p>○事業実績・説明 (1) 理科自由研究相談会の開催 親子14組参加 (2) 夏休みの児童生徒の理科自由研究への取組みのPR ・各小中学校での夏休みの理科自由研究への取組み点数 862点 (3) 科学賞審査会の開催 ・開催日時 12月6日、1月11日、1月18日 ・応募状況</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th colspan="6">小学生</th> <th rowspan="2">中学生</th> <th rowspan="2">高校一般</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> </tr> <tr> <td>12点</td> <td>22点</td> <td>14点</td> <td>15点</td> <td>14点</td> <td>22点</td> <td>10点</td> <td>0点</td> <td>109点</td> </tr> </table> <p>・応募作品の分野別傾向</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th>植物・動物分野</th> <th>物理・科学分野</th> <th>天体・気象・地学分野</th> <th>左のうち継続研究</th> </tr> <tr> <td>54点(50%)</td> <td>47点(43%)</td> <td>8点(7%)</td> <td>32点(29%)</td> </tr> </table> <p>・入賞の状況</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th></th> <th>小学生</th> <th>中学生</th> <th>高校一般</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>応募点数</td> <td>99点</td> <td>10点</td> <td>0点</td> <td>109点</td> </tr> <tr> <td>栄誉賞</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>科学賞</td> <td>1点</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>4点</td> <td>1点</td> <td>—</td> <td>5点</td> </tr> <tr> <td>努力賞</td> <td>13点</td> <td>3点</td> <td>—</td> <td>16点</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18点</td> <td>4点</td> <td>0点</td> <td>22点</td> </tr> </table> <p>(4) 科学賞表彰式 2月19日 酒田市総合文化センター</p> <p>○評価・方向性 児童生徒数の減少が続いている中、市全体での自由研究への取組み数は昨年度よりも増えている。また、継続研究が約30%あり、児童生徒の研究への関心意欲の広がりも深まりがうかがえる。さらに鳥海山・飛鳥ジオパーク認定後、地学分野の取組み数も微増している。これらの取組みの成果を賞賛する科学賞は、今後も本市の科学振興のために重要であり継続していく。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th>評価指標(単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>科学賞応募に占める受賞作品数(点)</td> <td>20</td> <td>22</td> </tr> </table>					小学生						中学生	高校一般	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	12点	22点	14点	15点	14点	22点	10点	0点	109点	植物・動物分野	物理・科学分野	天体・気象・地学分野	左のうち継続研究	54点(50%)	47点(43%)	8点(7%)	32点(29%)		小学生	中学生	高校一般	合計	応募点数	99点	10点	0点	109点	栄誉賞	—	—	—	—	科学賞	1点	—	—	1点	奨励賞	4点	1点	—	5点	努力賞	13点	3点	—	16点	合計	18点	4点	0点	22点	評価指標(単位)	目標	実績	科学賞応募に占める受賞作品数(点)	20	22
小学生						中学生	高校一般	合計																																																																						
1年	2年	3年	4年	5年	6年																																																																									
12点	22点	14点	15点	14点	22点	10点	0点	109点																																																																						
植物・動物分野	物理・科学分野	天体・気象・地学分野	左のうち継続研究																																																																											
54点(50%)	47点(43%)	8点(7%)	32点(29%)																																																																											
	小学生	中学生	高校一般	合計																																																																										
応募点数	99点	10点	0点	109点																																																																										
栄誉賞	—	—	—	—																																																																										
科学賞	1点	—	—	1点																																																																										
奨励賞	4点	1点	—	5点																																																																										
努力賞	13点	3点	—	16点																																																																										
合計	18点	4点	0点	22点																																																																										
評価指標(単位)	目標	実績																																																																												
科学賞応募に占める受賞作品数(点)	20	22																																																																												
備考																																																																														

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課							
事業名	小中学校スポーツ振興事業										
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①							
884,000円	866,349円	0円	17,651円	98.0%							
目的・趣旨	学校体育の充実を図り、体力向上及びスポーツの振興に寄与する。										
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 市内全小学校の参加による陸上競技及び水泳記録会を開催した。</p> <p>(2) 小学校中学年の体育の授業に「陸上指導サポーター」を派遣し、指導法の紹介と授業の支援を行った。</p> <p>(3) 「柔道」の授業を専門的な立場から支援する指導協力者を派遣した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 第37回陸上競技記録会</p> <ul style="list-style-type: none"> 期 日 平成30年5月13日 場 所 光ヶ丘陸上競技場 参加校 市内22小学校 <p>(2) 第37回水泳競技記録会</p> <ul style="list-style-type: none"> 期 日 平成30年7月28日 場 所 光ヶ丘プール 参加校 市内22小学校 参加児童数 367名 酒田特別支援学校より0名 オープン参加43名 <p>(3) 陸上指導サポーター派遣事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上指導サポーターを小学校18校に年2回、計60時間派遣した。 中学年の授業で実施した。 <p>(4) 中学校武道指導協力者派遣事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 希望した1校の中学校で実施。1名の指導協力者を8時間派遣した。 <p>○評価・方向性</p> <p>希望のあった学校に陸上指導サポーターと柔道の指導協力者を派遣し、指導法の紹介と授業の支援を行うことで学校体育の充実を図ることができた。今後も、本市の課題である「走」に特化した形で、陸上指導サポーター派遣事業を継続していく。</p> <p>中学校武道指導協力者派遣事業について、指導できる教員が増えたことにより派遣を希望する学校が減ってきているため来年度以降の派遣を行わない。</p>										
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学3年の50m走平均タイムが全国平均を上回る(秒)</td> <td>男子: 10.11 女子: 10.45</td> <td>男子: 10.49 女子: 10.58</td> </tr> </tbody> </table>					評価指標 (単位)	目標	実績	小学3年の50m走平均タイムが全国平均を上回る(秒)	男子: 10.11 女子: 10.45	男子: 10.49 女子: 10.58
評価指標 (単位)	目標	実績									
小学3年の50m走平均タイムが全国平均を上回る(秒)	男子: 10.11 女子: 10.45	男子: 10.49 女子: 10.58									
備考											

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課																																																																						
事業名	教育相談充実事業																																																																									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																						
1,368,369円	1,138,660円	0円	229,709円	83.2%																																																																						
目的・趣旨	不登校・いじめなどの相談にあたり、解決に努める。適応指導教室により、児童生徒の心の居場所と学習の機会を確保する。学校内外で相談できる環境整備を行い、児童生徒の心身の健全育成を図る。																																																																									
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 教育相談専門員の配置</p> <p>教育相談専門員を教育相談室（総合文化センター内）に3名、適応指導教室（浜田コミセン内）に2名配置し、児童生徒や保護者からの電話・来室相談に対応することで、不登校やいじめ等の悩みや問題の解決に努めた。なお、土曜日にも相談対応できる体制を取った。</p> <p>(2) 教職員等への研修の実施</p> <p>各小中学校の教育相談体制を充実させるため、事例研修会への訪問や教育相談担当教員へのスーパーバイザー研修会等を実施した。また、教育相談研修講座を開催し、教職員の教育相談に関する資質向上に努めた。</p> <p>○事業実績・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 主訴別相談件数（電話・来室） 適応指導教室通級状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内 容</th> <th colspan="2">(単位: 件)</th> <th colspan="3">(単位: 人)</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>うち新規</th> <th>学 年</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知能・学業（知的障害・学業不振等）</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>小学生</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>性格・行動（非行・不登校・情緒等）</td> <td>242</td> <td>35</td> <td>中 1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>身体・神経（肢体不自由・言葉等）</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>中 2</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>進路</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>中 3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他（人間関係・友人関係等）</td> <td>74</td> <td>13</td> <td>合 計</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>333</td> <td>54</td> <td colspan="3">※ 中学校3年生の3人は高校進学</td> </tr> </tbody> </table> <p>・教育相談研修講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>開催日</th> <th>研修内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>6月7日</td> <td>発達障がい理解と対応～ペアレント・トレーニングより～</td> <td>205名</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>8月6日</td> <td>子どもと関わる人のためのアンガーマネジメント</td> <td>(荒天中止)</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>11月12日</td> <td>難しくなる保護者対応トラブルをエコロジカル・マップづくりで出口を見つけよう</td> <td>121名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>スーパーバイザー研修会では事例研修会を実施したことで実践的な研修ができた。研修講座では、教職員のニーズに合った内容で実施できたが、荒天のため中止した回もあり、連絡のあり方について課題が見られた。不登校保護者会では参加者の匿名を保持しながら保護者同士が語り合ったことで悩みの軽減化と次の一手に繋がった。今後も、関係機関と連携しながら教職員の教育相談力向上に向けた研修を実施していく。</p>					内 容	(単位: 件)		(単位: 人)			件数	うち新規	学 年	男	女	計	知能・学業（知的障害・学業不振等）	7	1	小学生	0	2	2	性格・行動（非行・不登校・情緒等）	242	35	中 1	0	0	0	身体・神経（肢体不自由・言葉等）	7	4	中 2	0	5	5	進路	3	1	中 3	1	2	3	その他（人間関係・友人関係等）	74	13	合 計	1	9	10	合 計	333	54	※ 中学校3年生の3人は高校進学			回数	開催日	研修内容	参加者数	第1回	6月7日	発達障がい理解と対応～ペアレント・トレーニングより～	205名	第2回	8月6日	子どもと関わる人のためのアンガーマネジメント	(荒天中止)	第3回	11月12日	難しくなる保護者対応トラブルをエコロジカル・マップづくりで出口を見つけよう	121名
内 容	(単位: 件)		(単位: 人)																																																																							
	件数	うち新規	学 年	男	女	計																																																																				
知能・学業（知的障害・学業不振等）	7	1	小学生	0	2	2																																																																				
性格・行動（非行・不登校・情緒等）	242	35	中 1	0	0	0																																																																				
身体・神経（肢体不自由・言葉等）	7	4	中 2	0	5	5																																																																				
進路	3	1	中 3	1	2	3																																																																				
その他（人間関係・友人関係等）	74	13	合 計	1	9	10																																																																				
合 計	333	54	※ 中学校3年生の3人は高校進学																																																																							
回数	開催日	研修内容	参加者数																																																																							
第1回	6月7日	発達障がい理解と対応～ペアレント・トレーニングより～	205名																																																																							
第2回	8月6日	子どもと関わる人のためのアンガーマネジメント	(荒天中止)																																																																							
第3回	11月12日	難しくなる保護者対応トラブルをエコロジカル・マップづくりで出口を見つけよう	121名																																																																							
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適応指導教室通級児童生徒の学校復帰率 (%)</td> <td>50</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table>					評価指標 (単位)	目標	実績	適応指導教室通級児童生徒の学校復帰率 (%)	50	90																																																															
評価指標 (単位)	目標	実績																																																																								
適応指導教室通級児童生徒の学校復帰率 (%)	50	90																																																																								
備考																																																																										

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課									
事業名	学力向上対策事業												
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①									
14,369,000円	13,777,839円	0円	591,161円	95.9%									
目的・趣旨	児童生徒の能力・学力を把握し、教師の授業改善や読書活動の充実を図る取り組みを通して、児童生徒の学力向上に資する。												
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 標準学力検査・知能検査の実施と調査研究</p> <p>(2) Q-Uアンケートへの助成と調査研究</p> <p>(3) 小中授業力向上研修会（算数・数学・英語）</p> <p>(4) 図書館教育・読書指導の充実 ・読書指導や図書館運営の充実を図るための研修を実施</p> <p>(5) 単元研究委嘱</p> <p>(6) 数学・英語教員指導力向上のための先進校視察</p> <p>(7) 英語検定挑戦への推奨</p> <p>(8) 酒田の子どもの学力向上推進委員会の開催</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 標準学力検査・知能検査の実施と調査研究 ・標準学力検査実施学年 小4～中1：4教科、中2：5教科、中3：5教科 ・知能検査実施学年 小4及び中1</p> <p>(2) Q-Uアンケートへの助成と調査研究 ・Q-U研修会 校内研修会への講師派遣（希望校） 12校へ派遣</p> <p>(3) 小中授業力向上研修会 ・7月3日 算数・数学 講師 笠井健一氏 約50名参加 ・10月4日 算数・数学 講師 笠井健一氏 約45名参加 ・8月1日 英語 講師 太田 洋氏 33名参加</p> <p>(4) 図書館教育・読書指導の充実に向けて（図書館教育・読書指導研修会） ・9月11日 講師 足立幸子氏 32名参加</p> <p>(5) 単元研究委嘱校 琢成小 松陵小 八幡小</p> <p>(6) 先進校視察 ・数学 東京学芸大学附属小金井中学校、お茶の水女子大学附属中学校 ・英語 横浜市立南高等学校・附属中学校</p> <p>(7) 英検問題集を各中学校へ配布</p> <p>(8) 酒田の子どもの学力向上推進委員会（11月7日、2月19日実施）</p> <p>○評価・方向性</p> <p>NRT（標準学力検査）で全国標準以上の教科の割合が中学校で増えており、改善傾向が見られる。今後も全国学力学習状況調査やNRT、Q-Uアンケートの分析・検証を行いながら、学力向上策を進めていく。また、教員の指導力向上のため、各種研修会、先進校視察、単元研究委嘱等を継続し学力の向上を目指す。</p>												
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①標準学力検査における全国標準以上の教科の割合（％）</td> <td>①小学校100、中学校100</td> <td>①小学校100、中学校86</td> </tr> <tr> <td>②全国学力学習状況調査における全国平均正答率以上の分野数（分野）</td> <td>②小6：4/4、中3：4/4</td> <td>②小6：0/5、中3：0/5</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	①標準学力検査における全国標準以上の教科の割合（％）	①小学校100、中学校100	①小学校100、中学校86	②全国学力学習状況調査における全国平均正答率以上の分野数（分野）	②小6：4/4、中3：4/4	②小6：0/5、中3：0/5
評価指標（単位）	目標	実績											
①標準学力検査における全国標準以上の教科の割合（％）	①小学校100、中学校100	①小学校100、中学校86											
②全国学力学習状況調査における全国平均正答率以上の分野数（分野）	②小6：4/4、中3：4/4	②小6：0/5、中3：0/5											
備考													

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課																																																								
事業名	外国語指導助手招致事業																																																											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																								
5,566,000円	5,035,811円	0円	530,189円	90.5%																																																								
目的・趣旨	市内各小学校の外国語活動、中学校の英語の授業の指導を通して、児童生徒の学習意欲とコミュニケーション能力の向上を図るとともに、外国の人々の生活や文化について理解を深め、国際理解の基礎を涵養する。																																																											
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>JETプログラムを通して招致した外国語指導助手（ALT）と地域人材英語講師を雇用し、小学校においては外国語活動と国際理解、中学校においては英語科授業の英会話を中心とした指導を実施した。</p> <p>平成23年度から小学校5、6年生の外国語活動が正式にスタートした。また、新学習指導要領では小学校の外国語活動が中学年から、外国語科が高学年からスタートするにあたり平成29年8月よりALTを3名から8名に増員し、小学校への派遣日数を増やした。</p> <p>○事業実績・説明（ALTの配置・訪問状況）</p> <p>(1) ALTの配置人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置人数</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>8 ※</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中途退職があり10月より7名</p> <p>(2) ALTの活動状況（単位：日）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校</td> <td>282</td> <td>676</td> <td>565</td> </tr> <tr> <td>うち 第一中</td> <td>41</td> <td>101</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>第二中</td> <td>40</td> <td>78</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>第三中</td> <td>51</td> <td>119</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>第四中</td> <td>47</td> <td>129</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>第六中</td> <td>40</td> <td>91</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>飛島中</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>鳥海八幡中</td> <td>30</td> <td>72</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>東部中</td> <td>31</td> <td>82</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>323</td> <td>510</td> <td>867</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>605</td> <td>1,186</td> <td>1,432</td> </tr> </tbody> </table> <p>※延べ日数、1人のALTが同一に複数校を訪問する場合もある。</p> <p>○評価・方向性</p> <p>小学校5、6年生4学級以下の学校に年間20～35日程度、5学級以上の学校に年間40～70日程度派遣し、生の英語に触れる機会を確保することができた。児童生徒の学習意欲とコミュニケーション能力の向上につながっている。</p> <p>新学習指導要領先行実施に対応できるように小学校への派遣日数を同程度としていく。</p>					平成28年度	平成29年度	平成30年度	配置人数	3	8	8 ※		平成28年度	平成29年度	平成30年度	中学校	282	676	565	うち 第一中	41	101	81	第二中	40	78	62	第三中	51	119	77	第四中	47	129	97	第六中	40	91	98	飛島中	2	4	6	鳥海八幡中	30	72	76	東部中	31	82	68	小学校	323	510	867	合 計	605	1,186	1,432
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																									
配置人数	3	8	8 ※																																																									
	平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																									
中学校	282	676	565																																																									
うち 第一中	41	101	81																																																									
第二中	40	78	62																																																									
第三中	51	119	77																																																									
第四中	47	129	97																																																									
第六中	40	91	98																																																									
飛島中	2	4	6																																																									
鳥海八幡中	30	72	76																																																									
東部中	31	82	68																																																									
小学校	323	510	867																																																									
合 計	605	1,186	1,432																																																									
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ALTの授業実施校数（校）</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	ALTの授業実施校数（校）	30	30																																																		
評価指標（単位）	目標	実績																																																										
ALTの授業実施校数（校）	30	30																																																										
備考																																																												

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課																																																								
事業名	スクールカウンセラー等活用事業																																																											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																								
9,822,000円	9,267,520円	0円	554,480円	94.4%																																																								
目的・趣旨	いじめや不登校等児童生徒の問題行動に対応するため、スクールカウンセラー、教育相談員、家庭訪問相談員を活用し効果的に対応する。																																																											
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) スクールカウンセラー (各中学校に市費及び県費で9名配置) 児童・生徒へのカウンセリングや教職員及び保護者に対する助言・援助を行い、不登校等の状況改善に取り組んだ。小学校からの要望にも対応した。</p> <p>(2) 教育相談員 (各中学校に市費で5名、県費で2名配置) 思春期にある中学生の生徒指導上の課題に対し受容的な態度で接し、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在として、問題行動や不登校の未然防止並びに初期対応を行った。</p> <p>(3) 家庭訪問相談員 (市費で3名配置) ほとんど学校に登校できない児童生徒の心のケアと、その家庭へ新しい風を送り込み、学校や関係機関をつなぐために家庭訪問を行い、引きこもり傾向の不登校児童生徒の減少を図った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>・スクールカウンセラー</p> <p>・教育相談員対応相談件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>相談内容</th><th>児童生徒</th><th>保護者</th><th>教師面談打合せ</th><th>計</th></tr> <tr><td>不登校</td><td>376</td><td>124</td><td>207</td><td>707</td></tr> <tr><td>いじめ</td><td>7</td><td>1</td><td>11</td><td>19</td></tr> <tr><td>友人関係</td><td>65</td><td>14</td><td>37</td><td>116</td></tr> <tr><td>学業進路</td><td>17</td><td>2</td><td>13</td><td>32</td></tr> <tr><td>暴力虐待</td><td>8</td><td>1</td><td>28</td><td>37</td></tr> <tr><td>心身の健康</td><td>86</td><td>16</td><td>44</td><td>146</td></tr> <tr><td>家庭問題</td><td>38</td><td>11</td><td>66</td><td>115</td></tr> <tr><td>その他</td><td>356</td><td>64</td><td>341</td><td>761</td></tr> <tr><td>合計</td><td>953</td><td>233</td><td>747</td><td>1,933</td></tr> </table> <p>・家庭訪問相談員支援者数</p> <table border="1"> <tr><th>児童生徒</th><th>保護者</th><th>合計</th></tr> <tr><td>18人</td><td>18人 (18家庭)</td><td>36人</td></tr> </table>				相談内容	児童生徒	保護者	教師面談打合せ	計	不登校	376	124	207	707	いじめ	7	1	11	19	友人関係	65	14	37	116	学業進路	17	2	13	32	暴力虐待	8	1	28	37	心身の健康	86	16	44	146	家庭問題	38	11	66	115	その他	356	64	341	761	合計	953	233	747	1,933	児童生徒	保護者	合計	18人	18人 (18家庭)	36人
相談内容	児童生徒	保護者	教師面談打合せ	計																																																								
不登校	376	124	207	707																																																								
いじめ	7	1	11	19																																																								
友人関係	65	14	37	116																																																								
学業進路	17	2	13	32																																																								
暴力虐待	8	1	28	37																																																								
心身の健康	86	16	44	146																																																								
家庭問題	38	11	66	115																																																								
その他	356	64	341	761																																																								
合計	953	233	747	1,933																																																								
児童生徒	保護者	合計																																																										
18人	18人 (18家庭)	36人																																																										
成果の概要等	<p>○評価・方向性</p> <p>スクールカウンセラーの相談内容を県の報告と合わせて変更したため比較しづらいが、児童生徒だけでなく保護者からの相談件数が増加している。また、小中学校ともに不登校児童生徒数が増加した。本人に関わる問題(問題行動含む)、友人関係、家庭環境等要因は複雑に絡み合っているため、今後、スクールカウンセラー・相談員・他機関等と連携するとともに、不登校の未然防止に力を入れるため、担任力がつくような研修内容を充実させていく。</p> <table border="1"> <tr><th>評価指標 (単位)</th><th>目標</th><th>実績</th></tr> <tr><td>①小学校不登校児童出現率 (%)</td><td>①0.1</td><td>①0.46</td></tr> <tr><td>②中学校不登校生徒出現率 (%)</td><td>②1.5</td><td>②4.25</td></tr> </table>				評価指標 (単位)	目標	実績	①小学校不登校児童出現率 (%)	①0.1	①0.46	②中学校不登校生徒出現率 (%)	②1.5	②4.25																																															
評価指標 (単位)	目標	実績																																																										
①小学校不登校児童出現率 (%)	①0.1	①0.46																																																										
②中学校不登校生徒出現率 (%)	②1.5	②4.25																																																										
備考																																																												

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課						
事業名	キャリア教育推進事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
2,000,000円	1,758,760円	0円	241,240円	87.9%						
目的・趣旨	児童生徒一人一人がふるさと酒田を愛し、将来の夢を持ちよりよく生きるための資質能力の育成を目指す。夢をはぐくむためのキャリア教育の推進に繋がる事業をテーマの柱に据え、取り組んでいく。									
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>「キャリア教育の推進」をテーマの柱に据え、交付金を活用して学校提案型のキャリア教育活動を実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 実施校 23校 琢成小、浜田小、若浜小、富士見小、亀ヶ崎小、松原小、泉小、西荒瀬小、新堀小、広野小、浜中小、黒森小、十坂小、宮野浦小、平田小、一條小、八幡小、松山小、南平田小、第一中、第二中、東部中、飛島中</p> <p>(2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 夢とは何か、社会人にとって大切なこととは何かという内容で講話 講師：香取貴信氏(ディズニーランド勤務) 実施校：第一中 様々な職業に就いている方を講師に迎え、仕事内容や働くことへの思い、故郷で働く理由、働く喜び、職業選択について大切なことなどについて講話 講師：保護者、地域で就労している方 講師の職業：看護師、電気工事技師、美容師、食品加工業、採石業、保育士、カメラ店、絵本作家、NPO、企業経営者、映画制作者 実施校：平田小、泉小、琢成小、十坂小、第二中、飛島中 農業という職業の喜びややりがいなどについて講話、農業体験 講師：地域の農業従事者(稲作、いちご、梨、柿、ラフランス) 農産物加工業者 他 実施校：浜田小、富士見小、若浜小、西荒瀬小、新堀小、八幡小、松山小、東部中 アスリートや音楽家などの特別な技術者を招き、夢を叶えた体験談などを講話 講師：齋藤隆氏(五輪出場)、小林正人氏(ピアニスト)、元卓球選手 他 実施校：広野小、亀ヶ崎小、琢成小、宮野浦小、南平田小 地域の伝統文化や自然などに触れて、地域の良さを再発見する体験活動 講師：地域指導者 実施校：松原小、浜中小、黒森小 <p>○評価・方向性</p> <p>地域に多彩な職業があることを知り、働くことに興味・関心を持つようになった児童生徒が多かった。また、将来への夢を育み、学ぶことや計画することの大切さに気づいた児童生徒も多かった。そして酒田の自然や文化に触れる貴重な機会になった。今後も地域指導者等に講義を依頼し、児童生徒の勤労観、職業観を育成し、夢を叶える充実した将来へと導く方策としていく。</p> <table border="1"> <tr><th>評価指標 (単位)</th><th>目標</th><th>実績</th></tr> <tr><td>5段階中4以上の自己評価をした小中学校の割合 (%)</td><td>90</td><td>81.7</td></tr> </table>				評価指標 (単位)	目標	実績	5段階中4以上の自己評価をした小中学校の割合 (%)	90	81.7
評価指標 (単位)	目標	実績								
5段階中4以上の自己評価をした小中学校の割合 (%)	90	81.7								
成果の概要等										
備考										

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課
事業名	飛島いきいき体験スクール支援事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
797,000円	766,958円	0円	30,042円	96.2%
目的・趣旨	子どもたちが飛島ならではの自然・歴史・文化等について島民と触れ合いながら学ぶ機会をつくることにより、郷土を愛し、大切にしようとする心を育てるとともに、飛島地区全体の活性化に資する。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 市内小学校の飛島をフィールドとしたセカンドスクール（体験学習）を支援した。</p> <p>○事業実績・説明 （1）活動環境の整備 ・安全で充実したセカンドスクールになるよう、事前踏査を行った。 ・活動に必要な備品の整備・維持管理を行った。</p> <p>（2）実施校で組織した実行委員会への支援 ・体験学習実施のためのプログラム整備、各種指導を行った。 主な体験学習内容 イカ釣り体験、一夜干し加工体験 巨木の森等植物観察、島巡り、星空観察 ゴミ拾いボランティア活動 ナイトウオーク、アジ釣り</p> <p>・保護者負担の軽減のため負担金を支出した。 負担金の内訳 児童・補助員・講師の渡航費、補助員・講師謝金、損害保険料 船舶による運搬費、シーツクリーニング代、車両借上料 ジオガイド料、その他高額な活動費の一部（漁船借上料など）</p> <p>○評価・方向性 小学校2校（浜田小学校・宮野浦小学校）の児童91名が参加し、自然のすばらしさや人の温かさに触れることができた。また、飛島の関係施設、旅館等の協力のもと、現地での活動を充実させることができた。飛島の方々との関わりや環境を生かした活動が、主体的に調べる力、協力する態度、自分で判断し行動する力を育むことにつながっている。 今後も関係機関との連携やジオガイドの活用を図りながら、現地での活動・交流を充実させていく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	事業参加児童の満足度（%）		90	93
備考				

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課													
事業名	デジタルキャンパスネットワーク事業																
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①													
65,653,000円	64,527,007円	0円	1,125,993円	98.3%													
目的・趣旨	児童・生徒の情報教育の充実を図るため、小・中学校のパソコン教室の環境整備を行うとともに、インターネットを活用した学習環境の維持を図る。また、教職員用パソコンの整備及び保守を行う。																
事業・成果の概要等	<p>○事業内容 （1）教育用パソコンの賃貸借の継続・更新を行い、引き続きパソコン教室で1人1台の環境を維持した。 （2）フィルタリング及びウイルス対策ソフトウェアのライセンス更新を行った。</p> <p>○事業実績・説明 （1）役務費 ・フィルタリングソフトライセンスの更新 1,750ライセンス ・ウイルス対策ソフトライセンスの更新 1,800ライセンス</p> <p>（2）委託料 校務用サーバー・グループウェアシステム・パソコン保守管理</p> <p>（3）使用料及び賃貸借料</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">教育用パソコン賃貸借料</td> <td>小学校</td> <td>654台</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>287台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事務用パソコン賃貸借料</td> <td>小学校</td> <td>27台</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>10台</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>978台</td> </tr> </table> <p>○評価・方向性 教育用パソコンの適正な配置は、児童生徒がパソコンに触れる機会を創出し、情報化社会に生きる児童生徒の情報活用能力を育てることができた。また、校務用パソコンについては、円滑な情報の伝達や共有を行う環境を整備することで、業務の適正・効率化に繋がっている。今後も老朽化した機器及びソフトウェア等の随時更新に努めていく。</p>				教育用パソコン賃貸借料	小学校	654台	中学校	287台	事務用パソコン賃貸借料	小学校	27台	中学校	10台	計		978台
教育用パソコン賃貸借料	小学校	654台															
	中学校	287台															
事務用パソコン賃貸借料	小学校	27台															
	中学校	10台															
計		978台															
	評価指標（単位）		目標	実績													
	教育用パソコンの適正な配置及び更新の実施率（%）		100	100													
備考																	

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課
事業名	小中高連携ものづくり教室事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
260,000円	260,000円	0円	0円	100.0%
目的・趣旨	「中村ものづくり基金」の趣旨を生かし、酒田光陵高校の専門性豊かな指導者と高度な施設・設備を活用し、科学・工学系ものづくりの楽しさを体験できる教室を小学生、中学生向けに開催する。			
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 酒田光陵高校の設備・施設を使っての小学生のものづくり学習の授業</p> <p>(2) 酒田光陵高校の設備・施設を使っての小学生のものづくり学習を踏まえた小学生よりも内容を高めた中学生のものづくり学習の授業</p> <p>・ (1)、(2)とも酒田光陵高校の工業科・情報科の専門性を生かした5つの授業コースを設定し、児童生徒はその中から選択して取り組む</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 小学生ものづくり教室 実施校：松陵小学校6年生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械科コース： からくりペーパークラフトで機械の動きを学ぼう ・電子機械科コース： 電子オルゴールを作ろう ・エネルギー技術科コース： 3Dプリンタを使ったキーホルダーづくり ・環境技術科： さまざまな電池を作ろう ・情報科コース： コンピュータゲームの仕組みをつくって学ぼう <p>(2) 中学生ものづくり教室 実施校：第一中学校1年生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械科コース： ドアチャイムを作ろう ・電子機械科コース： フルカラーLEDで光の三原色を学ぼう ・エネルギー技術科コース： DSPラジオを作ろう ・環境技術科： 無機ELを作ろう～光の原理を学ぶ～ ・情報科コース： コンピュータゲームの仕組みをつくって学ぼう <p>○評価・方向性</p> <p>ものづくり体験をした小学生が中学生時においても、ものづくり体験をすることで、進路選択として工業科への関心意欲を高めることにつながっていくと考える。</p> <p>また、酒田光陵高校、松陵小学校、第一中学校は地理的にも近距離にあり、連携がしやすい環境ため、今後もこのメリットを生かしながら本事業を充実させていきたい。</p> <p>当初、中学校の取り組みは、2学級程度と想定していたが、全学年(4学級)をあげての取り組みとなったため、目標値を大きく上回る実績となった。</p>			
事業成果の概要等	評価指標(単位)		目標	実績
	事業参加延べ人数(人)		230	312
備考	○主な特定財源 中村ものづくり基金繰入金 260,000円			

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課
事業名	中村ものづくり事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
1,764,000円	1,763,837円	0円	163円	99.9%
目的・趣旨	「中村ものづくり基金」を創設し、本市のものづくりに関する教育の推進のため、科学的な原理を応用した「科学・工学系ものづくり」の楽しさを子供達に体験させる。			
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) チャレンジものづくり塾</p> <p>(2) サイエンス発明教室</p> <p>(3) ものづくり出前授業</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) チャレンジものづくり塾</p> <p>ものづくりに興味・関心を持つ児童生徒を対象に年間5回の講座を開催。活動を通して、ものづくりの原理やしぐみ学びその資質を引き出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 7月1日 8月4日 8月5日 9月23日 10月27日(さかた産業フェアでのステージ発表) ・活動内容及び参加人数 Aコース：移動ロボットの製作、センサーを使った回路づくり 10名 Bコース：3モーターリモコンロボットの製作、手作り電池等 16名 <p>(2) サイエンス発明教室</p> <p>科学の不思議さ・ものづくりの楽しさを親子で感じてほしいとの願いから場を設定し、多くの児童及び保護者に、体験活動を通して興味・関心の高揚をはかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 7月7日 総合文化センター体育室 ・参加人数 小学生親子(63組) Aコース：「水の上にできる不思議な墨の模様」 Bコース：「フルカラステンドグラス」 ・途中でAコース、Bコースの入れ替えを行なうことで、参加者全員が2つのコースを体験できるようにする。 <p>(3) ものづくり出前授業</p> <p>希望する学校に講師を派遣し、ものづくりに関係する特別な授業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 19校29回 ・受講者数 小学校1,081名、中学校232名 <p>○評価・方向性</p> <p>本市教育施策の特色ある事業の一つであり、事業を通して児童生徒の科学やものづくりへの興味関心を高めることにつながっている。長い年月をかけて基金を活用してほしいという寄附者(故中村恒也氏)の意向もあり、今後も計画的に事業を展開していく。</p>			
事業成果の概要等	評価指標(単位)		目標	実績
	事業参加延べ人数(人)		1,100	1,402
備考	○主な特定財源 中村ものづくり基金繰入金 1,740,000円			

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課						
事 業 名	ADHD等支援体制推進事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
5,821,000円	5,634,629円	0円	186,371円	96.8%						
目的・趣旨	LD、ADHD児等を含めた特別に支援が必要な児童生徒の理解や支援方法、学校の体制づくり等を支援するとともに、保護者や関係機関と連携を図りながら支援体制の整備を推進する。									
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 特別支援教育研修会 特別支援教育の理解と指導・支援の向上を図るため、特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任を始め、教職員等を対象に年1回の研修会を行う。</p> <p>(2) 教育支援員研修会 教育支援員を対象に年2回、研修を行い、支援の質の向上を図る。</p> <p>(3) 保護者研修会 ペアレントトレーニング（少人数のグループで実施）を通して、子どもへの適切な接し方を学ぶ。</p> <p>(4) 特別支援教育巡回相談員（3名）による巡回相談 通常学級で特別な支援が必要な児童生徒の在籍する小・中学校（中学校は、スクールカウンセラーと連携）を訪問し、指導・助言を行う。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 特別支援教育研修会 ・内容 特別支援教育の一層の理解と充実を目指した研修～社会的自立に向けて～ 講師 県立酒田特別支援学校 教諭 参加者数 25名</p> <p>(2) 教育支援員研修会 ・内容 支援員の立場や活用方法について／学級でのサポートの仕方について 講師 学校教育課 指導主幹 指導主事 参加者数 86名 ・内容 発達障がいとその特性について（研修） 適切な支援について（演習） 講師 学校教育課 指導主事 参加者数 58名</p> <p>(3) 保護者研修会 ・内容 ペアレントトレーニング（1グループ5回） 講師 臨床心理士 参加者数 6名</p> <p>(4) 特別支援教育巡回相談員（3名）による巡回指導 延べ340回訪問指導を実施</p> <p>○評価・方向性 各種研修の実施や酒田特別支援学校や福祉課発達支援室との連携により、各小中学校や保護者との相談を設定し、丁寧な対応ができています。 また、学校と巡回相談員との連携がスムーズに進み、ソーシャルスキルトレーニングなど児童への直接的なかかわりとともに保護者との面談や担任への具体的指導方法の助言が効果的に行われている。 今後、どの学校にも支援が必要な児童生徒が複数おり、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うために、教育支援員の配置はもちろんのこと、継続して教員及び教育支援員を対象とした研修会等を実施していく。</p>									
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巡回相談希望校への実施率（%）</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	巡回相談希望校への実施率（%）	100	100
評価指標（単位）	目標	実績								
巡回相談希望校への実施率（%）	100	100								
備考										

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課						
事 業 名	子どもの安全安心通学対策事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
2,351,000円	1,864,600円	0円	486,400円	79.3%						
目的・趣旨	児童生徒の登下校の安全・安心を確保するため、地域学校安全指導員、青色回転灯車両のパトロールなどの活動を通して、学校、地域、関係機関・団体が連携し、通学対策の充実を図る。									
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 地域学校安全指導員による各学校の見守り隊及び酒田警察署との連絡調整</p> <p>(2) 青色回転灯を装備した車両による防犯パトロールの実施と支援</p> <p>(3) 保護者や地域の方々への不審者情報等のメール一斉配信による注意喚起</p> <p>(4) 通学路の危険箇所を把握し、関係機関との合同又は個別による対策実施</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 地域学校安全指導員5名による各学校の見守り隊及び酒田警察署との連絡調整を行った。</p> <p>(2) 青色回転灯を装備した車両による防犯パトロールについて、見守り隊協力者や学校教職員11名に警察より証明を受け、回転灯の貸与、パトロール車表示用ステッカーの購入・貸与を行った。</p> <p>(3) メール配信希望の保護者や地域の方々に不審者情報を一斉配信し、一斉メール配信システムのPRを小中学校、幼稚園の保護者等に行った。</p> <p>(4) 不審者情報等の一斉メール配信システムの運用を行った。 登録件数6,791件（平成31年3月31日現在） 平成30年度配信数 11件 ※平成29年8月からはシステムの不具合によりFAXにて対応。 平成30年度より新システムで運用。</p> <p>(5) 通学路の危険箇所について関係者会議を開催して対策等を検討し、その後に現地調査及び道路標示などの対策を実施して通学路の安全を確保した。 平成30年度危険箇所合同点検実施6校6箇所</p> <p>○評価・方向性 通学時の地域学校安全指導員の巡回指導や青色回転灯を装備した車両によるパトロールが不審者被害への未然防止、交通安全への意識高揚に効果を発揮している。今後も学校、地域、見守り隊、警察署等と連携を図り、児童生徒の通学の安全が確保されるよう継続していく。</p>									
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域学校安全指導員の活動延べ日数（日）</td> <td>205</td> <td>205</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	地域学校安全指導員の活動延べ日数（日）	205	205
評価指標（単位）	目標	実績								
地域学校安全指導員の活動延べ日数（日）	205	205								
備考	○主な特定財源 地域ぐるみの学校安全体制整備事業費補助金（県） 721,130円									

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課						
事 業 名	子どもの命を守る安全教育推進事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
332,000円	259,562円	0円	72,438円	78.2%						
目的・趣旨	<p>児童生徒が安全・安心に生活する意識の高揚を図るとともに、防災教育を含めた安全教育に携わる教職員の資質の向上を図る。災害時における児童生徒の危機回避能力を育成するとともに、各校の防災管理体制の見直しを図る。</p>									
事業内容	<p>○事業内容 (1) 子どもの命を守る安全教育推進会議の開催 (2) 児童生徒への防災教育及び教職員への防災管理研修 (3) 児童生徒への安全教育及び教職員への安全指導研修</p> <p>○事業実績・説明 (1) 「子どもの命を守る安全教育推進会議」の開催（年2回） ・5月9日、1月29日 (2) 児童・生徒への防災教育及び教職員への防災管理研修 ・平田小学校（6月1日） 児童60名 ・松山小学校（6月6日） 児童60名 教員10名 ・八幡小学校（6月13日） 児童68名 教員12名 ・新堀小学校（10月17日） 児童40名 教員10名 ・第三中学校（10月26日） 生徒525名 教員25名 ・富士見小学校（11月11日） 児童375名 教員25名 (3) 防災マニュアル改善研修会（1回 参加者 教職員32名） ・各校の防災担当者が集まり、マニュアル改善について検討 (4) 救命救急講習会（1回 参加者 教職員30名） ・第四中学校を会場にして実施 (5) 海難事故の未然防止のため、離岸流に注意する旨の啓発文書の配布 (6) 各校の学校防災マニュアルの整備</p> <p>○評価・方向性 酒田市学校防災マニュアルハンドブックを活用し、すべての学校で学校防災マニュアルの整備を進めることができた。今後も防災マニュアル改善研修会などを通して、各校のマニュアルの評価や検証を進めていく。また、救命救急講習会の実施により、教員の安全意識も高まっている。今後も継続し、心肺蘇生教育を充実させていく。</p>									
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各種研修会への参加延べ人数（人）</td> <td>100</td> <td>144</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	各種研修会への参加延べ人数（人）	100	144
評価指標（単位）	目標	実績								
各種研修会への参加延べ人数（人）	100	144								
備考										

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課						
事 業 名	小中一貫教育推進事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
388,000円	105,340円	0円	282,660円	27.1%						
目的・趣旨	<p>小中9年間を見通した着実な教育を推進するために、小中一貫教育について検討委員会を設置し、調査・検討を行い、各中学校区の実態に即した、特色ある小中一貫教育の推進を図る。</p>									
事業内容	<p>○事業内容 (1) 実態調査 ・各中学校区における小中連携の実態把握（課長、指導主幹による学校訪問と聞取） (2) 推進委員会設置 ・学校関係者、有識者による推進委員会の実施 ・酒田市における小中一貫教育の推進に向けた検討 (3) 先進校・先進自治体の視察 ・先進校や先進自治体を視察し、酒田市における小中一貫教育の推進につなぐ (4) 中学校区ごとの検討と実践 ・「生徒指導の充実」と「学力の向上」を一体的に進めるべく、これまでの小中連携の取り組みをふまえて、中学校区の実態に応じた検討と実践を進める。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 教育長と学校教育課長が「小中一貫全国サミットinおおつち」を先進地視察 ・先進自治体や先進校の実践紹介から、柱となる取り組みや発達段階に合わせた学年区分の在り方など、地域の実態や目指す子ども像に応じた工夫について、情報を得た。 (2) 平成31年2月に「小中一貫教育推進委員会」を実施 ・文教大学の松田教授（有識者）を招き、市小中学校長会の代表者と共に、本市の小中一貫教育の大きな方向性（生徒指導と学力の一体的向上）とその推進に向けた具体的な取り組みについて意見交換を行った。 ・松田教授からは「9年間の子どもの伸びを足し算で考える視点」を小中で共有する大切さを、「小中一貫教育研修会」（講演）の中でも助言いただいた。 ・小中管理職及び教員を対象に「小中一貫教育研修会」を開催した。 (3) 令和元年度からの推進中学校区への研究委嘱に向け、意向調査を実施</p> <p>○評価・方向性 国の動向や先進地・先進校の取り組みに精通している推進委員を招いて、推進委員会及び研修会を実施した。推進委員会及び研修会を通じて、3年間の年次計画（検討→計画→実践）により、段階的に全中学校区が取り組んでいくこと、また「共通検討内容（どの中学校区でも取り組むもの）」と「選択内容（中学校区の課題をふまえて重点化するもの）」についての共通理解を進めることができた。 令和元年度は、研修会を通じて示した市の基本的な姿勢をふまえ、リード中学校区への研究委嘱と推進状況の全市的な共有により、令和2年度からの実践開始に向けた準備を具体化していく。</p>									
事業成果の概要等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検討委員会の開催数（回）</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	検討委員会の開催数（回）	1	1
評価指標（単位）	目標	実績								
検討委員会の開催数（回）	1	1								
備考										

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課							
事業名	自然体験学習推進事業										
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①							
2,278,000円	1,941,610円	0円	336,390円	85.2%							
目的・趣旨	鳥海高原家族旅行村を基点とする酒田市の自然環境を利用した体験プログラムを開発し、酒田市内の小学生が生まれ育った酒田の自然を体験し、自然の雄大さに触れるとともに、仲間と協力して活動する力の育成を目指す。										
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 自然体験学習実施に必要な設備等の整備。</p> <p>(2) 自然体験学習実施に係る宿泊対応、食事提供の業務委託。</p> <p>(3) 自然体験学習実施に伴う登山等支援者との連携。</p> <p>(4) 自然体験学習実施校の担当教員による事前調査。</p> <p>(5) 自然体験学習のプログラム整備。</p> <p>(6) 関係団体の支援体制や連絡体制の構築。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 平成30年度の自然体験学習には小学校9校、420名の児童が参加した。</p> <p>(2) 荒天のため予定通り実施をすることができなかった学校もあったが、以下のような活動を実施し、酒田の自然の素晴らしさと仲間と協力して活動することの良さを味わうことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳳来山周辺の登山 ・ 鶴間池までの登山 ・ オリエンテーリング ・ 野外炊飯 ・ 自然散策 ・ 木エクラフト ・ ボランティア活動 ・ 星空観察 ・ ロングウオーク ・ ほたるの観察 ・ ネイチャーゲーム ・ 猛禽類保護センターの見学等 <p>○評価・方向性</p> <p>鳥海高原家族旅行村を基点として、酒田の豊かな自然を活用した体験学習を実施するにあたり、児童、教職員のアンケートをもとにプログラムを充実させ、満足度の高い活動を展開することができた。今後も、酒田の自然に触れながら、児童の「生きる力」を育むために本事業を継続していく。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業参加児童の満足度（%）</td> <td>90</td> <td>94</td> </tr> </tbody> </table>					評価指標（単位）	目標	実績	事業参加児童の満足度（%）	90	94
評価指標（単位）	目標	実績									
事業参加児童の満足度（%）	90	94									
備考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 1,900,000円										

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課							
事業名	学校ICT環境整備事業										
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①							
39,775,000円	38,511,720円	0円	1,263,280円	96.8%							
目的・趣旨	学校用各種サーバーの更新及び統合、教職員用の校務用パソコンの更新を図り、安全かつ快適な学校ICT環境を構築するもの。										
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>経年劣化した教職員用の校務用パソコンを計画的更新（2か年）</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 一般役務費（手数料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用済み校務用パソコンの廃棄 <p>(2) OA機器購入費（校務用PC購入費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校務用パソコンを300台更新購入した。 <p>○評価・方向性</p> <p>校務用パソコンを更新したことで、教職員の校務の効率化に繋がった。今後も老朽化した機器及びソフトウェア等の随時更新に努めていく。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小中学校校務用パソコンの適正な配置及び更新の実施率（%）</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>					評価指標（単位）	目標	実績	小中学校校務用パソコンの適正な配置及び更新の実施率（%）	100	100
評価指標（単位）	目標	実績									
小中学校校務用パソコンの適正な配置及び更新の実施率（%）	100	100									
備考											

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課	
事業名	部活動指導員配置事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,802,000円	1,457,991円	0円	344,009円	80.9%	
目的・趣旨	中学校において部活動の指導、大会への引率等を行うことを職務とする部活動指導員を配置することで、教員の負担軽減及び部活動の質的向上を目指す。				
事業成果の概要等	<p>○事業内容 学校長の監督を受け、部活動の技術指導や大会への引率等を行うことを職務とする部活動指導員を中学校に配置した。</p> <p>(1) 配置人数 ・平成30年度に4校(各1名)に配置を行った。</p> <p>(2) 職務内容 ・実技指導 ・安全・障害予防に関する知識・技能の指導 ・学校が外での活動(大会・練習試合等)の引率 ・用具・施設の点検管理 ・部活動の管理運営(会計管理等) ・保護者等への連絡 ・年間・月間指導計画の作成 ・生徒指導に係る対応 ・事故が発生した場合の現場対応 等</p> <p>○事業実績・説明 (1) 希望する中学校4校(第一中学校、第三中学校、第六中学校、東部中学校)に部活動指導員を配置した。 (2) 各校とも210時間勤務し、顧問教員の勤務時間軽減時間数は4校合わせて326時間となっている。その間、顧問教員は生徒との面談や授業の準備などを行うことができている。</p> <p>○評価・方向性 部活動指導員の専門的な指導が、生徒の技術力及び顧問の指導力の向上につながっている。より多くの部活動で業務の軽減化を図っていく。 令和元年度に7校(各1名)に配置を行う。</p>				
	評価指標(単位)		目標	実績	
	5段階中4以上の自己評価をした中学校の割合(%)		80	88	
備考	○主な特定財源 教職員働き方改革推進事業費補助金(県) 896,000円				

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課	
事業名	中学生海外派遣事業「はばたき」				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
6,750,000円	6,263,234円	0円	486,766円	92.8%	
目的・趣旨	英語力を向上すること、自国・郷土の文化の素晴らしさを再認識すること、積極的に現地の人々と交流すること、国際感覚を身につけ他に広めることを主な目的とする。				
事業成果の概要等	<p>○事業内容 (1) 事前学習会4回 (2) 海外派遣10日間 (オハイオ州デンプシー中学校体験入学、ホームステイ、ワシントンD.C.見学) (3) 事後学習会1回、報告会</p> <p>○事業実績・説明 第21回中学生海外派遣事業「はばたき」 (1) 訪問先 アメリカ オハイオ州(ホテル1泊、ホームステイ5泊) ワシントンD.C.(ホテル2泊)</p> <p>(2) 日程 11月1日～11月10日</p> <p>(3) 研修内容 ・ホームステイ(各家庭に一人ずつ) ・現地中学校体験入学(授業体験 日本文化の紹介) (折り紙、書道など日本の文化を約1,000名以上の現地の6、7、8年生に披露) ・ワシントンD.C.見学 (リンカーン記念堂、スミソニアン博物館等においてアメリカの歴史・文化を研修)</p> <p>(4) 参加生徒 酒田市内の中学2年生(19名 男子6名 女子13名)</p> <p>(5) 準備日程等 6月 参加者と保護者対象の説明会、選考会 7月～11月 学習会(5回) 12月 報告会</p> <p>○評価・方向性 選考会には男子10名、女子28名、合計38名が応募し、この事業への関心の高さが感じられた。ホームステイや現地校との交流を通して異文化理解と英語学習の意欲を高めることができた。また、ワシントンD.C.見学ではアメリカの文化や歴史を学び、国際的視野と見聞を広めることができた。 その成果を実行委員会主催の報告会や各校における報告会で報告することで、他の生徒の英語学習や国際理解への興味関心にもつながっており、今後も事業を継続していく。</p>				
	評価指標(単位)		目標	実績	
	事業参加児童の満足度(%)		100	100	
備考					

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課	
事 業 名	「少年の翼」交流事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
3,500,000円	3,418,843円	0円	81,157円	97.7%	
目的・趣旨	小学生の沖縄県今帰仁村への派遣及び同村からの受け入れを通じて異文化に触れ、友情を深め、平和の大切さを学ぶ。また、4泊5日の共同生活を通して心豊かなたくましい酒田の子どもの育成を目指すと共に、酒田の良さを再発見する。				
事業成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 抽選会9月 (2) 事前学習会3回 (3) 派遣5日間(那覇市、名護市、今帰仁村) (4) 事後学習会1回、報告会</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 第26回少年の翼派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程 12月9日～13日 ・研修内容 交歓会、民泊、城跡見学、サトウキビ収穫、歴史・平和学習 首里城見学、紅型染め体験 ・応募者 79名(5年男子18名・女子28名、6年男子17名・女子16名) ・参加者 32名(5年男子9名・女子9名、6年男子7名・女子7名) 受入れ校 兼次小学校 ・準備日程等 9月 抽選会 10月～1月 事前学習会(3回)、事後学習会(1回) <p>(2) 32名の団員募集に対し、79名の応募があり、関心の高さが伺えた。</p> <p>(3) 第29回ふれあい少年の翼受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程 2月6日(水)～9日(土) ・研修内容 かんぼの宿での宿泊、羽黒国民休暇村での宿泊・スキー体験 黒森小学校での交歓会(アトラクション及び交流) 黒森小学校区及び川南地区をはじめとする旧市内での民泊 ・参加者 今帰仁村立の小学校6年生35名 交流担当校 黒森小学校 受入れ 17家庭 <p>○評価・方向性</p> <p>体験や交流を通して児童が視野を広げ、沖縄という異なった地域の文化や自然への理解を深めている。また、故郷である酒田の良さを見直す機会にもなっている。派遣と受け入れという交流活動を通して、今後も相互理解や友情を深めるために本事業を継続していく。</p>				
	評価指標(単位)		目標	実績	
	事業参加児童の満足度(%)		95	100	
備考					

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	4目 教育研究所費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課	
事 業 名	教育研究所運営事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
705,000円	576,645円	0円	128,355円	81.8%	
目的・趣旨	教育研究所所員の資質向上のため、各研究部の活動を支援する。また、たより等で活動内容を広く紹介する。				
事業成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 運営委員会 5月7日、2月12日 運営委員 教育研究所長、教育研究所長代理、小学校長会代表、中学校長会代表、市内各小・中学校及び酒田特別支援学校の教頭、学校教育課</p> <p>(2) 市教研各部総会 5月21日</p> <p>(3) 各教科・領域毎の研究部による授業研究会や研修会の実施(43回)</p> <p>(4) 各教科・領域毎の研究部における講演会や研修会の開催</p> <p>(5) 活動内容の紹介 「研究所だより167号」(5月)、「研究所報第71号」(3月) 「酒田の子ども61号」(3月)</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 各研究部や重点研究部門及び重点事業への派遣や講師招聘経費の補助を行い、教育研究所所員の資質向上を図った。</p> <p>(2) 研究所報、研究所だより、酒田のこどもを発行し、教育研究所や児童生徒の活動内容を広く紹介した。</p> <p>○評価・方向性</p> <p>指導と評価に関する情報や現在の教科指導の動向などについて、共通理解を図ることができた。また、生きる力を支える学力の定着に向けて、研修会や授業研究会を充実させることができた。令和元年度に図書館、令和5年度に生活・総合と特別活動の東北研究大会が続き、今後も所員の資質・能力の向上に向け本事業を継続していく。 「研究所だより」秋号と年度末に発行している「研究所報」の記事に重なりが見られるため、平成30年度より内容を「研究所報」に統合し、「研究所だより」の発行を年2回から年1回とした。</p>				
	評価指標(単位)		目標	実績	
	研究部での授業研究会、研修会の開催回数(回)		60	43	
備考					

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	6目 学事費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課																																																						
事業名	学習バス・スクールバス管理事業																																																									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																						
133,421,000円	125,985,004円	0円	7,435,996円	94.4%																																																						
目的・趣旨	校外学習の充実と遠距離通学対象者の安全な通学手段として学習バス及びスクールバスを運行・管理する。																																																									
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>校外学習用バス3台と遠距離通学用スクールバス24台の運行管理・スクールバス運行基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通年</td> <td>概ね4km以上</td> <td>概ね6km以上</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>概ね3km以上</td> <td>概ね3km以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 学習バス運行</p> <p>・運行件数年次推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="9">(単位：件)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>678</td> <td>883</td> <td>963</td> <td>1,136</td> <td>1,500</td> <td>1,307</td> <td>1,460</td> <td>1,455</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) スクールバス運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>運行台数</th> <th>学 区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田地区</td> <td>10台</td> <td>鳥海小、平田小、第一中、第二中</td> </tr> <tr> <td>八幡地区</td> <td>5台</td> <td>八幡小、鳥海八幡中</td> </tr> <tr> <td>松山地区</td> <td>5台</td> <td>東部中、松山小</td> </tr> <tr> <td>平田地区</td> <td>4台</td> <td>田沢小、南平田小、東部中</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>24台</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>学校統合により遠距離通学者が増加したが、バスの台数・運行回数を増やすことで安全で適切な登下校を実現している。また、学習バスの運行件数は4年連続で1,300件を超えており、校外学習の機会創出に繋がっている。車両の老朽化が目立つので、計画的な更新を行っていく。</p>					小学校	中学校	通年	概ね4km以上	概ね6km以上	冬季	概ね3km以上	概ね3km以上	(単位：件)									年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	件数	678	883	963	1,136	1,500	1,307	1,460	1,455	地区名	運行台数	学 区	酒田地区	10台	鳥海小、平田小、第一中、第二中	八幡地区	5台	八幡小、鳥海八幡中	松山地区	5台	東部中、松山小	平田地区	4台	田沢小、南平田小、東部中	計	24台	
		小学校	中学校																																																							
	通年	概ね4km以上	概ね6km以上																																																							
	冬季	概ね3km以上	概ね3km以上																																																							
	(単位：件)																																																									
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																																		
件数	678	883	963	1,136	1,500	1,307	1,460	1,455																																																		
地区名	運行台数	学 区																																																								
酒田地区	10台	鳥海小、平田小、第一中、第二中																																																								
八幡地区	5台	八幡小、鳥海八幡中																																																								
松山地区	5台	東部中、松山小																																																								
平田地区	4台	田沢小、南平田小、東部中																																																								
計	24台																																																									
評価指標（単位）		目標	実績																																																							
市の基準に則り安全かつ適切な運行を実施する割合（%）		100	100																																																							
備考																																																										

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	6目 学事費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課	
事業名	学習バス・スクールバス整備事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
14,468,000円	14,463,560円	0円	4,440円	99.9%	
目的・趣旨	小学校統合に伴い遠距離通学対象となる児童の通学用スクールバスを購入し、安全な通学手段を確保する。				
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>遠距離通学用スクールバスの更新購入</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>条件付き一般競争入札で（株）庄交コーポレーションより中型バス1台を購入。</p> <p>(1) 中型バス 44人乗り</p> <p>・八幡地区（八幡小、鳥海八幡中）1台 14,463,560円（税込）</p> <p>○評価・方向性</p> <p>老朽化した車両を更新し、学校統合で遠距離通学対象となった児童生徒の安全な通学手段が確保された。今後も老朽化した車両を計画的に更新していく。</p>				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	市の基準に則り安全かつ適切な運行を実施する割合（%）		100	100	
	備考	<p>○主な特定財源</p> <p>へき地児童生徒援助費等補助金（国） 3,680,000円</p> <p>過疎対策事業債（市債） 10,500,000円</p>			

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	6目 学事費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課											
事業名	遠距離通学対策事業														
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①											
61,733,000円	58,598,474円	0円	3,134,526円	94.9%											
目的・趣旨	遠距離通学対象の児童生徒の安全と通学時間の短縮を図る。														
事業・成果の概要等	○事業内容 遠距離通学対象の児童生徒に対し、通学定期券の支給並びにバスやタクシーの借上運行を行った。 ・スクールバス運行基準														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通年</td> <td>概ね4km以上</td> <td>概ね6km以上</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>概ね3km以上</td> <td>概ね3km以上</td> </tr> </tbody> </table>					小学校	中学校	通年	概ね4km以上	概ね6km以上	冬季	概ね3km以上	概ね3km以上		
		小学校	中学校												
	通年	概ね4km以上	概ね6km以上												
	冬季	概ね3km以上	概ね3km以上												
	○事業実績・説明														
	(1) 遠距離通学(通年)対象者に路線バスの通学定期券を支給														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>人数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第四中学校</td> <td>38名</td> <td>新堀地区28名、広野地区10名</td> </tr> </tbody> </table>				学校名	人数	内 容	第四中学校	38名	新堀地区28名、広野地区10名					
	学校名	人数	内 容												
	第四中学校	38名	新堀地区28名、広野地区10名												
(2) 借上バス等による運行															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第四中学校</td> <td>通年借上バス運行(浜中地区) 冬季通学バス運行(黒森、新堀、広野、宮野浦地区)</td> </tr> <tr> <td>東部中学校</td> <td>通年借上バス運行(松山地区) 冬季通学借上バス運行(松山地区)</td> </tr> <tr> <td>南平田小学校</td> <td>冬季通学バス運行(郡鏡地区)</td> </tr> <tr> <td>平田小学校</td> <td>冬季通学借上バス運行</td> </tr> <tr> <td>鳥海小学校</td> <td>冬季通学借上バス運行</td> </tr> </tbody> </table>				学校名	内 容	第四中学校	通年借上バス運行(浜中地区) 冬季通学バス運行(黒森、新堀、広野、宮野浦地区)	東部中学校	通年借上バス運行(松山地区) 冬季通学借上バス運行(松山地区)	南平田小学校	冬季通学バス運行(郡鏡地区)	平田小学校	冬季通学借上バス運行	鳥海小学校	冬季通学借上バス運行
学校名	内 容														
第四中学校	通年借上バス運行(浜中地区) 冬季通学バス運行(黒森、新堀、広野、宮野浦地区)														
東部中学校	通年借上バス運行(松山地区) 冬季通学借上バス運行(松山地区)														
南平田小学校	冬季通学バス運行(郡鏡地区)														
平田小学校	冬季通学借上バス運行														
鳥海小学校	冬季通学借上バス運行														
(3) 通学タクシーによる運行 松原小、一條小、南平田小、田沢小、松山小 一中、二中、六中、鳥海八幡中															
○評価・方向性 現在、全ての遠距離通学対象者にバスやタクシー等による適切な通学対策が講じられており、教育課程の適切な実施や通学時間の短縮、交通安全・防犯に配慮した通学手段を確保している。今後も安全に登下校できるように対応していく。															
評価指標(単位)		目標	実績												
市の基準に則り安全かつ適切な登下校運行を実施する割合(%)		100	100												
備考															

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	6目 学事費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課																																			
事業名	避難児童生徒就学援助事業																																						
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																			
3,688,000円	3,410,394円	0円	277,606円	92.5%																																			
目的・趣旨	東日本大震災により本市に避難している小・中学生及び高校生への学用品費等並びに学校給食費を扶助する。																																						
事業・成果の概要等	○事業内容 避難児童生徒の保護者に対して、学用品費等(学用品費、新入学児童生徒学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、体育実技用具費等)と学校給食費(小学校 260円/食、中学校 305円/食)の扶助を実施した。 平成29年度より新小中学生の新入学用品費の入学前支給を実施した。																																						
	○事業実績・説明 関係各課等と連携し、対象者の把握に努め扶助を実施した。 小・中学生については、県の補助事業(10/10だが、一部上限あり)を活用し、高校生については市の単独事業で実施した。																																						
	・支給内訳 (単位:人、円)																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支給対象</th> <th>人数</th> <th>学校給食費</th> <th>学用品費等</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新入学予定児童(小学校)</td> <td>1</td> <td></td> <td>40,600</td> <td>40,600</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>25</td> <td>1,269,882</td> <td>433,882</td> <td>1,703,764</td> </tr> <tr> <td>新入学予定生徒(中学校)</td> <td>4</td> <td></td> <td>189,600</td> <td>189,600</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>7</td> <td>416,630</td> <td>583,517</td> <td>1,000,147</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>6</td> <td></td> <td>476,283</td> <td>476,283</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>43</td> <td>1,686,512</td> <td>1,723,882</td> <td>3,410,394</td> </tr> </tbody> </table>				支給対象	人数	学校給食費	学用品費等	合 計	新入学予定児童(小学校)	1		40,600	40,600	小学校	25	1,269,882	433,882	1,703,764	新入学予定生徒(中学校)	4		189,600	189,600	中学校	7	416,630	583,517	1,000,147	高等学校	6		476,283	476,283	合 計	43	1,686,512	1,723,882	3,410,394
	支給対象	人数	学校給食費	学用品費等	合 計																																		
	新入学予定児童(小学校)	1		40,600	40,600																																		
	小学校	25	1,269,882	433,882	1,703,764																																		
	新入学予定生徒(中学校)	4		189,600	189,600																																		
	中学校	7	416,630	583,517	1,000,147																																		
	高等学校	6		476,283	476,283																																		
合 計	43	1,686,512	1,723,882	3,410,394																																			
○評価・方向性 避難児童生徒の保護者の経済的負担を軽減することにより、児童生徒が安心して学べる環境を確保することができた。必要性の高い事業と捉えているが、事業の継続については、引き続き国、県の補助事業の動向(補助率の引き下げ、対象者の見直し等)を注視し、対応を検討していく。																																							
評価指標(単位)		目標	実績																																				
本市に避難している児童生徒該当者に対して就学援助を実施する割合(%)		100	100																																				
備考	○主な特定財源 被災児童生徒就学支援等事業費補助金(県) 2,934,071円																																						

款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	3目 学校保健費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課																					
事業名	小学校保健管理事業																								
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																					
45,994,000円	44,547,493円	0円	1,446,507円	96.9%																					
目的・趣旨	学校医等による専門的な指導・助言のもと疾病の予防や健康相談を通して児童等の健康管理を図る。また、教室の照度、プールの水質管理、教室の空気測定を実施し、教育環境の改善を図る。																								
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 児童・教職員の健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医等（学校医・学校歯科医・学校薬剤師）報酬の支給 ・定期健康診断（児童・教職員）、就学時健康診断の実施 ・児童の事故・災害（スポーツ振興センター・全国市長会）給付業務 ・学校保健用品・備品購入 <p>(2) 学校環境衛生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プール水質検査、空気検査、照度検査、ダニ検査 <p>(3) AEDの管理・更新</p>																								
	<p>○事業実績・説明</p> <table border="0"> <tr><td>(1) 学校医等（学校医、学校歯科医、学校薬剤師）報酬</td><td>24,058,000円</td></tr> <tr><td>(2) 就学時健康診断の実施（22校 20か所で実施）</td><td>1,941,860円</td></tr> <tr><td>(3) 水質検査（プール）</td><td>147,073円</td></tr> <tr><td>(4) 教職員定期健康診断</td><td>2,934,380円</td></tr> <tr><td>(5) 児童定期健康診断</td><td>2,095,673円</td></tr> <tr><td>(6) 健康診断器具滅菌料</td><td>678,164円</td></tr> <tr><td>(7) 日本スポーツ振興センター災害共済分担金</td><td>4,380,325円</td></tr> <tr><td>(8) 全国市長会学校災害賠償保険見舞金</td><td>50,000円</td></tr> <tr><td>(9) 保健用消耗品・医薬品の購入（学校分含む）</td><td>6,000,216円</td></tr> <tr><td>(10) 酒田飽海学校保健会負担金</td><td>77,000円</td></tr> <tr><td>(11) 保健用備品の購入</td><td>592,379円</td></tr> </table> <p>・三層固綿敷布団 富士見小 ・担架、収納ケース 泉小 ・オージョメータ 新堀小 ・布担架兼用担架 黒森小 ・スマート液晶視力計 松山小 ・防ダニ布団セット 南平田小 ・診察台 八幡小 ・LED照明灯 松原小・一條小・田沢小</p>				(1) 学校医等（学校医、学校歯科医、学校薬剤師）報酬	24,058,000円	(2) 就学時健康診断の実施（22校 20か所で実施）	1,941,860円	(3) 水質検査（プール）	147,073円	(4) 教職員定期健康診断	2,934,380円	(5) 児童定期健康診断	2,095,673円	(6) 健康診断器具滅菌料	678,164円	(7) 日本スポーツ振興センター災害共済分担金	4,380,325円	(8) 全国市長会学校災害賠償保険見舞金	50,000円	(9) 保健用消耗品・医薬品の購入（学校分含む）	6,000,216円	(10) 酒田飽海学校保健会負担金	77,000円	(11) 保健用備品の購入
(1) 学校医等（学校医、学校歯科医、学校薬剤師）報酬	24,058,000円																								
(2) 就学時健康診断の実施（22校 20か所で実施）	1,941,860円																								
(3) 水質検査（プール）	147,073円																								
(4) 教職員定期健康診断	2,934,380円																								
(5) 児童定期健康診断	2,095,673円																								
(6) 健康診断器具滅菌料	678,164円																								
(7) 日本スポーツ振興センター災害共済分担金	4,380,325円																								
(8) 全国市長会学校災害賠償保険見舞金	50,000円																								
(9) 保健用消耗品・医薬品の購入（学校分含む）	6,000,216円																								
(10) 酒田飽海学校保健会負担金	77,000円																								
(11) 保健用備品の購入	592,379円																								
概要等	<p>○評価・方向性</p> <p>学校保健安全法に基づいて、児童が健やかに成長する上での様々な健康課題に対応するため、健康実態に即した保健指導や保健管理を適切に行っている。今後も個に応じた豊かな教育活動を推進していくため、学校・学校医と連携して対応していく。目的は概ね達成していると考えられ、このまま適切に継続していく。</p>																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業実施率（%）</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	事業実施率（%）	100	100															
評価指標（単位）	目標	実績																							
事業実施率（%）	100	100																							
備考	○主な特定財源 日本スポーツ振興センター保護者負担金 2,013,420円																								

款 項 目	10款 教育費	3項 中学校費	3目 学校保健費	= 予算所属 = 教育委員会学校教育課																			
事業名	中学校保健管理事業																						
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																			
19,910,000円	19,093,701円	0円	816,299円	95.9%																			
目的・趣旨	学校医等による専門的な指導・助言のもと疾病の予防や健康相談を通して生徒等の健康管理を図る。また、教室の照度、教室の空気測定を実施し、教育環境の改善を図る。																						
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 生徒・教職員の健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医等（学校医・学校歯科医・学校薬剤師）報酬の支給 ・定期健康診断（生徒・教職員） ・生徒の事故・災害（スポーツ振興センター・全国市長会）給付業務 ・学校保健用品・備品購入 <p>(2) 学校環境衛生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気検査、照度検査、ダニ検査 <p>(3) AEDの管理・更新</p>																						
	<p>○事業実績・説明</p> <table border="0"> <tr><td>(1) 学校医等（学校医、学校歯科医、学校薬剤師）報酬</td><td>7,906,500円</td></tr> <tr><td>(2) 報償金（派遣医師）</td><td>658,750円</td></tr> <tr><td>(3) 教職員定期健康診断</td><td>1,866,886円</td></tr> <tr><td>(4) 生徒定期健康診断</td><td>3,391,134円</td></tr> <tr><td>(5) 健康診断器具滅菌料</td><td>277,020円</td></tr> <tr><td>(6) 日本スポーツ振興センター災害共済分担金</td><td>2,458,125円</td></tr> <tr><td>(7) 全国市長会学校災害賠償保険見舞金</td><td>90,000円</td></tr> <tr><td>(8) 保健用消耗品・医薬品の購入（学校分含む）</td><td>1,383,964円</td></tr> <tr><td>(9) 酒田飽海学校保健会負担金</td><td>44,000円</td></tr> <tr><td>(10) 保健用備品の購入</td><td>214,833円</td></tr> </table> <p>・身長計 第三中 ・ソファベッド 第六中 ・診察用回転いす 東部中 ・LED照明灯 第三中・鳥海八幡中</p>				(1) 学校医等（学校医、学校歯科医、学校薬剤師）報酬	7,906,500円	(2) 報償金（派遣医師）	658,750円	(3) 教職員定期健康診断	1,866,886円	(4) 生徒定期健康診断	3,391,134円	(5) 健康診断器具滅菌料	277,020円	(6) 日本スポーツ振興センター災害共済分担金	2,458,125円	(7) 全国市長会学校災害賠償保険見舞金	90,000円	(8) 保健用消耗品・医薬品の購入（学校分含む）	1,383,964円	(9) 酒田飽海学校保健会負担金	44,000円	(10) 保健用備品の購入
(1) 学校医等（学校医、学校歯科医、学校薬剤師）報酬	7,906,500円																						
(2) 報償金（派遣医師）	658,750円																						
(3) 教職員定期健康診断	1,866,886円																						
(4) 生徒定期健康診断	3,391,134円																						
(5) 健康診断器具滅菌料	277,020円																						
(6) 日本スポーツ振興センター災害共済分担金	2,458,125円																						
(7) 全国市長会学校災害賠償保険見舞金	90,000円																						
(8) 保健用消耗品・医薬品の購入（学校分含む）	1,383,964円																						
(9) 酒田飽海学校保健会負担金	44,000円																						
(10) 保健用備品の購入	214,833円																						
概要等	<p>○評価・方向性</p> <p>学校保健安全法に基づいて、生徒が将来の健康を見通す上での様々な健康課題に対応するため、健康実態に即した保健指導や保健管理を適切に行っている。今後も個に応じた豊かな教育活動を推進していくため、学校・学校医等と連携していく。目的は概ね達成していると考えられ、このまま適切に継続していく。</p>																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標（単位）</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業実施率（%）</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標（単位）	目標	実績	事業実施率（%）	100	100													
評価指標（単位）	目標	実績																					
事業実施率（%）	100	100																					
備考	○主な特定財源 日本スポーツ振興センター保護者負担金 1,115,500円																						

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	1 目 生涯学習振興費	= 予算所属 = 教育委員会社会教育文化課																																																																																																																						
事 業 名	生涯学習推進講座開催事業																																																																																																																									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																																																																						
3,123,000円	2,580,857円	0円	542,143円	82.6%																																																																																																																						
目 的・趣 旨	いつでも、どこでも、だれでも、生涯にわたり主体的に学ぶ機会を充実することにより、その学習機会を得た知識を活気あるまちづくり・地域づくりに生かせるよう、生涯学習を推進する。																																																																																																																									
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに合わせた学びの提供 ・「個人のニーズ」と「社会の要請」の学習機会をバランスよく提供 ・学んだ成果を地域に生かせる学習機会の提供 ・地域・家庭・学校・幼稚園・保育所等と連携した事業の推進 ・家庭教育支援の充実 <p>○事業実績・説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夏休み宿題お手伝い教室」では退職公務員連盟の教職員OBと連携し、小学4～6年生の夏休みの課題の解決支援を行うとともに、教職員OBの方の活躍の場を創出することができた。「中央公民館巨大迷路」や「雪遊び&ピザ作りを楽しもう！」など、体験型の少年講座の満足度が高く、郷土愛の醸成にもつながった。 ・「地域の教育力向上スキルアップ講座」では、コミュニティ振興会の職員を対象に、鳥海山・飛鳥ジオパーク認定ガイドを講師に迎え研修会を実施し、各地区の取組みや課題などを共有した。 <p style="text-align: right;">(単位：講座、回、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">講座区分</th> <th colspan="3">平成28年度</th> <th colspan="3">平成29年度</th> <th colspan="3">平成30年度</th> </tr> <tr> <th>講座数</th> <th>実施回数</th> <th>延べ参加人数</th> <th>講座数</th> <th>実施回数</th> <th>延べ参加人数</th> <th>講座数</th> <th>実施回数</th> <th>延べ参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼児講座</td> <td>4</td> <td>31</td> <td>1,731</td> <td>4</td> <td>25</td> <td>1,040</td> <td>3</td> <td>33</td> <td>1,477</td> </tr> <tr> <td>少年講座</td> <td>10</td> <td>465</td> <td>12,717</td> <td>9</td> <td>431</td> <td>8,231</td> <td>11</td> <td>416</td> <td>8,129</td> </tr> <tr> <td>青年講座</td> <td>7</td> <td>31</td> <td>287</td> <td>4</td> <td>18</td> <td>204</td> <td>3</td> <td>21</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td>成人講座</td> <td>12</td> <td>51</td> <td>706</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>213</td> <td>7</td> <td>22</td> <td>489</td> </tr> <tr> <td>家庭教育講座</td> <td>8</td> <td>81</td> <td>3,444</td> <td>5</td> <td>73</td> <td>3,493</td> <td>5</td> <td>47</td> <td>2,517</td> </tr> <tr> <td>指導者養成講座</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>420</td> <td>5</td> <td>17</td> <td>314</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>催し</td> <td>9</td> <td>15</td> <td>18,149</td> <td>9</td> <td>25</td> <td>16,610</td> <td>5</td> <td>20</td> <td>14,968</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>54</td> <td>684</td> <td>37,454</td> <td>40</td> <td>602</td> <td>30,105</td> <td>37</td> <td>567</td> <td>27,934</td> </tr> <tr> <td>満足度</td> <td colspan="3">88%</td> <td colspan="3">93%</td> <td colspan="3">93%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>講座内容を整理検討した結果、講座数と参加者数が減少したが、内容を充実させたため、満足度については参加者から高い評価を得ることができた。</p> <p>市民ニーズである「個人の要望」や現代的課題の解決に向けた「社会の要請」に応えるため、様々な学習機会の提供を行っていく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①延べ参加者数 (人)</td> <td>①34,000</td> <td>①27,934</td> </tr> <tr> <td>②参加者の事業に対する満足度 (%)</td> <td>②85</td> <td>②93</td> </tr> </tbody> </table>				講座区分	平成28年度			平成29年度			平成30年度			講座数	実施回数	延べ参加人数	講座数	実施回数	延べ参加人数	講座数	実施回数	延べ参加人数	幼児講座	4	31	1,731	4	25	1,040	3	33	1,477	少年講座	10	465	12,717	9	431	8,231	11	416	8,129	青年講座	7	31	287	4	18	204	3	21	204	成人講座	12	51	706	4	13	213	7	22	489	家庭教育講座	8	81	3,444	5	73	3,493	5	47	2,517	指導者養成講座	4	10	420	5	17	314	3	8	150	催し	9	15	18,149	9	25	16,610	5	20	14,968	計	54	684	37,454	40	602	30,105	37	567	27,934	満足度	88%			93%			93%			評価指標 (単位)	目標	実績	①延べ参加者数 (人)	①34,000	①27,934	②参加者の事業に対する満足度 (%)	②85	②93
講座区分	平成28年度			平成29年度			平成30年度																																																																																																																			
	講座数	実施回数	延べ参加人数	講座数	実施回数	延べ参加人数	講座数	実施回数	延べ参加人数																																																																																																																	
幼児講座	4	31	1,731	4	25	1,040	3	33	1,477																																																																																																																	
少年講座	10	465	12,717	9	431	8,231	11	416	8,129																																																																																																																	
青年講座	7	31	287	4	18	204	3	21	204																																																																																																																	
成人講座	12	51	706	4	13	213	7	22	489																																																																																																																	
家庭教育講座	8	81	3,444	5	73	3,493	5	47	2,517																																																																																																																	
指導者養成講座	4	10	420	5	17	314	3	8	150																																																																																																																	
催し	9	15	18,149	9	25	16,610	5	20	14,968																																																																																																																	
計	54	684	37,454	40	602	30,105	37	567	27,934																																																																																																																	
満足度	88%			93%			93%																																																																																																																			
評価指標 (単位)	目標	実績																																																																																																																								
①延べ参加者数 (人)	①34,000	①27,934																																																																																																																								
②参加者の事業に対する満足度 (%)	②85	②93																																																																																																																								
備 考	○主な特定財源 地方創生推進交付金 (国) 43,915円 地域少子化対策重点推進交付金 (県) 95,700円 家庭教育推進事業費補助金 (県) 164,700円																																																																																																																									

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	1 目 生涯学習振興費	= 予算所属 = 教育委員会社会教育文化課																								
事 業 名	生涯学習振興支援事業																											
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																								
626,000円	626,000円	0円	0円	100.0%																								
目 的・趣 旨	青少年の健全育成活動、婦人会活動など、社会教育団体による自主活動に対して支援する。																											
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>酒田市子ども会育成連合会、酒田海洋少年団、酒田市婦人会連絡協議会、酒田市青少年を伸ばそう市民会議及び酒田市白鳥を愛する会の活動に対して、支援を行った。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>各団体、設置目的を達成するための事業を計画・実施し、成果をあげている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助団体</th> <th>補助金額</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田市子ども会育成連合会</td> <td>90,000円</td> <td>各学区総会や関係団体との連携、子どもまつり運営協力、リーダー研修会、会報発行ほか</td> </tr> <tr> <td>酒田海洋少年団</td> <td>144,000円</td> <td>通常訓練、合宿訓練、少年団交流、日本海洋少年団東北大会参加、その他催しや訓練を通じた少年の健全育成</td> </tr> <tr> <td>酒田市婦人会連絡協議会</td> <td>167,000円</td> <td>関係団体との連携、酒田地方婦人大会、県婦人大会、リーダー研修会ほか</td> </tr> <tr> <td>酒田市青少年を伸ばそう市民会議</td> <td>135,000円</td> <td>青少年の健全育成に係る会員研修、街頭啓発活動、巡回指導、会報発行ほか</td> </tr> <tr> <td>酒田市白鳥を愛する会</td> <td>90,000円</td> <td>スワンパーク自然環境づくり、花植え環境整備、清掃、白鳥観察活動ほか</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性</p> <p>各団体とも事業計画に則った所定の活動を実施した結果、仲間づくりや青少年の健全育成、郷土愛の醸成等に寄与している。</p> <p>各団体を支援することは、本市の社会教育の推進に欠くことができないものであり、今後も活動内容を点検しながら必要な支援をしていく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助金交付団体の活動回数 (回)</td> <td>140</td> <td>143</td> </tr> </tbody> </table>				補助団体	補助金額	活動内容	酒田市子ども会育成連合会	90,000円	各学区総会や関係団体との連携、子どもまつり運営協力、リーダー研修会、会報発行ほか	酒田海洋少年団	144,000円	通常訓練、合宿訓練、少年団交流、日本海洋少年団東北大会参加、その他催しや訓練を通じた少年の健全育成	酒田市婦人会連絡協議会	167,000円	関係団体との連携、酒田地方婦人大会、県婦人大会、リーダー研修会ほか	酒田市青少年を伸ばそう市民会議	135,000円	青少年の健全育成に係る会員研修、街頭啓発活動、巡回指導、会報発行ほか	酒田市白鳥を愛する会	90,000円	スワンパーク自然環境づくり、花植え環境整備、清掃、白鳥観察活動ほか	評価指標 (単位)	目標	実績	補助金交付団体の活動回数 (回)	140	143
補助団体	補助金額	活動内容																										
酒田市子ども会育成連合会	90,000円	各学区総会や関係団体との連携、子どもまつり運営協力、リーダー研修会、会報発行ほか																										
酒田海洋少年団	144,000円	通常訓練、合宿訓練、少年団交流、日本海洋少年団東北大会参加、その他催しや訓練を通じた少年の健全育成																										
酒田市婦人会連絡協議会	167,000円	関係団体との連携、酒田地方婦人大会、県婦人大会、リーダー研修会ほか																										
酒田市青少年を伸ばそう市民会議	135,000円	青少年の健全育成に係る会員研修、街頭啓発活動、巡回指導、会報発行ほか																										
酒田市白鳥を愛する会	90,000円	スワンパーク自然環境づくり、花植え環境整備、清掃、白鳥観察活動ほか																										
評価指標 (単位)	目標	実績																										
補助金交付団体の活動回数 (回)	140	143																										
備 考																												

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	1 目 生涯学習振興費	= 予 算 所 属 = 教育委員会社会教育文化課
事 業 名	学校・家庭・地域の連携協働推進事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
283,000 円	283,000 円	0 円	0 円	100.0 %
目 的・趣 旨	子ども同士が主体的に関わり、地域住民等の参画や地域の特色を活かした体験活動を実施することにより、地域住民が児童と交流し、地域ぐるみで子どもを育成すること、地域コミュニティの活性化を推進することを目的とする。			
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 地域が主体となり、放課後等にコミュニティセンター等を利用し、児童に対しての居場所と体験活動を提供した。 コーディネーターを設置し、コーディネーター、推進員、地域協力者による放課後子ども教室運営委員会により、教室の企画から運営を行った。 内容としては、公式輪投げ体験、算数ボードゲーム教室、読み聞かせ、書初め・グループレター製作、パソコン開放日等である。</p> <p>○事業実績・説明 『みやのうらっ子放課後子ども教室』 委託先：みやのうらっ子放課後子ども教室実行委員会 会場：宮野浦コミュニティ防災センター 特別プログラム（体験教室）年間39回実施、延べ参加児童263名、 大人（スタッフを含む）の延べ参加者172名</p> <p>○評価・方向性 多くの児童が日常的にコミュニティセンターを訪れ、友達と宿題をしたり、遊んだりし、スタッフの細やかな対応で、子どもたちも安心して過ごしている様子が見られた。また、学校と学童保育所、地域が連絡を取りながら、子どもの安全、自主性に配慮した運営が実施されている。 今後も地元の声を聞きながら、安全面に配慮し継続して実施していく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	①児童の延べ参加者数（人）		①560	①263
	②特別プログラム開催時のサポーターの延べ参加者数（人）		②120	②172
備 考	○主な特定財源 学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金（県）188,300円			

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	1 目 生涯学習振興費	= 予 算 所 属 = 教育委員会社会教育文化課
事 業 名	鳥海山・飛鳥ジオパーク講座開催事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
308,000 円	199,834 円	0 円	108,166 円	64.9 %
目 的・趣 旨	鳥海山・飛鳥ジオパークの自然・歴史・文化等について学ぶ機会をつくることにより、郷土を愛し大切にしようとする心を育て、観光部門と連携分担し、鳥海山・飛鳥ジオパークの活性化に資する。			
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 飛鳥まるごとジオツアー 飛鳥島内のジオサイトをガイドより案内していただき、飛鳥の自然・歴史・文化等に関して学ぶツアー。 ワンダージオバスツアー 鳥海山・飛鳥ジオパーク内のジオサイトを1日かけバスで探訪し学ぶツアー。 はじめてのジオ講座 「ジオパークってなに？」といった初学者向けの講座。講義とジオサイト訪問の内容で構成している。</p> <p>○事業実績・説明 「飛鳥まるごとジオツアー」は大人を対象として1泊2日の内容で構成した。実際に現地でガイドの説明のもと、ジオパークに「見て・感じて・触れる」体験を取り入れて実施した。参加者：3名 「ワンダージオバスツアー」は小学4～6年生を対象とし遊佐エリア内のジオサイトを訪問した。夏休み前に実施することで、自由研究の題材としてジオを取り上げてもらうことをねらいとしている。途中、体験活動や簡単な実験を行い、よりジオパークに興味をわくようにツアー内容を構成した。参加者：11名 「はじめてのジオ講座」は大人を対象とし、第1回を講義、第2～3回は現地探訪の全3回講座として実施した。飯森山や城輪跡などのジオサイトを訪問し、特に酒田の歴史・文化的観点からガイドをしていただいた。延べ参加者：41名</p> <p>○評価・方向性 「はじめてのジオ講座」は、ガイドの方より提案があり実施に至ったものである。あまり知られていない地元のジオサイトを詳しく解説していただき、受講者からは、大変好評を得た。「ワンダージオバスツアー」についても、講座終了後、参加児童から「夏休みの自由研究でジオを取り上げたい」という声も聞かれ、ねらいどおりのツアーが実施できた。 体験活動や現地探訪を通して、ジオパークに対する一定の理解をしていただくことができたが、参加者が少なかった。講座の日時設定や募集方法について検討していく。今後も、ガイドの方より協力いただき、鳥海山・飛鳥ジオパークについてわかりやすく学ぶことのできる機会を提供し、ジオパークの活性化につながる事業を展開していく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	参加者の事業に対する満足度（%）		85	93
備 考				

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	2 目 文化振興費	= 予 算 所 属 = 教育委員会社会教育文化課																
事 業 名	文化施設長寿命化対策事業																			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																
273,923,000円	227,853,992円	0円	46,069,008円	83.2%																
目 的・趣 旨	文化施設について、予防修繕的な視点や考え方による対策を行うことで修繕費用を抑制するとともに機能の維持・長寿命化を図る。																			
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 市民会館、美術館及び写真展示館の3施設について、安全性の向上及び機能の劣化防止等の対策を行った。																			
	○事業実績・説明																			
	(1) 施設修繕料																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">市民会館</td> <td>冷温水発生機修繕</td> <td>4,021,920</td> </tr> <tr> <td>その他修繕</td> <td>1,353,888</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">美術館</td> <td>換気扇修繕</td> <td>723,600</td> </tr> <tr> <td>非常口扉修繕</td> <td>624,240</td> </tr> <tr> <td>写真展示館</td> <td>第2収蔵庫系加湿器交換修繕</td> <td>486,000</td> </tr> </tbody> </table>					内容	金額 (円)	市民会館	冷温水発生機修繕	4,021,920	その他修繕	1,353,888	美術館	換気扇修繕	723,600	非常口扉修繕	624,240	写真展示館	第2収蔵庫系加湿器交換修繕	486,000
		内容	金額 (円)																	
	市民会館	冷温水発生機修繕	4,021,920																	
		その他修繕	1,353,888																	
	美術館	換気扇修繕	723,600																	
		非常口扉修繕	624,240																	
	写真展示館	第2収蔵庫系加湿器交換修繕	486,000																	
(2) 手数料																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美術館</td> <td>空調制御盤更新工事監理手数料 他</td> <td>1,773,704</td> </tr> </tbody> </table>					内容	金額 (円)	美術館	空調制御盤更新工事監理手数料 他	1,773,704											
	内容	金額 (円)																		
美術館	空調制御盤更新工事監理手数料 他	1,773,704																		
(3) 委託料																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>写真展示館</td> <td>内装改修工事設計業務委託 他</td> <td>4,924,800</td> </tr> </tbody> </table>					内容	金額 (円)	写真展示館	内装改修工事設計業務委託 他	4,924,800											
	内容	金額 (円)																		
写真展示館	内装改修工事設計業務委託 他	4,924,800																		
(4) 工事費																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民会館</td> <td>舞台照明調光操作卓改修工事</td> <td>61,560,000</td> </tr> <tr> <td>美術館</td> <td>空調制御盤更新工事</td> <td>146,880,000</td> </tr> <tr> <td>写真展示館</td> <td>高圧受電設備更新工事</td> <td>5,505,840</td> </tr> </tbody> </table>					内容	金額 (円)	市民会館	舞台照明調光操作卓改修工事	61,560,000	美術館	空調制御盤更新工事	146,880,000	写真展示館	高圧受電設備更新工事	5,505,840					
	内容	金額 (円)																		
市民会館	舞台照明調光操作卓改修工事	61,560,000																		
美術館	空調制御盤更新工事	146,880,000																		
写真展示館	高圧受電設備更新工事	5,505,840																		
○評価・方向性 利用者の安全面に関する設備更新や、必要不可欠な空調機器等に関する修繕等により施設の安全性・快適性を維持している。 引き続き優先順位の高い修繕等を実施していく。																				
評価指標 (単位)		目標	実績																	
		年度内事業の完了	一部完了																	
備 考	○主な特定財源 希望ホール振興基金繰入金 3,191,000円 合併特例事業債 (市債) 208,800,000円																			

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	2 目 文化振興費	= 予 算 所 属 = 教育委員会社会教育文化課				
事 業 名	庄内文化賞・阿部次郎文化賞顕彰事業							
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①				
617,000円	491,414円	0円	125,586円	79.6%				
目 的・趣 旨	芸術、学術分野等の活動において優れた成果をあげた個人又は団体を顕彰し、庄内地方の芸術、文化の振興に寄与することを目的とする。							
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 庄内文化賞、阿部次郎文化賞共に規則に基づき、芸術、学術等の分野で優れた業績のあった者に対し、顕彰した。							
	○事業実績・説明							
	(1) 第40回庄内文化賞授賞者							
	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 黒森歌舞伎妻堂連中 ・受賞部門 伝統芸能 (黒森歌舞伎) ・受賞理由 伝統文化の継承と発展に多大な貢献 ・受賞者数 (昭和54年度～平成30年度) 							
	個人・団体別							
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>個人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>団体</td> <td>14団体</td> </tr> </tbody> </table>				個人	26人	団体	14団体
	個人	26人						
	団体	14団体						
	(2) 第35回阿部次郎文化賞授賞者							
	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 田中 章夫 氏 ・受賞部門 美学 ・受賞理由 美術を中心に、本市の文化芸術振興に多大な貢献 ・受賞者数 (昭和59年度～平成30年度) 							
個人・団体別								
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>個人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>団体</td> <td>4団体</td> </tr> </tbody> </table> ※該当なし 9回				個人	22人	団体	4団体	
個人	22人							
団体	4団体							
○評価・方向性 両文化賞共に顕彰できたことから、文化芸術に対する市民の関心を呼び起し、市民が文化芸術活動に参加する契機となり、結果として、庄内地方の芸術文化の振興に寄与できた。 授賞者の推薦数の増加のために、推薦団体やPR方法などの検討を引き続き行っていく。								
評価指標 (単位)		目標	実績					
授賞者数 (人)		2	2					
備 考	○主な特定財源 庄内文化賞基金繰入金 307,535円 阿部次郎文化賞基金繰入金 183,879円							

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	2 目 文化振興費	= 予算所属 = 教育委員会社会教育文化課	
事 業 名	土門拳文化賞顕彰事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
534,000 円	534,000 円	0 円	0 円	100.0 %	
目 的・趣 旨	土門拳氏の功績を通して酒田市を全国に向けPRするとともに、写真展示館の魅力を広め、写真文化の振興に寄与する。				
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 故土門拳氏の偉大な功績を記念するとともに、写真文化、写真芸術の振興に寄与するために、国内のアマチュア写真愛好家を対象に写真コンクールを実施し、土門拳文化賞（1名）と同奨励賞（3名）を授与。 30年度は第25回公募及び第24回受賞作品の展示を行った。</p> <p>○事業実績・説明 酒田市土門拳文化賞に関する要綱第10条の規定により、作品公募等の業務は公益財団法人土門拳記念館に委託（30年度は第25回公募及び第24回受賞作品の展示業務のみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第25回酒田市土門拳文化賞の公募に関する業務 平成30年4月～平成31年3月 ・第24回酒田市土門拳文化賞受賞作品の展示 平成30年6月5日～6月11日（ニコンプラザ新宿） 平成30年11月29日～12月5日（ニコンプラザ大阪） <p>○評価・方向性 平成30年度は、それまで東京で行っていた選考会を翌年度から酒田で実施するため、選考等の業務を実施せず、公募のみを計画に従って実施した。 第24回酒田市土門拳文化賞作品展を東京と大阪で実施し、例年同様多くの観客が受賞作を鑑賞する機会を提供できた。 令和元年度から選考会（6月）・授賞式（9月）を酒田で行うこととし、文化芸術推進事業における写真事業と関連させ、写真展示館のPRとともに酒田の写真文化の振興につなげていく。</p>				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	受賞作品展入館者数（人）		1,800	1,900	
備 考					

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	2 目 文化振興費	= 予算所属 = 教育委員会社会教育文化課	
事 業 名	土門拳作品保存事業				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
1,256,000 円	1,190,850 円	0 円	65,150 円	94.8 %	
目 的・趣 旨	土門拳記念館に收藏されている土門拳撮影フィルムについて、ビネガーシンドロームといわれる化学変化による劣化が進行しているため、長期保存対策を実施。				
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 発生する作品保存に影響するガスを除去し劣化の進行を抑制するとともに、フィルムの延命化に有効なフィルム保存容器への入れ替え作業を実施した。</p> <p>○事業実績・説明 （1）保存対策作品 土門拳撮影4×5判モノクロフィルム （残分約12,742コマ） 土門拳撮影の4×5判モノクロフィルムについて、延命化に有効な中性紙フォルダに入れ替えし、ストレージボックスに保管した。</p> <p>（2）保存対策用消耗品の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三つ折りフォルダ 252,720円 ・ストレージボックス 206,841円 ・ケミカル除去シート 518,400円 ・ケミカルフィルター 171,849円 ・ビニールカーテン 41,040円 <p>○評価・方向性 世界的写真家土門拳の芸術性の高い作品を後世に残すことは非常に重要なことであり、ビネガーシンドローム対策も35ミリフィルム、4×5判フィルムの枯らし処理（ガス除去）及び包材入替えを計画的に実施し、今後も作品の良好な管理に努める。</p>				
	評価指標（単位）		目標	実績	
	フィルム保存状態良好割合（%）		90	100	
備 考					

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	2 目 文化振興費	= 予 算 所 属 = 教育委員会社会教育文化課																																	
事 業 名	市民会館自主事業等運営事業																																				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																	
9,271,000円	9,265,300円	0円	5,700円	99.9%																																	
目 的・趣 旨	質の高い公演を開催することにより、全国へ向けて広く本市の情報発信を行うとともに、市民の鑑賞機会の充実と住民福祉の向上に寄与する。																																				
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 (1) 市民公募による希望ホール自主事業企画運営委員会を組織し、鑑賞事業をはじめ、人材育成を目的に市民参加型事業を実施した。 (2) 年1回開催される山形交響楽団庄内定期演奏会酒田公演へ支援した。																																				
	○事業実績・説明 ・主催事業 (単位：人)																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>公演名</th> <th>開催日</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山田和樹指揮 東京混声合唱団</td> <td>4/13</td> <td>590</td> </tr> <tr> <td>公共ホール現代ダンス活性化事業（アウトリーチ）</td> <td>10/4,5</td> <td>203</td> </tr> <tr> <td>公共ホール現代ダンス活性化事業（親子ワークショップ）</td> <td>10/6</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>公共ホール現代ダンス活性化事業（一般ワークショップ）</td> <td>10/6</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>工藤俊幸氏による合唱指導</td> <td>10/11,12</td> <td>424</td> </tr> <tr> <td>第2回アートのカ 宝は足下にある</td> <td>10/27</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>佐藤志穂 ミュージカル・ワークショップ</td> <td>11/17,18</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>演劇集団 風煉ダンス 音楽劇「まつろわぬ民」</td> <td>12/1</td> <td>592</td> </tr> <tr> <td>航空自衛隊 北部航空音楽隊コンサート</td> <td>3/20</td> <td>1,006</td> </tr> <tr> <td>航空自衛隊 北部航空音楽隊クリニック</td> <td>3/21</td> <td>91</td> </tr> </tbody> </table>				公演名	開催日	入場者数	山田和樹指揮 東京混声合唱団	4/13	590	公共ホール現代ダンス活性化事業（アウトリーチ）	10/4,5	203	公共ホール現代ダンス活性化事業（親子ワークショップ）	10/6	12	公共ホール現代ダンス活性化事業（一般ワークショップ）	10/6	15	工藤俊幸氏による合唱指導	10/11,12	424	第2回アートのカ 宝は足下にある	10/27	111	佐藤志穂 ミュージカル・ワークショップ	11/17,18	11	演劇集団 風煉ダンス 音楽劇「まつろわぬ民」	12/1	592	航空自衛隊 北部航空音楽隊コンサート	3/20	1,006	航空自衛隊 北部航空音楽隊クリニック	3/21	91
	公演名	開催日	入場者数																																		
	山田和樹指揮 東京混声合唱団	4/13	590																																		
	公共ホール現代ダンス活性化事業（アウトリーチ）	10/4,5	203																																		
	公共ホール現代ダンス活性化事業（親子ワークショップ）	10/6	12																																		
	公共ホール現代ダンス活性化事業（一般ワークショップ）	10/6	15																																		
	工藤俊幸氏による合唱指導	10/11,12	424																																		
	第2回アートのカ 宝は足下にある	10/27	111																																		
佐藤志穂 ミュージカル・ワークショップ	11/17,18	11																																			
演劇集団 風煉ダンス 音楽劇「まつろわぬ民」	12/1	592																																			
航空自衛隊 北部航空音楽隊コンサート	3/20	1,006																																			
航空自衛隊 北部航空音楽隊クリニック	3/21	91																																			
・共催事業 (単位：人)																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>公演名</th> <th>開催日</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>劇団わらび座ミュージカル「北前ザンブリコ」</td> <td>5/13</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>市原多朗マスターコース（公開レッスン）</td> <td>6/2</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>市原多朗マスターコース（伴奏法講座）</td> <td>6/2</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>市原多朗マスターコース（コンサート）</td> <td>6/3</td> <td>430</td> </tr> <tr> <td>CRAZY KEN BAND TOUR2018</td> <td>9/1</td> <td>660</td> </tr> <tr> <td>クトロヴァッツ兄弟ピアノデュオコンサート酒田公演</td> <td>9/28</td> <td>607</td> </tr> <tr> <td>スターダストレビュー ライブツアー「還暦少年」</td> <td>3/9</td> <td>899</td> </tr> </tbody> </table>				公演名	開催日	入場者数	劇団わらび座ミュージカル「北前ザンブリコ」	5/13	900	市原多朗マスターコース（公開レッスン）	6/2	111	市原多朗マスターコース（伴奏法講座）	6/2	42	市原多朗マスターコース（コンサート）	6/3	430	CRAZY KEN BAND TOUR2018	9/1	660	クトロヴァッツ兄弟ピアノデュオコンサート酒田公演	9/28	607	スターダストレビュー ライブツアー「還暦少年」	3/9	899										
公演名	開催日	入場者数																																			
劇団わらび座ミュージカル「北前ザンブリコ」	5/13	900																																			
市原多朗マスターコース（公開レッスン）	6/2	111																																			
市原多朗マスターコース（伴奏法講座）	6/2	42																																			
市原多朗マスターコース（コンサート）	6/3	430																																			
CRAZY KEN BAND TOUR2018	9/1	660																																			
クトロヴァッツ兄弟ピアノデュオコンサート酒田公演	9/28	607																																			
スターダストレビュー ライブツアー「還暦少年」	3/9	899																																			
・第23回山形交響楽団庄内定期演奏会酒田公演 (単位：人)																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>公演名</th> <th>開催日</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指揮・ホルン ラデク・パボラーク</td> <td>6/16</td> <td>865</td> </tr> </tbody> </table>				公演名	開催日	入場者数	指揮・ホルン ラデク・パボラーク	6/16	865																												
公演名	開催日	入場者数																																			
指揮・ホルン ラデク・パボラーク	6/16	865																																			
○評価・方向性 酒田市文化芸術基本条例と酒田市文化芸術推進計画に基づき、計画的かつ継続性のある市民参加型事業を実施。希望ホールの事業だけでなく文化芸術全般の分野を対象とし、すべての市民に向けた事業を実施することを目的に、希望ホール自主事業企画運営委員会は30年度末をもって解散し新たな組織を立ち上げた。																																					
評価指標（単位）		目標	実績																																		
希望ホール自主事業実施事業数（本）		20	24																																		
備 考	○主な特定財源 市町村総合交付金（山形交響楽団活用事業）（県） 718,000円 希望ホール振興基金利子及び配当金 43,298円																																				

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	2 目 文化振興費	= 予 算 所 属 = 教育委員会社会教育文化課																
事 業 名	市民芸術祭開催事業																			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																
2,761,000円	2,761,000円	0円	0円	100.0%																
目 的・趣 旨	市民の文化芸術活動を広く一般に公開する場として「酒田市民芸術祭」を開催し、文化芸術に対する市民の理解と関心を深めるとともに、文化芸術団体等の活動を支援し振興を図る。																			
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 市、教育委員会及び酒田市芸術文化協会が、市民芸術祭実行委員会を組織し、9月から12月にかけて第62回の事業を開催した。 (1) 参加事業 ・市民会館での開幕公演を含め、市内各地を会場として市民芸術祭の参加事業が開催された。 ・第1回障がい者アート展を開催し、11団体、112人作品に参加いただき、541人来場いただいた。 ・第56回山形県民芸術祭において、酒田市民芸術祭参加事業である、酒田吹奏楽団「プラスのひびき2018」が奨励賞を受賞した。 (2) 芸術祭の記録 ・酒田市民芸術祭の終了後、写真や文章で振り返る酒田市民芸術祭の記録を作成した。																			
	○事業実績・説明 (1) 開幕公演の内容																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>出演団体数</th> <th>主題</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>11団体</td> <td>「海」～海と生きる～</td> <td>885人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>3団体</td> <td>伝えたいこと</td> <td>606人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>5団体</td> <td>月 悠久の時を超えて未来へ…</td> <td>730人</td> </tr> </tbody> </table>				年度	出演団体数	主題	入場者数	平成28年度	11団体	「海」～海と生きる～	885人	平成29年度	3団体	伝えたいこと	606人	平成30年度	5団体	月 悠久の時を超えて未来へ…	730人
	年度	出演団体数	主題	入場者数																
	平成28年度	11団体	「海」～海と生きる～	885人																
	平成29年度	3団体	伝えたいこと	606人																
	平成30年度	5団体	月 悠久の時を超えて未来へ…	730人																
	(2) 参加事業																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加団体数</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>38団体</td> <td>26,861人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>39団体</td> <td>26,154人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>38団体</td> <td>24,178人</td> </tr> </tbody> </table>				年度	参加団体数	入場者数	平成28年度	38団体	26,861人	平成29年度	39団体	26,154人	平成30年度	38団体	24,178人				
	年度	参加団体数	入場者数																	
平成28年度	38団体	26,861人																		
平成29年度	39団体	26,154人																		
平成30年度	38団体	24,178人																		
○評価・方向性 本市の市民芸術祭は県内で最も長い歴史を誇る芸術祭であり、長い歴史の中で、市民一人ひとりの文化芸術に対する熱意と質の高さは培われてきた。今後は、文化芸術団体の活動を維持しながら、市民参加型事業の実施等を検討する。																				
評価指標（単位）		目標	実績																	
市民芸術祭入場者数（人）		25,000	24,178																	
備 考	○主な特定財源 地域生活支援事業費補助金（国） 106,564円 地域生活支援事業費等補助金（県） 52,299円																			

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	2目 文化振興費	= 予算所属 = 教育委員会社会教育文化課
事 業 名	写真のまち・さかた推進事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
391,000円	289,770円	0円	101,230円	74.1%
目 的・趣 旨	土門拳の故郷「写真のまち・さかた」として、写真に親しむ市民の裾野の拡大を図り、写真文化の振興を目指す。			
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 写真家の大西みつぐ氏を招聘し、酒田市内の旧台町、南新町周辺の趣ある建物を撮影し、2日目に講師による作品講評・レクチャーを行った。</p> <p>(2) 本市出身の東京藝術大学教授、佐藤時啓氏を招聘し、酒田の地図を写真で埋めていき、土門拳記念館見学等を実施した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 写真ワークショップ ～写真で残そう酒田の魅力～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師 写真家 大西みつぐ氏 ・開催 10月6日(土)～7日(日) ・場所 両日とも総合文化センター ・参加者 27名(うち高校生7人) ・内容1日目: 港座、酒田倶楽部、旧割烹小幡、旧白崎医院、割烹よしのや等の撮影。2日目: 前日撮影した写真について、講師による講評・レクチャー。 <p>(2) 写真ワークショップ ～酒田の写真自慢大会～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師 東京藝術大学教授 写真家 佐藤時啓氏 ・開催 10月13日(土) 午前9時～午後3時 ・場所 国体記念体育館視聴覚室 ・参加者 8名 ・内容 午前: お気に入りの写真を発表し、酒田の地図を写真で埋める。午後: 講師と写真展示館を見学(潮田登久子氏トークイベントにも参加) <p>○評価・方向性</p> <p>市内写真愛好家と中央で活躍するプロ写真家との交流が図られ写真文化の振興に繋がった。市内に残るさまざまな歴史の面影に光を当て、見つめなおす機会となった。また、前年のワークショップに参加した市内高校生が、2018年の全国高校総合文化祭写真部門で最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞するなど、事業実施の効果も確実に現れている。今後の方向性について、文化芸術推進計画に定める「将来の文化芸術の担い手の育成」の施策に基づき、特に高校生や20歳代の写真愛好家の掘り起こしを図っていく。</p>			
	評価指標(単位)	目標	実績	
	参加者の事業に対する満足度(%)	85	85	
備 考				

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	2目 文化振興費	= 予算所属 = 教育委員会社会教育文化課
事 業 名	文化芸術推進事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
11,635,000円	9,885,829円	0円	1,749,171円	85.0%
目 的・趣 旨	酒田市文化芸術基本条例、酒田市文化芸術推進計画に基づき、文化芸術によるまちづくりを推進する。			
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒田市文化芸術推進審議会の開催 年4回 審議会委員10名 ・アートコーディネーターの設置 1名 ・デザイン研修会の開催 1回 講師: 東北芸術工科大学理事 五十嵐真二氏 ・文化芸術に関するまちづくり研修会の開催 2回 講師: 中川幾郎氏、熊倉純子氏 ・市原多朗マスターコース 市原多朗氏がプロの音楽家に対し個人レッスンを公開で行うとともにコンサートを開催。 日 時: 平成30年5月31日～6月3日 会 場: 酒田市民会館「希望ホール」 指導者: 市原多朗氏(名誉市民/オペラ歌手) 伴 奏: 山口佳代氏(東京藝術大学講師) 参加者: 藤谷佳奈枝(ソプラノ)、金城理沙子(ソプラノ) 山下裕賀(メゾソプラノ) 澤原行正(テノール)、喜納響(テノール) 山田大智(バリトン) 入場者数: 公開レッスン 111名 コンサート 430名 <p>その他育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伴奏法講座(公開) 講師: 山口佳代氏 受講者: 2名 入場者数: 42名 ・なぎさプラスソリスステンコンサート 8月12日 入場者数: 418名 ・なぎさプラスソリスステンクリニック 8月11日 受講者: 65名 ・育成事業 山形交響楽団によるクリニック等 8回 受講者: 402名 スタインウェイ演奏体験 7月31日～8月2日 参加者: 39名・10団体 ・新日本フィルハーモニー交響楽団コンサート 平成31年2月27日 入場者数: 150名 ・新日本フィルハーモニー交響楽団によるアウトリーチ 平成31年2月28日 (訪問先: 酒田特別支援学校) 入場者100名 ・まちかどコンサート 9月30日 来場者数: 120名 ・ヒビカルによるアウトリーチ 10月1日 (訪問先: 松山保育園、デイサービスいずみ) 参加者数: 160名 <p>○評価・方向性</p> <p>育成に重点を置いた取り組みを行ってきたが、単年度では成果が見えにくいことから、酒田市文化芸術基本条例並びに酒田市文化芸術推進計画に基づき、継続的にひとづくり、まちづくりを推進していく必要がある。</p>			
	評価指標(単位)	目標	実績	
	アートコーディネーターが関わる事業数	10	5	
備 考	<p>○主な特定財源 音楽のまちプロジェクト事業支援寄附金 735,000円 希望ホール振興基金繰入金 2,000,000円 さかた応援基金繰入金 708,000円 地域の芸術環境づくり助成事業補助金 1,300,000円</p>			

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	2目 文化振興費	= 予算所属 = 教育委員会社会教育文化課
事 業 名	酒田市・本間美術館交流事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
254,000円	254,000円	0円	0円	100.0%
目 的・趣 旨	酒田市と本間美術館が相互に協力し、文化芸術の振興に寄与することを目的に協議会を設置する。本間美術館が今後とも優れた文化芸術を通し、情操を育み、感動を共有出来る場となるよう支援し、本市の更なる文化芸術の発展に寄与することを目的とする。			
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 酒田市・本間美術館連絡協議会（4館連絡協議会）を設立し、交流事業の実施、連携広報活動の実施など連携協力を行いながら事業を展開した。 （1）4館合同夏休みキッズスタンプラリーの実施 （2）アートカレンダー発行</p> <p>※4館：酒田市美術館、土門拳記念館、資料館、本間美術館</p> <p>○事業実績・説明 （1）4館合同夏休みキッズスタンプラリー（7月21日～8月19日） 各館の夏休み企画を紹介したスタンプラリー台紙を、市内全児童に配布し、来館した際に景品として各館のオリジナル缶バッジを進呈。 （2）アートカレンダー発行（3月） 令和元年度の各館の展示スケジュールをまとめたリーフレットを作成し、市内施設等に配置。</p> <p>○評価・方向性 各館のネットワークができたことによって、連携した広報活動を展開でき、普段は足を運ばない層にも来館してもらうことができた。 企画展の内容によって入館者数は増減するが、今後は文化芸術の推進を目的として組織を見直し、幅広い層が文化芸術に触れることのできる機会の提供に努めていく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	4施設の入館者総数（人）		110,000	102,273
備 考				

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	3目 文化財保護費	= 予算所属 = 教育委員会社会教育文化課																		
事 業 名	文化財保存活動支援事業																					
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																		
1,778,000円	1,778,000円	0円	0円	100.0%																		
目 的・趣 旨	指定文化財等の維持や保存、伝承活動を支援する。																					
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 国、県、市指定の文化財、無形民俗文化財の保存伝承活動を行っている団体等に対し、補助金を交付した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助団体</th> <th>補助金額</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田市民俗芸能保存会</td> <td>100,000円</td> <td>加盟団体の活動や後継者育成活動、衣裳等購入、民俗芸能フェスタの開催。</td> </tr> <tr> <td>松山能振興会</td> <td>1,200,000円</td> <td>県指定文化財である松山能の伝承、普及、振興活動</td> </tr> <tr> <td>宗教法人 総光寺</td> <td>150,000円</td> <td>国指定名勝である総光寺庭園及び県指定天然記念物である総光寺参道のキノコ杉の管理保存</td> </tr> <tr> <td>松山藩荻野流砲術伝承保存会</td> <td>90,000円</td> <td>荻野流砲術の古文書解読や射法研修、演武等の活動、組織強化</td> </tr> <tr> <td>公益社団法人 本間美術館</td> <td>238,000円</td> <td>国指定名勝である本間氏別邸庭園「鶴舞園」の維持管理</td> </tr> </tbody> </table> <p>・酒田市民俗芸能保存会、松山能振興会、松山藩荻野流砲術伝承保存会については、後継者不足が危惧される地域の伝統芸能の保存と伝承を図るために支援を実施した。 ・酒田市民俗芸能保存会、松山能振興会は、それぞれ民俗芸能フェスタや薪能、大寒能を開催し、発表の機会として多くの方が足を運んでくれた。 ・松山藩荻野流砲術伝承保存会は、松山まつりなどで砲術の演武を行って成果を披露している。 ・本間氏別邸庭園「鶴舞園」、総光寺庭園は、庭園の管理を行い良好な状態に保つことで観光地としても魅力のある場所になっている。</p> <p>○評価・方向性 民俗芸能の発表の場の提供や庭園の整備など有形、無形を問わず、文化財への支援を行い、文化的価値を保つ一助になっていると評価する。今後も本市の民俗芸能の振興、普及および貴重な文化財の保存、継承のため、継続して実施する。</p>				補助団体	補助金額	活動内容	酒田市民俗芸能保存会	100,000円	加盟団体の活動や後継者育成活動、衣裳等購入、民俗芸能フェスタの開催。	松山能振興会	1,200,000円	県指定文化財である松山能の伝承、普及、振興活動	宗教法人 総光寺	150,000円	国指定名勝である総光寺庭園及び県指定天然記念物である総光寺参道のキノコ杉の管理保存	松山藩荻野流砲術伝承保存会	90,000円	荻野流砲術の古文書解読や射法研修、演武等の活動、組織強化	公益社団法人 本間美術館	238,000円	国指定名勝である本間氏別邸庭園「鶴舞園」の維持管理
補助団体	補助金額	活動内容																				
酒田市民俗芸能保存会	100,000円	加盟団体の活動や後継者育成活動、衣裳等購入、民俗芸能フェスタの開催。																				
松山能振興会	1,200,000円	県指定文化財である松山能の伝承、普及、振興活動																				
宗教法人 総光寺	150,000円	国指定名勝である総光寺庭園及び県指定天然記念物である総光寺参道のキノコ杉の管理保存																				
松山藩荻野流砲術伝承保存会	90,000円	荻野流砲術の古文書解読や射法研修、演武等の活動、組織強化																				
公益社団法人 本間美術館	238,000円	国指定名勝である本間氏別邸庭園「鶴舞園」の維持管理																				
	評価指標（単位）		目標	実績																		
	保存伝承された無形民俗文化財及び国県指定文化財の件数（件）		39	37																		
備 考	○主な特定財源 過疎対策事業債（市債） 1,400,000円																					

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	3目 文化財保護費	= 予算所属 = 教育委員会社会教育文化課
事業名	未来へ受け継ぐ伝統文化はぐくみ事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
4,093,000円	3,698,028円	0円	394,972円	90.4%
目的・趣旨	伝統芸能等の後継者育成と保存継承団体への活動支援を目的とする。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 一流の伝統芸能を鑑賞して伝統芸能への興味と関心を持たせるとともに後継者の育成を促進するため、小学生を対象にした体験ワークショップを希望ホールで開催した。</p> <p>(2) 県及び市指定無形民俗文化財の継承団体が練習、公演等で使用する施設使用料の支援を行った。</p> <p>(3) 伝統芸能の継承の支援とともに、広く市民に紹介する目的で「酒田民俗芸能公演会（民俗芸能フェスタ）」や「黒森歌舞伎酒田公演」を開催した。</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 狂言ワークショップの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催期日 平成30年10月4日から5日までの午前、午後の2回×2日＝計4回 開催場所 酒田市民会館 希望ホール 対象 市内の小学校5年生660名 出演者 萬狂言、松諷社 <p>(2) 県及び市指定無形民俗文化財の継承団体が練習、公演等で使用する施設使用料の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 松諷社で13回、庄内出羽人形芝居で2回使用 60,900円 <p>(3) 第49回酒田民俗芸能公演会（民俗芸能フェスタ）の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催期日 平成30年11月11日 開催場所 酒田市民会館 希望ホール 入場者数 750人 出演団体 招聘団体及び保存会加盟団体より全7団体 <p>(4) 黒森歌舞伎酒田公演の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催期日 平成31年3月3日 開催場所 酒田市民会館 希望ホール 入場者数 574人 <p>○評価・方向性</p> <p>酒田民俗芸能公演会では、民俗芸能の保存継承だけでなく、地元団体と他県や市外の民俗芸能団体との相互交流や、情報交換の場、小学生から高校生まで出演機会の提供に努め、民俗芸能の継承につながる底辺拡大を図ることができた。平成27年度から取り組んでいる狂言ワークショップは、内容が小学校の学習指導要領にも関連するため、学校の授業と合わせ、伝統芸能の素晴らしさを伝える機会となった。今後とも無形文化財の保護・継承を行う人材や団体の育成のために、継続して支援していく。</p>			
	評価指標（単位）	目標	実績	
	公演等への延べ参加人数（人）	2,000	1,984	
備考	<p>○主な特定財源 市町村総合交付金（伝統芸能育成事業（ふるさと塾））（県） 300,000円</p> <p>義務教育奨学基金繰入金 2,052,000円</p> <p>文化遺産を活かした地域活性化事業返戻金 309,000円</p>			

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	3目 文化財保護費	= 予算所属 = 教育委員会社会教育文化課
事業名	史跡旧鎧屋修復事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
6,087,000円	5,934,006円	0円	152,994円	97.5%
目的・趣旨	国指定史跡「旧鎧屋」は、大規模保存修理工事から20年近く経過したことから老朽化してきており、国や県の支援を受けながら、屋根部分の修繕と耐震補強を行う。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>市の単独事業で、文化財建造物の予備的な耐震診断を行ったところ、「軸部構造」「屋根構造」の項目において耐震性が不足していることが判明したため、耐震診断の結果を受けて耐震補強案の策定を行った。併せて屋根の劣化が進んでいることから、修理の実施設計を行ったものである。</p> <p>(1) 耐震補強案の策定</p> <p>(2) 土壁調査</p> <p>(3) 屋根修理等実施設計</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前調査 <p>(2) 平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震診断等資料作成 耐震診断業務（耐震解析） <p>(3) 平成29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震補強案の策定 土壁調査 屋根修理等実施設計 <p>(4) 平成30年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造補強実施設計 遺構調査実施 <p>○今後の事業スケジュール（予定）</p> <p>令和2年度～令和6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 修理計画策定 耐震補強工事 屋根修理工事 <p>○評価・方向性</p> <p>耐震補強案の策定が完成し、実施設計も完成した。国指定史跡の保存修理は、専門的な知識を要するため、文化庁とも連携しながら、耐震補強工事と屋根修理工事に取り組んでいく。</p>			
	評価指標（単位）	目標	実績	
	事業進捗率（%）	100	100	
備考	<p>○主な特定財源 文化財保存事業費補助金（国） 2,967,000円</p> <p>文化財保存事業費補助金（県） 296,000円</p> <p>合併特例事業債（市債） 2,400,000円</p>			

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	3 目 文化財保護費	= 予 算 所 属 = 教育委員会社会教育文化課
事 業 名	山居倉庫文化財調査事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
8,456,000円	3,054,179円	0円	5,401,821円	36.1%
目 的・趣 旨	山居倉庫の本格的な調査等を行い、文化財指定を目指す準備を行う。			
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 山居倉庫の保存活用について、有識者の意見を聞く調査委員会を開催するとともに、文化財指定を目指すための資料として測量、製図などの作業を行った。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 調査委員会の開催 ・日時 平成30年11月29日(木) 午前9時から ・場所 酒田市役所7階 703会議室 ・内容 調査スケジュールについて 調査方法について</p> <p>(2) 測量業務委託 山居倉庫の1/500と1/1000平面図を作成</p> <p>○評価・方向性 事業初年度として、調査委員会の立ち上げとともに、史跡指定に向けた体制を整えることができた。 引き続き、令和2年12月の国指定史跡を目指して、文化庁や山形県、調査委員の指導の下に、調査を進めていく。</p>			
	評価指標(単位)		目標	実績
	事業進捗率(%)		100	100
備 考				

款 項 目	10款 教育費	5 項 保健体育費	1 目 スポーツ振興費	= 予 算 所 属 = 教育委員会スポーツ振興課																											
事 業 名	白崎資金スポーツ振興事業																														
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																											
1,255,000円	1,196,280円	0円	58,720円	95.3%																											
目 的・趣 旨	競技力の向上や優秀選手の育成を図るための指導者の育成及び優秀な成績を残した選手を表彰し、スポーツの振興を図る。																														
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容 白崎資金を活用して、小中学校から一般までを対象とした指導者の育成及び、全国大会等で優秀な成績を収めた選手を表彰した。</p> <p>○事業実績・説明 (1) 白崎資金スポーツ指導者養成事業 ・少年指導者研修 スポーツ少年団本部指導者研修会(3回:14名)</p> <p>・競技スポーツ指導者研修 スポーツ指導者研修会(2回:124名) バレーボール(1回:110名)、バドミントン(1回:111名) ソフトボール(1回:31名)、卓球(1回:20名) ボート(1回:25名)</p> <p>・中央指導者養成研修派遣 体操競技(2回:2名) 空手道(1回:2名)</p> <p>(2) 白崎資金スポーツ優秀選手表彰</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">表彰</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>個人</th> <th>団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>236人</td> <td>28団体</td> <td>※重複3名を含む</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>192人</td> <td>22団体</td> <td>※重複1名を含む</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>195人</td> <td></td> <td rowspan="4">※チーム表彰を廃止</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>105人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>111人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>121人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 講演会や研修会等は、小中高・一般の一貫した指導体制の確立及び指導者の資質向上に大きく寄与している。全国大会等で優勝した選手を表彰することにより、次年度大会での活躍を誓うなど、選手の高いモチベーションにつながっている。 今後は、各競技における競技力向上に直接関係する指導者の資質向上に向けて、研修会の充実を図るなど更なる方策を推進していく。</p>				年度	表彰		備考	個人	団体	平成25年度	236人	28団体	※重複3名を含む	平成26年度	192人	22団体	※重複1名を含む	平成27年度	195人		※チーム表彰を廃止	平成28年度	105人		平成29年度	111人		平成30年度	121人	
年度	表彰		備考																												
	個人	団体																													
平成25年度	236人	28団体	※重複3名を含む																												
平成26年度	192人	22団体	※重複1名を含む																												
平成27年度	195人		※チーム表彰を廃止																												
平成28年度	105人																														
平成29年度	111人																														
平成30年度	121人																														
	評価指標(単位)		目標	実績																											
	研修会受講者の満足度(5段階評価で4以上の評価率)(%)		80以上	95.95																											
備 考	○主な特定財源 普通財産土地貸付収入 1,196,280円																														

款 項 目	10款 教育費	5項 保健体育費	1目 スポーツ振興費	= 予算所属 = 教育委員会スポーツ振興課																																																															
事業名	スポーツ行事開催事業																																																																		
予算現額 ①	18,208,000円	18,208,000円	0円	0円																																																															
支出済額 ②																																																																			
翌年度繰越額 ③																																																																			
不用額 ①-②-③																																																																			
執行率 ②/①	100.0%																																																																		
目的・趣旨	子どもから大人まで広く市民が参加できる各種スポーツ大会・スポーツ教室を開催し、日常的なスポーツ活動の普及を図る。																																																																		
事業・成果の概要等	○事業内容 市主催大会や各種競技大会のほか、県内で行われる縦断駅伝競走大会の実行委員会等に対し負担金を支出した。																																																																		
	○事業実績・説明 行事開催期日及び参加者数等																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">大会名等</th> <th rowspan="2">開催期日</th> <th colspan="3">参加者数等</th> </tr> <tr> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>山形県縦断駅伝競走大会</td> <td>4月27日 ～4月29日</td> <td>総合2位 37人参加</td> <td>総合2位 37人参加</td> <td>総合4位 37人参加</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>酒田市体育大会</td> <td>5月3日 ～5月27日</td> <td>4,244人</td> <td>3,939人</td> <td>3,641人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>スポーツ教室</td> <td>4月～3月</td> <td>289人</td> <td>238人</td> <td>198人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>市民体育祭</td> <td>7月1日</td> <td>4,000人</td> <td>4,000人</td> <td>4,000人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>山形県ジュニア駅伝競走大会</td> <td>8月12日</td> <td>男子5位 女子3位 24人参加</td> <td>男子1位 女子3位 24人参加</td> <td>男子6位 女子9位 25人参加</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>スポーツ・レクリエーション祭</td> <td>事業廃止</td> <td>1,512人</td> <td>1,183人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>つや姫ハーフマラソン大会</td> <td>10月22日</td> <td>1,931人</td> <td>1,784人</td> <td>1,727人</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>市巡回駅伝競走大会</td> <td>11月11日</td> <td>575人 39チーム</td> <td>571人 37チーム</td> <td>513人 32チーム</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>山形県女子駅伝競走大会</td> <td>11月18日</td> <td>1位 12人参加</td> <td>2位 12人参加</td> <td>2位 12人参加</td> </tr> </tbody> </table>				No.	大会名等	開催期日	参加者数等			平成28年度	平成29年度	平成30年度	1	山形県縦断駅伝競走大会	4月27日 ～4月29日	総合2位 37人参加	総合2位 37人参加	総合4位 37人参加	2	酒田市体育大会	5月3日 ～5月27日	4,244人	3,939人	3,641人	3	スポーツ教室	4月～3月	289人	238人	198人	4	市民体育祭	7月1日	4,000人	4,000人	4,000人	5	山形県ジュニア駅伝競走大会	8月12日	男子5位 女子3位 24人参加	男子1位 女子3位 24人参加	男子6位 女子9位 25人参加	6	スポーツ・レクリエーション祭	事業廃止	1,512人	1,183人	—	7	つや姫ハーフマラソン大会	10月22日	1,931人	1,784人	1,727人	8	市巡回駅伝競走大会	11月11日	575人 39チーム	571人 37チーム	513人 32チーム	9	山形県女子駅伝競走大会	11月18日	1位 12人参加	2位 12人参加	2位 12人参加
	No.	大会名等	開催期日	参加者数等																																																															
				平成28年度	平成29年度	平成30年度																																																													
	1	山形県縦断駅伝競走大会	4月27日 ～4月29日	総合2位 37人参加	総合2位 37人参加	総合4位 37人参加																																																													
	2	酒田市体育大会	5月3日 ～5月27日	4,244人	3,939人	3,641人																																																													
	3	スポーツ教室	4月～3月	289人	238人	198人																																																													
	4	市民体育祭	7月1日	4,000人	4,000人	4,000人																																																													
	5	山形県ジュニア駅伝競走大会	8月12日	男子5位 女子3位 24人参加	男子1位 女子3位 24人参加	男子6位 女子9位 25人参加																																																													
6	スポーツ・レクリエーション祭	事業廃止	1,512人	1,183人	—																																																														
7	つや姫ハーフマラソン大会	10月22日	1,931人	1,784人	1,727人																																																														
8	市巡回駅伝競走大会	11月11日	575人 39チーム	571人 37チーム	513人 32チーム																																																														
9	山形県女子駅伝競走大会	11月18日	1位 12人参加	2位 12人参加	2位 12人参加																																																														
○評価・方向性 平成29年度は全庄内スキー選手権大会を地元スキークラブが中心となる実行委員会へ、平成30年度はスポーツ・レクリエーション祭の運営を関係団体へ移管したことで自立した民間主導の大会として実施することができた。今後は、市民のスポーツ実施率の一層の向上と市民が参加しやすい大会となるよう取り組んでいく。																																																																			
評価指標（単位）			目標	実績																																																															
延べ参加者数（人） （No.2・3・4・7・8の大会等を対象）			13,400	10,079																																																															
備考	○主な特定財源 日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金 8,000,000円																																																																		

款 項 目	10款 教育費	5項 保健体育費	1目 スポーツ振興費	= 予算所属 = 教育委員会スポーツ振興課											
事業名	体育施設整備事業														
予算現額 ①	70,280,000円	68,412,870円	0円	1,867,130円											
支出済額 ②															
翌年度繰越額 ③															
不用額 ①-②-③															
執行率 ②/①	97.3%														
目的・趣旨	体育施設の修繕を図り、安全で快適なスポーツ環境を提供する。														
事業・成果の概要等	○事業内容 体育施設の工事、修繕及び備品の整備を実施した。														
	○事業実績・説明 （1）主な工事及び修繕														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>修繕内容</th> <th>金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国体記念体育館アリーナ床塗装改修工事</td> <td>15,660,000</td> </tr> <tr> <td>国体記念テニスコート高圧受電設備更新工事</td> <td>12,640,320</td> </tr> <tr> <td>光ヶ丘テニスコートブロック塀改修工事</td> <td>8,041,680</td> </tr> <tr> <td>平田B&G海洋センタートレーニングルーム屋根改修工事</td> <td>6,902,280</td> </tr> </tbody> </table>				修繕内容	金額（円）	国体記念体育館アリーナ床塗装改修工事	15,660,000	国体記念テニスコート高圧受電設備更新工事	12,640,320	光ヶ丘テニスコートブロック塀改修工事	8,041,680	平田B&G海洋センタートレーニングルーム屋根改修工事	6,902,280	
	修繕内容	金額（円）													
	国体記念体育館アリーナ床塗装改修工事	15,660,000													
	国体記念テニスコート高圧受電設備更新工事	12,640,320													
	光ヶ丘テニスコートブロック塀改修工事	8,041,680													
	平田B&G海洋センタートレーニングルーム屋根改修工事	6,902,280													
	（2）主な備品整備														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>整備内容</th> <th>金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平田B&G海洋センタープール 上屋膜体 1式</td> <td>12,420,000</td> </tr> <tr> <td>光ヶ丘陸上競技場 フィールド競技用超音波風速計 1式</td> <td>1,252,800</td> </tr> <tr> <td>国体記念体育館 卓球台 15台</td> <td>1,992,600</td> </tr> <tr> <td>光ヶ丘テニスコート テニスポスト 10式</td> <td>969,030</td> </tr> <tr> <td>ボート競技用ステイクボート 4艇</td> <td>814,320</td> </tr> </tbody> </table>				整備内容	金額（円）	平田B&G海洋センタープール 上屋膜体 1式	12,420,000	光ヶ丘陸上競技場 フィールド競技用超音波風速計 1式	1,252,800	国体記念体育館 卓球台 15台	1,992,600	光ヶ丘テニスコート テニスポスト 10式	969,030	ボート競技用ステイクボート 4艇
整備内容	金額（円）														
平田B&G海洋センタープール 上屋膜体 1式	12,420,000														
光ヶ丘陸上競技場 フィールド競技用超音波風速計 1式	1,252,800														
国体記念体育館 卓球台 15台	1,992,600														
光ヶ丘テニスコート テニスポスト 10式	969,030														
ボート競技用ステイクボート 4艇	814,320														
○評価・方向性 利用者数は大規模な大会等が減少したこと等から目標値を下回ったが、施設機能の向上により安全で快適なスポーツ環境の提供に努めた。 また、最新の備品へ更新することなどにより、令和元年度はソフトテニス全日本社会人大会や東北ボート選手権大会が開催されるなど、大会誘致等の効果が期待できる。 体育施設の修繕や競技用備品を整備し、安全で快適なスポーツ環境の提供や大会誘致等による交流人口の拡大により、生涯スポーツ及び競技スポーツの振興を図っていく。															
評価指標（単位）			目標	実績											
施設利用者数（人）			760,000	710,777											
備考	○主な特定財源 日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金 1,002,000円 B&G財団修繕助成交付金 9,900,000円 合併特例事業債（市債） 26,800,000円 過疎対策事業債（市債） 9,400,000円 緊急防災・減災事業債（市債） 8,000,000円														

款 項 目	10款 教育費	5項 保健体育費	1目 スポーツ振興費	= 予算所属 = 教育委員会スポーツ振興課						
事業名	光ヶ丘プール改修事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
153,579,000円	122,515,200円	30,287,000円	776,800円	79.8%						
目的・趣旨	平成16年4月に開設し、建設後14年経過した光ヶ丘プールについて、安全なスポーツ環境を提供するため、必要な設備を更新する。									
事業・成果の概要等	○事業内容 光ヶ丘プールの老朽化した設備の更新、並びに50mプールのタイル交換等を行った。									
	○事業実績・説明									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業務名</th> <th>金額（円）</th> <th>契約期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>光ヶ丘プールタイル改修工事</td> <td>31,026,240</td> <td>平成30年5月24日～平成30年11月30日</td> </tr> </tbody> </table>				業務名	金額（円）	契約期間	光ヶ丘プールタイル改修工事	31,026,240	平成30年5月24日～平成30年11月30日
	業務名	金額（円）	契約期間							
	光ヶ丘プールタイル改修工事	31,026,240	平成30年5月24日～平成30年11月30日							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業務名</th> <th>金額（円）</th> <th>契約期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>光ヶ丘プール改修工事（設計業務委託）</td> <td>3,645,000</td> <td>平成30年6月8日～平成30年8月31日</td> </tr> </tbody> </table>				業務名	金額（円）	契約期間	光ヶ丘プール改修工事（設計業務委託）	3,645,000	平成30年6月8日～平成30年8月31日
	業務名	金額（円）	契約期間							
	光ヶ丘プール改修工事（設計業務委託）	3,645,000	平成30年6月8日～平成30年8月31日							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業務名</th> <th>金額（円）</th> <th>契約期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>光ヶ丘プール改修工事（設備工事）</td> <td>50,758,920</td> <td>平成30年10月25日～平成31年3月15日</td> </tr> </tbody> </table>				業務名	金額（円）	契約期間	光ヶ丘プール改修工事（設備工事）	50,758,920	平成30年10月25日～平成31年3月15日
	業務名	金額（円）	契約期間							
光ヶ丘プール改修工事（設備工事）	50,758,920	平成30年10月25日～平成31年3月15日								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>業務名</th> <th>金額（円）</th> <th>契約期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>光ヶ丘プール改修工事（建築工事）</td> <td>37,085,040</td> <td>平成30年11月1日～平成31年3月25日</td> </tr> </tbody> </table>				業務名	金額（円）	契約期間	光ヶ丘プール改修工事（建築工事）	37,085,040	平成30年11月1日～平成31年3月25日	
業務名	金額（円）	契約期間								
光ヶ丘プール改修工事（建築工事）	37,085,040	平成30年11月1日～平成31年3月25日								
(繰越明許費の内容)										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>業務名</th> <th>金額（円）</th> <th>契約期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>光ヶ丘プール冷温水発生機更新工事(12月補正分)</td> <td>30,287,000</td> <td>平成31年2月21日～令和元年6月28日</td> </tr> </tbody> </table>				業務名	金額（円）	契約期間	光ヶ丘プール冷温水発生機更新工事(12月補正分)	30,287,000	平成31年2月21日～令和元年6月28日	
業務名	金額（円）	契約期間								
光ヶ丘プール冷温水発生機更新工事(12月補正分)	30,287,000	平成31年2月21日～令和元年6月28日								
○評価・方向性 光ヶ丘プールの改修により小学生から社会人、高齢者など幅広い年代の生涯及び競技スポーツの振興を図ることができる。 将来にわたり安全で快適なスポーツ環境を提供することにより、年齢や性別、障がいの有無に関わらずスポーツに親しむようになり、スポーツ行事への参加者の増加につなげていく。										
評価指標（単位）		目標	実績							
		年度内事業の完了	一部完了							
備考	○主な特定財源 合併特例事業債（市債） 99,600,000円 日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金 17,581,000円									

款 項 目	10款 教育費	5項 保健体育費	1目 スポーツ振興費	= 予算所属 = 教育委員会スポーツ振興課						
事業名	体育施設耐震改修事業									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
2,862,000円	2,862,000円	0円	0円	100.0%						
目的・趣旨	耐震診断の結果、耐震改修が必要な体育施設について改修を実施し、安全で快適なスポーツ環境を提供する。									
事業・成果の概要等	○事業内容 昭和56年5月以前の旧耐震基準で建設された体育施設について耐震診断を実施し、耐震補強が必要と判断された勤労者体育センターの耐震補強設計を実施した。									
	○事業実績・説明									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業務名</th> <th>金額（円）</th> <th>契約期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>勤労者体育センター耐震改修工事設計業務委託</td> <td>2,862,000</td> <td>平成30年5月22日～平成30年12月21日</td> </tr> </tbody> </table>				業務名	金額（円）	契約期間	勤労者体育センター耐震改修工事設計業務委託	2,862,000	平成30年5月22日～平成30年12月21日
	業務名	金額（円）	契約期間							
	勤労者体育センター耐震改修工事設計業務委託	2,862,000	平成30年5月22日～平成30年12月21日							
	(平成26年度に実施した耐震診断の結果は次のとおり)									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>構造耐震指標 (IS) の最低値</th> <th>診断結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.28</td> <td>地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。</td> </tr> </tbody> </table>				構造耐震指標 (IS) の最低値	診断結果	0.28	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。		
	構造耐震指標 (IS) の最低値	診断結果								
	0.28	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。								
	○評価・方向性 耐震改修により、安全で快適なスポーツ環境を提供することが可能となり、小学生から社会人、高齢者など幅広い年代の生涯及び競技スポーツの振興を図ることができ、スポーツ行事への参加者の増加につなげていく。なお、令和元年度予算において、勤労者体育センターの耐震補強工事等を実施する。									
評価指標（単位）		目標	実績							
		年度内事業の完了	未了							
備考	○主な特定財源 緊急防災・減災事業債（市債） 2,800,000円									

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	4目 図書館費	= 予算所属 = 教育委員会図書館
事 業 名	光丘文庫資料保全活用事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
8,314,000円	8,313,235円	0円	765円	99.9%
目的・趣旨	光丘文庫が所蔵する資料等をフルに活用し、酒田の歴史を学ぶためのICT環境を整備することによって市民の郷土史への関心を高めるとともに、光丘文庫所蔵資料の価値をわかりやすく全国に発信する。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 光丘文庫デジタルアーカイブ構築 光丘文庫が所蔵する資料等のうち、視覚的に楽しめる絵図等を精細画像データ化し、新たに作成した「酒田市史年表」電子版と当該画像をリンクさせ、全文検索可能な年表から光丘文庫所蔵資料や古写真、古地図等を閲覧できる「郷土史への入口」となる基本ツールを新たに構築した。</p> <p>(2) 新聞マイクロフィルムの電子化 光丘文庫が所蔵する明治末期～昭和30年の地元紙マイクロフィルムを電子化（「山形新聞」は既製DVDを購入）した。</p>			
	<p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 光丘文庫デジタルアーカイブ構築 所蔵資料のうち誰もが理解しやすい酒田の歴史に関連する絵図等を精細画像で電子化した「光丘文庫デジタルアーカイブ」を作成し、12月3日からインターネット上で公開した。</p> <p>(2) 新聞マイクロフィルムの電子化 文庫が所蔵する明治末期～昭和初期の地元新聞マイクロフィルムを電子化し、11月中旬から閲覧室のパソコン画面上で閲覧することを可能とした。このことにより、閲覧者の利便性を飛躍的に高めた。</p>			
	<p>○評価・方向性</p> <p>デジタルアーカイブ、新聞マイクロフィルムの電子化については、計画通りに実施することができた。</p> <p>今後もソフト事業（デジタルアーカイブ等）の拡充を図ることにより、光丘文庫の認知度を高めていくとともに、所蔵資料データベースの整備について検討していく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	デジタルアーカイブ年間アクセス数（件）		4,000	5,721
備考	<p>○主な特定財源</p> <p>光丘文庫資料保全活用事業支援寄附金 975,000円 図書館振興財団助成金 3,128,995円 さかた応援基金繰入金 4,209,240円</p>			

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	4目 図書館費	= 予算所属 = 教育委員会図書館
事 業 名	子ども読書活動推進事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
1,280,000円	1,048,372円	0円	231,628円	81.9%
目的・趣旨	子どもが読書に親しむ機会の提供と環境づくりに取り組むと共に、家庭での読書活動を高めることを目的とする。			
事業・成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 赤ちゃんの読み聞かせ教室 (2) 土曜おはなし会（児童図書室お話し会） (3) 読み聞かせ出張講話 (4) 読み聞かせボランティア講座（ボランティア養成） (5) 絵本作家講演会 (6) おやこ手作り絵本講座 (7) 学校巡回文庫 (8) 家読（うちどく）の推進 (9) 家読だより、中・高校生向け図書リスト配布等による啓発活動 (10) 読書手帳の活用</p>			
	<p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 赤ちゃんの読み聞かせ教室を年12回実施し、延べ134人の親子が参加した。 (2) 土曜おはなし会を年23回実施し、延べ657人の親子が参加した。 (3) 読み聞かせ出張講話を年2回実施し、延べ79人が参加した。 (4) 読み聞かせボランティア講座を年3回実施し、延べ49人が参加した。 (5) 絵本作家講演会を開催し、子どもを含め100人が参加した。 (6) おやこ手作り絵本講座を開催し、19組の親子40人が参加した。 (7) 児童、生徒の読書への動機づけ、本への興味・関心の醸成を図るため「学校巡回文庫」を学校と連携し、小学校3校、中学校1校で実施した。 (8) 家読講座を開催し、親子ほか10組19人が参加した。 (9) 市広報へ家読啓発記事を掲載。また、インターンシップにおける企画展示用リストの作成・配布、学習室入口等で県立図書館発行の中・高校生向け図書リスト配布等、幅広い年代層へ啓発活動を行った。 (10) 読書手帳の使い方などをより分かりやすく記載するなど一部デザインを変更し、乳児から中学生まで約8,500冊を配布し、活用を呼びかけた。</p>			
	<p>○評価・方向性</p> <p>第2次子ども読書活動推進計画の各種施策を実施することで、評価指標として掲げている、子ども（15歳以下）一人あたりの年間貸出冊数12.7冊を前倒しで達成することができた。</p> <p>読書習慣を身に付けるために、幼少期から継続して本に親しむことができるよう、園、学校及び関係各課等と連携・協力を図りながら、家庭や保護者等も含めた取り組みを引き続き行っていく。</p> <p>また、新図書館において中高生の利用増を見込んでいる中で、学校連携を含めた中高生対策を検討していく。</p>			
	評価指標（単位）		目標	実績
	子ども（15歳以下）一人あたりの年間貸出冊数（冊）		12.7	12.7
備考				

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	4 目 図書館費	= 予 算 所 属 = 教育委員会図書館
事 業 名	ライブラリーセンター移転準備事業			
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
4,876,000 円	4,702,832 円	0 円	173,168 円	96.4 %
目 的 ・ 趣 旨	I C タグ未装備資料約 5 万点に I C タグ装備を行うなど、ライブラリーセンターへのスムーズな移行を行うための図書資料等の準備作業に取り組む。			
事 業 ・ 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>(1) I C タグ未装備資料への I C タグ装備</p> <p>(2) 視聴覚資料の装備更新</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) ライブラリーセンターへ移転させる資料と、移転までに除籍する資料の選別を行いながら、約53,400冊に I C タグを装備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の除籍作業を行ったことにより、狭隘な書架の整理が図られ、資料配架の利便性を高めることができた。 <p>(2) 視聴覚資料の自動貸出を可能とするため、DVD・CD本体約1,100件に盤面 I C タグを装備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 盗難防止のブックディテクションシステム (BDS) にも対応可能となり、貸出作業の自動化が図られたことにより、人員を他の作業にあてることができ、サービスの向上に繋げることができた。さらに、書架の効率化と資料装備の簡略化に繋がった。 <p>○評価・方向性</p> <p>当該年度に予定していた資料の I C タグ装備は、計画どおり達成され、ライブラリーセンター移転へ向けて、資料整理が図られた。今後も、ライブラリーセンターへのスムーズな移行のための図書資料等の整備を行っていく。</p>			
	評価指標 (単位)	目標	実績	
	事業進捗率 (%)	100	100	
備 考				

款 項 目					= 予算所属 = 企画部企画調整課												
事 業 名	風力発電事業特別会計																
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①													
1,086,692,000円	1,085,636,244円	0円	1,055,756円	99.9%													
目 的・趣 旨	風力発電事業適地としての役割を果たし、「卒原発社会」の実現を目指す山形県エネルギー戦略の推進に貢献するとともに、事業によって得られる利益を広く市民に還元する。																
事 業 成 果 の 概 要 等	<p>○事業内容</p> <p>(1) 発電施設出力 2,300kW風力発電機×3基=6,900kW (2) 運転開始時期 令和2年度(予定) (3) 事業実施区域 十里塚字村東山南地内</p> <p>○事業実績・説明</p> <p>(1) 実績 令和2年度の運転開始に向けて、発電所建設工事を発注した。また、維持管理の拠点となる管理施設を建設し完成した。 ・酒田市風力発電事業発電所建設工事 2,555,280,000円(発注額) ・風力発電管理施設建設工事 44,064,000円</p> <p>(2) 実施経過 ・平成30年11月 酒田市風力発電管理施設 発注 ・平成30年12月 酒田市風力発電事業発電所建設工事 発注 ・平成31年3月 酒田市風力発電管理施設 完成</p> <p>(3) 継続費 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業費</th> <th>年度</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">風力発電施設整備事業費 (本体施設整備)</td> <td rowspan="3">2,780,712,000</td> <td>平成30年度</td> <td>1,022,112,000</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>586,200,000</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>1,172,400,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>○評価・方向性 発電所建設工事の発注及び管理施設の完成により、風力発電事業の実施に向け進捗が図られた。山形県エネルギー戦略に貢献すべく、令和2年度からの運転開始を目指し、事業を推進する。</p>					事業名	事業費	年度	金額	風力発電施設整備事業費 (本体施設整備)	2,780,712,000	平成30年度	1,022,112,000	令和元年度	586,200,000	令和2年度	1,172,400,000
事業名	事業費	年度	金額														
風力発電施設整備事業費 (本体施設整備)	2,780,712,000	平成30年度	1,022,112,000														
		令和元年度	586,200,000														
		令和2年度	1,172,400,000														
	評価指標(単位)	目標	実績														
		年度内事業の完了	完了														
備 考	○主な歳入 一般会計繰入金 589,140円 管理施設建設費自治会支出金 15,847,104円 電気事業債(市債) 1,069,200,000円																

款 項 目					= 予算所属 = 市民部まちづくり推進課					
事 業 名	交通災害共済事業特別会計									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①						
22,039,000円	20,158,239円	0円	1,880,761円	91.5%						
目 的・趣 旨	交通事故被災者を救済する共済制度により、市民の生活安定と福祉の増進に寄与する。									
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容 共済制度を運営し、交通事故に遭われた方や死亡された方の遺族へ共済見舞金を支給した。									
	○事業実績・説明									
	(1) 加入状況 (各年度末現在)									
	(単位：人、千円、%)									
	区 分	加入者数			会 費 等		加 入 率			
		H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30
	大 人	48,845	47,190	42,950	17,584	16,988	15,462			
	子 供	5,659	5,300	4,645	1,019	954	836			
	生活保護者	大人 847	867	854						
		子供 39	36	27	312	319	312	53.5	52.27	48.15
新入学児童	805	767	692	145	138	125				
合 計	56,195	54,160	49,168	19,060	18,399	16,735				
※加入率は、各年度末現在の住民基本台帳人口を基礎に算出										
※生活保護者及び新入学児童は市が負担（一般会計から繰入）										
(2) 収支状況										
(単位：円)										
区 分	決 算 額									
	平成28年度	平成29年度	平成30年度							
収 入	会 費	18,602,820	17,942,400	16,298,100						
	繰入金	2,207,840	3,654,660	5,239,860						
	繰越金	1,082,791	1,851,147	106,321						
	基金利子	88,881	70,746	50,654						
	計	21,982,332	23,518,953	21,694,935						
支 出	共済見舞金	10,230,000	13,460,000	14,790,000						
	交通遺児年金	0	0	0						
	事務費	9,901,185	9,952,632	5,368,239						
	計	20,131,185	23,412,632	20,158,239						
収 支	1,851,147	106,321	1,536,696							
(3) 基金の状況 (各年度末現在高)										
(単位：円)										
平成28年度	平成29年度	平成30年度								
53,328,725	46,955,725	38,249,725								

○平成30年度地区別加入状況 (平成31年3月末現在)						
地 区	人口 (人)	加入者 (人)	加入率 (%)	前年度加入者 (人)	前年度加入率 (%)	加入率比 (ポイント)
市街地区	63,820	22,427	35.14	25,639	39.76	△4.62
市街地区その他	—	5,430	—	5,113	—	—
市街地区小計	63,820	27,857	43.65	30,752	47.69	△4.04
飛 島	191	133	69.63	132	65.67	3.96
西荒瀬	2,606	1,192	45.74	1,281	48.09	△2.35
南遊佐	1,180	860	72.88	908	75.04	△2.16
本 楯	1,954	1,272	65.10	1,418	70.55	△5.45
上 田	1,263	804	63.66	920	72.78	△9.12
北平田	1,306	846	64.78	901	67.59	△2.81
中平田	1,498	641	42.79	1,007	66.34	△23.55
東平田	1,610	1,080	67.08	1,208	73.30	△6.22
新 堀	2,032	1,313	64.62	1,350	64.22	0.40
広 野	1,946	976	50.15	1,066	54.30	△4.15
十 坂	4,112	990	24.08	1,070	25.82	△1.74
黒 森	1,193	253	21.21	253	20.52	0.69
浜 中	1,722	447	25.96	439	24.84	1.12
旧公民館地区 その他	—	1,115	—	1,240	—	—
旧公民館地区小計	22,613	11,922	52.72	13,193	57.22	△4.50
旧市合計	86,433	39,779	46.02	43,945	50.20	△4.18
八 幡	5,620	3,211	57.14	3,503	60.83	△3.69
松 山	4,138	2,764	66.80	2,984	69.93	△3.13
平 田	5,914	1,897	32.08	2,165	35.78	△3.70
支所管内その他	—	1,517	—	1,563	—	—
支所管内合計	15,672	9,389	59.91	10,215	63.54	△3.63
合 計	102,105	49,168	48.15	54,160	52.27	△4.12
※その他は、生活保護受給者、新入学児童及び個別加入者の数						
○評価・方向性						
これまで交通事故により被害を受けた方々の福祉の増進に寄与してきたが、交通事故への救済制度が十分でなかった事業発足当時に比べ、民間保険が普及・充実してきており、毎年、加入者が減少していた。また、加入取りまとめをお願いしている自治会役員の高齢化、取りまとめ事務の負担や若年層世帯の敬遠傾向、民間サービスの多様化など、社会情勢の変化を踏まえて、平成30年度末をもって本事業を廃止した。						
評価指標 (単位)				目標	実績	
交通災害共済加入率 (%)				53.50	48.15	
備 考	○主な歳入 交通災害共済基金繰入金 4,803,000円					

款 項 目					= 予算所属 = 市民部定期航路事業所																		
事 業 名	定期航路事業特別会計																						
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																			
330,039,000円	308,176,694円	0円	21,862,306円	93.4%																			
目的・趣旨	酒田と飛鳥間の海上航路を確保し、島民生活の維持向上と観光交流の促進を図るため、定期船運航及び不定期航路事業を実施する。																						
事業成果の概要等	<p>○事業内容</p> <p>1. 定期船運航事業 (98,299,330円)</p> <p>定期船運航は、通常は1日1航海、ゴールデンウィークから8月のお盆過ぎまでの土日祝日及び夏休み期間中は2～3航海とする運航計画に基づき、安全・安心・快適な運航に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃料費及び光熱水費（船舶燃料費等） 34,025,220 円 一般職非常勤職員報酬（船員の報酬） 26,803,798 円 修繕料（船舶及び付属設備等の修繕料） 3,205,435 円 施設管理委託料（船舶及び事業所の警備等） 2,619,285 円 その他経費（船舶借上料等） 31,645,592 円 <p>2. 誘客宣伝事業 (2,324,727円)</p> <p>パンフレットの印刷及び新聞や情報誌、テレビ、ラジオ等における広告PRと小学生を対象にしたマリンスクール（海や港に関する学習とクルーズ）を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷製本費（飛鳥パンフレット） 1,302,480 円 広告料（広告掲載、テレビCM等） 996,360 円 燃料費（マリンスクール） 25,887 円 <p>3. 船舶検査事業 (33,353,640円)</p> <p>定期船の機能を維持するため中間検査を実施し、機関（エンジン、減速機等）並びに安全設備を始めとした機械設備等の点検整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 修繕料（船舶検査修繕） 33,353,640 円 <p>4. 酒田港クルーズ開催事業 (327,902円)</p> <p>定期船の利用拡大を図るため、日本海に沈む夕日の時刻に合わせた酒田港クルーズと貸切クルーズを実施した。</p> <p>(1) 酒田港クルーズ 6回実施（計画6回） 乗客数1,000人 (うち招待者7家族21人)</p> <p>(2) 貸切クルーズ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>期日</th> <th>乗客数</th> <th>主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発見！酒田みなとの探検隊 酒田港クルーズ</td> <td>7月14日</td> <td>103人</td> <td>山形県・山形県港湾協会・NPO法人酒田港女みなと会議</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">庄内海岸クルーズ</td> <td>8月19日</td> <td>111人</td> <td rowspan="2">山形県沿岸域総合利用推進会議</td> </tr> <tr> <td>8月25日</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>北前号で行く！北前船寄港地交流酒田モニターツアー</td> <td>9月16日</td> <td>59人</td> <td>海の日記念事業実行委員会・秋田酒田交流事業実行委員会</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	期日	乗客数	主催	発見！酒田みなとの探検隊 酒田港クルーズ	7月14日	103人	山形県・山形県港湾協会・NPO法人酒田港女みなと会議	庄内海岸クルーズ	8月19日	111人	山形県沿岸域総合利用推進会議	8月25日	中止	北前号で行く！北前船寄港地交流酒田モニターツアー	9月16日	59人	海の日記念事業実行委員会・秋田酒田交流事業実行委員会
事業名	期日	乗客数	主催																				
発見！酒田みなとの探検隊 酒田港クルーズ	7月14日	103人	山形県・山形県港湾協会・NPO法人酒田港女みなと会議																				
庄内海岸クルーズ	8月19日	111人	山形県沿岸域総合利用推進会議																				
	8月25日	中止																					
北前号で行く！北前船寄港地交流酒田モニターツアー	9月16日	59人	海の日記念事業実行委員会・秋田酒田交流事業実行委員会																				

○事業実績						
1. 定期船運航実績						
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	H29・H30比較		
乗客数	23,776.5人	22,783.0人	24,378.0人	1,595.0人		
貨物航送量	2,041.5t	1,955.0t	1,786.0t	△169.0t		
計画航海数	427回	428回	428回	0回		
実績航海数	300回	287回	302回	15回		
出航率	70.3%	67.1%	70.6%	3.5%		
2. 酒田港クルーズ実績						
区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	回数	乗客数	回数	乗客数	回数	乗客数
酒田港クルーズ	計画 6	実施 6	計画 6	実施 5	計画 6	実施 6
貸切クルーズ	5	4	5	4	6	3
		1,119 (30)		914 (29)		1,000 (21)
		602		627		273
※（ ）は内数で、東日本大震災被災者招待者数						
3. マリンスクール実績						
区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
マリンスクール	3	225	2	103	1	59
※平成30年度は、宮野浦小学校5年生が参加した。						
○評価・方向性						
適切な整備等により無事故で運航することができた。今後も安全方針の徹底と安全目標の達成を目指すとともに運輸安全マネジメント体制の強化に引き続き取り組むことにより、船舶の安全管理の徹底と安全で安定的な運航に努める。						
また、乗客数の増加について、平成29年度に比較して天候安定による実績航海数の増加や子ども無料キャンペーン、テレビCMを放映したことによる効果が表れたものと思われ、CM等による広報を継続していく。						
評価指標（単位）						
			目標	実績		
①定期船の安全運航に支障をきたす事故発生件数（件）			0	0		
②定期船乗船者数（人）			21,500	24,378		
備考	○主な歳入 使用料 63,766,646円、離島航路運営費等補助金（国）91,610,227円、離島航路補助金（県）20,080,000円、繰入金 130,480,416円					

款 項 目					= 予算所属 = 健康福祉部国保年金課
事業名	国民健康保険特別会計				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
11,518,244,000円	11,237,847,833円	0円	280,396,167円	97.6%	

目的・趣旨

県と共同で国民健康保険事業の安定的な運営を行うとともに、各種保健事業の実施により市民の健康保持・増進に努め、健康寿命の延伸につなげる。

事業成果の概要等

○事業内容

国民健康保険法に基づく国民健康保険の保険者として、被保険者の疾病、負傷、出産または死亡に関して必要な保険給付を行うとともに、被保険者の健康の保持及び増進を図るため、保健事業を実施した。

○事業実績・説明

平成30年度の保険給付費等は、418,630件 7,480,774,814円で、平成29年度と比べて、件数は12,189件の減、給付費は244,980,968円、3.2%の減となった。

平成30年度の平均被保険者数は22,871人、平均世帯数は14,562世帯と、平成29年度に比べて889人、3.7%の減、世帯数は357世帯、2.4%の減となった。

区 分	平成29年度 (A)		平成30年度 (B)		増減額 (B) - (A) (給付費:円)	増減率 (%)
	件数 (件)	給付費 (円)	件数 (件)	給付費 (円)		
療養諸費給付費	414,320	6,688,717,469	401,834	6,469,919,115	△ 218,798,354	△ 3.3
高額療養費等	16,259	991,375,335	16,578	966,923,024	△ 24,452,311	△ 2.5
審査支払手数料	-	21,098,978	-	20,443,927	△ 655,051	△ 3.1
出産育児一時金	34	14,264,000	34	14,288,748	24,748	0.2
葬祭費	206	10,300,000	184	9,200,000	△ 1,100,000	△ 10.7
小計	430,819	7,725,755,782	418,630	7,480,774,814	△ 244,980,968	△ 3.2
国保事業費納付金	-	-	-	2,578,236,841	2,578,236,841	(新設)
後期高齢者支援金等	-	1,296,734,428	-	-	△ 1,296,734,428	(廃止)
前期高齢者納付金等	-	4,864,238	-	-	△ 4,864,238	(廃止)
老人保健拠出金	-	32,387	-	-	△ 32,387	(廃止)
介護納付金	-	496,801,316	-	-	△ 496,801,316	(廃止)
年間平均被保険者数	-	23,760人	-	22,871人	△ 889人	△ 3.7
年間平均世帯数	-	14,919世帯	-	14,562世帯	△ 357世帯	△ 2.4

○国民健康保険の加入状況 (年間平均)

年度	世帯の状況 (世帯、%)			被保険者の状況 (人、%)			世帯構成人数 (人)	
	①全世帯	②国保世帯	②/①加入率	③全人口	④被保険者	④/③加入率	③/①全体	④/②国保
H26	41,882	16,491	39.4	108,319	27,594	25.5	2.6	1.7
H27	41,897	15,976	38.1	106,944	26,338	24.6	2.6	1.7
H28	41,925	15,471	36.9	105,735	25,108	23.7	2.5	1.6
H29	42,029	14,919	35.5	104,576	23,760	22.7	2.5	1.6
H30	42,045	14,562	34.6	103,112	22,871	22.2	2.5	1.6

○国民健康保険税収納状況

(単位:円、%)

区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	未還付額	収納率
現年課税分	2,206,716,600	2,097,239,608	0	112,394,286	2,917,294	94.91
一般	2,181,894,317	2,072,909,692	0	111,898,424	2,913,799	94.87
退職	24,822,283	24,329,916	0	492,367	3,495	98.00
滞納繰越分	591,158,029	134,756,625	94,455,258	361,978,676	32,530	22.79
一般	563,365,660	124,607,896	88,867,177	349,923,117	32,530	22.11
退職	27,792,369	10,148,729	5,588,081	12,055,559	0	36.52
合計	2,797,874,629	2,231,996,233	94,455,258	474,372,962	2,949,824	79.67

※収入済額には、未還付額を含む。

※収納率は、未還付額控除後及び不納欠損額控除前の数値。

○保健事業 (特定健診・特定保健指導の状況)

高齢者の医療の確保に関する法律により、各保険者に義務付けられたメタボリックシンドロームに着目した特定健診及び特定保健指導を行った。

(1) 特定健診

年度	対象者 A	受診者 B	受診率 B/A	目標受診率
H26	19,841人	9,516人	48.0%	49%
H27	19,211人	9,430人	49.1%	52%
H28	18,486人	9,148人	49.5%	56%
H29	17,906人	8,834人	49.3%	60%
H30	17,501人	8,805人	50.3%	50%

※対象者…40歳～74歳の国民健康保険被保険者

(2) 特定保健指導

年度	対象者 A	実施者 B	実施率 B/A	目標実施率
H26	1,074人	563人	52.4%	49%
H27	1,098人	483人	44.0%	52%
H28	1,039人	460人	44.3%	56%
H29	958人	531人	55.4%	60%
H30	1,014人	652人	64.3%	46%

・対象者…健診の結果により、「積極的支援」及び「動機付け支援」に区分された方

・内容…生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、保健師、管理栄養士等による計画的サポートを行った。

・目標実施率…平成29年度までは特定健診等実施計画(第2期)、平成30～35年度までは同計画(第3期)で定めている。

※平成30年度分については、速報値を使用。

○評価・方向性

各種対策を通じ特定健診及び特定保健指導の目標値を達成している。引き続き、健康保持・増進のための保健事業、医療費適正化対策、収納率向上対策を実施し、国民健康保険事業の安定的な運営を目指す。

評価指標 (単位)		目標	実績
①特定健診受診率 (%)		①50	①50.3
②特定保健指導実施率 (%)		②46	②64.3
○主な歳入	国民健康保険税	2,231,996,233円	
	保険給付費等交付金 (県)	7,649,610,300円	
	繰入金	992,740,348円	

款 項 目					= 予 算 所 属 = 健康福祉部介護保険課																																																																
事 業 名	後期高齢者医療事業特別会計																																																																				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																																																																	
1, 279, 729, 000 円	1, 273, 736, 262 円	0 円	5, 992, 738 円	99.5 %																																																																	
目 的・趣 旨	高齢者の医療の確保に関する法律の規定により、山形県後期高齢者医療広域連合が行う保険給付事業の円滑な運営を推進する。																																																																				
事 業 成 果 の 概 要 等	○事業内容																																																																				
	(1) 後期高齢者医療保険料の徴収																																																																				
	(2) 後期高齢者医療制度に係る各種申請等の受付業務																																																																				
	(3) 後期高齢者医療制度の周知に係る活動																																																																				
	○事業実績・説明																																																																				
	(1) 後期高齢者医療制度に係る各種申請等受付業務の状況																																																																				
	・医療給付関係受付件数																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>葬祭費</th> <th>療養費</th> <th>高額療養費</th> <th>高額介護合算療養費</th> <th>第三者行為</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>1, 146件</td> <td>341件</td> <td>2, 395件</td> <td>707件</td> <td>24件</td> <td>4, 613件</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>1, 228件</td> <td>345件</td> <td>2, 459件</td> <td>923件</td> <td>20件</td> <td>4, 975件</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>1, 273件</td> <td>335件</td> <td>2, 646件</td> <td>1, 214件</td> <td>22件</td> <td>5, 490件</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1, 169件</td> <td>317件</td> <td>2, 582件</td> <td>1, 051件</td> <td>34件</td> <td>5, 153件</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1, 192件</td> <td>300件</td> <td>2, 390件</td> <td>910件</td> <td>27件</td> <td>4, 819件</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1, 242件</td> <td>317件</td> <td>2, 554件</td> <td>1, 018件</td> <td>26件</td> <td>5, 157件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1, 233件</td> <td>314件</td> <td>2, 392件</td> <td>1, 099件</td> <td>27件</td> <td>5, 065件</td> </tr> </tbody> </table>						年度	葬祭費	療養費	高額療養費	高額介護合算療養費	第三者行為	合計	H24	1, 146件	341件	2, 395件	707件	24件	4, 613件	H25	1, 228件	345件	2, 459件	923件	20件	4, 975件	H26	1, 273件	335件	2, 646件	1, 214件	22件	5, 490件	H27	1, 169件	317件	2, 582件	1, 051件	34件	5, 153件	H28	1, 192件	300件	2, 390件	910件	27件	4, 819件	H29	1, 242件	317件	2, 554件	1, 018件	26件	5, 157件	H30	1, 233件	314件	2, 392件	1, 099件	27件	5, 065件							
	年度	葬祭費	療養費	高額療養費	高額介護合算療養費	第三者行為	合計																																																														
	H24	1, 146件	341件	2, 395件	707件	24件	4, 613件																																																														
H25	1, 228件	345件	2, 459件	923件	20件	4, 975件																																																															
H26	1, 273件	335件	2, 646件	1, 214件	22件	5, 490件																																																															
H27	1, 169件	317件	2, 582件	1, 051件	34件	5, 153件																																																															
H28	1, 192件	300件	2, 390件	910件	27件	4, 819件																																																															
H29	1, 242件	317件	2, 554件	1, 018件	26件	5, 157件																																																															
H30	1, 233件	314件	2, 392件	1, 099件	27件	5, 065件																																																															
・資格関係受付件数																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>得喪</th> <th>保険証再交付</th> <th>限度額・減額認定</th> <th>基準収入額認定</th> <th>保険料納付額証明※</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>152件</td> <td>851件</td> <td>1, 131件</td> <td>115件</td> <td>133件</td> <td>472件</td> <td>2, 854件</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>157件</td> <td>763件</td> <td>1, 305件</td> <td>91件</td> <td>244件</td> <td>471件</td> <td>3, 031件</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>127件</td> <td>794件</td> <td>1, 512件</td> <td>70件</td> <td>153件</td> <td>436件</td> <td>3, 092件</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>142件</td> <td>658件</td> <td>1, 614件</td> <td>59件</td> <td>140件</td> <td>546件</td> <td>3, 159件</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>137件</td> <td>630件</td> <td>1, 865件</td> <td>51件</td> <td>125件</td> <td>470件</td> <td>3, 278件</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>132件</td> <td>624件</td> <td>1, 988件</td> <td>34件</td> <td>88件</td> <td>519件</td> <td>3, 385件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>107件</td> <td>678件</td> <td>768件</td> <td>27件</td> <td>85件</td> <td>509件</td> <td>2, 174件</td> </tr> </tbody> </table>						年度	得喪	保険証再交付	限度額・減額認定	基準収入額認定	保険料納付額証明※	その他	合計	H24	152件	851件	1, 131件	115件	133件	472件	2, 854件	H25	157件	763件	1, 305件	91件	244件	471件	3, 031件	H26	127件	794件	1, 512件	70件	153件	436件	3, 092件	H27	142件	658件	1, 614件	59件	140件	546件	3, 159件	H28	137件	630件	1, 865件	51件	125件	470件	3, 278件	H29	132件	624件	1, 988件	34件	88件	519件	3, 385件	H30	107件	678件	768件	27件	85件	509件	2, 174件
年度	得喪	保険証再交付	限度額・減額認定	基準収入額認定	保険料納付額証明※	その他	合計																																																														
H24	152件	851件	1, 131件	115件	133件	472件	2, 854件																																																														
H25	157件	763件	1, 305件	91件	244件	471件	3, 031件																																																														
H26	127件	794件	1, 512件	70件	153件	436件	3, 092件																																																														
H27	142件	658件	1, 614件	59件	140件	546件	3, 159件																																																														
H28	137件	630件	1, 865件	51件	125件	470件	3, 278件																																																														
H29	132件	624件	1, 988件	34件	88件	519件	3, 385件																																																														
H30	107件	678件	768件	27件	85件	509件	2, 174件																																																														
※「保険料納付額証明」は平成24年度分から口座振替者全員に送付している。																																																																					
(2) 後期高齢者医療保険料収納状況 (単位：円、%)																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調定額</th> <th>収入済額</th> <th>不納欠損額</th> <th>収入未済額</th> <th>未還付額</th> <th>収納率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年分</td> <td>871, 328, 500</td> <td>869, 659, 460</td> <td>0</td> <td>3, 389, 710</td> <td>1, 720, 670</td> <td>99.61</td> </tr> <tr> <td> 特別徴収</td> <td>637, 913, 600</td> <td>639, 249, 500</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1, 335, 900</td> <td>100.00</td> </tr> <tr> <td> 普通徴収</td> <td>233, 414, 900</td> <td>230, 409, 960</td> <td>0</td> <td>3, 389, 710</td> <td>384, 770</td> <td>98.55</td> </tr> <tr> <td>滞納繰越分</td> <td>8, 111, 685</td> <td>3, 108, 235</td> <td>708, 110</td> <td>4, 295, 340</td> <td></td> <td>38.32</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>879, 440, 185</td> <td>872, 767, 695</td> <td>708, 110</td> <td>7, 685, 050</td> <td>1, 720, 670</td> <td>99.05</td> </tr> </tbody> </table>						区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	未還付額	収納率	現年分	871, 328, 500	869, 659, 460	0	3, 389, 710	1, 720, 670	99.61	特別徴収	637, 913, 600	639, 249, 500	0	0	1, 335, 900	100.00	普通徴収	233, 414, 900	230, 409, 960	0	3, 389, 710	384, 770	98.55	滞納繰越分	8, 111, 685	3, 108, 235	708, 110	4, 295, 340		38.32	合 計	879, 440, 185	872, 767, 695	708, 110	7, 685, 050	1, 720, 670	99.05																						
区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	未還付額	収納率																																																															
現年分	871, 328, 500	869, 659, 460	0	3, 389, 710	1, 720, 670	99.61																																																															
特別徴収	637, 913, 600	639, 249, 500	0	0	1, 335, 900	100.00																																																															
普通徴収	233, 414, 900	230, 409, 960	0	3, 389, 710	384, 770	98.55																																																															
滞納繰越分	8, 111, 685	3, 108, 235	708, 110	4, 295, 340		38.32																																																															
合 計	879, 440, 185	872, 767, 695	708, 110	7, 685, 050	1, 720, 670	99.05																																																															
※収入済額には、未還付額を含む。																																																																					
※収納率は、未還付額控除後及び不納欠損額控除前の数値																																																																					

(3) 制度周知に関する取り組み										
<ul style="list-style-type: none"> ・市広報によるお知らせ 市広報7月号で制度の概要、保険料、被保険者証の更新等のお知らせを行った。 ・市ホームページでのお知らせ 制度の概要等を掲載した。 ・その他 被保険者への郵送物にリーフレット等を同封し、制度周知に取り組んだ。 										
○評価・方向性										
山形県後期高齢者医療広域連合と連携し、制度の推進を図った。										
引き続き、制度周知等の取り組みにより、保険料納入に対する理解と収納率の向上に努める。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標 (単位)</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">現年度分後期高齢者医療保険料収納率の対前々年度向上率 (ポイント)</td> <td>0.05</td> <td>0.11</td> </tr> </tbody> </table>			評価指標 (単位)		目標	実績	現年度分後期高齢者医療保険料収納率の対前々年度向上率 (ポイント)		0.05	0.11
評価指標 (単位)		目標	実績							
現年度分後期高齢者医療保険料収納率の対前々年度向上率 (ポイント)		0.05	0.11							
備 考	○主な歳入 後期高齢者医療保険料 872, 767, 695円 繰越金 6, 443, 461円 手数料 119, 510円 諸収入 4, 756, 949円 繰入金 391, 801, 159円									

款 項 目					= 予算所属 = 健康福祉部介護保険課
事 業 名	介護保険特別会計				
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
12,864,781,000円	12,575,670,871円	0円	289,110,129円	97.8%	

目的・趣旨

介護保険制度の円滑な運営実施と介護予防及び地域包括ケアの確立を図る。

○事業内容

項目	概要	金額 (円)
総務費	職員給与、一般事務費等	196,752,523円
保険給付費	介護サービス費用の7～9割を給付	11,463,289,107円
地域支援事業費	介護予防事業、地域包括支援センターの運営	418,469,210円
基金積立金	剰余金を介護給付費準備基金へ積立	357,078,200円
諸支出金	前年度国県交付金の返還等	115,300,927円
市町村特別給付費	在宅紙おむつ券の交付	24,780,904円
合計		12,575,670,871円

○事業実績・説明

(1) 介護保険給付関係

・介護給付費 (対前年比 1.1%増)

(単位:円)

サービス種別		平成28年度	平成29年度	平成30年度
介護給付 (要介護1～5)	居宅サービス	4,193,485,952	4,378,937,594	4,512,077,571
	地域密着型サービス	2,030,964,529	2,094,602,905	2,152,287,353
	施設サービス	3,257,943,196	3,288,261,575	3,333,600,033
	その他福祉用具等	616,123,106	610,002,083	637,639,092
予防給付 (要支援1・2)	居宅サービス	364,617,450	231,693,403	86,890,913
	地域密着型サービス	32,247,107	31,011,779	32,014,903
	その他福祉用具等	69,642,282	49,359,457	32,738,654
審査支払手数料・高額介護サービス費他		667,132,903	659,863,183	676,040,588
合計		11,232,156,525	11,343,731,979	11,463,289,107

・介護サービス利用人数 6,115人 (対前年比 4.8%減)

(2) 認定審査関係

・認定審査件数 5,109件 (前年比17.0%減、審査会開催件数177回)

・認定者数の推移 (対前年比 0.3ポイント増)

要介護度	H28	H29	H30	
			認定者数	割合
要支援1	679人	474人	534人	7.7%
要支援2	882人	795人	786人	11.3%
要介護1	1,431人	1,358人	1,356人	19.5%
要介護2	1,393人	1,460人	1,528人	22.0%
要介護3	1,080人	1,067人	1,130人	16.3%
要介護4	858人	874人	875人	12.6%
要介護5	757人	768人	741人	10.6%
合計	7,080人	6,796人	6,950人	100.0%
認定率	19.6%	18.6%	18.9%	-

・審査判定状況

新規申請	1,695件
更新申請	2,906件
区分変更申請	508件
合計	5,109件

事業成果の概要等

(3) 保険料賦課徴収関係

・収納状況 ※収入済額には未還付額を含む。

(単位:円)

区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	未還付額
現年分	2,760,123,185	2,746,469,790	0	19,027,061	5,373,666
特別徴収	2,594,444,126	2,598,749,998	0	0	4,305,872
普通徴収	165,679,059	147,719,792	0	19,027,061	1,067,794
滞納繰越分	56,649,360	9,388,919	20,171,258	27,140,733	51,550
合計	2,816,772,545	2,755,858,709	20,171,258	46,167,794	5,425,216

・収納率 現年分 99.31% 滞納繰越分 16.48% 合計 97.64%

(対前年比 0.29ポイント増)

・不納欠損額 件数3,839件 (実人数311人)、金額20,171,258円

(4) 地域支援事業関係

・一般介護予防・日常生活支援総合事業

訪問・通所型サービス	A型実施事業所数(緩和した基準) 57事業所 B型設立・実施地区数(住民主体) 10地区(うち訪問型1)
しゃんしゃん元気づくり事業	実施団体30箇所、延べ回数861回、延べ参加者数15,801人
栄養口腔講座	実施2地区、回数6回、延べ参加者数63人
口腔機能向上普及啓発事業	回数49回、延べ参加者数1,073人
すこやかマナーズ事業(アティビティ等のサービスを提供)	委託事業所数19箇所、登録人数395人、延べ参加者数624人
いきいき百歳体操(住民主体の通いの場の立上げ支援事業)	説明・体験会実施50回、実施拠点数延べ106箇所、うち11箇所B型へ移行

・包括的支援事業 ・任意事業

総合相談事業	地域包括支援センターに委託: 総合相談15,957件、権利擁護 386件、包括的・継続的ケアマネジメント 1,272件、介護予防ケアマネジメント 1,182件
家族介護者支援事業	家族介護者交流会: 回数28回、延べ参加者数158人 介護家族への訪問健康相談: 実件数240件 延べ344件
地域包括ケア推進事業	地域ケア会議: 回数119回、延べ参加者数1,735人
認知症総合支援事業	認知症センター養成講座: 回数49回、参加者数902人、認知症カフェ: 回数15回、参加者数222人、安心おかえり登録者数: 累計436人、さかた声かけ隊登録者数: 累計2,088人、認知症初期集中支援事業: 7人

(5) 市町村特別給付関係

・所得や要介護度に応じて在宅紙おむつ券を交付(交付者数: 579人)

交付額31,090,500円(うち使用額24,037,000円・対前年比 5.7%増)

○評価・方向性

地域の支えあい体制づくりの推進に向け、住民主体による総合事業B型サービスが、訪問型サービスにおいては1地区、通所型サービスにおいては10地区で設立・実施された。住民主体の通いの場の立上げ支援事業であるいきいき百歳体操の実施箇所も増えており、多様なサービスの充実に向けて支援を継続していく。

評価指標(単位)		目標	実績
現年度分介護保険料収納率の対前々年度向上率(ポイント)		0.05	0.16
○主な歳入	介護保険料	2,755,858,709円	支払基金交付金 3,164,966,000円
	国庫支出金	3,194,988,601円	準備基金繰入金 23,974,000円
	県支出金	1,686,252,594円	一般会計繰入金 1,710,831,547円

備考

款 項 目	= 予 算 所 属 = 地域創生部商工港湾課																									
事 業 名	駐車場事業特別会計																									
予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①																						
34,517,000円	27,930,100円	0円	6,586,900円	80.9%																						
目 的 ・ 趣 旨	市営駐車場の維持管理をすることにより、自家用車等による商業施設等への来客者の利便性を図る。また空港レンタカー駐車を設置し、空港利用者の利便性の向上を図る。																									
事 業 ・ 成 果 の 概 要 等	○事業内容																									
	(1) 駐車場管理運営事業 25,355,100円 市営駐車場の管理運営と空港レンタカー駐車場の運営費用を支出した。																									
	(2) 駐車場整備基金積立金 2,575,000円 収益を基金に積み立て、健全な財政運営の基礎となる原資を確保した。 (平成30年度末残高 160,299,000円)																									
	○事業実績・説明																									
	(1) 駐車場使用料																									
	・中央地下駐車場/収容台数99台/営業時間7:30~21:30																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">一般車</th> <th colspan="3">月極車</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>利用台数 (台)</th> <th>収 入 (円)</th> <th>契約台数 (台)</th> <th>利用台数 (台)</th> <th>収 入 (円)</th> <th>利用台数 (台)</th> <th>収 入 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20,065</td> <td>3,189,270</td> <td>70</td> <td>14,888</td> <td>4,946,400</td> <td>34,953</td> <td>8,135,670</td> </tr> </tbody> </table> ※使用料：1時間220円、月極め月額10,800円（日・祝日除く場合は5,400円）					一般車		月極車			合計		利用台数 (台)	収 入 (円)	契約台数 (台)	利用台数 (台)	収 入 (円)	利用台数 (台)	収 入 (円)	20,065	3,189,270	70	14,888	4,946,400	34,953	8,135,670
	一般車		月極車			合計																				
	利用台数 (台)	収 入 (円)	契約台数 (台)	利用台数 (台)	収 入 (円)	利用台数 (台)	収 入 (円)																			
	20,065	3,189,270	70	14,888	4,946,400	34,953	8,135,670																			
・中町にぎわい健康プラザ駐車場/収容台数115台/24時間営業																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">一般利用車</th> <th colspan="2">健康プラザ利用車</th> <th colspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>利用台数 (台)</th> <th>収 入 (円)</th> <th>利用台数 (台)</th> <th>収 入 (円)</th> <th>利用台数 (台)</th> <th>収 入 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,197</td> <td>1,245,800</td> <td>34,620</td> <td>15,574,900</td> <td>39,817</td> <td>16,820,700</td> </tr> </tbody> </table> ※使用料：1時間220円					一般利用車		健康プラザ利用車		合 計		利用台数 (台)	収 入 (円)	利用台数 (台)	収 入 (円)	利用台数 (台)	収 入 (円)	5,197	1,245,800	34,620	15,574,900	39,817	16,820,700				
一般利用車		健康プラザ利用車		合 計																						
利用台数 (台)	収 入 (円)	利用台数 (台)	収 入 (円)	利用台数 (台)	収 入 (円)																					
5,197	1,245,800	34,620	15,574,900	39,817	16,820,700																					
・空港レンタカー駐車場 使用面積：3,057.53㎡ 使用料：月額339,385円×12月＝4,072,620円 平成30年7月 使用面積：37.07㎡増設 使用料：月額4,114円×9月＝37,026円 ・中央地下駐車場占用使用料 57,800円																										
(2) 財産貸付収入 空港レンタカー駐車場 453,240円																										
○評価・方向性 中央地下駐車場の一般車の利用台数は前年度より6,602台減少した。一方、中町にぎわい健康プラザ駐車場は、1階健康増進施設利用者が順調に増え、駐車台数も堅調に伸びた。引き続き来街者の利便性の向上に努める。																										
評価指標（単位）		目標	実績																							
市営駐車場の利用台数（台）		69,660	74,770																							
備 考	○主な歳入 駐車場使用料 29,123,816円 財産貸付収入 453,240円 基金利子収入 170,145円																									

第 2 部

決 算 の 概 要

1 平成30年度会計別決算の状況

(単位：円)

区 分	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	歳入歳出差引額 (形式収支) (A)-(B)=(C)	翌年度へ繰り 越すべき財源 (D)	実 質 収 支 (C)-(D)
1. 一 般 会 計	54,555,642,124	53,355,924,578	1,199,717,546	116,955,344	1,082,762,202
2. 風力発電事業特別会計	1,085,636,244	1,085,636,244			
3. 交通災害共済事業特別会計	21,694,935	20,158,239	1,536,696		1,536,696
4. 定期航路事業特別会計	308,176,694	308,176,694			
5. 国民健康保険特別会計	11,644,375,584	11,237,847,833	406,527,751		406,527,751
6. 後期高齢者医療事業特別会計	1,278,091,774	1,273,736,262	4,355,512		4,355,512
7. 介護保険特別会計	12,895,317,071	12,575,670,871	319,646,200		319,646,200
8. 駐車場事業特別会計	32,261,914	27,930,100	4,331,814		4,331,814
合 計	81,821,196,340	79,885,080,821	1,936,115,519	116,955,344	1,819,160,175

区 分	収入決算額 (A)	支出決算額 (B)	税込収支額 (A) - (B)	純損益及び資本的 収支不足額	翌年度繰越額
9. 水 道 事 業 計 水 会 計	収益的収支	3,060,720,738	2,498,085,031	562,635,707	521,180,261
	資本的収支	85,802,894	1,310,148,603	△1,224,345,709	△1,224,345,709
10. 下 水 道 事 業 計 水 会 計	収益的収支	4,967,120,420	4,885,989,053	81,131,367	16,373,161
	資本的収支	1,470,921,831	3,717,744,764	△2,246,822,933	△2,246,822,933

2 財政指標

(1) 財政統計指標 (普通会計)

(単位:千円、%)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳入総額 (A)	51,429,440	56,710,153	55,311,704	57,644,049	53,783,672
歳出総額 (B)	49,547,727	55,136,933	53,566,251	56,478,988	52,579,622
形式収支 (A)-(B)=(C)	1,881,713	1,573,220	1,745,453	1,165,061	1,204,050
翌年度へ繰り 越すべき財源(D)	205,140	145,555	270,675	68,247	116,955
実質収支 (C)-(D)=(E)	1,676,573	1,427,665	1,474,778	1,096,814	1,087,095
単年度収支 (F)	597,902	※△248,556	47,113	△ 377,964	△ 9,719
積立金 (G)	578,281	2,107,225	1,006,205	963,453	385,785
繰上償還金 (H)	20,901	25,708	13,758	24,383	28,300
積立金取り崩し額 (I)	1,133,292	1,241,963	1,690,000	923,643	696,723
実質単年度収支 (F)+(G)+(H)-(I)=(J)	63,792	642,414	△ 622,924	△ 313,771	△ 292,357
基準財政需要額	25,332,446	25,589,683	25,253,627	25,063,502	24,618,306
基準財政収入額	10,688,158	11,343,657	11,483,947	11,644,538	11,719,089
標準財政規模 (K)	30,437,071	30,558,238	29,842,611	29,791,316	29,337,757
実質収支比率 (E)／(K)×100	5.5	4.7	4.9	3.7	3.7
財政力指数 (3か年平均)	※0.453	※0.460	※0.469	※0.477	※0.481
経常収支比率	93.1 ※99.8	93.5 ※99.6	94.8 ※99.7	94.7 ※99.8	95.8 ※101.0
基金現在高	12,773,888	12,610,920	11,505,539	11,101,649	9,717,490
うち財政調整基金 現在高	3,119,469	3,984,731	3,300,936	3,340,746	3,029,808
地方債現在高	64,085,399	63,806,844	62,522,968	63,119,669	61,429,845

- (注) 1 単年度収支欄中※印は、平成26年度に行われた所得税の源泉徴収漏れに係る未徴収分を、国の指導により控除したものである。
 2 財政力指数欄中※印は、新市一本算定で算出した基準財政需要額と基準財政収入額を使用した数値である。
 3 経常収支比率欄中※印は、減収補てん債(特例分)及び臨時財政対策債を經常一般財源等から除いた場合の数値である。

(2) 健全化判断比率

(単位:%)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
実質赤字比率	—	—	—	—	—
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—
実質公債費比率 (3か年平均)	10.9	11.4	11.8	11.3	10.6
将来負担比率	44.6	40.5	44.6	42.4	34.3

- 1 実質公債費比率は、他会計等を含めた公債費等に充当された一般財源額の標準財政規模等に占める割合の指標である。
 2 将来負担比率は、他会計等を含めた地方債残高のほか将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模等に占める割合の指標である。

3 平成30年度普通会計決算の概要

(1) 決算規模（第1表参照）

平成30年度の酒田市の普通会計の純計決算額は、

歳入 537億8,367万2千円（前年度 576億4,404万9千円）

歳出 525億7,962万2千円（前年度 564億7,898万8千円）

となっており、前年度と比べ、歳入では38億6,037万7千円（6.7%）、歳出では38億9,936万6千円（6.9%）がそれぞれ減額となっています。

決算規模が減額となった大きな要因は、普通建設事業費が前年度から23億8,625万7千円と大幅な減額となったことによるものです。中でも、議会関連機器等整備事業費、新庁舎整備事業費、公的介護施設等整備事業費、学校グラウンド改修事業費（小学校）、光ヶ丘球技場人工芝整備事業費の皆減、駅周辺整備事業費、酒田市斎場改築事業費、側溝整備事業費、橋りょう延命化事業費、田沢小学校改修事業費の減額が大きなものとなっています。また、物件費が、庁舎関連機器等整備事業に係る庁用器具購入費、一般職非常勤職員制度の整備により費目の性質が人件費へ変更となる日々雇用職員給与費、風力発電施設整備推進事業に係る調査・測量・観測委託料の皆減などにより9億2,454万3千円、積立金が、財政調整基金、市債管理基金、振興開発基金への積み立ての減などにより6億9,929万8千円、補助費等が、病院事業負担金（旧八幡病院）の皆減、ふるさと納税推進事業に係る報償金、酒田地区広域行政組合分賦金（消防分）の減などにより3億9,270万5千円がそれぞれ前年度から減額となっています。

第1表 決算規模の増減率の推移

（単位：％）

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳入規模 対前年度 増減率	△8.7	10.3	△2.5	4.2	△6.7
歳出規模 対前年度 増減率	△10.3	11.3	△2.8	5.4	△6.9

(2) 決算収支（第2表及び第1図参照）

形式収支 12億 405万円
 実質収支 10億8,709万5千円
 単年度収支 △ 971万9千円
 実質単年度収支 △2億9,235万7千円

平成30年度決算における形式収支（歳入歳出差引額）は、12億405万円の黒字となり、形式収支から繰越明許費等の繰越による翌年度へ繰り越すべき財源1億1,695万5千円を控除した実質収支は、10億8,709万5千円の黒字（前年度10億9,681万4千円）となっています。

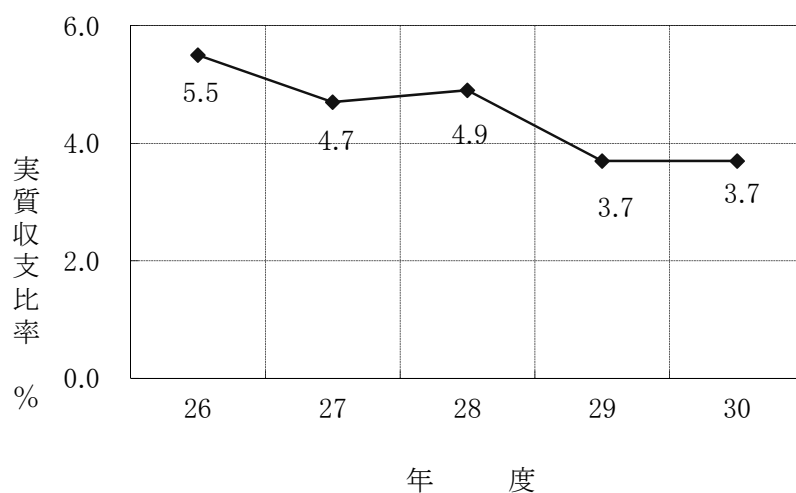
実質収支及び実質収支比率の推移は、第2表及び第1図のとおりです。

第2表 実質収支の推移

(単位：千円)

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
実質収支	1,676,573	1,427,665	1,474,778	1,096,814	1,087,095

第1図 実質収支比率の推移



(3) 当初予算と決算の比較（性質別）（第3表参照）

平成30年度決算額の性質別内容は、第3表のとおりです。当初予算に比べ、歳入合計については1億5,420万6千円（+2.2%）の増額、歳出合計については4,984万4千円（△0.1%）の減額となっています。

第3表 性質別決算の内容

(歳入)

(単位：千円、%)

	区 分	当初予算額	決算額	伸 率
1	市 税	13,112,391	13,244,049	1.0
2	地 方 譲 与 税	419,400	433,098	3.3
3	利 子 割 交 付 金	15,600	20,766	33.1
4	配 当 割 交 付 金	22,200	25,016	12.7
5	株式等譲渡所得割交付金	46,700	22,299	△ 52.3
6	地 方 消 費 税 交 付 金	2,007,900	2,079,890	3.6
7	ゴルフ場利用税交付金	5,600	5,751	2.7
8	自動車取得税交付金	98,100	111,228	13.4
9	地 方 特 例 交 付 金	44,300	53,974	21.8
10	地 方 交 付 税	14,217,000	14,162,490	△ 0.4
11	交通安全対策特別交付金	19,192	17,128	△ 10.8
12	分 担 金 及 び 負 担 金	340,674	339,084	△ 0.5
13	使 用 料 及 び 手 数 料	606,503	571,813	△ 5.7
14	国 庫 支 出 金	5,820,624	5,783,711	△ 0.6
15	県 支 出 金	3,394,399	3,486,209	2.7
16	財 産 収 入	120,903	120,930	0.0
17	寄 附 金	612,019	1,288,945	110.6
18	繰 入 金	2,097,689	2,283,571	8.9
19	繰 越 金	400,001	1,165,061	191.3
20	諸 収 入	3,601,171	3,129,659	△ 13.1
21	市 債	5,627,100	5,439,000	△ 3.3
	歳入合計	52,629,466	53,783,672	2.2

(歳出)

(単位：千円、%)

	区 分	当初予算額	決算額	伸 率
1	人 件 費	7,854,593	7,651,872	△ 2.6
2	扶 助 費	8,833,392	9,092,923	2.9
3	公 債 費	7,526,013	7,539,943	0.2
4	物 件 費	6,134,831	6,020,648	△ 1.9
5	維 持 補 修 費	838,149	799,000	△ 4.7
6	補 助 費 等	8,868,991	9,189,715	3.6
7	積 立 金	340,684	774,231	127.3
8	投 資 出 資 金 貸 付 金	2,824,684	2,235,421	△ 20.9
9	繰 出 金	4,332,710	4,372,001	0.9
10	予 備 費	31,000	0	△ 100.0
11	普 通 建 設 事 業 費	5,032,384	4,849,492	△ 3.6
12	災 害 復 旧 費	12,035	54,376	351.8
	歳出合計	52,629,466	52,579,622	△ 0.1

※当初予算額には、継続費通次繰越額、繰越明許費繰越額は含みません。

※普通会計では、旧八幡病院に係る経費（債務承継分、清算事業費など）は除きます。

4 財政資料（普通会計）

(1) 歳入の状況（第4表及び第2図参照）

平成30年度の歳入決算額は、537億8,367万2千円で前年度に比べ38億6,037万7千円（6.7%）の減額となっています。主な内訳は、地方交付税141億6,249万円（構成比26.3%）、市税132億4,404万9千円（構成比24.6%）、国庫支出金57億8,371万1千円（構成比10.8%）、地方債54億3,900万円（構成比10.1%）、県支出金34億8,620万9千円（構成比6.5%）等となっています。

主な増減理由と前年度との比較は、財産収入は、土地売払収入の減等により34.8%の減少、寄附金は、ふるさと納税寄附金、いか釣り船応援寄附金等の減等により19.7%の減少、繰入金は、財政調整基金、市債管理基金等の繰入金が減額となったものの、退職手当基金、さかた応援基金の繰入金の皆増、振興開発基金の繰入金の増額等により18.8%の増加となっています。

国庫支出金は、子どものための教育・保育給付交付金、情報通信技術利活用事業費補助金等が皆増、商工費に係る地方創生推進交付金、都市計画費に係る防災・安全交付金、公立学校施設整備費負担金等が増額となったものの、保育所運営費負担金、臨時福祉給付金（経済対策分）事業費補助金、臨時道路除雪事業費補助金等の皆減、児童手当費負担金、総務管理費に係る社会資本整備総合交付金、道路橋りょう費に係る防災・安全交付金等の減額により4.0%の減少となっています。

県支出金は、担い手確保・経営強化支援事業費補助金、畜産経営競争力強化支援事業費補助金、山形県議会議員選挙費委託金等が皆増、障がい者自立支援給付費負担金、農地利用最適化交付金、森林施業支援事業交付金等が増額となったものの、地域密着型介護施設等整備交付金、園芸大規模団地整備支援事業費補助金、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策交付金等の皆減、保育所運営費負担金、市街地再開発事業等補助金、産地パワーアップ事業費補助金等の減額により10.1%の減少となっています。

地方債は、土木債、教育債等が増額となったものの、新庁舎整備事業に係る総務債、酒田市斎場改築事業に係る衛生債、地域総合整備資金貸付事業に係る商工債等が減額となったことにより2

第4表 歳入年度別決算状況

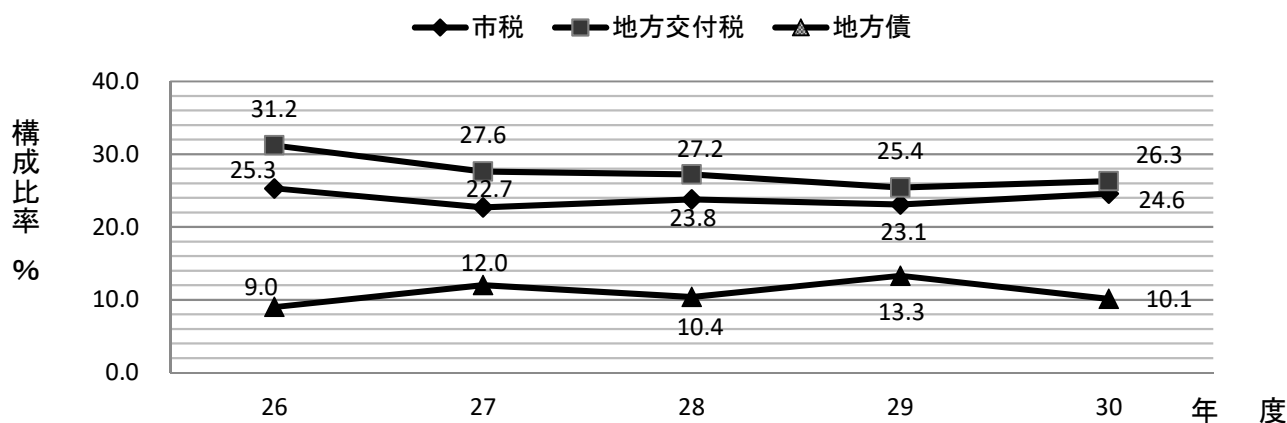
区 分			平成26年度			平成27年度		
			決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率
自 主 財 源	市 税		13,008,254	25.3	2.2	12,901,963	22.7	△ 0.8
	分 担 金 ・ 負 担 金		527,217	1.0	4.3	539,378	1.0	2.3
	使 用 料		582,497	1.1	△ 4.2	528,619	0.9	△ 9.2
	手 数 料		84,238	0.2	△ 3.3	82,792	0.1	△ 1.7
	財 産 収 入		298,426	0.6	26.1	349,539	0.6	17.1
	寄 附 金		139,398	0.3	1946.4	252,960	0.4	81.5
	繰 入 金		2,619,026	5.1	171.8	2,842,179	5.0	8.5
	繰 越 金		1,135,485	2.2	△ 38.8	1,881,361	3.3	65.7
	諸 収 入		2,057,177	4.0	△ 3.0	2,654,506	4.7	29.0
	計		20,451,718	39.8	7.0	22,033,297	38.7	7.7
依 存 財 源	地 方 譲 与 税		412,137	0.8	△ 3.7	434,734	0.8	5.5
	利 子 割 交 付 金		23,177		△ 9.4	22,190		△ 4.3
	配 当 割 交 付 金		50,694	0.1	91.8	40,049	0.1	△ 21.0
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金		27,622	0.1	△ 29.4	32,643	0.1	18.2
	地 方 消 費 税 交 付 金		1,251,113	2.4	20.7	2,042,507	3.6	63.3
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金		8,079		10.7	8,210		1.6
	自 動 車 取 得 税 交 付 金		51,948	0.1	△ 54.3	70,767	0.1	36.2
	地 方 特 例 交 付 金 等		37,103	0.1	△ 7.2	36,544	0.1	△ 1.5
	地 方 交 付 税		16,046,209	31.2	△ 2.1	15,632,766	27.6	△ 2.6
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		19,786		△ 12.1	20,311		2.7
源	国 庫 支 出 金		5,587,320	10.9	△ 17.8	5,377,640	9.5	△ 3.8
	県 支 出 金		2,840,834	5.5	△ 7.2	4,177,395	7.4	47.0
	地 方 債		4,621,700	9.0	△ 50.1	6,781,100	12.0	46.7
	計		30,977,722	60.2	△ 16.8	34,676,856	61.3	11.9
歳 入 合 計			51,429,440	100.0	△ 8.7	56,710,153	100.0	10.3

9. 2%の減少となっています。

地方交付税は、普通交付税が基準財政需要額算定において合併特例事業債等に係る公債費算入額の増額、単位費用の増に伴う高齢者保健福祉費等の増額等があったものの、地域経済・雇用対策費の廃止、地方消費税交付金等の増額に伴う基準財政収入額の増額、合併算定替の縮減等により3.8%の減、特別交付税が1.8%の増となっており、交付税全体では3.3%の減少となっています。

市税は、個人市民税が給与所得の伸びなどにより0.4%、法人市民税が製造業者の組織再編などにより6.6%とそれぞれ増加したものの、固定資産税が評価替の影響などにより1.9%、市たばこ税が消費本数の減により3.5%とそれぞれ減少となっており、市税全体では0.4%の減少となっています。

第2図 市税・地方交付税・地方債の構成比の推移



(単位: 千円、%)

平成28年度			平成29年度			平成30年度		
決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率
13,160,219	23.8	2.0	13,291,780	23.1	1.0	13,244,049	24.6	△ 0.4
387,371	0.7	△ 28.2	338,770	0.6	△ 12.5	339,084	0.6	0.1
479,461	0.9	△ 9.3	475,823	0.8	△ 0.8	493,782	0.9	3.8
82,390	0.2	△ 0.5	80,194	0.1	△ 2.7	78,031	0.2	△ 2.7
231,760	0.4	△ 33.7	185,548	0.3	△ 19.9	120,930	0.2	△ 34.8
982,112	1.8	288.2	1,605,900	2.8	63.5	1,288,945	2.4	△ 19.7
3,087,991	5.6	8.6	1,922,900	3.3	△ 37.7	2,283,571	4.3	18.8
1,573,220	2.8	△ 16.4	1,745,453	3.0	10.9	1,165,061	2.2	△ 33.3
2,517,194	4.6	△ 5.2	3,138,050	5.4	24.7	3,129,659	5.8	△ 0.3
22,501,718	40.8	2.1	22,784,418	39.4	1.3	22,143,112	41.2	△ 2.8
432,425	0.8	△ 0.5	430,562	0.8	△ 0.4	433,098	0.8	0.6
15,588		△ 29.8	24,417		56.6	20,766		△ 15.0
24,746		△ 38.2	32,009	0.1	29.4	25,016	0.1	△ 21.8
12,728		△ 61.0	32,648	0.1	156.5	22,299		△ 31.7
1,827,442	3.3	△ 10.5	1,928,292	3.4	5.5	2,079,890	3.9	7.9
6,376		△ 22.3	5,847		△ 8.3	5,751		△ 1.6
82,982	0.2	17.3	111,649	0.2	34.5	111,228	0.2	△ 0.4
39,936	0.1	9.3	43,872	0.1	9.9	53,974	0.1	23.0
15,069,359	27.2	△ 3.6	14,645,978	25.4	△ 2.8	14,162,490	26.3	△ 3.3
19,551		△ 3.7	18,765		△ 4.0	17,128		△ 8.7
5,992,087	10.8	11.4	6,023,635	10.5	0.5	5,783,711	10.8	△ 4.0
3,542,266	6.4	△ 15.2	3,879,157	6.7	9.5	3,486,209	6.5	△ 10.1
5,744,500	10.4	△ 15.3	7,682,800	13.3	33.7	5,439,000	10.1	△ 29.2
32,809,986	59.2	△ 5.4	34,859,631	60.6	6.2	31,640,560	58.8	△ 9.2
55,311,704	100.0	△ 2.5	57,644,049	100.0	4.2	53,783,672	100.0	△ 6.7

(2) 歳出の状況

平成30年度の歳出決算額は、525億7,962万2千円で、前年度と比べは38億9,936万6千円(6.9%)の減額となっています。

① 目的別歳出の状況(第5表参照)

目的別歳出の主な増減理由と前年度との比較は、次のとおりです。

議会費は、議会関連機器等整備事業費の皆減等により16.3%の減少となっています。

総務費は、中町第1ビル大規模修繕工事負担事業費、平田地区コミュニティセンター分館解体事業費等が皆増、職員給与費(退職手当)等が増額となったものの、庁舎関連機器等整備事業費、新庁舎整備事業費、市議会議員選挙費等の皆減、基金管理事業費、駅周辺整備事業費、ふるさと納税推進事業費等の減額により27.9%の減少となっています。

民生費は、浜田・若竹統合保育園整備事業費等が皆増、児童福祉総務管理事業費(償還金)、保育所等入所扶助事業費等が増額となったものの、臨時福祉給付金(経済対策分)給付事業費、八幡統合保育園整備事業費等の皆減、公的介護施設等整備事業費、児童手当扶助事業費等の減額により0.7%の減少となっています。

衛生費は、診療所管理運営事業費、最終処分場重機更新事業費等が皆増、地方独立行政法人病院事業運営費負担事業費等が増額となったものの、病院事業運営費負担事業費(旧八幡病院)、国民健康保険特別会計(施設勘定)繰出金等の皆減、酒田市斎場改築事業費、酒田地区広域行政組合分賦金(衛生分)等の減額により13.9%の減少となっています。

労働費は、勤労者福祉施設管理運営事業費、勤労者生活安定資金貸付事業費等の減額等により8.1%の減少となっています。

農林水産業費は、担い手確保・経営強化支援事業費、畜産経営競争力強化支援事業費等が皆増、土地改良負担事業費、飛島海づり公園管理運営事業費等が増額となったものの、畜産クラスター事業費等の皆減、経営体育成支援事業費、園芸大国やまがた産地育成支援事業費、産地パワーアップ事業費等の減額により22.2%の減少となっています。

第5表 目的別歳出年度別決算状況

区 分	平成26年度			平成27年度		
	決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率
議 会 費	399,799	0.8	0.1	448,231	0.8	12.1
総 務 費	6,061,031	12.2	△ 43.8	10,625,471	19.3	75.3
民 生 費	14,893,354	30.1	5.7	15,126,460	27.4	1.6
衛 生 費	4,526,149	9.1	△ 9.4	4,641,073	8.4	2.5
労 働 費	172,224	0.3	△ 23.8	176,981	0.3	2.8
農 林 水 産 業 費	1,715,432	3.5	0.6	3,034,679	5.5	76.9
商 工 費	1,454,487	2.9	△ 34.5	2,259,133	4.1	55.3
土 木 費	4,997,195	10.1	△ 2.1	4,696,397	8.5	△ 6.0
消 防 費	2,261,983	4.6	31.7	1,731,677	3.2	△ 23.4
教 育 費	5,234,806	10.6	△ 20.6	4,595,193	8.3	△ 12.2
災 害 復 旧 費	57,272	0.1	△ 45.9	32,766	0.1	△ 42.8
公 債 費	7,535,505	15.2	4.9	7,660,357	13.9	1.7
諸 支 出 金	238,490	0.5	146.8	108,515	0.2	△ 54.5
歳 出 合 計	49,547,727	100.0	△ 10.3	55,136,933	100.0	11.3

商工費は、産業振興まちづくり推進事業費、賃借型立地企業定着促進事業費等が皆増、中小企業融資資金貸付事業費（産業立地促進資金貸付金）、企業立地促進事業費（用地取得助成金）等が増額となったものの、地域総合整備資金貸付事業費、創業促進事業費、産業振興まちづくり支援センター（仮称）創設事業費等の皆減等により12.1%の減少となっています。

土木費は、道路舗装補修事業費、市道大規模改修事業費等が皆減、橋りょう延命化事業費、除雪事業費等が減額となったものの、舗装改修事業費、市道三保六早坂線法面改修事業費等の皆増、中町モール改修事業費、日和山公園環境整備事業費、公園施設長寿命化等整備事業費等の増額により4.1%の増加となっています。

消防費は、酒田地区広域行政組合分賦金（消防分）、防災対策強化事業費等が減額となったものの、武蔵野市友好消防団30周年記念事業費等の皆増、消防庁舎及び総合防災センター整備事業費、防災行政無線デジタル化事業費等の増額により2.1%の増加となっています。

教育費は、学校グラウンド改修事業費（小学校）、光ヶ丘球技場人工芝整備事業費等が皆減、田沢小学校改修事業費、学校ICT環境整備事業費等が減額となったものの、光ヶ丘プール改修事業費、文化芸術推進事業費等の皆増、学校トイレ改修事業費（小学校）、松山小学校改修事業費、文化施設長寿命化対策事業費等の増額により4.5%の増加となっています。

災害復旧費は、林業用施設災害復旧事業費が皆増、農業用施設災害復旧事業費が増額となったものの、公共土木施設災害復旧事業費の減額により12.4%の減少となっています。

公債費は、合併特例事業債、緊急防災・減災事業債、過疎対策事業債等の元金償還金が増額となったものの、旧地域総合整備事業債、減収補填債等の償還終了等により微減となっています。

諸支出金は、定期航路事業特別会計繰出金が減額となったものの、風力発電事業特別会計繰出金の皆増により0.8%の増加となっています。

構成比では、民生費29.1%（前年度27.3%）、公債費14.3%（前年度13.3%）、総務費12.9%（前年度16.7%）、土木費11.3%（前年度10.1%）、教育費10.6%（前年度費9.5%）の順となっています。

（単位：千円、%）

平成28年度			平成29年度			平成30年度		
決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率
381,623	0.7	△ 14.9	439,485	0.8	15.2	367,651	0.7	△ 16.3
7,862,830	14.7	△ 26.0	9,415,129	16.7	19.7	6,786,886	12.9	△ 27.9
15,910,219	29.7	5.2	15,408,294	27.3	△ 3.2	15,304,353	29.1	△ 0.7
5,174,822	9.7	11.5	4,883,510	8.6	△ 5.6	4,206,570	8.0	△ 13.9
138,068	0.2	△ 22.0	144,592	0.3	4.7	132,884	0.3	△ 8.1
2,576,291	4.8	△ 15.1	2,563,877	4.5	△ 0.5	1,993,690	3.8	△ 22.2
1,907,396	3.6	△ 15.6	2,861,977	5.1	50.0	2,515,702	4.8	△ 12.1
4,679,972	8.7	△ 0.3	5,711,816	10.1	22.0	5,945,279	11.3	4.1
2,600,660	4.9	50.2	1,969,693	3.5	△ 24.3	2,011,172	3.8	2.1
4,691,310	8.8	2.1	5,339,700	9.5	13.8	5,581,951	10.6	4.5
21,740		△ 33.7	62,087	0.1	185.6	54,376	0.1	△ 12.4
7,546,889	14.1	△ 1.5	7,540,769	13.3	△ 0.1	7,539,943	14.3	
74,431	0.1	△ 31.4	138,059	0.2	85.5	139,165	0.3	0.8
53,566,251	100.0	△ 2.8	56,478,988	100.0	5.4	52,579,622	100.0	△ 6.9

② 性質別歳出の状況（第6表参照）

性質別歳出の主な増減理由と前年度との比較は、次のとおりです。

人件費は、特別職給与、時間外手当等が減額となったものの、定年退職者等の増による退職手当、一般職非常勤職員制度の整備に伴う委員等報酬等の増額により15.0%の増加となっています。

扶助費は、障がい福祉サービス給付事業に係る介護・訓練等給付費、保育所等入所扶助費、生活保護扶助事業に係る医療扶助費等が増額となったものの、臨時福祉給付金の皆減、児童手当費、児童扶養手当扶助費、子育て支援医療扶助費等の減額により0.9%の減少となっています。

公債費は、合併特例事業債、緊急防災・減災事業債、過疎対策事業債等の元金償還金が増額となったものの、旧地域総合整備事業債、臨時財政対策債、減収補填債等の償還終了等により微減となっています。

物件費は、平田地区コミュニティセンター分館や海づり公園飛島海中体験丸に係る解体経費等の皆増、松くい虫防除業務委託料、国体記念体育館等の指定管理開始に伴う体育施設管理委託料等が増額となったものの、庁舎関連機器等整備事業に係る庁用器具購入費、一般職非常勤職員制度の整備により費目の性質が人件費へ変更となる日々雇用職員給与費、風力発電施設整備推進事業に係る調査・測量・観測委託料等の皆減、ふるさと納税推進事業に係る役務費、体育施設管理事業に係る燃料費及び光熱水費等の減額により13.3%の減少となっています。

補助費等は、担い手確保・経営強化支援事業補助金、産業振興まちづくりセンター運営協議会負担金等が皆増、保育所等入所扶助事業等に係る国庫支出金等の償還金、地方独立

第6表 性質別歳出年度別決算状況

区 分	平成26年度			平成27年度		
	決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率
1. 人 件 費	6,634,422	13.4	4.0	6,686,407	12.1	0.8
2. 扶 助 費	8,422,707	17.0	7.2	8,725,584	15.8	3.6
3. 公 債 費	7,535,505	15.2	4.9	7,660,357	13.9	1.7
(1～3義務的経費計)	22,592,634	45.6	5.5	23,072,348	41.8	2.1
4. 物 件 費	6,243,296	12.6	4.3	6,487,904	11.8	3.9
5. 維 持 補 修 費	739,824	1.5	△ 4.4	748,561	1.4	1.2
6. 補 助 費 等	6,880,961	13.9	△ 10.4	7,771,343	14.1	12.9
7. 積 立 金	1,466,876	3.0	△ 41.7	2,659,573	4.8	81.3
8. 投 資 出 資 貸 付 金	1,133,630	2.3	△ 37.0	1,565,556	2.8	38.1
9. 繰 出 金	6,349,246	12.8	3.8	6,707,588	12.2	5.6
10. 前年度繰上充用金						
11. 普 通 建 設 事 業 費	4,083,988	8.2	△ 53.7	6,091,294	11.0	49.2
うち補助事業	1,816,296	3.6	△ 52.3	954,511	1.7	△ 47.4
うち単独事業	2,083,706	4.2	△ 56.9	4,906,326	8.9	135.5
うち国直轄事業負担金	32,964	0.1	△ 4.3	32,502	0.1	△ 1.4
うち県営事業負担金	151,022	0.3	△ 1.3	197,955	0.4	31.1
12. 災 害 復 旧 事 業 費	57,272	0.1	△ 45.9	32,766	0.1	△ 42.8
(11～12投資的経費計)	4,141,260	8.3	△ 53.6	6,124,060	11.1	47.9
歳 出 合 計	49,547,727	100.0	△ 10.3	55,136,933	100.0	11.3

(注) 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

行政法人病院事業運営費交付金等が増額となったものの、病院事業負担金（旧八幡病）、園芸大規模団地整備支援事業費補助金等の皆減、ふるさと納税推進事業に係る報償金、酒田地区広域行政組合分賦金（消防分）等の減額により4.1%の減少となっています。

積立金は、さかた応援基金積立金、新田産業振興基金積立金が皆増となったものの、財政調整基金積立金、市債管理基金積立金、振興開発基金積立金等の減額により47.5%の減少となっています。

投資出資貸付金は、地方独立行政法人病院事業長期貸付金、産業立地促進資金貸付金等が増額となったものの、病院事業出資金（旧八幡病院）、地域総合整備資金貸付金等の皆減、勤労者生活安定資金貸付金等の減額により10.2%の減少となっています。

繰出金は、風力発電事業特別会計繰出金が皆増、介護保険特別会計繰出金等が増額となったものの、国民健康保険特別会計繰出金、定期航路事業特別会計繰出金等の減額により1.1%の減少となっています。

普通建設事業費の補助事業については、新産業会館整備支援事業費、市道錦町坂野辺新田線外道路改良事業費、日和山公園環境整備事業費、公園施設長寿命化等整備事業費、松山小学校改修事業費等が増額となったものの、新庁舎整備事業費、公的介護施設等整備事業費、学校グラウンド改修事業費（小学校）等の皆減、駅周辺整備事業費、法人立保育所等施設整備事業費、側溝整備事業費、橋りょう延命化事業費等の減額により21億7,371万6千円となり、11.3%の減少となっています。

単独事業では、亀ヶ崎コミュニティ防災センター（仮称）整備事業費、中町第1ビル大規模修繕工事負担事業費、光ヶ丘プール改修事業費等が皆増、防災行政無線デジタル化事業費、松山小学校

(単位:千円、%)

平成28年度			平成29年度			平成30年度		
決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率	決算額	構成比	増減率
6,905,087	12.9	3.3	6,655,648	11.8	△ 3.6	7,651,872	14.6	15.0
9,294,136	17.4	6.5	9,172,144	16.2	△ 1.3	9,092,923	17.3	△ 0.9
7,546,889	14.1	△ 1.5	7,540,769	13.4	△ 0.1	7,539,943	14.3	
23,746,112	44.4	2.9	23,368,561	41.4	△ 1.6	24,284,738	46.2	3.9
6,527,042	12.2	0.6	6,945,191	12.3	6.4	6,020,648	11.4	△ 13.3
767,549	1.4	2.5	902,039	1.6	17.5	799,000	1.5	△ 11.4
7,517,556	14.0	△ 3.3	9,582,420	17.0	27.5	9,189,715	17.5	△ 4.1
1,920,723	3.6	△ 27.8	1,473,529	2.6	△ 23.3	774,231	1.5	△ 47.5
1,504,807	2.8	△ 3.9	2,489,336	4.4	65.4	2,235,421	4.3	△ 10.2
6,752,904	12.6	0.7	4,420,076	7.8	△ 34.5	4,372,001	8.3	△ 1.1
4,807,818	9.0	△ 21.1	7,235,749	12.8	50.5	4,849,492	9.2	△ 33.0
1,436,412	2.7	50.5	2,450,217	4.3	70.6	2,173,716	4.1	△ 11.3
3,007,420	5.6	△ 38.7	4,507,207	8.0	49.9	2,311,488	4.4	△ 48.7
36,798	0.1	13.2	35,545	0.1	△ 3.4	31,899	0.1	△ 10.3
327,188	0.6	65.3	242,780	0.4	△ 25.8	332,389	0.6	36.9
21,740		△ 33.7	62,087	0.1	185.6	54,376	0.1	△ 12.4
4,829,558	9.0	△ 21.1	7,297,836	12.9	51.1	4,903,868	9.3	△ 32.8
53,566,251	100.0	△ 2.8	56,478,988	100.0	5.4	52,579,622	100.0	△ 6.9

改修事業費、文化施設長寿命化対策事業費等が増額となったものの、議会関連機器等整備事業費、新庁舎整備事業費、光ヶ丘球技場人工芝整備事業費等の皆減、駅周辺整備事業費、酒田市斎場改築事業費、市道矢流川大平線道路改良事業費、田沢小学校改修事業費等の減額により23億1,148万8千円となり、48.7%の減少となっています。

災害復旧費は、林業用施設災害復旧事業費が皆増、農業用施設災害復旧事業費が増額となったものの、公共土木施設災害復旧事業費の減額により12.4%の減少となっています。

(3) 公債費の状況（第7表及び第8表参照）

第7表 借入先別及び利率別現在高の状況

区 分	平成29年度末 現 在 高	平成30年度 発 行 額	平成30年度 償還元金額	平成30年度末 現 在 高		
	(A)	(B)	(C)	(A)+(B)-(C) =(D)	1.5% 以 下	2.0% 以 下
1. 財 政 融 資 資 金	10,201,984	1,420,500	1,296,346	10,326,138	7,655,794	1,961,393
2. 旧 郵 便 貯 金 資 金	1,058,513		170,691	887,822	887,822	
3. 旧 簡 易 生 命 保 険 資 金	294,402		99,867	194,535	108,940	
4. 地 方 公 共 団 体 金 融 機 構 資 金	6,021,366	1,243,500	470,522	6,794,344	2,862,236	2,541,692
うち旧公営企業 金融公庫資金	1,418,299		209,457	1,208,842	100,092	751,266
5. 国の子算貸付・政 府関係機関貸付	3,694		2,030	1,664		
6. 市 中 銀 行 等	43,133,753	2,203,300	4,712,065	40,624,988	40,499,938	125,050
7. 共 済 等	2,134,602	571,700	348,434	2,357,868	2,274,528	83,340
8. 県 貸 付 金	271,355		28,869	242,486	242,486	
合 計	63,119,669	5,439,000	7,128,824	61,429,845	54,531,744	4,711,475

③ 義務的経費と投資的経費（第6表参照）

義務的経費（人件費、扶助費及び公債費）の決算額は、前年度と比べ9億1,617万7千円（3.9%）の増額となっており、扶助費及び公債費が減額となったものの、人件費が増額となっています。

投資的経費（普通建設事業費及び災害復旧事業費）の決算額は、前年度と比べ23億9,396万8千円（32.8%）の減額となっており、普通建設事業費及び災害復旧事業費ともに減額となっています。投資的経費における各構成比は、普通建設事業費98.9%（前年度99.1%）、災害復旧事業費1.1%（前年度0.9%）となっており、普通建設事業費における各構成比は、補助事業費44.8%（前年度33.9%）、単独事業費47.7%（前年度62.3%）、国直轄事業負担金0.7%（前年度0.5%）、県営事業負担金6.8%（前年度3.3%）となっています。

（単位：千円）

(D) の 利 率 別 内 訳										
2.5% 以下	3.0% 以下	3.5% 以下	4.0% 以下	4.5% 以下	5.0% 以下	5.5% 以下	6.0% 以下	6.5% 以下	7.0% 以下	7.0% 超
426,034	134,621	99,755	41,752	6,789						
	9,733	57,444	18,418							
1,231,933	66,680	63,632	28,171							
199,001	66,680	63,632	28,171							
		354	868	442						
1,657,967	211,034	221,185	89,209	7,231						

第8表 平成30年度借入状況（事業別）

（単位：％、千円）

目	節			借入額
	事業名	借入先	利率	
一般会計				5,439,000
1. 総務債				268,600
1. 総務管理債				268,600
	駅周辺整備事業	荘内銀行	0.420	60,000
	（繰越明許費）駅周辺整備事業	荘内銀行	0.420	64,500
	新産業会館整備支援事業	荘内銀行	0.420	17,900
	（繰越明許費）新産業会館整備支援事業	荘内銀行	0.420	8,900
	自治会組織支援事業	荘内銀行	0.420	10,400
	コミュニティ（防災）センター改修事業	財政融資	0.020	1,600
		市有物件災害共済会	0.010	4,200
	コミュニティ振興事業	財政融資	0.020	12,400
	亀ヶ崎コミュニティ防災センター（仮称）整備事業	市有物件災害共済会	0.010	17,100
	平田地区コミュニティセンター分館解体事業	財政融資	0.020	14,600
		荘内銀行	0.420	2,900
	公用車更新事業	財政融資	0.020	4,200
	八幡地域振興事業	財政融資	0.020	1,500
	白簀史朗作品によるジオパーク発信事業	財政融資	0.020	1,500
	八幡青少年国内交流事業	財政融資	0.020	2,300
	八幡地域観光物産支援事業	財政融資	0.020	900
	松山地域振興事業	財政融資	0.020	500
	松山青少年国内外交流事業	財政融資	0.020	4,200
	松山農産物加工所維持管理事業	財政融資	0.020	2,200
	松山地域観光物産支援事業	財政融資	0.020	1,900
	ひらたタウンセンター管理事業	財政融資	0.020	29,900
	平田地域振興事業	財政融資	0.020	1,500
	平田青少年国内交流事業	財政融資	0.020	600
	ひらた賑わい創出事業	財政融資	0.020	2,900
2. 民生債				84,800
1. 社会福祉債				39,700
	社会福祉総務費各種補助事業	財政融資	0.020	33,000
	知的障がい者更生施設整備等元利補給事業	財政融資	0.020	1,500
	老人福祉施設元利補給事業	財政融資	0.020	5,200
2. 児童福祉債				45,100
	放課後児童健全育成事業	財政融資	0.020	7,200
	八幡学童保育所整備事業	荘内銀行	0.420	3,700
	浜田・若竹統合保育園整備事業	荘内銀行	0.420	15,300
	平田保育園トイレ増設事業	財政融資	0.020	5,700
	法人立保育所等施設整備事業	荘内銀行	0.420	13,200
3. 衛生債				715,000
1. 保健衛生債				7,100
	中町にぎわい健康プラザ管理運営事業	荘内銀行	0.420	7,100
2. 環境衛生債				5,300
	猛禽類保護センター利活用事業	財政融資	0.020	5,300
3. 清掃債				14,800
	最終処分場重機更新事業	荘内銀行	0.420	14,800
4. 病院債				687,800
	地方独立行政法人病院事業運営費負担事業	地方公共団体金融機構	0.010	165,300
		鶴岡信用金庫	0.400	522,500

(単位：％、千円)

目				借入額	
	節	事業名	借入先		利率
4.	農林水産業債			301,000	
	1.	農業債		261,700	
		農業関連施設管理運営事業	財政融資	0.020	3,100
		農村環境改善センター改修事業	財政融資	0.020	1,500
		農業基盤整備事業	財政融資	0.020	2,400
		土地改良負担事業	財政融資	0.020	13,800
			荘内銀行	0.420	234,900
		農道整備事業	財政融資	0.020	5,100
		農村広場改修事業	財政融資	0.020	900
	2.	林業債		39,300	
		森林病害虫等対策事業	財政融資	0.020	5,800
		林道整備事業	財政融資	0.020	29,900
		林業用施設災害復旧事業	財政融資	0.020	3,600
5.	商工債			55,400	
	1.	商工債		55,400	
		酒田ふれあい商工会活動支援事業	財政融資	0.020	7,200
		(繰越明許費) 乗合バス購入事業	財政融資	0.010	4,900
		観光推進事業	財政融資	0.020	1,100
		観光物産施設管理運営事業	財政融資	0.020	30,700
			荘内銀行	0.420	10,500
		地域の資源協働整備事業	財政融資	0.020	1,000
6.	土木債			704,200	
	1.	道路橋りょう債		480,700	
		側溝整備事業	財政融資	0.020	27,900
			県市町村振興協会	0.060	104,000
		道路橋りょう維持事業	財政融資	0.004	4,600
				0.020	1,900
		舗装改修事業	県市町村振興協会	0.060	24,200
			荘内銀行	0.420	25,600
		橋りょう延命化事業	財政融資	0.020	18,400
			荘内銀行	0.420	23,800
		(繰越明許費) 橋りょう延命化事業	荘内銀行	0.420	17,200
		市道三保六早坂線法面改修事業	財政融資	0.020	5,500
		市道矢流川大平線道路改良事業	荘内銀行	0.420	11,200
		(繰越明許費) 市道矢流川大平線道路改良事業	荘内銀行	0.420	53,100
		市道錦町坂野辺新田線外道路改良事業	荘内銀行	0.420	45,300
		県施行道路整備事業	荘内銀行	0.420	15,100
			(繰越明許費) 中町モール改修事業	荘内銀行	0.420
		市道荒町山根線改良舗装事業	財政融資	0.020	17,400
		除雪機械整備事業	財政融資	0.020	8,500
			荘内銀行	0.420	4,100
	2.	港湾債		37,300	
		港湾整備事業	荘内銀行	0.420	37,300
	3.	都市計画債		134,300	
		県施行街路整備事業	荘内銀行	0.420	18,000
		公園施設再整備事業	荘内銀行	0.420	12,300
		日和山公園環境整備事業	荘内銀行	0.420	26,900
			(繰越明許費) 日和山公園環境整備事業	荘内銀行	0.420
		公園施設長寿命化等整備事業	荘内銀行	0.420	48,500
		(繰越明許費) 公園施設長寿命化等整備事業	荘内銀行	0.420	18,600

(単位：％、千円)

目				借入額
	節			
		事業名	借入先	
4. 住宅債				51,900
	市営住宅ストック改善事業	荘内銀行	0.420	51,900
7. 消防債				549,400
1. 消防債				549,400
	酒田地区広域行政組合分賦金	財政融資	0.020	55,300
		荘内銀行	0.420	19,900
	消防施設等整備事業	財政融資	0.020	26,400
		市有物件災害共済会	0.010	18,300
		荘内銀行	0.420	28,400
	消防庁舎及び総合防災センター整備事業	県市町村振興協会	0.060	174,600
	防災対策強化事業	市有物件災害共済会	0.010	1,700
	防災行政無線デジタル化事業	県市町村振興協会	0.060	224,800
8. 教育債				1,204,200
1. 教育総務債				12,400
	自然体験学習推進事業	財政融資	0.020	1,900
	学習バス・スクールバス整備事業	財政融資	0.020	10,500
2. 小学校債				768,800
	施設整備事業（小学校）	荘内銀行	0.420	8,000
	学校給食施設環境整備事業	財政融資	0.020	1,600
		荘内銀行	0.420	2,300
	学校トイレ改修事業（小学校）	財政融資	0.020	3,700
	（繰越明許費）学校トイレ改修事業（小学校）	荘内銀行	0.420	46,700
	松陵小学校屋内運動場改修事業	荘内銀行	0.420	4,000
	松山小学校改修事業	財政融資	0.020	480,200
	（継続費・通次繰越）松山小学校改修事業	財政融資	0.010	2,800
		荘内銀行	0.420	209,300
	田沢小学校改修事業	財政融資	0.020	5,200
	学校空調設備整備事業	荘内銀行	0.420	5,000
3. 中学校債				37,300
	施設整備事業（中学校）	荘内銀行	0.420	5,600
	学校トイレ改修事業（中学校）	荘内銀行	0.420	6,200
	（繰越明許費）学校トイレ改修事業（中学校）	荘内銀行	0.420	25,500
4. 生涯学習債				226,600
	生涯学習施設「里仁館」運営支援事業	財政融資	0.020	7,300
	生涯学習施設整備事業	財政融資	0.020	6,700
	文化施設長寿命化対策事業	荘内銀行	0.420	208,800
	文化財保存活動支援事業	財政融資	0.020	1,400
	史跡旧鑑屋修復事業	荘内銀行	0.420	2,400
5. 保健体育債				159,100
	体育施設管理事業	財政融資	0.020	11,900
		荘内銀行	0.420	600
	体育施設整備事業	財政融資	0.020	9,400
		荘内銀行	0.420	34,800
	光ヶ丘プール改修事業	荘内銀行	0.420	99,600
	体育施設耐震改修事業	市有物件災害共済会	0.010	2,800

(単位：％、千円)

目	節			借入額
	事業名	借入先	利率	
9.	災害復旧債			21,500
	1. 公共土木施設災害復旧債			16,400
	公共土木施設災害復旧事業	財政融資	0.004	400
		荘内銀行	0.420	16,000
	2. 農林水産業施設災害復旧債			5,100
	農業用施設災害復旧事業	財政融資	0.004	600
		林業用施設災害復旧事業	財政融資	0.004
10.	臨時財政対策債			1,533,100
	1. 臨時財政対策債			1,533,100
	臨時財政対策債	財政融資	0.010	454,900
		地方公共団体金融機構	0.010	1,078,200
11.	労働債			1,800
	1. 労働債			1,800
	勤労者福祉センター改修事業	荘内銀行	0.420	1,800
合計				5,439,000

(4) 入湯税充当事業一覧

(単位：千円)

区分	事業名	事業費	財源内訳		
			国県支出金	その他特定財源	一般財源
	下水道事業運営費負担金（施設整備分）	55,610			55,610
	環境衛生施設 小計	55,610			55,610
	消防施設等整備事業	96,751		73,100	23,651
	消防施設整備 小計	96,751		73,100	23,651
	観光推進事業	11,753		1,100	10,653
	観光物産施設管理運営事業（修繕料）	20,485			20,485
	観光物産協会負担事業	47,709			47,709
	増やそう酒田ファン観光PR事業	11,916		153	11,763
	庄内観光コンベンション協会負担事業	8,319			8,319
	観光振興等 小計	100,182		1,253	98,929
	合計	252,543		74,353	178,190

(注) 平成30年度の入湯税31,123千円は、上記事業の一般財源に充当している。

(7) 目的別性質別歳出内訳

目的別 \ 性質別	人件費	扶助費	公債費	物件費	維持補修費	補助費等
議会費	331,236			27,781		8,634
総務費	3,100,272			1,711,864	8,187	1,064,691
民生費	1,375,044	8,740,551		341,736	4,641	604,392
衛生費	401,673	2,562		1,033,395	2,779	1,984,377
労働費	13,413			22,472		46,599
農林水産業費	419,416			259,598	5,001	858,761
商工費	276,762			160,792		486,080
土木費	485,386			225,565	715,076	2,578,953
消防費	54,857			73,195	3,220	1,383,393
教育費	1,193,813	349,810		2,164,250	60,096	173,835
災害復旧費						
公債費			7,539,943			
諸支出金						
計	7,651,872	9,092,923	7,539,943	6,020,648	799,000	9,189,715
構成比	14.6	17.3	14.3	11.4	1.5	17.5
対前年度増減率	15.0	△ 0.9		△ 13.3	△ 11.4	△ 4.1

(5) 都市計画税充当事業一覧

(単位：千円)

事業名	事業費	財源内訳		
		国県支出金	その他特定財源	一般財源
(1)都市計画費	237,519	135,359	95,900	6,260
駅周辺整備事業	160,718	96,823	60,000	3,895
新産業会館整備支援事業	58,542	38,536	17,900	2,106
県施行街路整備事業	18,259		18,000	259
(2)公債費	2,508,480		931,976	1,576,504
都市計画事業元利償還金	160,100			160,100
公共下水道事業元利償還金(下水道事業会計)	2,348,380		931,976	1,416,404
合計	2,745,999	135,359	1,027,876	1,582,764

(注) 平成30年度の都市計画税828,362千円は、上記事業の一般財源に充当している。

(6) 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

(単位：千円)

事業名	事業費	財源内訳		
		国県支出金	その他特定財源	一般財源
3款 民生費	14,041,210	6,865,806	475,047	6,700,357
1項 社会福祉費	7,404,435	2,649,480	70,933	4,684,022
2項 児童福祉費	5,288,226	3,205,971	404,114	1,678,141
3項 生活保護費	1,348,549	1,010,355		338,194
4款 衛生費	3,426,893	22,451	825,922	2,578,520
1項 保健衛生費	739,486	22,363	130,279	586,844
4項 病院費	2,687,407	88	695,643	1,991,676
合計	17,468,103	6,888,257	1,300,969	9,278,877

(注) 平成30年度の地方消費税交付金(社会保障財源分)847,259千円は、上記事業の一般財源に充当している。

(単位：千円、%)

繰出金	積立金	投資出資 貸付金	普通建設 事業費	災害復旧 事業費	計	構成比	対前年 度増減 率
					367,651	0.7	△ 16.3
1,083	760,942		139,847		6,786,886	12.9	△ 27.9
4,170,024	152		67,813		15,304,353	29.1	△ 0.7
45,003		701,591	35,190		4,206,570	8.0	△ 13.9
		40,000	10,400		132,884	0.3	△ 8.1
			450,914		1,993,690	3.8	△ 22.2
16,726	10,008	1,493,830	71,504		2,515,702	4.8	△ 12.1
	2,575		1,937,724		5,945,279	11.3	4.1
	127		496,380		2,011,172	3.8	2.1
	427		1,639,720		5,581,951	10.6	4.5
				54,376	54,376	0.1	△ 12.4
					7,539,943	14.3	
139,165					139,165	0.3	0.8
4,372,001	774,231	2,235,421	4,849,492	54,376	52,579,622	100.0	△ 6.9
8.3	1.5	4.3	9.2	0.1	100.0		
△ 1.1	△ 47.5	△ 10.2	△ 33.0	△ 12.4	△ 6.9		

(8) 人件費の推移

区 分	平成26年度		平成27年度	
	決算額	前年度比	決算額	前年度比
人件費合計(1～10)	6,634,422	4.0	6,686,407	0.8
1 議員報酬手当	203,313	△ 2.0	203,313	
2 委員等報酬	275,849	1.7	301,339	9.2
3 市長等特別職の給与	45,992	3.5	38,301	△ 16.7
4 職員給与	4,312,613	6.2	4,308,587	△ 0.1
(1) 基本給	3,013,373	6.7	2,982,059	△ 1.0
(ア) 給料	2,937,990	6.9	2,910,346	△ 0.9
(イ) 扶養手当	72,706	△ 1.3	68,950	△ 5.2
(ウ) 地域手当	2,677	62.0	2,763	3.2
(2) その他の手当	1,299,240	5.0	1,326,528	2.1
(ア) 住居手当	23,813	12.4	22,820	△ 4.2
(イ) 通勤手当	40,370	6.2	40,325	△ 0.1
(ウ) 単身赴任手当	1,884	4.0	1,704	△ 9.6
(エ) 特殊勤務手当	6,328	42.2	1,240	△ 80.4
(オ) 時間外勤務手当	130,520	△ 10.0	136,929	4.9
(カ) 宿日直手当	17	△ 91.6	21	23.5
(キ) 管理職員特別勤務手当				
(ク) 休日勤務手当	3,406	△ 24.7	5,881	72.7
(ケ) 管理職手当	32,350	△ 3.1	32,929	1.8
(コ) 期末勤勉手当	1,055,093	7.2	1,082,759	2.6
(サ) 寒冷地手当	102	△ 33.3	51	△ 50.0
(シ) 児童手当				
(ス) その他	5,357	17.2	1,869	△ 65.1
5 地方公務員共済組合等負担金	1,058,075	7.7	1,029,729	△ 2.7
6 退職金	707,965	△ 9.9	772,050	9.1
7 恩給及び退職年金	2,214	△ 27.9	1,507	△ 31.9
8 災害補償費	5,455	4.3	5,470	0.3
9 職員互助会補助金	6,905	6.6	6,367	△ 7.8
10 その他	16,041	14.8	19,744	23.1
職員に係る児童手当(又は子ども手当)	44,166	4.4	42,503	△ 3.8
職員数(一般職員) (人)	767	△ 0.3	782	2.0
備考	改正要点 1 給料表の改正 2 勤勉手当の改正 3 退職手当の調整率の経過措置		改正要点 1 給料表の改正 2 勤勉手当の改正 3 退職手当の調整額の改正	

(注) 1 職員数は、翌年度4月1日現在のものである。
2 決算額は、地方財政状況調査のものである。

(単位：千円、%)

平成28年度		平成29年度		平成30年度	
決算額	前年度比	決算額	前年度比	決算額	前年度比
6,905,087	3.3	6,655,648	△ 3.6	7,651,872	15.0
205,093	0.9	205,642	0.3	202,683	△ 1.4
272,026	△ 9.7	286,730	5.4	919,881	220.8
45,406	18.6	46,003	1.3	37,181	△ 19.2
4,371,055	1.4	4,345,014	△ 0.6	4,384,076	0.9
3,002,244	0.7	2,968,568	△ 1.1	3,003,943	1.2
2,931,570	0.7	2,897,338	△ 1.2	2,929,567	1.1
67,239	△ 2.5	68,404	1.7	72,693	6.3
3,435	24.3	2,826	△ 17.7	1,683	△ 40.4
1,368,811	3.2	1,376,446	0.6	1,380,133	0.3
22,940	0.5	24,416	6.4	23,070	△ 5.5
41,206	2.2	39,432	△ 4.3	40,827	3.5
1,938	13.7	2,184	12.7	1,176	△ 46.2
1,304	5.2	1,365	4.7	1,385	1.5
148,935	8.8	156,984	5.4	136,396	△ 13.1
12	12.0	25	108.3		皆減
				268	皆増
5,205	△ 11.5	3,747	△ 28.0	2,024	△ 46.0
34,383	4.4	34,316	△ 0.2	33,462	△ 2.5
1,110,104	2.5	1,111,089	0.1	1,138,649	2.5
51		51		51	
2,733	46.2	2,837	3.8	2,825	△ 0.4
931,240	△ 9.6	942,169	1.2	963,668	2.3
1,048,346	35.8	793,941	△ 24.3	1,015,763	27.9
1,507		1,507		1,507	
5,786	5.8	5,401	△ 6.7	7,407	37.1
5,973	△ 6.2	5,914	△ 1.0	5,970	0.9
18,655	△ 5.5	23,327	25.0	113,736	387.6
43,065	1.3	39,922	△ 7.3	39,675	△ 0.6
785	0.4	785		788	0.4
改正要点 1 給料表の改正 2 勤勉手当の改正 3 議員期末手当の改正		改正要点 1 勤勉手当の改正 2 扶養手当の改正		改正要点 1 監査委員の非常勤化 2 給料表の改正 3 勤勉手当の改正 4 退職手当の調整率の改正 5 一般職非常勤職員の賃金を委員等報酬へ計上	

(9) 健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの健全化判断比率と、公営企業会計ごとの資金不足比率の議会への報告及び公表が義務付けられています。

連結実質赤字比率は、一般会計だけでなく、公営企業会計など地方公共団体の全会計を対象とする指標であり、将来負担比率は、地方公社や第三セクター等を含めた実質的な将来負担等に係る指標で、後年度負担も含め全体を捉えた指標です。

また、これらの指標が一定水準以上である場合は、議会の議決を経て財政健全化計画等を策定し、外部監査を求めることなどの義務付けや起債の制限がなされます。

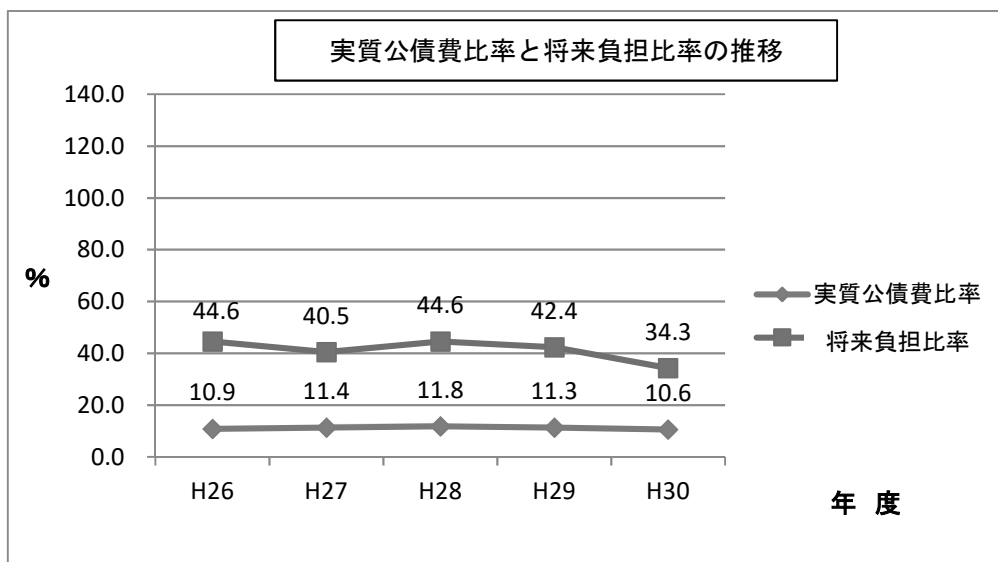
本市の平成30年度決算における健全化判断比率、資金不足比率は下記のとおりですが、いずれも適正な状況にあると言えます。

① 健全化判断比率の状況

(単位：%)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	(参考) 早期健全化基準	(参考) 財政再生基準	備考
実質赤字比率	—	—	—	11.84	20.00	実質赤字なし
連結実質赤字比率	—	—	—	16.84	30.00	連結実質赤字なし
実質公債費比率	11.8	11.3	10.6	25.0	35.0	
将来負担比率	44.6	42.4	34.3	350.0		

- (注) 1 早期健全化基準 基準以上である場合には、財政健全化計画の策定、外部監査の義務付け。実施状況を毎年度議会に報告し公表。早期健全化が著しく困難と認められる場合は、総務大臣又は県知事が必要な勧告をすることができる。
- 2 財政再生基準 基準以上である場合には、財政再生計画の策定、外部監査の義務付け。財政再生計画は、総務大臣に協議し、同意を求める。財政運営が計画に適合しないと認められる場合においては、予算の変更等の勧告を受ける。



実質公債費比率は、一般会計等に係る元利償還金や公営企業公債費繰入金等の減少が影響し、昨年に引き続き指数が改善した。3か年平均では、単年度指数が高かった27年度を算入しないことから、指数が大きく改善した。

将来負担比率は、算入公債費等は増加したものの、地方債現在高や公営企業等への公債費に係る繰出見込額の減少により指数が改善した。

② 資金不足比率の状況

(単位：%)

会計名	資金不足比率	(参考) 経営健全化基準	備考
水道事業会計	—	20.0	資金不足なし
下水道事業会計	—		資金不足なし
風力発電事業特別会計	—		資金不足なし
定期航路事業特別会計	—		資金不足なし

- (注) 1 資金不足比率 公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すもの。資金不足額が発生しない限り比率がないものとされ「—」と表示する。
2 経営健全化基準 基準以上である場合には、法に基づく財政再建を行わなければ建設地方債を発行できない。

(財政健全化指標作成に関する留意事項)

【実質赤字比率】

使途が自由な地方税や地方交付税等を主な財源とし、福祉、教育、まちづくり等の一般的な行政サービスを行う一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を表すものである。

財政運営においては、本来、赤字が生じないようにすべきであり、赤字が生じた場合には、十分にその原因を明らかにする必要があるとともに、早期解消を図る必要がある。この比率が高くなるほど、赤字の解消が難しくなるので、多くの歳出削減策や歳入の増加策を講じなければならない。さらに、解消の期間も長期間にわたる可能性が高く、より深刻な事態を招いてしまう。

【連結実質赤字比率】

地方税や地方交付税等を主な財源とし、福祉、教育、まちづくり等の中心的な行政サービスを行う一般会計等のほかに、料金収入等を主な財源として、事業を実施している公営企業会計など複数の会計に分かれている。

会計が分かれていても、地方公共団体としては一つであることから、全体の状況を把握することが重要である。全ての会計の当該年度の赤字や黒字を合算し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を表すものである。

連結の赤字は本来生じるべきでなく、赤字が生じた場合は、十分にその原因を明らかにし、早期解消に努めなければならない。この比率が高くなるほど、多くの歳出削減策や歳入の増加策を講じる必要があり、また、その解消期間も長期間にわたる可能性が高くなってしまう。

【実質公債費比率】

長期の借入金を地方債といい、この元金及び利息の支払いを公債費という。

一般会計の公債費は、義務的な負担になるが、公営企業、一部事務組合等他の会計の公債費に対して一般会計から繰り出す経費もある。こうした借入金の返済額及びこれに準じる経費の大きさ、資金繰りの危険度を示す指標となっている。

公債費や公債費に準ずる経費は、削減したり、先送りしたりすることができない経費であり、また、一度この経費が増大すると数年間にわたって同程度の額を支払わなければならない、短期間で削減することが困難となる。この比率が高まるほど、財政の弾力化が低下し、他の経費を削減しないと赤字団体に転落する可能性が高い。

【将来負担比率】

将来支払っていく負債には、一般会計の地方債残高のほか、借入金ではないものの契約等で将来の支払いを約束したもの（債務負担行為）、公営企業等の他会計の地方債残高のうち一般会計が負担することとなっているものなどがある。

一般会計の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す指標である。この比率が高い場合、将来こうした負担額を実際に支払っていかなければならず、今後の財政運営の圧迫などの問題が生じる可能性が高い。

5 市税等資料

(1) 税目別収納状況

① 市税歳入決算

款	項	目	予 算 現 額			節		調 定 額
			当初予算額	補正予算額	計	区 分	金 額	
1	市 税		13,112,391,000	112,826,000	13,225,217,000			13,774,604,433
	1	市民税	5,549,270,000	103,430,000	5,652,700,000			5,788,143,960
		1 個人	4,396,150,000	△ 11,850,000	4,384,300,000			4,514,949,545
						1 現年課税分	4,341,500,000	4,376,733,044
						2 滞納繰越分	42,800,000	138,216,501
		2 法人	1,153,120,000	115,280,000	1,268,400,000			1,273,194,415
						1 現年課税分	1,266,400,000	1,261,605,100
						2 滞納繰越分	2,000,000	11,589,315
	2	固定資産税	5,727,310,000	34,988,000	5,762,298,000			6,099,702,000
		1 固定資産税	5,663,620,000	34,980,000	5,698,600,000			6,036,004,000
						1 現年課税分	5,624,400,000	5,690,816,000
						2 滞納繰越分	74,200,000	345,188,000
		2 国有資産等所在町村交付金	63,690,000	8,000	63,698,000			63,698,000
						1 市交付金	63,698,000	63,698,000
	3	軽自動車税	328,450,000	△ 450,000	328,000,000			348,927,674
		1 軽自動車税	328,450,000	△ 450,000	328,000,000			348,927,674
						1 現年課税分	322,800,000	329,457,900
						2 滞納繰越分	5,200,000	19,469,774
	4	市たばこ税	648,900,000	△ 27,100,000	621,800,000			626,986,137
		1 市たばこ税	648,900,000	△ 27,100,000	621,800,000			626,986,137
						1 現年課税分	621,800,000	626,986,137
	5	鉱産税	100,000	△ 82,000	18,000			18,400
		1 鉱産税	100,000	△ 82,000	18,000			18,400
						1 現年課税分	18,000	18,400
	6	特別土地保有税	1,000		1,000			
		1 特別土地保有税	1,000		1,000			
						1 現年課税分	1,000	
	7	入湯税	31,100,000	△ 200,000	30,900,000			31,123,125
		1 入湯税	31,100,000	△ 200,000	30,900,000			31,123,125
						1 現年課税分	30,900,000	31,123,125
	8	都市計画税	827,260,000	2,240,000	829,500,000			879,703,137
		1 都市計画税	827,260,000	2,240,000	829,500,000			879,703,137
						1 現年課税分	818,500,000	828,058,700
						2 滞納繰越分	11,000,000	51,644,437

(単位:円、%)

収入済額	不納欠損額	収入未済額	未還付額	前年度調定額	対前年度 増減率	前年度収入済額	対前年度 増減率
13,244,048,505	100,955,928	455,303,534	25,703,534	13,952,020,760	△ 1.27	13,291,779,645	△ 0.36
5,673,555,630	20,223,456	119,357,960	24,993,086	5,739,492,386	0.85	5,577,384,185	1.72
4,388,659,951	17,369,859	110,319,721	1,399,986	4,531,570,349	△ 0.37	4,372,600,763	0.37
4,347,609,181		30,437,312	1,313,449	4,353,060,169	0.54	4,317,803,214	0.69
41,050,770	17,369,859	79,882,409	86,537	178,510,180	△ 22.57	54,797,549	△ 25.09
1,284,895,679	2,853,597	9,038,239	23,593,100	1,207,922,037	5.40	1,204,783,422	6.65
1,282,180,800		3,017,400	23,593,100	1,196,013,100	5.48	1,201,983,440	6.67
2,714,879	2,853,597	6,020,839		11,908,937	△ 2.68	2,799,982	△ 3.04
5,754,862,677	68,166,617	277,248,472	575,766	6,280,669,308	△ 2.88	5,866,608,652	△ 1.90
5,691,164,677	68,166,617	277,248,472	575,766	6,214,287,708	△ 2.87	5,800,227,052	△ 1.88
5,629,661,835		61,655,819	501,654	5,776,416,500	△ 1.48	5,710,233,319	△ 1.41
61,502,842	68,166,617	215,592,653	74,112	437,871,208	△ 21.17	89,993,733	△ 31.66
63,698,000				66,381,600	△ 4.04	66,381,600	△ 4.04
63,698,000				66,381,600	△ 4.04	66,381,600	△ 4.04
329,140,658	2,367,278	17,470,338	50,600	342,014,590	2.02	319,611,296	2.98
329,140,658	2,367,278	17,470,338	50,600	342,014,590	2.02	319,611,296	2.98
323,935,698		5,572,802	50,600	320,701,400	2.73	314,214,170	3.09
5,204,960	2,367,278	11,897,536		21,313,190	△ 8.65	5,397,126	△ 3.56
626,986,137				649,775,276	△ 3.51	649,775,276	△ 3.51
626,986,137				649,775,276	△ 3.51	649,775,276	△ 3.51
626,986,137				649,775,276	△ 3.51	649,775,276	△ 3.51
18,400				78,500	△ 76.56	78,500	△ 76.56
18,400				78,500	△ 76.56	78,500	△ 76.56
18,400				78,500	△ 76.56	78,500	△ 76.56
31,123,125				32,180,175	△ 3.28	32,180,175	△ 3.28
31,123,125				32,180,175	△ 3.28	32,180,175	△ 3.28
31,123,125				32,180,175	△ 3.28	32,180,175	△ 3.28
828,361,878	10,198,577	41,226,764	84,082	907,810,525	△ 3.10	846,141,561	△ 2.10
828,361,878	10,198,577	41,226,764	84,082	907,810,525	△ 3.10	846,141,561	△ 2.10
819,160,285		8,971,409	72,994	842,335,900	△ 1.69	832,684,852	△ 1.62
9,201,593	10,198,577	32,255,355	11,088	65,474,625	△ 21.12	13,456,709	△ 31.62

② 国民健康保険税歳入決算

款	項	目	予 算 現 額			節		調 定 額	
			当初予算額	補正予算額	計	区 分	金 額		
1	国民健康		2,061,700,000		2,061,700,000			2,797,874,629	
	国民健康		2,061,700,000		2,061,700,000			2,797,874,629	
		1 一般被	2,029,900,000		2,029,900,000			2,745,259,977	
		保険者				1 医療給付費	1,352,000,000		1,523,191,427
		国民健康				分現年課税分			
		保険				後期高齢者支	425,600,000		478,968,943
						2 援金分現年課			
						税分			
						3 介護納付金	154,200,000		179,733,947
						分現年課税分			
			4 医療給付費	63,100,000	374,025,074				
			分滞納繰越分						
			5 後期高齢者支	21,100,000	118,109,510				
			援金分滞納繰						
			越分						
			6 介護納付金	13,900,000	71,231,076				
			分滞納繰越分						
		2 退職被	31,800,000		31,800,000			52,614,652	
		保険者等				1 医療給付費	16,300,000		15,371,262
		国民健康				分現年課税分			
		保険				後期高齢者支	5,100,000		4,819,935
						2 援金分現年課			
						税分			
						3 介護納付金	5,000,000		4,631,086
						分現年課税分			
			4 医療給付費	3,300,000	17,026,977				
			分滞納繰越分						
			5 後期高齢者支	1,000,000	5,019,574				
			援金分滞納繰						
			越分						
			6 介護納付金	1,100,000	5,745,818				
			分滞納繰越分						

(単位:円、%)

収入済額	不納欠損額	収入未済額	未還付額	前年度調定額	対前年度 増減率	前年度収入済額	対前年度 増減率
2,231,996,233	94,455,258	474,372,962	2,949,824	3,199,330,625	△ 12.55	2,504,654,678	△ 10.89
2,231,996,233	94,455,258	474,372,962	2,949,824	3,199,330,625	△ 12.55	2,504,654,678	△ 10.89
2,197,517,588	88,867,177	461,821,541	2,946,329	3,082,568,544	△ 10.94	2,425,312,660	△ 9.39
1,449,495,576		75,736,797	2,040,946	1,671,315,328	△ 8.86	1,585,635,714	△ 8.59
455,832,599		23,741,998	605,654	527,935,652	△ 9.28	501,211,461	△ 9.05
167,581,517		12,419,629	267,199	210,501,954	△ 14.62	195,556,636	△ 14.31
83,782,447	57,864,370	232,403,928	25,671	447,175,174	△ 16.36	94,730,182	△ 11.56
26,556,820	18,488,372	73,068,404	4,086	139,299,186	△ 15.21	30,528,969	△ 13.01
14,268,629	12,514,435	44,450,785	2,773	86,341,250	△ 17.50	17,649,698	△ 19.16
34,478,645	5,588,081	12,551,421	3,495	116,762,081	△ 54.94	79,342,018	△ 56.54
15,059,864		313,460	2,062	43,294,385	△ 64.50	41,651,661	△ 63.84
4,722,951		97,634	650	13,577,095	△ 64.50	13,066,938	△ 63.86
4,547,101		84,768	783	14,091,286	△ 67.14	13,594,144	△ 66.55
6,121,534	3,319,169	7,586,274		28,311,349	△ 39.86	6,444,365	△ 5.01
1,875,093	996,131	2,148,350		8,097,143	△ 38.01	2,149,750	△ 12.78
2,152,102	1,272,781	2,320,935		9,390,823	△ 38.81	2,435,160	△ 11.62

(2) 年度別収納状況（第9表及び第3図参照）

平成30年度の現年課税分、滞納繰越分合計の収入済額は、市税が132億4,404万9千円で、現年課税分収納率では対前年度比0.2ポイントの増、滞納繰越分収納率では対前年度比2.14ポイントの減となっています。国民健康保険税は22億3,199万6千円で現年課税分収納率では対前年度比0.28ポイントの増、滞納繰越分では対前年度比1.38ポイントの増となっています。

第9表 会計別・年度別収納状況

① 一般会計

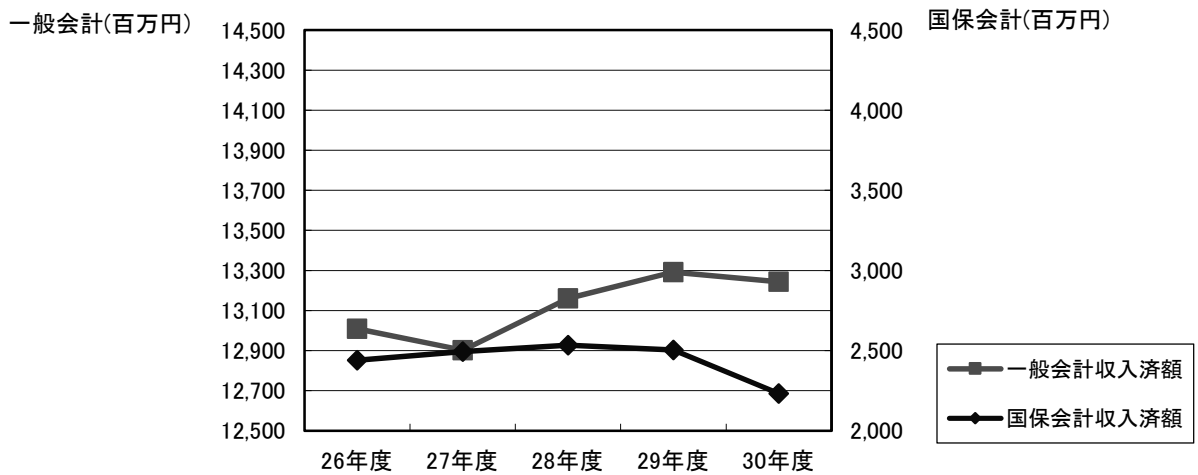
市 税	年度	予 算 額 (A)	調 定 額 (B)	収 入 済 額 (C)	不 納 欠 損 額 (D)	収 入 未 済 額
	26	12,864,501,000	14,182,315,400	13,008,253,533	136,014,889	1,039,570,514
27	12,803,702,000	13,935,376,160	12,901,962,536	182,521,768	858,378,276	
28	12,986,709,000	13,987,926,075	13,160,218,665	115,110,768	717,620,560	
29	13,161,957,000	13,952,020,760	13,291,779,645	102,352,280	567,569,030	
30	13,225,217,000	13,774,604,433	13,244,048,505	100,955,928	455,303,534	

② 国民健康保険特別会計

国民 健康 保 険 税	年度	予 算 額 (A)	調 定 額 (B)	収 入 済 額 (C)	不 納 欠 損 額 (D)	収 入 未 済 額
	26	2,436,300,000	3,530,394,132	2,440,466,879	126,992,775	963,862,468
27	2,651,450,000	3,495,557,368	2,493,283,518	118,446,017	886,390,382	
28	2,409,600,000	3,417,678,269	2,534,160,062	157,863,135	728,129,128	
29	2,351,700,000	3,199,330,625	2,504,654,678	100,255,902	597,684,397	
30	2,061,700,000	2,797,874,629	2,231,996,233	94,455,258	474,372,962	

(注) 収入未済額は、未還付額を含んだ数値である。

第3図 年度別 税の収納状況



(単位：円、%)

予算過不足額 (C)-(A)	予算計上率 (A)/(B)	予算比 (C)/(A)	収 納 率					
			(C)/(B)			(C)/{(B)-(D)}		
			現年 課税分	滞納 繰越分	総 合	現年 課税分	滞納 繰越分	総 合
143,752,533	90.71	101.12	98.56	15.52	91.72	98.56	17.57	92.61
98,260,536	91.88	100.77	98.79	15.02	92.58	98.79	18.25	93.81
173,509,665	92.84	101.34	98.95	19.46	94.08	98.96	22.42	94.86
129,822,645	94.34	100.99	99.16	23.28	95.27	99.16	27.16	95.97
18,831,505	96.01	100.14	99.36	21.14	96.15	99.36	25.73	96.86

(単位：円、%)

予算過不足額 (C)-(A)	予算計上率 (A)/(B)	予算比 (C)/(A)	収 納 率					
			(C)/(B)			(C)/{(B)-(D)}		
			現年 課税分	滞納 繰越分	総 合	現年 課税分	滞納 繰越分	総 合
4,166,879	69.01	100.17	92.64	11.88	69.13	92.64	13.56	71.71
△ 158,166,482	75.85	94.03	92.65	14.50	71.33	92.65	16.56	73.83
124,560,062	70.50	105.17	93.59	17.70	74.15	93.59	22.14	77.74
152,954,678	73.51	106.50	94.76	21.42	78.29	94.76	24.89	80.82
170,296,233	73.69	108.26	95.04	22.80	79.77	95.04	27.13	82.56

6 土地開発基金の状況

(1) 平成30年度土地取得の状況

No.	用地名	面積 (㎡)	取得額 (円)
	合計		

(2) 土地の保有・売渡状況

① 土地開発基金による取得分

No.	用地名	面積 (㎡)			
		取得面積	29年度末までの 売渡面積	30年度 売渡面積	30年度末 保有面積
1	川南やすらぎ霊園整備事業用地	13,646.53	10,918.53	1,364.00	1,364.00
2	駅前広場用地	1,220.25	0.00	0.00	1,220.25
3	まつやま会館駐車場用地	2,072.49	0.00	2,072.49	0.00
	合計	16,939.27	10,918.53	3,436.49	2,584.25

金		額 (円)					備 考
取得額	償還年数 (年)	売渡金額	29年度末までの 売渡額	30年度売渡額	30年度末残	左のうち元金	
58,197,060	H22～ (10)	59,200,048	47,500,949	5,859,733	5,839,366	5,819,000	
183,981,973	未定	183,981,973	0	0	183,981,973	183,981,973	
7,256,312	H30	7,258,357	0	7,258,357	0	0	
249,435,345		250,440,378	47,500,949	13,118,090	189,821,339	189,800,973	

7 職員配置の状況

平成30年4月1日現在

所 属	区 分	定 数 内 職 員				定数外職員		合 計
		性 別		一般職	うち技能 労務職員	再任用 短時間	非常勤 職 員	
		男	女					
総務部	市 長 公 室 (部長含む)	8	3	11			2	13
	総 務 課	12	2	14	4		1	15
	行 政 経 営 課	5	1	6				6
	人 事 課	12	12	24				24
	財 政 課	8	1	9				9
	危 機 管 理 課	6	1	7			2	9
	税 務 課	26	17	43			2	45
	納 税 課	17	5	22			4	26
	契 約 検 査 課	6	4	10	3		1	11
小 計	100	46	146	7		12	158	
企画部	企 画 調 整 課 (部長含む)	8	1	9				9
	都 市 デ ザ イ ン 課	14	1	15			1	16
	情 報 管 理 課	8	1	9				9
	小 計	30	3	33			1	34
地域創生部	商 工 港 湾 課 (部長含む)	19	3	22			9	31
	交 流 観 光 課	12	5	17			8	25
	地 域 共 生 課	4	3	7			6	13
	小 計	35	11	46			23	69
市民部	ま ち づ くり 推 進 課 (部長含む)	9	6	15			9	24
	と び し ま 総 合 セ ン タ ー	3		3			1	4
	市 民 課	14	10	24			9	33
	環 境 衛 生 課	13	2	15	3	1		16
	定 期 航 路 事 業 所	8		8	1	1	9	18
	小 計	47	18	65	4	2	28	95
健康福祉部	福 祉 課 (部長含む)	22	12	34			9	43
	子 育 て 支 援 課	11	10	21		1	21	43
	浜 田 保 育 園		11	11	1		17	28
	松 陵 保 育 園		10	10	1		21	31
	若 竹 保 育 園		8	8	1	1	11	20
	八 幡 保 育 園		15	15	1	1	20	36
	松 山 保 育 園		12	12	1		19	31
	平 田 保 育 園		16	16	2		30	46
	は ま な し 学 園		10	10	1		17	27
	健 康 課	8	29	37		2	13	52
	介 護 保 険 課	14	11	25	1		22	47
	国 保 年 金 課	11	3	14			4	18
看 護 専 門 学 校 事 務 局	1	1	2			2	4	
小 計	67	148	215	9	5	206	426	
建設部	土 木 課 (部長含む)	43	3	46	16		4	50
	建 築 課	10	4	14			2	16
	小 計	53	7	60	16		6	66
水産部 農 林	農 政 課 (部長含む)	16	6	22			9	31
	農 林 水 産 課	11	2	13			1	14
	小 計	27	8	35			10	45

区 分 所 属		定 数 内 職 員				定数外職員		合 計
		性 別		一般職	うち技能 労務職員	再任用 短時間	非常勤 職 員	
		男	女					
総八 合支 所幡	地 域 振 興 課 (支所長含む)	11	4	15			2	17
	建 設 産 業 課	8	2	10			3	13
	小 計	19	6	25			5	30
総松 合支 所山	地 域 振 興 課 (支所長含む)	9	6	15			2	17
	建 設 産 業 課	8	1	9			4	13
	小 計	17	7	24			6	30
総平 合支 所田	地 域 振 興 課 (支所長含む)	8	7	15			5	20
	建 設 産 業 課	8	2	10			1	11
	小 計	16	9	25			6	31
出 納 課		6	3	9			1	10
市長の事務部局 計 (743)		417	266	683	36	7	304	994
水 上 道 部 下	管 理 課 (部長含む)	20	8	28				28
	工 務 課	31	1	32			1	33
	小 計 (70)	51	9	60			1	61
議 会 事 務 局 (10)		7	2	9				9
選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 (4)		2	1	3				3
監 査 委 員 事 務 局 (5)		4	1	5				5
農 業 委 員 会 事 務 局 (10)		3	4	7			2	9
教 育 委 員 会	企 画 管 理 課 (部長含む)	10	6	16		1	5	22
	学 校 教 育 課	12	5	17			78	95
	社 会 教 育 文 化 課	13	5	18		2	10	30
	ス ポ ー ツ 振 興 課	9	1	10			2	12
	図 書 館	6	2	8		1	26	35
	学 校 給 食 共 同 調 理 場		2	2	2		6	8
	小 学 校	26	14	40	40		67	107
	中 学 校	8		8	8		26	34
	資 料 館						6	6
	出 羽 遊 心 館						4	4
小 計 (130)		84	35	119	50	4	230	353
合 計 (972)		568	318	886	86	11	537	1,434

(注) ()内の数値は、酒田市職員定数条例による定数である。